

# 櫛島川端遺跡

主要地方道前橋長瀬線道路改築(改良)工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書 第1集

1996

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



# 櫛島川端遺跡

主要地方道前橋長瀬線道路改築(改良)工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書 第1集

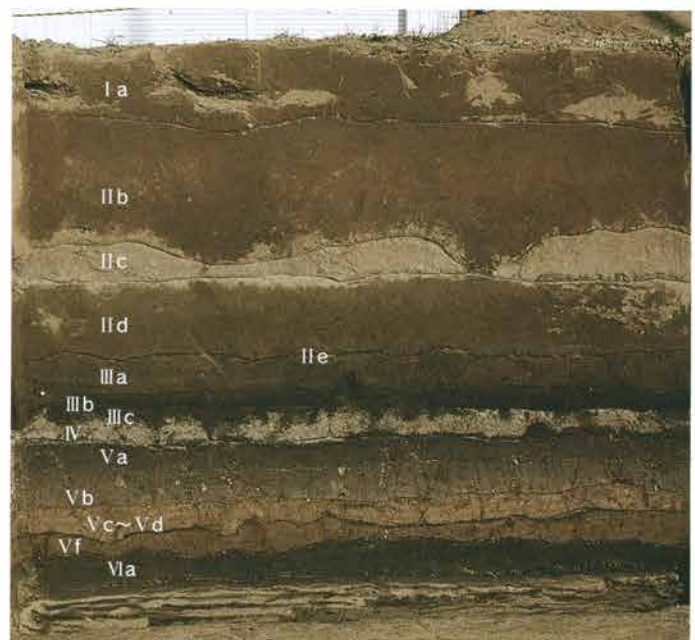
1996

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団





遺跡のある前橋台地より榛名山を見る（南東より）



基本土層とテフラ

巻頭2



17拡張区（3H水田耕土の状況）



17拡張区（南壁セクション）



出土遺物



出土遺物

## 序

県道前橋長瀨線は、本県前橋市から埼玉県秩父郡長瀨町に至る総延長42.5kmの幹線道路であります。県内最大の商業都市高崎市と県庁所在地前橋市を結ぶ経済や行政の基幹道路としても重要な役割を果たしております。

しかし近年では、交通量の増加に伴い日常的な交通渋滞を起こしております。そこで群馬県土木部はこの慢性的な交通渋滞解消のため、前橋市櫛島町から同公田町の間2.3kmの道路改良事業に着手しました。

本報告書は前橋市街地南部の櫛島町、公田町を中心とした地域に所在する『櫛島川端遺跡』について県土木部から委託を受けた財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が、平成3年から7年かけて調査した内の第1区から第18区までの成果を整理してまとめたものです。この中で注目されるのは古墳時代前期から中期にかけての水田や畠と共に、遺構外の出土ではありますが子持ち勾玉や石製模造品等が検出されました。水田、畠遺構からは当時の生産地域の実態、勾玉・石製模造品の出土からは当時の祭りの背景を解明する大変貴重な資料のひとつになるものと確信しております。

最後になりましたが、群馬県土木部、群馬県前橋土木事務所、群馬県教育委員会文化財保護課、前橋市教育委員会、地元関係者の皆様には、発掘調査から本報告書刊行まで終始ご協力を賜り、心から感謝いたします。

平成8年3月20日

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団  
理事長 小寺弘之





# 例 言

1. 本書は県道前橋長瀬線道路改良工事に伴い埋蔵文化財発掘調査を実施した櫛島川端遺跡、公田東遺跡、公田池尻遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書の3分冊で、第1分冊『櫛島川端遺跡』である。第1分冊では、櫛島川端遺跡1区から18区までの奈良時代以前について報告する。第2分冊では19区から21区、公田東遺跡、公田池尻遺跡の奈良・平安時代以前、第3分冊では櫛島川端遺跡、公田東遺跡、公田池尻遺跡の平安時代以降を中心に報告する予定である。
2. 櫛島川端遺跡は、群馬県前橋市櫛島町9～17、128～138、144～151、159、161～167、248～254、258、259、261～265、270、271、公田町1001、1046、1047に所在する。遺跡名は、大字と小字により櫛島川端遺跡とした。
3. 発掘調査は、群馬県（土木部）の委託により、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が実施した。
4. 調査を実施した期間は次の通りである。

発掘調査	第1次調査	平成2年1月8日～	同年3月31日	(公田池尻遺跡)
	第2次調査	平成3年1月7日～	同年3月25日	(公田池尻遺跡)
	第3次調査	平成3年9月1日～平成4年3月25日		(櫛島川端遺跡)
	第4次調査	平成4年4月1日～平成5年1月31日		(櫛島川端遺跡)
	第5次調査	平成5年11月2日～平成6年3月25日		(櫛島川端遺跡)
	第6次調査	平成6年4月1日～平成7年3月25日		(櫛島川端遺跡)
		平成6年6月2日～平成7年3月25日		(公田東遺跡)
		平成6年12月1日～平成7年3月25日		(公田池尻遺跡)
	第7次調査	平成7年4月1日～平成8年3月25日		(公田池尻遺跡)
整理事業		平成6年4月1日～平成8年3月31日		

5. 調査の体制は次の通りである。

事務担当 辺見長雄、中村英一、松本浩一、近藤 功、原田恒弘、佐藤 勉、蜂巢 実、岩丸大作  
齊藤俊一、小淵 淳、神保侑史、巾 隆之、佐藤明人、国定 均、笠原秀樹、須田朋子  
吉田有光、柳岡良宏、船津 茂、高橋定義

事務非常勤嘱託 松下 昇、大澤友治、

事務補助員 並木綾子、野島のお江、今井もと子、吉田恵子、松井美智子、角田みづほ、  
角田正子、杉山ひろみ(旧姓塩浦)、内山佳子、星野美智子、羽鳥京子、菅原淑子

調査担当 第3次調査 飯田陽一(主任調査研究員) 亀山幸弘(調査研究員) 櫻井美枝(調査研究員)  
第4次調査 飯田陽一 藤巻幸男(主任調査研究員) 友廣哲也(主任調査研究員) 櫻井美枝  
第5次調査 大江正行(専門員) 藤巻幸男(専門員) 松井龍彦(主任調査研究員)  
大西雅広(主任調査研究員) 櫻井美枝 矢口裕之(調査研究員)  
黒澤照弘(調査研究員)  
第6次調査 藤巻幸男 榛澤健二(主任調査研究員) 遠藤俊爾(調査研究員)  
第7次調査 麻生敏隆(専門員) 平方篤行(調査研究員) 追川佳子(調査研究員)

6. 本書作成の担当は次の通りである。

編集 下城 正、黒澤照弘

本文執筆 下城 正

遺構写真 大江正行、飯田陽一、藤巻幸男、松井龍彦、榛澤健二、麻生敏隆、大西雅広、友廣哲也  
亀山幸弘、櫻井美枝、矢口裕之、遠藤俊爾、平方篤行、黒澤照弘、追川佳子、横山千晶  
諸田康成

遺物写真 佐藤元彦（主任）

金属器処理 関 邦一（主任）

小材浩一（補助員）

遺物観察 土器 下城 正、黒澤照弘

石器 下城 正

金属器 下城 正

整理嘱託員・補助員 嘱託員 新井悦子 補助員 平野照美、笠井初子、南雲素子、小池 縁、飯田文子  
飯田和子、武真理子、石関富子、蜂巢綾子、萩原鈴代、金子加代、平林照美、  
内山由紀子、高橋美穂子

また、石材同定については飯島静男（群馬県地質研究会）のご協力を得た。

7. 発掘調査及び本書の作成にあたり、下記の諸氏よりご助言、ご協力を得た。記して感謝の意を表したい。

（敬称略・五十音順）

早稲田大学本庄埋蔵文化財調査室 藤川繁彦、昆 彭生、佐々木幹雄、浅野一郎、荒川正夫、小澤正人  
佐々木高明

8. 出土遺物は一括して財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団・群馬県埋蔵文化財調査センターが保管している。

## 凡 例

1. 本書の挿図中の北方位は座標北を示す。

2. 本書は櫛島川端遺跡の報告書であるが、本書では1～21区の内1～18区迄の報告を行う。

3. 本書では櫛島川端遺跡を1地区として報告しているが、遺構番号は1から17区、18区のそれぞれに付している。したがって1から17区と18区に同じ遺構番号がある。18区の遺構番号には番号の前に区を付している。

4. 本書における遺構番号は、大半を調査時に付されたものをそのまま使用しているため欠番が生じている。

5. 本調査の記録に用いたグリッドは4m四方で、北西交点をその呼称としている。

6. 遺構平面図で使用した縮尺は、原則として住居・掘立柱建物跡・井戸・土坑を1/60とし、方形周溝墓を1/250としている。

7. 本書では土層注記において、テフラについては略称を用いた。正式名称と現段階での降下年代は以下の通りである。

As-B          浅間Bテフラ          浅間山          1108年

Hr—FP	榛名二ツ岳降下火山灰	榛名山	6世紀中葉
Hr—FA	榛名二ツ岳降下火山灰	榛名山	6世紀初頭
As—C	浅間C軽石	浅間山	4世紀初頭
As—SJ	浅間一総社軽石	浅間山	約1.1万年前
As—YP	浅間一板鼻黄色軽石	浅間山	約1.3～1.4万年前
As—OP2	浅間大窪沢軽石2	浅間山	約1.6万年前
As—OP1	浅間大窪沢軽石1	浅間山	約1.7万年前
As—BP	浅間板鼻褐色軽石群	浅間山	約1.7～2.1万年前

参考文献

- 町田 洋、新井房夫、小田静夫他 1984 「テフラと日本考古学—考古学研究と関係するテフラのカタログ」『古文化財に関する保存科学と人文・自然科学』
- 能登 健 1983 「群馬県における埋没田畠調査と課題」『群馬県史研究』第17号
- 坂口 一 1986 「榛名山二ツ岳起源FA・FP層下の土師器と須恵器」『荒砥北原遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 町田 洋、新井房夫 1992 『火山灰アトラス—日本列島とその周辺』
- 友廣哲也 1988 「古式土師器出現期の様相と浅間山C軽石」『群馬の考古学』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

8. 本書で使用した遺物の番号は、遺構ごとの通し番号であり、種類の略号は以下の通りである。平面図に付した番号は、遺物実測図に付した番号に呼応している。

土器 P 石器 S 木器 W 金属器 M

9. 遺物実測図中の縮尺は、土器は原則として1/3とし、石器は原則として、石鏃、白玉等の小型のものは1/1とした。
10. 写真図版の倍率は、遺物実測図と同様である。また、部分的に特徴のある遺物については、近接写真を撮影した。

# 目 次

序  
例 言  
凡 例

第1章 調査に至る経過	1
第2章 調査の方法と経過	1
第1節 調査の方法	1
第2節 調査の経過	2
第3章 周辺遺跡	3
第4章 基本土層	9
第5章 遺構と遺物	12
第1節 概 要	12
第2節 住居跡	12
第3節 掘立柱建物	15
第4節 井 戸	187
第5節 土 坑	198
第6節 溝	218
第7節 祭祀遺構	244
第8節 周溝墓・埋設土器	252
第9節 水田跡	262
1. As—C下水田跡	262
2. Hr—FA下水田跡	268
3. Hr—FP下水田跡	283
第10節 畝 跡	290
1. As—C下畝跡	290
2. Hr—FA下畝跡	304
3. Hr—FP下畝跡	309
第11節 遺構外出土遺物	311

報告書抄録

# 挿図目次

第 1 図	遺跡位置図	3	第 52 図	15・52号住居跡掘り方	40
第 2 図	遺跡周辺図	5	第 53 図	15号住居跡出土遺物	41
第 3 図	遺跡周辺の地形分類	6	第 54 図	52号住居跡出土遺物	41
第 4 図	調査区設定図	7	第 55 図	16号住居跡	42
第 5 図	グリッド設定図・遺跡区分図	8	第 56 図	16号住居跡掘り方	42
第 6 図	調査区土層図	9・10	第 57 図	16号住居跡出土遺物	43
第 7 図	基本土層図	11	第 58 図	18号住居跡	43
第 8 図	住居跡分布図(1)	13	第 59 図	18号住居跡出土遺物	43
第 9 図	住居跡分布図(2)	14	第 60 図	19・20号住居跡	44
第 10 図	1号住居跡	15	第 61 図	19号住居跡竈	45
第 11 図	1号住居跡掘り方	16	第 62 図	19号住居跡出土遺物(1)	45
第 12 図	1号住居跡出土遺物	16	第 63 図	19号住居跡出土遺物(2)	46
第 13 図	2号住居跡	17	第 64 図	20号住居跡出土遺物	46
第 14 図	3・4号住居跡	18	第 65 図	21号住居跡	47
第 15 図	3・4号住居跡掘り方	19	第 66 図	21号住居跡竈	48
第 16 図	3・4号住居跡出土遺物(1)	19	第 67 図	21号住居跡出土遺物(1)	48
第 17 図	3・4号住居跡出土遺物(2)	20	第 68 図	21号住居跡出土遺物(2)	49
第 18 図	5号住居跡	21	第 69 図	22号住居跡	50
第 19 図	5号住居跡掘り方	21	第 70 図	22号住居跡遺物散布図	51
第 20 図	5号住居跡出土遺物	22	第 71 図	22号住居跡竈	51
第 21 図	6号住居跡	22	第 72 図	22号住居跡出土遺物(1)	52
第 22 図	6号住居跡掘り方	23	第 73 図	22号住居跡出土遺物(2)	53
第 23 図	6号住居跡出土遺物	23	第 74 図	22号住居跡出土遺物(3)	54
第 24 図	7号住居跡	24	第 75 図	23号住居跡	55
第 25 図	7号住居跡竈	24	第 76 図	23号住居跡出土遺物(1)	55
第 26 図	7号住居跡出土遺物	24	第 77 図	23号住居跡出土遺物(2)	56
第 27 図	8号住居跡	25	第 78 図	24号住居跡	56
第 28 図	8号住居跡掘り方	25	第 79 図	24号住居跡出土遺物	57
第 29 図	8号住居跡出土遺物	26	第 80 図	25号住居跡(1)	58
第 30 図	9号住居跡	26	第 81 図	25号住居跡(2)	59
第 31 図	9号住居跡掘り方	27	第 82 図	25号住居跡出土遺物(1)	59
第 32 図	9号住居跡出土遺物	27	第 83 図	25号住居跡出土遺物(2)	60
第 33 図	10号住居跡掘り方	28	第 84 図	26号住居跡	61
第 34 図	10号住居跡出土遺物	28	第 85 図	26号住居跡出土遺物	61
第 35 図	11号住居跡	29	第 86 図	27号住居跡	62
第 36 図	11号住居跡竈	30	第 87 図	27号住居跡掘り方	63
第 37 図	11号住居跡掘り方・遺物散布図	30	第 88 図	27号住居跡出土遺物(1)	63
第 38 図	11号住居跡出土遺物(1)	31	第 89 図	27号住居跡出土遺物(2)	64
第 39 図	11号住居跡出土遺物(2)	32	第 90 図	28号住居跡	65
第 40 図	12号住居跡	33	第 91 図	28号住居跡竈	65
第 41 図	12号住居跡竈	33	第 92 図	28号住居跡出土遺物(1)	66
第 42 図	12号住居跡遺物散布図	34	第 93 図	28号住居跡出土遺物(2)	67
第 43 図	12号住居跡出土遺物(1)	34	第 94 図	29・49号住居跡	68
第 44 図	12号住居跡出土遺物(2)	35	第 95 図	29・49号住居跡掘り方	69
第 45 図	13号住居跡	36	第 96 図	29号住居跡出土遺物(1)	70
第 46 図	13号住居跡出土遺物	36	第 97 図	29号住居跡出土遺物(2)	71
第 47 図	14・17・53号住居跡	37	第 98 図	49号住居跡出土遺物	71
第 48 図	14号住居跡出土遺物	38	第 99 図	30号住居跡	72
第 49 図	17号住居跡出土遺物	39	第100 図	30号住居跡掘り方	73
第 50 図	53号住居跡出土遺物	39	第101 図	30号住居跡出土遺物(1)	73
第 51 図	15・52号住居跡	40	第102 図	30号住居跡出土遺物(2)	74

第103図	30号住居跡出土遺物(3)	75	第158図	59号住居跡出土遺物	113
第104図	31・67号住居跡(1)	76	第159図	60号住居跡	113
第105図	31・67号住居跡(2)	77	第160図	60号住居跡出土遺物	114
第106図	31号住居跡出土遺物	77	第161図	61・82号住居跡	115
第107図	67号住居跡出土遺物	77	第162図	61・82号住居跡掘り方	116
第108図	32号住居跡	78	第163図	61号住居跡竈	116
第109図	32号住居跡掘り方	79	第164図	61号住居跡出土遺物	117
第110図	32号住居跡出土遺物(1)	79	第165図	82号住居跡出土遺物	117
第111図	32号住居跡出土遺物(2)	80	第166図	62・112・113・118号住居跡	118
第112図	32号住居跡出土遺物(3)	81	第167図	62号住居跡出土遺物(1)	118
第113図	34号住居跡	82	第168図	62号住居跡出土遺物(2)	119
第114図	34号住居跡出土遺物	82	第169図	63・96号住居跡掘り方	120
第115図	35号住居跡	83	第170図	63号住居跡出土遺物	120
第116図	35号住居跡竈	84	第171図	64・73・74号住居跡	122
第117図	35号住居跡出土遺物(1)	84	第172図	64号住居跡竈	123
第118図	35号住居跡出土遺物(2)	85	第173図	64・73・74号住居跡掘り方	123
第119図	35号住居跡出土遺物(3)	86	第174図	64号住居跡出土遺物(1)	124
第120図	36号住居跡	87	第175図	64号住居跡出土遺物(2)	125
第121図	36号住居跡掘り方	88	第176図	64号住居跡出土遺物(3)	126
第122図	36号住居跡出土遺物	89	第177図	73号住居跡出土遺物	127
第123図	37・40・47号住居跡	90	第178図	74号住居跡出土遺物	127
第124図	40・47号住居跡出土遺物	90	第179図	65号住居跡	127
第125図	38号住居跡	91	第180図	65号住居跡出土遺物	128
第126図	38号住居跡出土遺物	92	第181図	68号住居跡	128
第127図	39号住居跡	93	第182図	68号住居跡出土遺物	129
第128図	39号住居跡出土遺物(1)	93	第183図	69号住居跡	129
第129図	39号住居跡出土遺物(2)	94	第184図	69号住居跡出土遺物	130
第130図	41号住居跡	94	第185図	70号住居跡(1)	130
第131図	41号住居跡出土遺物	95	第186図	70号住居跡(2)	131
第132図	42号住居跡	96	第187図	70号住居跡出土遺物(1)	131
第133図	42号住居跡出土遺物	97	第188図	70号住居跡出土遺物(2)	132
第134図	43号住居跡	97	第189図	75・97号住居跡	133
第135図	43号住居跡掘り方・出土遺物	98	第190図	75号住居跡出土遺物(1)	133
第136図	44号住居跡	98	第191図	75号住居跡出土遺物(2)	134
第137図	44号住居跡出土遺物	99	第192図	97号住居跡出土遺物	134
第138図	45・117号住居跡	100	第193図	76・92・106号住居跡	136
第139図	45号住居跡竈	100	第194図	76号住居跡出土遺物(1)	136
第140図	45・117号住居跡掘り方	101	第195図	76号住居跡出土遺物(2)	137
第141図	45号住居跡出土遺物	101	第196図	92号住居跡出土遺物(1)	137
第142図	46号住居跡出土遺物	102	第197図	92号住居跡出土遺物(2)	138
第143図	48号住居跡	103	第198図	106号住居跡出土遺物	139
第144図	48号住居跡掘り方	104	第199図	77・99号住居跡	140
第145図	48号住居跡出土遺物	104	第200図	77・99号住居跡遺物散布図	141
第146図	50号住居跡	105	第201図	77号住居跡出土遺物(1)	141
第147図	50号住居跡出土遺物	106	第202図	77号住居跡出土遺物(2)	142
第148図	51号住居跡	107	第203図	77号住居跡出土遺物(3)	143
第149図	51号住居跡出土遺物	107	第204図	99号住居跡出土遺物	143
第150図	54号住居跡掘り方	108	第205図	78・100・101・111号住居跡掘り方	145
第151図	54号住居跡出土遺物	108	第206図	78号住居跡出土遺物	146
第152図	57号住居跡掘り方	109	第207図	100号住居跡出土遺物	146
第153図	57号住居跡出土遺物	109	第208図	101号住居跡出土遺物	146
第154図	58・66・71号住居跡	110	第209図	79号住居跡	147
第155図	58号住居跡出土遺物	111	第210図	79号住居跡竈	148
第156図	66号住居跡出土遺物	111	第211図	79号住居跡出土遺物	148
第157図	59号住居跡	112	第212図	80号住居跡	149

第213図	80号住居跡出土遺物(1)……………	149
第214図	80号住居跡出土遺物(2)……………	150
第215図	81号住居跡掘り方……………	150
第216図	81号住居跡出土遺物……………	151
第217図	83号住居跡……………	151
第218図	83号住居跡出土遺物(1)……………	151
第219図	83号住居跡出土遺物(2)……………	152
第220図	84号住居跡……………	152
第221図	84号住居跡出土遺物(1)……………	152
第222図	84号住居跡出土遺物(2)……………	153
第223図	85号住居跡……………	153
第224図	85号住居跡掘り方……………	154
第225図	85号住居跡出土遺物……………	154
第226図	86号住居跡……………	155
第227図	86号住居跡出土遺物……………	155
第228図	87号住居跡……………	156
第229図	87号住居跡出土遺物……………	156
第230図	88号住居跡……………	157
第231図	88号住居跡遺物散布図……………	157
第232図	88号住居跡出土遺物(1)……………	158
第233図	88号住居跡出土遺物(2)……………	159
第234図	88号住居跡出土遺物(3)……………	160
第235図	88号住居跡出土遺物(4)……………	161
第236図	88号住居跡出土遺物(5)……………	162
第237図	88号住居跡出土遺物(6)……………	163
第238図	89・90号住居跡……………	164
第239図	89号住居跡竈……………	165
第240図	89号住居跡出土遺物(1)……………	165
第241図	89号住居跡出土遺物(2)……………	166
第242図	89号住居跡出土遺物(3)……………	167
第243図	90号住居跡出土遺物……………	168
第244図	91号住居跡……………	168
第245図	91号住居跡出土遺物……………	168
第246図	93・94号住居跡……………	169
第247図	94号住居跡出土遺物……………	169
第248図	95号住居跡……………	170
第249図	98号住居跡……………	171
第250図	98号住居跡出土遺物(1)……………	171
第251図	98号住居跡出土遺物(2)……………	172
第252図	102号住居跡……………	172
第253図	102号住居跡出土遺物(1)……………	172
第254図	102号住居跡出土遺物(2)……………	173
第255図	104・105号住居跡……………	173
第256図	104号住居跡出土遺物……………	174
第257図	105号住居跡出土遺物……………	174
第258図	107号住居跡……………	175
第259図	107号住居跡出土遺物(1)……………	175
第260図	107号住居跡出土遺物(2)……………	176
第261図	108号住居跡……………	176
第262図	108号住居跡掘り方……………	177
第263図	108号住居跡出土遺物(1)……………	177
第264図	108号住居跡出土遺物(2)……………	178
第265図	110・115・116号住居跡……………	179
第266図	110号住居跡出土遺物(1)……………	180
第267図	110号住居跡出土遺物(2)……………	181
第268図	115号住居跡出土遺物……………	181
第269図	18区1号住居跡……………	182
第270図	18区2号住居跡……………	182
第271図	18区2号住居跡柱穴……………	183
第272図	18区2号住居跡出土遺物……………	183
第273図	18区4号住居跡……………	184
第274図	18区4号住居跡出土遺物(1)……………	184
第275図	18区4号住居跡出土遺物(2)……………	185
第276図	18区5号住居跡……………	186
第277図	18区5号住居跡出土遺物……………	186
第278図	住居跡を除く遺構分布図(1)……………	189
第279図	住居跡を除く遺構分布図(2)……………	190
第280図	住居跡を除く遺構分布図(3)……………	191
第281図	住居跡を除く遺構分布図(4)……………	192
第282図	住居跡を除く遺構分布図(5)……………	193
第283図	住居跡を除く遺構分布図(6)……………	194
第284図	住居跡を除く遺構分布図(7)……………	195
第285図	16区5号・18区1号掘立柱建物跡……………	196
第286図	18区10・12号掘立柱建物跡・ 2区1号柱列跡……………	197
第287図	17区2号・18区3号柱列跡……………	198
第288図	17区3号柱穴群……………	198
第289図	8・19・20・22号井戸……………	200
第290図	24・26～28号井戸……………	201
第291図	30～34・36・37号井戸……………	202
第292図	38・2・4・5号井戸……………	203
第293図	井戸の透水層位置……………	204
第294図	15区8号井戸出土遺物(1)……………	205
第295図	15区8号井戸出土遺物(2)……………	206
第296図	17区20号・16区22・24号(1) 井戸出土遺物……………	207
第297図	16区24号井戸出土遺物(2)……………	208
第298図	16区24(3)・26号井戸出土遺物……………	209
第299図	16区27号井戸出土遺物(1)……………	210
第300図	16区27(2)・28号・17区30号井戸出土遺物……………	211
第301図	17区31・32・34・36号井戸出土遺物……………	212
第302図	16区37・38号・18区2号井戸出土遺物……………	213
第303図	18区4号井戸出土遺物……………	214
第304図	18区4号(2)・18区5号(1)井戸出土遺物……………	215
第305図	18区5号井戸出土遺物(2)……………	216
第306図	18区5号井戸出土遺物(3)……………	217
第307図	1～5号土坑……………	220
第308図	6・7・9～12号土坑……………	221
第309図	13～16・37・38・42・48号土坑……………	222
第310図	63・64・66～70・78号土坑……………	223
第311図	79～87・89・90号土坑……………	224
第312図	91・94・96・107～111・113・114号土坑……………	225
第313図	115～117・33・35・38～41号土坑……………	226
第314図	42～46・84・86～90号土坑……………	227
第315図	91～95・97・98・102～105号土坑……………	228
第316図	106～114号土坑……………	229
第317図	7区1・4号土坑出土遺物……………	230
第318図	7区5号土坑出土遺物(1)……………	231
第319図	7区5号土坑出土遺物(2)……………	232
第320図	7区5号土坑出土遺物(3)……………	233

第321図	7区5号土坑出土遺物(4)……………	234	第372図	Hr—FA下水田跡(5)……………	287
第322図	7区5号土坑出土遺物(5)……………	235	第373図	Hr—FA下水田跡(6)……………	288
第323図	7区5号土坑出土遺物(6)……………	236	第374図	Hr—FA下水田跡(7)……………	289
第324図	6区7号土坑出土遺物……………	237	第375図	Hr—FP下水田跡(1)……………	290
第325図	2区11・12・15・16・14区14号・ 17区38号土坑出土遺物……………	238	第376図	Hr—FP下水田跡(2)……………	291
第326図	17区37号土坑出土遺物(1)……………	239	第377図	Hr—FP下水田跡(3)……………	292
第327図	17区37号土坑出土遺物(2)……………	240	第378図	Hr—FP下水田跡(4)……………	293
第328図	17区48・59・85・86・108・113・ 117号・16区109・115号土坑出土遺物 ……	241	第379図	Hr—FP下水田跡(5)……………	294
第329図	17区63号土坑出土遺物(1)……………	242	第380図	Hr—FA下水田跡耕作痕全体図……………	295
第330図	17区63号土坑出土遺物(2)……………	243	第381図	Hr—FA下水田跡下層耕作痕(1)……………	296
第331図	18区33・35・44号土坑出土遺物……………	244	第382図	Hr—FA下水田跡下層耕作痕(2)……………	297
第332図	15～17・21号溝土層断面……………	246	第383図	As—C下畝跡(1)……………	306
第333図	22・24～26・29・30・68～70号溝土層断面……………	247	第384図	As—C下畝跡(2)……………	307
第334図	76・80・83・85・86・108・109・158・ 164・165号溝土層断面……………	248	第385図	As—C下畝跡(3)……………	308
第335図	22～24・55・57・72～74号溝土層断面……………	249	第386図	Hr—FA下畝跡(1)……………	309
第336図	17区17号・18区24号・2区25号溝土層断面……………	250	第387図	Hr—FA下畝跡(2)……………	310
第337図	2区26・30・63号・17区68・70・80・ 83・153・161号溝出土遺物……………	251	第388図	Hr—FP下畝跡(1)……………	311
第338図	6区1号祭祀遺物散布図……………	253	第389図	Hr—FP下畝跡(2)……………	312
第339図	6区1号祭祀出土遺物(1)……………	254	第390図	遺構外出土遺物(1)(推定集落域)……………	313
第340図	6区1号祭祀出土遺物(2)……………	255	第391図	遺構外出土遺物(2)(推定集落域・水田域) ……	314
第341図	6区1号祭祀出土遺物(3)……………	256	第392図	遺構外出土遺物(3)(水田域)……………	315
第342図	6区1号祭祀出土遺物(4)……………	257	第393図	遺構外出土遺物(4)(水田域・集落・畝域)……………	316
第343図	6区1号祭祀出土遺物(5)……………	258	第394図	遺構外出土遺物(5)(集落・畝域)……………	317
第344図	6区1号祭祀出土遺物(6)……………	259	第395図	遺構外出土遺物(6)(集落・畝域)……………	318
第345図	17区2号祭祀……………	260	第396図	遺構外出土遺物(7)(集落・畝域)……………	319
第346図	17区2号祭祀出土遺物……………	260	第397図	遺構外出土遺物(8)(集落・畝域)……………	320
第347図	18区1号遺物集中地点出土遺物……………	261	第398図	遺構外出土遺物(9)(集落・畝域)……………	321
第348図	18区1・2号方形周溝墓……………	263	第399図	遺構外出土遺物(10)(集落・畝域)……………	322
第349図	18区1・2号方形周溝墓土層断面……………	264	第400図	遺構外出土遺物(11)(集落・畝域)……………	323
第350図	18区1号方形周溝墓出土遺物……………	265	第401図	遺構外出土遺物(12)(集落・畝域)……………	324
第351図	18区1号方形区画遺構……………	265	第402図	遺構外出土遺物(13)(集落・畝域)……………	325
第352図	18区1号埋設土器……………	266	第403図	遺構外出土遺物(14)(集落・畝域)……………	326
第353図	18区1号埋設土器出土遺物……………	266	第404図	遺構外出土遺物(15)(集落・畝域)……………	327
第354図	18区2号埋設土器……………	267	第405図	遺構外出土遺物(16)(集落・畝域)……………	328
第355図	18区2号埋設土器出土遺物……………	267	第406図	遺構外出土遺物(17)(集落・畝域)……………	329
第356図	面積による水田集計表(1)……………	271	第407図	遺構外出土遺物(18)(集落・畝域)……………	330
第357図	面積による水田集計表(2)……………	272	第408図	遺構外出土遺物(19)(集落・畝域)……………	331
第358図	面積による水田集計表(3)……………	273	第409図	遺構外出土遺物(20)(集落・畝域・墓域) ……	332
第359図	面積による水田集計表(4)……………	274	第410図	遺構外出土遺物(21)(畝・墓域)……………	333
第360図	水田の長短辺比較表(1)……………	275	第411図	遺構外出土遺物(22)(畝・墓域)……………	334
第361図	水田の長短辺比較表(2)……………	276	第412図	遺構外出土遺物(23)(畝・墓域)……………	335
第362図	水田の長短辺比較表(3)……………	277	第413図	遺構外出土遺物(24)(畝・墓域)……………	336
第363図	水田の長短辺比較表(4)……………	278	第414図	遺構外出土遺物(25)(畝・墓域)……………	337
第364図	As—C下水田跡(1)……………	279	第415図	遺構外出土遺物(26)(畝・墓域)……………	338
第365図	As—C下水田跡(2)……………	280	第416図	遺構外出土遺物(27)(畝・墓域)……………	339
第366図	As—C下水田跡(3)……………	281	第417図	遺構外出土遺物(28)(畝・墓域)……………	340
第367図	As—C下水田跡(4)……………	282	第418図	グリッド出土遺物(1)……………	341
第368図	Hr—FA下水田跡(1)……………	283	第419図	グリッド出土遺物(2)……………	342
第369図	Hr—FA下水田跡(2)……………	284	第420図	グリッド出土遺物(3)……………	343
第370図	Hr—FA下水田跡(3)……………	285	第421図	グリッド出土遺物(4)……………	344
第371図	Hr—FA下水田跡(4)……………	286	第422図	グリッド出土遺物(5)……………	345



# 写真図版

- 図版1 遺跡全景（南より）  
調査区近景（中央の道路を挟んで両側を調査。南より）
- 図版2 集落全景（17区・北より）  
集落全景（17区・南より）
- 図版3 1号住居跡（西より）  
1号住居跡炭化材出土状態（西より）  
1号住居跡掘り方（南より）  
1号住居跡柱穴（南より）  
1号住居跡床下ピット2（西より）
- 図版4 2号住居跡（西より）  
1・3～5号住居跡（南より）  
3・4号住居跡掘り方（南より）  
3号住居跡貯蔵穴（南より）  
4号住居跡柱穴土層断面（南より）  
4号住居跡遺物出土状態（南より）  
5号住居跡掘り方（南より）  
5号住居跡炉（南より）
- 図版5 6号住居跡（西より）  
6号住居跡貯蔵穴（北より）  
6号住居跡竈（西より）  
6号住居跡竈掘り方（西より）  
7号住居跡（西より）  
7号住居跡竈（西より）  
7号住居跡竈掘り方（西より）  
8号住居跡（北より）
- 図版6 9・10号住居跡（西より）  
9号住居跡竈土層断面（西より）  
10号住居跡（西より）  
10号住居跡竈掘り方（西より）  
11号住居跡竈・貯蔵穴（西より）  
11号住居跡竈（西より）  
11号住居跡竈周辺遺物出土状態（南より）  
11号住居跡掘り方（南より）
- 図版7 12号住居跡遺物出土状態（西より）  
12号住居跡（西より）  
12号住居跡竈遺物出土状態（西より）  
12号住居跡竈掘り方（西より）  
14・17号住居跡遺物出土状態（南より）  
14・17号住居跡掘り方（南より）  
14号住居跡貯蔵穴（東より）  
17号住居跡貯蔵穴（南より）
- 図版8 13号住居跡（西より）  
16号住居跡（南より）  
16号住居跡柱穴（南より）  
18号住居跡（南より）  
19号住居跡（西より）
- 図版9 19号住居跡竈遺物出土状態（西より）  
19号住居跡遺物出土状態（東より）  
19号住居跡遺物出土状態（北より）  
19号住居跡柱穴土層断面（南より）
- 20号住居跡（南より）
- 図版10 21号住居跡（西より）  
21号住居跡掘り方（南より）  
21号住居跡竈（西より）  
21号住居跡貯蔵穴（西より）  
23号住居跡（南より）  
24号住居跡（南より）  
24号住居跡遺物出土状態（西より）  
24号住居跡炭化材出土状態（西より）
- 図版11 22号住居跡（南より）  
22号住居跡竈（西より）
- 図版12 25号住居跡（西より）  
25号住居跡貯蔵穴土層断面（西より）  
26・27号住居跡（西より）  
26・27号住居跡掘り方（西より）  
28号住居跡（西より）  
28号住居跡竈（西より）  
28号住居跡貯蔵穴（西より）  
28号住居跡遺物出土状態（西より）
- 図版13 29号住居跡（東より）  
29号住居跡竈（西より）  
29号住居跡貯蔵穴（西より）  
30号住居跡（東より）  
30号住居跡竈遺物出土状態（西より）  
30号住居跡竈（西より）  
30号住居跡柱穴土層断面（西より）  
31号住居跡（西より）
- 図版14 32号住居跡（東より）  
32号住居跡遺物出土状態（南より）  
32号住居跡貯蔵穴（西より）  
34号住居跡（南より）  
35号住居跡（西より）  
35号住居跡竈（西より）  
35号住居跡貯蔵穴（東より）  
35号住居跡遺物出土状態（南より）
- 図版15 36号住居跡（南より）  
36号住居跡床下ピット2（南より）  
38号住居跡（西より）  
38号住居跡掘り方（西より）  
39号住居跡掘り方（南より）  
40号住居跡（西より）  
41号住居跡（南より）  
41号住居跡貯蔵穴（南より）
- 図版16 42号住居跡掘り方（南より）  
43号住居跡掘り方（東より）  
44号住居跡掘り方（南より）  
46号住居跡掘り方（西より）  
48号住居跡（南より）  
49号住居跡（東より）  
50号住居跡（西より）  
50号住居跡遺物出土状態

- 図版17 45号住居跡（西より）  
45号住居跡竈（西より）  
45号住居跡竈土層断面（西より）  
45号住居跡貯蔵穴周辺のHr—FA（東より）  
45号住居跡柱穴土層断面（西より）
- 図版18 51号住居跡（東より）  
53号住居跡掘り方（西より）  
54号住居跡（南より）  
57号住居跡掘り方（東より）  
58号住居跡（西より）  
59号住居跡（西より）  
59号住居跡遺物出土状態（北より）  
60号住居跡（西より）
- 図版19 61号住居跡（東より）  
61号住居跡竈（西より）  
61号住居跡竈（北より）  
61号住居跡貯蔵穴（東より）  
61号住居跡掘り方（東より）
- 図版20 62号住居跡（南より）  
63・96号住居跡掘り方（西より）  
67号住居跡（西より）  
68号住居跡（西より）  
68号住居跡竈（西より）  
69号住居跡（南より）  
70号住居跡（西より）  
70号住居跡竈（西より）
- 図版21 64号住居跡竈（西より）  
64号住居跡（西より）  
64号住居跡竈遺物出土状態（西より）  
64号住居跡貯蔵穴（西より）  
64号住居跡遺物出土状態（東より）
- 図版22 73号住居跡（西より）  
75号住居跡掘り方（南より）  
75号住居跡遺物出土状態（南より）  
75号住居跡竈（南より）  
75号住居跡遺物出土状態（南より）  
76号住居跡（北より）  
76号住居跡貯蔵穴（西より）  
76・92・106号住居跡掘り方（北より）
- 図版23 77号住居跡（西より）  
77号住居跡竈（西より）  
78号住居跡（東より）  
78号住居跡貯蔵穴（西より）  
79号住居跡（西より）  
79号住居跡竈遺物出土状態（西より）  
79号住居跡竈（西より）  
80号住居跡（南より）
- 図版24 81号住居跡（南より）  
83号住居跡（西より）  
84号住居跡（西より）  
85号住居跡（西より）  
86号住居跡（南より）  
87号住居跡（南より）  
87号住居跡遺物出土状態（南より）  
87号住居跡ピット1（東より）
- 図版25 88号住居跡（西より）  
88号住居跡（西より）  
88号住居跡遺物出土状態（東より）  
88号住居跡遺物出土状態（西より）  
88号住居跡遺物出土状態（西より）
- 図版26 89・90号住居跡（西より）  
89号住居跡竈（西より）  
89号住居跡竈前遺物出土状態（西より）  
90号住居跡炉（西より）  
104・105号住居跡（西より）  
104号住居跡竈・貯蔵穴（西より）  
104号住居跡掘り方（西より）  
105号住居跡掘り方（東より）
- 図版27 106号住居跡（南より）  
106号住居跡貯蔵穴（東より）  
107号住居跡（西より）  
107号住居跡竈（西より）  
107号住居跡貯蔵穴（西より）  
110号住居跡（南より）  
115・116号住居跡（東より）  
115・116号住居跡掘り方（西より）
- 図版28 18区1号住居跡掘り方（南より）  
18区2号住居跡（北より）  
18区2号住居跡柱穴土層断面（南より）  
18区2号住居跡柱穴土層断面（南より）  
18区4号住居跡（西より）  
18区4号住居跡竈（西より）  
18区4号住居跡遺物出土状態（南より）  
18区5号住居跡（東より）
- 図版29 18区1号掘立柱建物跡（北より）  
18区10号掘立柱建物跡（西より）  
18区12号掘立柱建物跡（西より）  
1号柱列跡（西より）  
1号柱穴群（南より）
- 図版30 8号井戸（東より）  
8号井戸遺物出土状態（西より）  
8号井戸（井戸に打ち込まれた木製品）  
20号井戸（南より）  
24号井戸（東より）  
26号井戸（東より）  
28号井戸（西より）  
30号井戸（西より）
- 図版31 31号井戸（南より）  
32号井戸（西より）  
33号井戸（南より）  
34号井戸（東より）  
36号井戸（東より）  
37号井戸（西より）  
18区2号井戸（西より）  
18区4号井戸（北より）
- 図版32 1号土坑（北より）  
3号土坑（西より）  
5号土坑遺物出土状態（東より）  
6号土坑（西より）  
7号土坑（東より）

- 7号土坑（東より）  
9号土坑（南より）  
10号土坑（北西より）  
図版33 11号土坑（南より）  
12号土坑（南より）  
14号土坑（南より）  
15号土坑（東より）  
16号土坑（南より）  
37号土坑（西より）  
37号土坑遺物出土状態（南より）  
38号土坑（南より）  
図版34 64号土坑（南より）  
67号土坑（東より）  
68号土坑（東より）  
79～81号土坑（東より）  
85号土坑（西より）  
86号土坑（南西より）  
87号土坑（南より）  
89号土坑（東より）  
図版35 91号土坑（南より）  
109～111号土坑（南より）  
109号土坑遺物出土状態（西より）  
113号土坑（東より）  
18区33号土坑（北東より）  
18区33号土坑土層断面（南より）  
18区38号土坑（北より）  
18区39号土坑（東より）  
図版36 18区43号土坑（南東より）  
18区44号土坑遺物出土状態（南より）  
18区45号土坑（北より）  
18区86号土坑（東より）  
18区87号土坑（北西より）  
18区90号土坑（南より）  
18区92号土坑（南東より）  
18区93号土坑（南より）  
図版37 18区94号土坑（南より）  
18区95号土坑（北より）  
18区97号土坑（南より）  
18区98号土坑（南より）  
18区102号土坑（南より）  
18区103号土坑（南より）  
18区104号土坑（南より）  
18区105号土坑（南より）  
図版38 18区106号土坑（南より）  
18区107号土坑（南東より）  
18区108号土坑（南より）  
18区109号土坑（南より）  
18区111号土坑（南西より）  
18区112号土坑（西より）  
18区113号土坑（西より）  
18区114号土坑（西より）  
図版39 17号溝（南より）  
21号溝（南より）  
24号溝（南西より）  
25～30号溝（南より）  
68～70・80号溝（南より）  
図版40 83号溝（北より）  
158号溝（東より）  
18区22～24号溝（北より）  
18区22号溝（南東より）  
18区22号溝（南より）  
図版41 18区23号溝（南東より）  
18区24号溝（南東より）  
18区55号溝（東より）  
18区57号溝（南西より）  
18区72～74号溝（北より）  
図版42 1号祭祀跡（南より）  
2号祭祀跡（東より）  
図版43 1号遺物集中地点遺物出土状態（東より）  
1号遺物集中地点（東より）  
1号方形周溝墓（北より）  
1号方形周溝墓（空中写真）  
1号方形周溝墓（空中写真）  
図版44 1号方形周溝墓（北より）  
1号方形周溝墓土層断面（北より）  
2号方形周溝墓（北より）  
1号方形区画遺構（北より）  
1号埋設土器出土状態（南東より）  
1号埋設土器（南東より）  
2号埋設土器出土状態（南東より）  
2号埋設土器（南東より）  
図版45 3層の火山灰下の水田跡（10区・南より）  
1区As-C下水田跡（南より）  
図版46 3区As-C下水田跡（南より）  
11区As-C下水田跡（南より）  
図版47 4区As-C下水田跡（南より）  
5区As-C下水田跡（南より）  
8区北半部As-C下水田跡（南より）  
8区南半部As-C下水田跡（南より）  
9区As-C下水田跡（南より）  
10区北半部As-C下水田跡（南より）  
10区南半部As-C下水田跡（南より）  
12区As-C下水田跡（南より）  
図版48 1区Hr-FA下水田跡（南より）  
3区Hr-FA下水田跡（南より）  
図版49 4区2層水田跡（南より）  
4区Hr-FA下水田跡1号大アゼ（西より）  
図版50 5区Hr-FA下水田跡（南より）  
6区Hr-FA下水田跡（南より）  
図版51 8区北半部Hr-FA下水田跡（南より）  
8区南半部Hr-FA下水田跡（南より）  
図版52 10区Hr-FA下4号大アゼとHr-FP下2号大アゼの重複状態（南より）  
11区Hr-FA下水田跡（南より）  
図版53 2区Hr-FP下水田跡（南より）  
3区Hr-FP下水田跡（南より）  
図版54 4区Hr-FP下水田跡（南より）  
5区Hr-FP下水田跡（南より）  
図版55 6区Hr-FP下水田跡（南より）  
10区北半部Hr-FP下水田跡（南より）

- 図版56 10区南半部Hr—FP下水田跡（南より）  
 14区Hr—FP下水田跡（南より）  
 図版57 6区Hr—FA下水田関連遺構（北より）  
 14区Hr—FA下水田関連遺構（南より）  
 図版58 18区As—C下畠跡全景（北より）  
 17区南半部As—C下畠跡（北より）  
 図版59 18区北半部As—C下畠跡（南より）  
 18区南半部As—C下畠跡（西より）  
 図版60 18区中央部As—C下畠跡（南より）  
 18区東半部As—C下畠跡（南より）  
 図版61 17区Hr—FA下畠跡（南より）  
 17区南半部Hr—FA下畠跡（北より）  
 図版62 17区南半部Hr—FA下畠跡（北より）  
 18区Hr—FA下畠跡（北より）  
 図版63 16区Hr—FP下畠跡（南より）  
 17区Hr—FP下畠跡（南より）  
 図版64 1号住居跡出土遺物  
 2号住居跡出土遺物  
 図版65 3号住居跡出土遺物  
 4号住居跡出土遺物  
 5号住居跡出土遺物  
 図版66 6号住居跡出土遺物  
 7号住居跡出土遺物  
 8号住居跡出土遺物  
 9号住居跡出土遺物  
 10号住居跡出土遺物  
 図版67 11号住居跡出土遺物(1)  
 図版68 11号住居跡出土遺物(2)  
 12号住居跡出土遺物(1)  
 図版69 12号住居跡出土遺物(2)  
 13号住居跡出土遺物  
 図版70 14号住居跡出土遺物  
 15号住居跡出土遺物  
 図版71 16号住居跡出土遺物  
 17号住居跡出土遺物  
 図版72 18号住居跡出土遺物  
 19号住居跡出土遺物(1)  
 図版73 19号住居跡出土遺物(2)  
 図版74 19号住居跡出土遺物(3)  
 20号住居跡出土遺物  
 21号住居跡出土遺物(1)  
 図版75 21号住居跡出土遺物(2)  
 22号住居跡出土遺物(1)  
 図版76 22号住居跡出土遺物(2)  
 図版77 22号住居跡出土遺物(3)  
 図版78 22号住居跡出土遺物(4)  
 23号住居跡出土遺物  
 図版79 24号住居跡出土遺物  
 25号住居跡出土遺物(1)  
 図版80 25号住居跡出土遺物(2)  
 26号住居跡出土遺物  
 図版81 27号住居跡出土遺物  
 28号住居跡出土遺物(1)  
 図版82 28号住居跡出土遺物(2)  
 図版83 29号住居跡出土遺物  
 図版84 30号住居跡出土遺物(1)  
 図版85 30号住居跡出土遺物(2)  
 31号住居跡出土遺物  
 32号住居跡出土遺物(1)  
 図版86 32号住居跡出土遺物(2)  
 図版87 32号住居跡出土遺物(3)  
 図版88 34号住居跡出土遺物  
 35号住居跡出土遺物(1)  
 図版89 35号住居跡出土遺物(2)  
 図版90 36号住居跡出土遺物  
 38号住居跡出土遺物  
 図版91 39号住居跡出土遺物  
 40号住居跡出土遺物  
 図版92 41号住居跡出土遺物  
 図版93 42号住居跡出土遺物  
 43号住居跡出土遺物  
 44号住居跡出土遺物  
 45号住居跡出土遺物(1)  
 図版94 45号住居跡出土遺物(2)  
 46号住居跡出土遺物  
 47号住居跡出土遺物  
 48号住居跡出土遺物  
 図版95 49号住居跡出土遺物  
 50号住居跡出土遺物  
 図版96 51号住居跡出土遺物  
 52号住居跡出土遺物  
 53号住居跡出土遺物  
 54号住居跡出土遺物  
 57号住居跡出土遺物  
 58号住居跡出土遺物  
 59号住居跡出土遺物(1)  
 図版97 59号住居跡出土遺物(2)  
 60号住居跡出土遺物  
 61号住居跡出土遺物  
 62号住居跡出土遺物(1)  
 図版98 62号住居跡出土遺物(2)  
 63号住居跡出土遺物  
 64号住居跡出土遺物(1)  
 図版99 64号住居跡出土遺物(2)  
 図版100 64号住居跡出土遺物(3)  
 図版101 64号住居跡出土遺物(4)  
 65号住居跡出土遺物  
 図版102 66号住居跡出土遺物  
 67号住居跡出土遺物  
 68号住居跡出土遺物  
 69号住居跡出土遺物  
 図版103 70号住居跡出土遺物  
 図版104 73号住居跡出土遺物  
 74号住居跡出土遺物  
 75号住居跡出土遺物(1)  
 図版105 75号住居跡出土遺物(2)  
 76号住居跡出土遺物  
 図版106 77号住居跡出土遺物(1)  
 図版107 77号住居跡出土遺物(2)  
 図版108 77号住居跡出土遺物(3)

	78号住居跡出土遺物		26号井戸出土遺物
	79号住居跡出土遺物(1)	図版134	27号井戸出土遺物(1)
図版109	79号住居跡出土遺物(2)	図版135	27号井戸出土遺物(2)
	80号住居跡出土遺物		28号井戸出土遺物
	81号住居跡出土遺物		30号井戸出土遺物
	82号住居跡出土遺物	図版136	31号井戸出土遺物
	83号住居跡出土遺物(1)		32号井戸出土遺物
図版110	83号住居跡出土遺物(2)		34号井戸出土遺物
	84号住居跡出土遺物		36号井戸出土遺物
	85号住居跡出土遺物	図版137	37号井戸出土遺物
	86号住居跡出土遺物		38号井戸出土遺物
図版111	87号住居跡出土遺物	図版138	18区2号井戸出土遺物
	88号住居跡出土遺物(1)		18区4号井戸出土遺物(1)
図版112	88号住居跡出土遺物(2)	図版139	18区4号井戸出土遺物(2)
図版113	88号住居跡出土遺物(3)		18区5号井戸出土遺物(1)
図版114	88号住居跡出土遺物(4)	図版140	18区5号井戸出土遺物(2)
図版115	88号住居跡出土遺物(5)	図版141	18区5号井戸出土遺物(3)
図版116	88号住居跡出土遺物(6)	図版142	18区5号井戸出土遺物(4)
	89号住居跡出土遺物(1)	図版143	1号土坑出土遺物
図版117	89号住居跡出土遺物(2)		4号土坑出土遺物
図版118	89号住居跡出土遺物(3)		5号土坑出土遺物(1)
図版119	89号住居跡出土遺物(4)	図版144	5号土坑出土遺物(2)
	90号住居跡出土遺物	図版145	5号土坑出土遺物(3)
	91号住居跡出土遺物	図版146	5号土坑出土遺物(4)
	92号住居跡出土遺物(1)	図版147	5号土坑出土遺物(5)
図版120	92号住居跡出土遺物(2)	図版148	5号土坑出土遺物(6)
図版121	94号住居跡出土遺物		7号土坑出土遺物(1)
	97号住居跡出土遺物	図版149	7号土坑出土遺物(2)
	98号住居跡出土遺物		11号土坑出土遺物
	99号住居跡出土遺物	図版150	12号土坑出土遺物
図版122	100号住居跡出土遺物		16号土坑出土遺物
	101号住居跡出土遺物		15号土坑出土遺物
	102号住居跡出土遺物		14号土坑出土遺物
	104号住居跡出土遺物		37号土坑出土遺物(1)
	105号住居跡出土遺物(1)	図版151	37号土坑出土遺物(2)
図版123	105号住居跡出土遺物(2)		38号土坑出土遺物
	106号住居跡出土遺物	図版152	48号土坑出土遺物
	107号住居跡出土遺物(1)		59号土坑出土遺物
図版124	107号住居跡出土遺物(2)		63号土坑出土遺物(1)
	108号住居跡出土遺物	図版153	63号土坑出土遺物(2)
	110号住居跡出土遺物(1)	図版154	63号土坑出土遺物(3)
図版125	110号住居跡出土遺物(2)		85号土坑出土遺物
図版126	110号住居跡出土遺物(3)	図版155	86号土坑出土遺物
	115号住居跡出土遺物		108号土坑出土遺物
図版127	18区2号住居跡出土遺物		113号土坑出土遺物
	18区4号住居跡出土遺物(1)		109号土坑出土遺物
図版128	18区4号住居跡出土遺物(2)		115号土坑出土遺物
	18区5号住居跡出土遺物		117号土坑出土遺物
図版129	8号井戸出土遺物(1)	図版156	18区33号土坑出土遺物
図版130	8号井戸出土遺物(2)		18区44号土坑出土遺物
図版131	20号井戸出土遺物		18区35号土坑出土遺物
	22号井戸出土遺物	図版157	17号溝出土遺物
	24号井戸出土遺物(1)		24号溝出土遺物
図版132	24号井戸出土遺物(2)		25号溝出土遺物
図版133	24号井戸出土遺物(3)	図版158	26号溝出土遺物

- 30号溝出土遺物
- 68号溝出土遺物
- 70号溝出土遺物
- 80号溝出土遺物
- 83号溝出土遺物
- 161号溝出土遺物
- 図版159 1号祭祀跡出土遺物(1)
- 図版160 1号祭祀跡出土遺物(2)  
1号祭祀跡出土遺物(3)
- 図版161 1号祭祀跡出土遺物(4)
- 図版162 2号祭祀跡出土遺物
- 図版163 1号方形周溝墓出土遺物  
1号埋設土器出土遺物  
2号埋設土器出土遺物(1)
- 図版164 2号埋設土器出土遺物(2)  
遺物集中地点出土遺物
- 図版165 遺構外出土遺物(1) (推定集落域)
- 図版166 遺構外出土遺物(2) (推定集落域・水田域)
- 図版167 遺構外出土遺物(3) (水田域)
- 図版168 遺構外出土遺物(4) (水田域)
- 図版169 遺構外出土遺物(5) (水田域・集落・畠域)
- 図版170 遺構外出土遺物(6) (集落・畠域)
- 図版171 遺構外出土遺物(7) (集落・畠域)
- 図版172 遺構外出土遺物(8) (集落・畠域)
- 図版173 遺構外出土遺物(9) (集落・畠域)
- 図版174 遺構外出土遺物(10) (集落・畠域)
- 図版175 遺構外出土遺物(11) (集落・畠域)
- 図版176 遺構外出土遺物(12) (集落・畠域)
- 図版177 遺構外出土遺物(13) (集落・畠域)
- 図版178 遺構外出土遺物(14) (集落・畠域)
- 図版179 遺構外出土遺物(15) (集落・畠域)
- 図版180 遺構外出土遺物(16) (集落・畠域)
- 図版181 遺構外出土遺物(17) (集落・畠域)
- 図版182 遺構外出土遺物(18) (集落・畠域)
- 図版183 遺構外出土遺物(19) (集落・畠域)
- 図版184 遺構外出土遺物(20) (集落・畠域)
- 図版185 遺構外出土遺物(21) (集落・畠域・畠・墓域)
- 図版186 遺構外出土遺物(22) (畠・墓域)
- 図版187 遺構外出土遺物(23) (畠・墓域)
- 図版188 遺構外出土遺物(24) (畠・墓域)
- 図版189 遺構外出土遺物(25) (畠・墓域)
- 図版190 遺構外出土遺物(26) (畠・墓域)
- 図版191 遺構外出土遺物(27) (畠・墓域)
- 図版192 遺構外出土遺物(28) (畠・墓域)
- 図版193 遺構外出土遺物(29) (畠・墓域)
- 図版194 遺構外出土遺物(30) (畠・墓域)
- 図版195 遺構外出土遺物(31)
- 図版196 遺構外出土遺物(32)
- 図版197 遺構外出土遺物(33)  
遺構外出土遺物(34)

## 第1章 調査に至る経過

県道前橋長瀬線は、前橋市石倉町を基点とし埼玉県秩父郡長瀬町を終点とする42.5kmの幹線道路であり、県庁所在地となる前橋市街地と県下最大の商業都市である高崎市街地を結ぶ都市間連結道路でもある。しかし本路線の現状は、朝夕には慢性的な交通渋滞をきたし、その対策に加えて安全な交通環境の整備が強く望まれていた。このような状況下、前橋市榑島町から同公田町間2.3kmのバイパス道路の建設が県土木部により計画・実施されることになった。

道路建設計画にかかる埋蔵文化財への対応は、平成元年12月群馬県前橋土木事務所、群馬県教育委員会文化財保護課、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の三者により、建設事業に伴う埋蔵文化財調査に関わる、調査対象地、調査期間、調査経費などについて協議が行われた。この協議に基づき、平成2

年1月から前橋市上佐鳥町地内公田池尻遺跡の発掘調査を財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が県土木部から委託を受け着手し、またこれと並行して平成2年3月から発掘調査実施区間を除く全事業計画区間の試掘調査が実施された。試掘調査により、前橋市榑島町と六供町境界（工事基点）から上佐鳥を経て、公田町の県道高崎駒形線までの、2.3kmの区間の用地内全域で古墳時代以降の集落及び水田跡が重層的に確認され、事業地の全区間が発掘調査対象地になった。

平成2年度以降事業区間の埋蔵文化財調査は、用地買収状況及び工事計画等に従って、公田池尻遺跡（平成元・2・6・7年度実施）、榑島川端遺跡（平成3～7年度実施）、公田東遺跡（平成6・7年度実施）の3遺跡の調査が実施された。

## 第2章 調査の方法と経過

### 第1節 調査の方法

**グリッドの設定** 発掘区には記録用に一辺4mのグリッドを設定した。東西方向を西からAA・AB・AC……、南北方向を北から1・2・3……とし、グリッドの呼称は北西の交点杭により東西方向を先に南北方向を後に呼ぶこととした。国家座標の座標北に南北方向の基準線を合わせてグリッドを設定した。グリッドのAAラインは、国家座標 $X = -68050\text{m}$ にあたっている。また0ラインは $Y = 40100\text{m}$ である。

**調査区の設定** 本遺跡は道路や水道管により区切られており、任意で発掘区を設定し名称を付している。発掘区の名称は原則として北から南にかけて通し番号で、グリッド名称とは別に独自の名称を付している。

**通し番号の付し方** 本遺跡では1～17区までと18区でそれぞれに遺構番号を通し番号で付している。18

区の遺構番号には番号の前に区を付してある。

**確認面** 本報告では氾濫層と各降下火山灰下において3面の文化層を確認している。今回の報告では、As—C下(VI層下)、Hr—FA下(Vf層下)、Hr—FP下(Vd層下)、の各降下火山灰下の、計5面で検出された遺構を掲載する。

**記録の方法** 調査では図面・写真・調査所見等の記録をとった。第1分冊で報告する遺構の平面図は、18区の遺構を除いて原則として個別に実測をした。土層断面は全ての遺構で記録するようにしたが土層を残すことが困難な場合は割愛した。個別に実測した遺構平面図は原則として1：20の縮尺で測量した。井戸の一部は業者委託により、遺構平面図とエレベーション図を実測した。18区の遺構については業者委託により空中写真測量を行った。これはバルーンを使用した空中写真より図面を作成するものである。写真は個別に実測した遺構について、中型

## 第2章 調査の方法と経過

カメラによる6×9モノクロ写真、35mmモノクロ写真、35mmスライドの三種類をその都度使い分け撮影した。地上撮影に加えて、高所作業車・バルーン等からの撮影を併用したため、複数の遺構をまとめて撮影した部分もある。

調査所見は各担当が、調査にあたって気がついた点をメモした。これらの調査所見は報告書中の本文執筆に生かされている。

### 第2節 調査の経過

礪島川端遺跡は調査区が多く、他面にわたり遺構が検出されている。本報告書においては、調査経過を各年次毎に、簡略にまとめて掲載する。

#### 第3次調査 平成3年9月1日～平成4年3月25日

当年次においては、礪島川端遺跡、1区～15区までの発掘調査が行われた。2区は微高地縁辺になるが、他は低地部分にあたり、中・近世の水田跡を2面、As-B下水田跡、Hr-FP下水田跡、Hr-FA下水田跡、As-C下水田跡と計6面の水田跡を検出している。7区、15区の南端では、古墳時代の住居跡が5軒検出されている。2区では、溝、土坑、ピットが検出されている。

#### 第4次調査 平成4年4月1日～平成5年1月31日

当年次においては、礪島川端遺跡、5区、10区～13区の低地部分、16区、17区の微高地部分の発掘調査が行われた。

検出された遺構は、低地部分では、中・近世の水田跡2面、As-B、Hr-FP、Hr-FA、As-Cの各テフラ下の水田跡を検出。微高地部分では、住居跡94軒、土坑73基、井戸28基、溝74条を検出。微高地上で検出された住居跡は、重複が著しく、遺構確認が困難であった。検出された井戸は、4世紀頃に比定される者が多く、県内でも稀である。当年次における技研による空中写真測量は1回、古環境研究所による分析は2回を数える。

#### 第5次調査 平成5年11月2日～平成6年3月25日

当年次においては、礪島川端遺跡、16区中央、17区西端と南端、18区、19区発掘調査で、19区の東側

には低地がかかるが、他は微高地部分にあたる。

当年次は、2班体制で調査が行われた。16区、17区には6面に及ぶ文化層があり、近世の畠跡、河川氾濫層下の水田跡、As-B混土下の溝13条、土坑2基、Hr-FP泥流下住居跡14軒、溝8条、柱列跡1例、土坑11基、祭祀跡1ヶ所、柱穴多数、Hr-FA下の住居跡6軒、井戸2基、畠跡2面を数える。

18区、19区では中・近世の水田跡、As-B下の水田跡、19区東端ではHr-FA、As-C下で水田跡を検出している。他にも方形周溝墓を1基、溝、井戸、土坑を多数検出している。

当年次においては、礪島川端遺跡から公田池尻遺跡までの試掘を、平成6年1月6日～1月19日の間行われた。

当年次における技研による空中写真測量は5回、古環境研究所による分析は1回を数える。

#### 第6次調査 平成6年4月1日～平成7年3月25日

当年次においては、礪島川端遺跡の18区～21区までの発掘調査で、19区東側に低地がかかるが、他はいずれも微高地部分にあたる。

調査面は18区、19区で7面、18区南側で5面、20区は1面、21区は3面に及ぶ文化層がある。20区、21区での文化層が、他の区域に比較して少ないのは、圃場整備時に著しく削平されたためである。検出された遺構は、住居跡15軒、掘立柱建物跡13棟、井戸21基、土坑198基、溝209条、方形周溝墓6基、中・近世水田跡4面、As-C混土下の水田跡を数える。他に方形区画遺構1基、竪穴状遺構1基、火葬墓2基、埋設土器3基、柱列跡2条、ピット多数を検出している。21区で検出された住居跡5軒は弥生時代後期前半に比定できる。

当年次における技研による空中写真測量は14回、古環境研究所による分析は2回を数える。

#### 第7次調査 平成7年4月6日～平成7年7月31日

当年次においては、19区東端と20区の発掘調査を行う。住居跡、溝、井戸、土坑、ピットを検出。当年次における技研による空中写真測量は2回を数える。

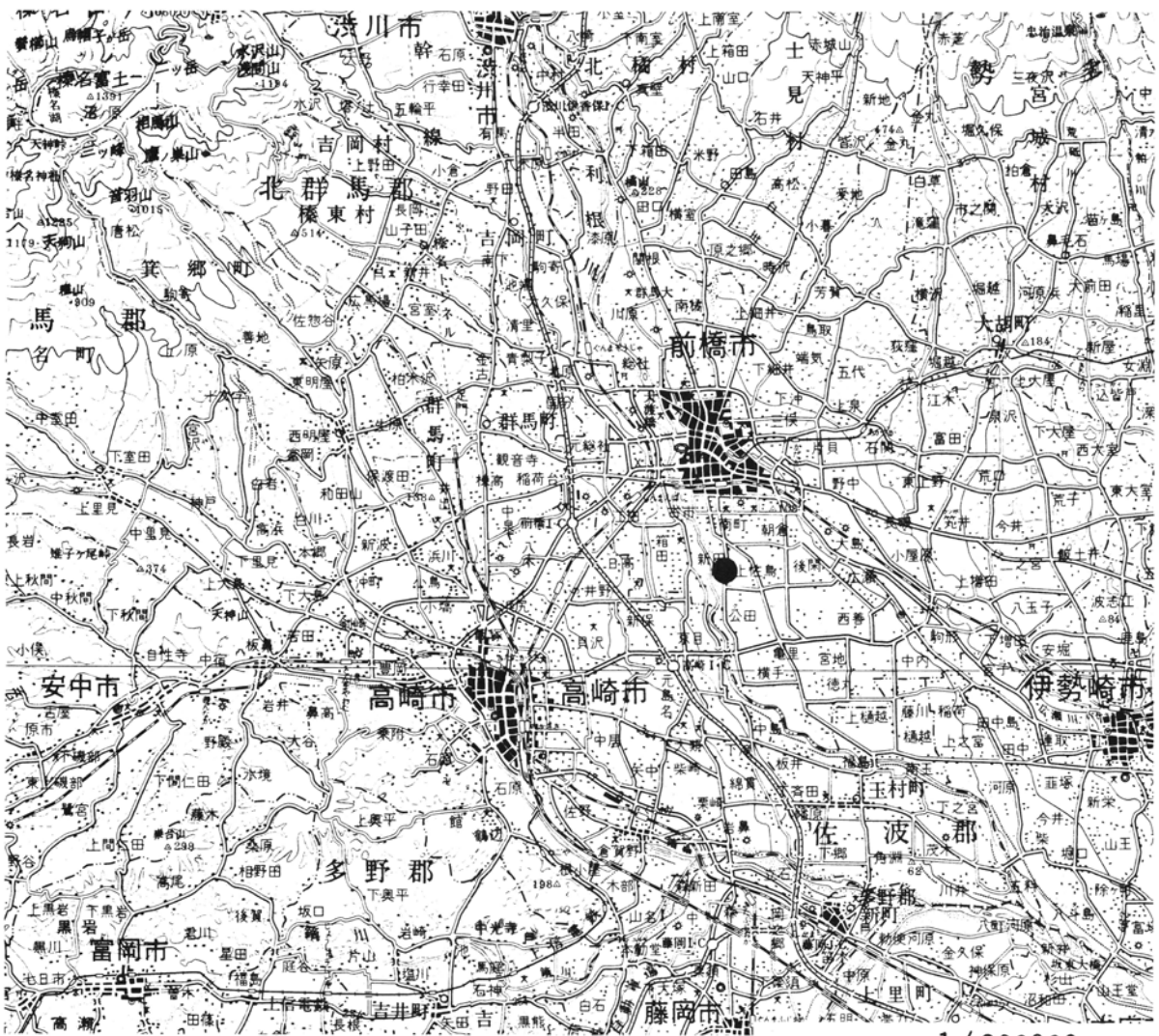


## 第3章 周辺の遺跡

本遺跡周辺での発掘調査例は少なく、従来から知られている遺跡も近隣には少ない。本遺跡周辺を広く見ると、西側3km程には、大規模開発である関越自動車道新潟線建設をはじめ、区画整理事業や河川改修工事、中小規模開発に伴う発掘調査例も多く見られる。本遺跡の北東方向約3kmには広瀬川右岸に立地する広瀬古墳群が位置する。広瀬古墳群に含まれる八幡山古墳、前橋天神山古墳、天川二子山古墳等は、本遺跡で検出された遺構の時期と前後し、関連が考えられている。本報告書においては、縄文時代から古墳時代までに限定し、発掘調査が行われた

周辺遺跡の概要と従来から知られている遺跡を時代毎にまとめていくこととする。

**縄文時代** 本遺跡では、当該期の遺構の分布は見られず、縄文時代前期後半から中期後半までの遺物が僅かに出土しただけである。本遺跡近隣にも当該期の遺跡は見られず、本遺跡からはやや距離を置くが、縄文時代前期から中期の集落が検出された上野国分僧寺・尼寺中間地域遺跡群、縄文時代の集落が検出された元総社明神遺跡Ⅷの調査例がある。本遺跡の南側では、前橋泥流上面において縄文時代草創期の土器片が出土している。



第1図 遺跡位置図

### 第3章 周辺の遺跡

**弥生時代** 縄文時代と同様に、当該期の遺構の分布は希薄である。本遺跡西側には利根川の対岸に日高遺跡をはじめ新保遺跡・新保田中村前遺跡等弥生時代後期の集落が検出されているが、本遺跡においては弥生時代と同定できる遺構は埋設土器の1基のみである。本遺跡周辺で住居跡が検出された遺跡としては、新保田中村前遺跡、新保遺跡、元総社寺田遺跡、高関村前II遺跡、高関東沖・村前遺跡、宿大類村西遺跡、高崎情報団地遺跡等が上げられる。生産跡としては、日高遺跡、新保遺跡等が上げられる。日高遺跡、新保遺跡は、この時代を代表する遺跡で、ともに弥生時代後期末から古墳時代前期に比定される水田跡が検出され、日高遺跡においては、東日本初の弥生水田の発見であり、国の指定史跡となっている。また、新保遺跡は弥生時代中期後半から中・近世へと続く複合遺跡であり、なかでも弥生時代から古墳時代前期までの大溝から多量の木製品が出土しており、東日本の木製品を考える上において標識遺跡として位置づけられている。新保遺跡には中期後半から後期終末への、後期の方形周溝墓が検出されている。

**古墳時代** 本報告書に掲載する遺構・遺物の大半は古墳時代に比定される。主な遺構は住居跡、水田跡、畠跡、溝、土坑、井戸、方形周溝墓等が上げられる。

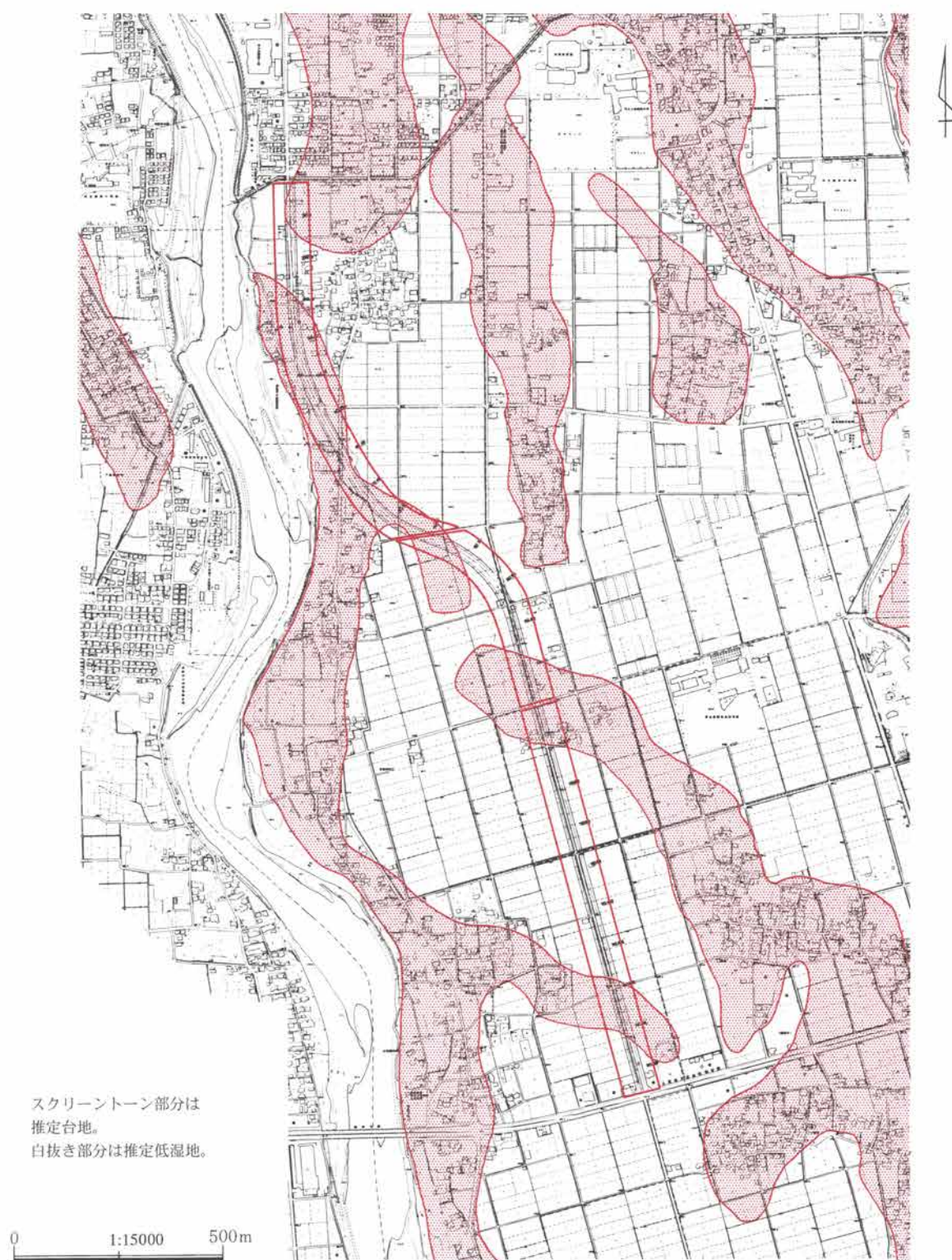
本遺跡北東方向2.6km程には八幡山古墳、前橋天神山古墳、天川二子山古墳を含む広瀬古墳群が位置する。本遺跡で検出された住居跡は、4世紀前半から7世紀まで連綿と続いている。八幡山古墳、前橋天神山古墳、二子山古墳の築造時期と前後することから、本遺跡と広瀬古墳群との関連が考えられる。本遺跡北西方向には蛇穴山古墳、宝塔山古墳、南には観音山古墳も所在する。本遺跡周辺で古墳時代の住居跡が検出された遺跡は、国分境遺跡、新保田中村前遺跡等が上げられる。

本遺跡ではAs-C、Hr-FA、Hr-FP、の各降下火山灰下において水田跡、畠跡を検出している。このことは、八幡山古墳、前橋天神山古墳の築造時期に先駆けており、水田耕作という生産的な活動を経済基盤とし、古墳築造という大事業が成されていたことが考えられる。本遺跡周辺で古墳時代の水田が検出された遺跡は、新保田中村前遺跡、元総社寺田遺跡、西横手遺跡群等が上げられる。

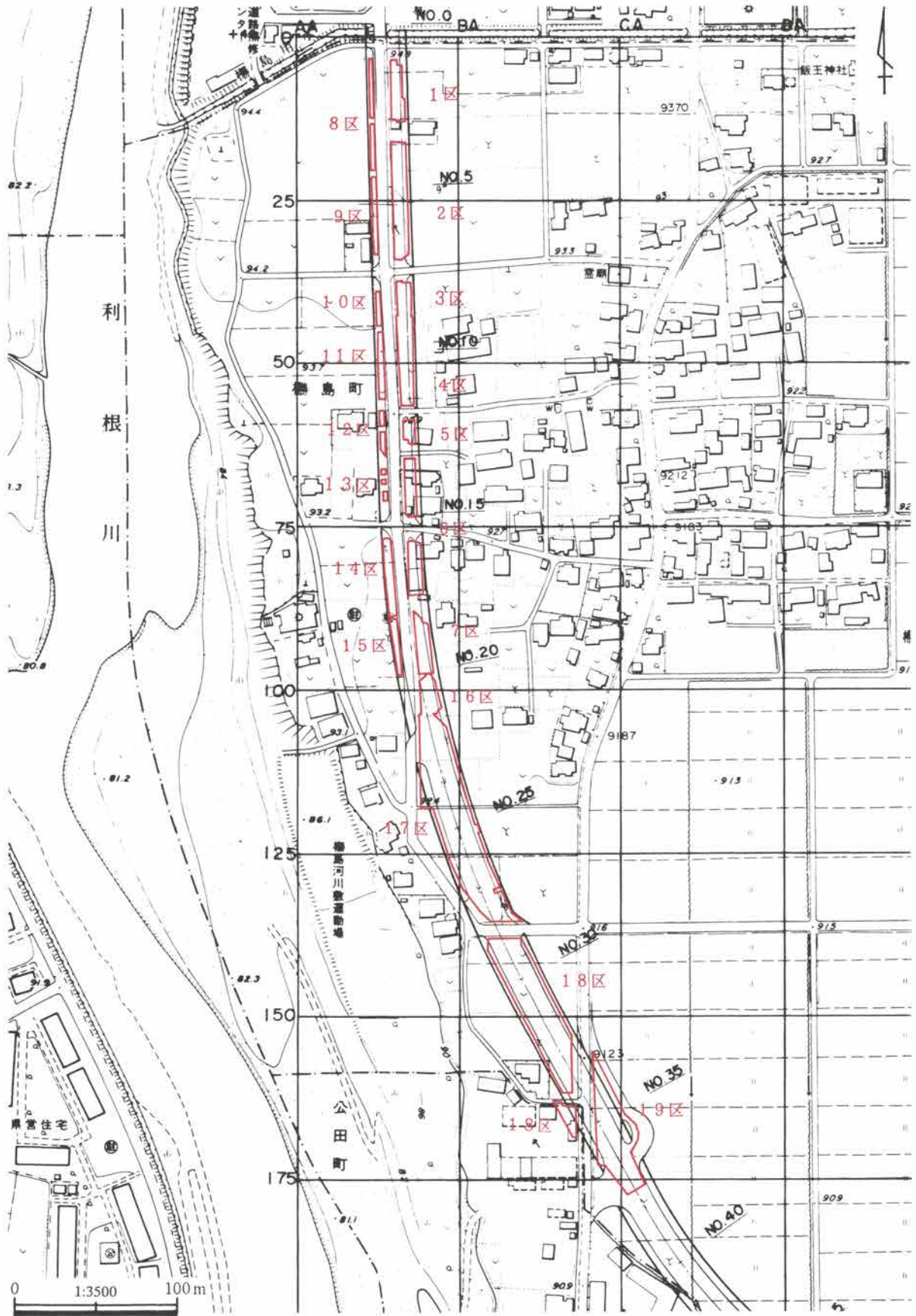
番号	遺跡名	遺跡の概要	文献
1	国分境遺跡	古墳時代後期から平安時代にかけての集落遺跡。竪穴住居跡150軒。	『国分境遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団1990
2	上野国分寺・尼寺中間地域遺跡群	縄文時代～中世の集落遺跡。竪穴住居跡1300軒。	『上野国分寺・尼寺中間地域遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団1996～1988
3	新保田中村前遺跡	弥生～平安時代の住居跡。160軒方形周溝墓、木器、骨角器等。	『新保田中村前遺跡I～IV』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団1990～1988
4	日高遺跡	弥生時代の水田、住居跡、溝、方形周溝墓。	『日高遺跡(I)』1979 『日高遺跡(II)』1980 『日高遺跡(III)』1981 『日高遺跡(IV)』1982 高崎市教育委員会『日高遺跡』1982財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
5	新保遺跡	弥生～平安時代の集落跡、周溝墓。	『新保遺跡I』1986 『新保遺跡II』1988 『新保遺跡III・蛭沢遺跡』1988財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
6	蛭沢遺跡	古墳時代の井戸跡、住居跡。	『新保遺跡・蛭沢遺跡』前出5同書
7	草作遺跡	古墳時代後期・平安時代住居跡。	『草作遺跡』前橋市埋蔵文化財調査団1985
8	大友屋敷III遺跡	古墳時代中・後期、奈良平安時代住居跡。	『大友屋敷III遺跡』前橋市埋蔵文化財調査団1987
9	元総社明神遺跡	古墳時代～平安時代住居跡。	『元総社明神遺跡I～XII』前橋市教育委員会1982～1994
10	東田遺跡	古墳時代前期の包含層。	『平成2年 文化財調査報告集 第21集』前橋市教育委員会1991
11	赤鳥遺跡	古墳時代住居跡、土坑、溝、畝状遺構、中・近世の溝。	『赤鳥遺跡』前橋市教育委員会1985
12	生川遺跡	古墳時代住居跡、奈良・平安住居跡等。	『生川遺跡』前橋市教育委員会1988
13	屋敷遺跡	古墳時代・平安時代住居跡、中世蒼海城掘り。	『屋敷遺跡』前橋市教育委員会1987
14	元総社小学校校庭遺跡	古墳時代住居跡、国府関連？掘立柱建物跡。	尾崎喜左雄『第三編 古代下 第一章 国司政治』『前橋市史』第1巻 前橋市教育委員会1971
15	神明東遺跡	古墳～平安時代住居跡、土坑、溝。	『神明東遺跡』前橋市教育委員会1987
16	中尾遺跡	古墳～平安時代住居跡279軒、土坑、井戸、溝。	『中尾遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団1983
17	元総社寺田遺跡	弥生～古墳時代住居跡、古墳時代木製品多数。	『元総社寺田遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団1983～1994
18	下大類蟹沢遺跡	古墳～奈良・平安時代住居跡100軒、古墳、井戸。	『下大類蟹沢遺跡』高崎市教育委員会1993
19	高関村前II遺跡 高関東沖・村前遺跡	弥生～古墳時代住居跡、中近世掘立柱建物跡、古墳時代畠跡、平安時代水田跡。	『高関村前II遺跡・高関東沖・村前遺跡』高崎市教育委員会1995
20	上滝遺跡	古墳時代前期、奈良時代住居跡、中近世溝。	『八幡原A・B、上滝、元島名A遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団1981
21	綿貫遺跡	古墳～奈良時代住居跡、古墳時代周溝墓。	『綿貫遺跡』高崎市教育委員会1985
22	宿大類村西遺跡	弥生時代住居跡、壺棺、周溝墓、奈良・平安時代住居跡。	『宿大類村西遺跡VII 矢島町村西・増殿遺跡』高崎市教育委員会1986
23	元島名遺跡	縄文・弥生・古墳時代包蔵地、集落跡、中世の溝。	『元島名遺跡』高崎市教育委員会1979
24	西横手遺跡群	As-B、Hr-FA畠、水田跡。	『西横手遺跡群(1)(2)』高崎市教育委員会1989 1990
25	上野国分尼寺	奈良・平安時代の礎石、築地、堀を検出。	『上野国分尼寺跡発掘調査報告書』群馬県教育委員会1970 1971
26	高崎情報団地遺跡	縄文～奈良・平安時代住居跡、中世館跡。	『高崎情報団地遺跡・現地説明会』資料
27	貝沢柳町遺跡	方形周溝墓、埴輪棺、奈良平安時代住居跡。	『貝沢柳町遺跡』高崎市教育委員会1986



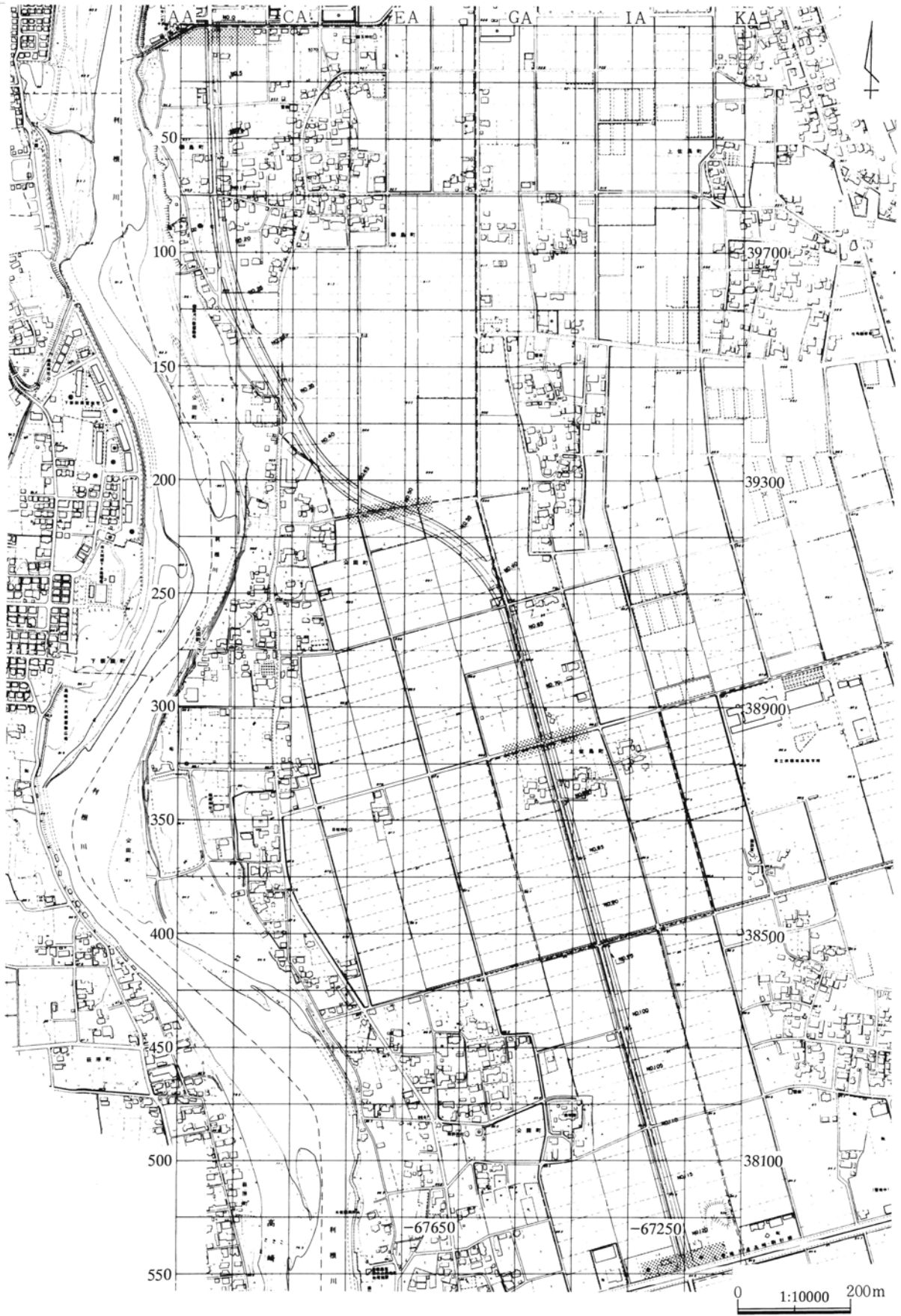
第2図 遺跡周辺図



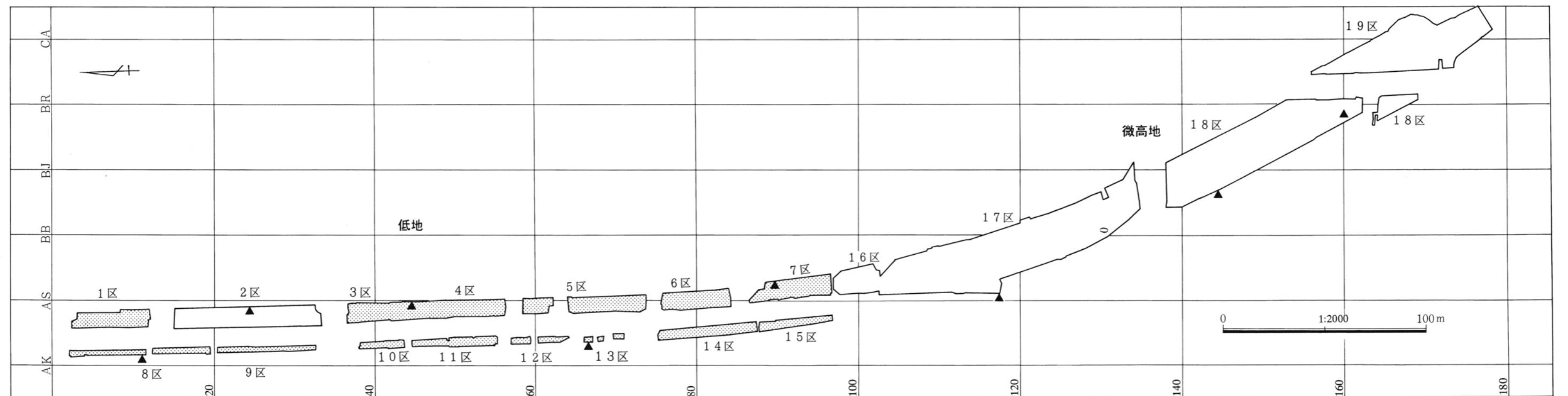
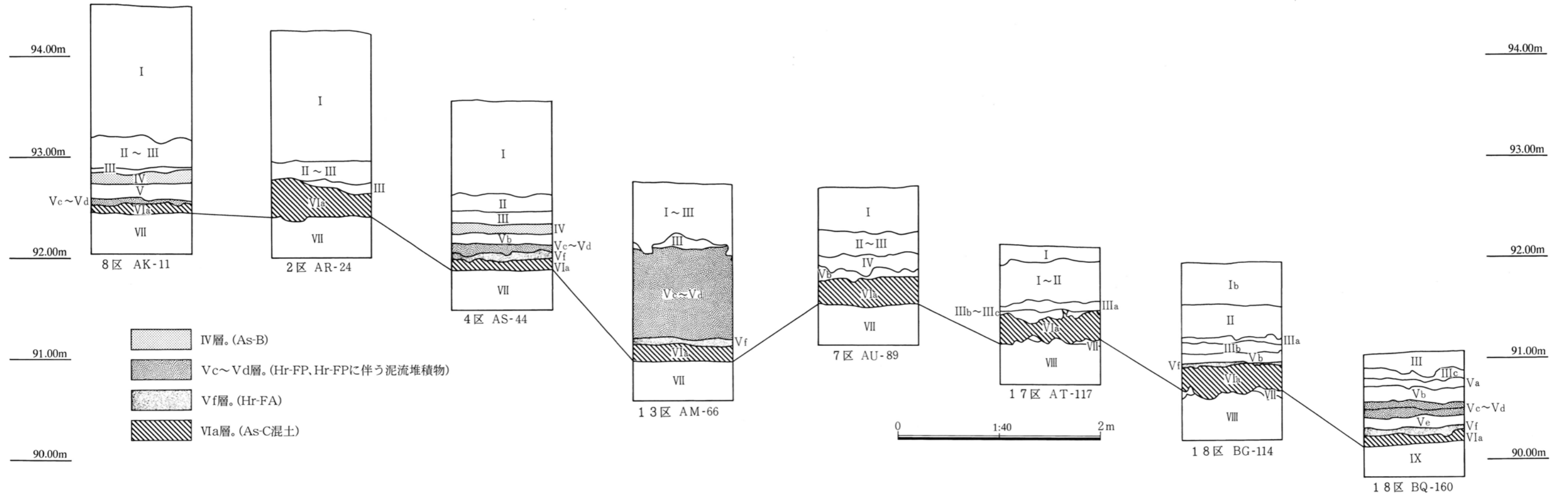
第3図 遺跡周辺の地形分類



第4図 調査区設定図



第5図 グリッド設定図・遺跡区分図

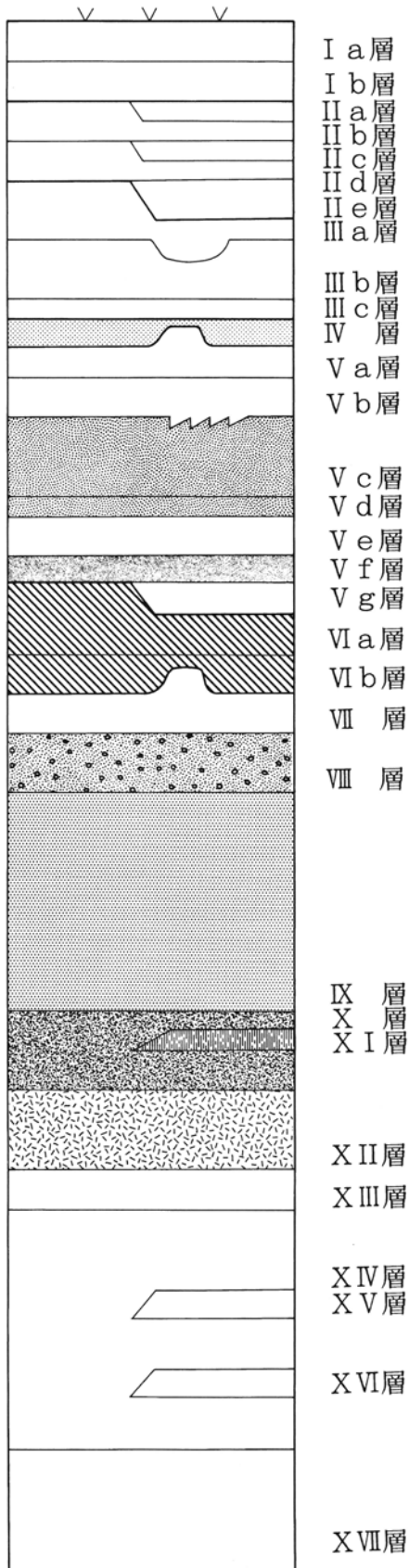


第6図 調査区土層図





# 第4章 基本土層



- I a 層 現表土
- I b 層 灰褐色土。As-Aを微量含む。シルト質でソフト。
- II a 層 白色シルト。第1氾濫層(1H)。
- II b 層 灰白色土1H下水田耕作土。
- II c 層 白色シルト。第2氾濫層。
- II d 層 灰色土。2H下水田跡耕土。
- II e 層 白色シルト。第3氾濫層(3H)。
- III a 層 灰色土。As-Bを多量に含む。3H下水田跡耕土。
- III b 層 灰褐色土。As-Bを多量に含む。班鉄あり。
- III c 層 灰褐色土とAs-Bのブロック混土。
- IV 層 As-B。
- V a 層 黒褐色土。As-B下水田耕土。
- V b 層 灰褐色土。条里制時の耕土。Hr-FPを耕土化。
- V c 層 Hr-FPに伴う泥流堆積物。(FPF-2)。
- V d 層 Hr-FP。
- V e 層 Hr-FAに伴う泥流堆積物(FPF-1)。
- V f 層 Hr-FA。
- V g 層 灰白色シルト。洪水堆積物。
- VI a 層 黒色粘質土。As-Cを含む。
- VI b 層 As-C。
- VII 層 黒色粘質土。
- VIII 層 淡褐色粘質土。
- IX 層 総社砂層。
- X 層 前橋泥炭下部。
- XI 層 As-SJ。
- XII 層 As-YP。
- XIII 層 前橋泥炭下部。
- XIV 層
- XV 層 As-OP1かAs-OP2。
- XVI 層 As-BP3。
- XVII 層 前橋泥流。

第7図 基本土層図

## 第5章 遺構と遺物

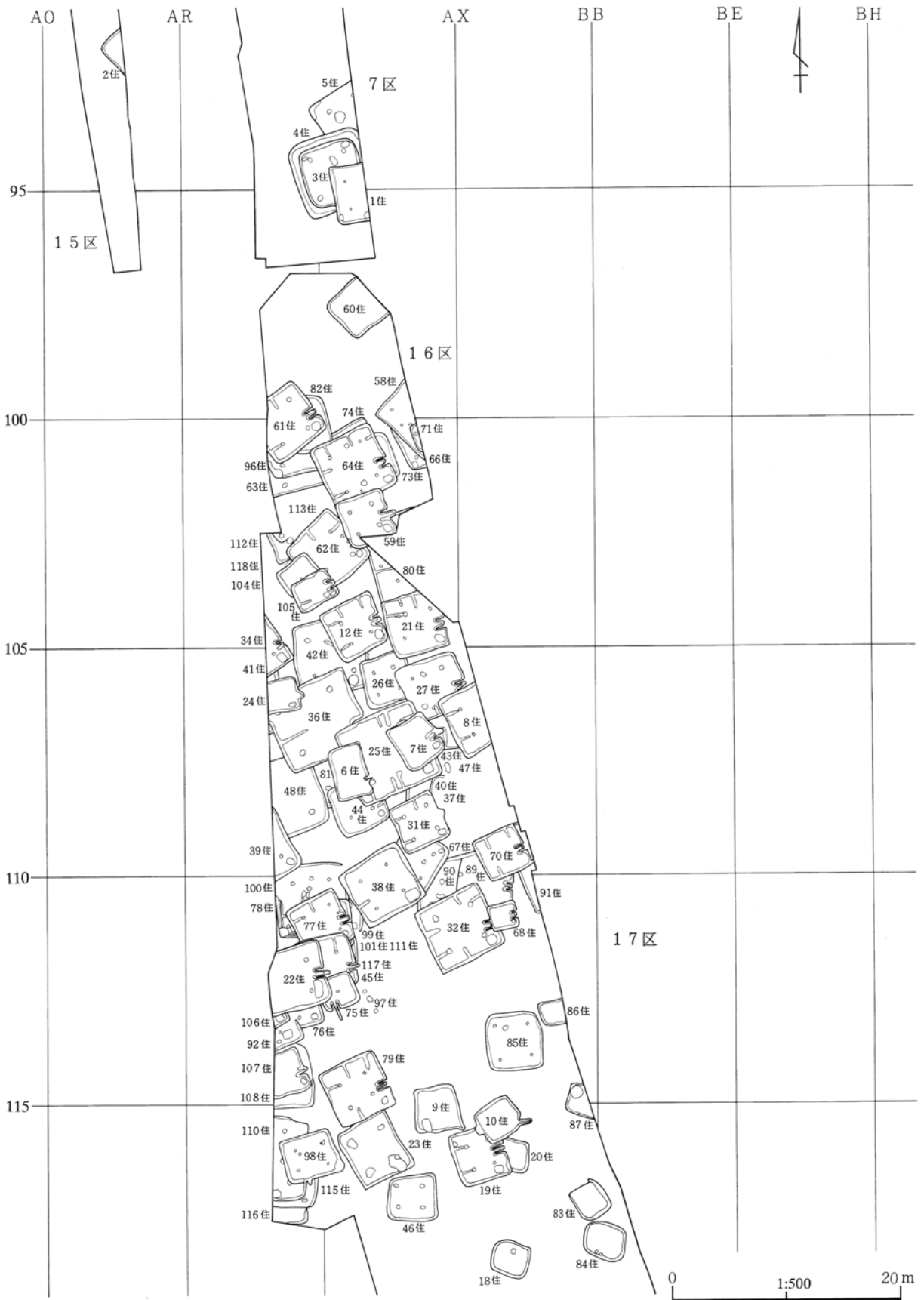
### 第1節 概要

本報告書においては、縄文時代前期から古墳時代までの報告をする。本遺跡地は榛名山南東麓に広がる相馬ヶ原扇状地の、さらに南東に広がる低平地に位置し、北から南へ蛇行する低地と微高地上に立地する。

本遺跡は当時の土地利用方法の違いから、「推定集落域」、「水田域」、「集落・畠域」、「畠・墓域」の4つの地域に大別でき、便宜上この呼称を使用する。本遺跡北側である2区は微高地縁辺部の可能性が高く、本遺跡の東側に集落が予想されるため「推定集落跡」と考える。本遺跡北側にある1区から15区までの低地には、As-C、Hr-FA、Hr-FPの各降下火山灰下で水田跡を検出しており、「水田域」と考えている。16区、17区を中心とした微高地では住居跡と畠跡が検出され、「集落・畠域」と考えている。同じく微高地である18区南側では方形周溝墓、埋設土器を検出している。18区ではAs-C、Hr-FAの各降下火山灰下で畠跡を検出しており、18区を「畠・墓域」と考えている。

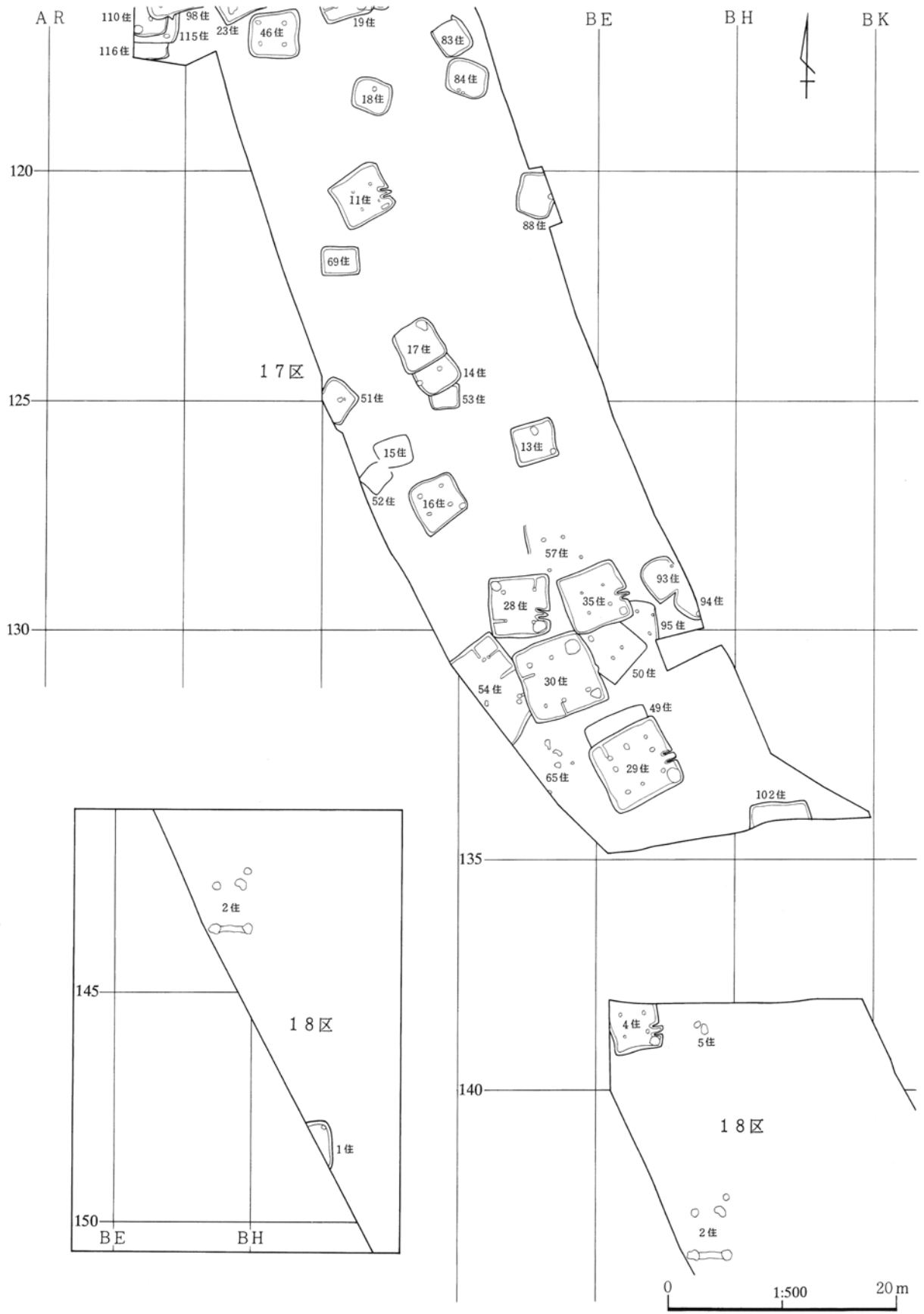
本遺跡において確認された遺構は、住居跡112軒、掘立柱建物跡4棟、柱列跡3列、井戸19基、土坑88基、溝33条、祭祀跡2箇所、遺物集中地点1箇所、方形周溝墓2基、方形区画遺構1基、埋設土器2基、水田跡3面、畠跡3面を数える。住居跡は16、17区の微高地を中心に確認され、4世紀前半から7世紀前半までの住居跡を検出している。井戸は古墳時代前期のものが大半を占め、住居跡間を埋めるように井戸も散在して確認できる。土坑は2区の微高地及び16区から18区までの微高地で散在して検出されている。「集落域」と「畠・墓域」の境になる18区北側では、古墳時代前期の掘立柱建物跡3棟が集中して検出されている。「墓域」である18区南側には古墳時代前期の方形周溝墓と同時期の埋設土器、弥生時代

中期の埋設土器が検出されている。本遺跡において弥生時代と同定できる遺構は本埋設土器のみである。本遺跡南側には弥生時代終末の住居跡が確認できるが、時期的にも距離的にも離れているので18区周辺に弥生時代中期の集落が存在したことが考えられる。18区では方形周溝墓等の墓制に関連する遺構が検出されたが、As-C下畠跡は18区全域で検出されている。墓域という特別な地域としての意識は弥生時代中期から古墳時代前期までであったのかもしれないが、18区は古墳時代前期以降、全域を畠として利用されている。水田跡は北側の1区から15区までの榛名山起源の埋没河川上で検出されている。As-C、Hr-FA、Hr-FPの各降下火山灰下で3面の水田面が検出されており、As-C下水田跡は1区から12区までの低地で検出されている。Hr-FA、Hr-FP下水田跡は1区から15区までの範囲で検出されており、As-C降下以降からHr-FA降下以前の間には水田の開拓が進んでいたことが分かる。Hr-FA下水田跡に関連する遺構として1号祭祀跡が検出されている。これは土器を中心に滑石製品が散在している祭祀で、Hr-FA下水田跡耕土中で検出された6区大アゼの脇に位置している。畠跡も各降下火山灰下で3面確認されている。16区、17区の微高地では、各時期の住居跡間で検出されている。As-C下畠跡は16区から18区の間でほぼ全域に検出されている。Hr-FA下、Hr-FP下畠跡は16区から18区北側の、比較的限られた地域で検出されている。



第8図 住居跡分布図(1)

第5章 遺構と遺物



第9図 住居跡分布図(2)

第2節 住居跡

1号住居跡

(第10～12図・写真図版3・4・64)

位置 AU-95

重複 3・4号住居跡と重複し、新旧関係は3・4号住居跡より新しい。

形状 不明

規模 長軸5.1×短軸3.15m

長軸方位 N-8°-W

壁高 4～24cm

周溝 全周する。規模は幅10～20cm、深さ3～5cmを測る。

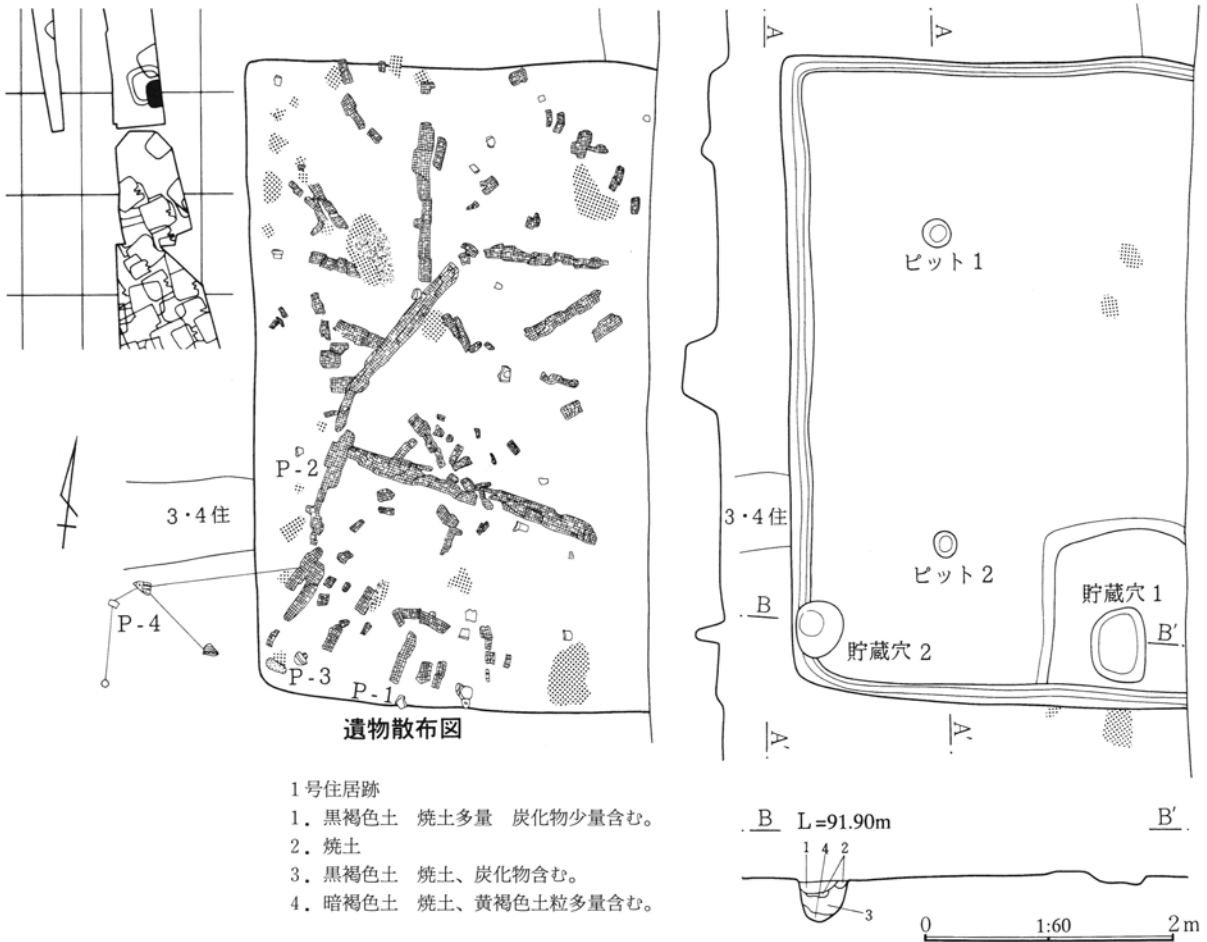
柱穴 ピットを2基確認した。規模は1、33×30cm、深さ43cm、柱痕径21cm。2、58×40cm、深さ56cm、柱痕20cm×19cmを測る。炉・竈は確認されていない。

貯蔵穴 南壁中央、南西隅の2箇所に確認した。1、形状は隅丸長方形を呈し、規模は57×45cm、深さ5cm。2、形状は楕円形を呈し、規模は45×37cm、深さ32cmを測る。

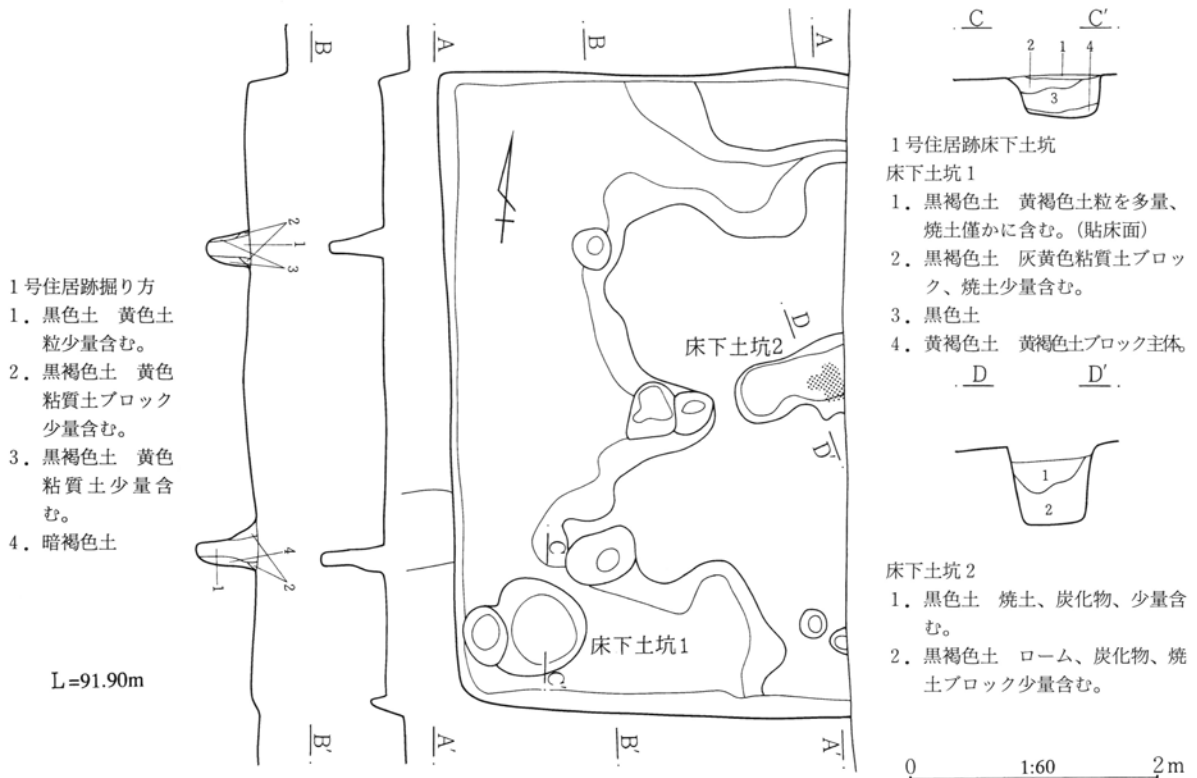
掘り方 床下土坑を2基確認した。規模は1、80×79cm、深さ33cm。2、90×61cm、深さ62cmを測る。

出土遺物 内斜口縁坏、高坏、甕、須恵器臙、波状文が施される樽形臙が出土している。

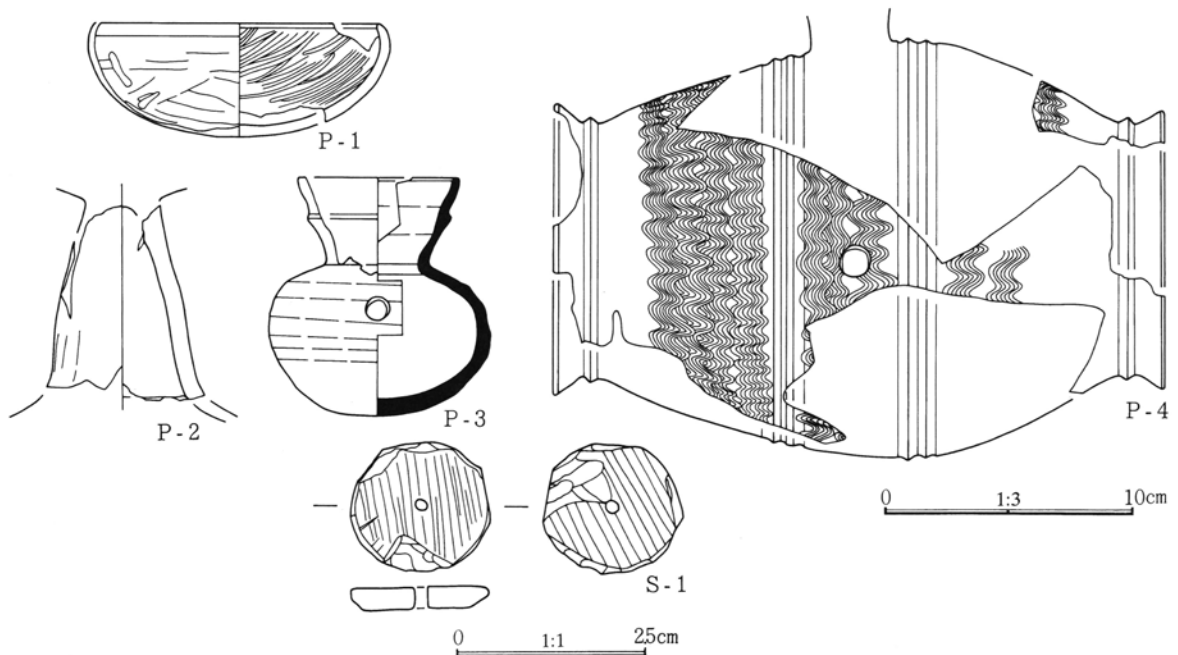
所見 出土遺物から、5世紀前半の住居跡と考えられる。



第10図 1号住居跡



第11図 1号住居跡掘り方



第12図 1号住居跡出土遺物

2号住居跡

(第13図・写真図版1・64)

位置 AP-91

重複 単独

形状 不明

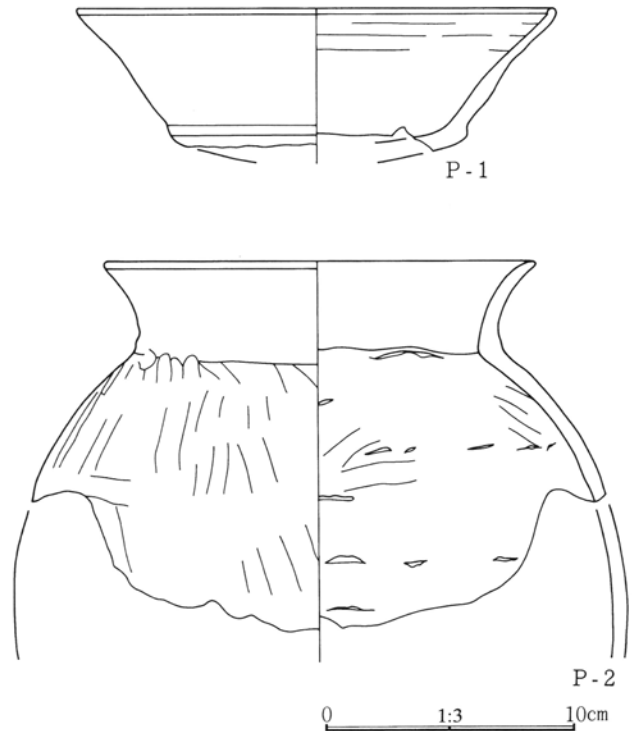
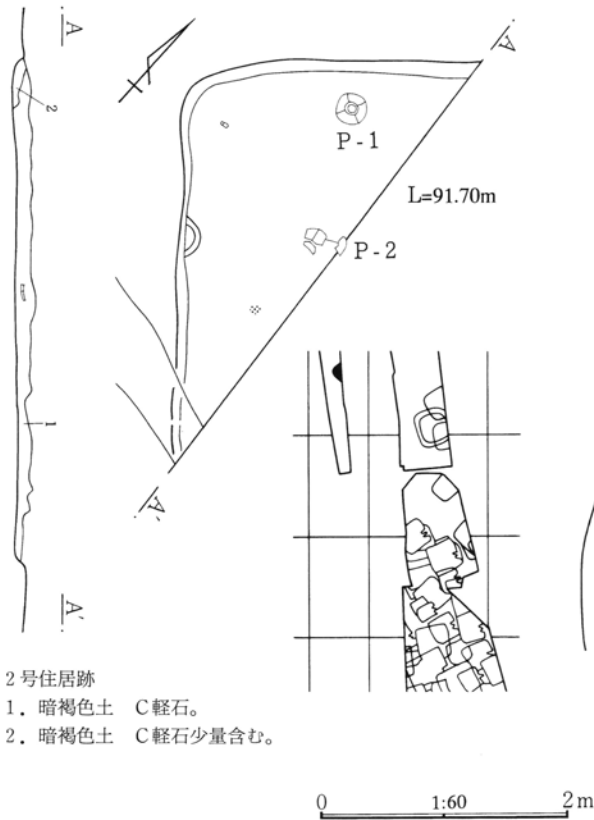
規模 長軸 $3.2+\alpha$ ×短軸 $2.4+\alpha$ m

長軸方位 N-42°-W

壁高 3~6cm

柱穴・炉・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。  
 出土遺物 高坏1と土師器甕が出土している。

所見 4世紀末から5世紀前半と考えられる。



2号住居跡  
 1. 暗褐色土 C軽石。  
 2. 暗褐色土 C軽石少量含む。

第13図 2号住居跡

3・4号住居跡

(第14～17図・写真図版4・65)

位置 AU-94

重複 1・3・5号住居跡と重複し、新旧関係は1号住居跡より旧く、5号住居跡より新しい。

また当初は2軒の重複とし、3・4としたが1軒の拡張である。

形状 隅丸方形

規模 当初 長軸5.5×短軸5.27m  
 拡張後 長軸6.7×短軸6.65m

長軸方位 当初 N-72°-E  
 拡張後 N-14°-W

壁高 2～4cm

周溝 全周する。幅15～41cm、深さ8～16cm

柱穴 拡張以前、以後の8本を確認した。規模は1、47×35cm、深さ44cm。2、32×31cm、深さ30cm。3、

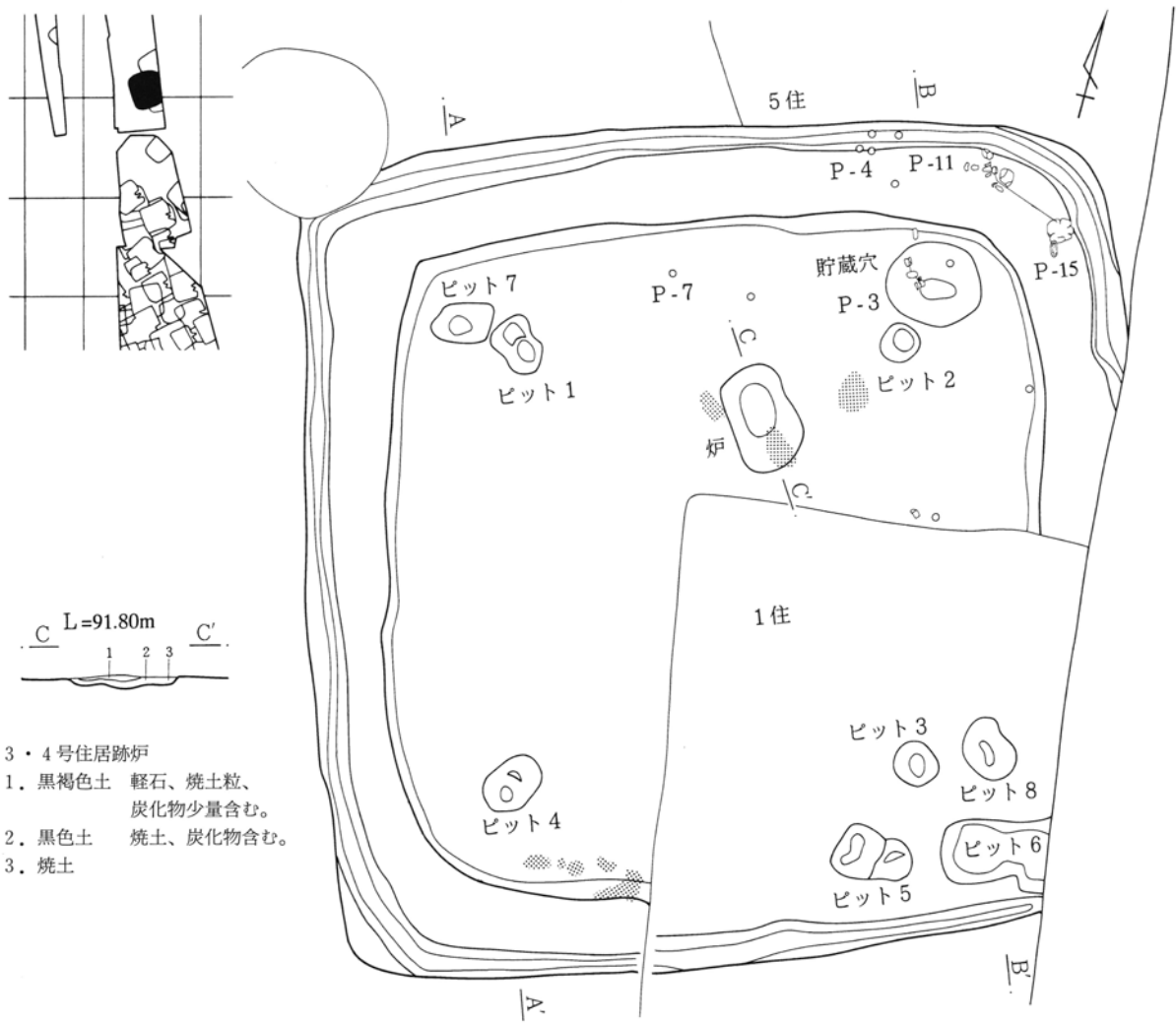
37×35cm、深さ31cm。4、57×36cm、深さ57cm。5、45×35cm、深さ29cm。6、86+α×55cm、26cm。7、53×34cm、深さ57cm。8、32×38cm、深さ32cmを測る。

炉 住居跡の中央に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は86×53cm、深さ9cmを測る。

貯蔵穴 北東隅に確認した。形状は円形を呈し、規模は75×59cm、深さ70cmを測る。

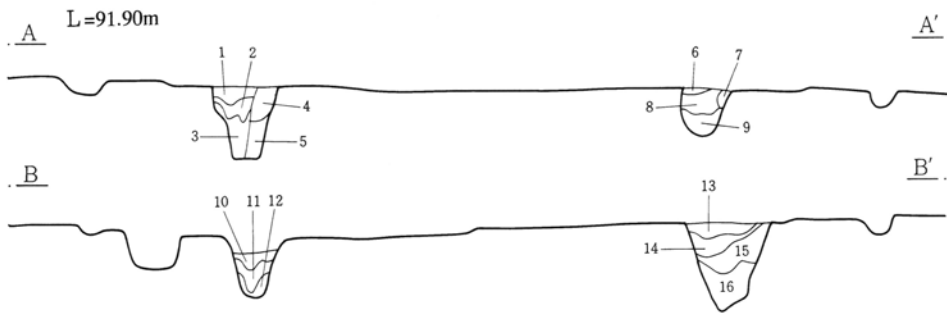
出土遺物 S字状口縁台付甕、パレススタイル壺は底部に櫛描文が施され、在地での変容が伺える。また樽式土器破片、北陸に系譜を持つ異形高坏の破片、畿内系小型埴が供伴出土している。

所見 出土遺物から、4世紀前半の住居跡と考えられる。



3・4号住居跡炉

- 1. 黒褐色土 軽石、焼土粒、炭化物少量含む。
- 2. 黒色土 焼土、炭化物含む。
- 3. 焼土



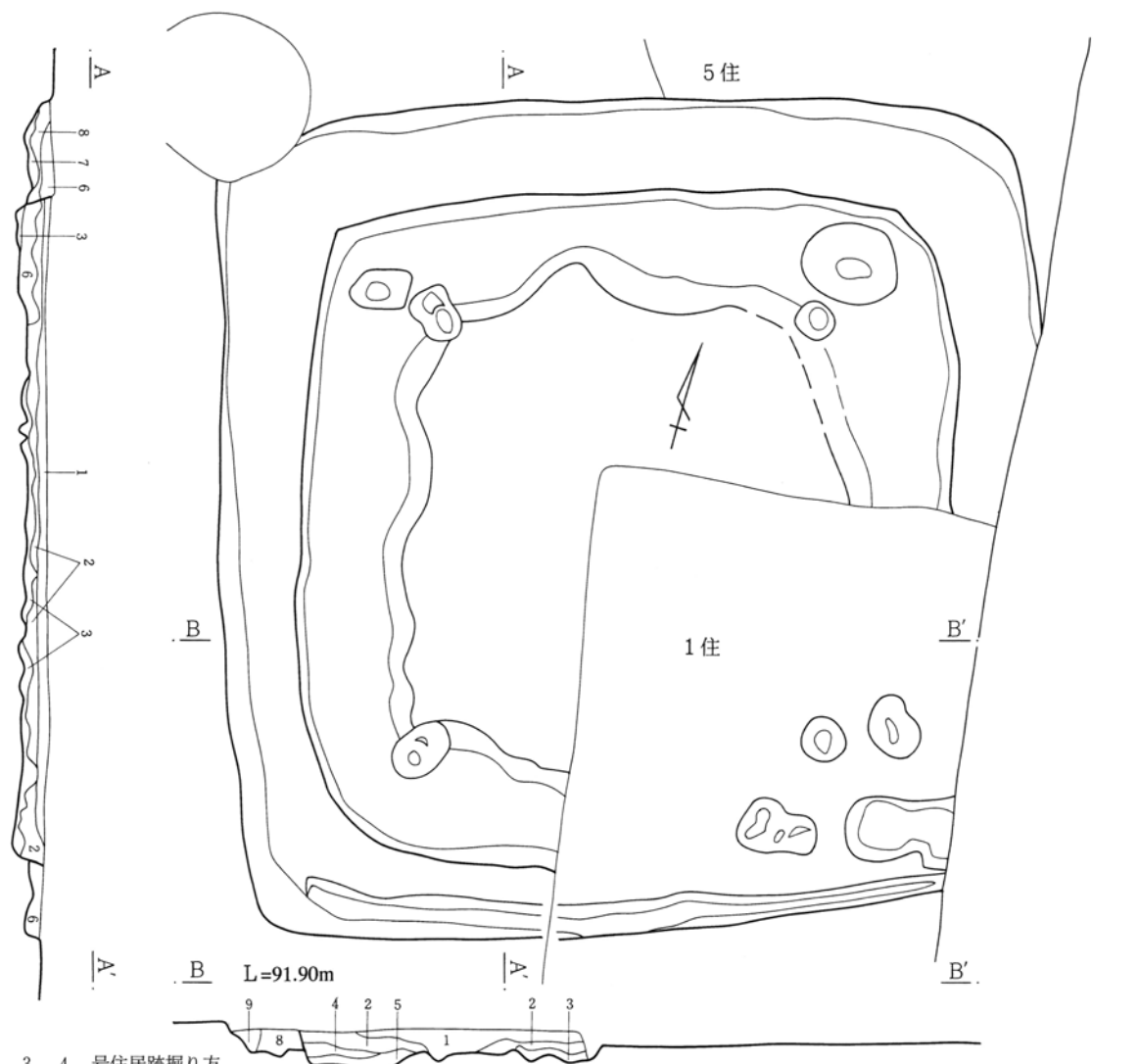
3・4号住居跡

- 1. 黒褐色土 軽石含む。
- 2. 黒褐色土 炭化物含む。
- 3. 暗褐色土 褐色土粒少量含む。
- 4. 黒褐色土 軽石少量含む。
- 5. 黒褐色土 黄褐色土粒少量含む。
- 6. 黒褐色土 焼土多量含む。
- 7. 暗褐色土 黄褐色土ブロック多量含む。
- 8. 黒褐色土 黄褐色土含む。
- 9. 暗褐色土
- 10. 黒褐色土 黄褐色土粒微量含む。
- 11. 黒褐色土 軽石微量含む。
- 12. 暗褐色土 褐色土粒含む。
- 13. 黒褐色土 炭化物含む。
- 14. 黒色土 焼土粒含む。
- 15. 黒褐色土
- 16. 灰黄褐色土 黄色土混土。

0 1:60 2m

第14図 3・4号住居跡



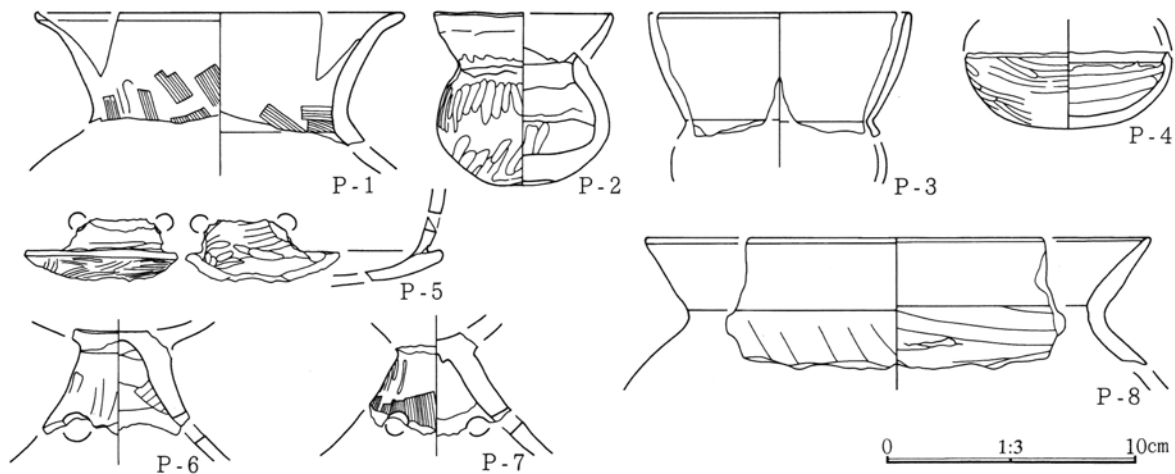


3. 4. 号住居跡掘り方

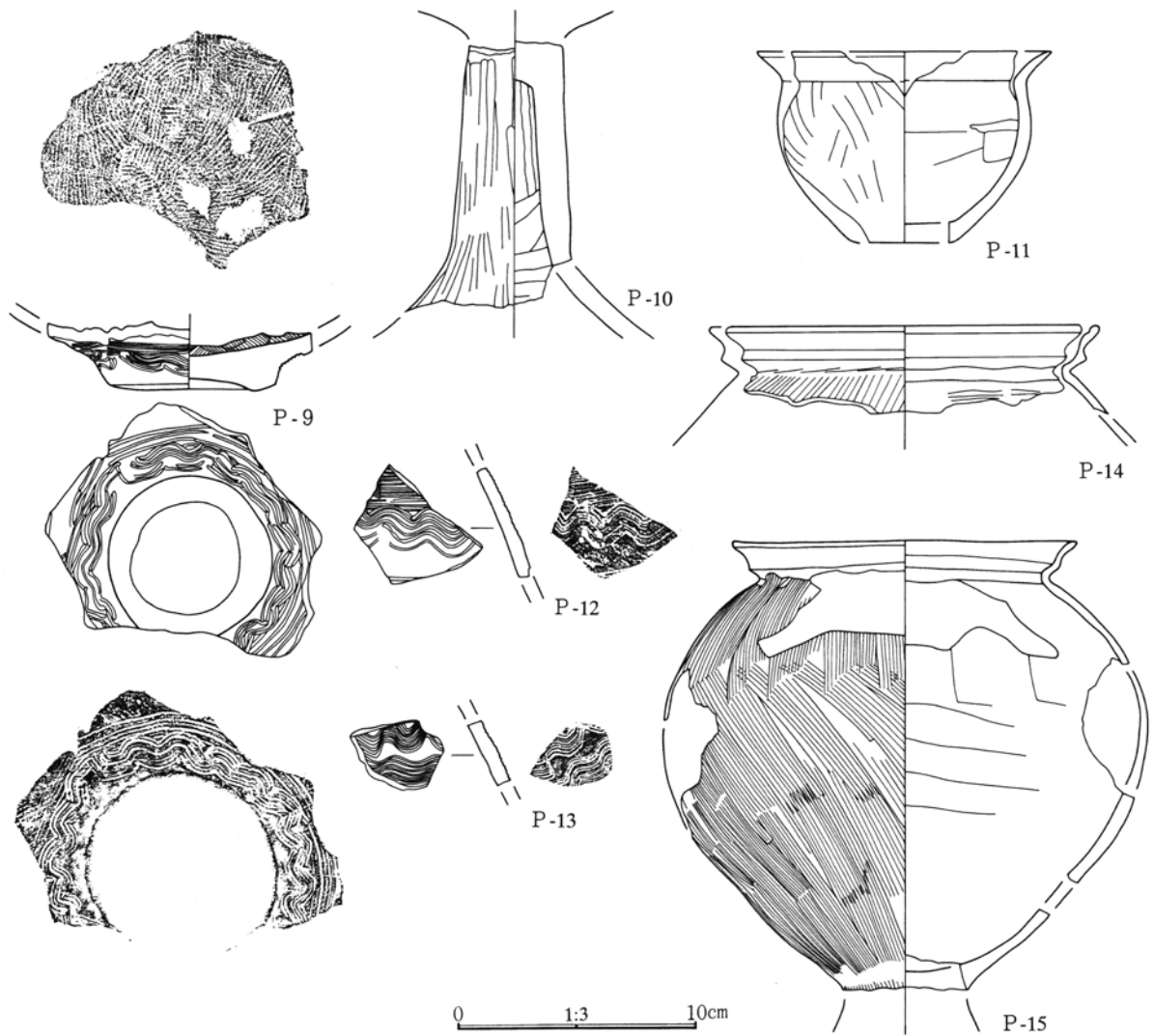
- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1. 黒褐色土 軽石多量、砂を含む。(貼床) | 6. 黒褐色土 黄褐色土粒少量含む。 |
| 2. 黒褐色土 軽石少量含む。        | 7. 暗褐色土 軽石少量含む。    |
| 3. 黒褐色土 黄褐色土ブロック含む。    | 8. 黒色土             |
| 4. 黒褐色土 軽石含む。          | 9. 暗褐色土 軽石微量含む。    |
| 5. 黒褐色土 黒色土混土。         |                    |

0 1:60 2m

第15図 3・4号住居跡掘り方



第16図 3・4号住居跡出土遺物(1)



第17図 3・4号住居跡出土遺物(2)

5号住居跡

(第18～20図・写真図版4・65)

位置 AU-93

重複 3・4号住居跡と重複し、新旧関係は5号住居跡が古い。

形状 不明

規模 長軸5.75m×短軸4.85+ $\alpha$ m

長軸方位 N-33°-W

周溝 部分的に確認された。規模は幅15～25cm、深さ6～12cm。

柱穴 ピットを3基確認した。規模は1、46×31cm、深さ45cm。2、31+ $\alpha$ ×31cm、深さ47cm。3、31×26

cm、深さ40cmを測る。

炉 北西部に確認した。形状は不整円形を呈し、規模は110×105cm、深さ7cmを測る。

貯蔵穴 南西隅に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は64×50cm、深さ12cmを測る。

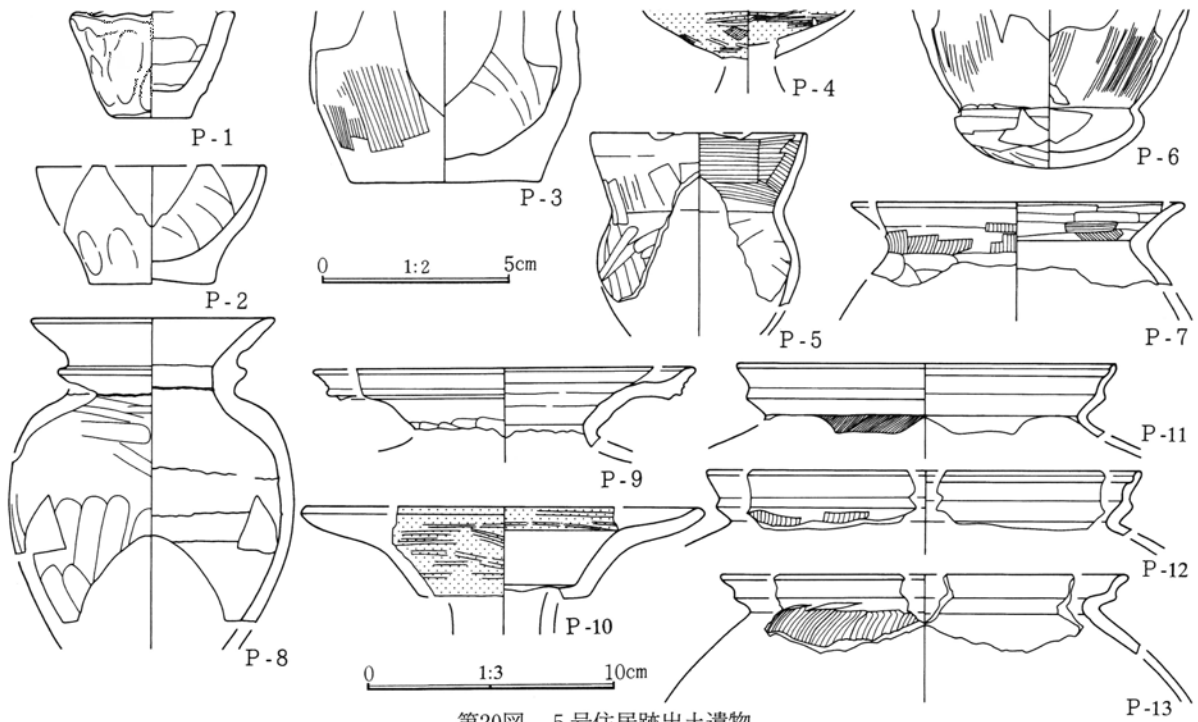
掘り方 床下土坑を1基確認した。規模は63×60cm、深さ5cmを測る。

出土遺物 S字状口縁台付甕、土師器平底甕、小型埴が共伴出土している。

所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。



第5章 遺構と遺物



第20図 5号住居跡出土遺物

6号住居跡

(第21~23図・写真図版5・66)

位置 AU-107

重複 25・36・44・81号住居跡と重複し、新旧関係は他の4軒より新しい。

形状 長方形

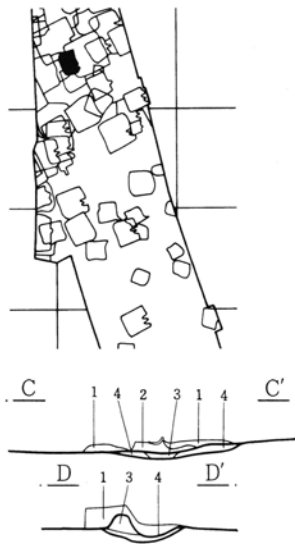
規模 長軸4.47×短軸3.15m

長軸方位 N-14°-W

壁高 8~19cm

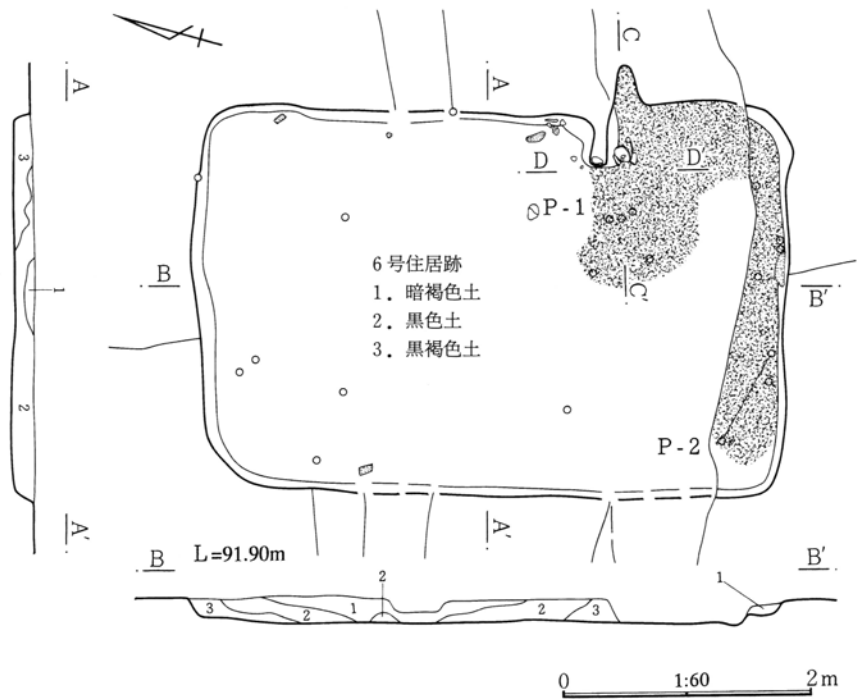
周溝・柱穴・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

竈 東壁に確認した。規模は焚き口幅66cm長さ103cmを測る。



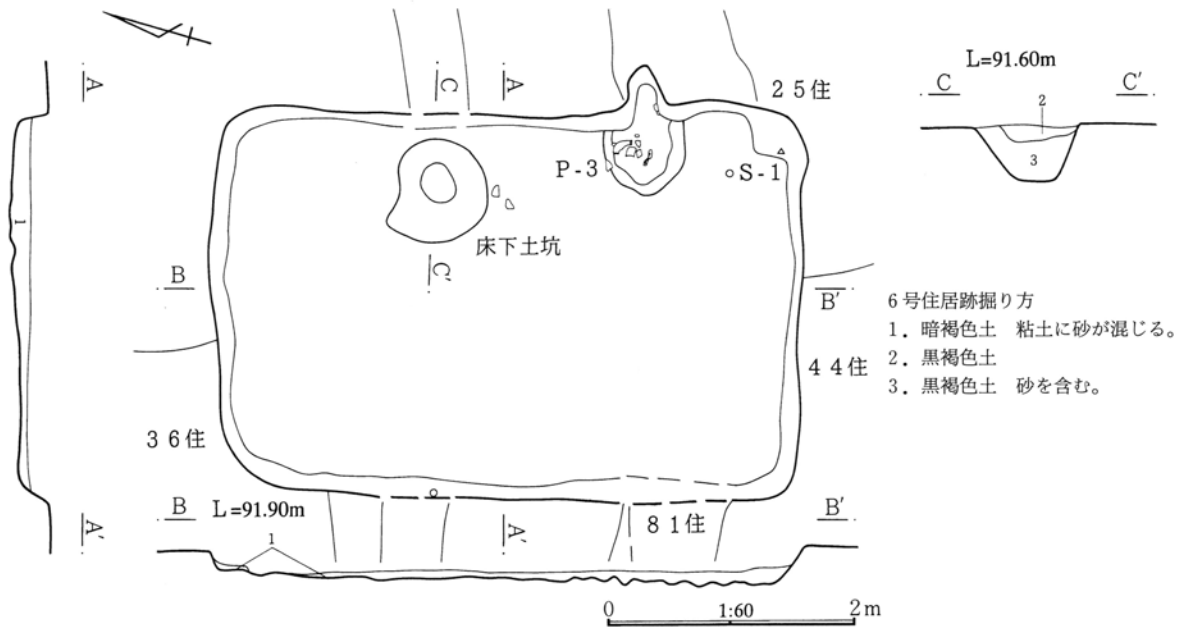
6号住居跡竈

1. 焼土、炭化物層
2. 暗褐色土 焼土粒含む。
3. 黄褐色土
4. 黄褐色土 焼土少量含む。

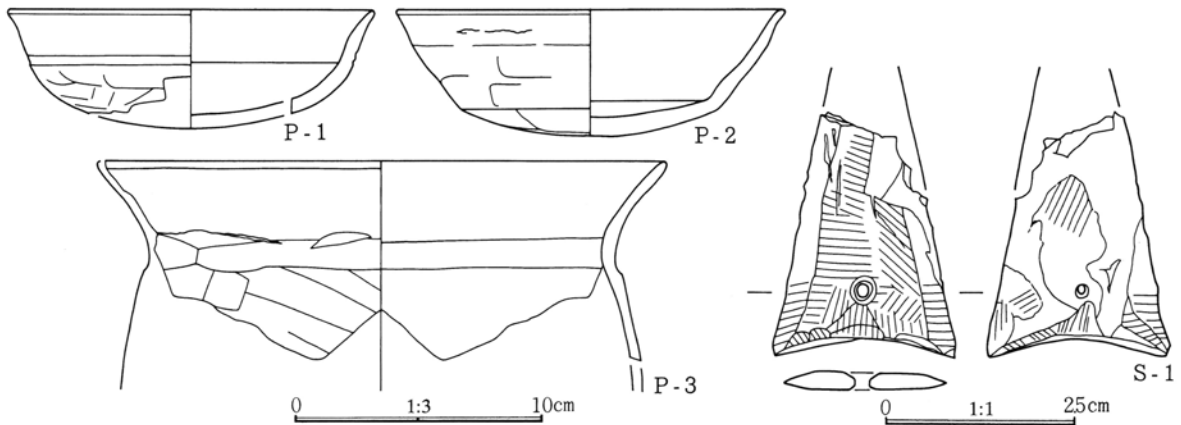


第21図 6号住居跡

第2節 住居跡



第22図 6号住居跡掘り方



第23図 6号住居跡出土遺物

**掘り方** 床下土坑を1基確認した。規模は82×70cm、深さ45cmを測る。

**出土遺物** 土師器坏・甕が出土している。

**所見** 出土遺物から、7世紀前半の住居跡と考えられる。

**長軸方位** N-57°-E

**壁高** 4～9cm

周溝・柱穴等の諸施設は検出されていない。

**竈** 東壁に確認した。規模は焼き口幅72cm、長さ156cmを測る。

**貯蔵穴** 南東隅に確認した。規模は68×60cm、深さ62cmを測る。

**出土遺物** 土師器坏、高坏が出土した。他に、断面観察からTK73～216段階に比定される須恵器片が出土した。

**所見** 出土遺物から、7世紀前半の住居跡と考えられる。

7号住居跡

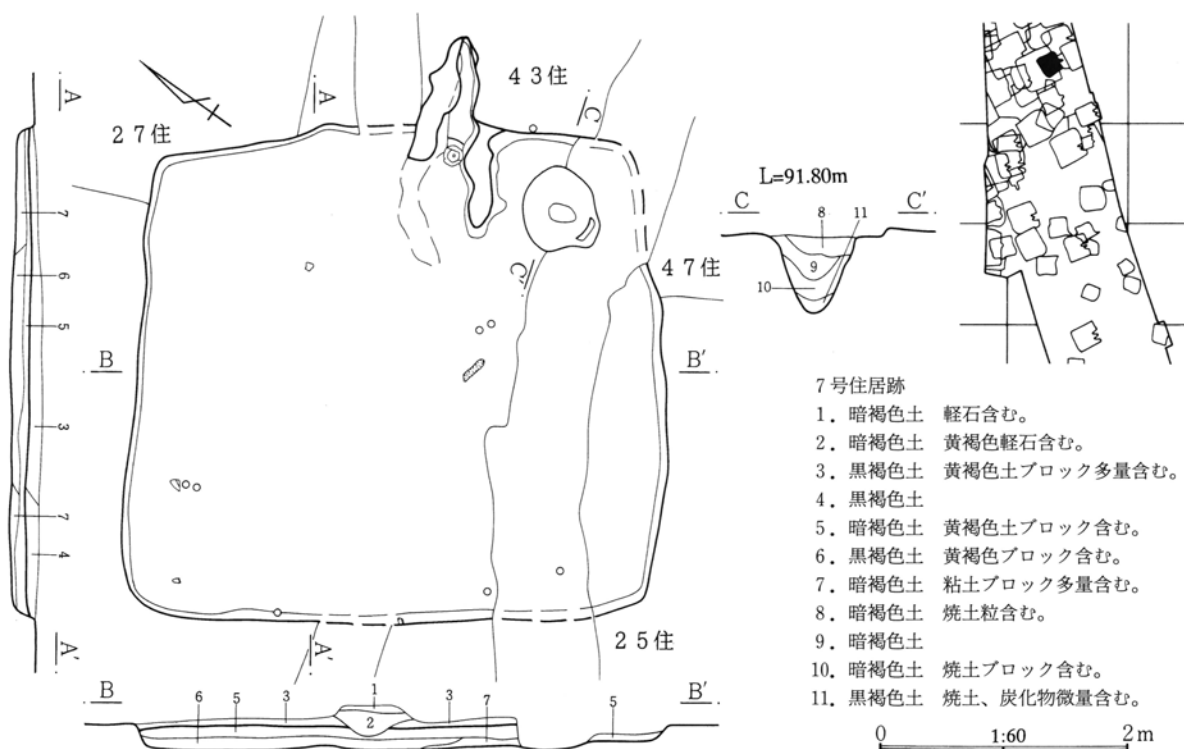
(第24～26図・写真図版5・66)

**位置** AW-107

**重複** 25・27・43・47号住居跡と重複し、新旧関係は他の4軒より7号住居跡が新しい。

**形状** 隅丸方形

**規模** 長軸4.22×短軸3.4m

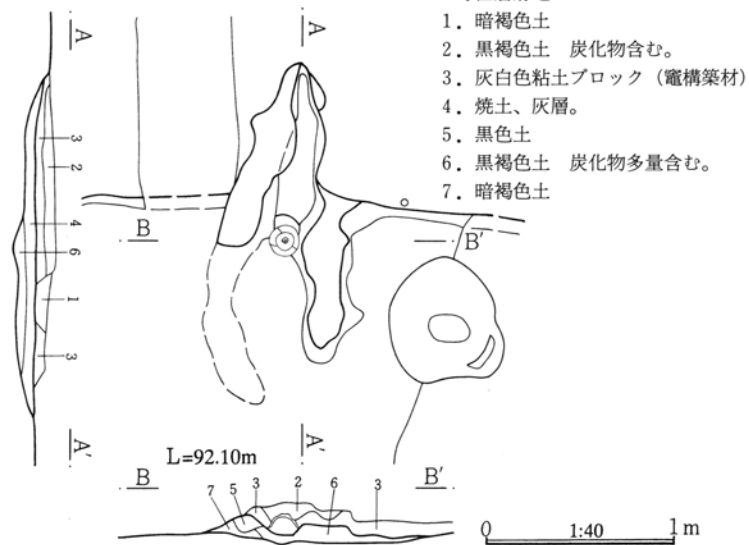


7号住居跡

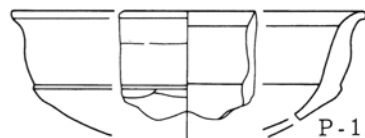
1. 暗褐色土 軽石含む。
2. 暗褐色土 黄褐色軽石含む。
3. 黒褐色土 黄褐色土ブロック多量含む。
4. 黒褐色土
5. 暗褐色土 黄褐色土ブロック含む。
6. 黒褐色土 黄褐色ブロック含む。
7. 暗褐色土 粘土ブロック多量含む。
8. 暗褐色土 焼土粒含む。
9. 暗褐色土
10. 暗褐色土 焼土ブロック含む。
11. 黒褐色土 焼土、炭化物微量含む。

第24図 7号住居跡

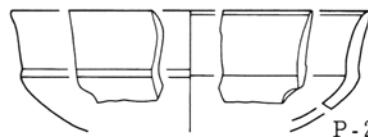
7号住居跡竈



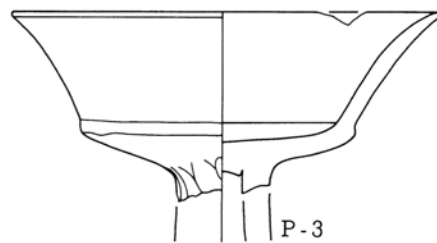
1. 暗褐色土
2. 黒褐色土 炭化物含む。
3. 灰白色粘土ブロック (竈構築材)
4. 焼土、灰層。
5. 黒色土
6. 黒褐色土 炭化物多量含む。
7. 暗褐色土



P-1

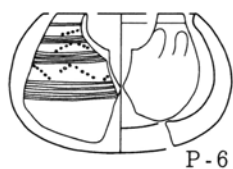


P-2



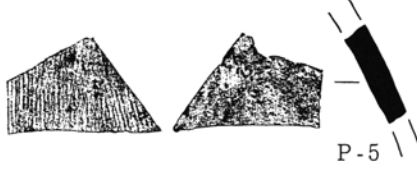
P-3

第25図 7号住居跡竈



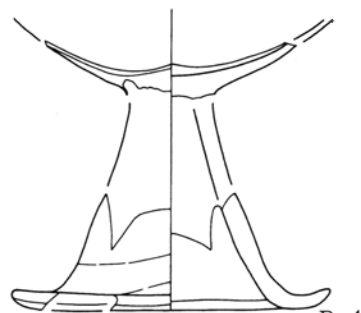
P-6

0 1:2 5cm



P-5

0 1:3 10cm



P-4

第26図 7号住居跡出土遺物

8号住居跡

(第27～29図・写真図版5・66)

位置 AW-106

重複 27・43号住居跡と重複し、新旧関係は他の2軒より8号住居跡が新しい。

形状 不明

規模 長軸5.17×短軸4.1+αm

長軸方位 N-27°-W

壁高 1～40cm

周溝 全周する。規模は幅10～30cm、深さ1～4cmを測る。また間仕切りの溝を2本確認した。規模は幅8～30cm、深さ1～4cmを測る。

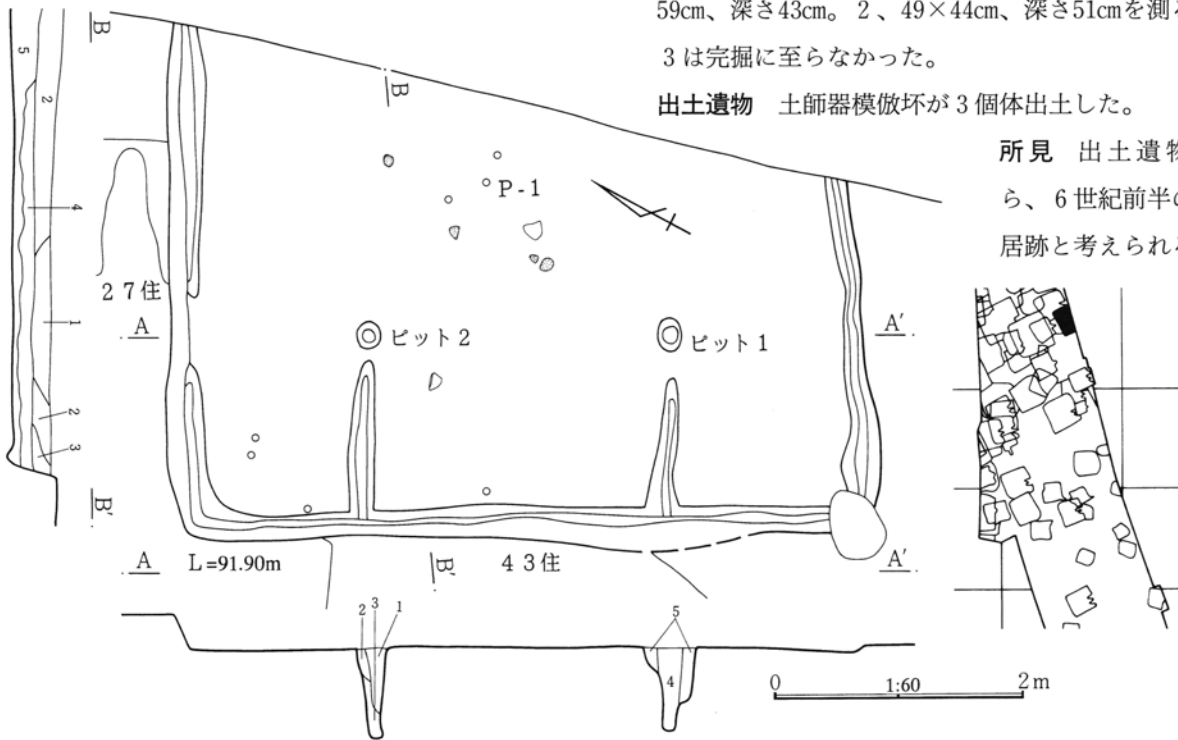
柱穴 ピットを2基確認した。規模は1、21×26cm、深さ21cm。2、23×20cm、深さ18cmを測る。

竈・炉・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

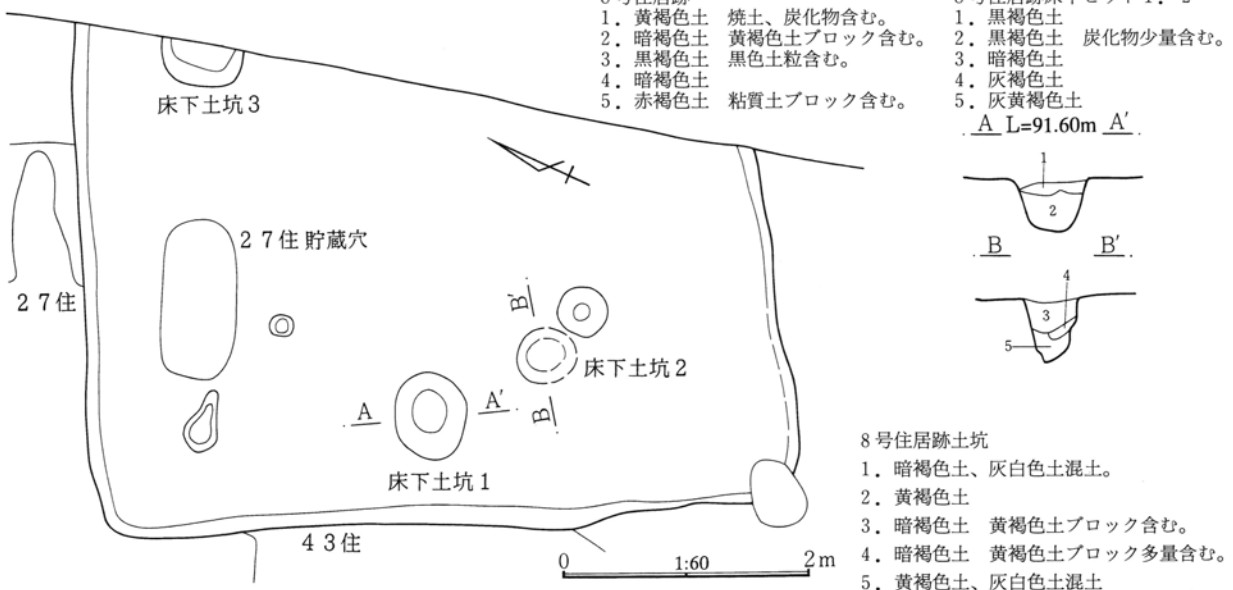
掘り方 床下土坑を2基確認した。規模は1、70×59cm、深さ43cm。2、49×44cm、深さ51cmを測る。3は完掘に至らなかった。

出土遺物 土師器模倣坏が3個体出土した。

所見 出土遺物から、6世紀前半の住居跡と考えられる。



第27図 8号住居跡



第28図 8号住居跡掘り方

8号住居跡

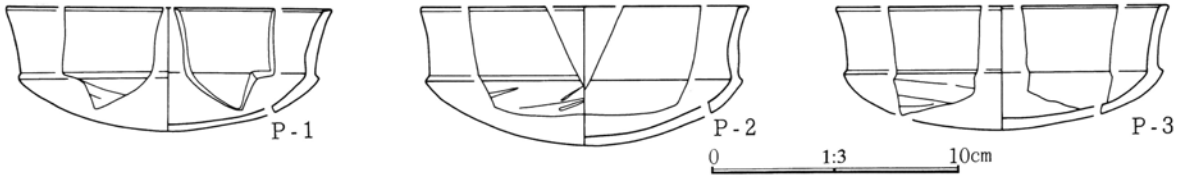
- 1. 黄褐色土 焼土、炭化物含む。
- 2. 暗褐色土 黄褐色土ブロック含む。
- 3. 黒褐色土 黒色土粒含む。
- 4. 暗褐色土
- 5. 赤褐色土 粘質土ブロック含む。

8号住居跡床下ピット1. 2

- 1. 黒褐色土
- 2. 黒褐色土 炭化物少量含む。
- 3. 暗褐色土
- 4. 灰褐色土
- 5. 灰黄褐色土

8号住居跡土坑

- 1. 暗褐色土、灰白色土混土。
- 2. 黄褐色土
- 3. 暗褐色土 黄褐色土ブロック含む。
- 4. 暗褐色土 黄褐色土ブロック多量含む。
- 5. 黄褐色土、灰白色土混土



第29図 8号住居跡出土遺物

9号住居跡

(第30～32図・写真図版6・66)

位置 AW-115

重複 単独

形状 正方形

規模 長軸4.3×短軸3.6m

長軸方位 N-15°-W

壁高 4～20cm

周溝・柱穴等の諸施設は検出されていない。

竈 南東隅に確認した。規模は焼き口幅70cm、長さ

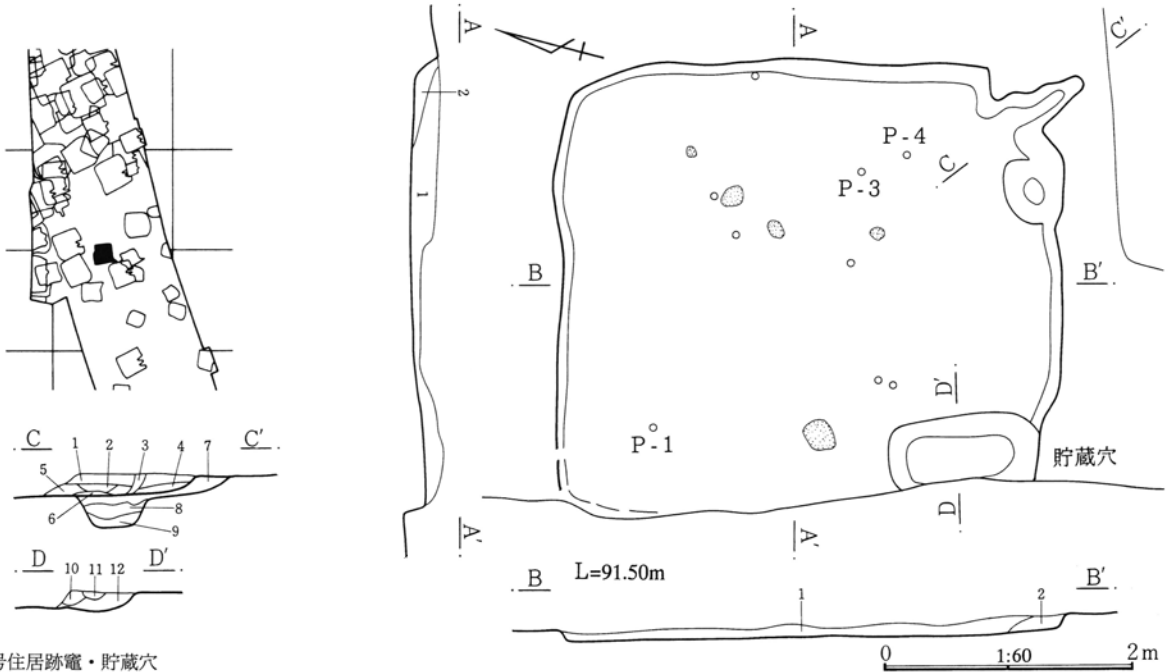
82cmを測る。

貯蔵穴 南西隅に確認した。形状は長方形を呈し、規模は51×118cm、深さ15cmを測る。

掘り方 床下土坑を2基確認した。規模は1、76×58cm、深さ20cm。2、88×66cm、深さ10cmを測る。

出土遺物 土師器模倣坏2個体と土師器甕、須恵器高坏が出土している。他に石器破片が出土している。

所見 出土遺物から、6世紀後半の住居跡と考えられる。



9号住居跡竈・貯蔵穴

1. 暗褐色土 C軽石含む。
2. 黒褐色土 灰含む。
3. 黄褐色土 C軽石含む。
4. 暗褐色土
5. 黄褐色土 焼土含む。天井崩落土
6. 焼土、灰層
7. 灰褐色土 竈構築材と焼土混土。
8. 黒色灰含層
9. 黒色土
10. 黒褐色土
11. 黒褐色土 焼土粒多量含む。
12. 暗褐色土

9号住居跡掘り方

1. 暗褐色土 C軽石微量含む。
2. 黄褐色土
3. 暗褐色土 砂質。

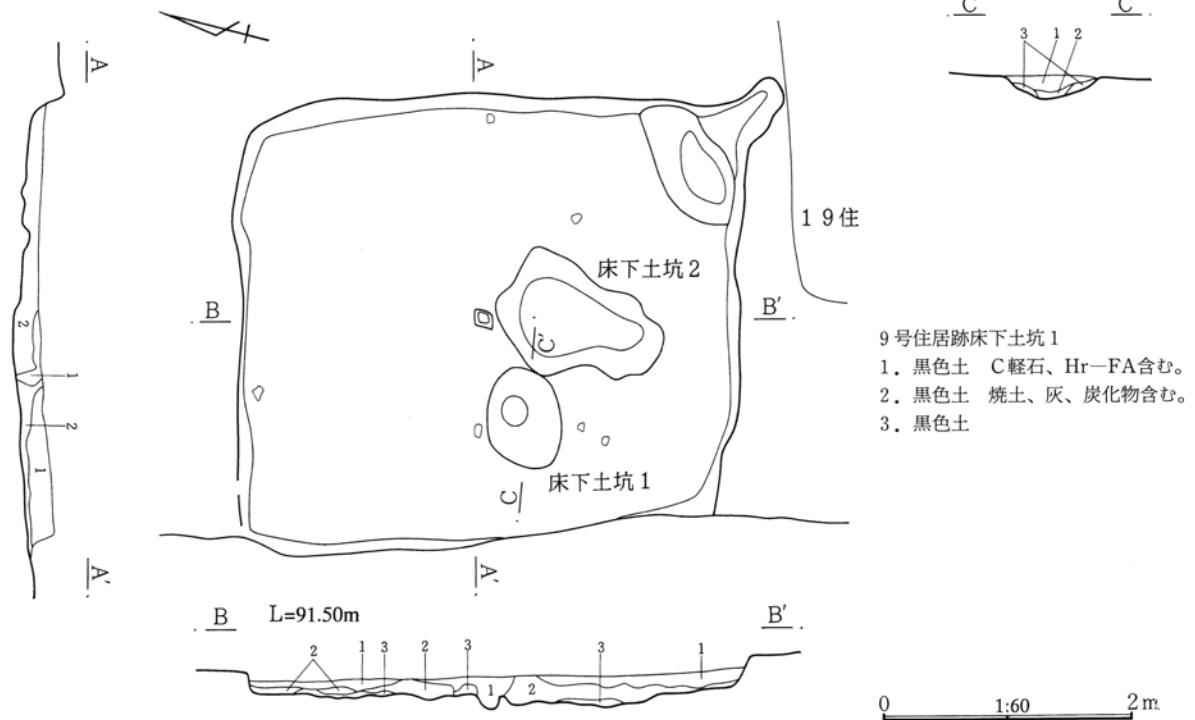
9号住居跡

1. 暗褐色土 C軽石含む。
2. 黒褐色土 C軽石含む。

第30図 9号住居跡

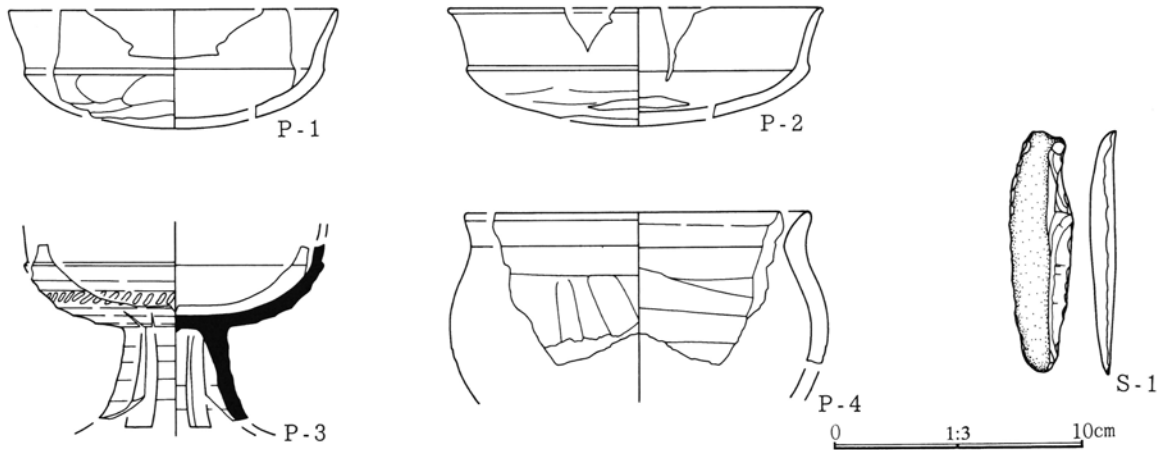


第2節 住居跡



- 9号住居跡床下土坑1  
 1. 黒色土 C軽石、Hr-FA含む。  
 2. 黒色土 焼土、灰、炭化物含む。  
 3. 黒色土

第31図 9号住居跡掘り方



第32図 9号住居跡出土遺物

10号住居跡

(第33・34図・写真図版6・66)

位置 AX-115

重複 19・20号住居跡と重複し、新旧関係は他の2軒より10号住居跡が新しい。

形状 隅丸方形

規模 長軸3.7×短軸3.35m

長軸方位 N-56°-E

壁高 2~17cm

周溝 部分的に確認した。規模は幅1.4~2.4cm、深

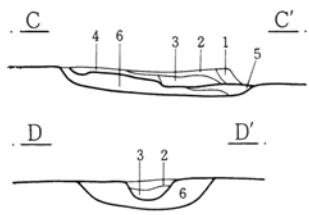
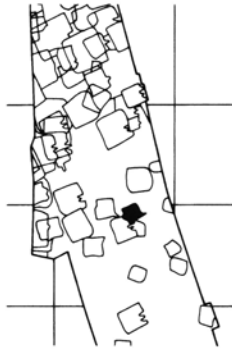
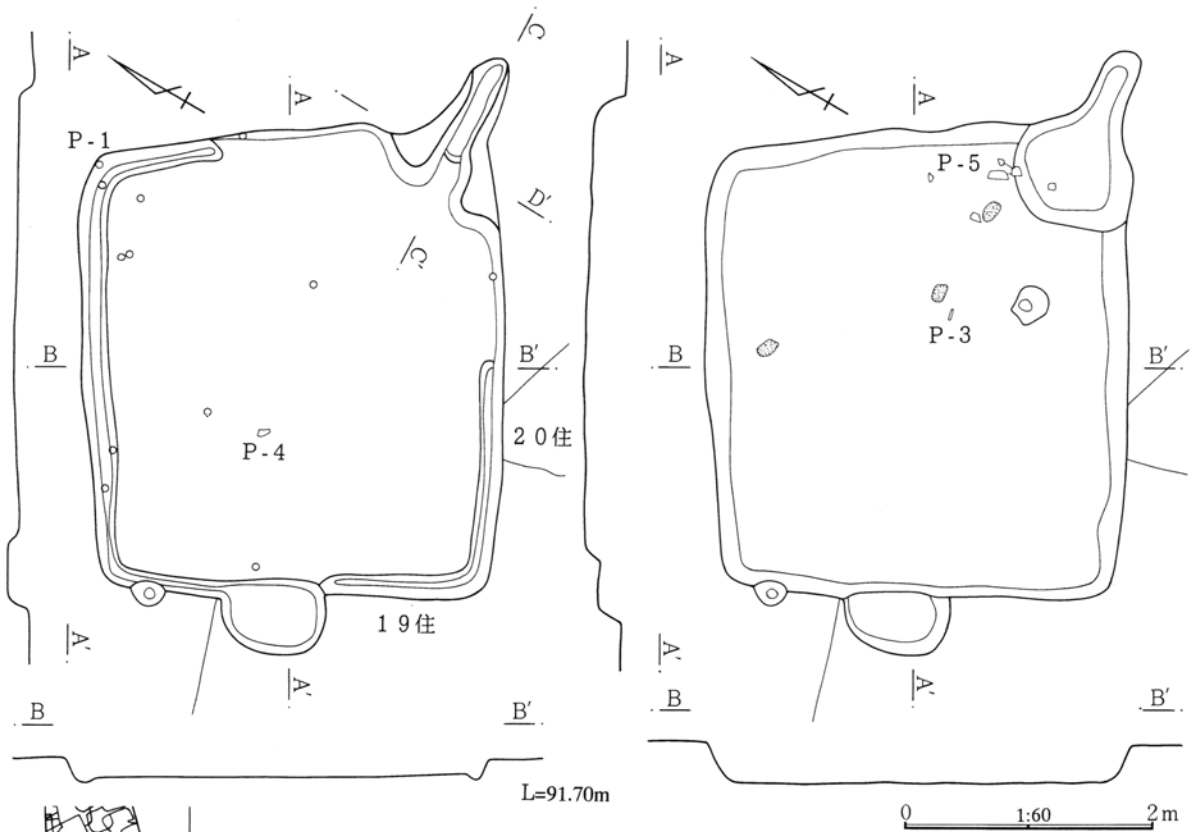
さ1.5~4cmを測る。

柱穴・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

竈 南東隅に確認した。規模は焼き口幅70cm、長さ82cmを測る。

出土遺物 土師器模倣坏3个体、土師器甕、須恵器蓋が出土している。須恵器蓋はMT85段階に比定できる。

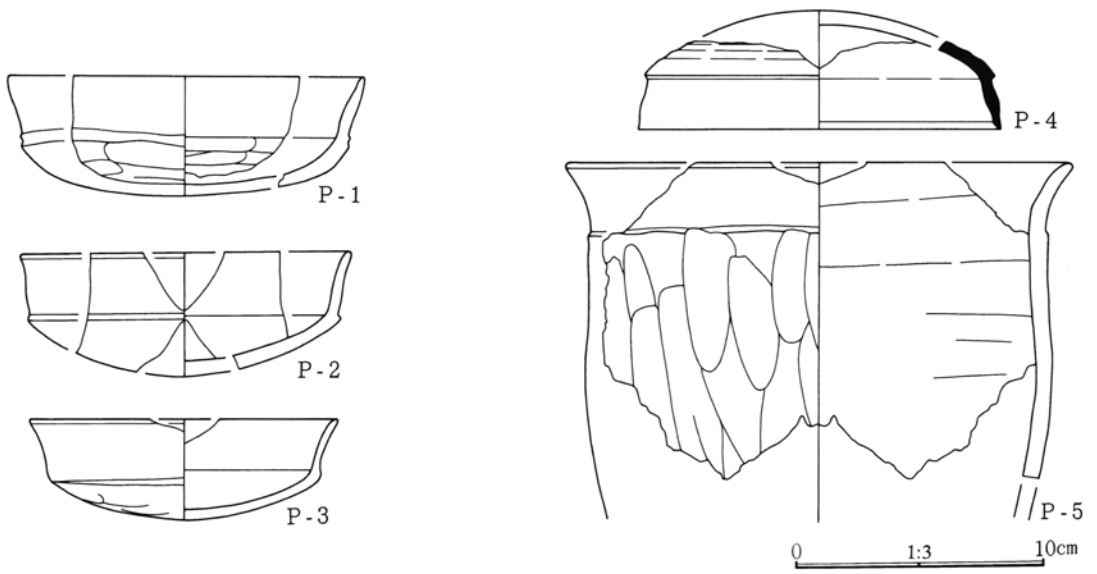
所見 出土遺物から、6世紀後半の住居跡と考えられる。



10号住居跡竈

1. 黒褐色土 C軽石微量含む。
2. 黒褐色土 C軽石含む。
3. 黒褐色土 C軽石、灰含む。
4. 淡褐色土 灰、炭化物、焼土含む。
5. 淡褐色土 焼土、灰含む。
6. 暗灰褐色土

第33図 10号住居跡掘り方



第34図 10号住居跡出土遺物

11号住居跡

(第35～39図・写真図版6・67・68)

位置 AX-120

重複 単独

形状 隅丸方形

規模 長軸4.83×短軸4.55m

長軸方位 N-59°-E

壁高 2～12cm

周溝 部分的に確認した。規模は幅15～19cm、深さ1～4cm。

柱穴 ピットを4基確認した。規模は1、25×26cm、深さ45cm。2、15×18cm、深さ27cm。3、30×27cm、深さ30cm。4、17×20cm、深さ21cmを測る。

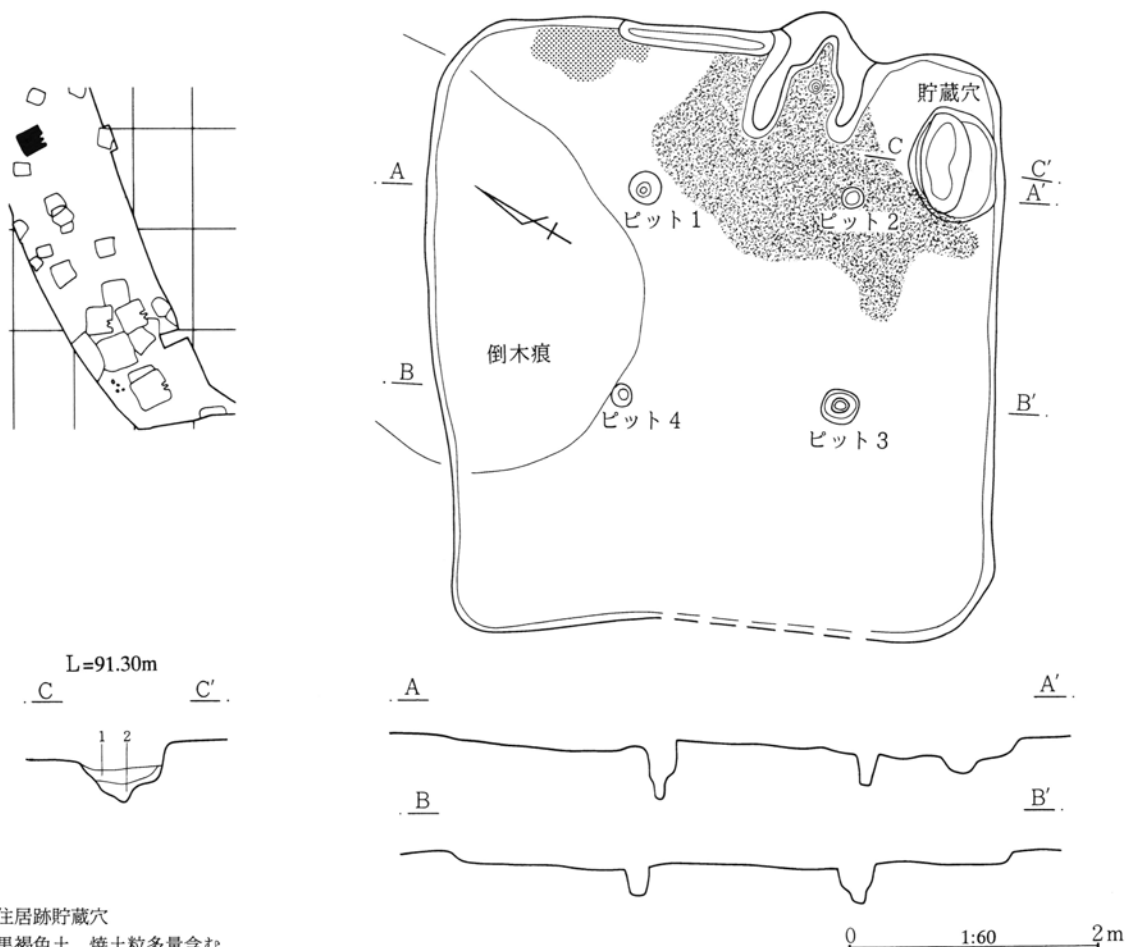
竈 東壁に確認した。規模は焚き口幅100cm、長さ100cmを測る。

貯蔵穴 南東隅に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は90×68cm、深さ47cmを測る。

掘り方 床下ピットを2基確認した。規模は1、28×30cm、深さ110cm。2、25×27cm、深さ21cmを測る。

出土遺物 甕、壺、高坏が出土し、高坏はエンタシス形を呈する。甕は長胴形が1個体あるが、他は球胴形を呈する。

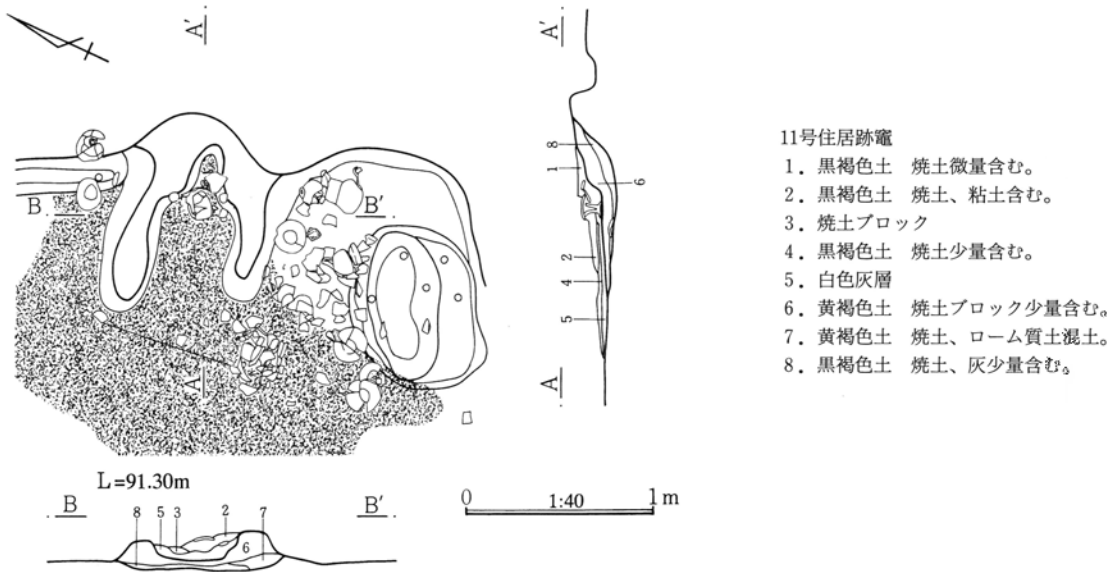
所見 出土遺物から、5世紀前半の住居跡と考えられる。



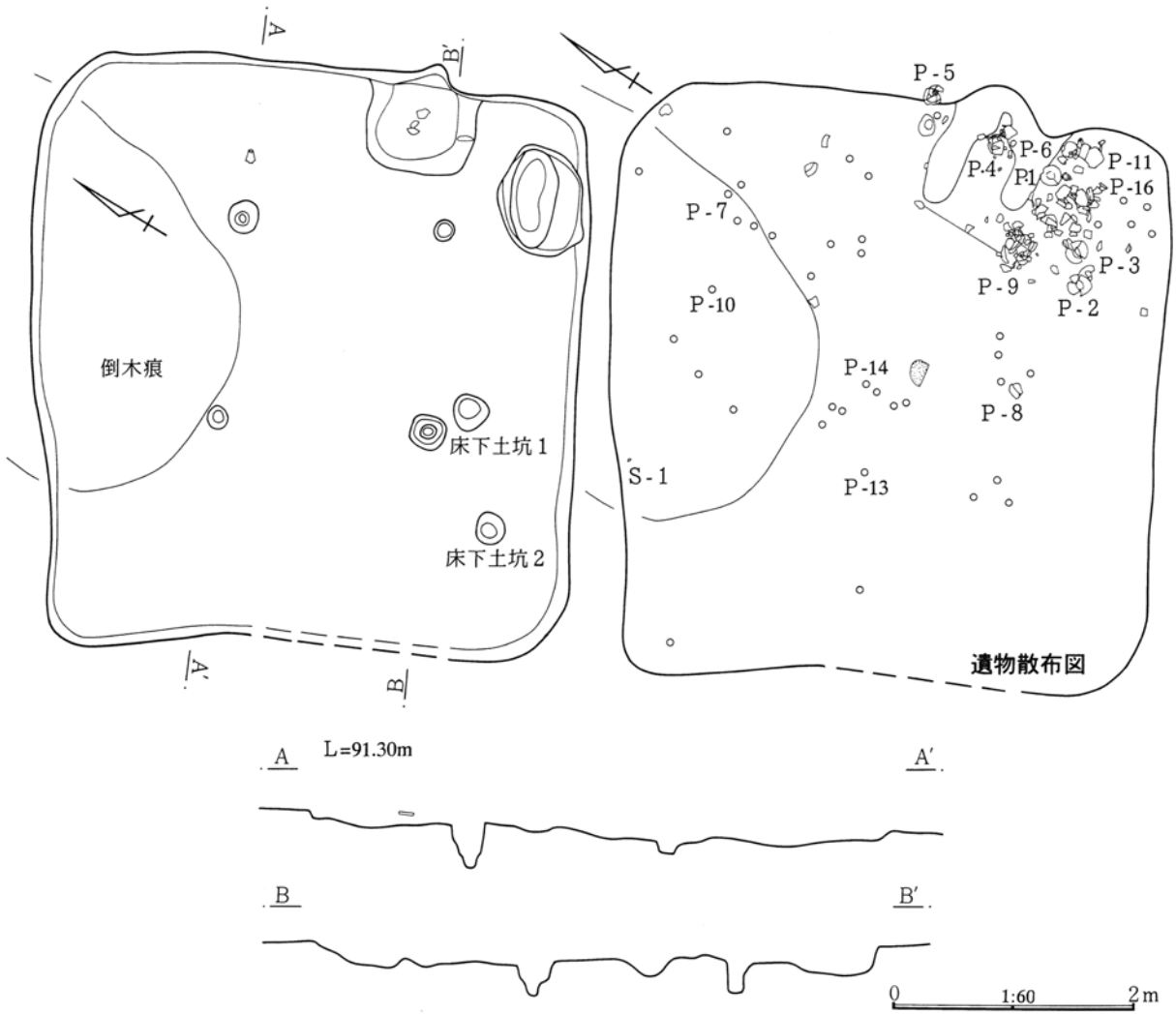
11号住居跡貯蔵穴

1. 黒褐色土 焼土粒多量含む。
2. 黒褐色土 焼土含む。

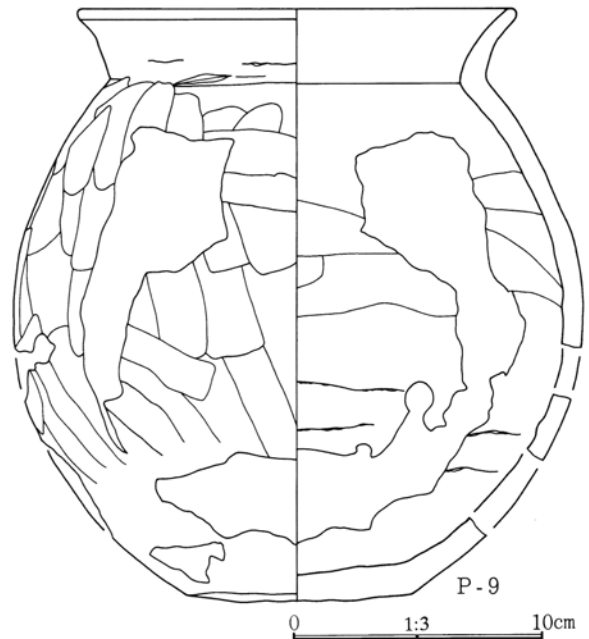
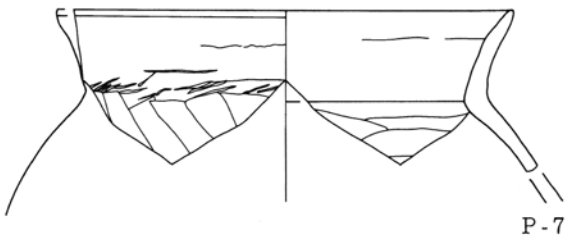
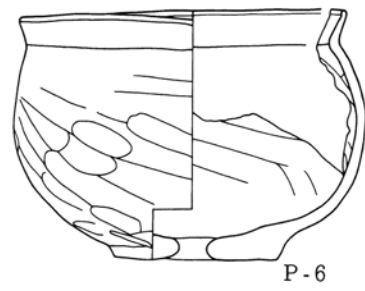
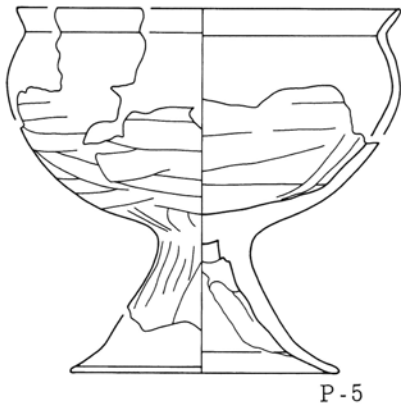
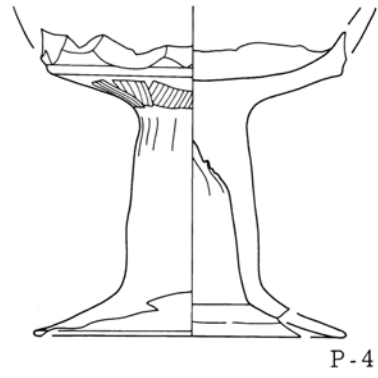
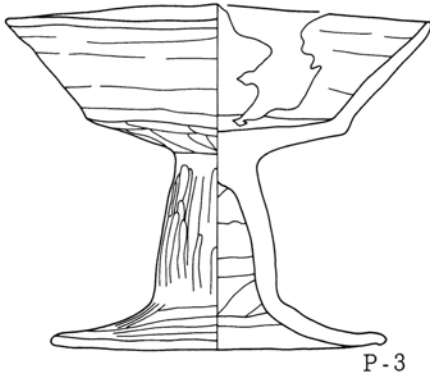
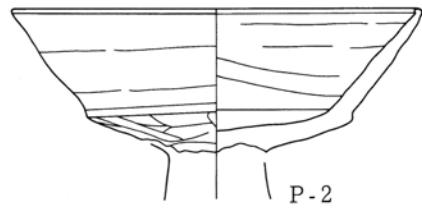
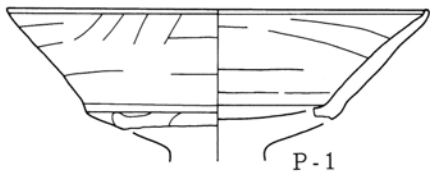
第35図 11号住居跡



第36図 11号住居跡竈

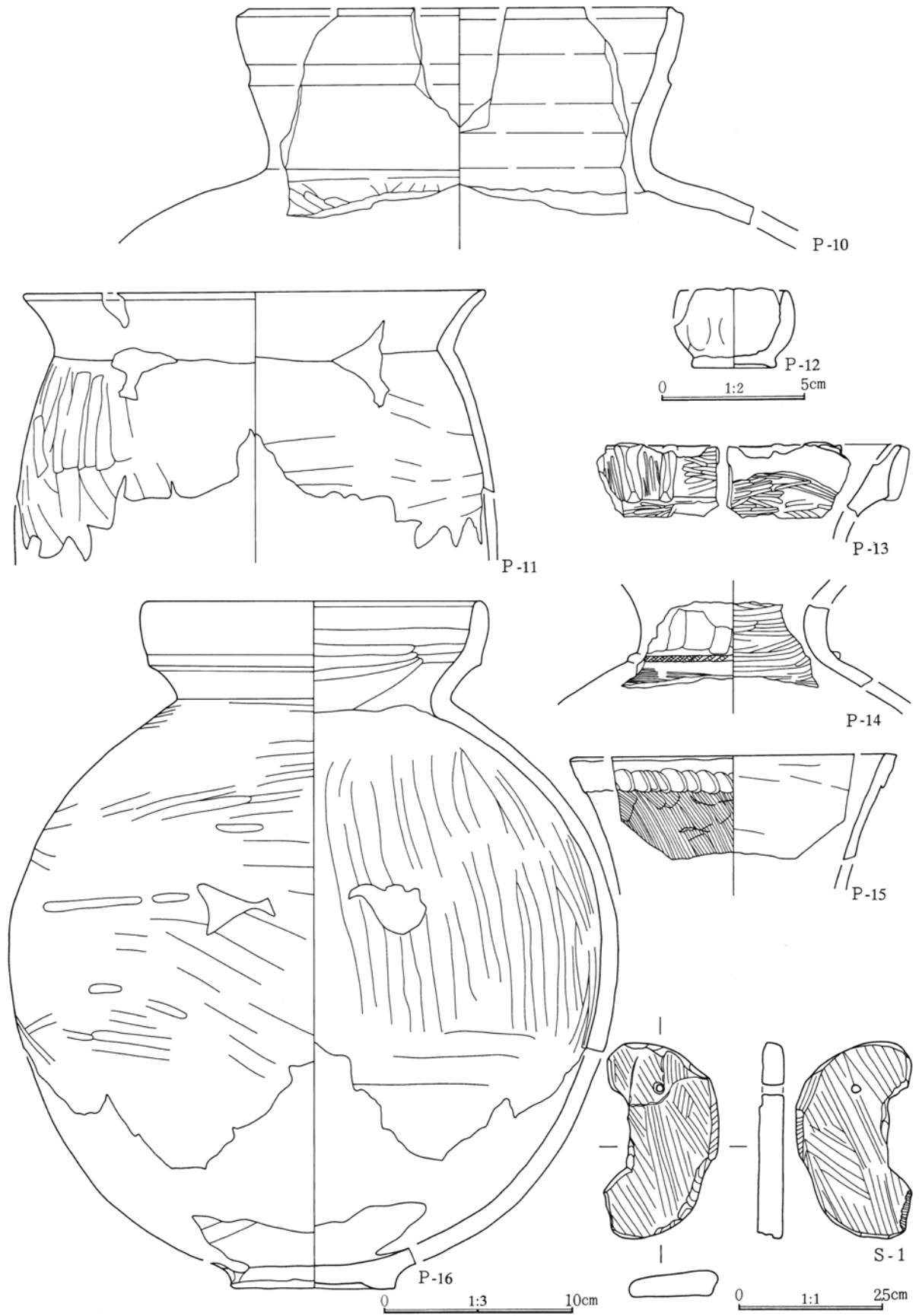


第37図 11号住居跡掘り方・遺物散布図



0 1:3 10cm

第38図 11号住居跡出土遺物(1)



第39図 11号住居跡出土遺物(2)

12号住居跡

(第40～44図、写真図版7・68・69)

位置 AU-104

重複 42号住居跡と重複し、新旧関係は12号住居跡が新しい。

形状 隅丸方形

規模 長軸4.8×短軸4.77m

長軸方位 N-60°-E

壁高 2～15cm

周溝 全周する。規模は幅9～30cm、深さ1～5cmを測る。

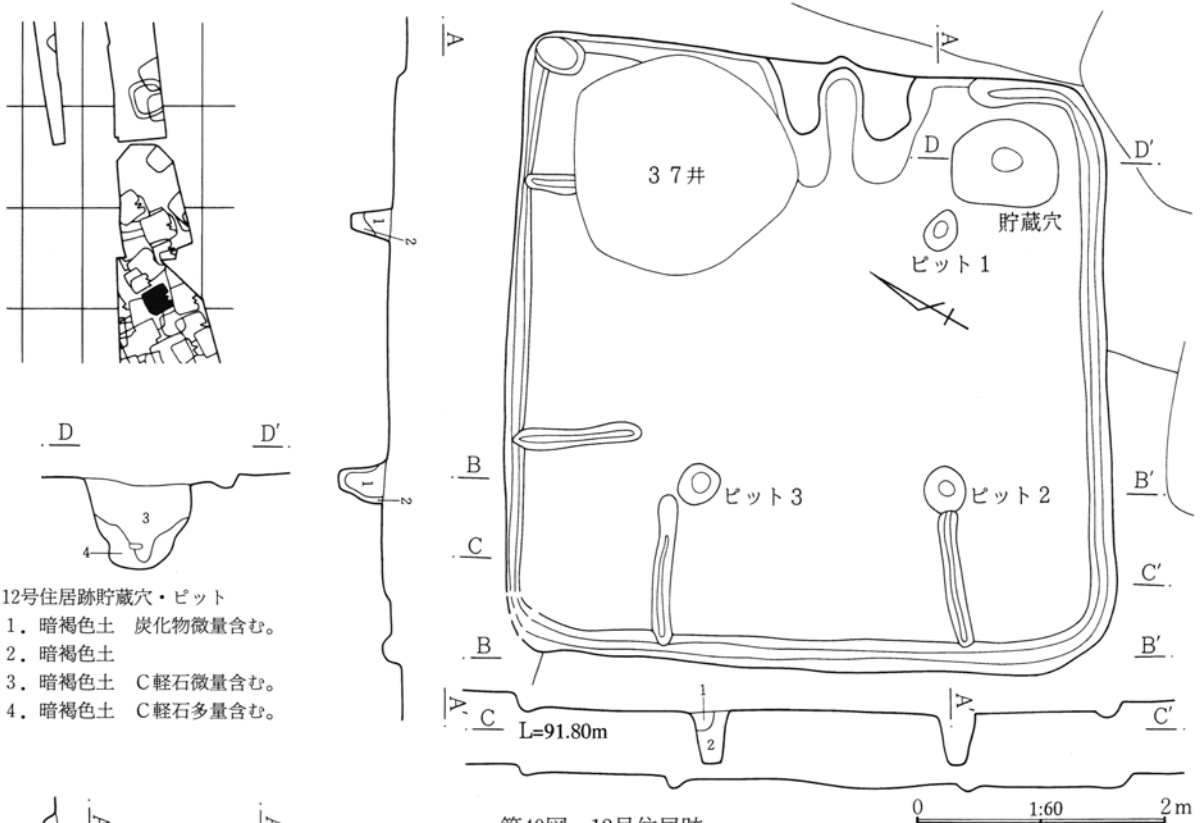
柱穴 ピットを3基確認した。規模は1、33×24cm、深さ31cm。2、35×32cm、深さ39cm。3、34×30cm、深さ41cmを測る。

竈 東壁中央に確認した。規模は焚き口幅80cm、長さ93cmを測る。

貯蔵穴 南東隅に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は85×67cm、深さ70cmを測る。

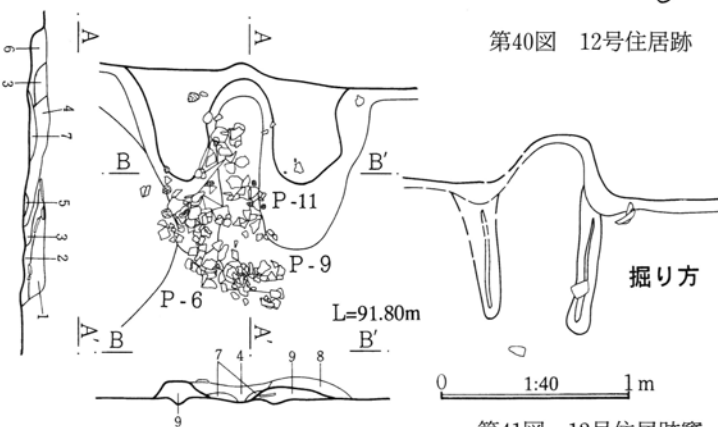
出土遺物 模倣坏4個体の他、壺・長甕が出土している。

所見 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。



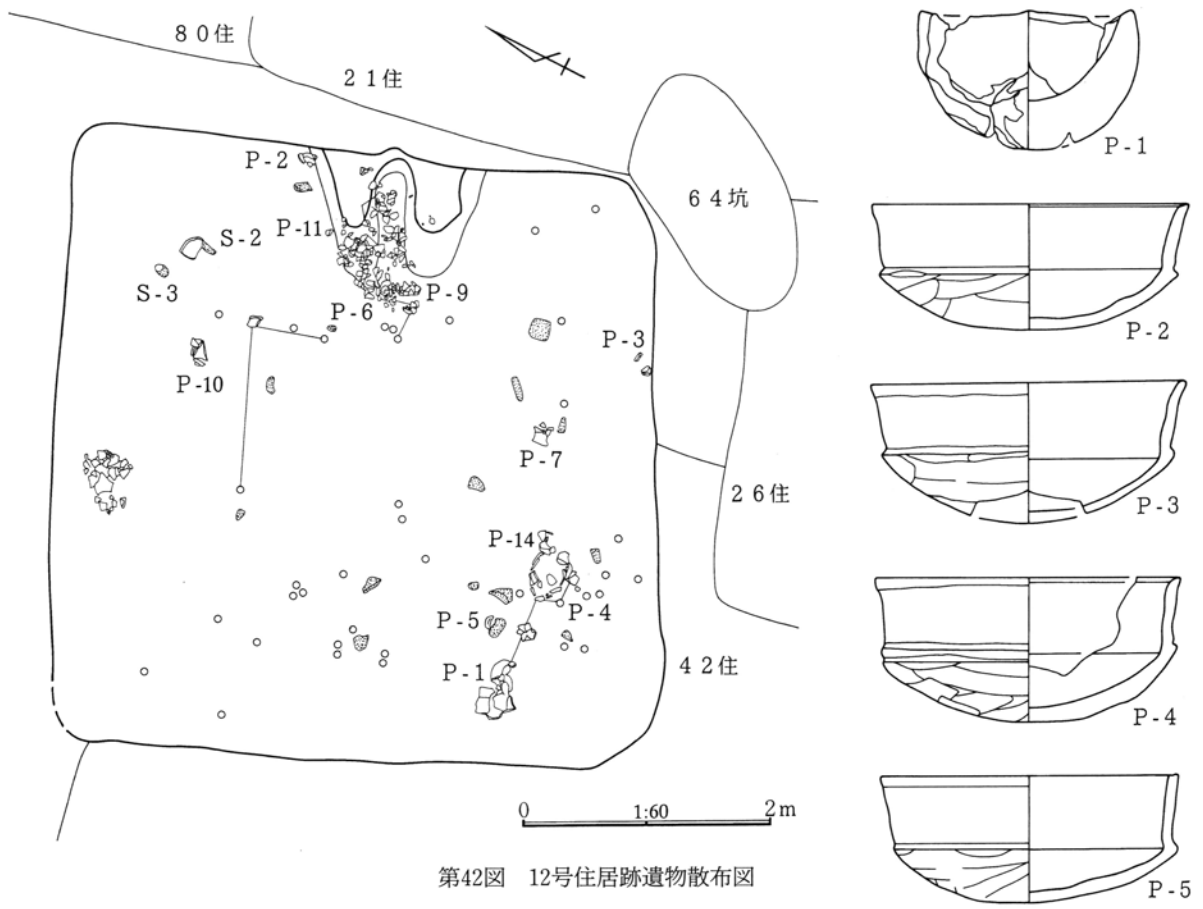
第40図 12号住居跡

- 12号住居跡貯蔵穴・ピット
1. 暗褐色土 炭化物微量含む。
  2. 暗褐色土
  3. 暗褐色土 C軽石微量含む。
  4. 暗褐色土 C軽石多量含む。

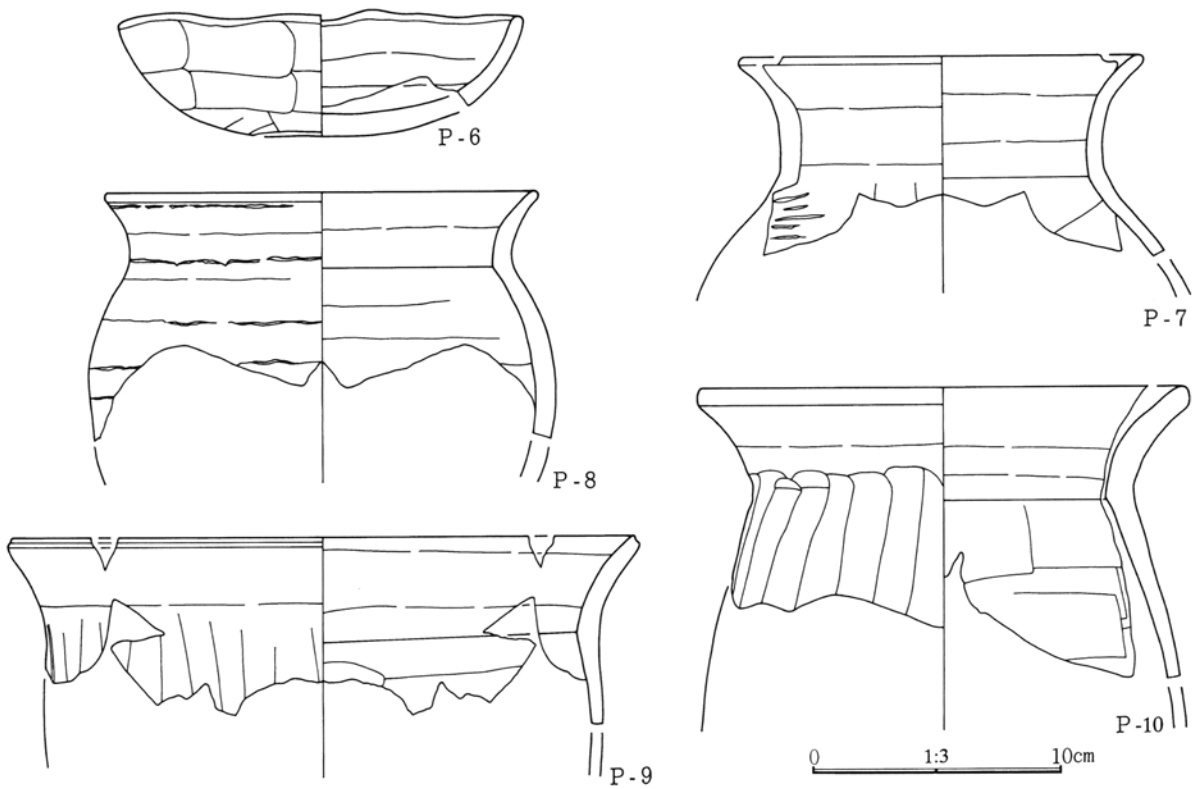


第41図 12号住居跡竈

- 12号住居跡竈
1. 暗褐色土 竈袖材粘土ブロック混入。
  2. 暗褐色土
  3. 赤褐色土 天井の崩落焼土塊。
  4. 焼土ブロック
  5. 白色灰層
  6. 焼土と黒色土混土。
  7. 黒色灰層 焼土含む。
  8. 暗褐色土 焼土少量含む。
  9. 灰褐色土 炭化物少量含む。

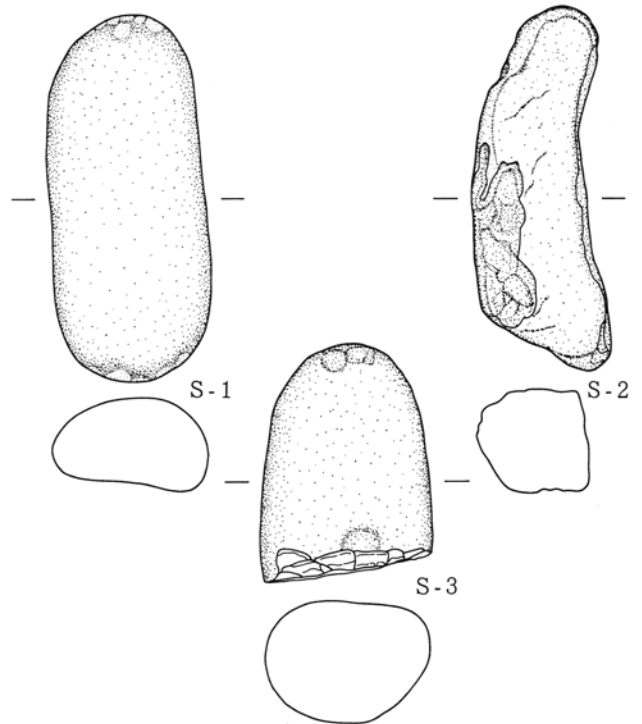
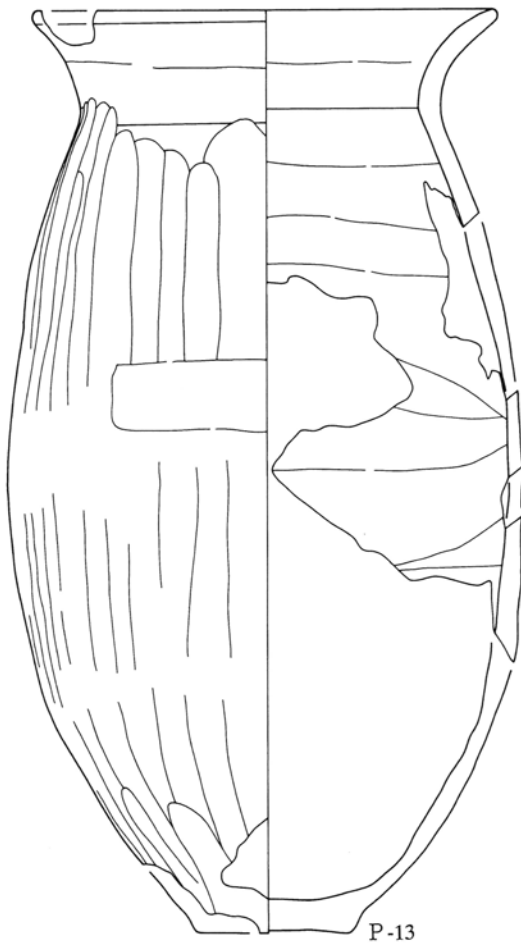
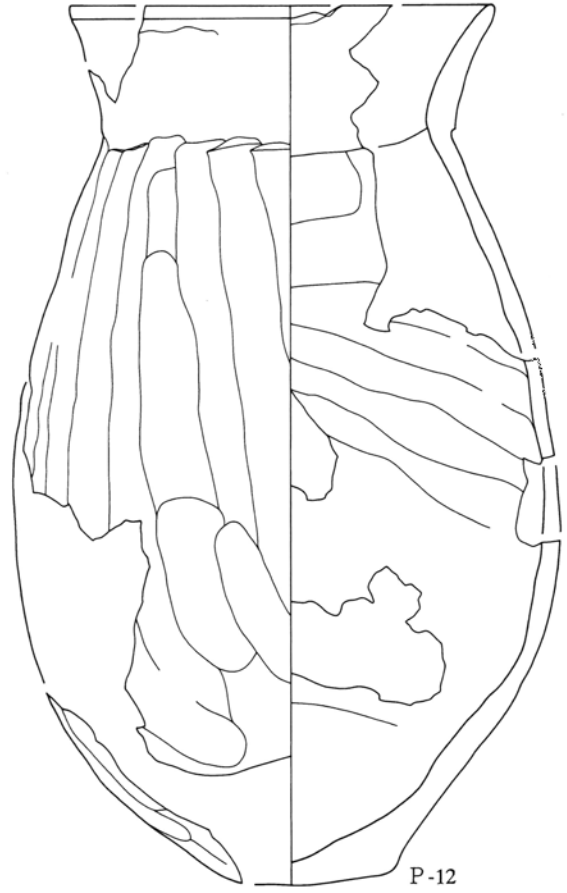
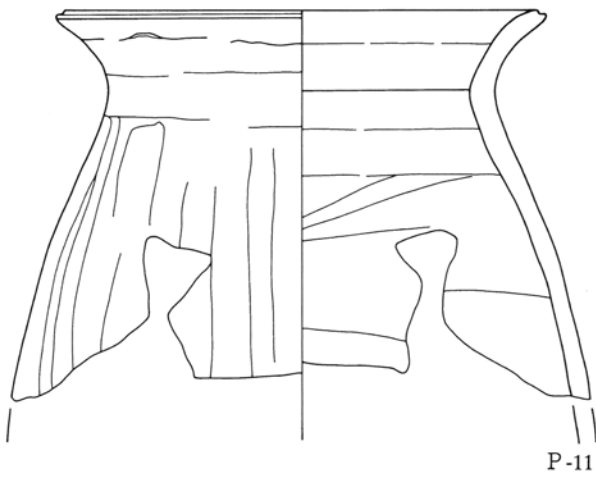


第42図 12号住居跡遺物散布図



第43図 12号住居跡出土遺物(1)





0 1:3 10cm

第44図 12号住居跡出土遺物(2)

13号住居跡

(第45・46図・写真図版8・69)

位置 BB-125

重複 単独

形状 方形

規模 長軸3.78×短軸3.48m

長軸方位 N-78°-E

壁高 6~13cm

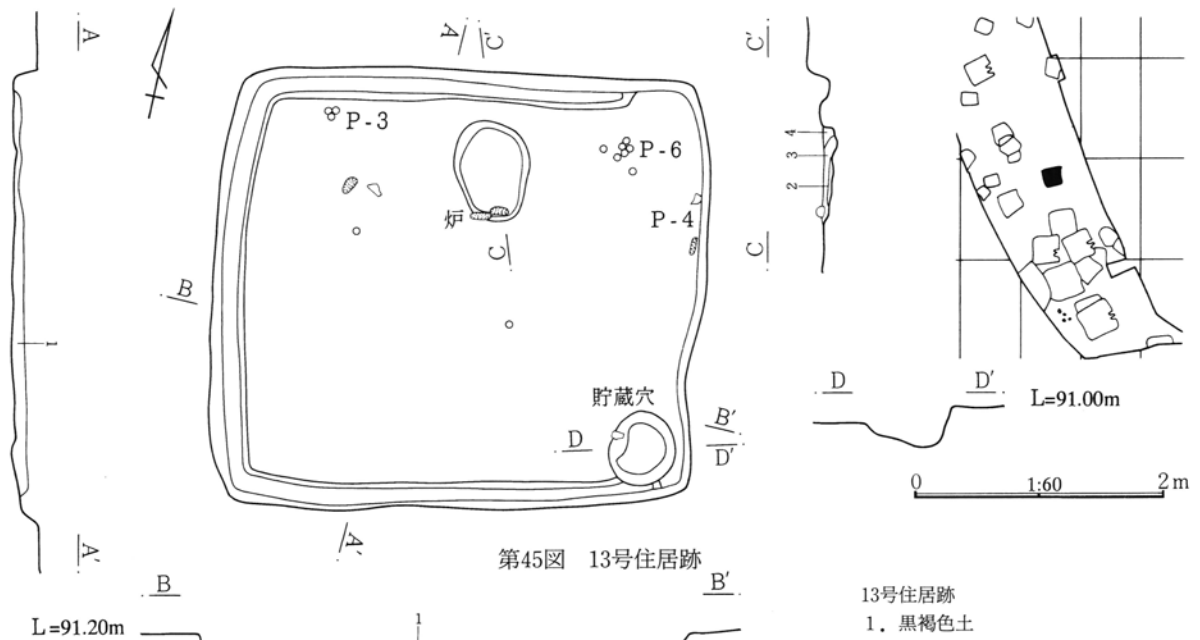
周溝 部分的に確認した。規模は幅18~28cm、深さ3~7cmを測る。

炉 中央北壁寄りに確認した。形状は楕円形を呈し、規模は78×58cm、深さ11cmを測る。

貯蔵穴 南東隅に確認した。形状は円形を呈し、規模は59×52cm、深さ16cmを測る。

出土遺物 櫛状工具による羽状の刺突文を持つ破片の他高坏・S字状口縁台付甕・土師器平底甕が出土している。土師器平底甕は外面刷毛目、内面は撫で、口縁内面に刷毛目を持つことは北陸地方千種甕の技法を意識させる手法である。

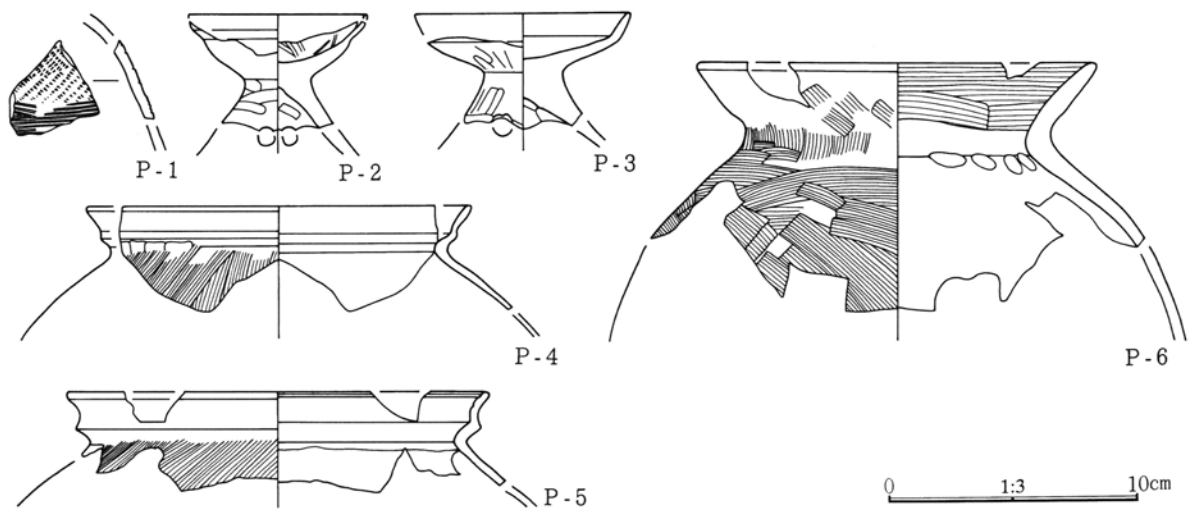
所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。



第45図 13号住居跡

13号住居跡

1. 黒褐色土
2. 黒褐色土 焼土ブロック多量含む。
3. 黒褐色土 炭化物多量含む。
4. 暗褐色土



第46図 13号住居跡出土遺物

14号住居跡

(第47・48図・写真図版7・70)

位置 AZ-124

重複 17・53号住居跡と重複し、新旧関係は17号住居跡より旧く、53号住居跡より新しい。

形状 隅丸方形

規模 長軸5.05×短軸4.57m

長軸方位 N-39°-W

壁高 1~5cm

周溝・柱穴 確認されていない。

炉 中央やや北東よりに確認した。形状は不整形円形

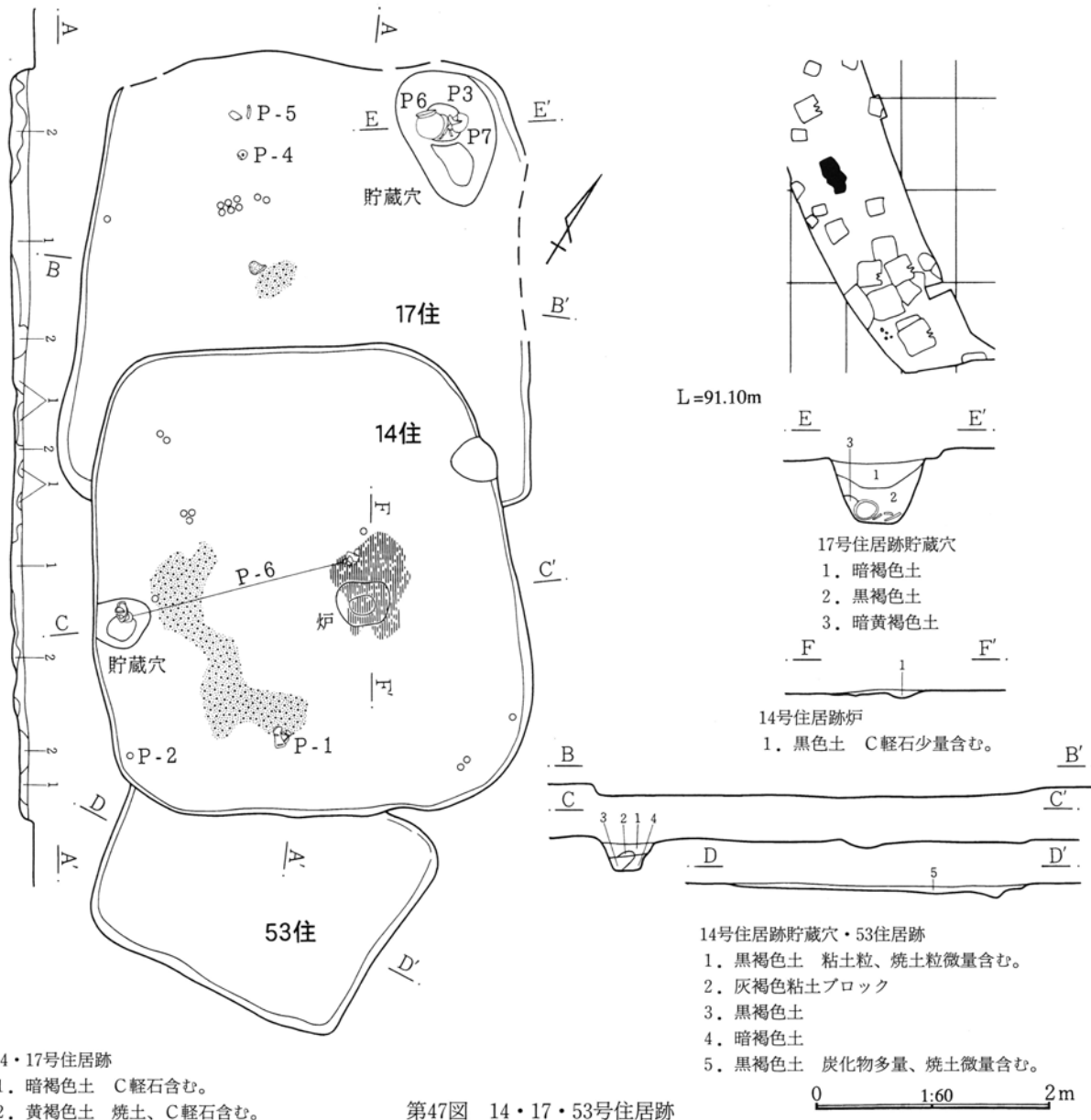
を呈し、規模は47×35cm、深さ6cmを測る。

貯蔵穴 西壁中央に確認した。形状は不整形円形を呈し、規模は47+α×43cm、深さ25cmを測る。

掘り方 床下ピットを2基確認した。規模は1、115×71cm、深さ11cm。2、176×70cm、深さ7cmを測る。

出土遺物 やや大形の埴形土器、S字状口縁台付甕、口縁端部をつまみ上げたような北陸に系譜が考えられる壺、在地の土師器平底甕の他、石鏟が検出された。

所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。



第47図 14・17・53号住居跡

17号住居跡

(第49図・写真図版7・71)

位置 AZ-123

重複 14号住居跡と重複し、新旧関係は17号住居跡が新しい。

形状 隅丸方形

規模 長軸3.84×短軸3.84+ $\alpha$ m

長軸方位 N-29°-W

壁高 3~11cm

周溝・柱穴・炉等の諸施設は検出されていない。

貯蔵穴 北隅に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は122×76cm、深さ55cmを測る。

出土遺物 内斜口縁坏、高坏、甕が出土し、頸部にたて方向に成形し、波状文、簾状文を施す樽式土器が出土しているが樽式土器編年の末葉に上がるもので覆土中の紛れ込みと考えられる。

所見 出土遺物から、5世紀前半の住居跡と考えられる。

53号住居跡

(第47図・写真図版96)

位置 AZ-124

重複 14号住居跡と重複し、新旧関係は14号住居跡が新しい。

形状 方形?

規模 長軸2.6×短軸2.08+ $\alpha$ m

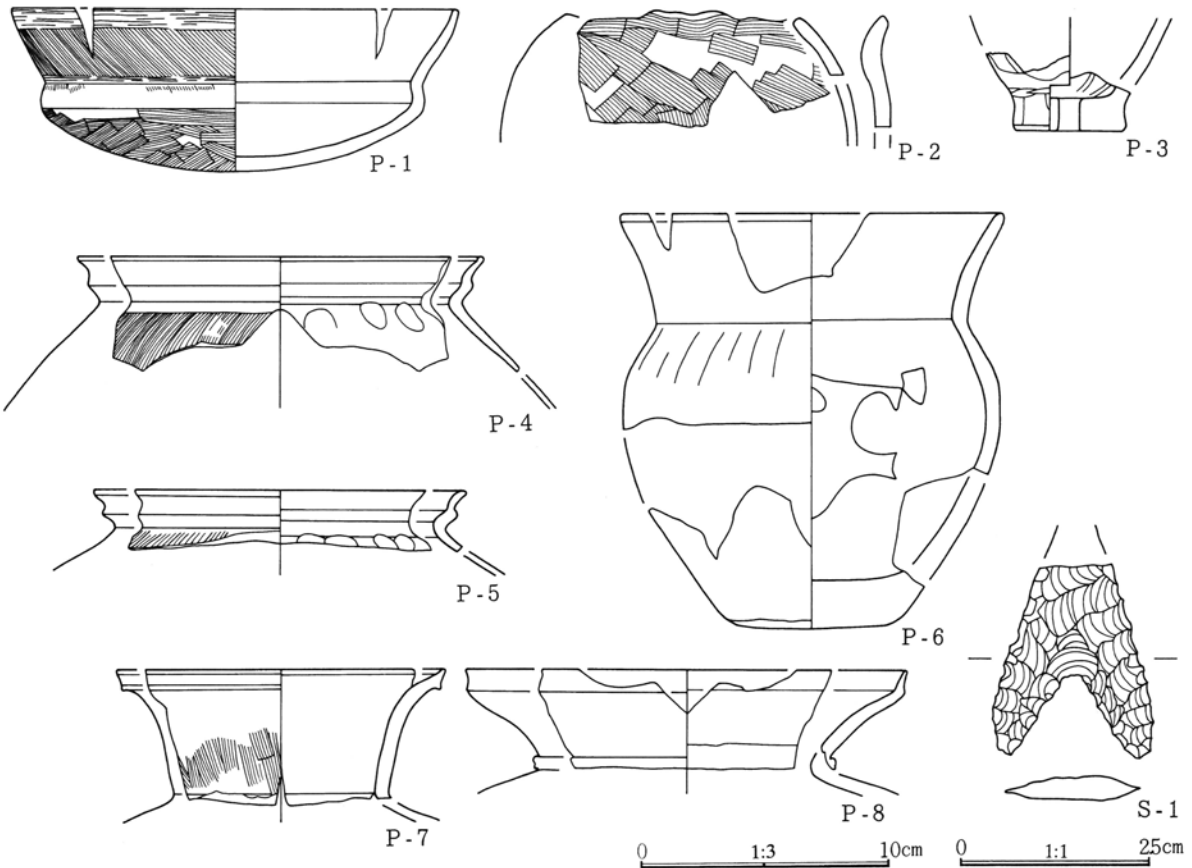
長軸方位 N-84°-E

壁高 2~5.5cm

周溝・炉・柱穴等の施設は確認されていない。

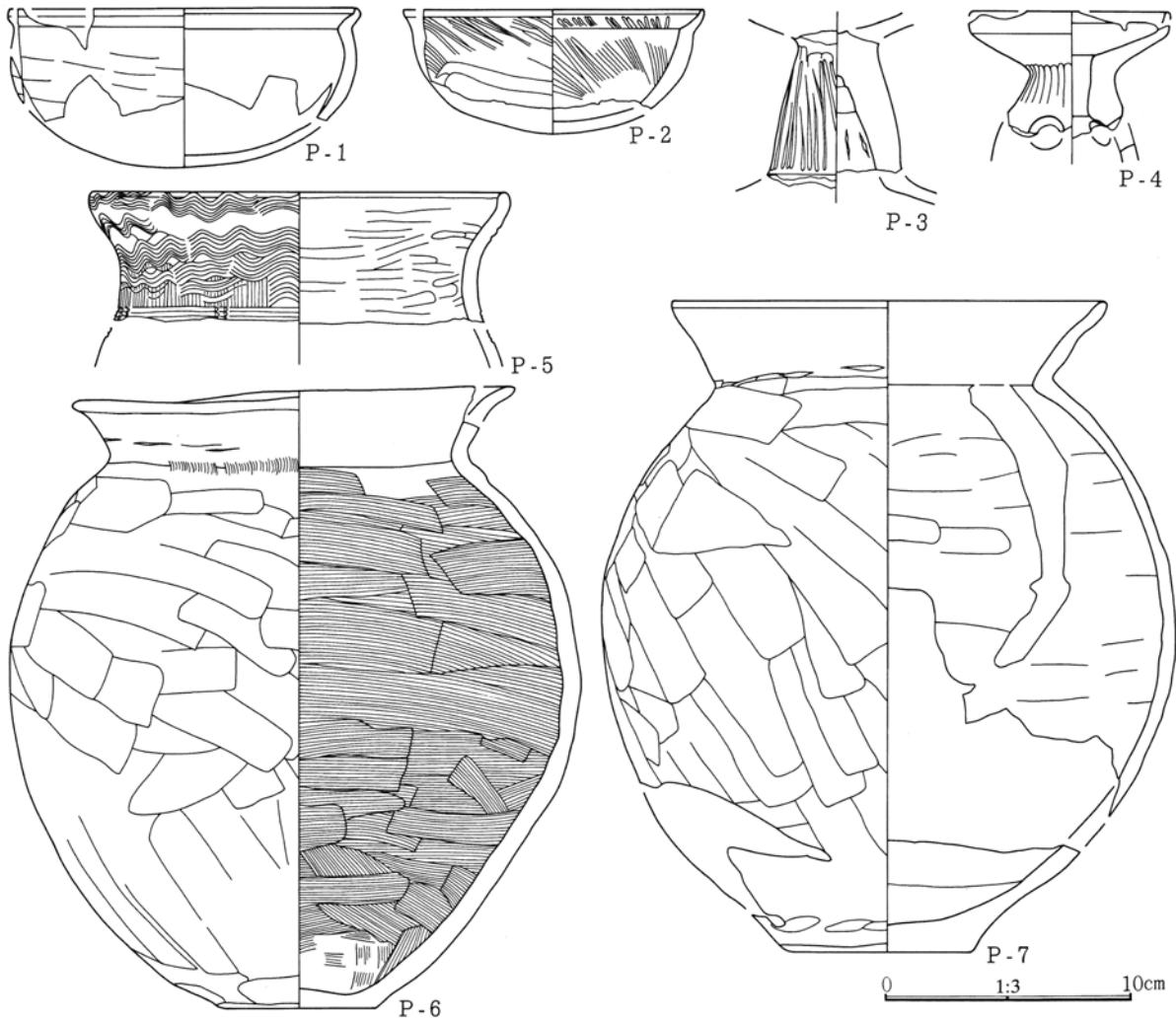
出土遺物 短頸の小型甕の破片が出土しているが紛れ込みの可能性がある。

所見 当住居跡は掘り方を確認したのみで、明確な床面等の施設を確認することはできなかった。14号住居跡との切れあい関係から、4世紀の住居跡と考えられる。

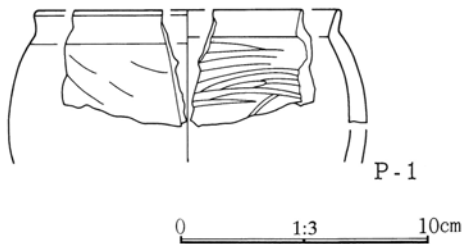


第48図 14号住居跡出土遺物

第2節 住居跡



第49図 17号住居跡出土遺物



第50図 53号住居跡出土遺物

15号住居跡

(第51～53図・写真図版70)

位置 AY-126

重複 52号住居跡と重複するが、新旧関係を確認できなかった。

形状 隅丸方形

規模 長軸3.15×短軸2.75m

長軸方位 N-73°-E

壁高 3～9cm

周溝・柱穴・炉等の諸施設は検出されていない。

掘り方 床下ピットを3基確認した。規模は1、36×36cm、深さ19cm。2、24×27cm、深さ6cm。3、35×38cm、深さ8cmを測る。

出土遺物 高坏、壺、S字状口縁台付甕、土師器平底甕が出土し、高坏は樽式土器の系譜にある土器である。

所見 出土遺物から、4世紀の住居跡である。

第5章 遺構と遺物

52号住居跡

(第54図・写真図版96)

位置 AY-126

重複 15号住居跡と重複するが、新旧関係を確認できなかった。

形状 隅丸方形

規模 長軸2.45×短軸2.23m

長軸方位 N-45°-E

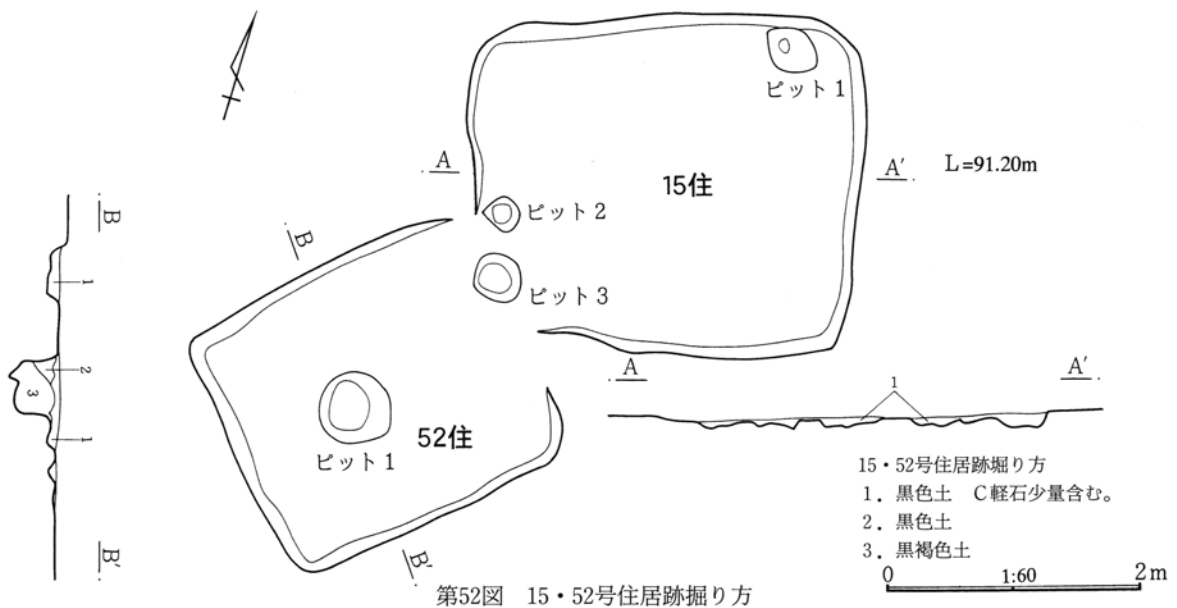
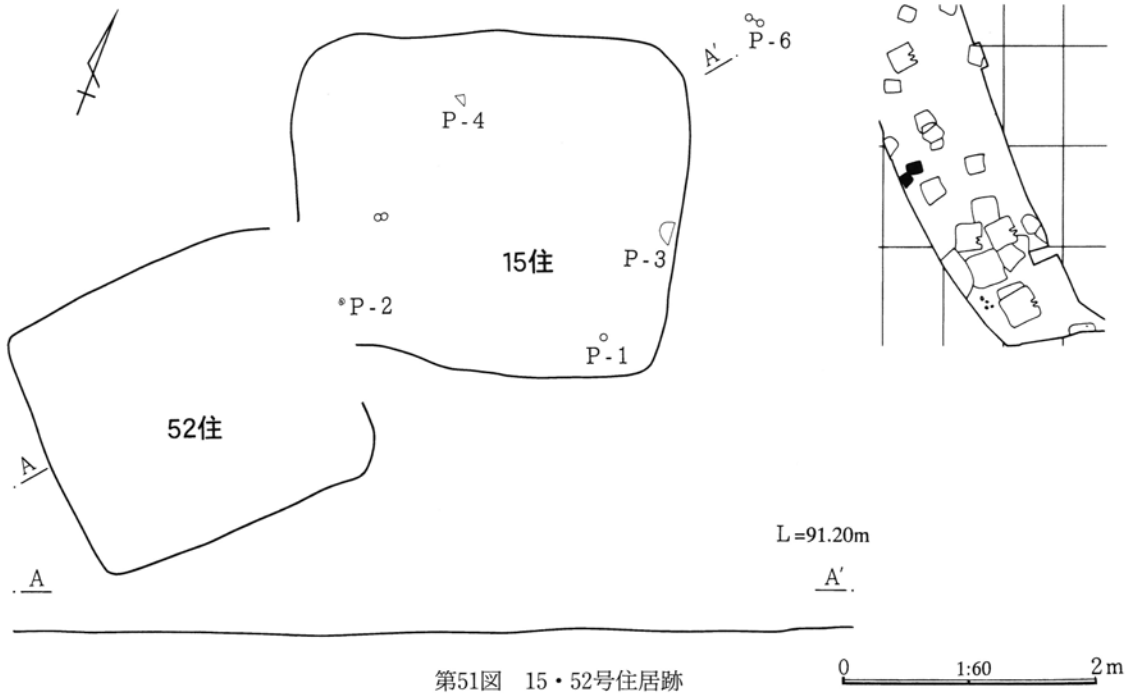
壁高 1~11cm

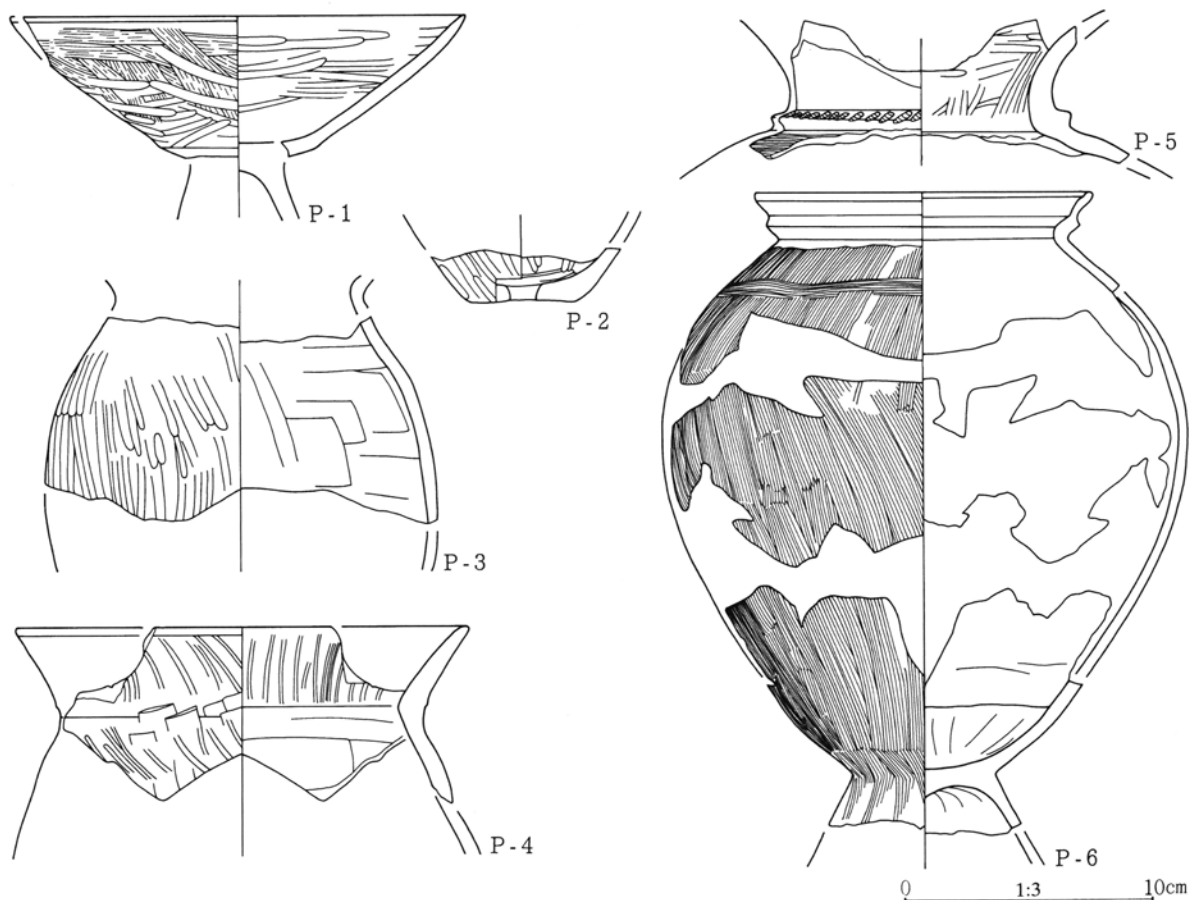
周溝・柱穴・炉等の諸施設は検出されていない。

掘り方 床下ピットを1基確認した。規模は57×59cm、深さ40cmを測る。

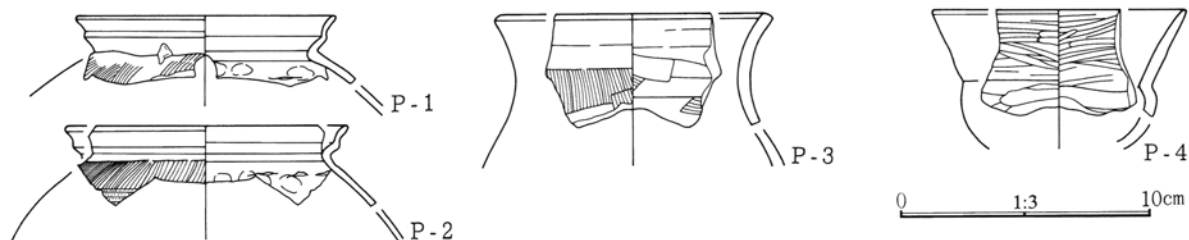
出土遺物 S字状口縁台付甕、土師器平底甕、小型埴が出土している。

所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。





第53図 15号住居跡出土遺物



第54図 52号住居跡出土遺物

16号住居跡

(第55～57図・写真図版8・71)

位置 AZ-127

重複 単独

形状 隅丸方形

規模 長軸4.3×短軸4.3m

長軸方位 N-60°-E

壁高 3～12cm

周溝・竈等の諸施設は検出されていない。

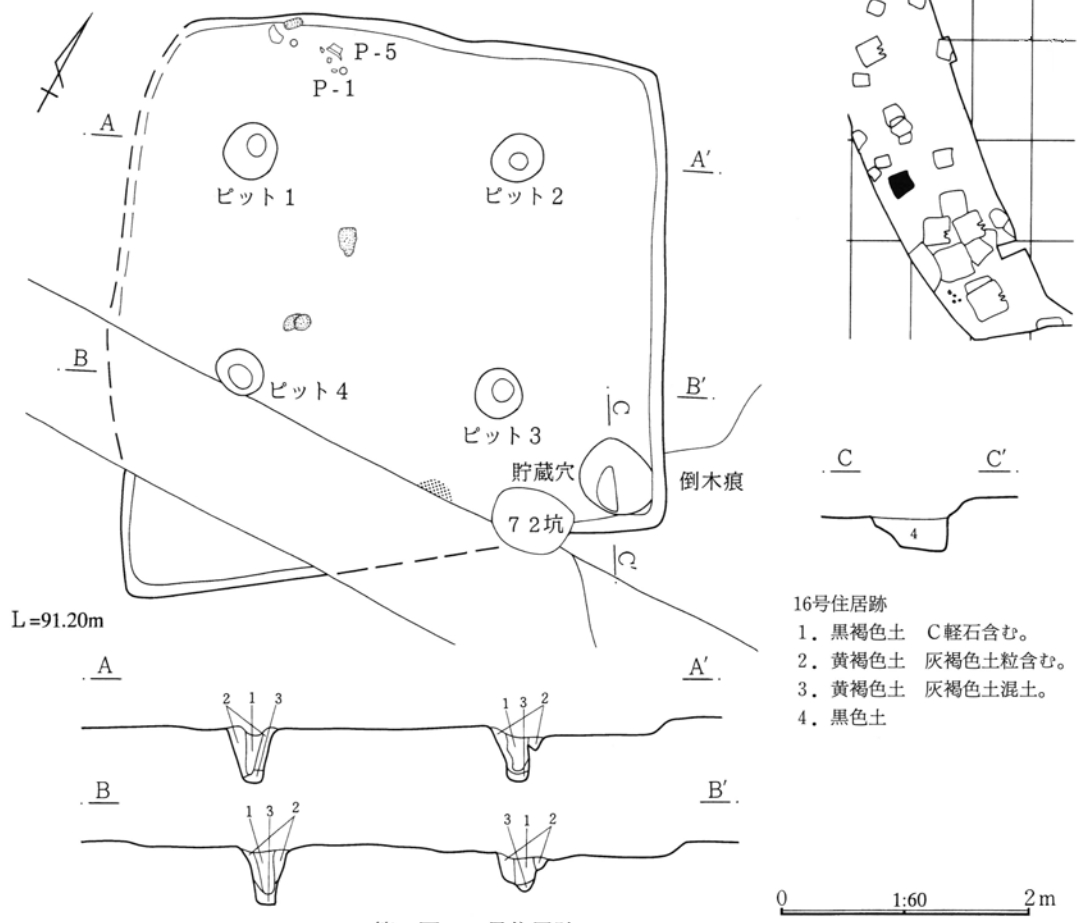
柱穴 ピットを4基確認した。規模は1、45×45cm、

深さ44cm、柱痕径12cmを測る。2、39×43cm、深さ42cm、柱痕径17cmを測る。3、38×40cm、深さ27cm、柱痕径16cmを測る。4、34×38cm、深さ45cm、柱痕径12cmを測る。

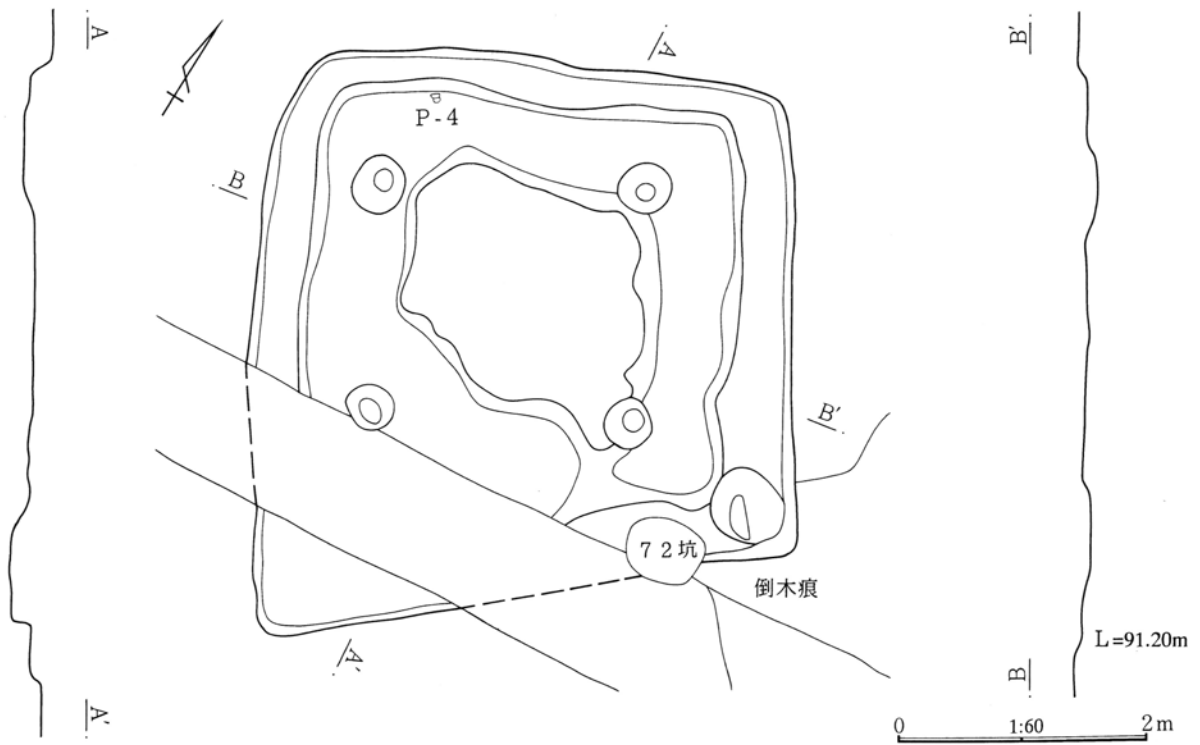
貯蔵穴 東南隅に確認した。形状は円形を呈し、規模は60×57cm、深さ27cmを測る。

出土遺物 内斜口縁・模倣坏、高坏、土師器甕が出土している。

所見 出土遺物から、5世紀前半の住居跡と考えられる。

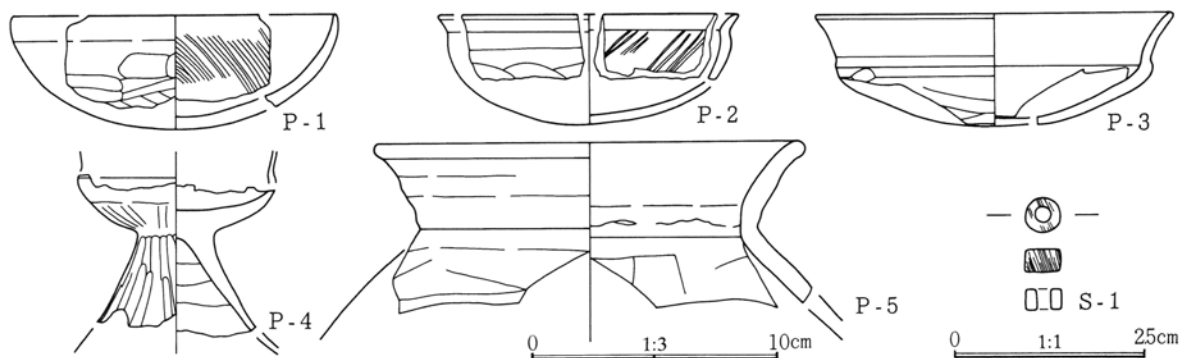


第55図 16号住居跡



第56図 16号住居跡掘り方





第57図 16号住居跡出土遺物

18号住居跡

(第58・59図・写真図版8・72)

位置 AY-118

重複 単独

形状 隅丸方形

規模 長軸3.25×短軸2.94m

長軸方位 N-73°-W

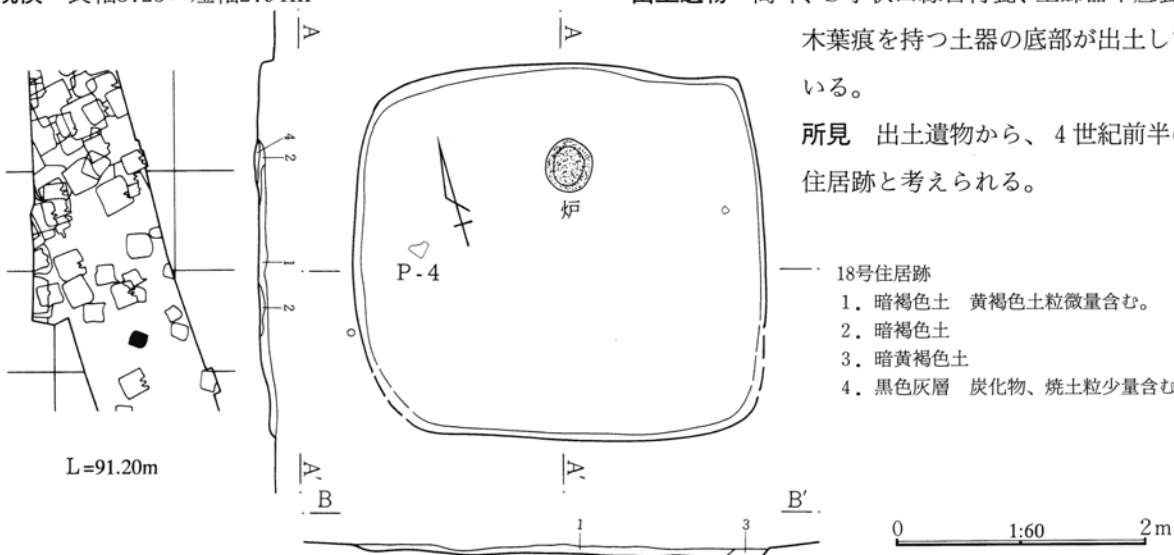
壁高 4~10cm

周溝・柱穴・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

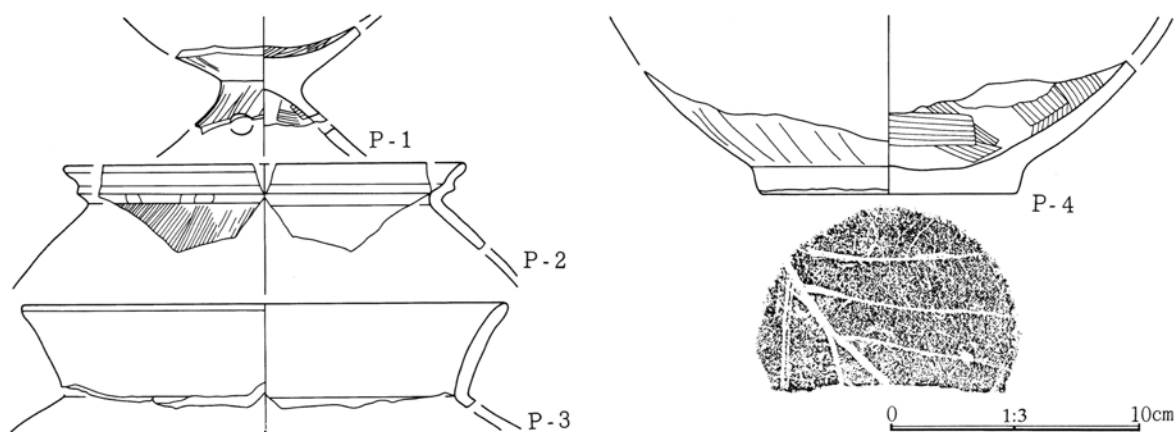
炉 中央北側に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は42×34cmを測る。

出土遺物 高坏、S字状口縁台付甕、土師器平底甕、木葉痕を持つ土器の底部が出土している。

所見 出土遺物から、4世紀前半の住居跡と考えられる。



第58図 18号住居跡



第59図 18号住居跡出土遺物

19号住居跡

(第60～63図・写真図版8・9・72～74)

位置 AX-116

重複 10・20号住居跡と重複し、新旧関係は10号住居跡より旧く、20号住居跡より新しい。

形状 方形

規模 長軸1.97×短軸4.54m

長軸方位 N-18°-W

壁高 7～28cm

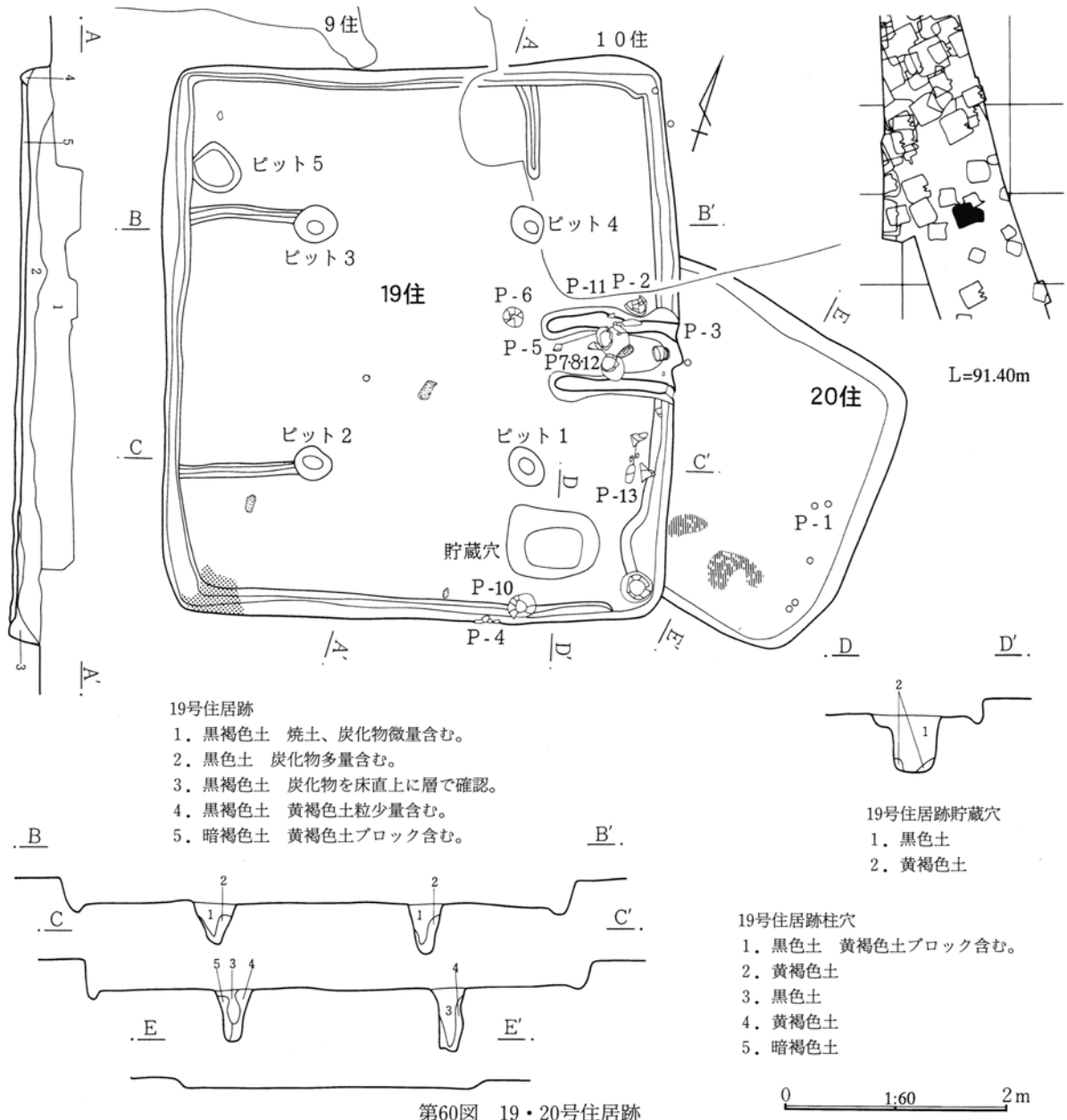
周溝 全周する。規模は 幅13～30cm、深さ1～10cmを測る。

間仕切り溝 3条確認した。規模は幅9～15cm、深さ1cmを測る。

柱穴 ピットを5基確認した。規模は1、36×26cm、深さ55cm、柱痕径13cmを測る。2、33×30cm、深さ44cm、柱痕径7cmを測る。3、39×31cm、深さ36cm、柱痕径12cmを測る。4、34×29cm、深さ43cm、柱痕径12cmを測る。5、43×38cm、深さ14cmを測る。

竈 東壁中央に確認した。規模は焚き口幅85cm、長さ122cmを測る。

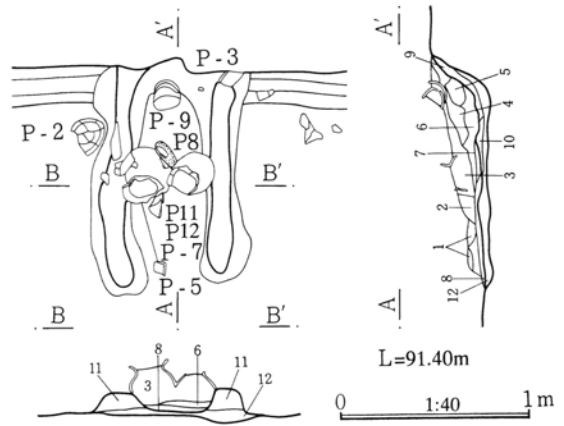
貯蔵穴 南東隅に確認した。形状は隅丸方形を呈し、規模は82×61cm、深さ52cmを測る。



掘り方 床下ピット3基を確認した。規模は1、37×30cm、深さ不明。2、46×43cm、深さ26cm。3、58×61cm、深さ11cmを測る。

出土遺物 須恵器高坏、内斜口縁坏、甕、壺、甗が検出された。甕は丸みを帯び、長胴化していない。

所見 出土遺物から、6世紀前半の住居跡と考えられる。



第61図 19号住居跡竈

20号住居跡

(第64図・写真図版9・74)

位置 AY-116

重複 10・19号住居跡と重複する。新旧関係は10・19号住居跡より古い。

形状 不明

規模 長軸2.76×短軸2.52+αm

長軸方位 N-4°-E

壁高 4~11cm

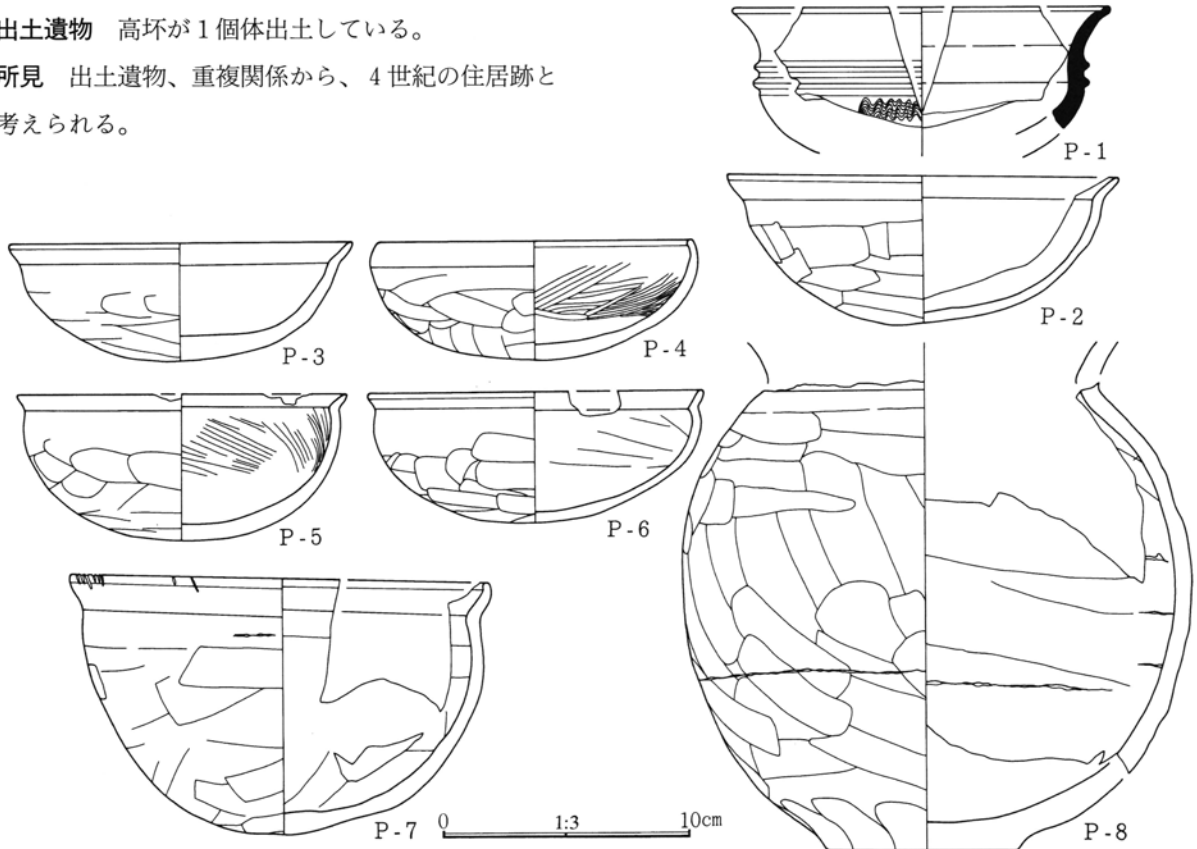
周溝・柱穴・炉・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

出土遺物 高坏が1個体出土している。

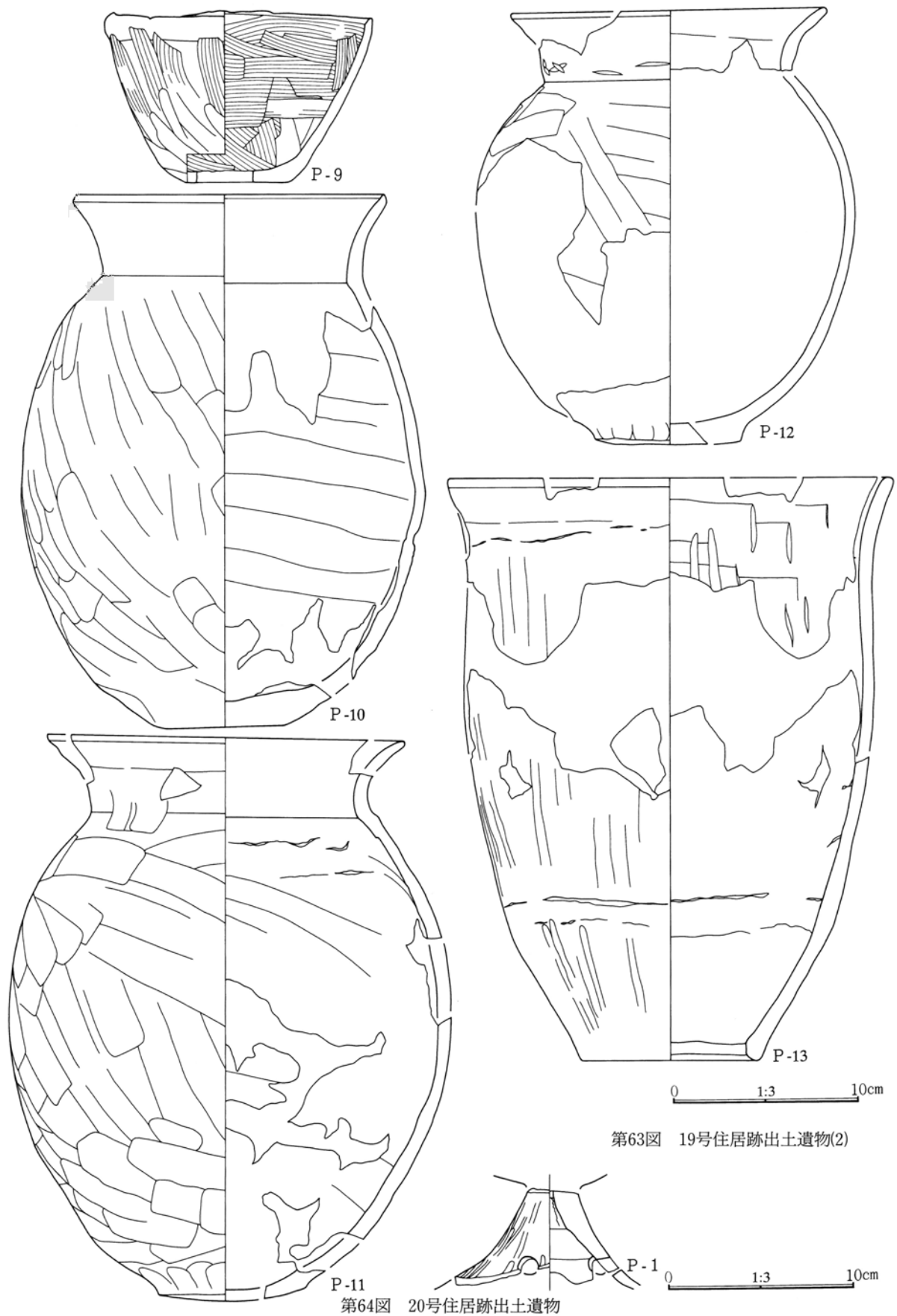
所見 出土遺物、重複関係から、4世紀の住居跡と考えられる。

19号住居跡竈

1. 暗褐色土 白灰色粘土混土、微量の焼土ブロック含む。
2. 焼土層 天井崩落土。
3. 黒色土と焼土混土層。
4. 暗褐色土と白灰色粘土混土層。
5. 灰色粘土層 焼土微量含む。
6. 焼土、白灰色粘土混土 天井崩落土。
7. 灰、焼土混土層
8. 灰層
9. 粘土、灰、焼土混土層。
10. 暗褐色土と粘土混土層。
11. 白黄褐色粘土 竈袖材。
12. 暗褐色土 C軽石微量含む。



第62図 19号住居跡出土遺物(1)



第63図 19号住居跡出土遺物(2)

第64図 20号住居跡出土遺物

21号住居跡

(第65～68図・写真図版10・74・75)

位置 AV-104

重複 26・80号住居跡と重複し、新旧関係は26・80号住居跡より21号住居跡が新しい。

形状 隅丸方形

規模 長軸5.65×短軸5.4m

長軸方位 N-11°-W

壁高 3～16cm

周溝 全周する。規模は幅9～22cm、深さ1～6cmを測る。

間仕切り溝 3条確認した。幅9～18cm、深さ8～12cmを測る。

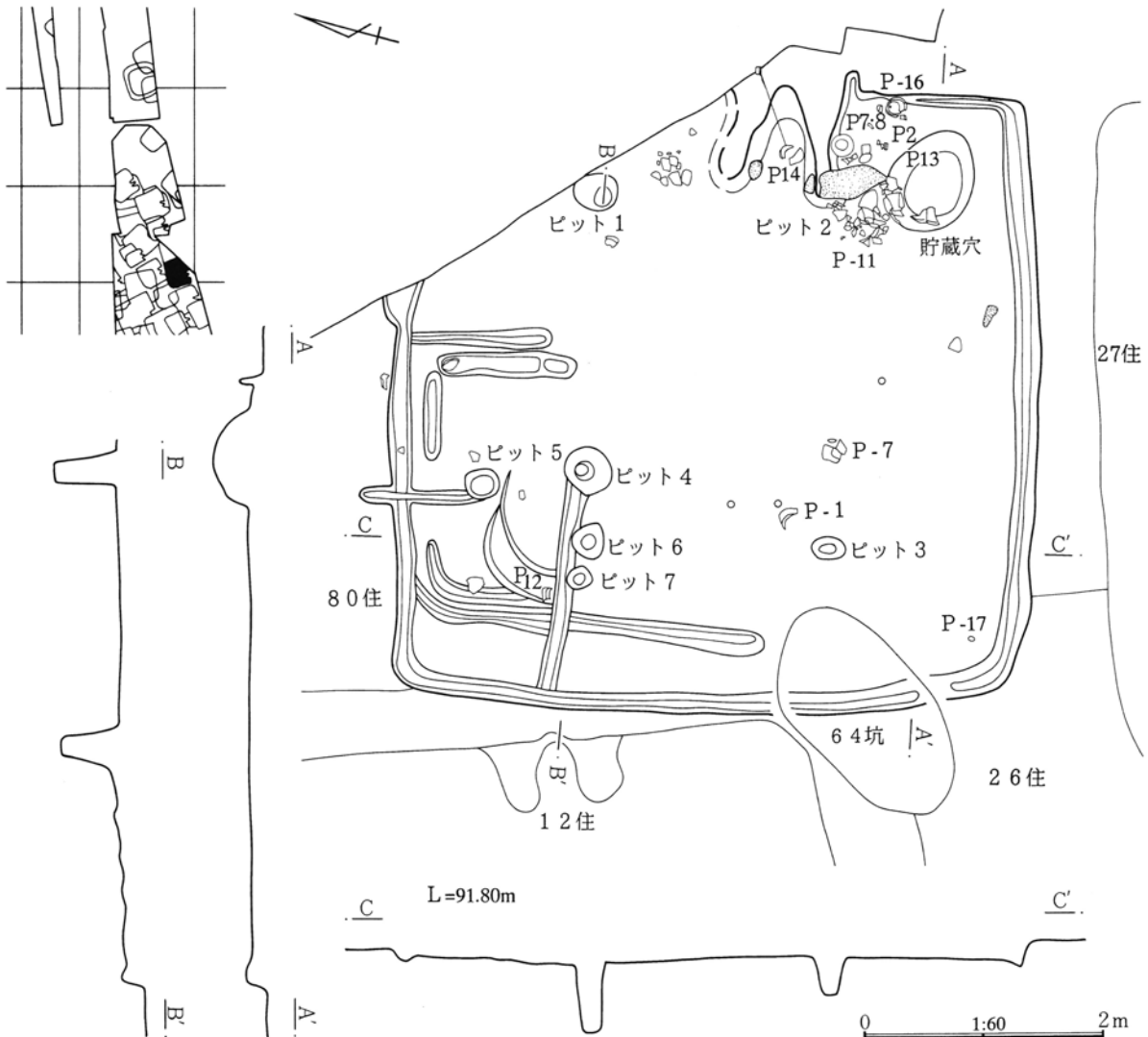
柱穴 ピットを7基確認した。規模は1、37×28cm、深さ50cm。2、27×18cm、深さ15cm。3、28×20cm、深さ21cm。4、40×38cm、46cm。5、28×26cm、深さ56cm。6、27×25cm、深さ25cm。7、20×16cm、深さ25cmを測る。

竈 東壁に確認した。規模は焚き口幅21.6cm、長さ187cmを測り、袖材に石が使用されている。

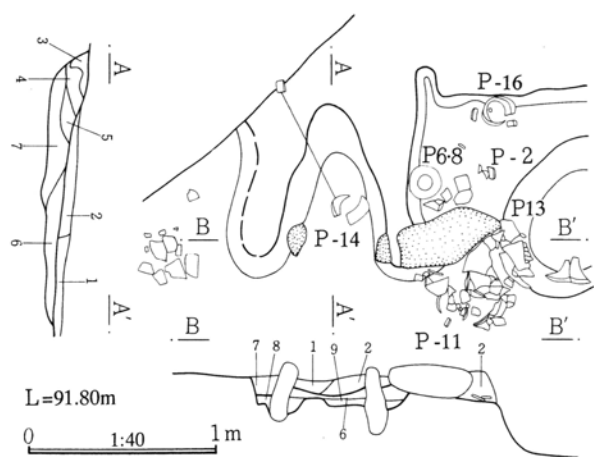
貯蔵穴 東南に確認した。形状は長方形を呈し、規模は1.55×76cm、深さ40cmを測る。

出土遺物 大形の耳付き甕、内斜口縁坏、模倣坏、高坏、長甕が検出されている。

所見 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。



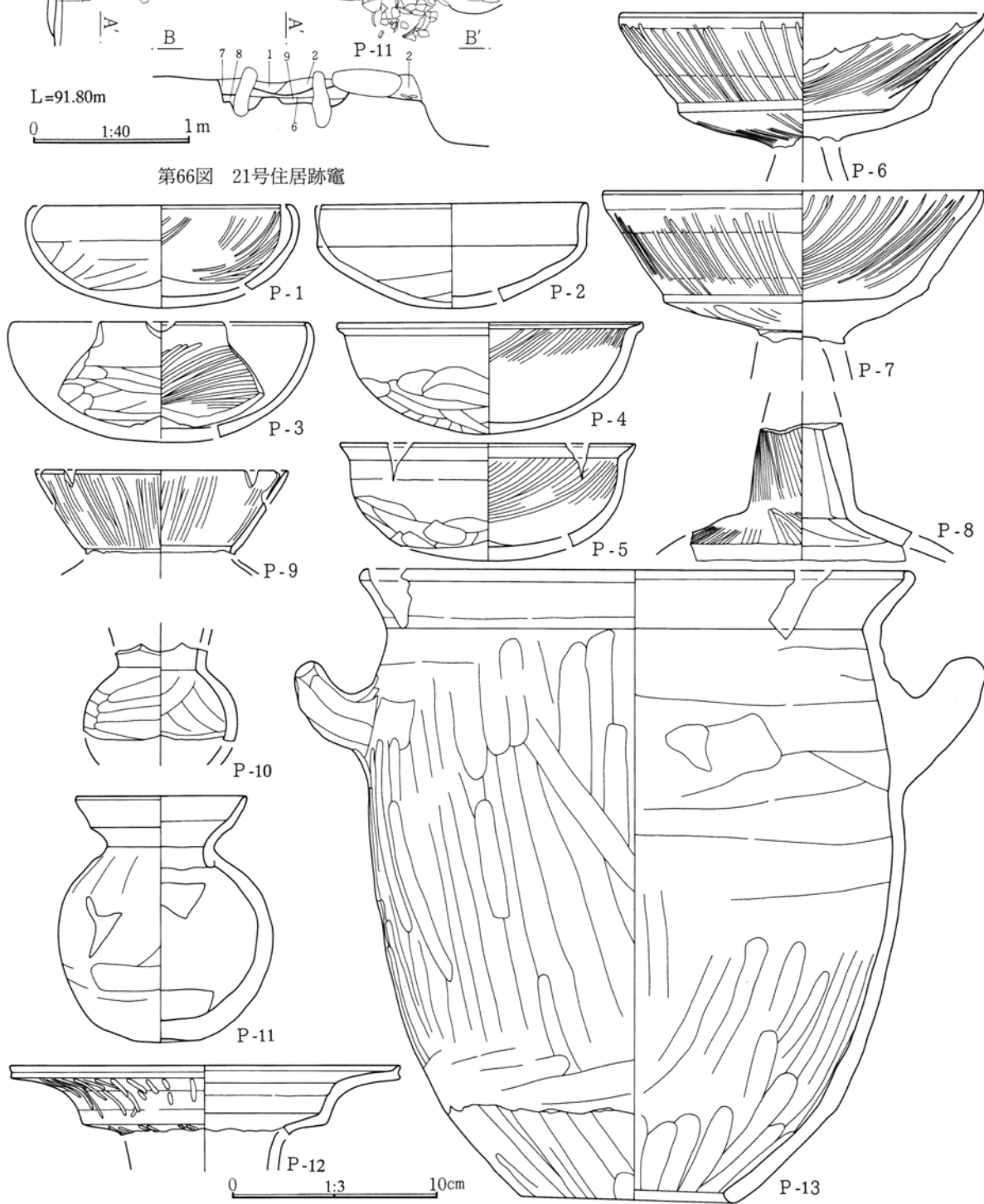
第65図 21号住居跡



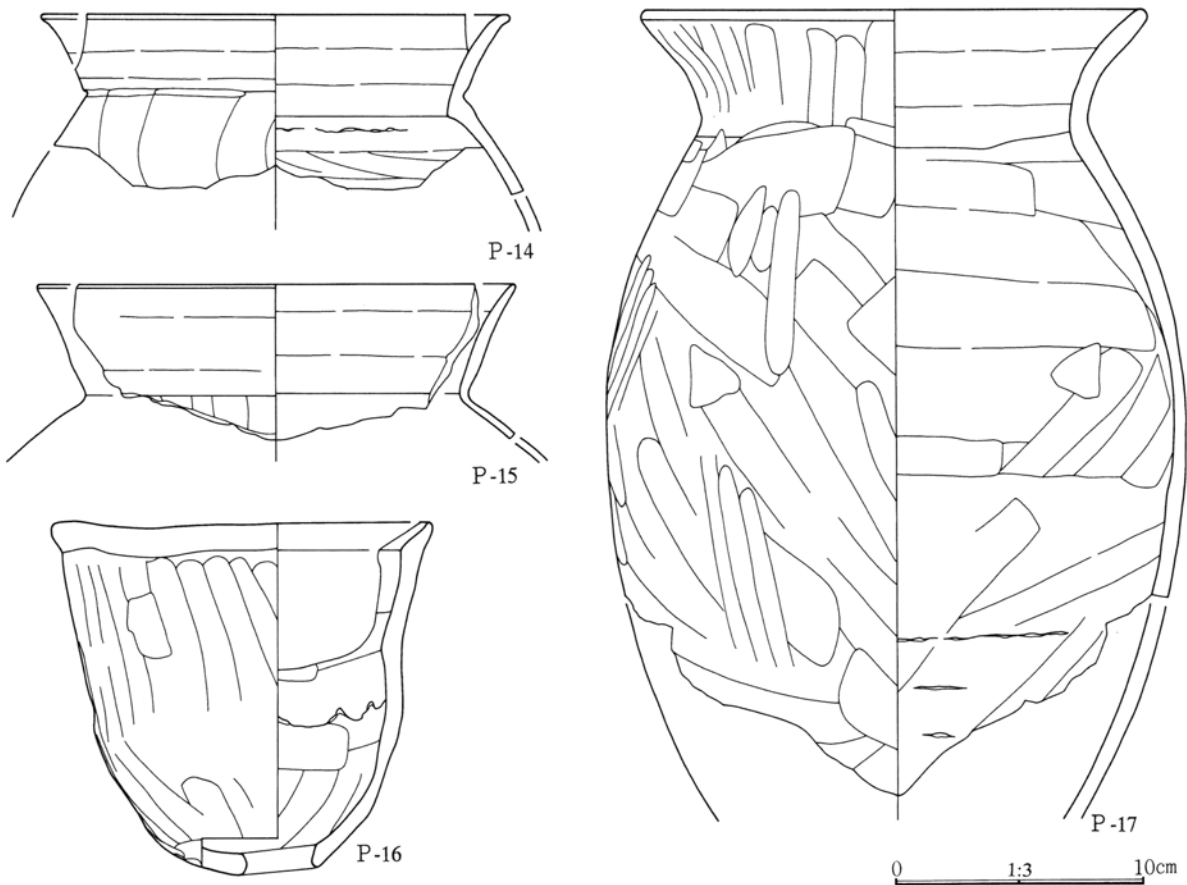
第66図 21号住居跡竈

21号住居跡竈

1. 黒褐色土 炭化物、焼土粒少量含む。
2. 暗褐色土 白色軽石微量含む。
3. 暗褐色土 白色軽石少量含む。
4. 灰褐色土 焼土ブロック微量含む。
5. 暗褐色土 粘土、焼土粒少量含む。
6. 暗褐色土 粘土、焼土、灰、炭化物含む。
7. 灰褐色土 粘土、焼土、灰含む。
8. 暗褐色砂質土
9. 暗褐色砂質土 焼土、灰、炭化物含む。



第67図 21号住居跡出土遺物(1)



第68図 21号住居跡出土遺物(2)

**22号住居跡**

(第69～74図・写真図版11・75～78)

**位置** AT-112

**重複** 45・75・76・77・78・92・99・106号住居跡と重複し、新旧関係は他の8軒より22号住居跡が新しい。

**形状** 不明

**規模** 長軸5.65×短軸4.94+αm

**長軸方位** N-13°-W

**壁高** 18～32cm

**周溝** 部分的に確認した。規模は幅10～33cm、深さ3～9cmを測る。

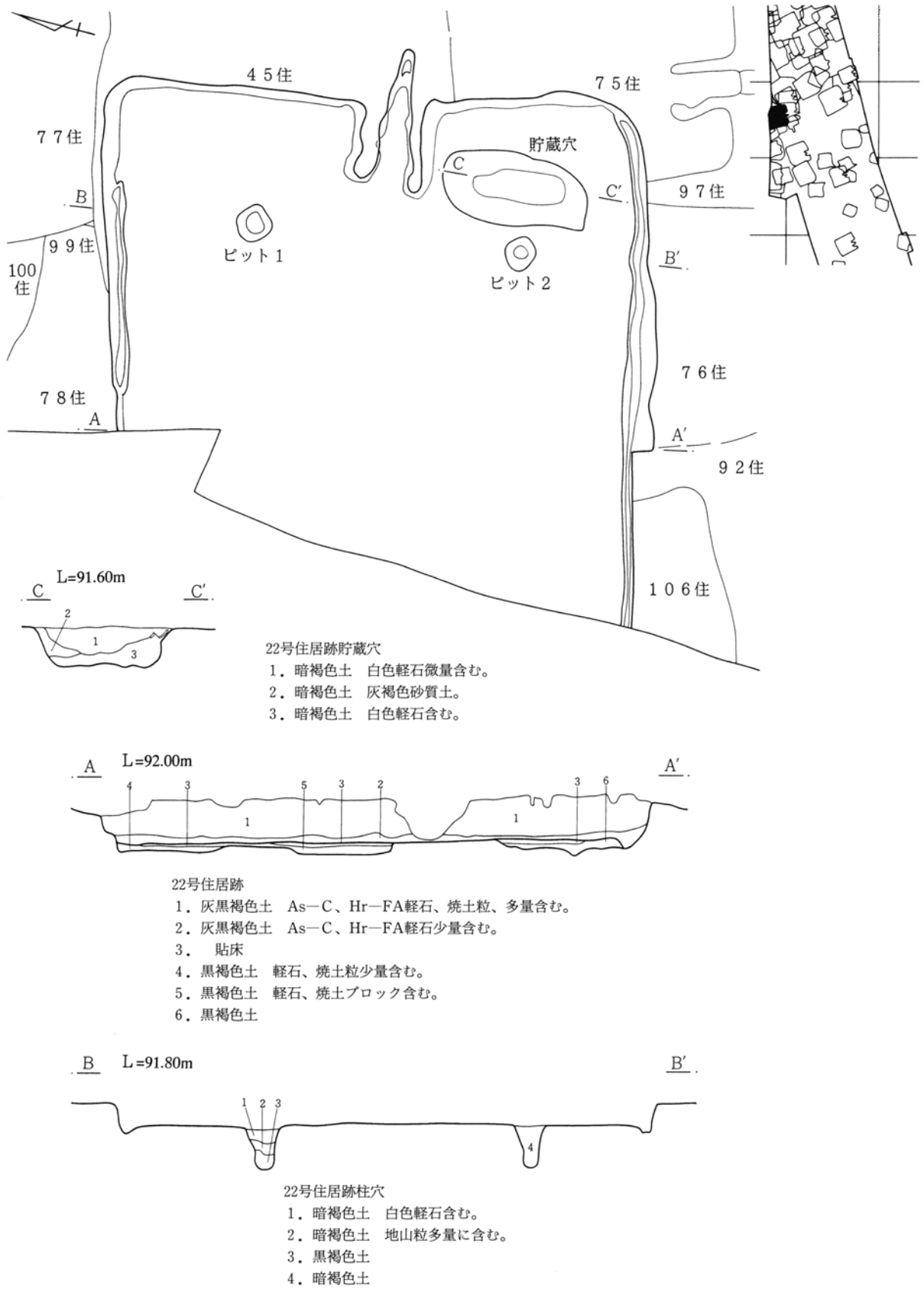
**柱穴** ピットを2基確認した。規模は1、35×35cm、深さ45cm。2、32×32cm、深さ43cmを測る。

**竈** 東壁中央に確認した。規模は焚き口幅92cm、長さ145cmを測る。

**貯蔵穴** 東南に確認した。形状は長方形を呈し、規模は1.55×76cm、深さ40cmを測る。

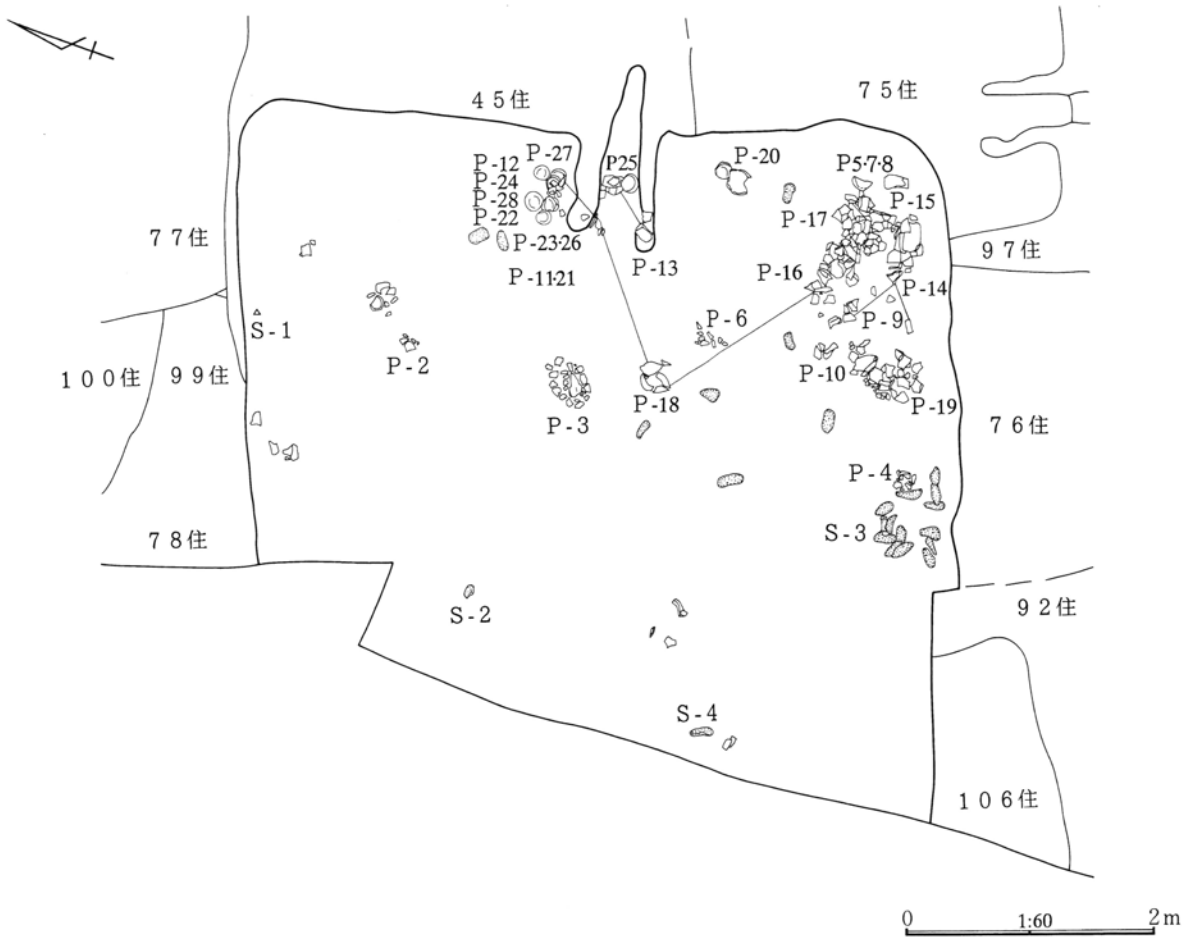
**出土遺物** 21個体の坏が検出され、うち19個体は模倣坏である。甕は長胴形が4個体、同様に長胴の甕が2個体出土している。

**所見** 出土遺物から、6世紀前半の住居跡と考えられる。

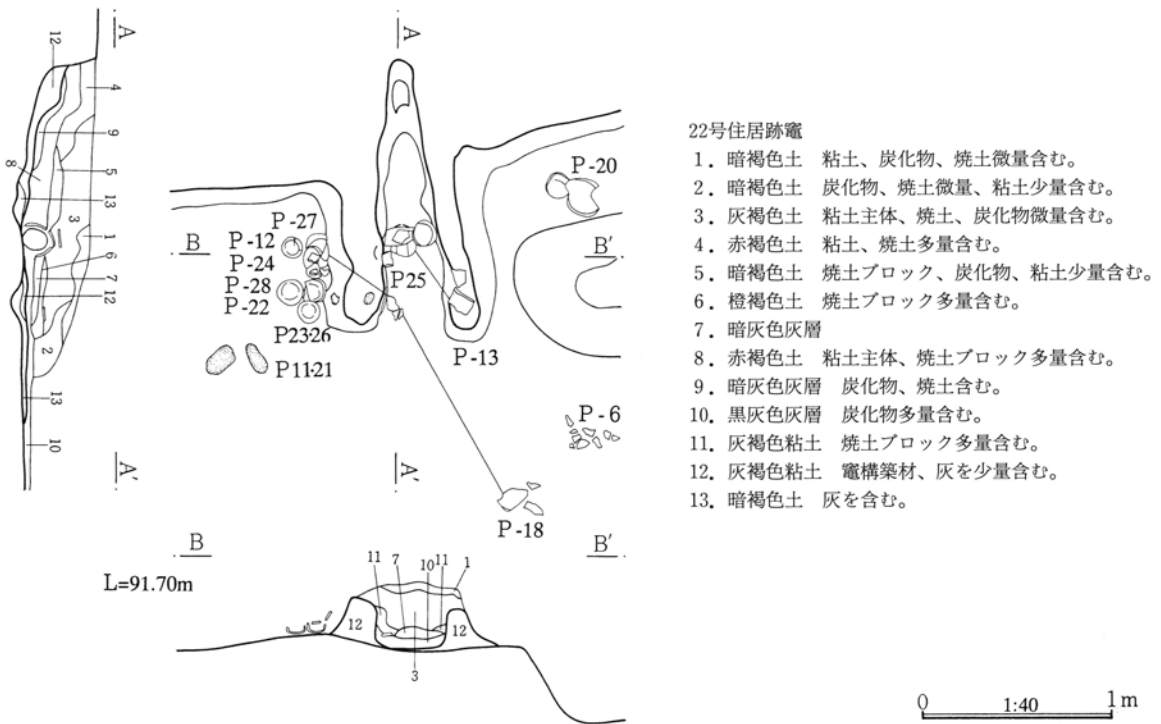


第69図 22号住居跡

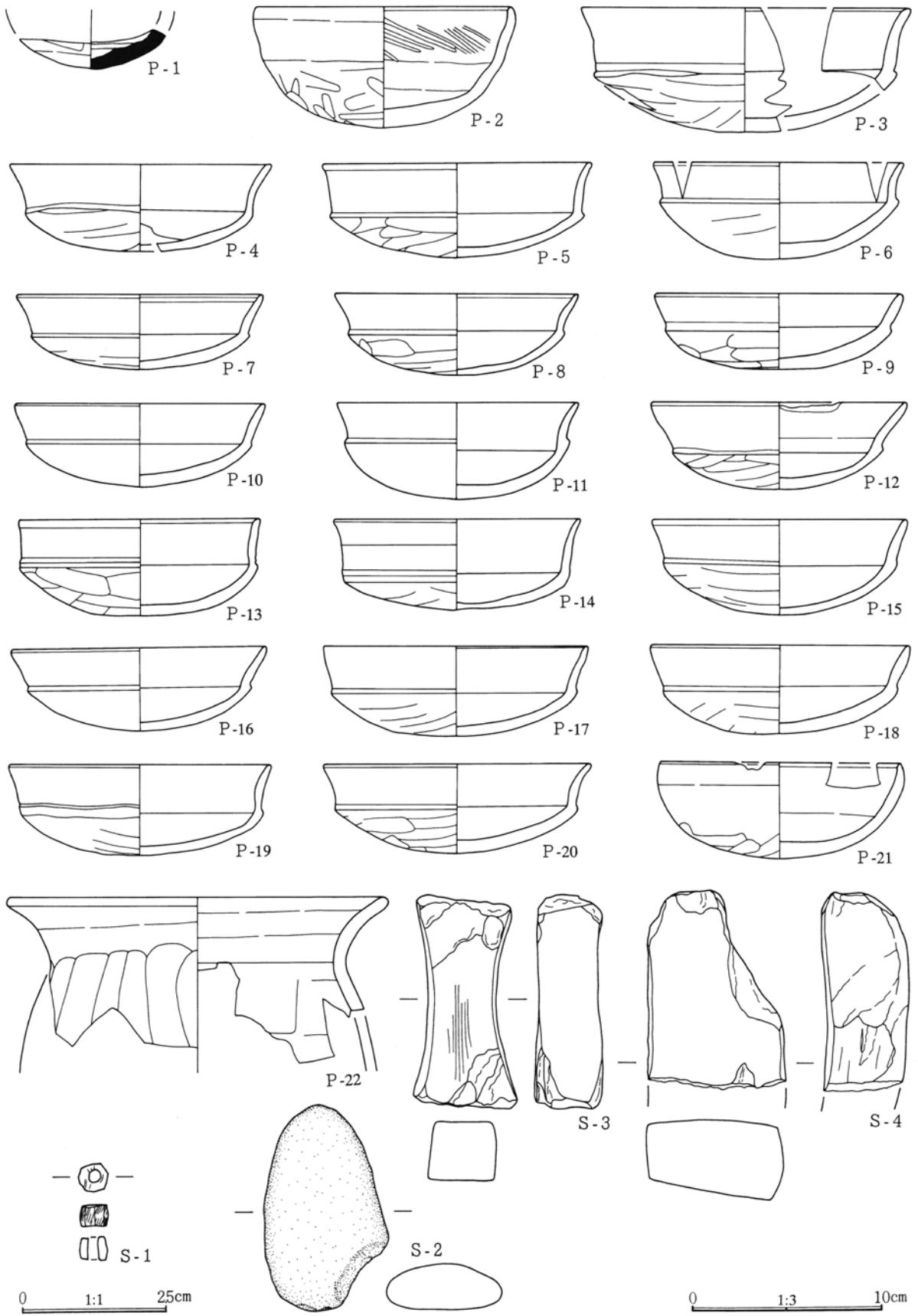




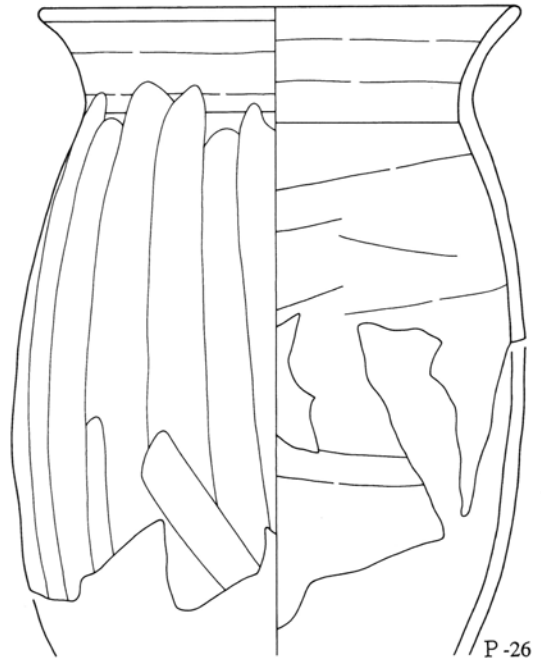
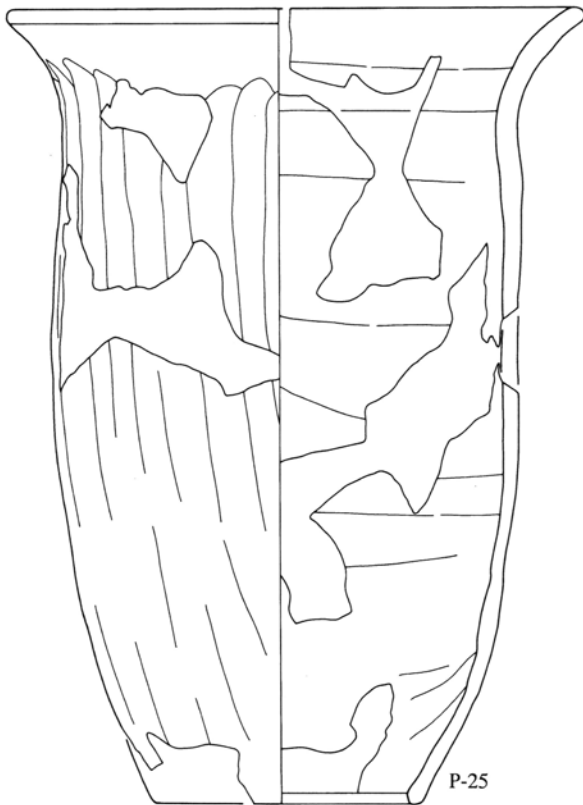
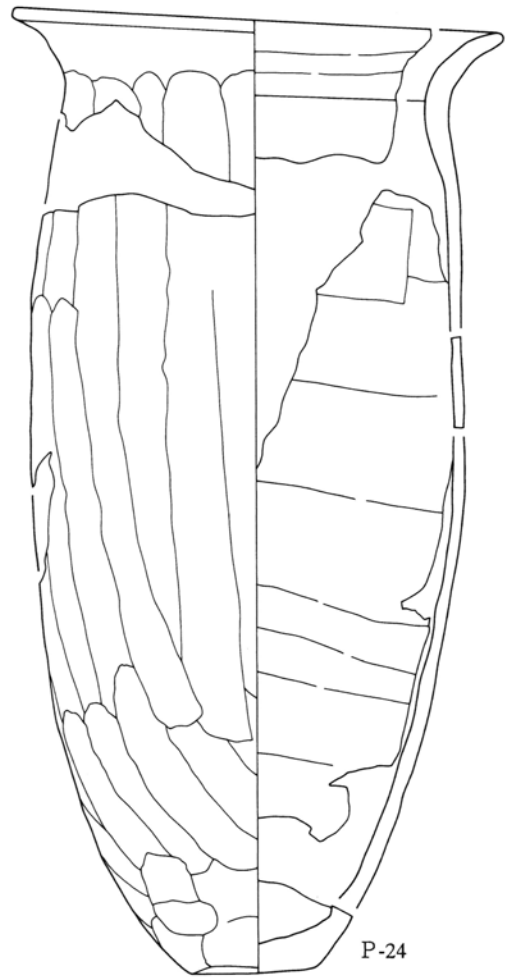
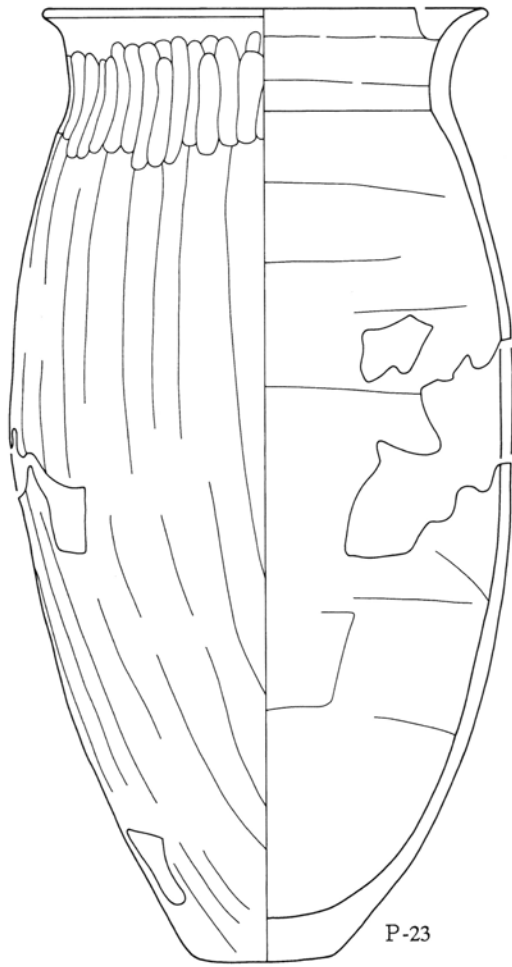
第70図 22号住居跡遺物散布図



第71図 22号住居跡竈

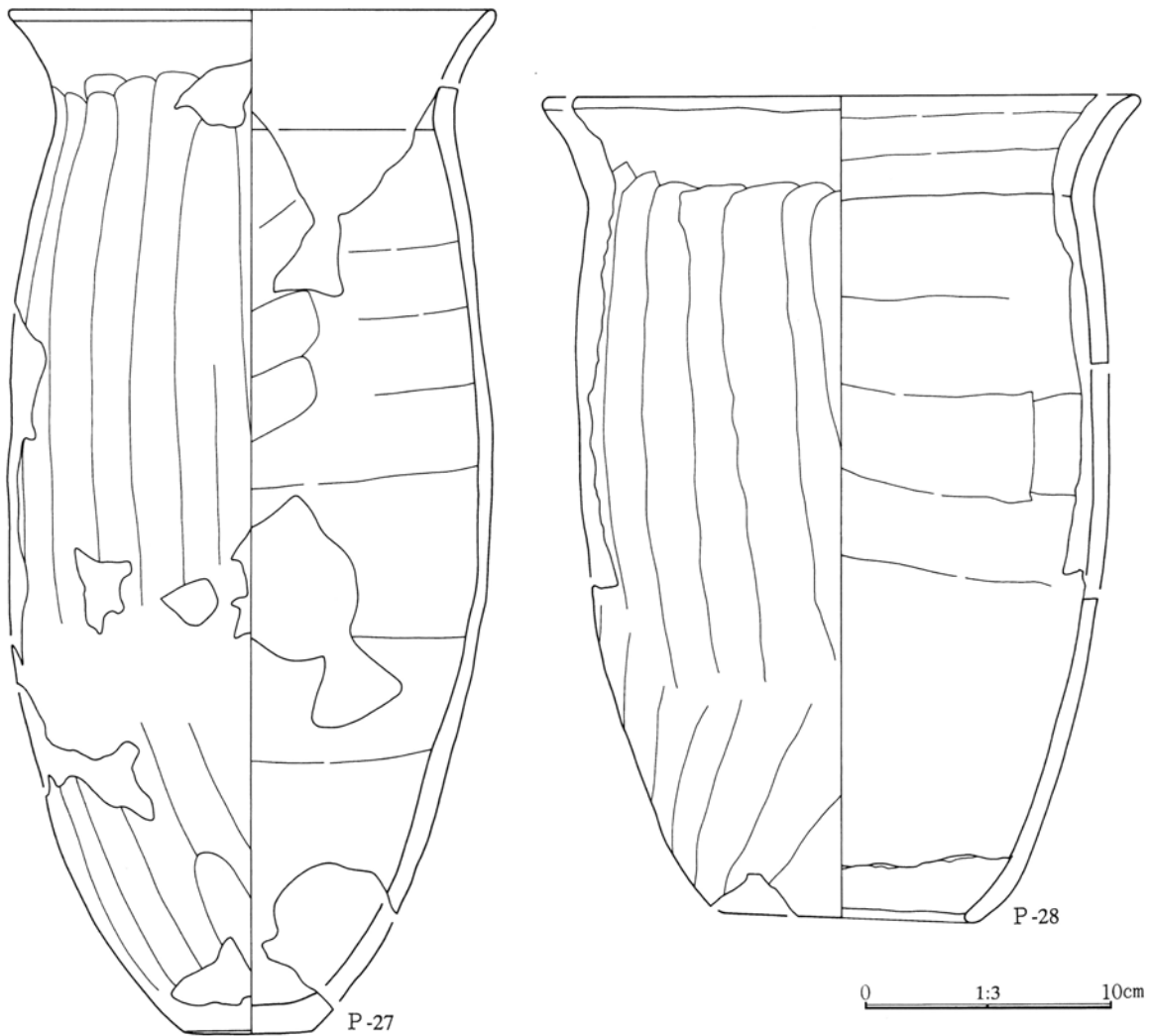


第72図 22号住居跡出土遺物(1)



0 1:3 10cm

第73図 22号住居跡出土遺物(2)



第74図 22号住居跡出土遺物(3)

**23号住居跡**

(第75～77図・写真図版10・78)

**位置** AV-115

**重複** 79号住居跡と重複し、新旧関係は23号住居跡が新しい。

**形状** 方形

**規模** 長軸5.59×短軸5.02m

**長軸方位** N-28°-W

**壁高** 1～25cm

**周溝** 全周する。規模は幅13～24cm、深さ11cmを測る。

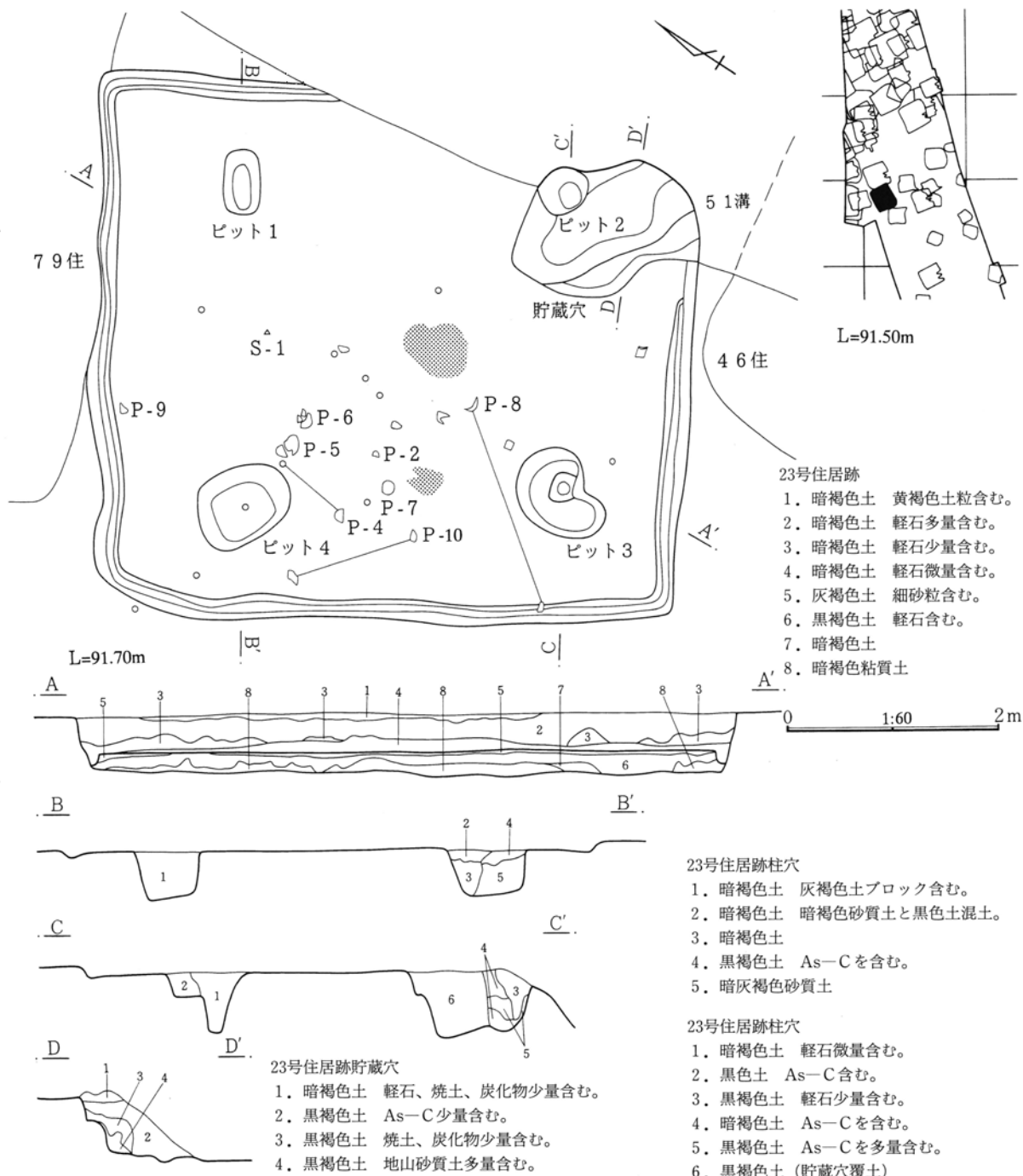
**柱穴** ピットを4基確認した。規模は1、61×33cm、深さ42cm、柱痕径20cm。2、47×40cm、深さ58cm。3、94×69cm、深さ56cm。4、94×67cm、深さ44cm、柱痕径27cmを測る。

**貯蔵穴** 南東隅に確認した。規模は178+α×110+αcm、深さ55cmを測る。

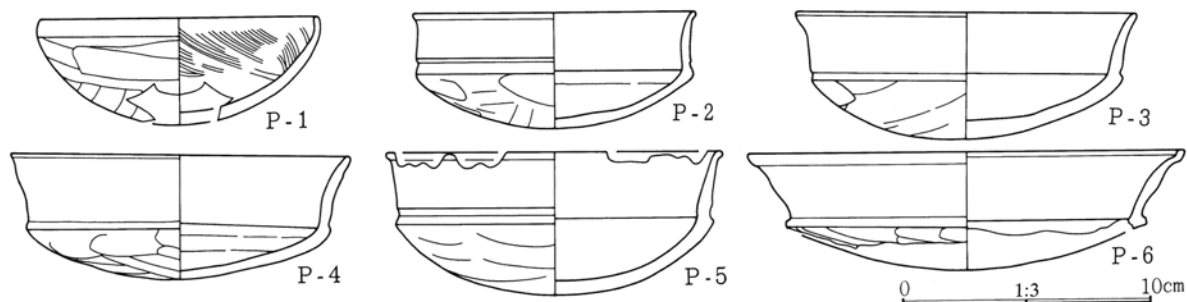
**出土遺物** 坏7個体、うち6個体は模倣坏、須恵器壺破片、土師器甕が出土している。

**所見** 出土遺物から、6世紀後半の住居跡と考えられる。

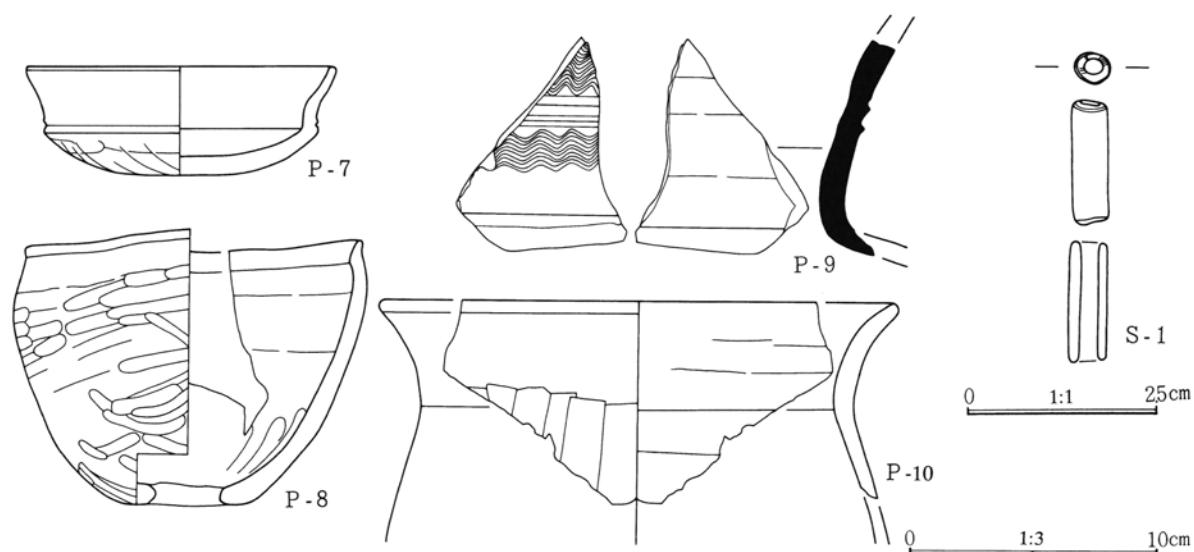
第2節 住居跡



第75図 23号住居跡



第76図 23号住居跡出土遺物(1)



第77図 23号住居跡出土遺物(2)

24号住居跡

(第78・79図・写真図版10・12・79)

位置 AT-106

重複 36・41号住居跡と重複し、新旧関係は36・41号住居跡より24号住居跡が新しい。

形状 不明

規模 長軸2.84×短軸2.8+αm

長軸方位 N-9°-W

壁高 1~9cm

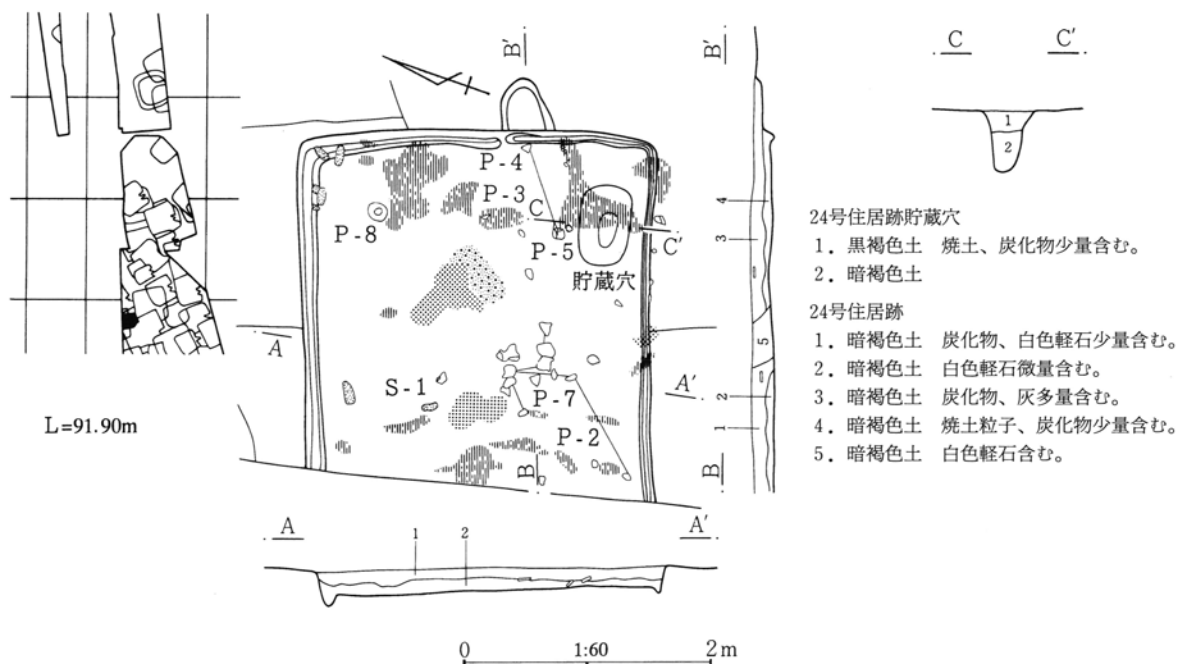
周溝 全周する。規模は幅6~17cm、深さ1~5cmを測る。

竈 東壁南寄りに確認した。規模は不明である。

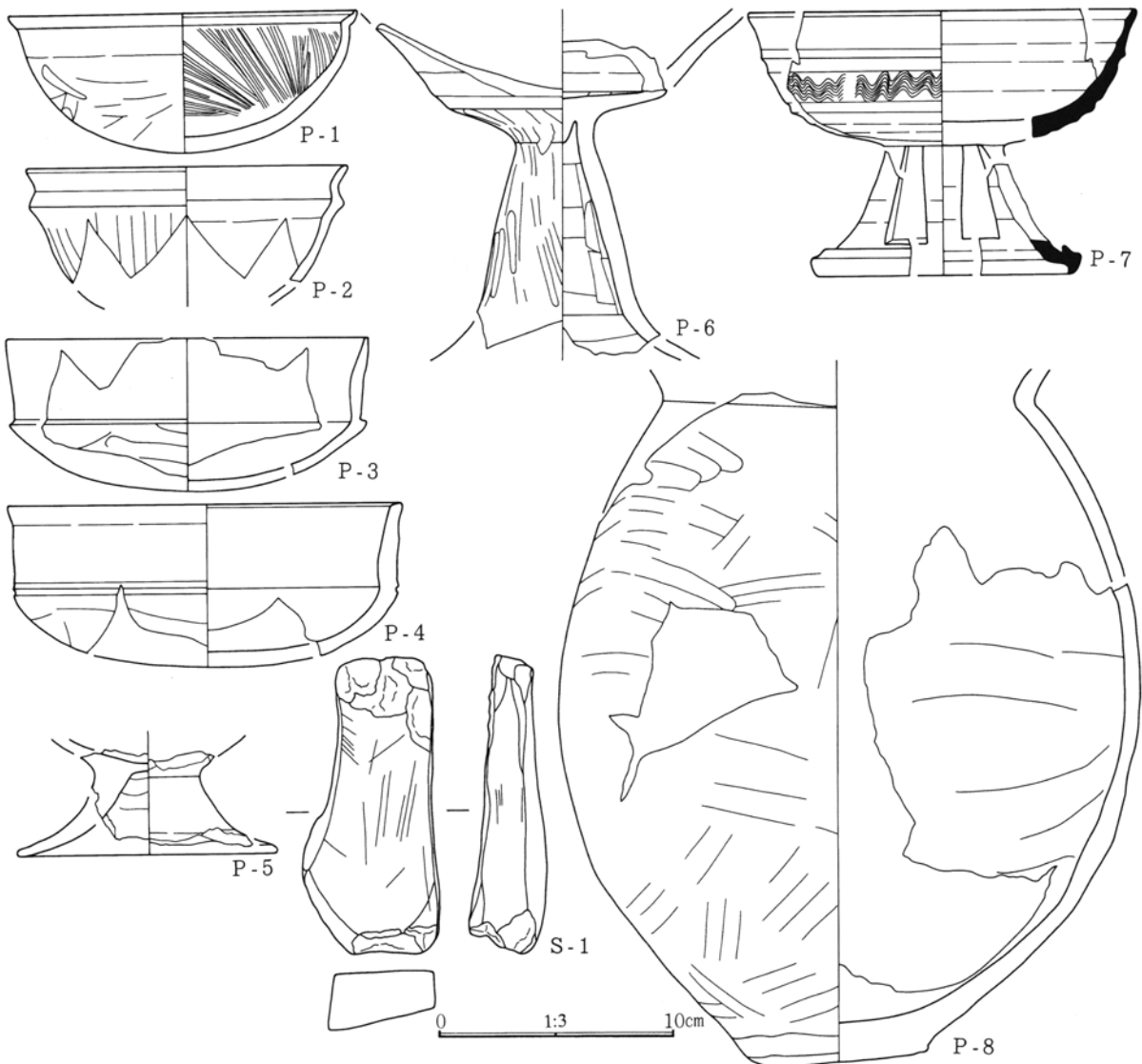
貯蔵穴 南東隅に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は54×40cm、深さ46cmを測る。

出土遺物 模倣坏、内斜口縁坏、須恵器と土器の高坏、甕が出土している。

所見 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。



第78図 24号住居跡



第79図 24号住居跡出土遺物

**25号住居跡**

(第80～83図・写真図版12・79・80)

**位置** AV-105

**重複** 6・7・26・36・37・40・43・44・47号住居跡と重複し、新旧関係は6・7号住居跡の2軒より旧く、26・36・37・43・44・47号住居跡の6軒より新しい。

**形状** 方形

**規模** 長軸7.53×短軸7.27m

**長軸方位** N-67°-E

**壁高** 4～38cm

**周溝** 全周する。規模は幅10～38cm、深さ1～10cmを測る。

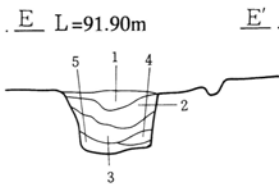
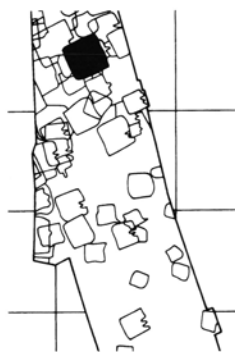
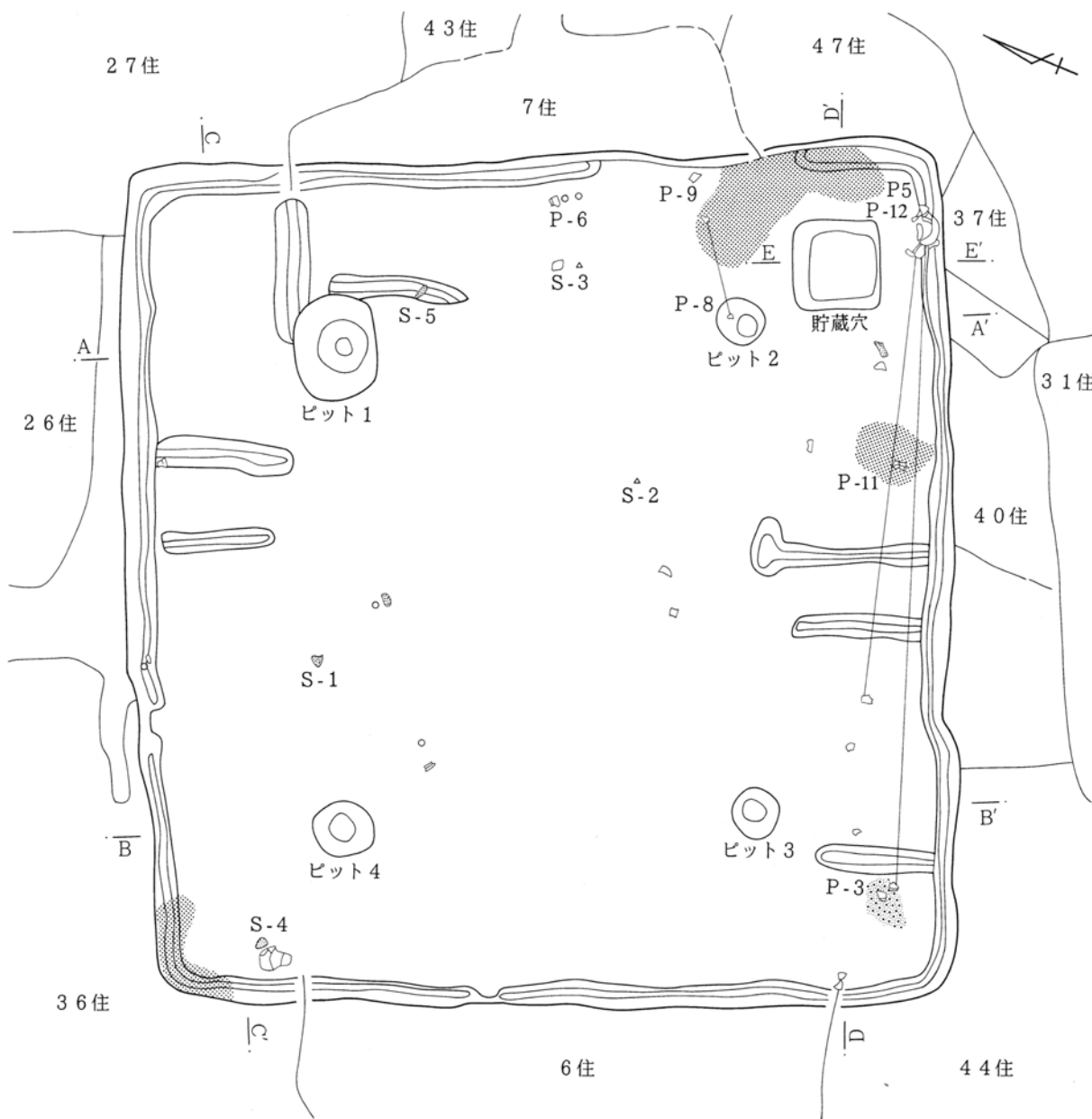
**間仕切り溝** 7条を確認した。規模は幅12～29cm、深さ1～21cmを測る。

**柱穴** ピットを4基確認した。規模は1、93×73cm、深さ48cm。2、43×38cm、深さ73cm。3、46×41cm、深さ83cm。4、55×50cm、深さ29cmを測る。

**貯蔵穴** 東南隅に確認した。形状は方形を呈し、規模は78×77cm、深さ50cmを測る。

**出土遺物** 内斜口縁坏、模倣坏、高坏、甕の他須恵器壺が出土している。他に滑石性の垂飾が出土している。

**所見** 出土遺物から、6世紀第1四半期の住居跡と考えられる。



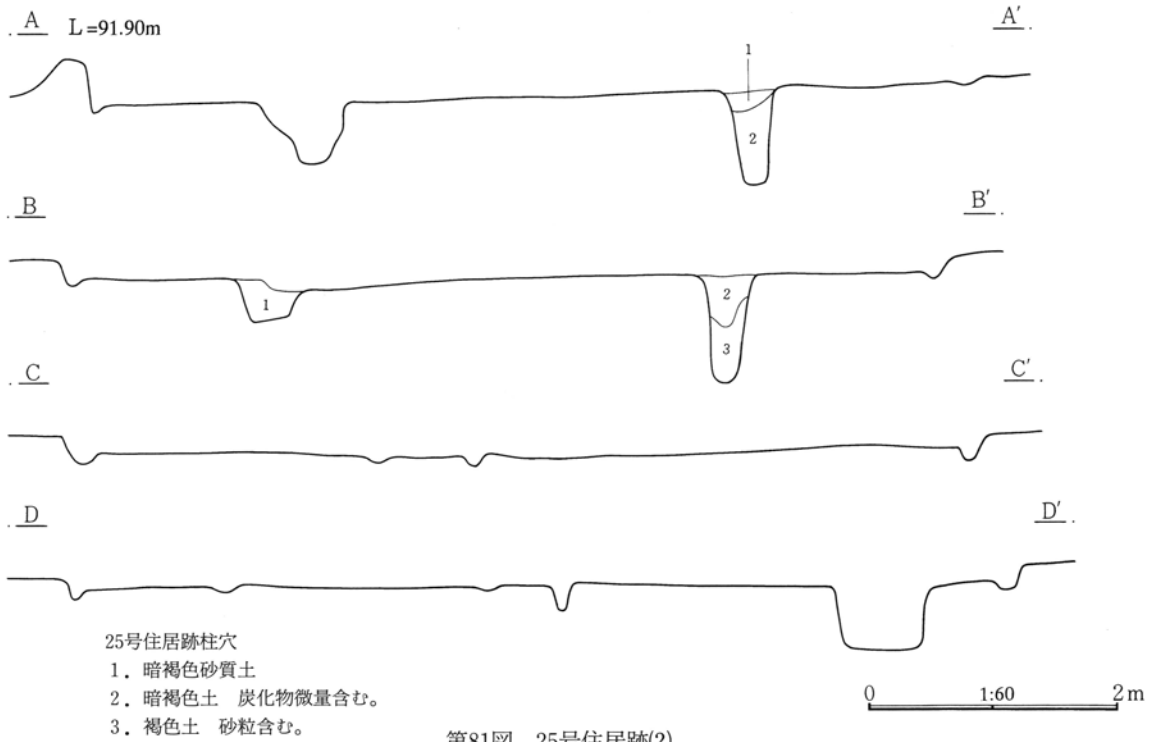
25号住居跡

1. 暗褐色砂質土
2. 暗褐色土 焼土粒微量含む。
3. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
4. 黒褐色土
5. 暗褐色砂質土

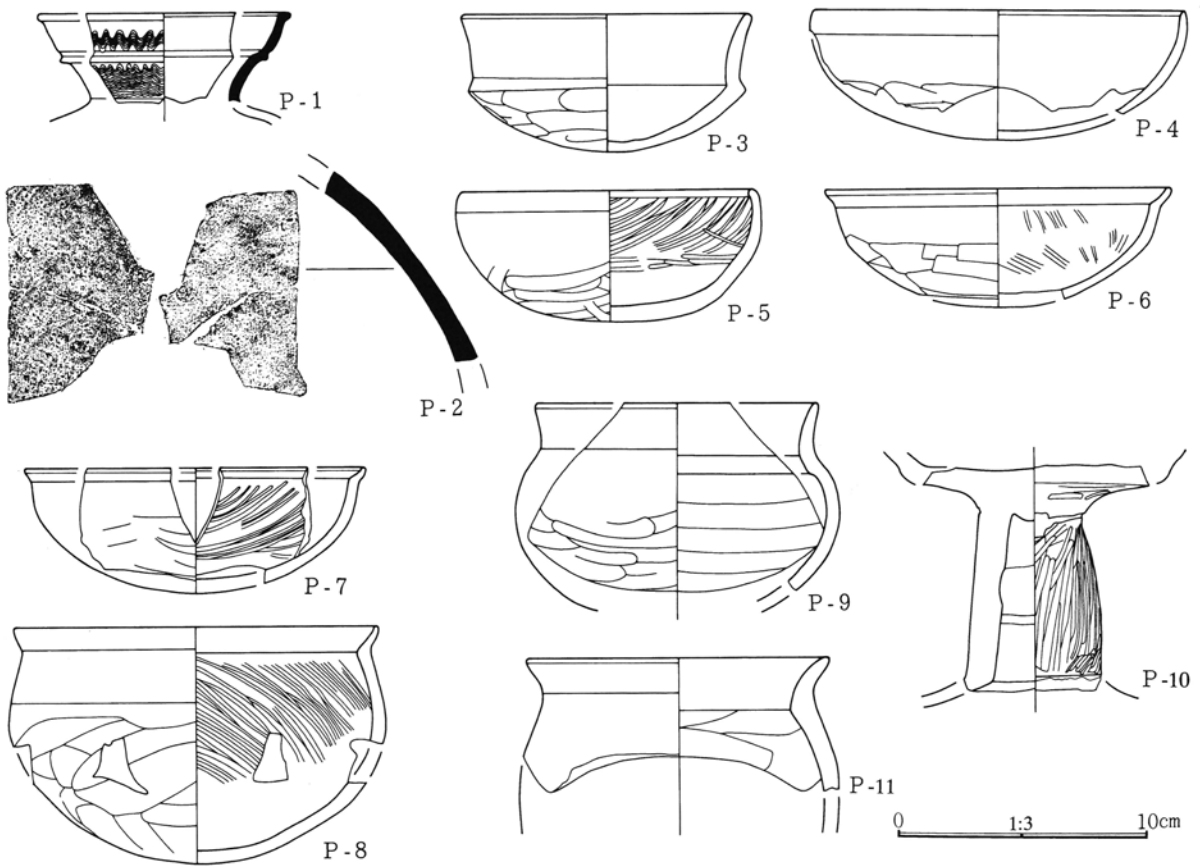
0 1:60 2m

第80図 25号住居跡(1)

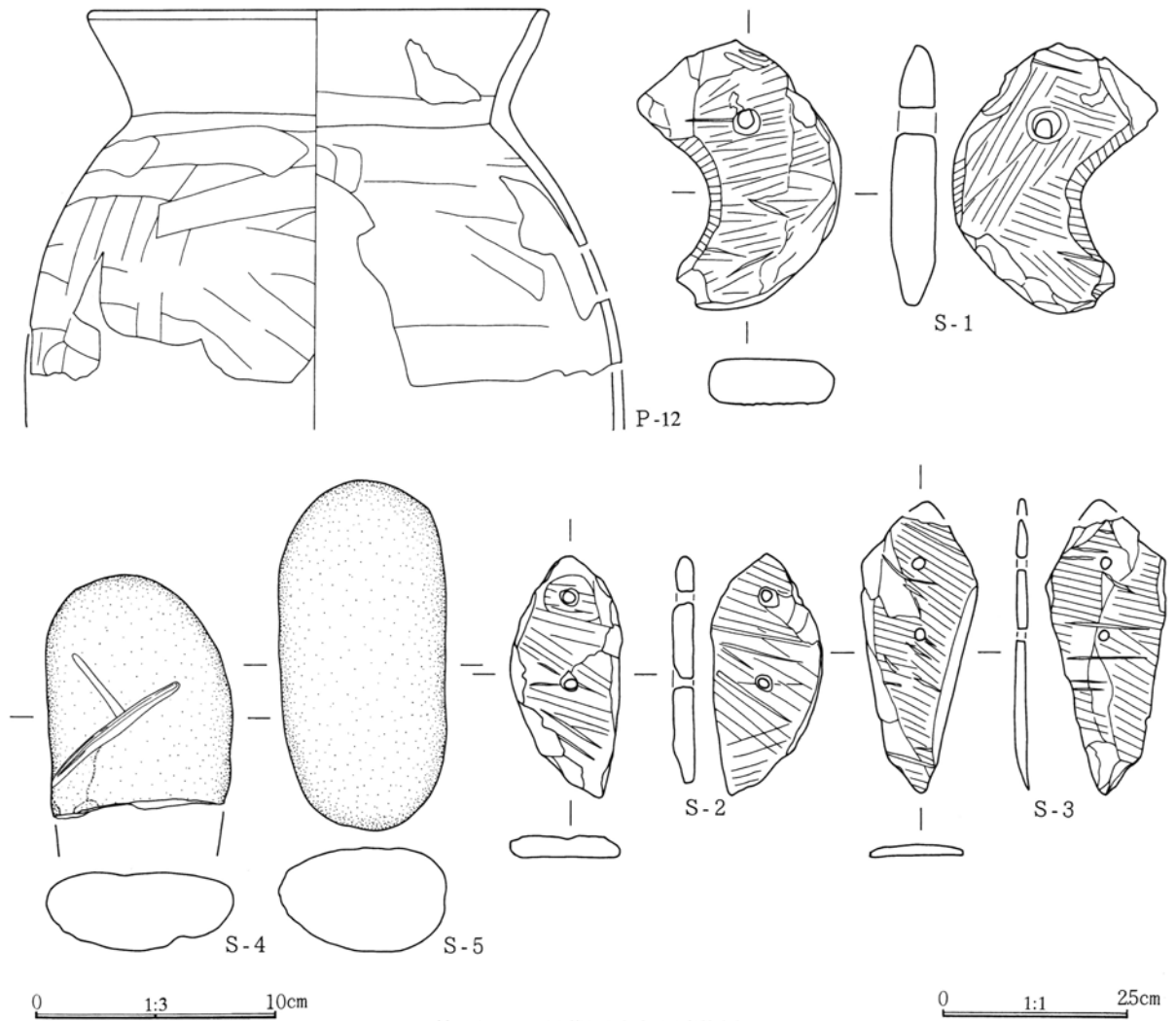




第81図 25号住居跡(2)



第82図 25号住居跡出土遺物(1)



第83図 25号住居跡出土遺物(2)

26号住居跡

(第84・85図・写真図版12・80)

位置 AV-105

重複 21・25・27・42号住居跡と重複し、新旧関係は21・25・27号住居跡より旧く、42号住居跡より新しい。

形状 隅丸方形

規模 長軸4.46×短軸4.36m

長軸方位 N-71°-E

壁高 1~18cm

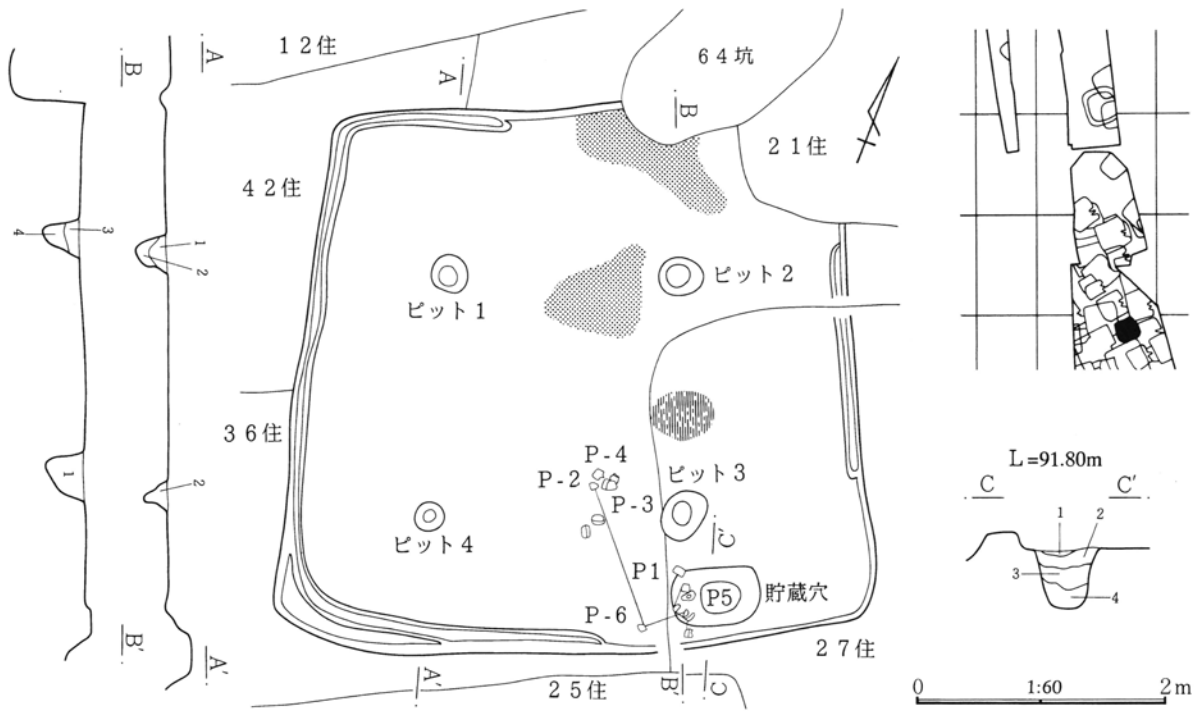
周溝 部分的に確認した。規模は幅11~23cm、深さ1~6cmを測る。

柱穴 ピットを4基確認した。規模は1、30×27cm、深さ25cm。2、37×30cm、深さ32cm。3、43×31cm、深さ30cm。4、24×21cm、深さ18cmを測る。

貯蔵穴 南東隅に確認した。形状は長方形を呈し、規模は72×46cm、深さ46cmを測る。

出土遺物 模倣、台付甕、長甕が出土している。

所見 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。



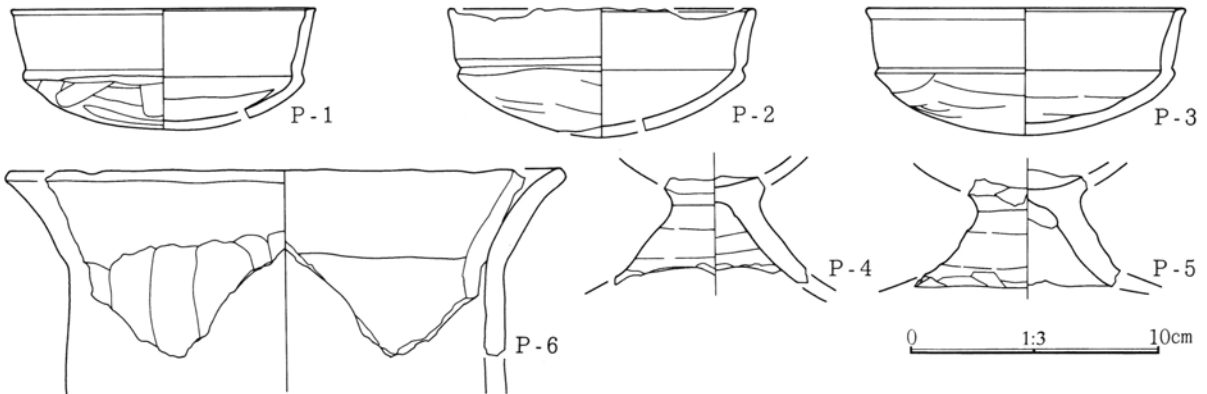
26号住居跡柱穴

1. 黒褐色土
2. 暗褐色土
3. 暗褐色土 焼土炭化物微量含む。
4. 黄褐色土 粘土粒微量含む。

26号住居跡貯蔵穴

1. 黒褐色土 炭化物少量含む。
2. 黒褐色土 砂粒含む。
3. 黒褐色土
4. 暗褐色土

第84図 26号住居跡



第85図 26号住居跡出土遺物

27号住居跡

(第86～89図・写真図版12・81)

位置 AW-105

重複 7・8・25・26・43号住居跡と重複し、新旧関係は7・8・25号住居跡より新しく、26・43号住居跡より古い。

形状 不明

規模 長軸5.73×短軸5.3m

長軸方位 N-71°-E

壁高 1～20cm

周溝 部分的に確認した。規模は幅11～22cm、深さ2～27cmを測る。

間仕切り溝 1条確認した。規模は幅15～18cm、深さ4～8cmを測る。

柱穴 ピットを6基確認した。規模は1、40×38cm、深さ65cm。2、30×26cm、深さ44cm。3、44×42cm、

第5章 遺構と遺物

深さ50cm。4、24×24cm、深さ41cm。5、40×35cm、深さ78cm。6、25×25cm、深さ15cmを測る。

**竈** 東壁中央に確認した。規模は焚き口幅71+αcm長さ110cmを測る。

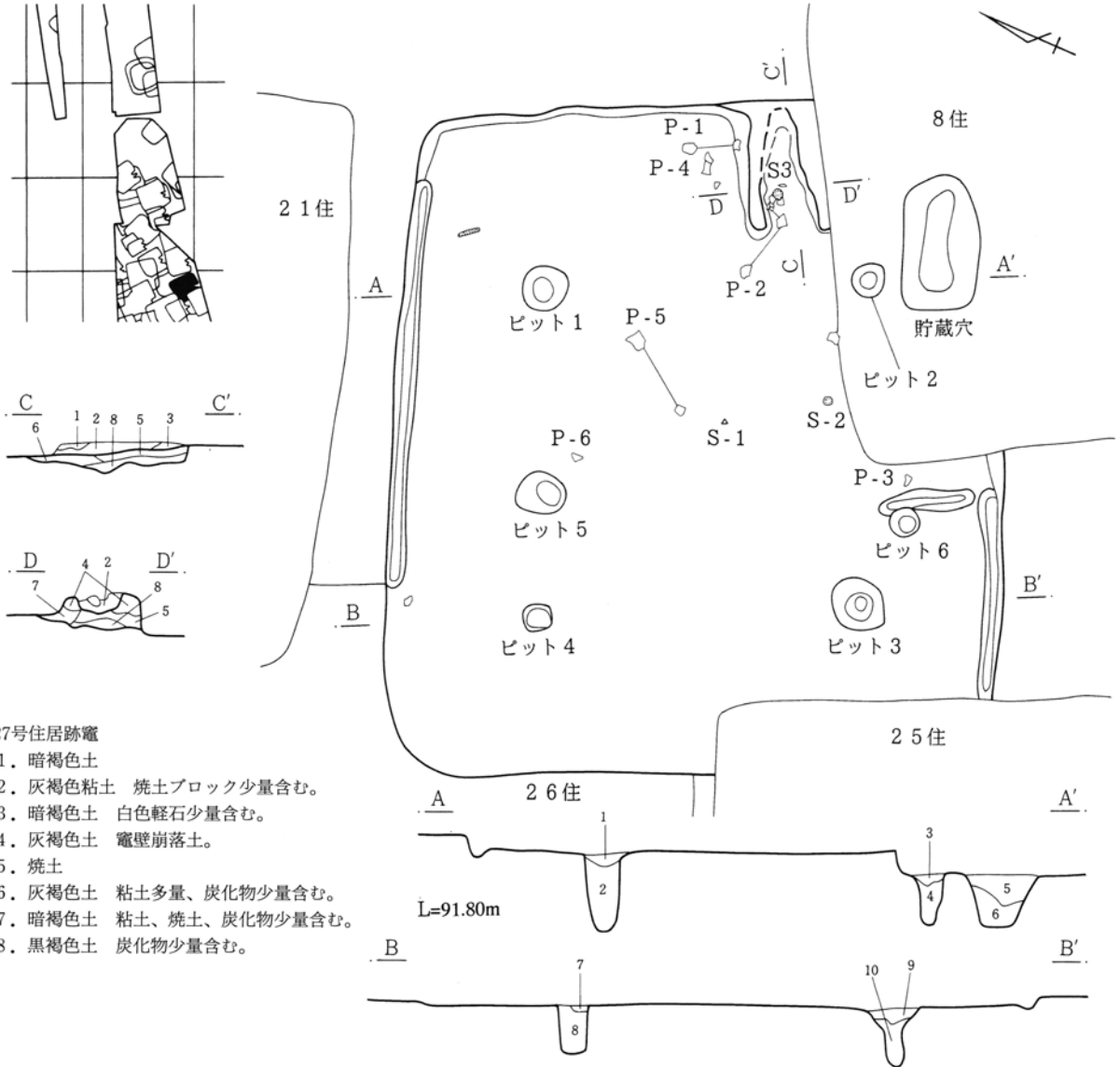
**貯蔵穴** 東南隅に確認した。形状は長方形を呈し、規模は115×66cm、深さ43cmを測る。

**堀り方** 床下ピットを6基確認した。規模は1、38×

40cm、深さ30cm。2、70×57cm、深さ27cm。3、50×45cm、深さ15cm。4、47×45cm、深さ24cm。5、60×48cm、深さ43cm。6、37×25cm、深さ19cmを測る。

**出土遺物** 内斜口縁坏、高坏、長甕が出土している。他に滑石性垂飾が出土している。

**所見** 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。



27号住居跡竈

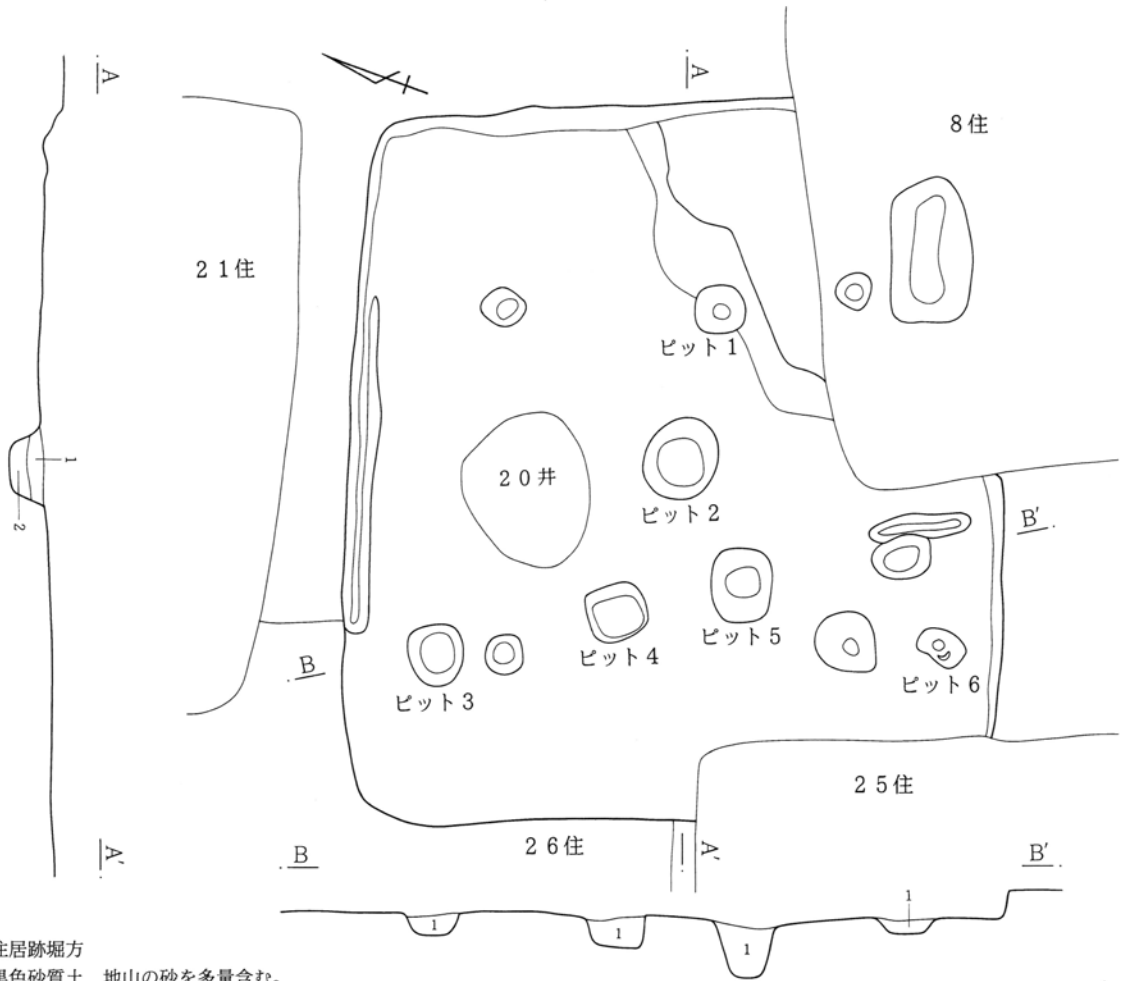
1. 暗褐色土
2. 灰褐色粘土 焼土ブロック少量含む。
3. 暗褐色土 白色軽石少量含む。
4. 灰褐色土 竈壁崩落土。
5. 焼土
6. 灰褐色土 粘土多量、炭化物少量含む。
7. 暗褐色土 粘土、焼土、炭化物少量含む。
8. 黒褐色土 炭化物少量含む。

27号住居跡柱穴

1. 暗褐色土 砂質土少量含む。
2. 暗褐色土 砂質土含む。
3. 暗褐色土 黄褐色土粒ブロック少量含む。
4. 暗褐色砂質土
5. 黒褐色土 地山ブロック多量含む。

6. 黒褐色土 炭化物微量含む。
7. 暗褐色土 砂少量含む。
8. 暗褐色土 砂主体土。
9. 暗褐色土
10. 黒褐色砂質土

第86図 27号住居跡

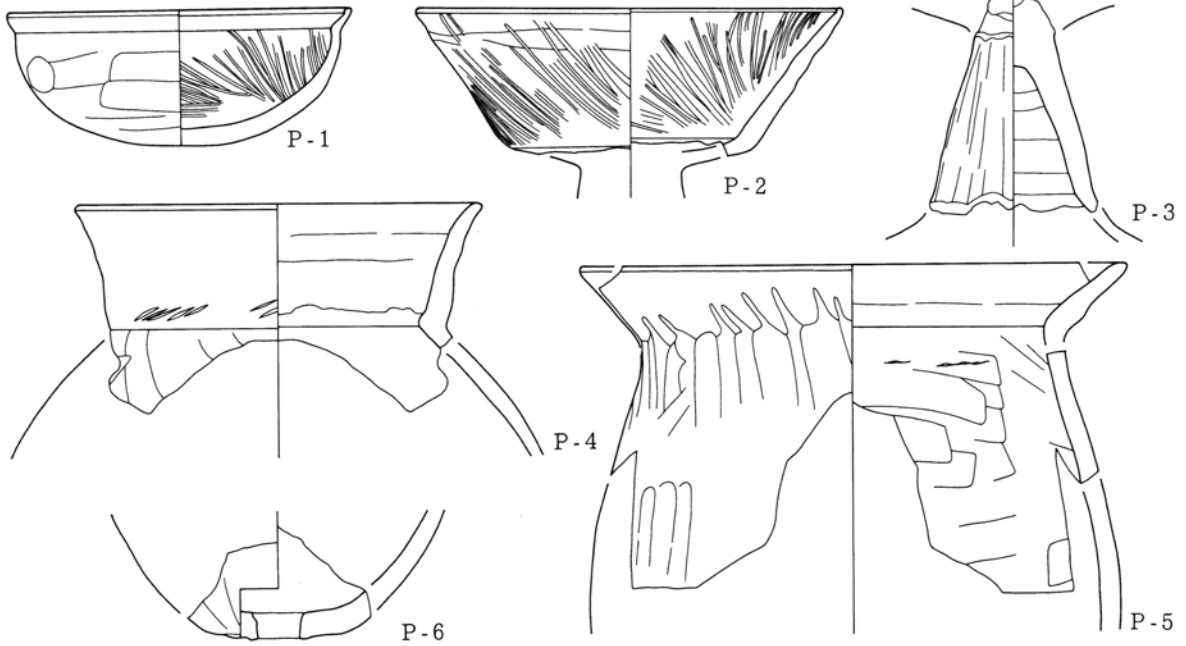


27号住居跡掘方

1. 黒色砂質土 地山の砂を多量含む。
2. 黒色土

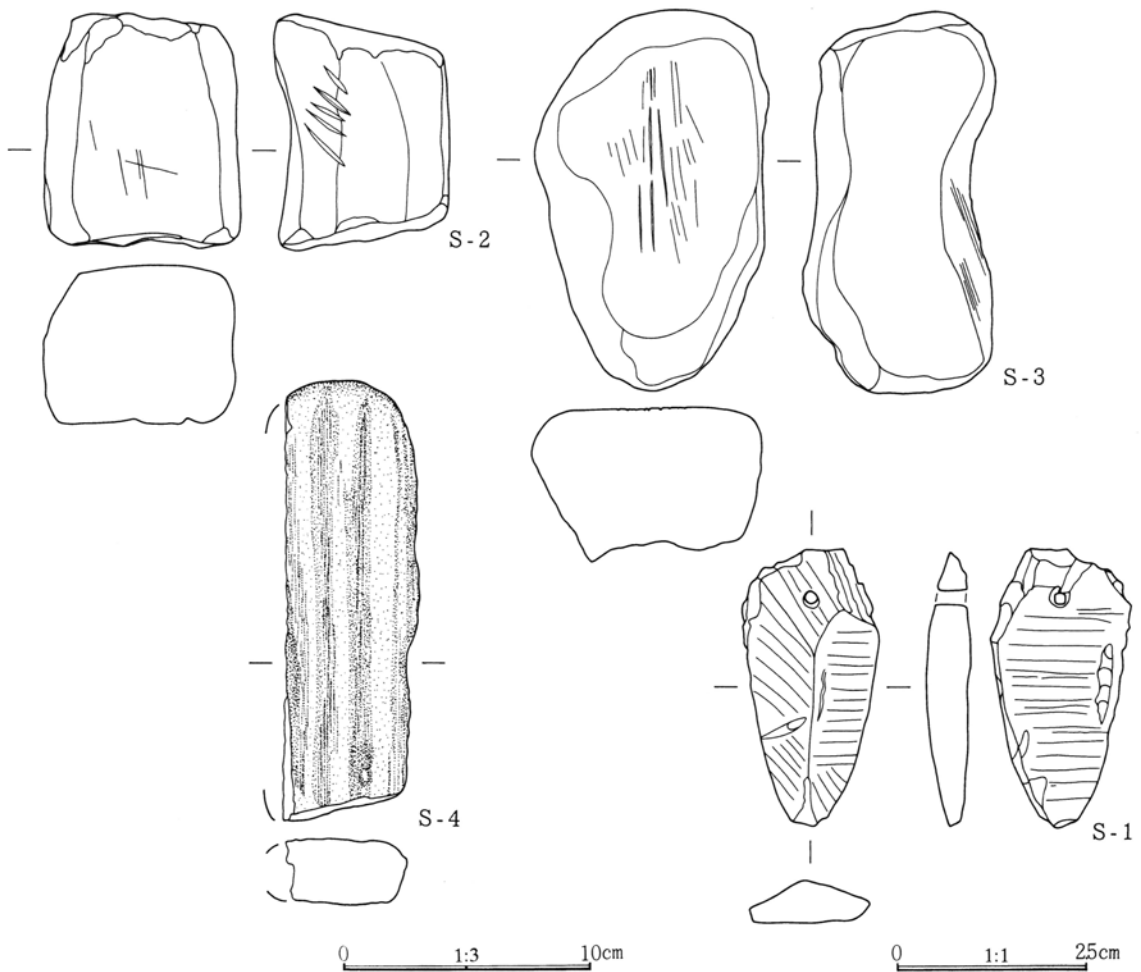
0 1:60 2m

第87図 27号住居跡掘り方



第88図 27号住居跡出土遺物(1)

0 1:3 10cm



第89図 27号住居跡出土遺物(2)

**28号住居跡**

(第90～93図・写真図版12・81・82)

**位置** BB-129

**重複** 54・57号住居跡と重複し、新旧関係は54・57号住居跡より28号住居跡が新しい。

**形状** 隅丸方形

**規模** 長軸5.33×短軸5.3m

**長軸方位** N-3°-W

**壁高** 10～22cm

**周溝** 全周する。規模は13～31cm、深さ4～11cmを測る。

**間仕切り溝** 2条確認した。規模は幅15～23cm、深さ4～10cmを測る。

**柱穴** ピットを4基確認した。規模は1、38×28cm、深さ56cm。2、29×28cm、深さ50cm。3、30×28cm、

深さ41cm。4、36×32cm、深さ31cmを測る。

**竈** 東壁南寄りに確認した。規模は焚き口幅97cm、長さ91cmを測る。

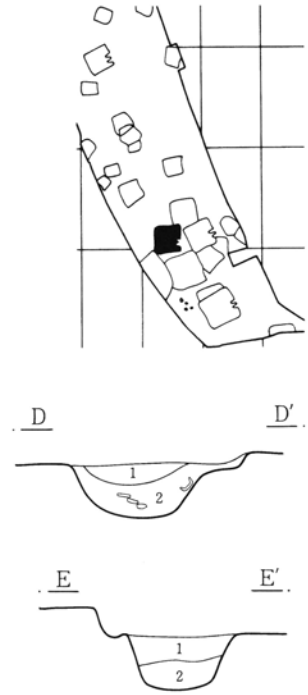
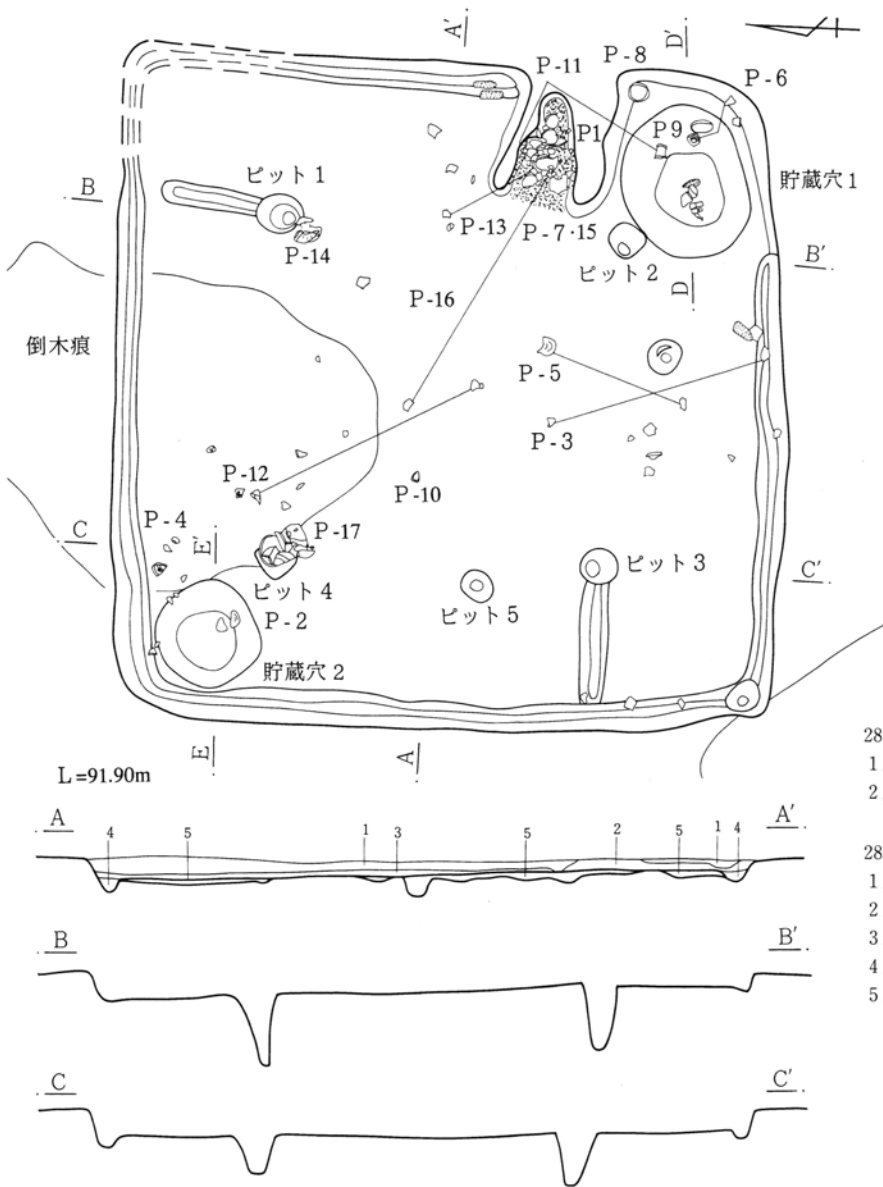
**貯蔵穴** 南東隅1と西北隅2の2基を確認した。1、形状は楕円形を呈し、規模は122×97cm、深さ43cm。2、形状は円形を呈し、規模は86×84cm、深さ41cmを測る。

**掘り方** 床下ピットを4基確認した。規模は1、35×30cm、深さ23cm。2、28×24cm、深さ26cm。3、44×25cm、深さ20cm。4、27×24cm、深さ18cmを測る。

**出土遺物** 内斜口縁坏、高坏、甕を出土した。

**所見** 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。

第2節 住居跡



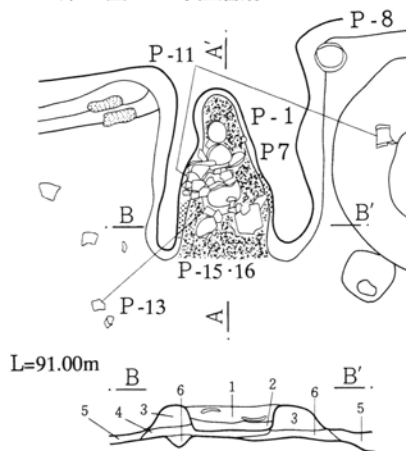
28号住居跡貯蔵穴1・2  
 1. 黒褐色土 C軽石含む。  
 2. 暗褐色土

28号住居跡  
 1. 黒褐色土 C軽石多量含む。  
 2. 黒褐色土 C軽石少量含む。  
 3. 黒褐色土 C軽石、焼土含む。  
 4. 黒褐色土 地山土とC軽石含む。  
 5. 暗褐色土

0 1:60 2m

28号住居跡竈  
 1. 暗褐色土 粘土少量、焼土多量含む。  
 2. 黒褐色土 焼土少量含む。  
 3. 竈袖粘土  
 4. 黒色土  
 5. 暗褐色土 黄色粘土ブロック含む。  
 6. 暗褐色土 地山砂質土多量含む。

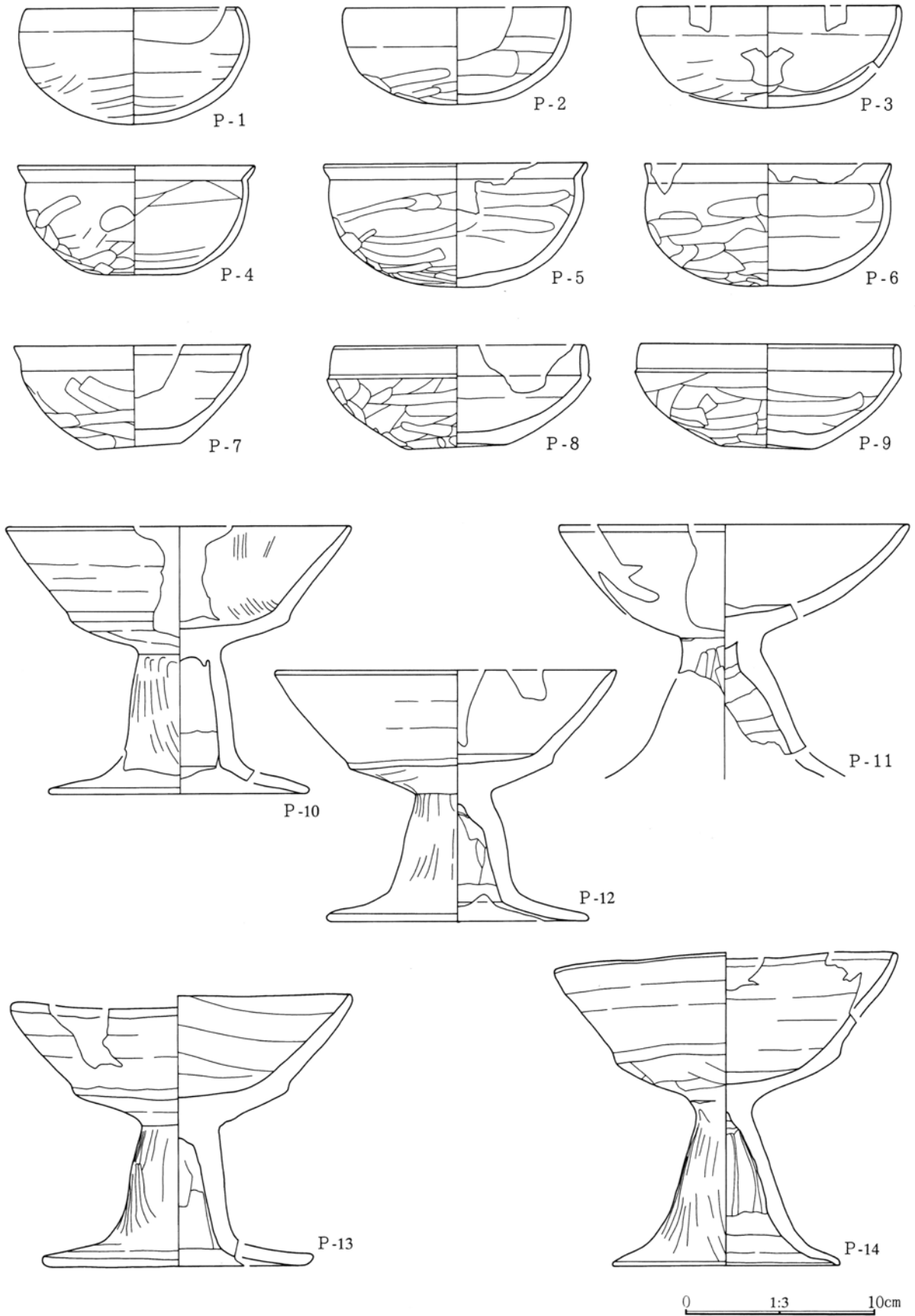
第90図 28号住居跡



0 1:40 1m

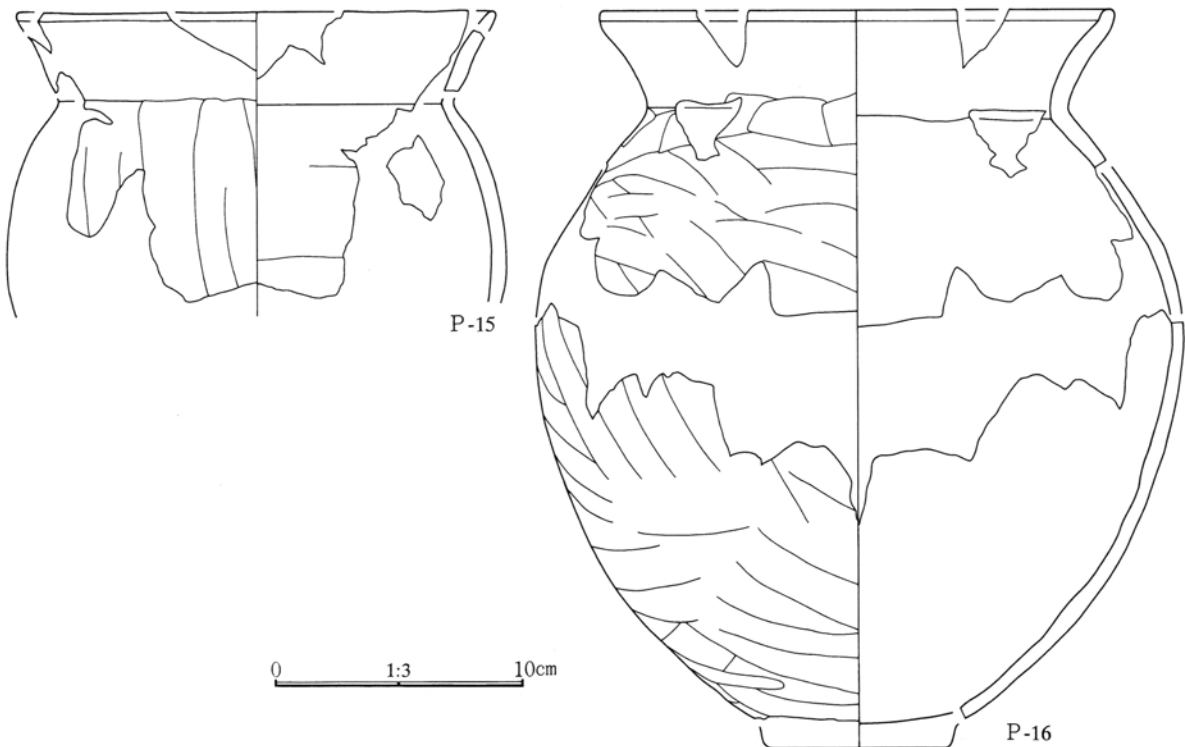
第91図 28号住居跡竈

第5章 遺構と遺物



第92図 28号住居跡出土遺物(1)





第93図 28号住居跡出土遺物(2)

**29号住居跡**

(第94～97図・写真図版13・83)

**位置** BD-132

**重複** 49・65号住居跡と重複し、新旧関係は49・65号住居跡より29号住居跡が新しい。

**形状** 方形

**規模** 長軸6.7×短軸6.58m

**長軸方位** N-62°-E

**壁高** 3～19cm

**周溝** 全周する。規模は幅14～35cm、深さ6～18cm。

**柱穴** ピットを8基確認した。規模は1、34×29cm、深さ28cm。2、40×37cm、深さ32cm。3、39×35cm、深さ52cm。4、44×41cm、深さ35cm。5、48×46cm、深さ67cm。6、38×37cm、深さ41cm。7、44×40cm、深さ64cm。8、50×46cm、深さ51cmを測る。

**竈** 東壁やや南寄りに確認した。規模は焚き口幅110cm、長さ111cmを測る。

**貯蔵穴** 南東隅に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は125×105cm、深さ50cmを測る。

**掘り方** 床下土坑を1基確認した。規模は93×81cm、深さ14cmを測る。

**出土遺物** 内斜口縁坏、模倣坏、稜を強く持つ高坏、壺、甕の他滑石性の垂飾が出土している。

**所見** 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。

**49号住居跡**

(第98図・写真図版16・95)

**位置** BD-132

**重複** 29・65号住居跡と重複し、新旧関係は29・65号住居跡より49号住居跡が新しい。

**形状** 不明

**規模** 長軸5.7×短軸1.83m

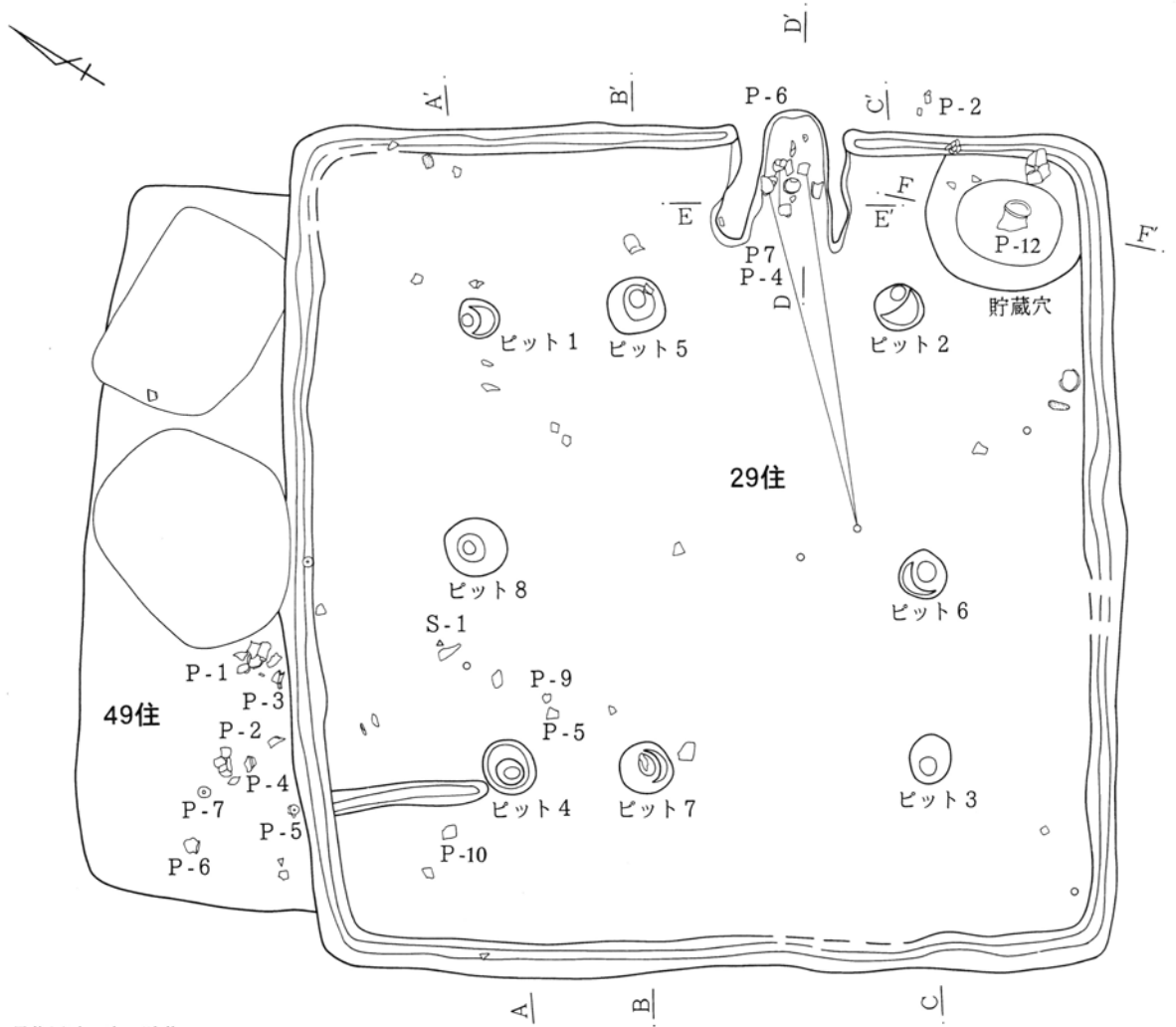
**長軸方位** N-22°-W

**壁高** 2～8cm

**周溝**・炉・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

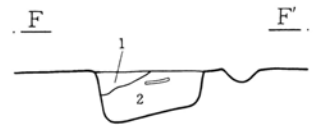
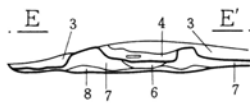
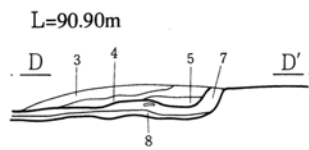
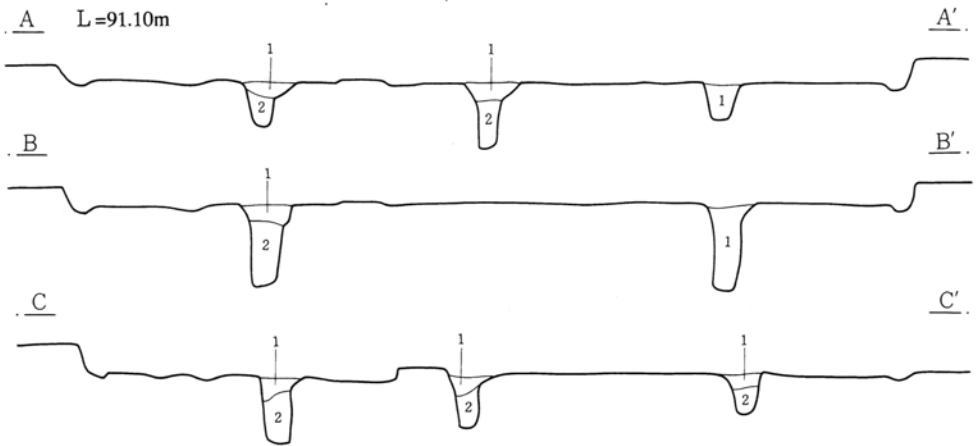
**出土遺物** 口縁部に段を持つ小型土器、三角の透かしを脚に持つ高坏、S字状口縁台付甕、土師器平底甕が出土し、北陸・東海に系譜を持つ土器と在地の土器が混在する。

**所見** 出土遺物から、4世紀前半の住居跡と考えられる。



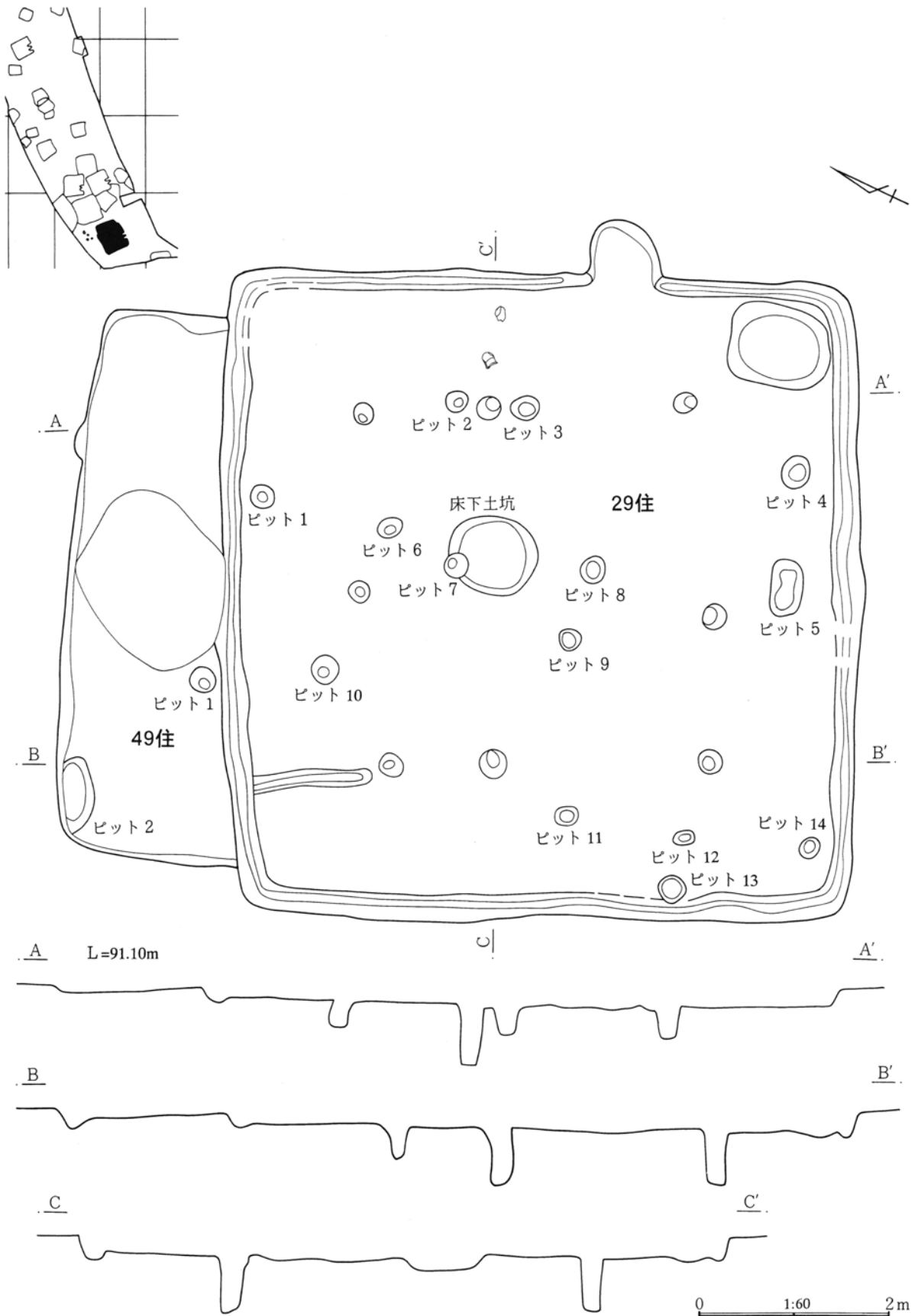
29号住居跡・竈・貯蔵穴

1. 黒褐色土 地山土 微量に含む。
2. 黄褐色土
3. 黒褐色土 C軽石含む。
4. 黄褐色土 黄色粘土、焼土、灰含む。
5. 焼土、灰層
6. 灰、焼土、炭化物、粘土粒層
7. 竈袖粘土
8. 灰、焼土層

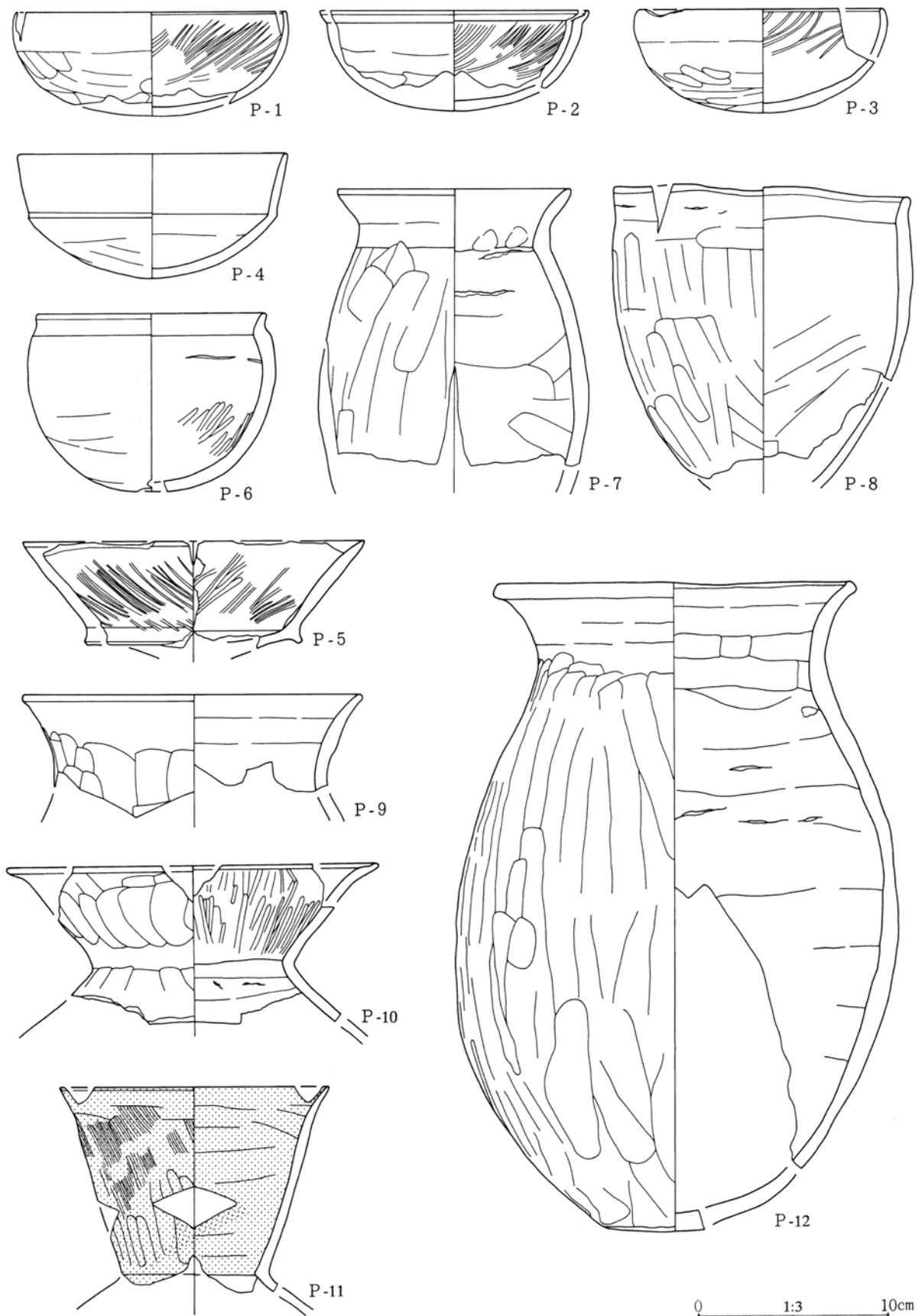


0 1:60 2m

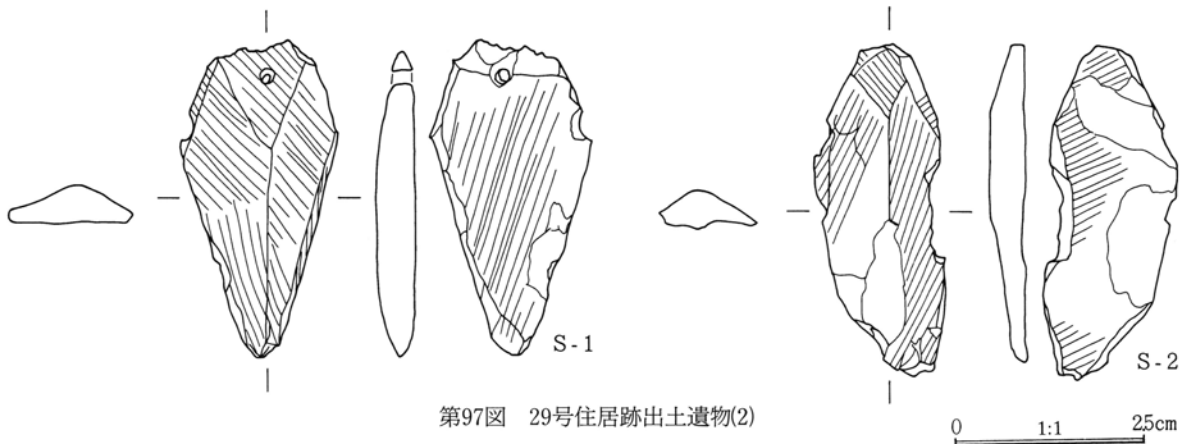
第94図 29・49号住居跡



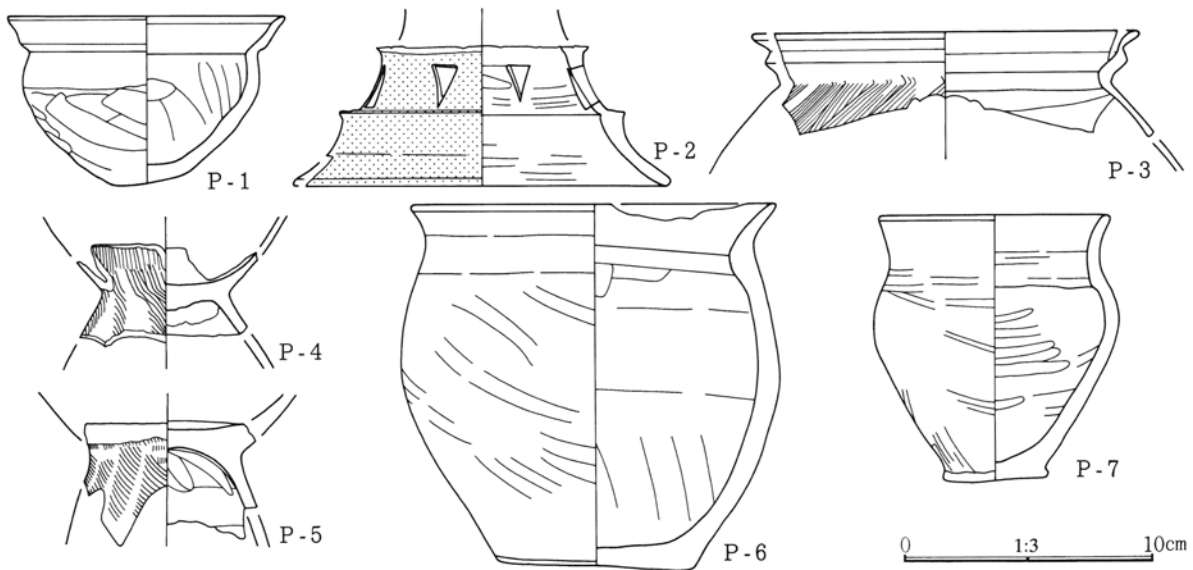
第95図 29・49号住居跡掘り方



第96図 29号住居跡出土遺物(1)



第97図 29号住居跡出土遺物(2)



第98図 49号住居跡出土遺物

### 30号住居跡

(第99～103図・写真図版13・84・85)

**位置** BC-131

**重複** 35・50・54・65号住居跡と重複し、新旧関係は35号住居跡より旧く他の3軒より30号住居跡が新しい。

**形状** 隅丸方形

**規模** 長軸6.94×短軸6.83m

**長軸方位** N-18°-W

**壁高** 2～18cm

**間仕切り溝** 2条確認した。規模は幅15～21cm、深さ3～4cmを測る。

**柱穴** ピットを5基確認した。規模は1、44×41cm、深さ64cm。2、31×31cm、深さ46cm。3、47×37cm、

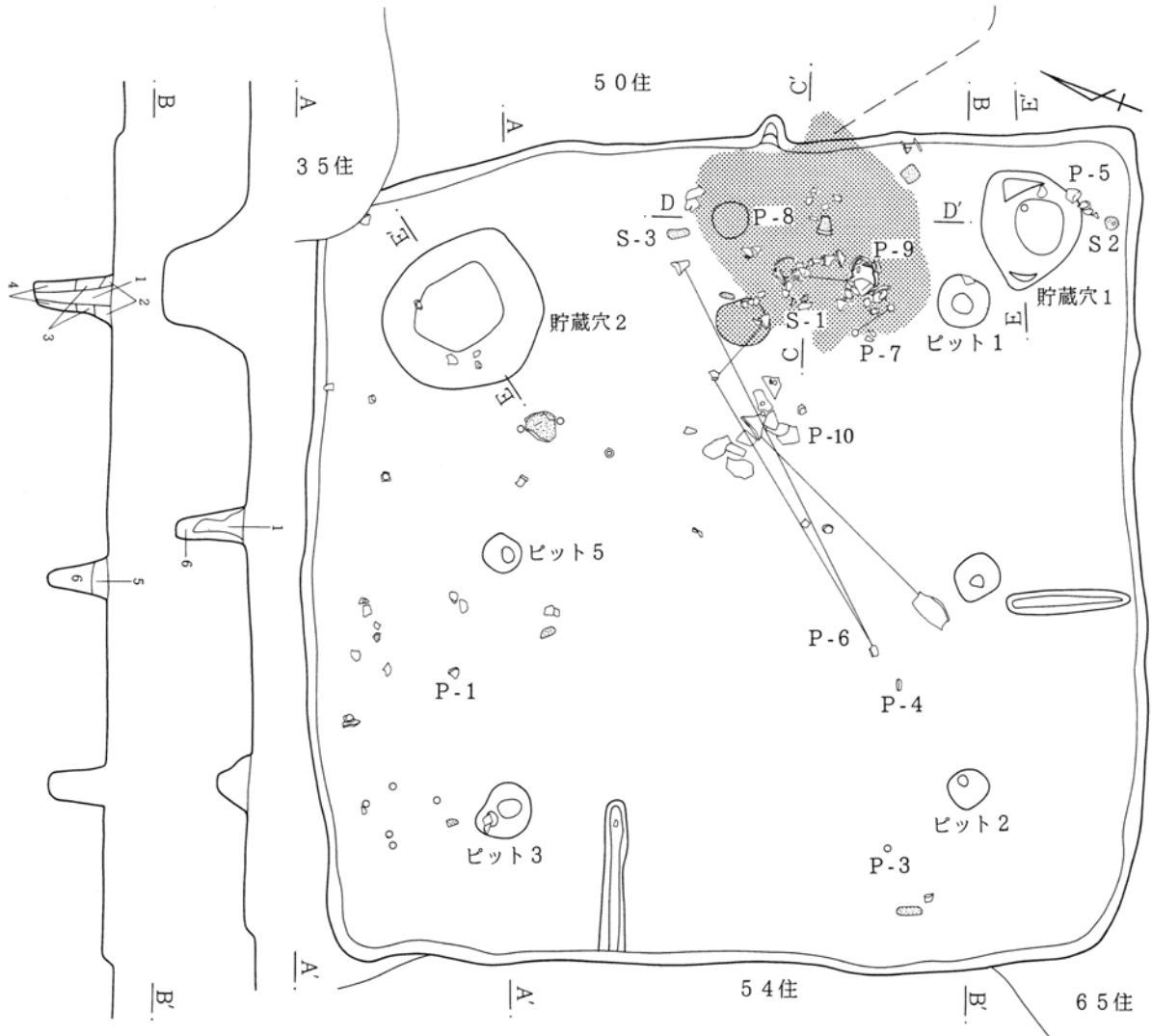
深さ28cm。4、43×38cm、深さ49cm、5、31×29cm、深さ56cmを測る。

**竈** 東壁中央に確認した。規模等は明確に検出できなかったが、幅30cm、長さ32cmの煙道の一部を確認した。

**貯蔵穴** 東南隅1、北東隅2の2基を確認した。1、形状は不整円形を呈し、規模は100×82cm、深さ42cm。2、形状は不整円形を呈し、133×123cm、深さ72cmを測る。

**出土遺物** 内斜口縁坏、模倣坏、甕、壺、甗が出土し、石製の垂飾が出土している。

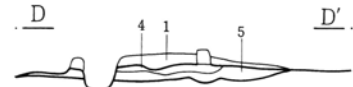
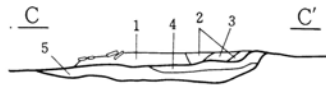
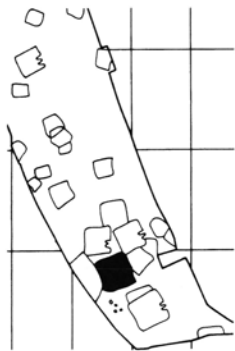
**所見** 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。



30号住居跡

1. 黒褐色土 C軽石、ローム粒少量含む。
2. 黒褐色土
3. 暗褐色土
4. 灰褐色土
5. 黒褐色土 C軽石含む。
6. 黄褐色土 黄色土粒含む。

L=91.20m

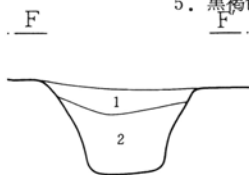
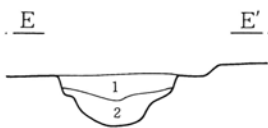


30号住居跡竈

1. 焼土、粘土ブロック層
2. 黒褐色土 焼土含む。
3. 焼土
4. 焼土、粘土層
5. 黒褐色土 焼土、粘土含む。

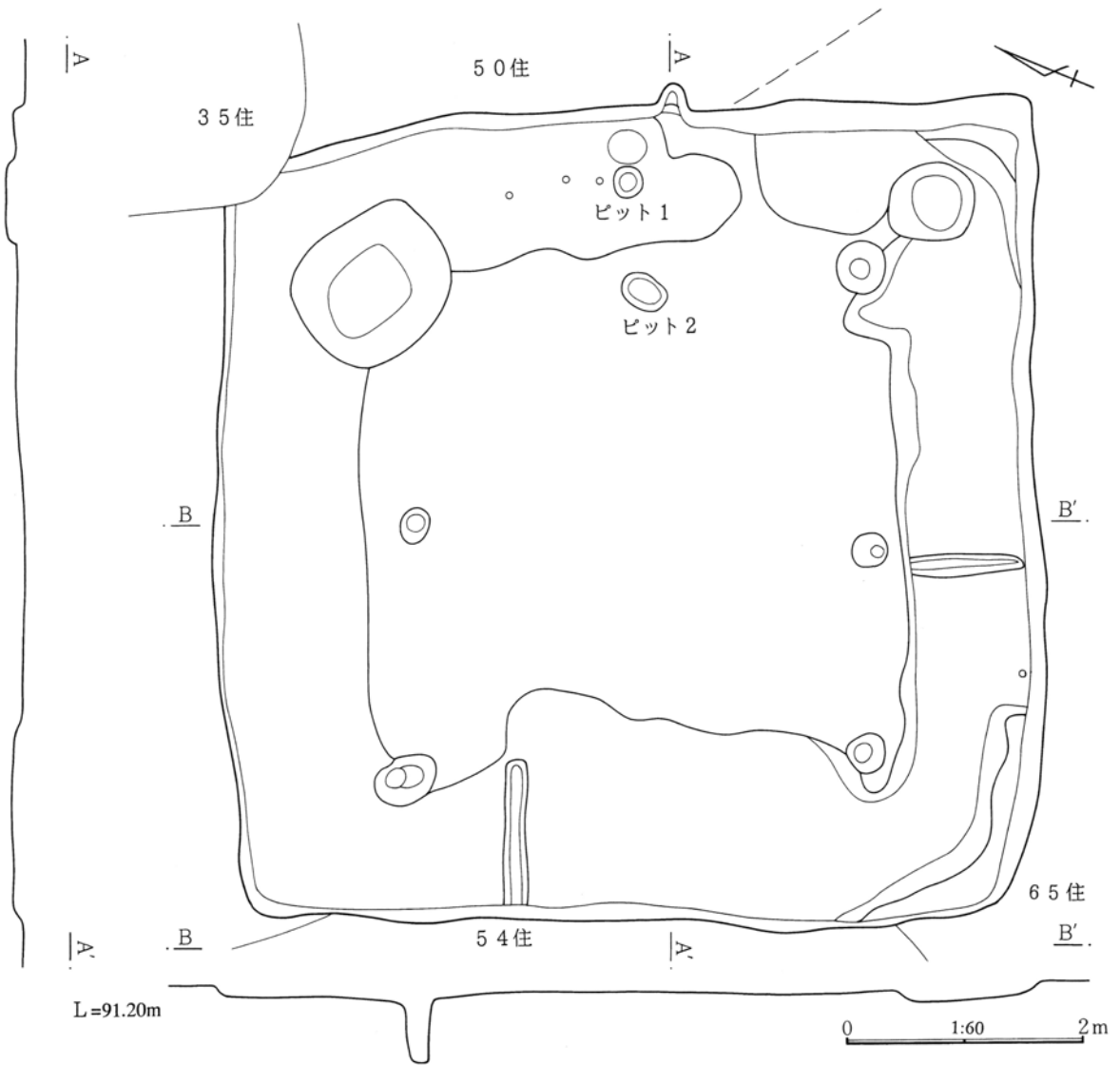
30号住居跡貯蔵穴1・2

1. 黒褐色土 C軽石多量含む。
2. 暗褐色土

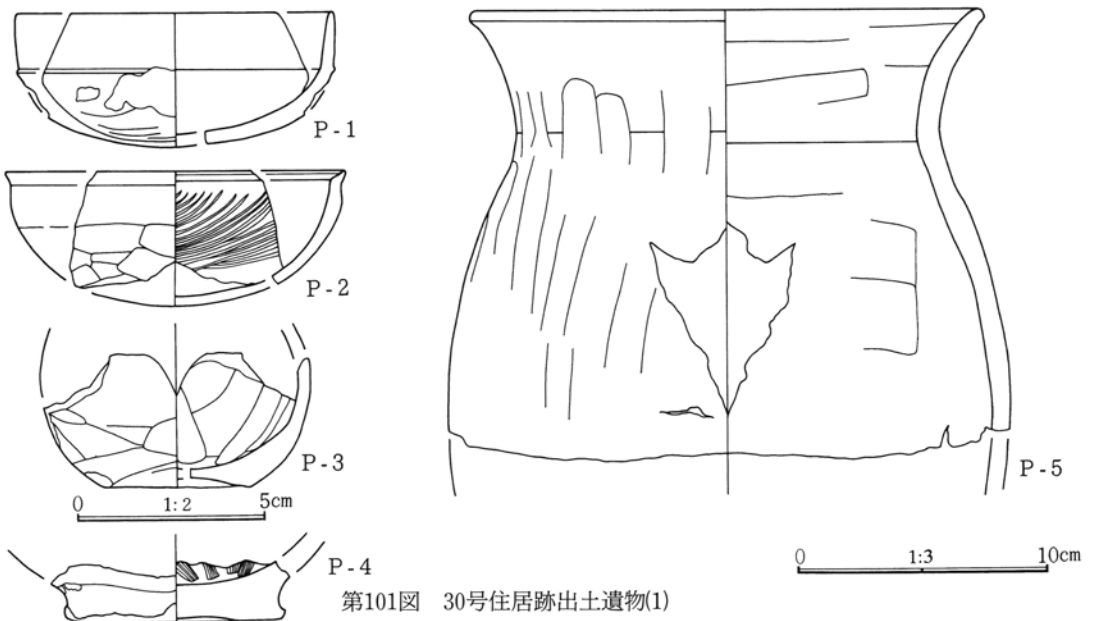


0 1:60 2m

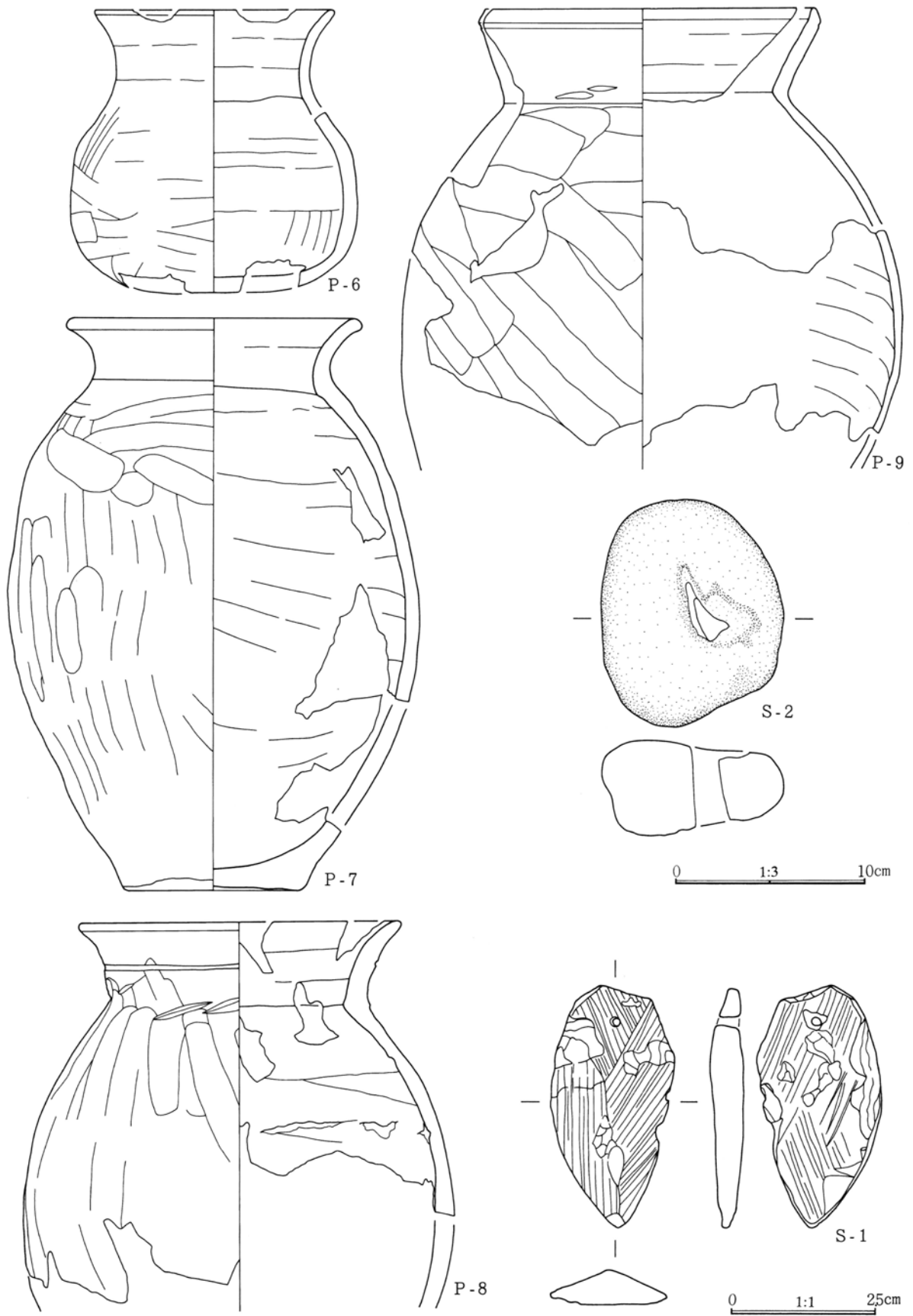
第99図 30号住居跡



第100図 30号住居跡掘り方

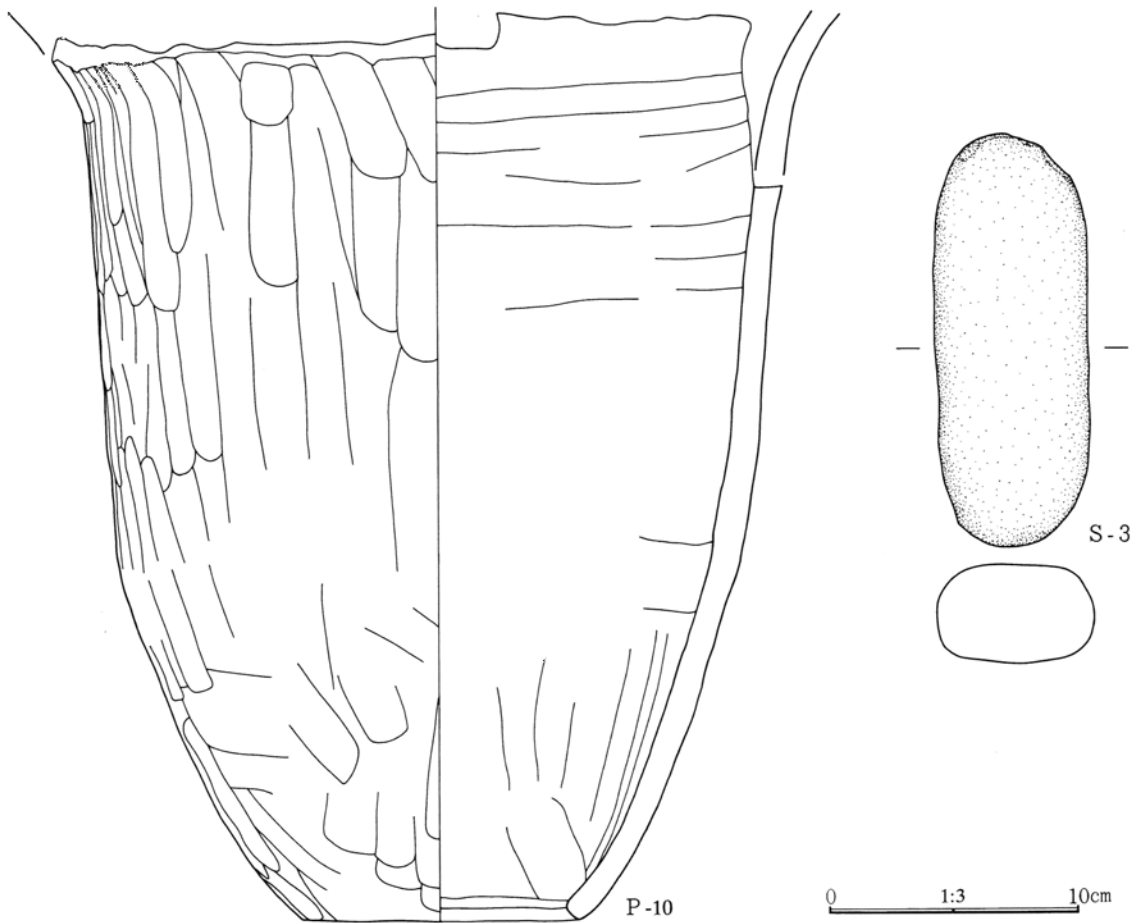


第101図 30号住居跡出土遺物(1)



第102図 30号住居跡出土遺物(2)





第103図 30号住居跡出土遺物(3)

**31号住居跡**

(第104～106図・写真図版13・85)

**位置** AW-108

**重複** 37・40・44・67号住居跡と重複し、新旧関係は他の4軒より31号住居跡が新しい。

**形状** 隅丸方形

**規模** 長軸4.4×短軸4.25m

**長軸方位** N-25°-W

**壁高** 1～29cm

**周溝** 部分的に確認した。規模は9～30cm、深さ3～11cmを測る。

**柱穴** ピットを4基確認した。規模は1、28×31cm、深さ55cm。2、32×35cm、深さ46cm、柱痕径12cm。3、26×26cm、深さ51cm。4、32×38cm、深さ42cm、柱痕径15cmを測る。

**貯蔵穴** 南東隅に確認した。形状は長方形を呈し、規模は52×70cm、深さ40cmを測る。

**出土遺物** 模倣坏3個体、須恵器の破片が出土している。

**所見** 出土遺物から、6世紀前半の住居跡と考えられる。

**67号住居跡**

(第107図・写真図版102)

**位置** AW-109

**重複** 31・38・90号住居跡と重複し、31・38号住居跡より旧く、90号住居跡より新しい。

**形状** 不明

**規模** 長軸4.7×短軸4.5m

**長軸方位** N-31°-E

**壁高** 1～5cm

**周溝** 部分的に確認した。規模は幅12～18cm、深さ2～3cmを測る。

**柱穴** ピットを4基確認した。規模は1、23×26cm、

第5章 遺構と遺物

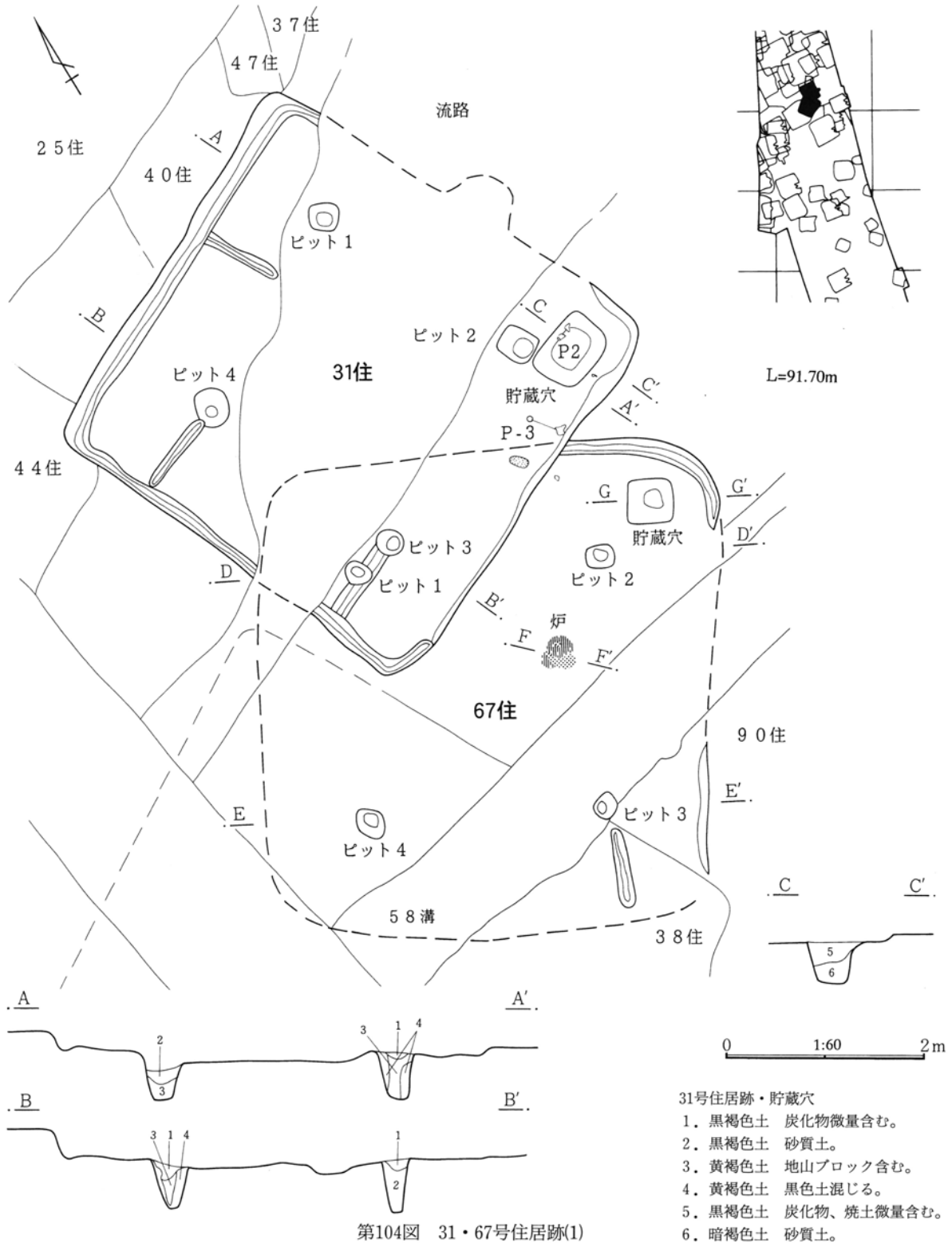
深さ41cm。2、24×30cm、深さ40cm。3、20×25cm、深さ40cm。4、26×27cm、深さ40cm、柱痕径20cmを測る。

炉 中央に確認した。形状は不明、規模は32×33cm、深さ5cmを測る。

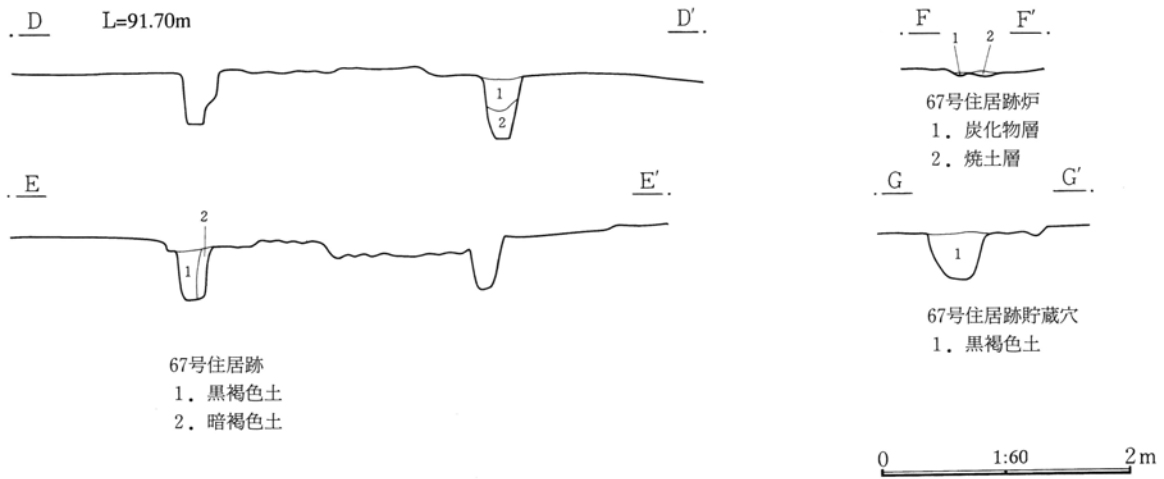
貯蔵穴 東隅に確認した。形状は正方形を呈し、規模は44×45cm、深さ35cmを測る。

出土遺物 S字状口縁台付甕の脚が出土している。

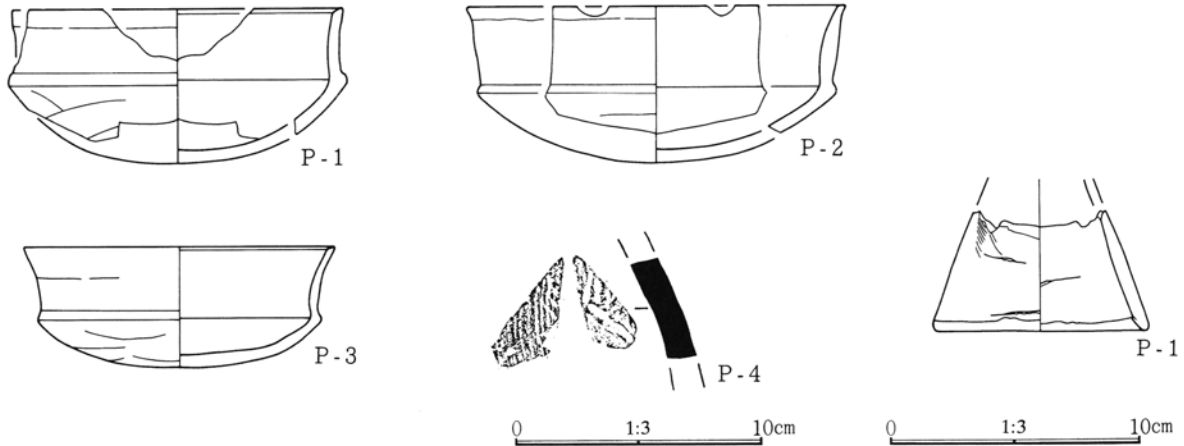
所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。



第2節 住居跡



第105図 31・67号住居跡(2)



第106図 31号住居跡出土遺物

第107図 67号住居跡出土遺物

32号住居跡

(第108～112図・写真図版14・85・86)

位置 AX-111

重複 68・89・90号住居跡と重複し、新旧関係は68号住居跡より旧く、89・90号住居跡より32号住居跡が新しい。

形状 隅丸方形

規模 長軸6.25×短軸6.08m

長軸方位 N-63°-E

壁高 6～23cm

周溝 南東部を欠くが、ほぼ全周する。規模は13～32cm、深さ1～6cmを測る。

間仕切り溝 5条確認した。規模は幅16～56cm、深

さ1～18cm。

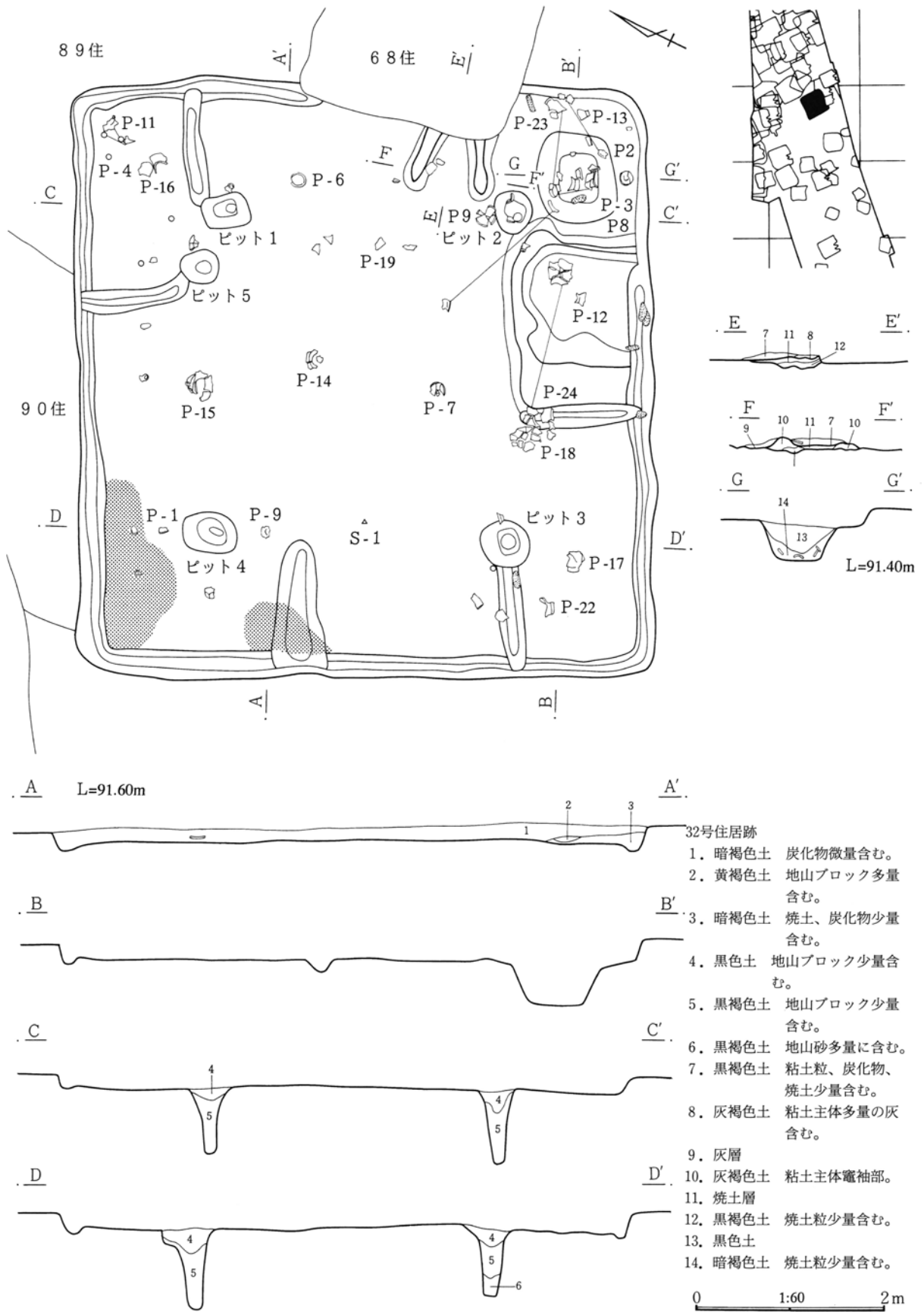
柱穴 ピットを4基確認した。規模は1、34×45cm、深さ69cm。2、43×43cm、深さ78cm。3、48×50cm、深さ70cm。4、43×57cm、深さ85cmを測る。

竈 東壁やや南寄りに確認した。規模は長さは不明だが、焚き口幅95cmを測る。

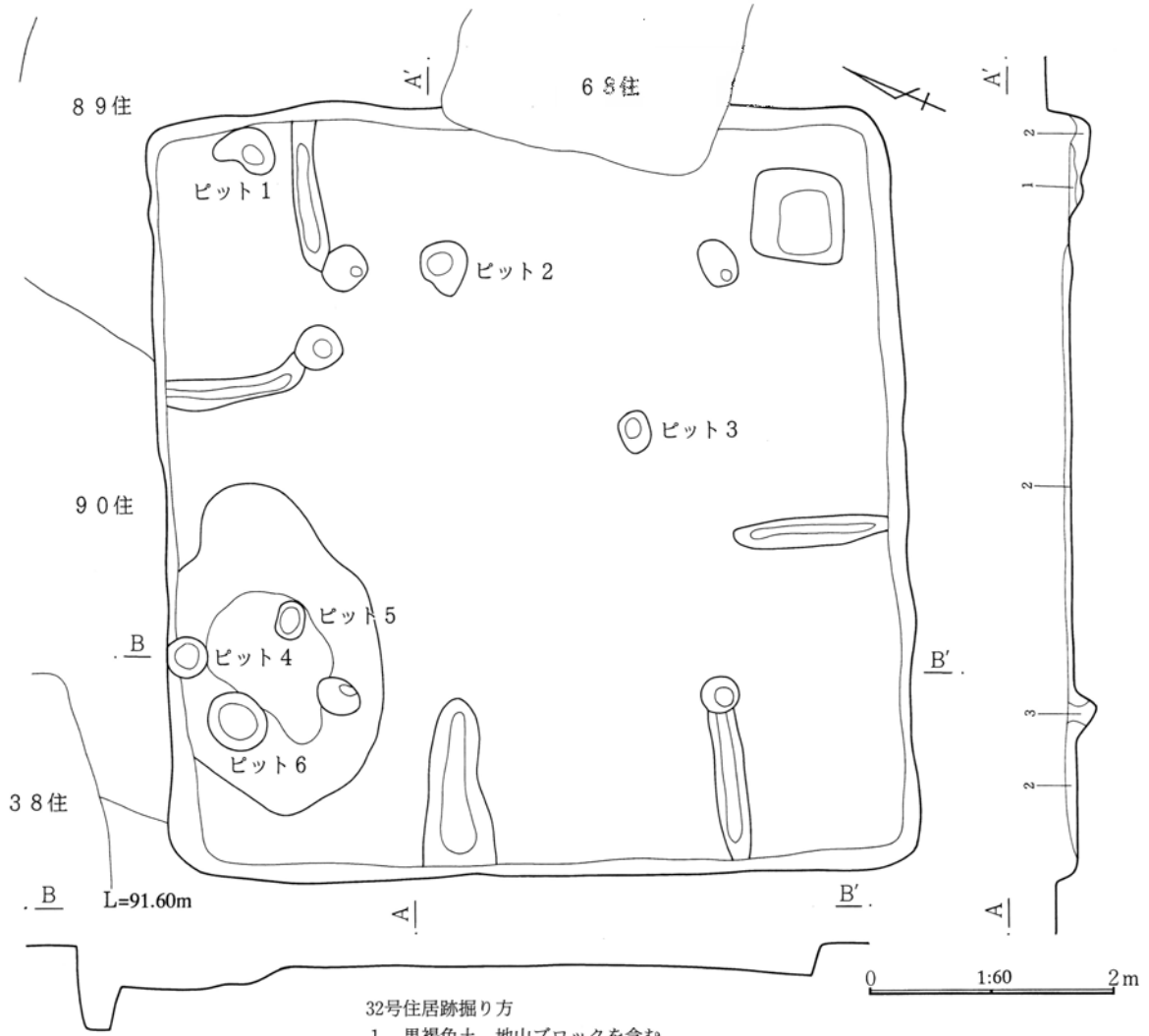
貯蔵穴 南東隅に確認した。形状は長方形を呈し、規模は82×95cm、深さ40cmを測る。

出土遺物 内斜口縁坏、甕、壺が出土した。

所見 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。



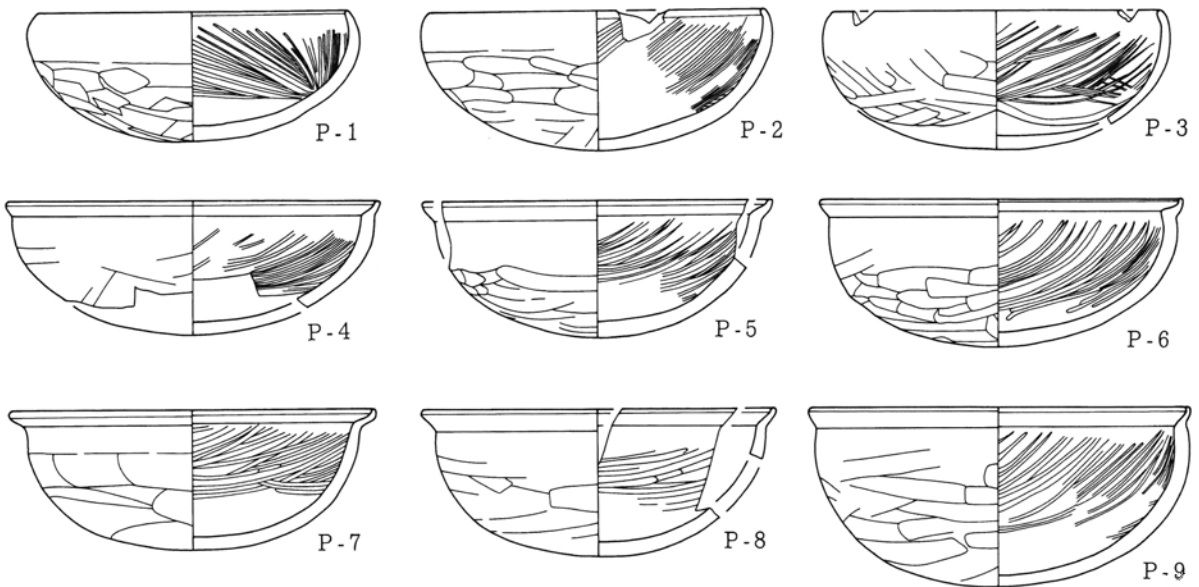
第108図 32号住居跡



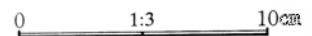
32号住居跡掘り方

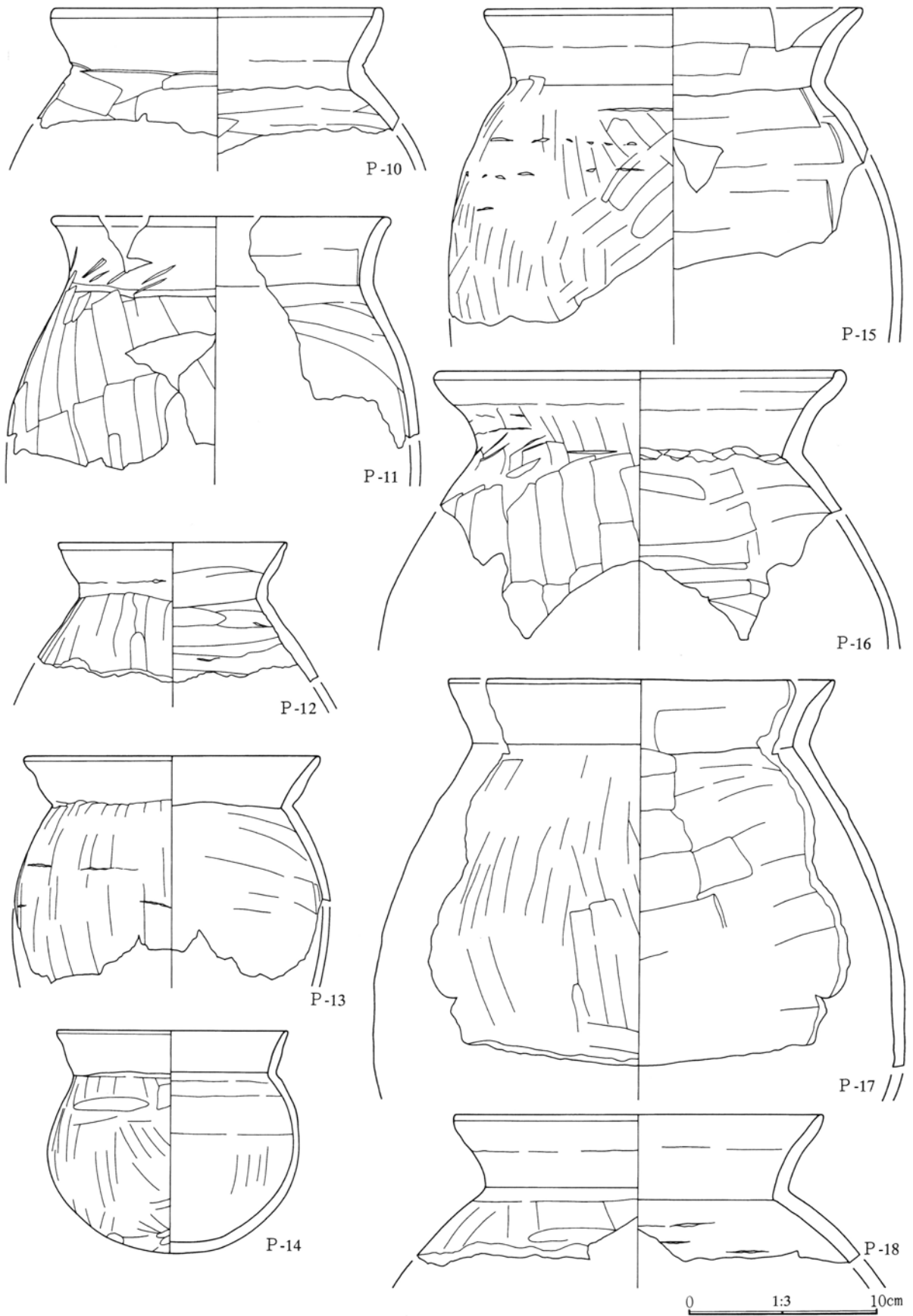
1. 黒褐色土 地山ブロックを含む。
2. 暗褐色土
3. 暗褐色土 砂質土。

第109図 32号住居跡掘り方

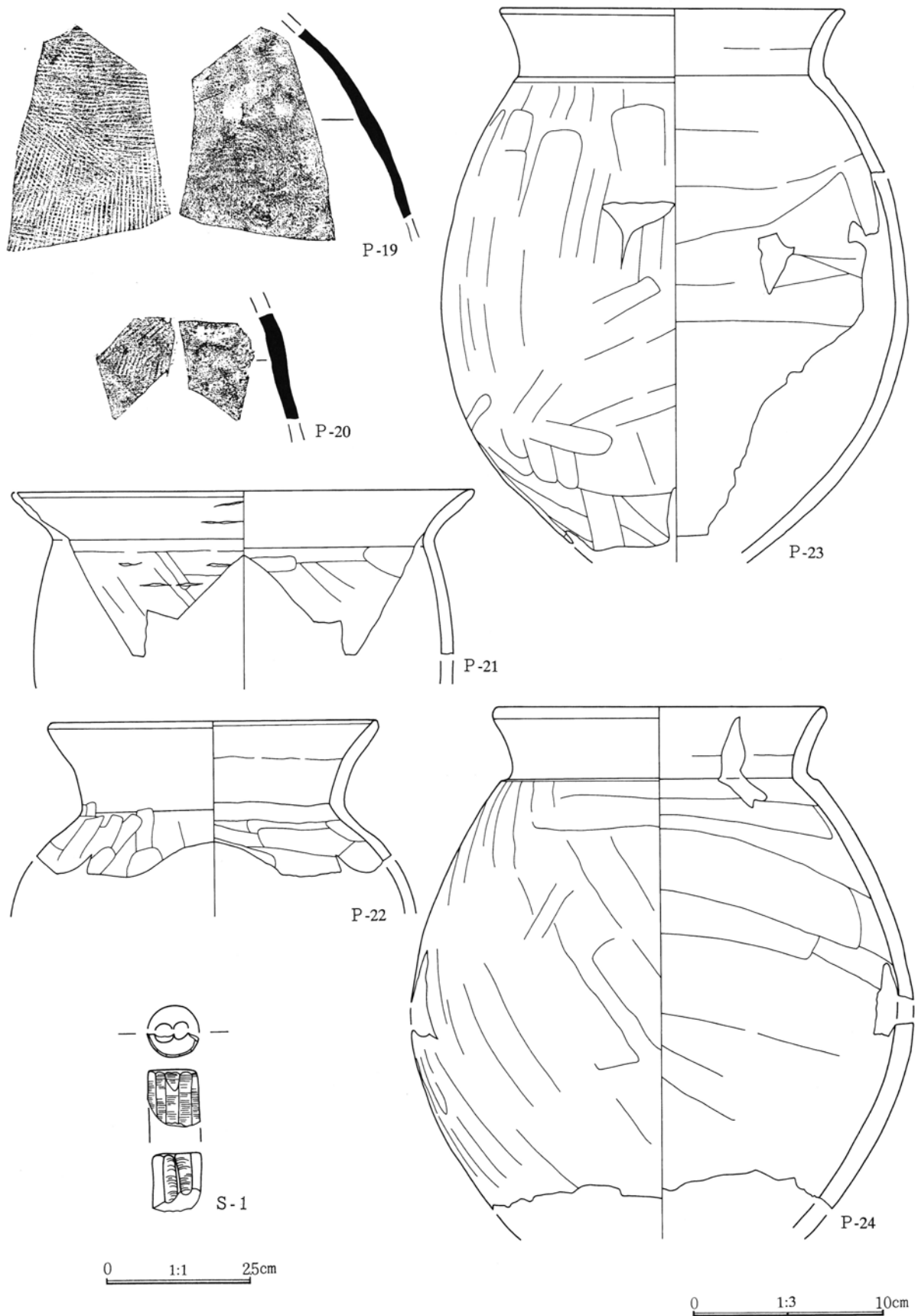


第110図 32号住居跡出土遺物(1)





第111図 32号住居跡出土遺物(2)



第112図 32号住居跡出土遺物(3)

第5章 遺構と遺物

34号住居跡

(第113・114図・写真図版14・88)

位置 AS-104

重複 41・42号住居跡と重複し、新旧関係は41・42号住居跡より34号住居跡が新しい。

形状 不明

規模 長軸 $3.1+\alpha$ ×短軸 $4.45+\alpha$ m

長軸方位 N-32°-W

壁高 1~12cm

周溝 部分的に確認した。規模は幅9~23cm、深さ3~10cmを測る。

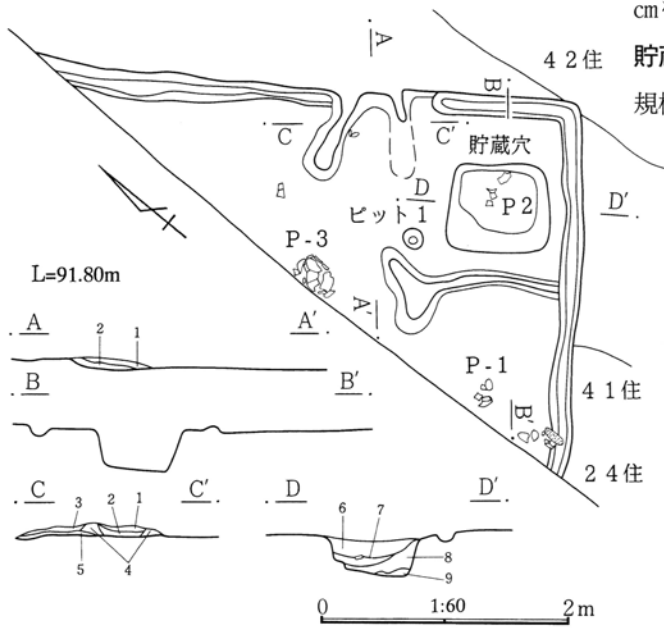
間仕切り溝 1条を確認した。規模は10~15cm、深さ1cmを測る。

柱穴 ピットを1基確認した。規模は16×16cm、深さ35cmを測る。

竈 東壁に確認した。規模は焚き口幅90cm、長さ67cmを測る。

貯蔵穴 東南隅に確認した。形状は長方形を呈し、規模は69×79cm、深さ30cmを測る。

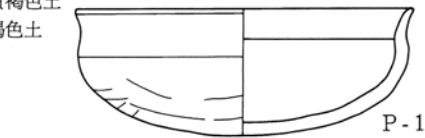
出土遺物 内斜口縁  
 坏、甕を出土した。  
 所見 出土遺物から、  
 6世紀前半の住  
 居跡と考えられる。



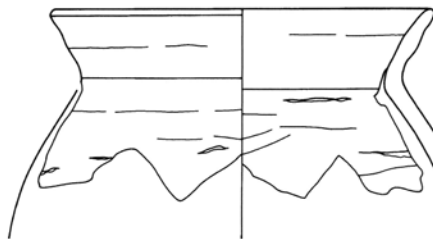
第113図 34号住居跡

34号住居跡

1. 暗褐色土 粘土粒、炭化物、焼土少量含む。
2. 暗褐色土 焼土、灰多量含む。
3. 炭化物層
4. 暗褐色土 粘土主体、焼土少量含む。
5. 黒褐色土 炭化物含む。
6. 暗褐色土 C軽石含む。
7. 黒色土
8. 暗黄褐色土
9. 暗褐色土

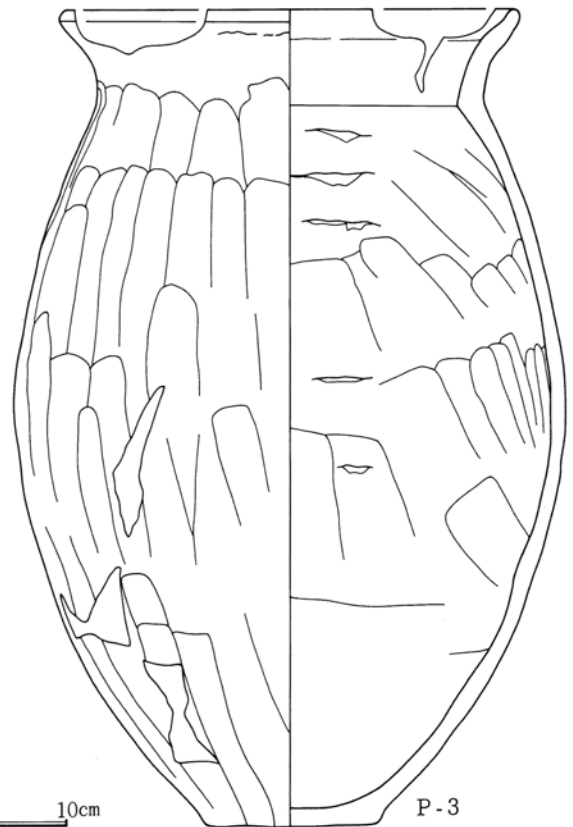


P-1



P-2

0 1:3 10cm



P-3

第114図 34号住居跡出土遺物



35号住居跡

(第115~119図・写真図版14・88・89)

位置 BC-129

重複 30・50・57・95号住居跡と重複し、新旧関係は他の4軒より35号住居跡が新しい。

形状 隅丸方形

規模 長軸5.57×短軸5.4m

長軸方位 N-69°-E

壁高 7~19cm

柱穴 ピットを4基確認した。規模は1、15×26cm、

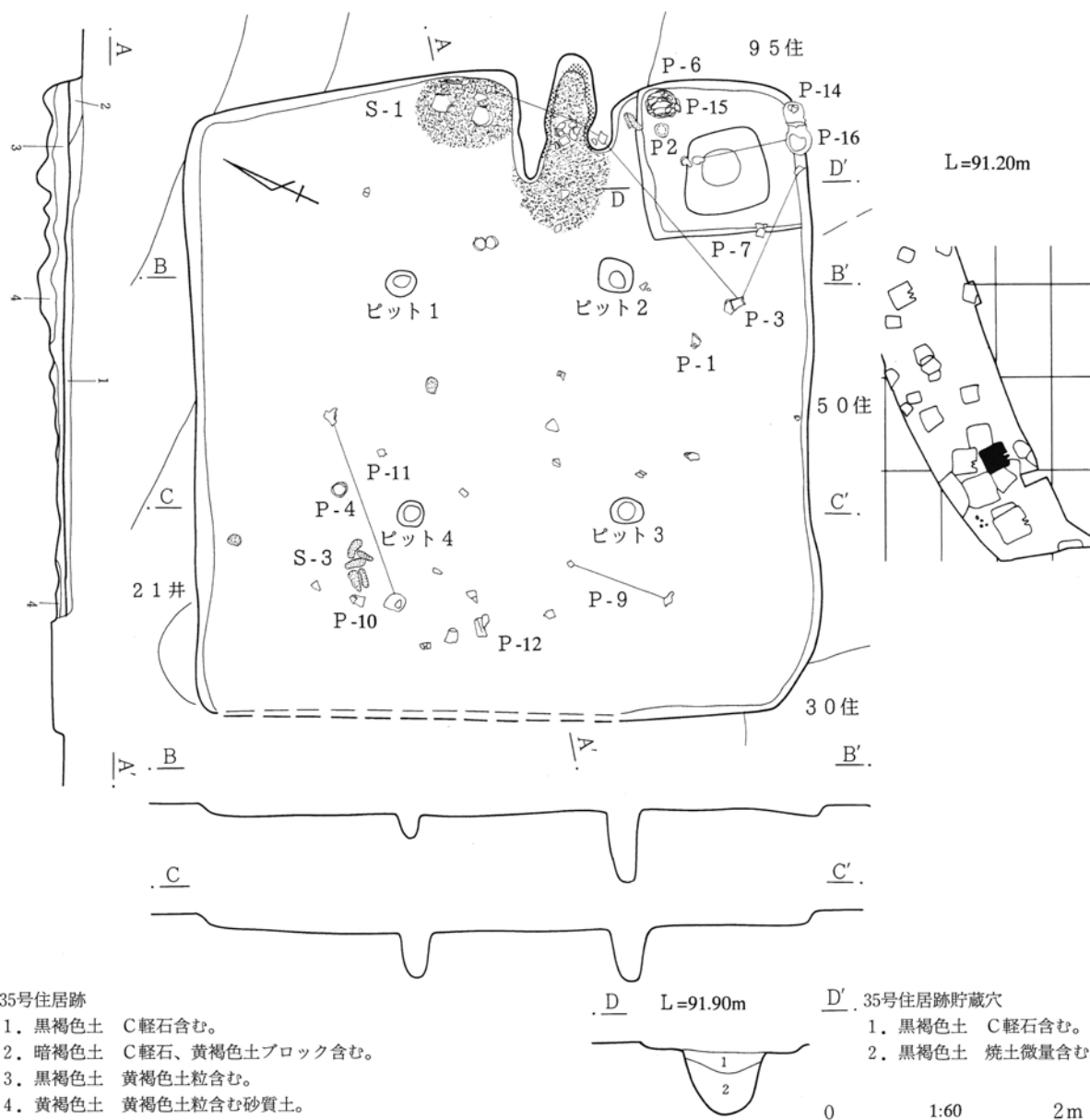
深さ20cm。2、28×28cm、深さ61cm。3、22×28cm、深さ45cm。4、22×23cm、深さ38cmを測る。

竈 東壁中央に確認した。規模は焚き口幅85cm、長さ96cmを測る。

貯蔵穴 南東隅に確認した。形状は長方形を呈し、70×70cm、深さ53cmを測る。

出土遺物 内斜口縁坏、模倣坏、壺、甕、砥石が出土している。

所見 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。



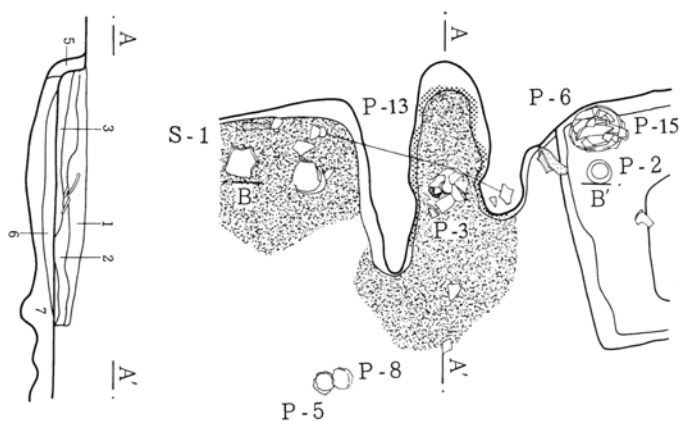
35号住居跡

- 1. 黒褐色土 C軽石含む。
- 2. 暗褐色土 C軽石、黄褐色土ブロック含む。
- 3. 黒褐色土 黄褐色土粒含む。
- 4. 黄褐色土 黄褐色土粒含む砂質土。

D' 35号住居跡貯蔵穴

- 1. 黒褐色土 C軽石含む。
- 2. 黒褐色土 焼土微量含む。

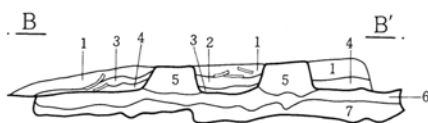
第115図 35号住居跡



35号住居跡竈

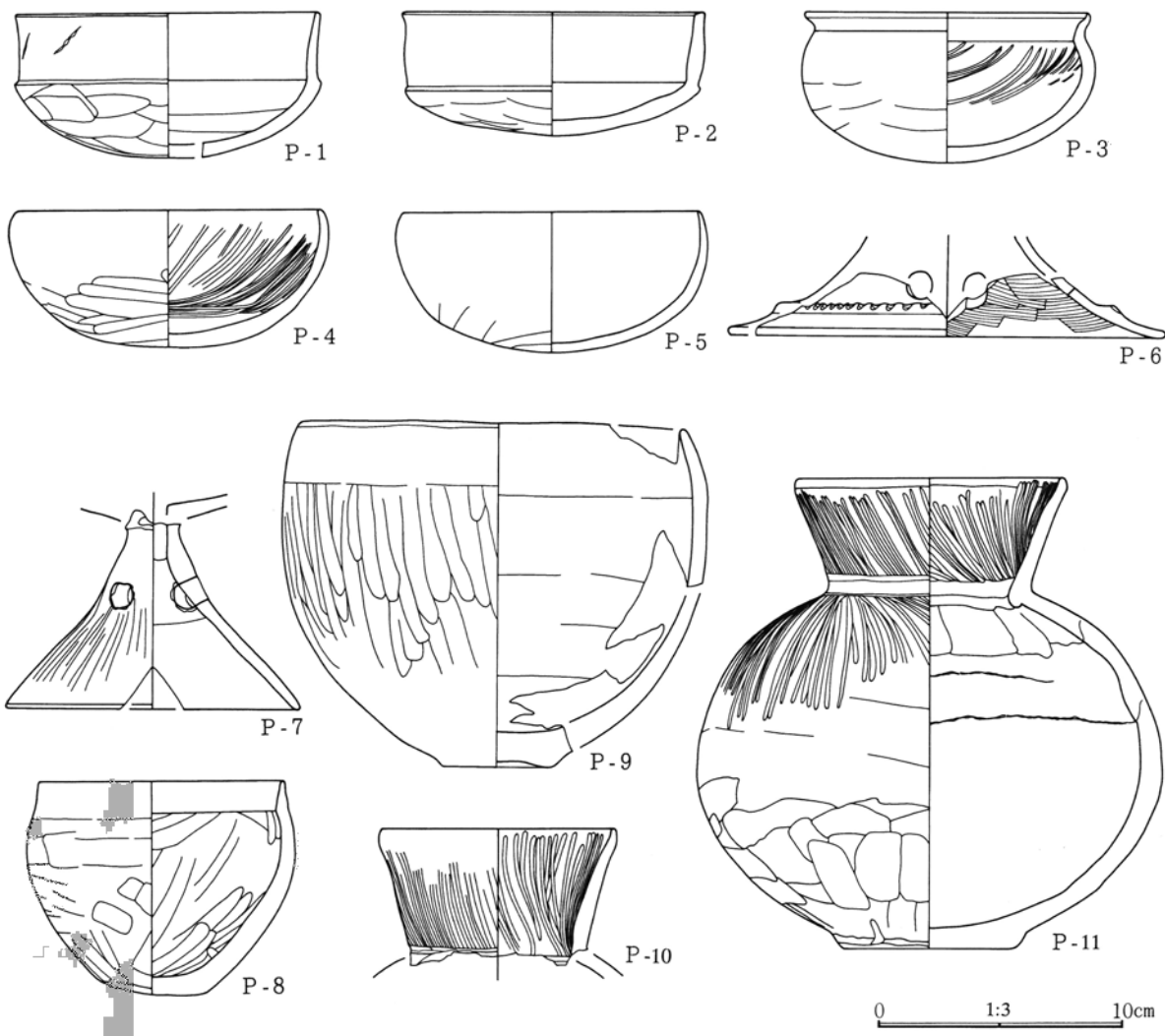
1. 暗褐色土 粘土含む。
2. 焼土・灰層
3. 灰層
4. 黒褐色土 灰、焼土含む。
5. 橙色粘土 竈構築材
6. 黒褐色土 黒色灰多量含む。
7. 暗褐色土 黄褐色土粒含む。

L=91.20m

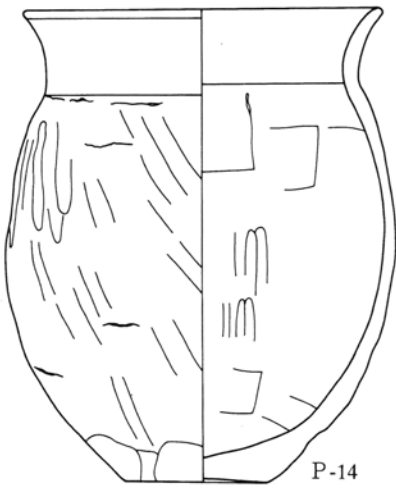
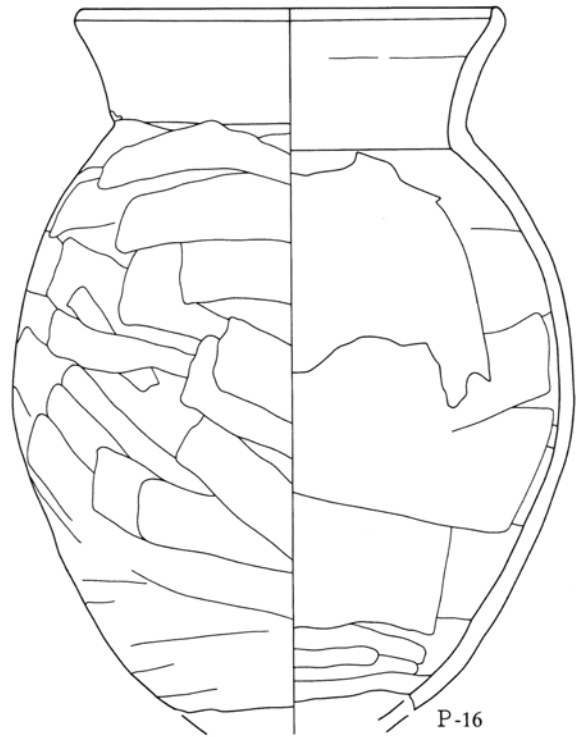
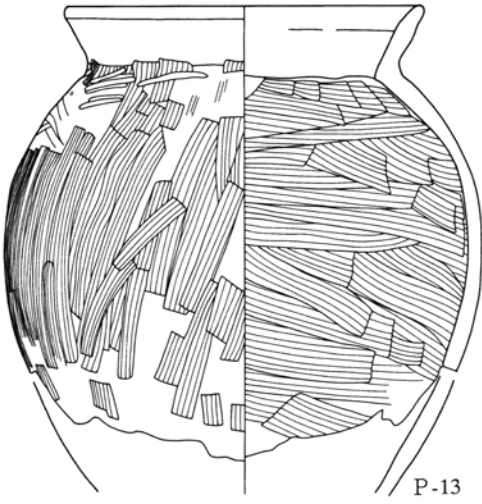
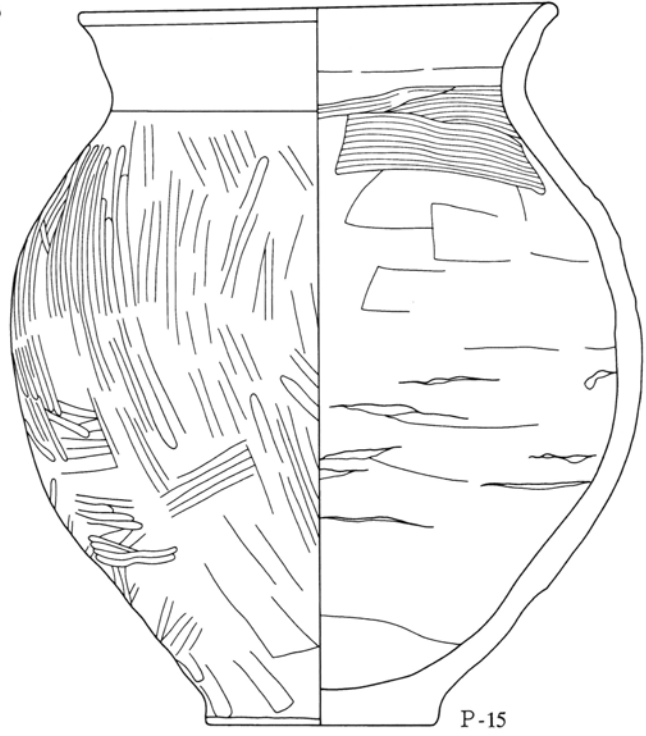
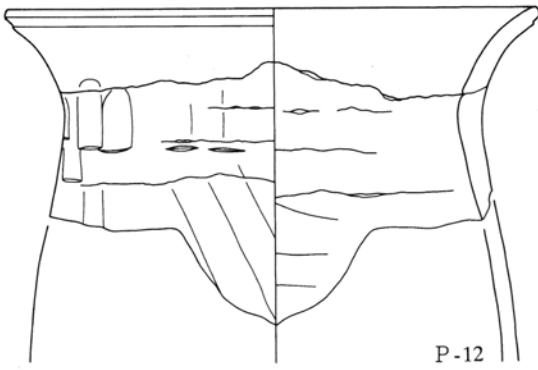


0 1:40 1m

第116図 35号住居跡竈

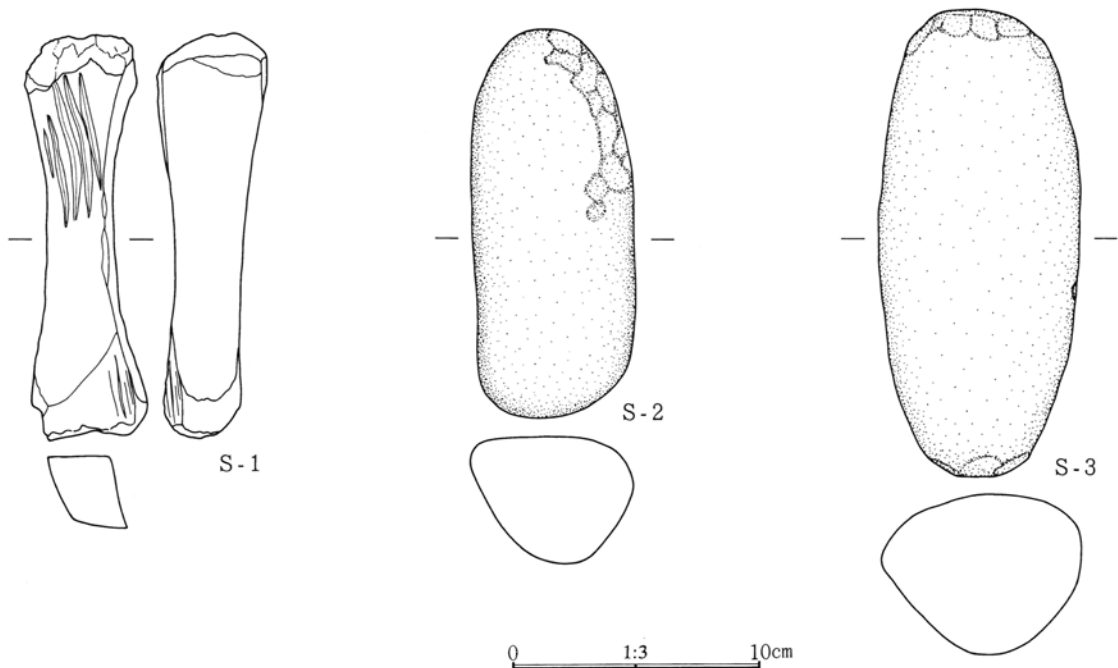


第117図 35号住居跡出土遺物(1)



0 1:3 10cm

第118図 35号住居跡出土遺物(2)



第119図 35号住居跡出土遺物(3)

**36号住居跡**

(第120～122図・写真図版15・90)

**位置** AT-106

**重複** 6・24・25・41・42・48・81号住居跡と重複し、新旧関係は6・24・25号住居跡より旧く、41・42・48・81号住居跡より新しい。

**形状** 隅丸方形

**規模** 長軸7.83×短軸7.15m

**長軸方位** N-68°-E

**壁高** 1～13cm

**周溝** 部分的に確認した。規模は幅11～21cm、深さ3～16cmを測る。

**間仕切り溝** 1条確認した。規模は幅18～32cm、深さ1～5cmを測る。

**柱穴** ピットを4基確認した。規模は1、45×45cm、深さ60cm。2、53×58cm、深さ50cm。3、48×51cm、

深さ47cm。4、38×42cm、深さ45cmを測る。

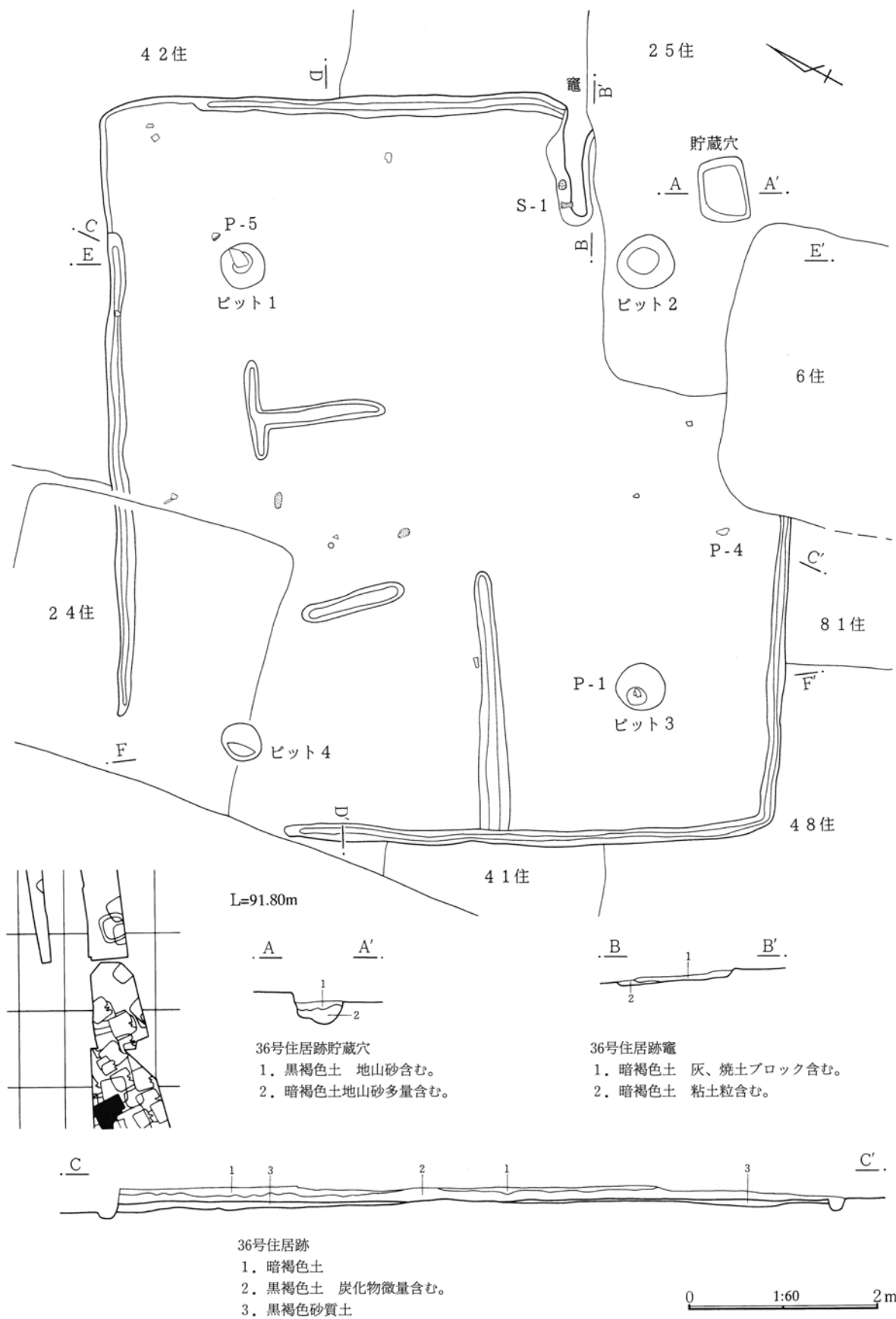
**竈** 東壁南寄りに確認した。規模は長さ97+ $\alpha$ cmを測る。

**貯蔵穴** 東南隅に確認した。形状は長方形を呈し、規模は50×69cm、深さ24cmを測る。

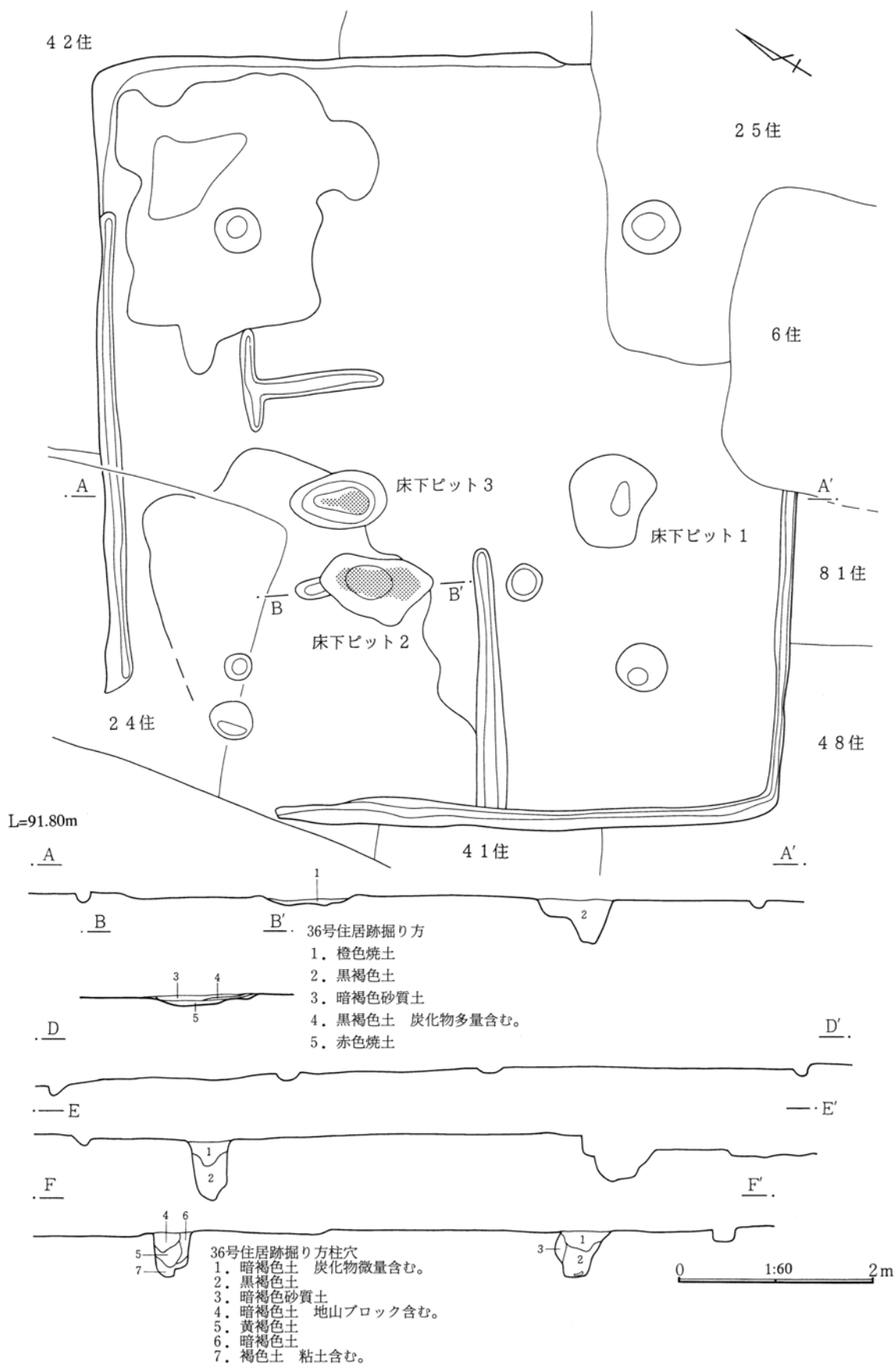
**掘り方** 床下ピットを3基確認した。規模は1、93×64cm、深さ43cm。2、95×65cm、深さ11cm。3、99×60cm、深さ5cmを測る。

**出土遺物** S字状口縁台付甕、高坏、単口縁台付甕等が出土しているが、混入したもので、口縁に段を持つ壺が出土しており、住居跡と同じ時期の遺物である。

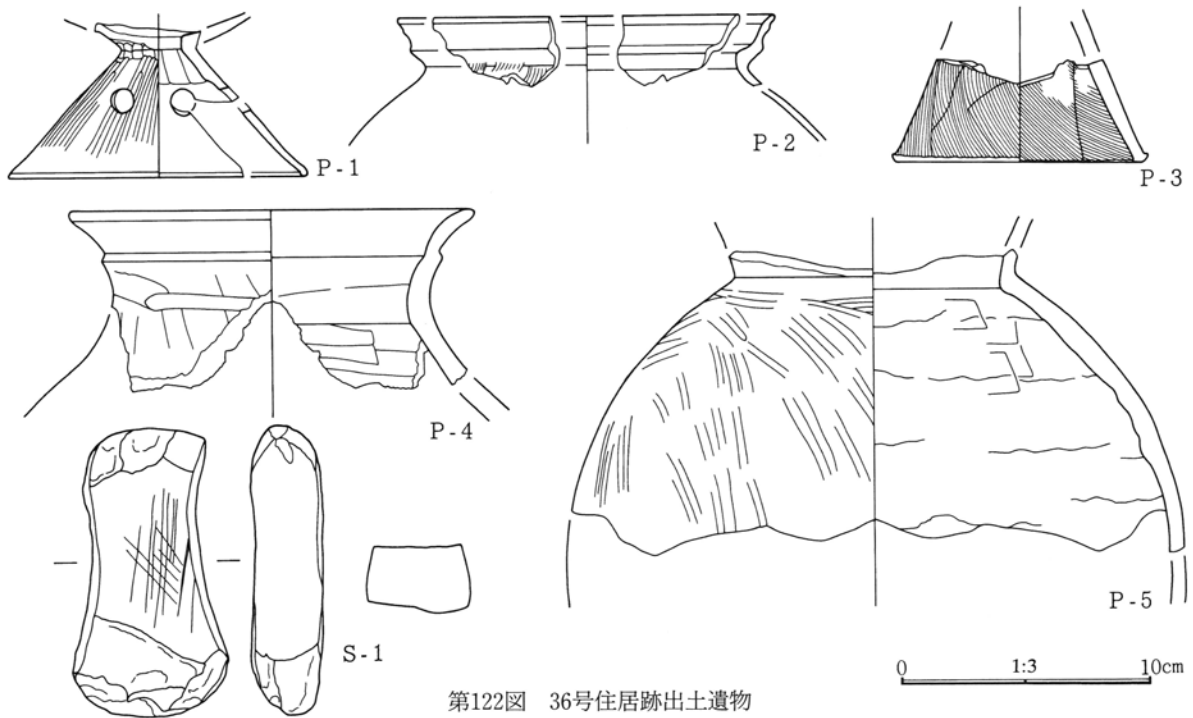
**所見** 出土遺物は4世紀の土器が多いが竈とそれに伴う壺から、5世紀後半の住居跡と考えられる。



第120図 36号住居跡



第121図 36号住居跡掘り方



第122図 36号住居跡出土遺物

37号住居跡

(第123図)

位置 AW-108

重複 25・31・40・47号住居跡と重複し、新旧関係は25・31号住居跡より旧く、40・47号住居跡より新しい。

形状 不明

規模 長軸 $1.37 + \alpha$  × 短軸 $1.1 + \alpha$ m

長軸方位 N-77°-W

周溝・柱穴・竈・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

出土遺物 内斜口縁坏が2個体出土している。

所見 出土遺物はないが25・31号住居跡に切られることから、5世紀の住居跡と考えられる。

40号住居跡

(第124図・写真図版15・91)

位置 AW-108

重複 25・31・37号住居跡と重複し、他の3軒より40号住居跡が古い。

形状 不明

規模 長軸 $2.47 + \alpha$  × 短軸 $2.17 + \alpha$ m

長軸方位 N-84°-W

周溝・柱穴・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。  
出土遺物 北壁付近から内斜口縁坏が2個体検出されている。

所見 出土遺物から、5世紀の住居跡と考えられる。

47号住居跡

(第124図・写真図版94)

位置 AW-108

重複 7・8・25・37・43号住居跡と重複し、他の5軒より47号住居跡が古い。

形状 不明

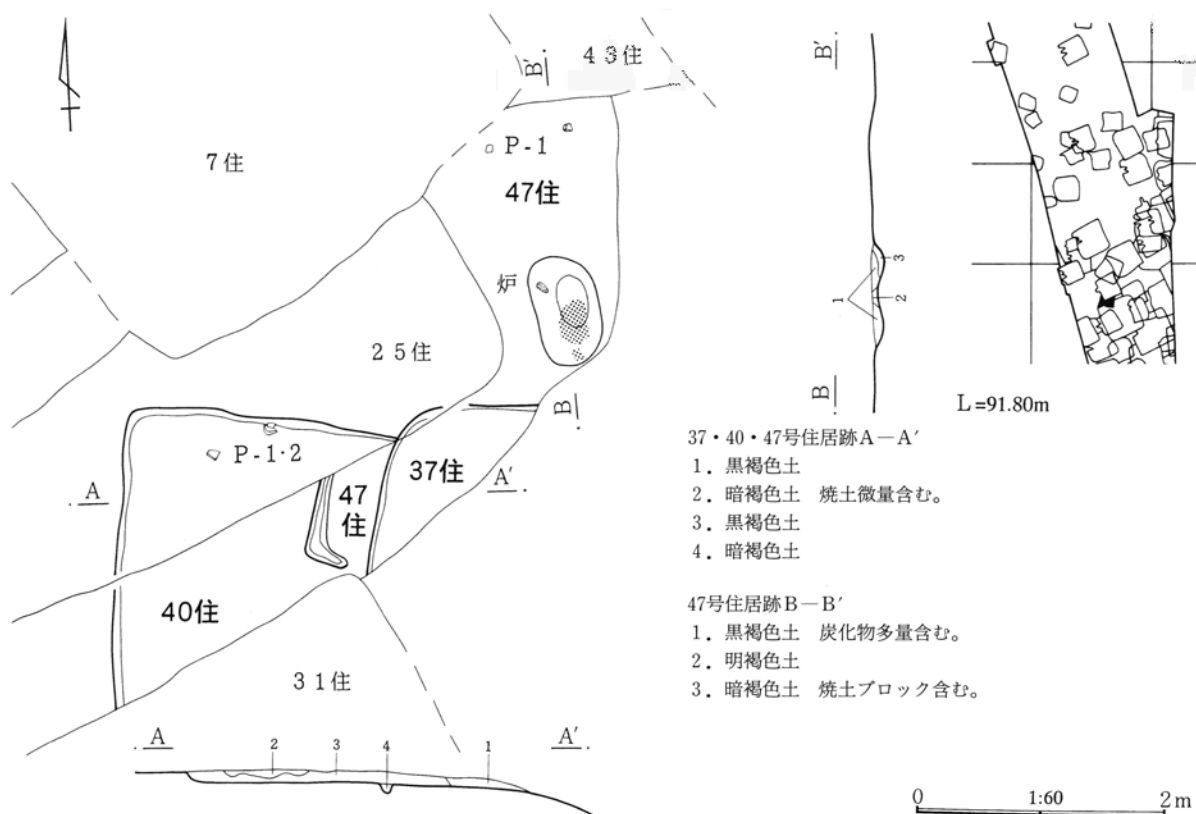
規模 不明

炉 形状は楕円形を呈し、規模は $87 \times 50$ cm、深さ10cmを測る。

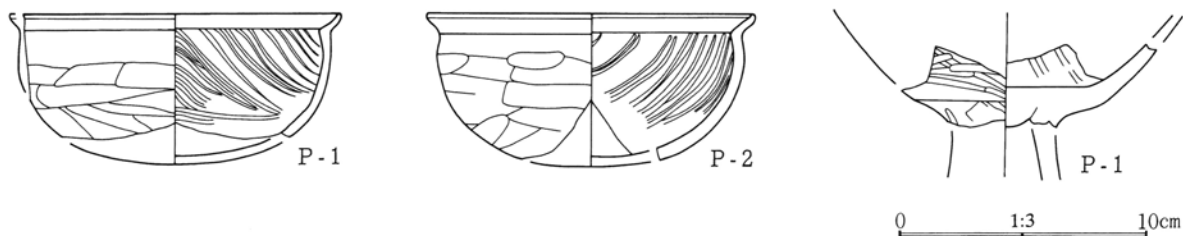
周溝・柱穴等の諸施設は検出されていない。

出土遺物 高坏の破片が出土している。

所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。



第123図 37・40・47号住居跡



第124図 40・47号住居跡出土遺物

**38号住居跡**

(第125・126図・写真図版15・90)

**位置** AV-110

**重複** 67・90・100・101・111号住居跡と重複し、新旧関係は111号住居跡との関係は不明だが、他の4軒より38号住居跡が新しい。

**形状** 不明

**規模** 長軸5.95×短軸5.57+αm

**長軸方位** N-59°-E

**壁高** 1~29cm

**周溝** 部分的に確認した。規模は幅13~30cm、深さ1~12cmを測る。

**間仕切り溝** 1条確認した。規模は幅18~23cm、深さ4~11cmを測る。

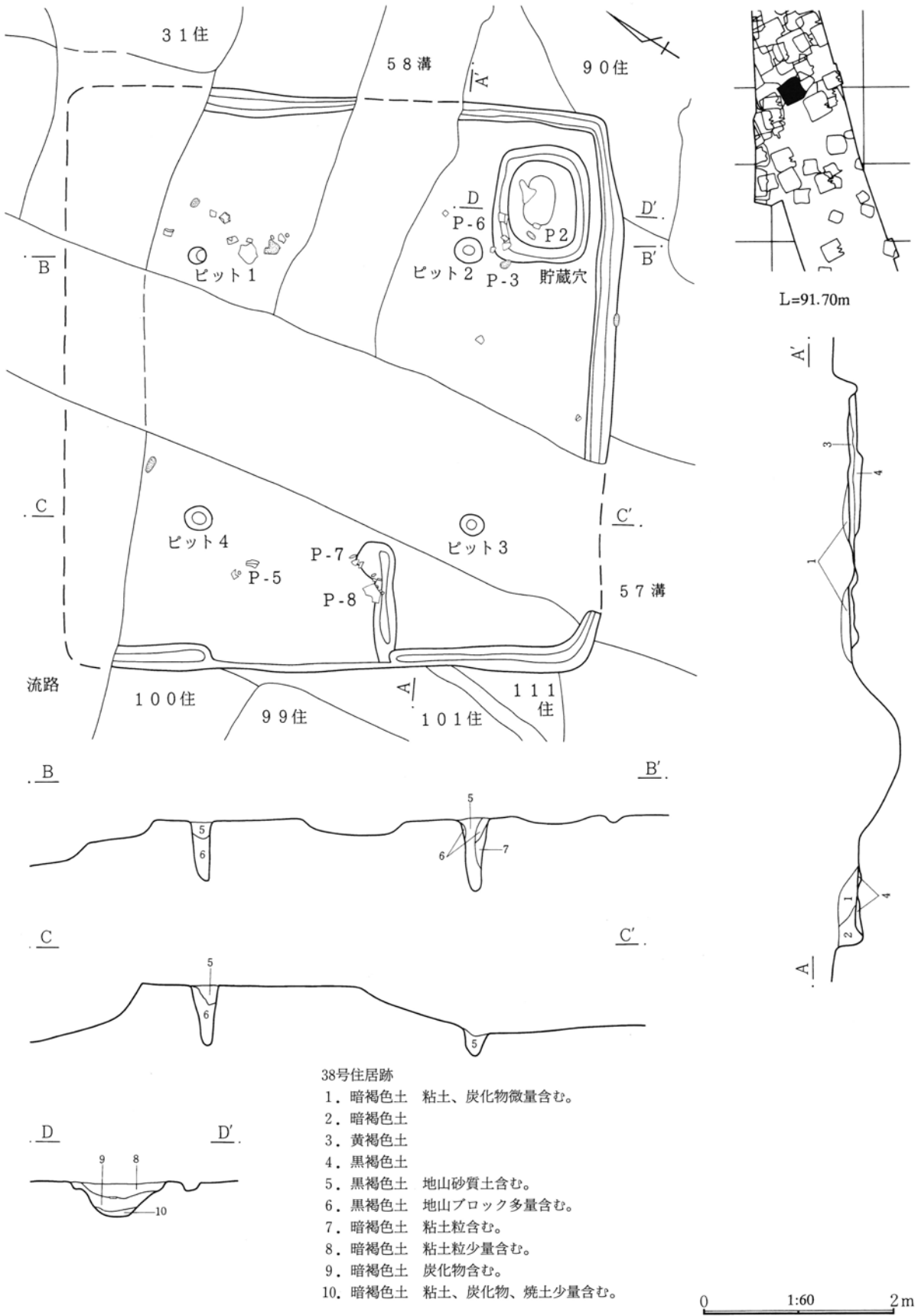
**柱穴** ピットを4基確認した。規模は1、17×21cm、深さ62cm。2、27×29cm、深さ76cm。3、21×26cm、深さ21cm。4、25×29cm、深さ62cmを測る。

**貯蔵穴** 南東隅に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は100×120cm、深さ34cmを測る。

**出土遺物** 内斜口縁環と甕が出土している。

**所見** 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。

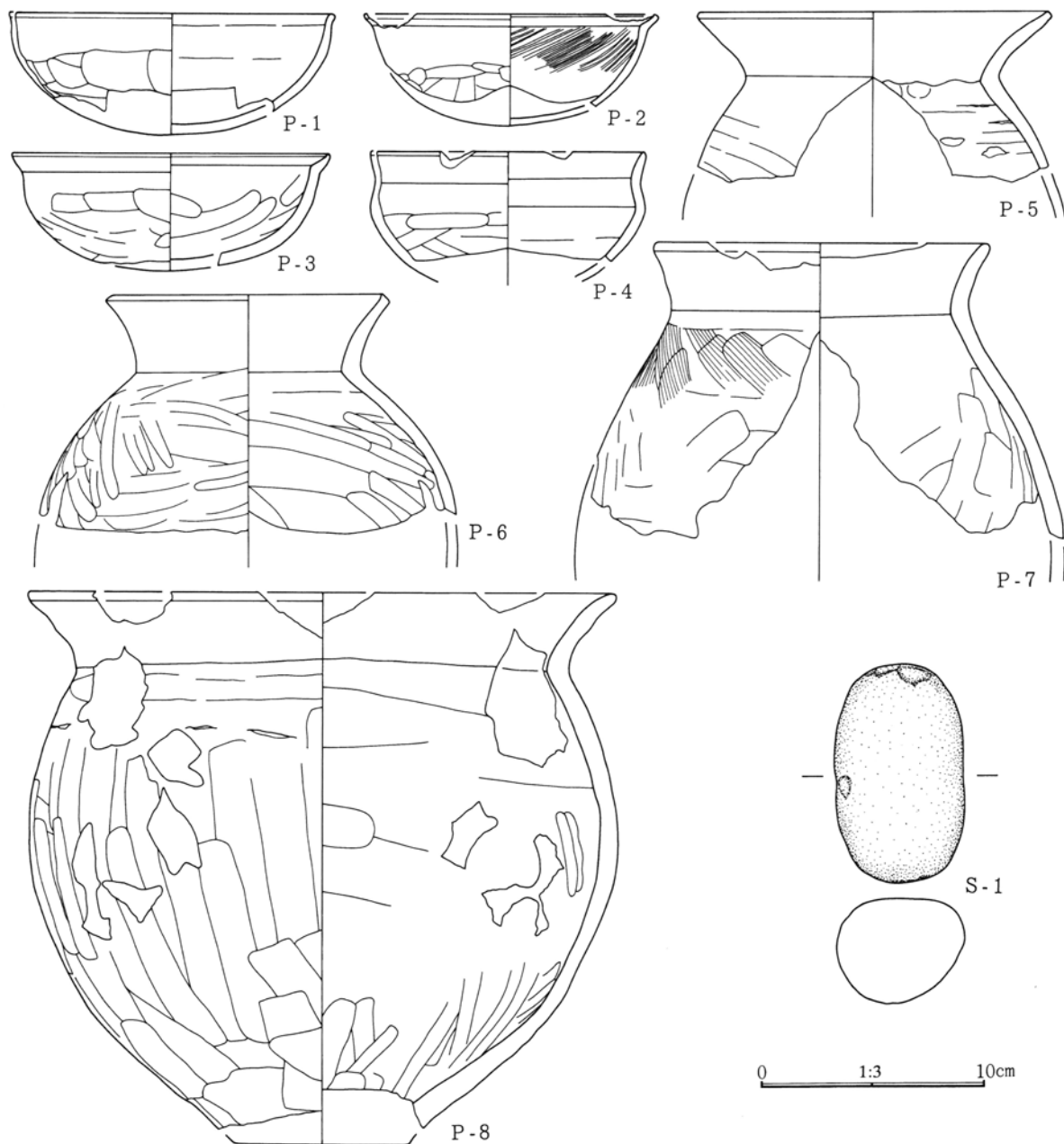




38号住居跡

1. 暗褐色土 粘土、炭化物微量含む。
2. 暗褐色土
3. 黄褐色土
4. 黒褐色土
5. 黒褐色土 地山砂質土含む。
6. 黒褐色土 地山ブロック多量含む。
7. 暗褐色土 粘土粒含む。
8. 暗褐色土 粘土粒少量含む。
9. 暗褐色土 炭化物含む。
10. 暗褐色土 粘土、炭化物、焼土少量含む。

第125図 38号住居跡



第126図 38号住居跡出土遺物

**39号住居跡**

(第127～129図・写真図版15・91)

**位置** AT-109

**重複** 48・100・101号住居跡と重複し、新旧関係は他の3軒より39号住居跡が新しい。

**形状** 不明

**規模** 長軸 $5.55 + \alpha$  × 短軸 $1.72 + \alpha$  m

**長軸方位** N-27°-W

**壁高** 1～14cm

**周溝** 部分的に確認した。規模は幅13～32cm、深さ

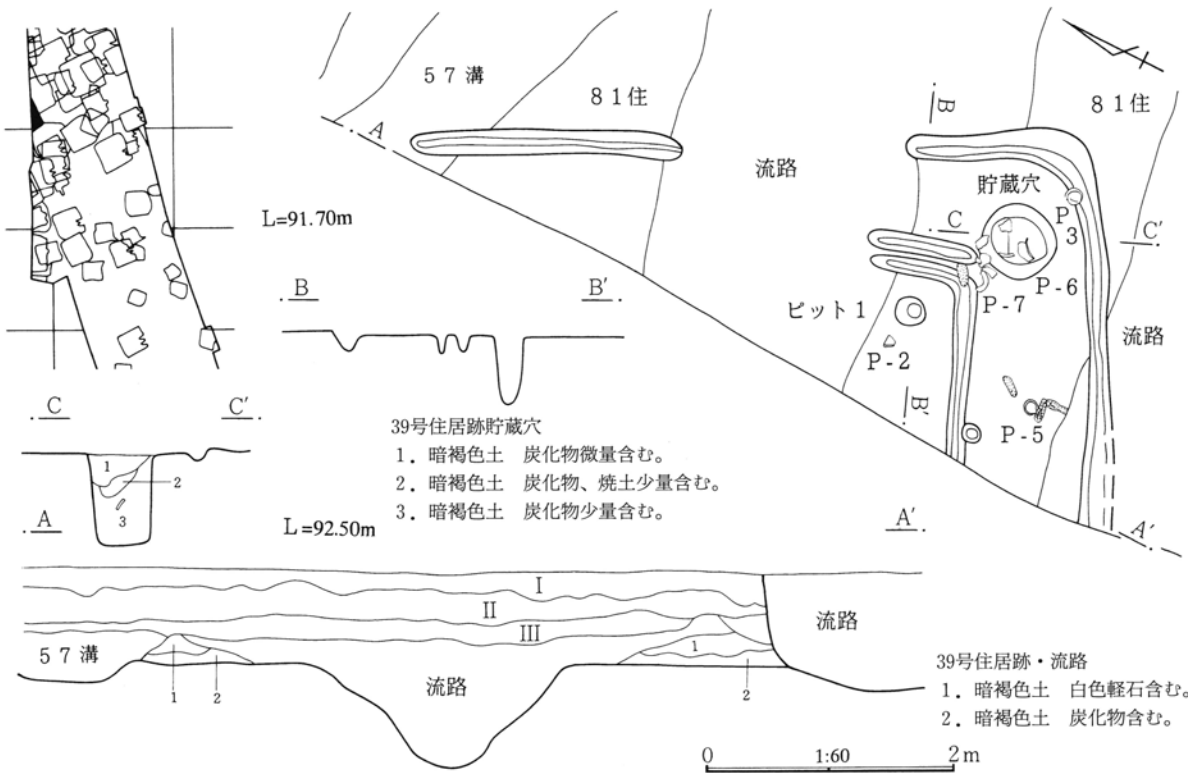
3～15cmを測る。

**柱穴** ピットを1基確認した。規模は24×24cm、深さ56cmを測る。

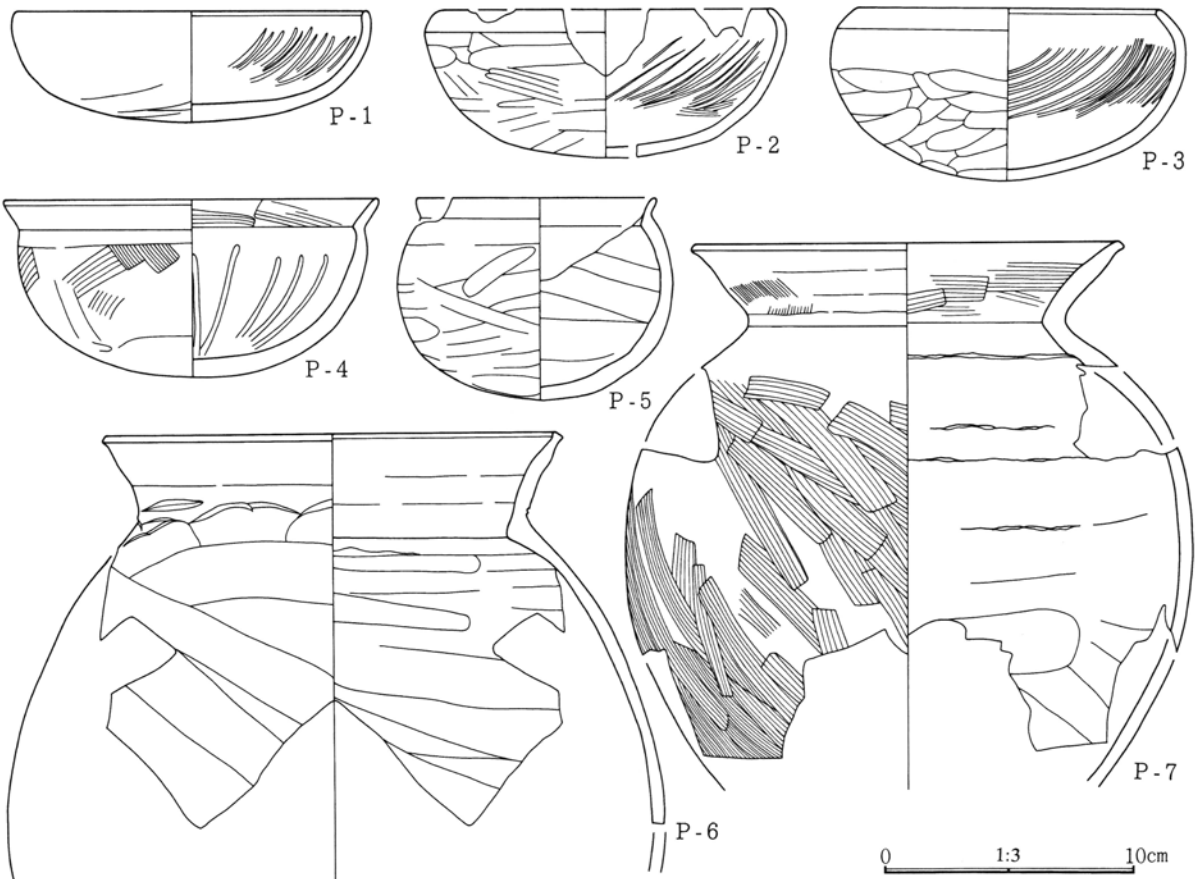
**貯蔵穴** 東南隅に確認した。形状は円形を呈し、規模は60×60cm、深さ71cmを測る。

**出土遺物** 内湾・内斜口縁坏、大形と小形の甕が出土している。

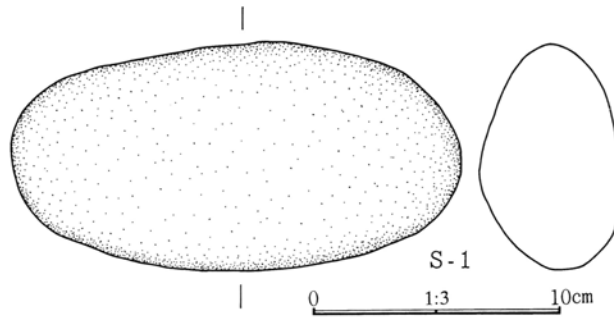
**所見** 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。



第127図 39号住居跡



第128図 39号住居跡出土遺物(1)



第129図 39号住居跡出土遺物(2)

41号住居跡

(第130・131図・写真図版15・92)

位置 AT-106

重複 24・34・36号住居跡と重複し、他の3軒より41号住居跡が古い。

形状 不明

規模 長軸 $5.25 + \alpha$  × 短軸 $1.36 + \alpha$  m

長軸方位 N-7°-W

壁高 1~4 cm

周溝 部分的に確認した。規模は11~26、深さ2~12

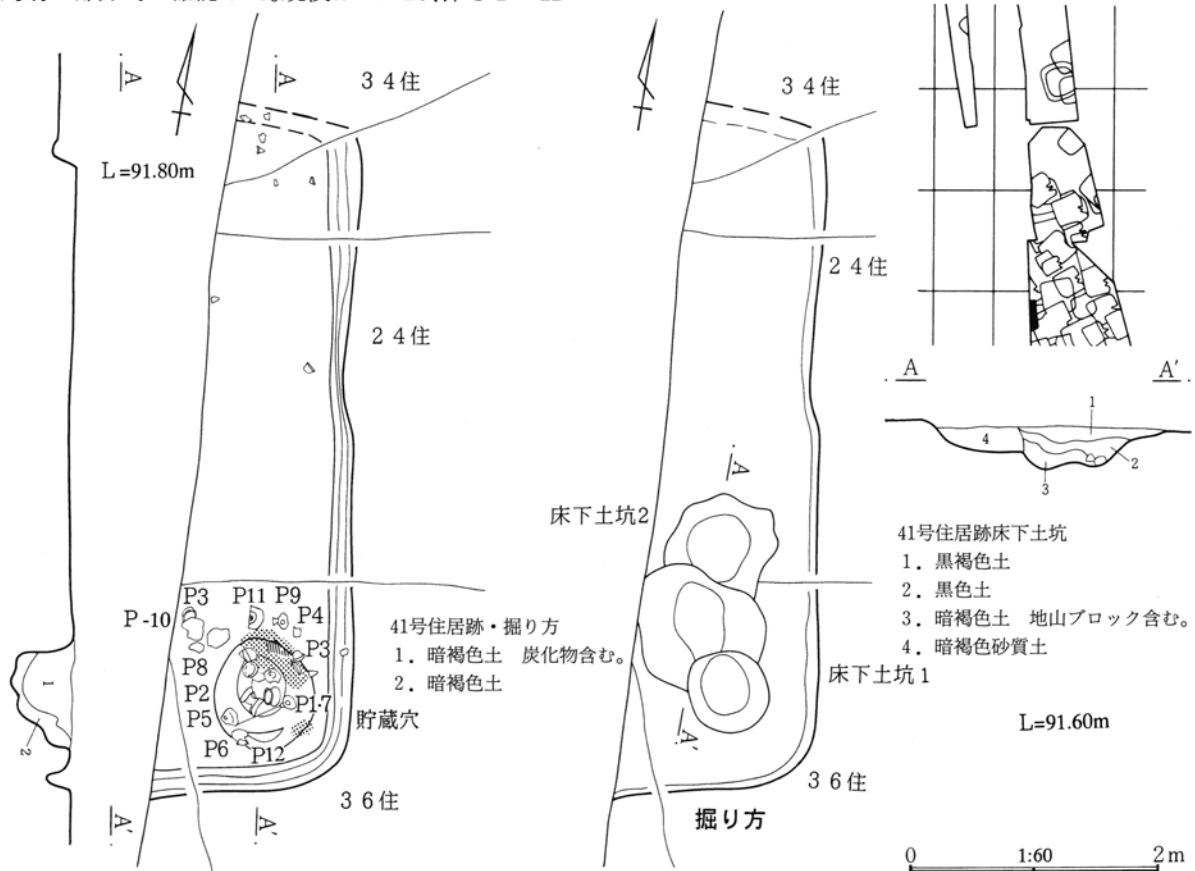
cmを測る。

貯蔵穴 南東隅に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は81×90cm、深さ52cmを測る。

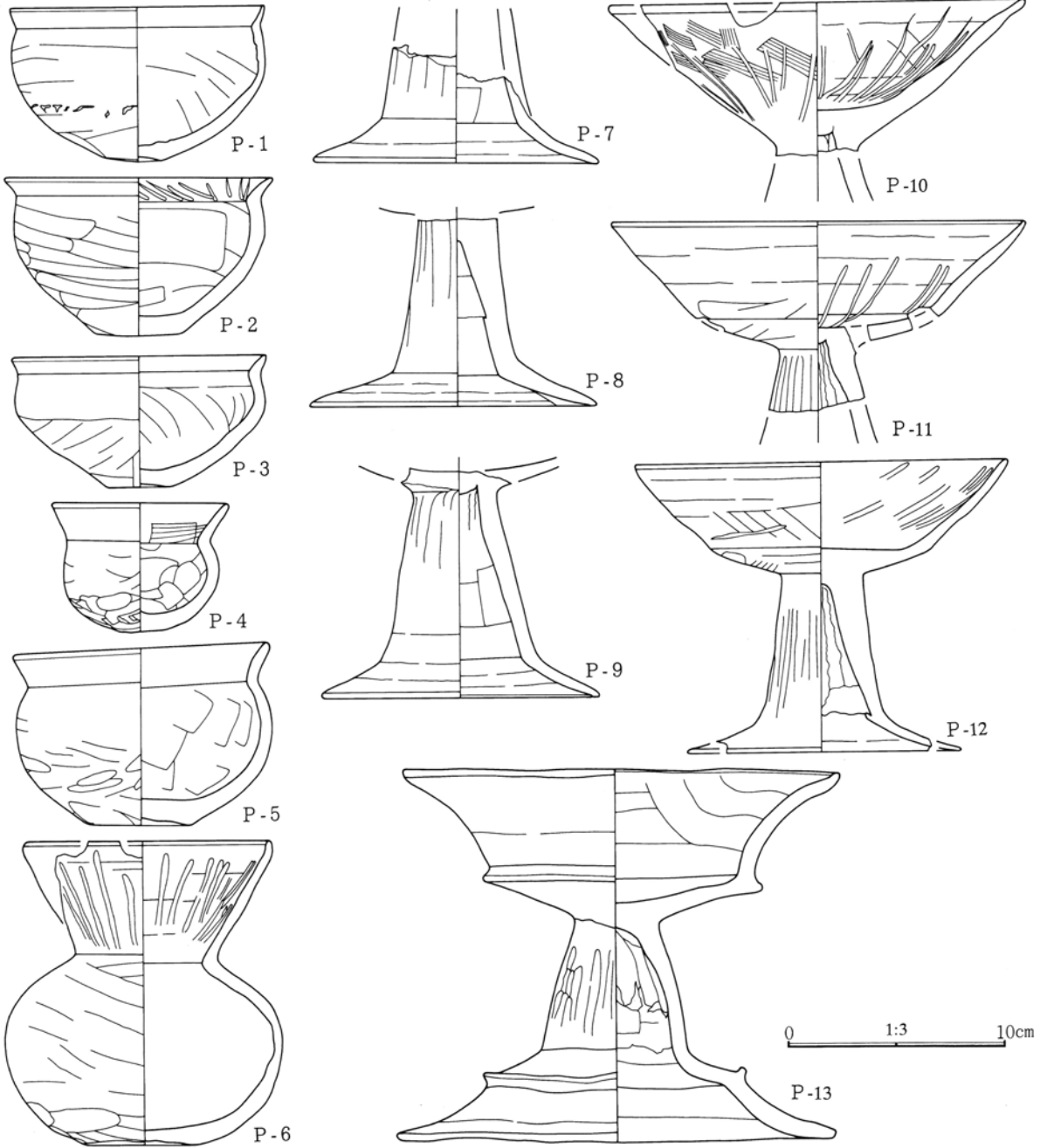
掘り方 床下土坑を2基確認した。規模は1、98×95cm、深さ34cm。2、80×70cm、深さ20cmを測る。

出土遺物 頸長の埴型土器。小形の鉢、坏部と脚部に稜を持つ高坏等が出土した。

所見 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。



第130図 41号住居跡



第131図 41号住居跡出土遺物

42号住居跡

(第132・133図・写真図版16・93)

位置 AU-105

重複 12・26・34・36号住居跡と重複し、新旧関係は他の4軒より42号住居跡が新しい。

形状 隅丸方形

規模 長軸6.63+ $\alpha$ ×短軸6.63m

長軸方位 N-7°-W

高さ 1~19cm

周溝 全周する。規模は幅9~21cm、深さ1~14cmを測る。

柱穴 ピットを5基確認した。規模は1、37×42cm、深さ41cm、柱痕径17cm。2、33×45cm、深さ32cm。3、35×39cm、深さ32cm。4、25×30cm、深さ30cm。5、32×35cm、深さ12cmを測る。

炉 住居跡のほぼ中央に確認した。規模は25×85cm、深さ6cmを測る。

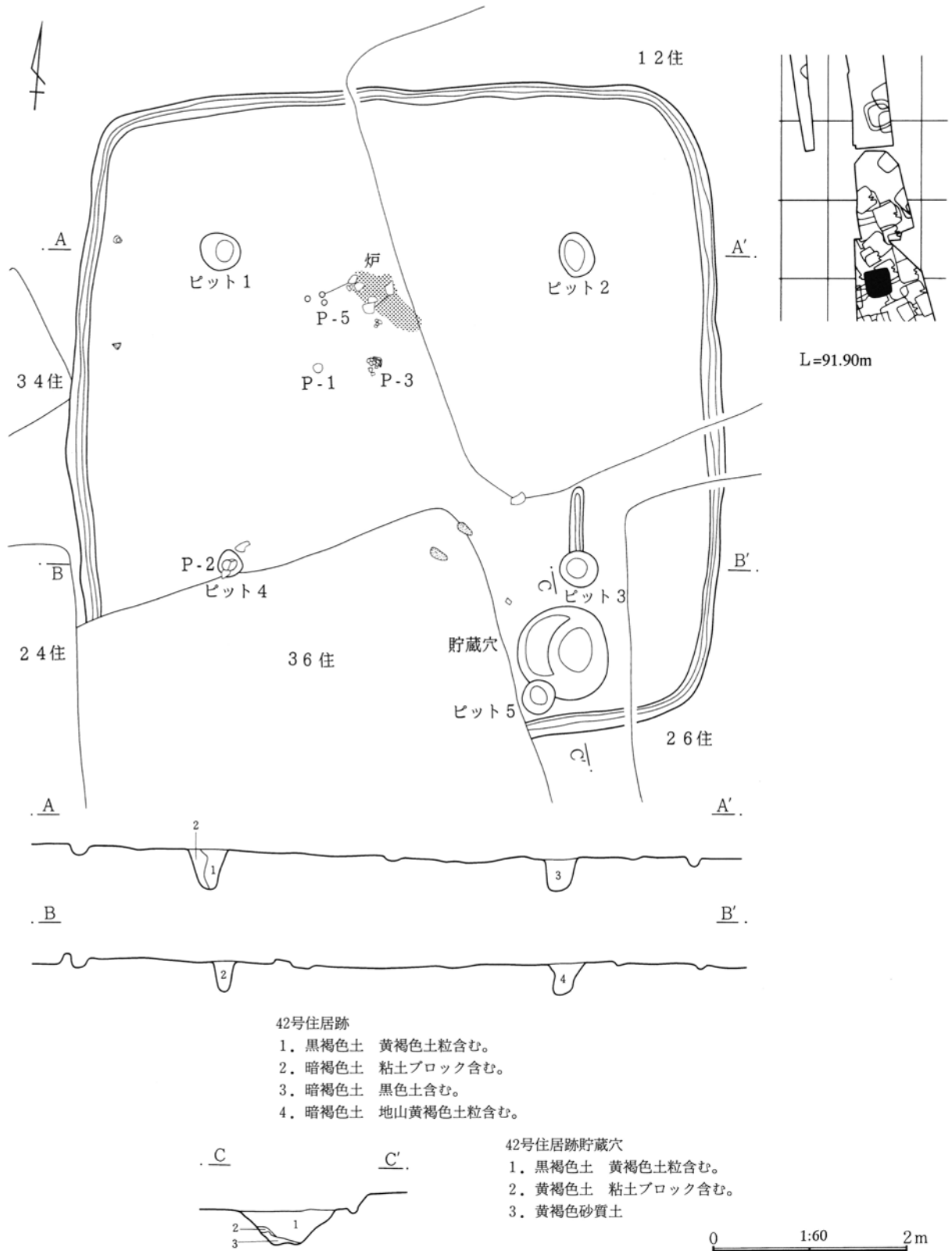
貯蔵穴 南東隅に確認した。形状は円形を呈し、規

第5章 遺構と遺物

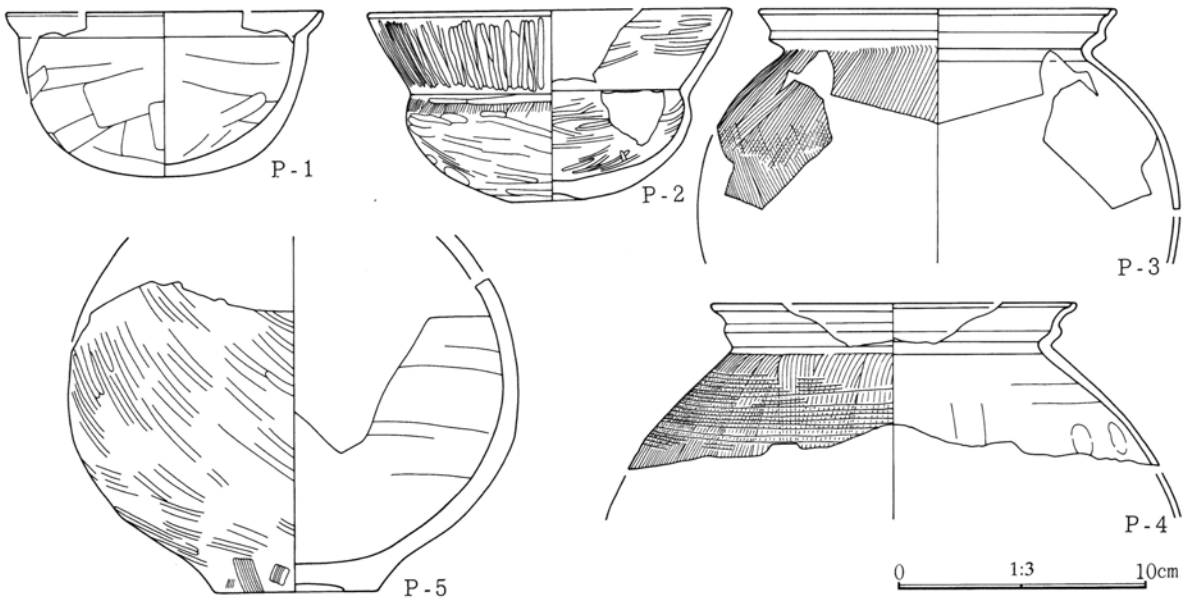
横は径93cm、深さ34cmを測る。

所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。

出土遺物 S字状口縁台付甕、小型埴、壺が出土した。



第132図 42号住居跡



第133図 42号住居跡出土遺物

43号住居跡

(第134・135図・写真図版16・93)

位置 AW-106

重複 7・8・25・27・43号住居跡と重複し、47号住居跡より旧く、他の4軒より43号住居跡が新しい。

形状・規模 不明

壁高 8cm

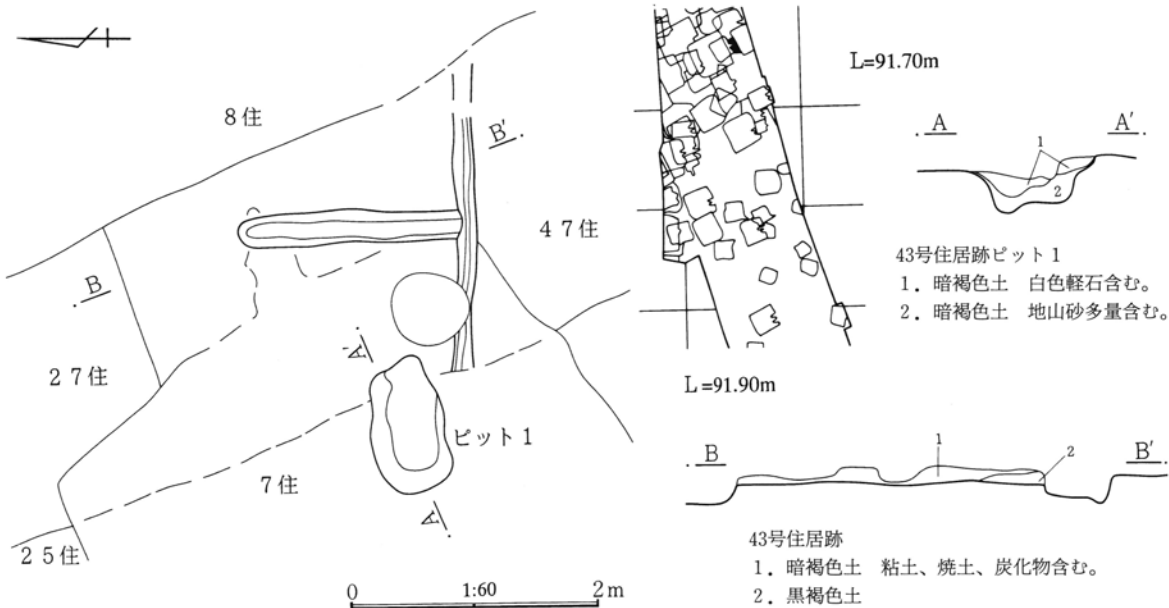
間仕切り溝 1条確認した。規模は幅21~28cm、深さ18cmを測る。

柱穴 ピットを1基確認した。規模は60×100cm、深さ35cmを測る。

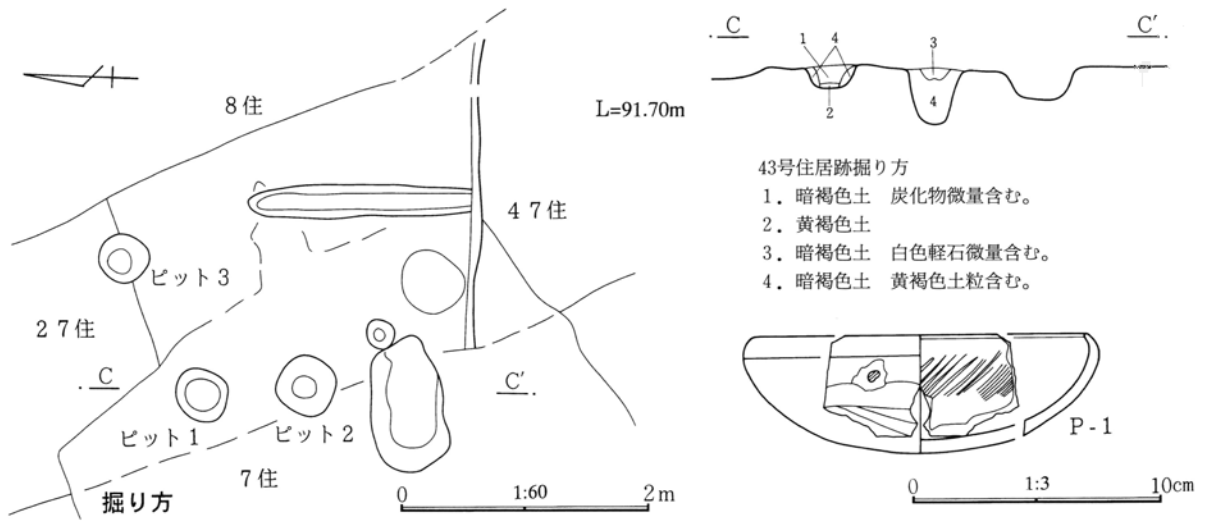
掘り方 床下ピットを3基確認した。規模は1、10×41cm、深さ18cm。2、44×46cm、深さ45cm。3、37×39cm、深さ38cmを測る。

出土遺物 内湾する坏が出土した。

所見 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。



第134図 43号住居跡



第135図 43号住居跡掘り方・出土遺物

44号住居跡

(第136・137図・写真図版16・93)

位置 AV-108

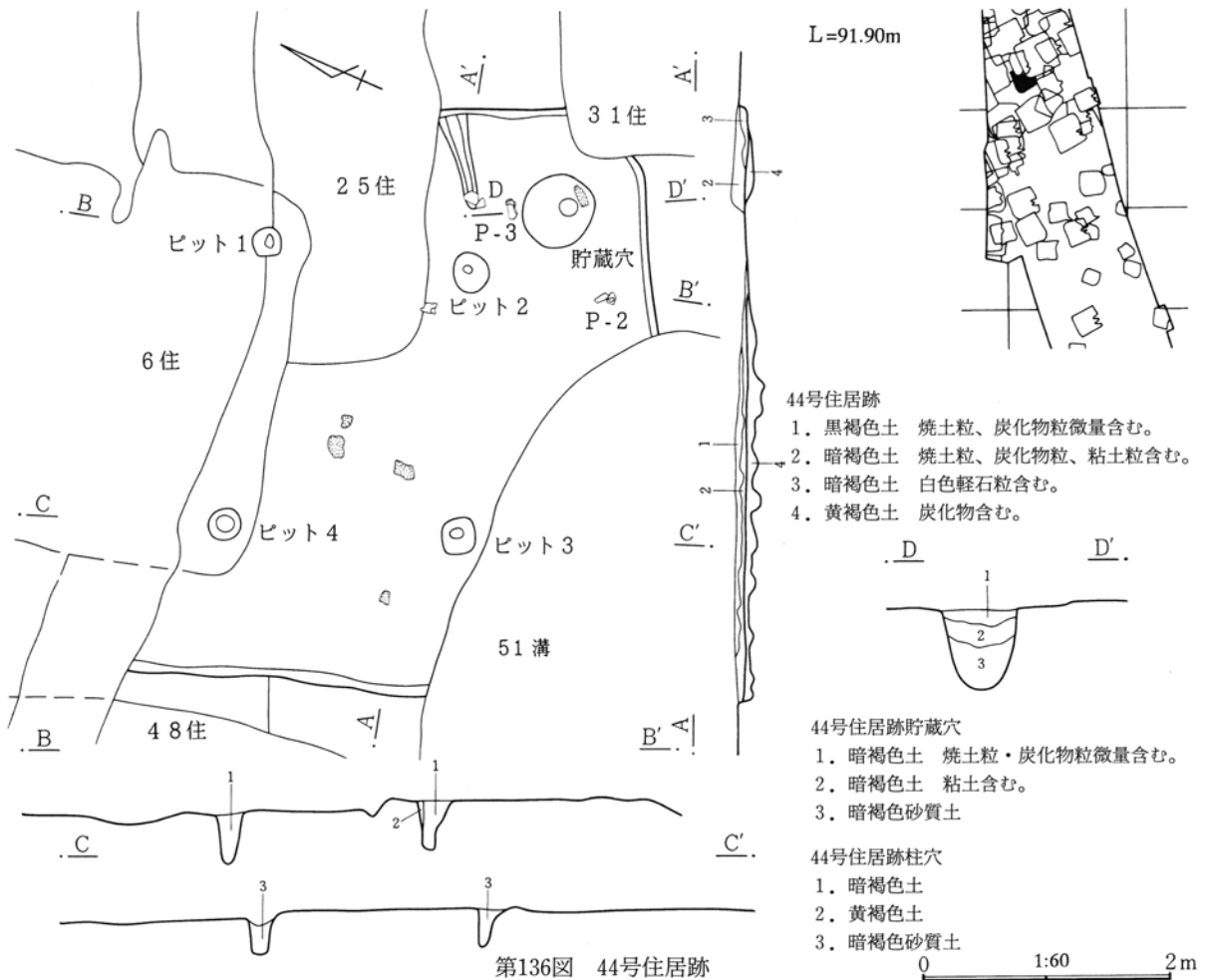
重複 6・25・31・81号住居跡と重複し、新旧関係

は81号住居跡より新しく、他の3軒より古い。

形状・規模 不明

壁高 1~13cm

間仕切り溝 1条確認した。規模は幅11~21cm、深



第136図 44号住居跡



さ4～6cmを測る。

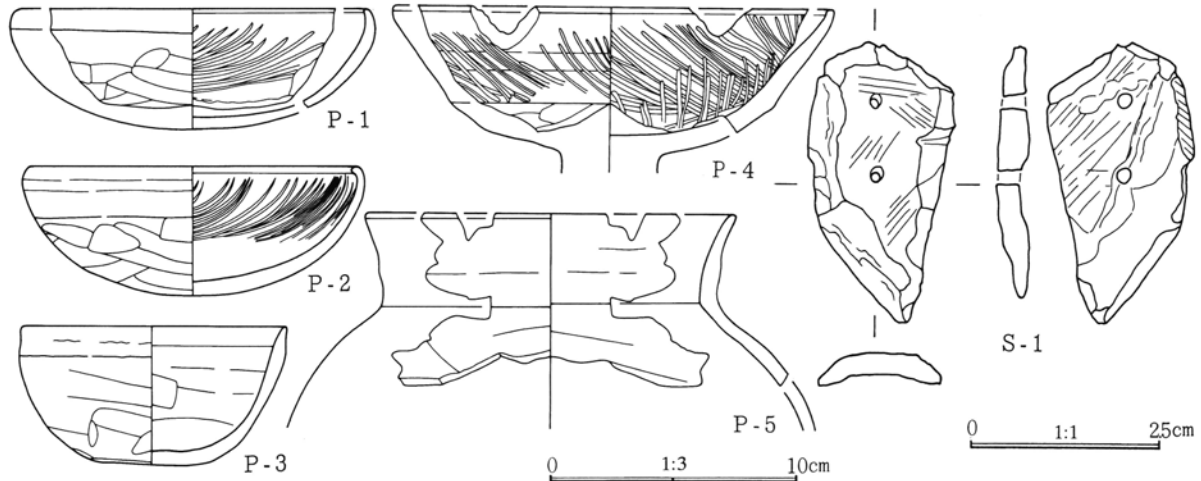
**柱穴** ピットを4基確認した。規模は1、径23cm、深さ39cm。2、32×28cm、深さ39cm。3、30×26cm、深さ32cm。4、26×24cm、深さ30cmを測る。

**貯蔵穴** 南東隅に確認した。形状は円形を呈し、規

模は56×57cm、深さ64cmを測る。

**出土遺物** 内湾する坏、高坏、甕の他滑石性の2穴の垂飾りが出土した。

**所見** 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。



第137図 44号住居跡出土遺物

#### 45号住居跡

(第139～141図・写真図版17・93・94)

**位置** AU-111

**重複** 22・45・77・78・99・101・117号住居跡と重複し、新旧関係は22・75号住居跡より旧く、他の5軒より新しい。

**形状** 隅丸方形

**規模** 長軸5.25×短軸4.95m

**長軸方位** N-75°-E

**壁高** 1～49cm

**周溝** 全周する。規模は幅7～29cm、深さ1～4cmを測る。

**柱穴** ピットを4基確認した。規模は1、31×26cm、深さ45cm。2、32×29cm、深さ35cm。3、25×24cm、深さ59cm。4、31×27cm、深さ22cmを測る。

**竈** 東壁に確認した。規模は焼き口幅82cm、長さ115cmを測る。焼き口両袖・天井部に切り出したような砂岩を使用している。

**貯蔵穴** 東南隅に確認した。形状は長方形を呈し、規模は70×50cm、深さ55cmを測る。

**掘り方** 床下土坑を3基確認した。規模は1、67×67cm、深さ3cm。2、140×60cm、深さ15cm、3、122×87cm、深さ4cmを測る。

**出土遺物** 須恵器坏、土師器高坏、壺、甕、石が出土している。

**所見** 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。

#### 117号住居跡

(第138・140図)

**位置** AU-111

**重複** 45・77・99号住居跡と重複し、新旧関係は他の3軒より117号住居跡が古い。

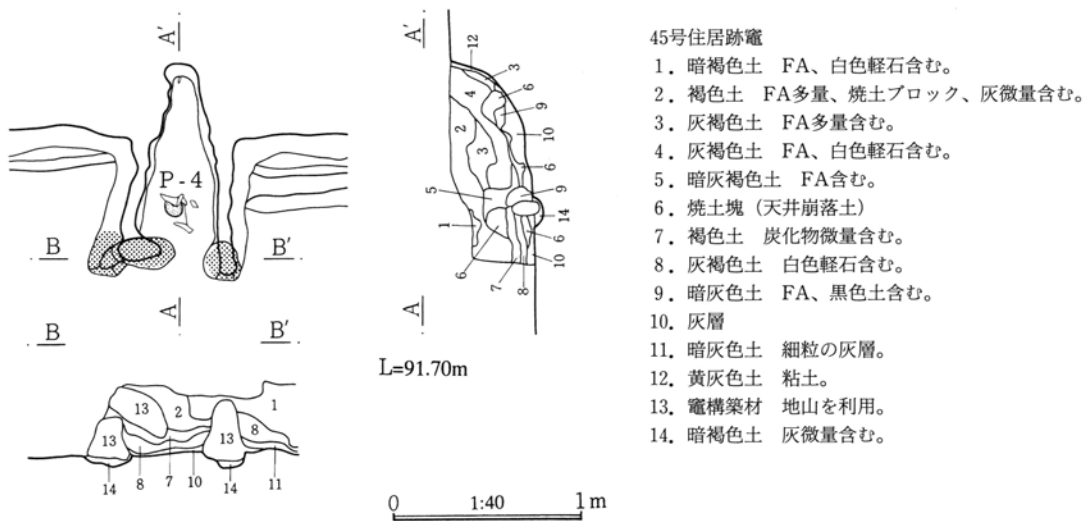
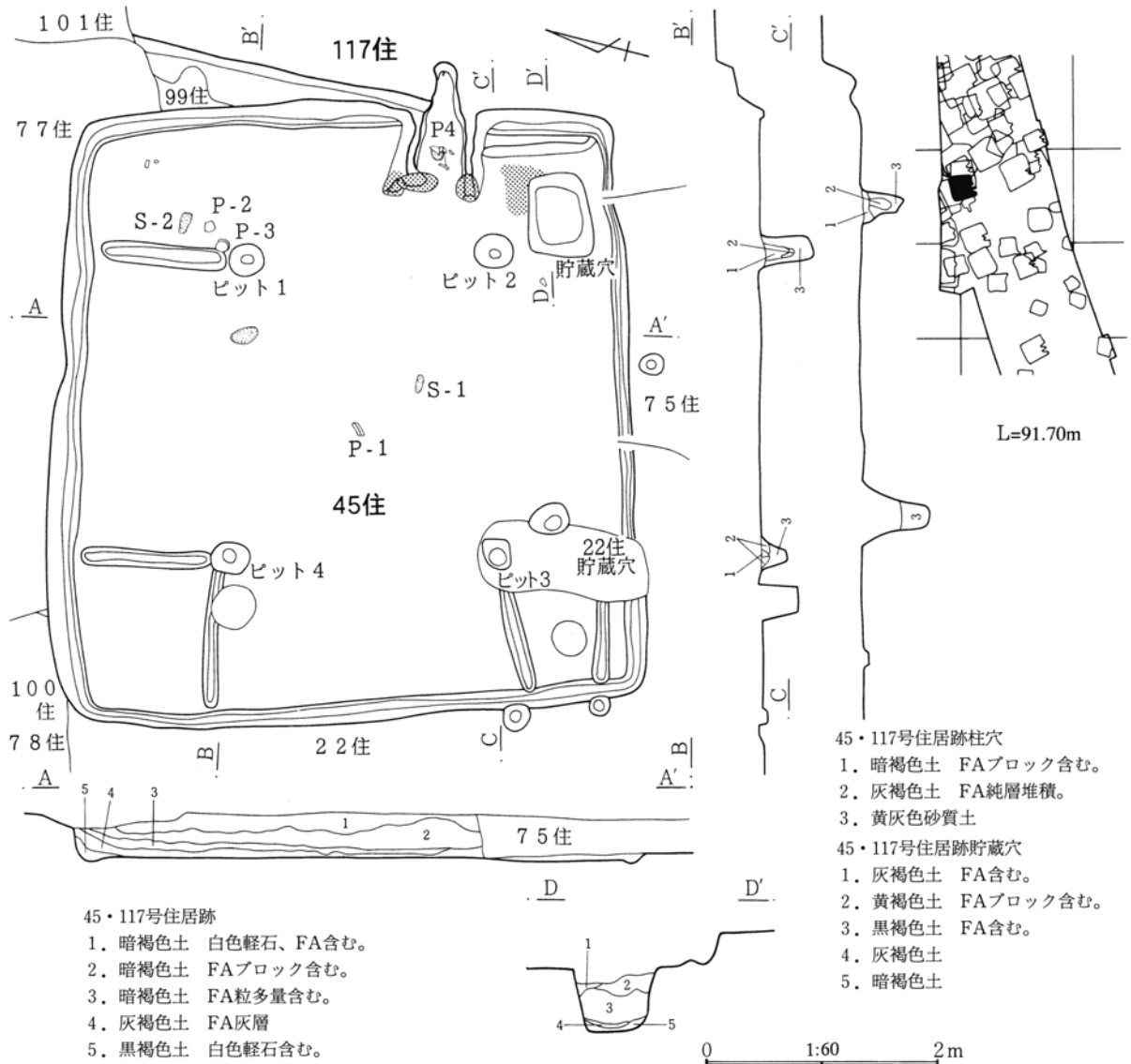
**形状** 不明

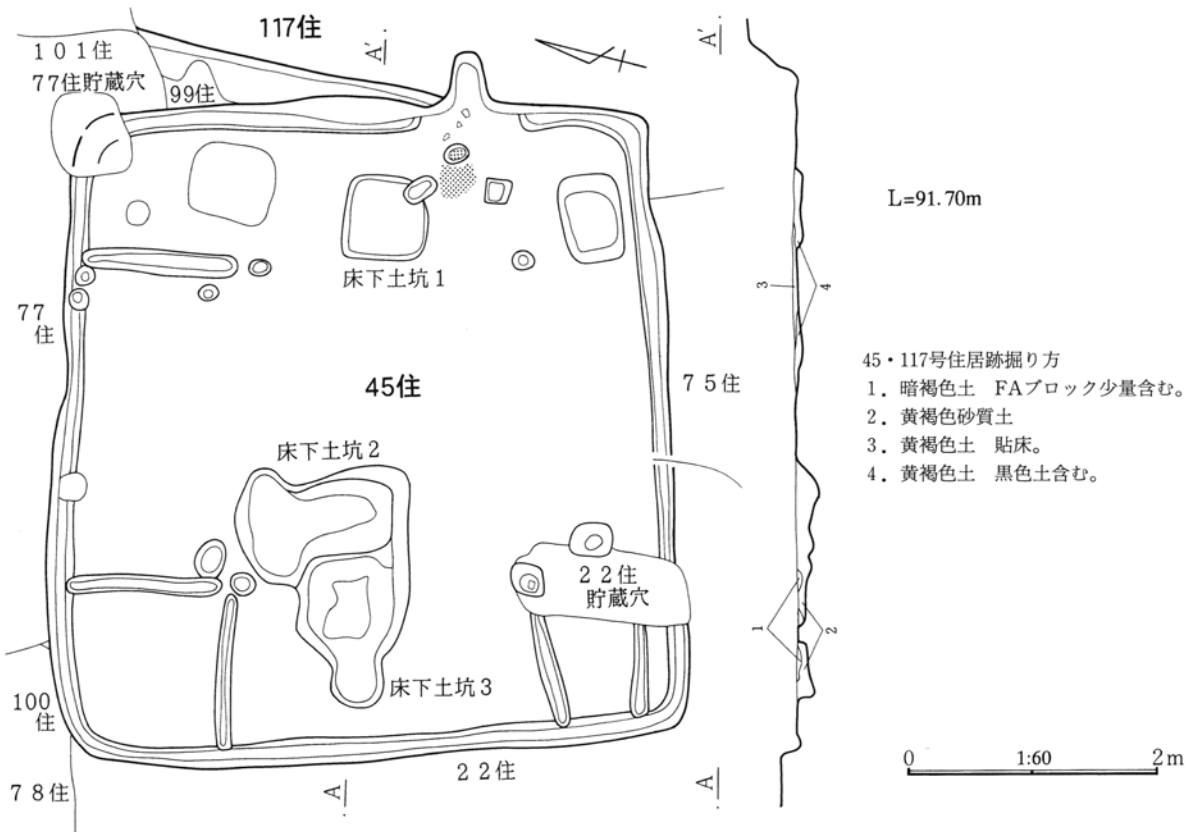
**規模** 長軸2.6+αm

**長軸方位** N-1°-W

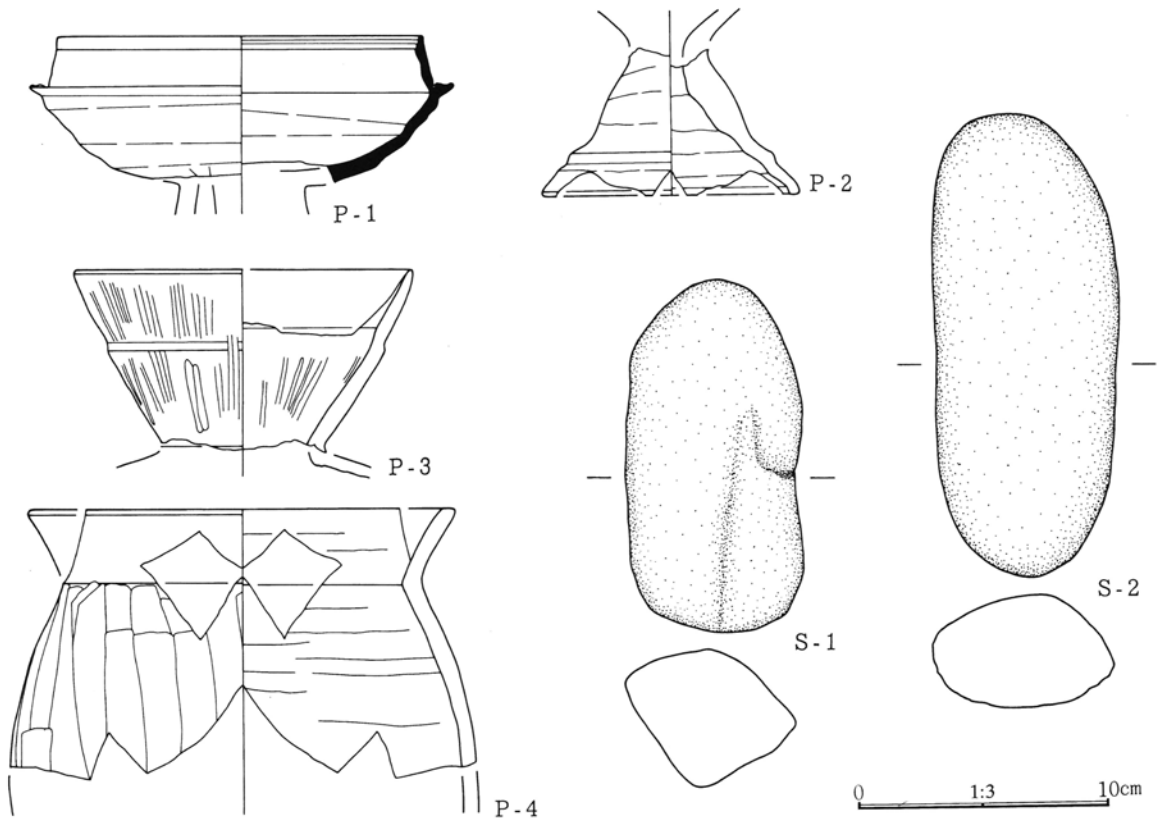
柱穴・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

**出土遺物** 検出されていないが他の住居跡との切れ合い関係から、5世紀の住居跡と考えられる。





第140図 45・117号住居跡掘り方



第141図 45号住居跡出土遺物

46号住居跡

(第142図・写真図版16・94)

位置 AU-117

重複 単独

形状 隅丸方形

規模 長軸4.45×短軸3.95m

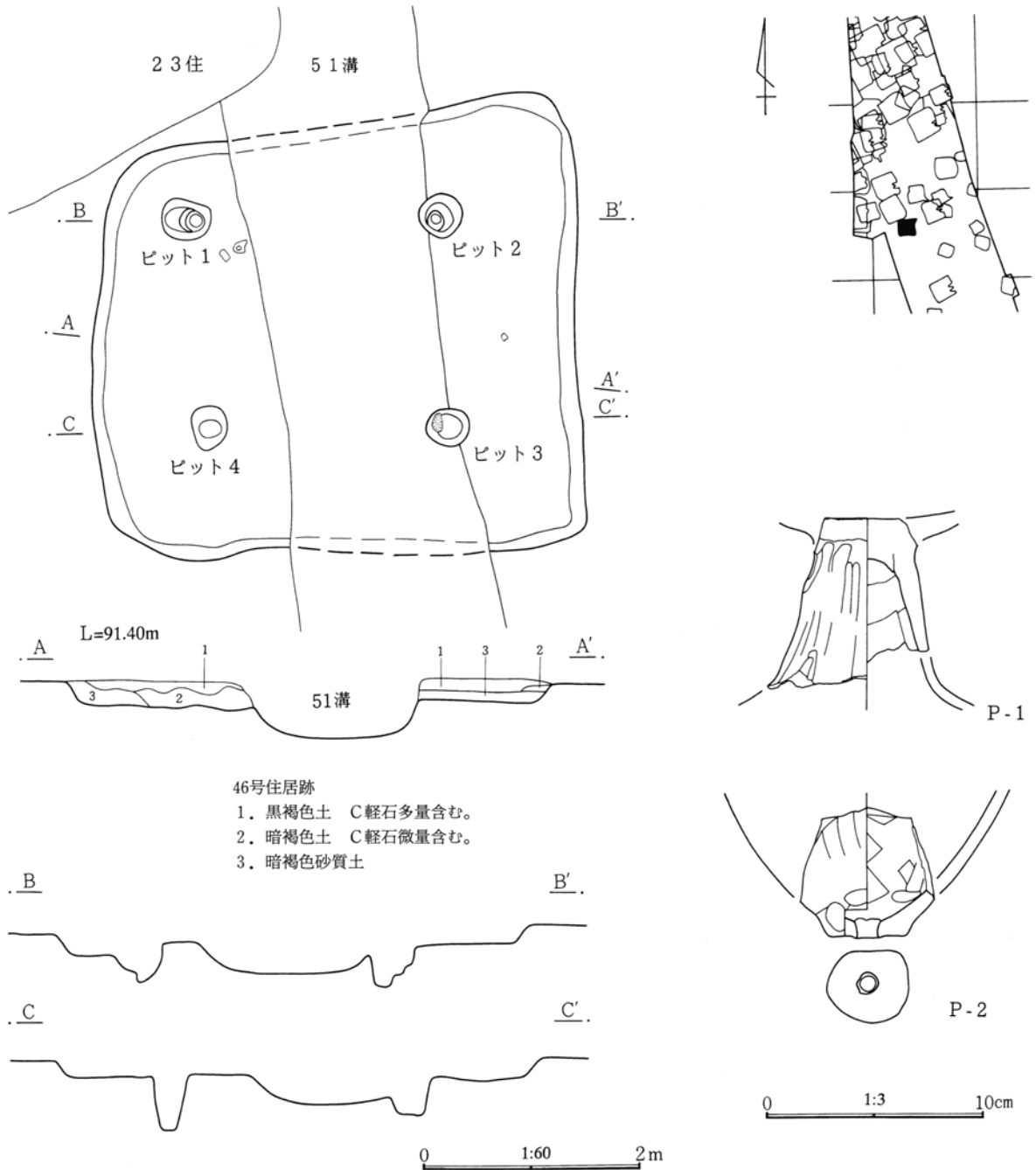
長軸方位 N-86°-E

壁高 4~16cm

柱穴 ピットを4基確認した。規模は1、43×35cm、深さ35cm。2、40×37cm、深さ35cm。3、40×34cm、深さ35cm。4、39×32cmを測る。

出土遺物 高坏、甑が出土している。

所見 出土遺物から、5世紀の住居跡と考えられる。



第142図 46号住居跡出土遺物

48号住居跡

(第143～145図・写真図版94)

位置 AT-108

重複 36・39・81号住居跡と重複し、新旧関係は36・39号住居跡より旧く、81号住居跡より新しい。

形状 不明

規模 長軸 $6.75 + \alpha$  × 短軸 $4.55 + \alpha$  m

長軸方位 N-21°-W

壁高 6～12cm

間仕切り溝 1条確認した。規模は幅23～33cm、深

さ64cmを測る。

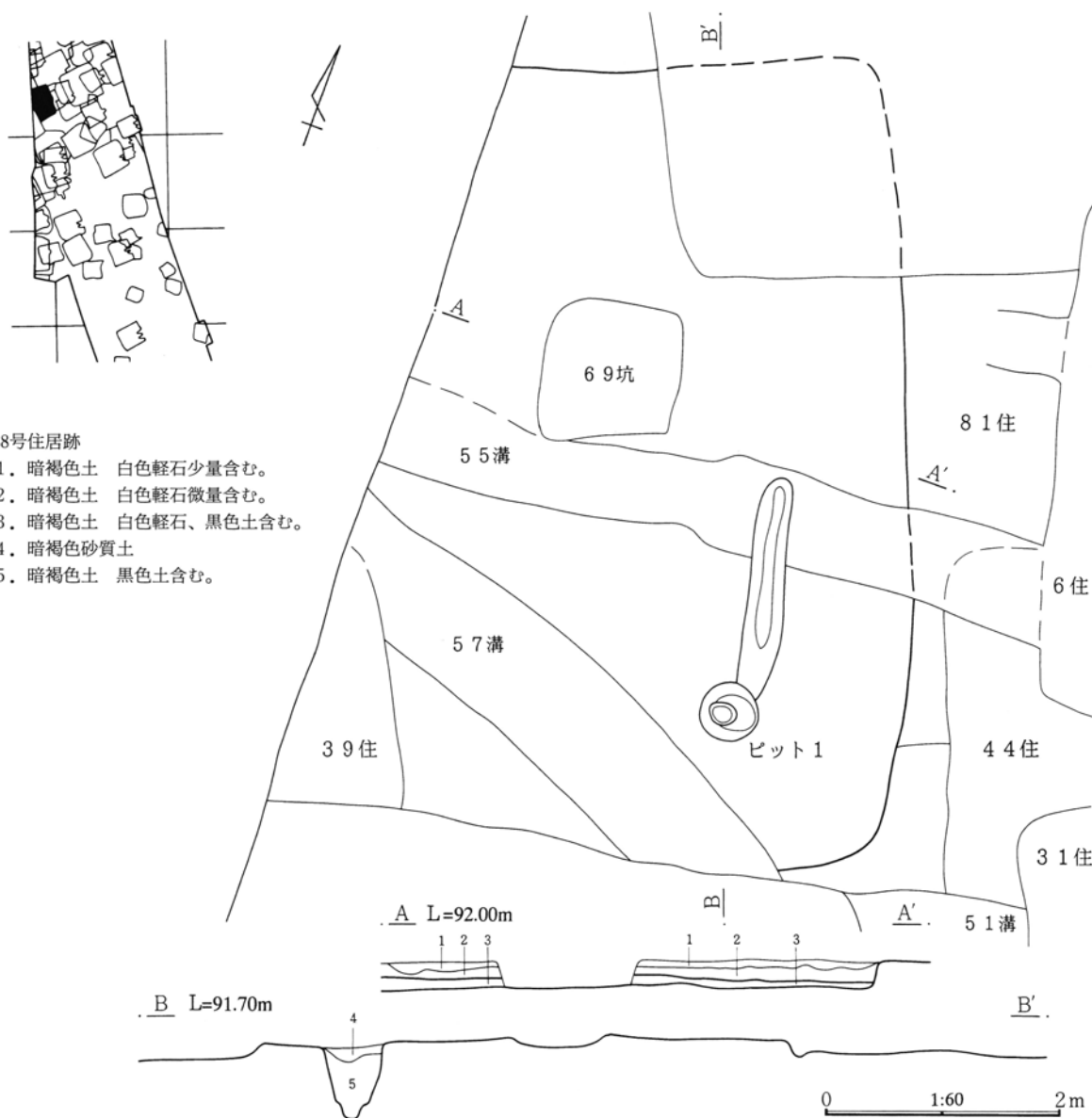
柱穴 ピットを1基確認した。規模は $48 \times 48$ cm、深さ64cmを測る。

炉・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

掘り方 床下ピットを4基確認した。規模は1、 $94 \times 72$ cm、深さ31cm。2、 $70 \times 55$ cm、深さ30cm。3、 $47 \times 44$ cm、深さ41cm。4、 $40 \times 25$ cm、深さ26cmを測る。

出土遺物 1の坏は混入であるが他はS字状口縁台付甕、壺、土師器平底甕、小型埴が出土している。

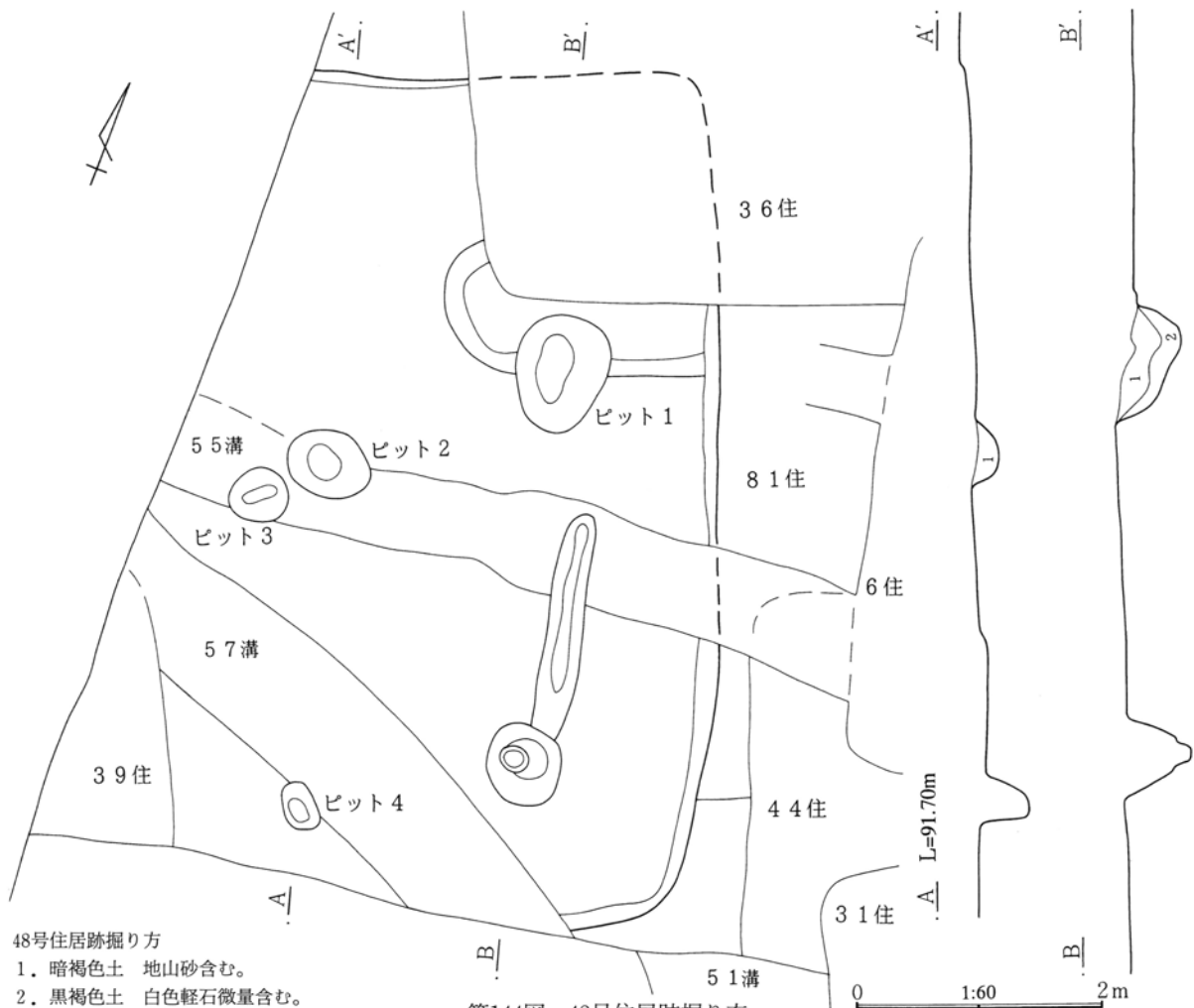
所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。



48号住居跡

1. 暗褐色土 白色軽石少量含む。
2. 暗褐色土 白色軽石微量含む。
3. 暗褐色土 白色軽石、黒色土含む。
4. 暗褐色砂質土
5. 暗褐色土 黒色土含む。

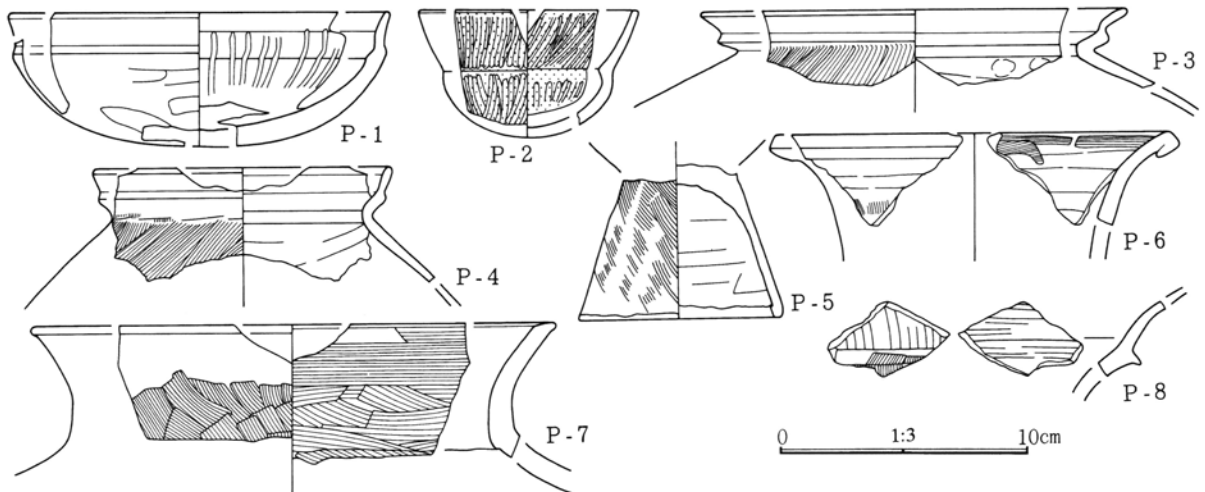
第143図 48号住居跡



48号住居跡掘り方

1. 暗褐色土 地山砂含む。
2. 黒褐色土 白色軽石微量含む。

第144図 48号住居跡掘り方



第145図 48号住居跡出土遺物

50号住居跡

(第146・147図・写真図版16・95)

位置 BD-130

重複 30・35・95号住居跡と重複し、新旧関係は30・

35号住居跡より旧く、95号住居跡より新しい。

形状・規模 不明

柱穴 ピットを4基確認した。規模は1、50×48cm、深さ40cm。2、29×28cm、深さ45cm。3、28×25cm、

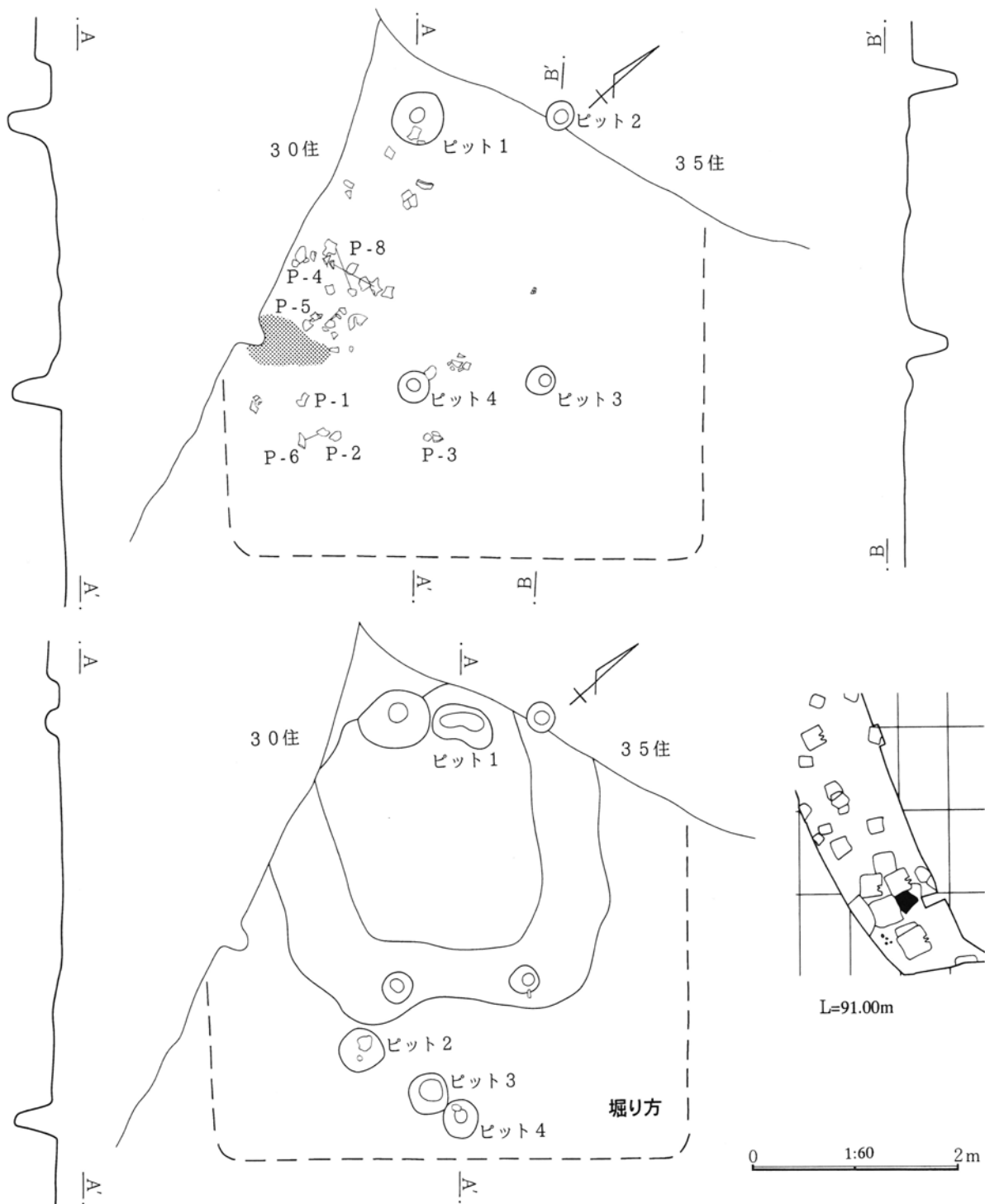
深さ39cm。4、29×29cm、深さ46cmを測る。

**掘り方** 床下ピットを4基確認した。規模は1、57×32cm、深さ14cm。2、43×41cm、深さ不明。3、37×37cm、深さ22cm。4、37×34cm、深さ42cmを測る。

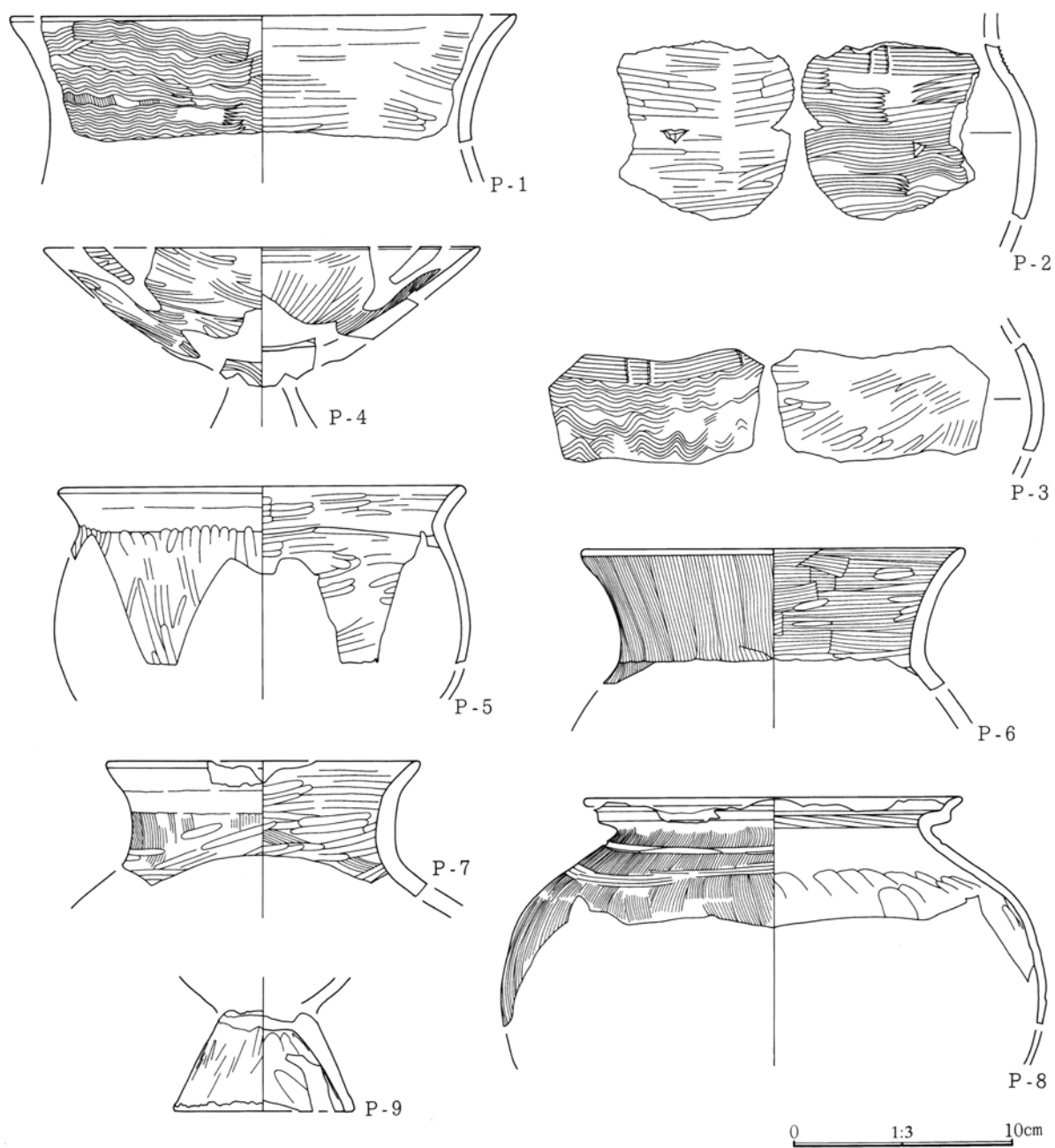
**出土遺物** S字状口縁台付甕、単口縁台付甕、高坏、

土師器平底甕、土師器壺、波状文・簾状文を持つ甕が出土している。

**所見** 出土遺物から、3世紀後半から4世紀前半の住居跡と考えられる。



第146図 50号住居跡



第147図 50号住居跡出土遺物

51号住居跡

(第148・149図・写真図版18・96)

位置 AX-124

重複 単独

形状 隅丸方形

規模 長軸1.69×短軸1.58m

長軸方位 N-34°-W

壁高 2～7cm

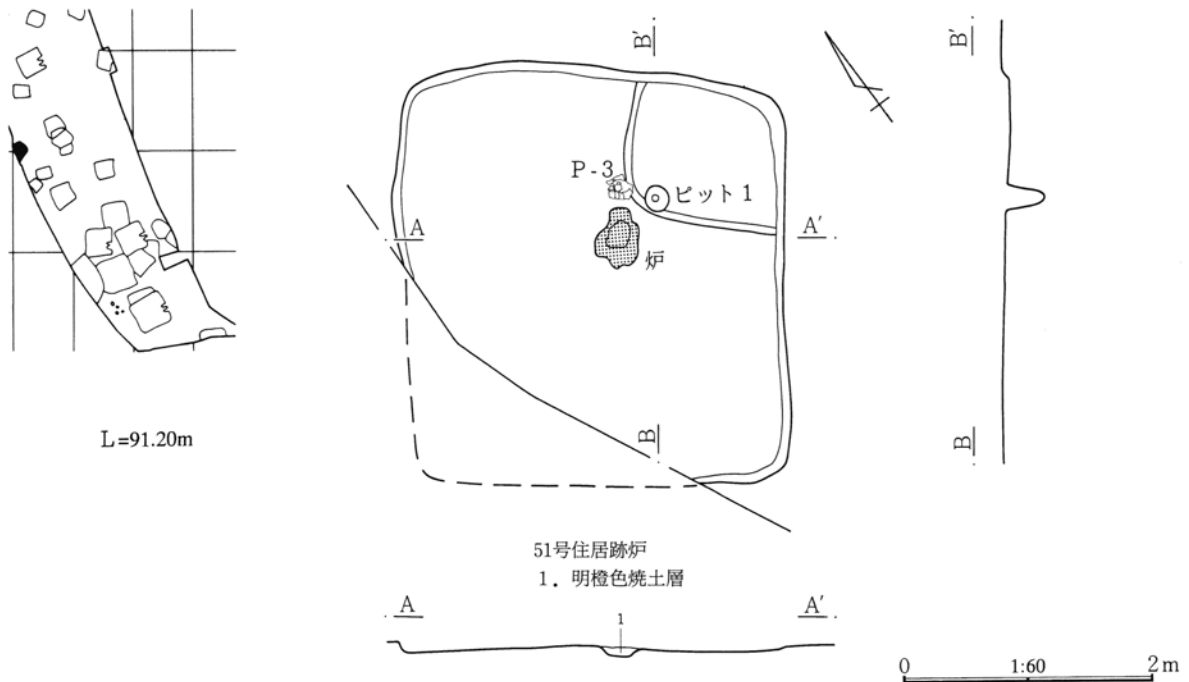
柱穴 ピットを1基確認した。規模は20×20cm、深さ30cmを測る。

炉・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

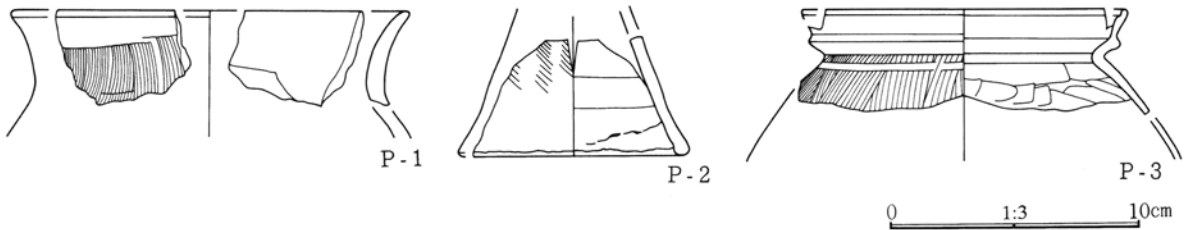
出土遺物 S字状口縁台付甕、土師器平底甕が出土している。

所見 出土遺物から、4世紀前半の住居跡と考えられる。





第148図 51号住居跡



第149図 51号住居跡出土遺物

**54号住居跡**

(第150・151図・写真図版18・96)

**位置** BA-131

**重複** 28・30・65号住居跡と重複し、新旧関係は他の3軒より54号住居跡が古い。

**形状** 不明

**規模** 長軸9.21×短軸4.5+αm

**長軸方位** N-40°-W

**壁高** 3~10cm

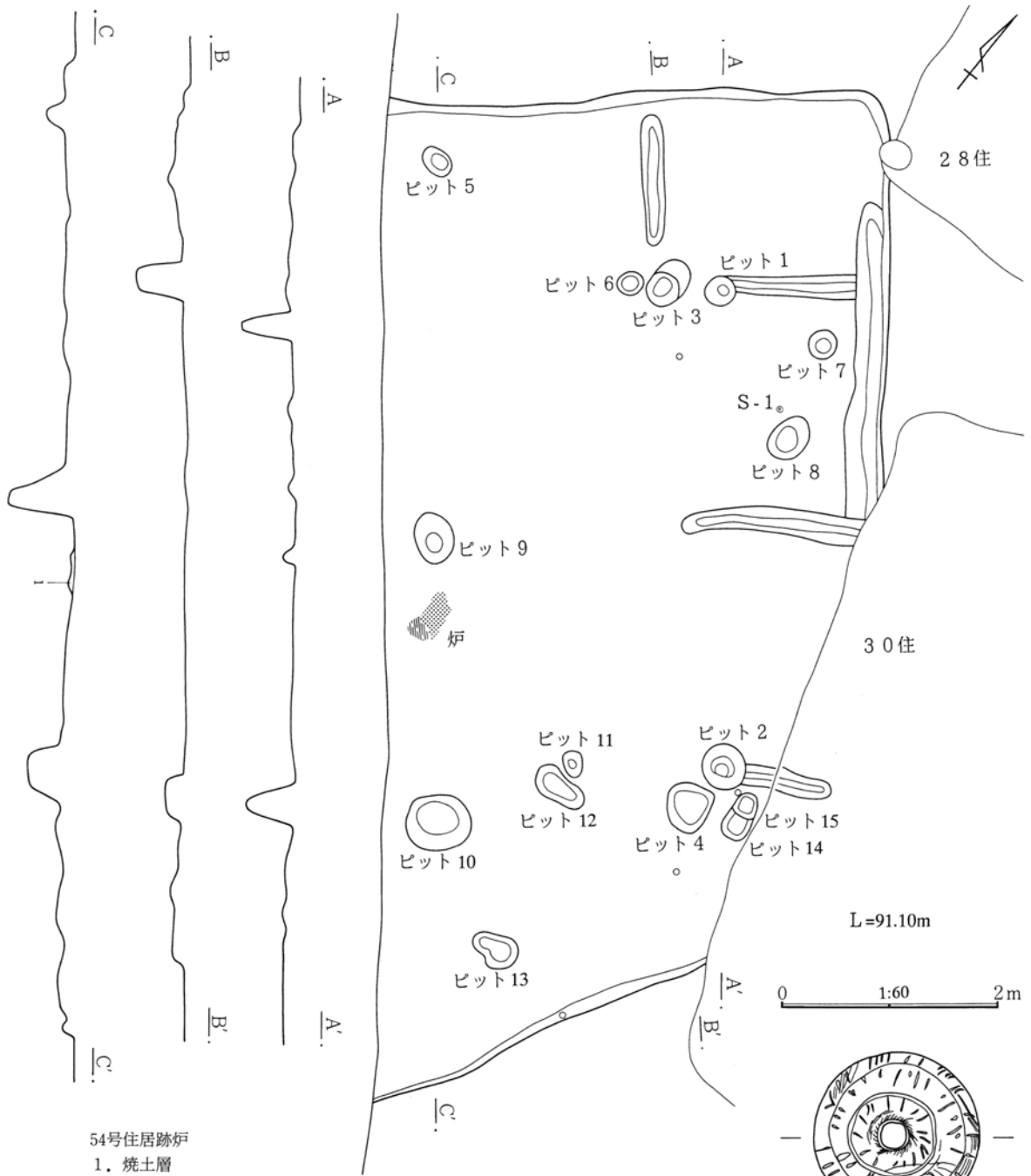
**周溝** 部分的に確認した。規模は幅27~34cm、深さ1~6cmを測る。

**間仕切り溝** 4条を確認した。規模は幅13~25cm、深さ3~7cmを測る。

**柱穴** ピットを15基確認した。規模は1、28×28cm、深さ44cm。2、41×40cm、深さ45cm。3、45×32cm、深さ44cm。4、43×40cm、深さ20cm。5、30×22cm、深さ15cm。6、23×21cm、深さ46cm。7、25×25cm、深さ26cm。8、43×32cm、深さ14cm。9、47×36cm、深さ55cm。10、60×50cm、深さ31cm。11、23×18cm、深さ15cm。12、50×23cm、深さ17cm。13、43×30cm、深さ15cm。14、22+α×24cm、深さ13cm。15、23×20cm、深さ22cmを測る。

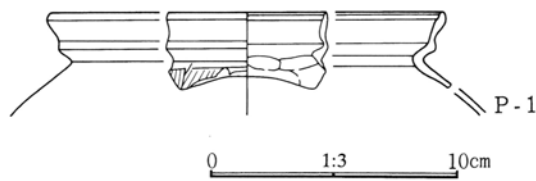
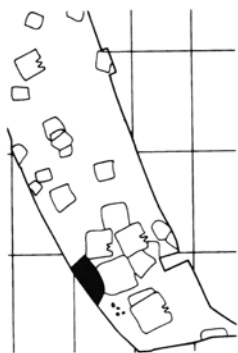
**出土遺物** S字状口縁台付甕、石製紡垂車が出土している。

**所見** 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。

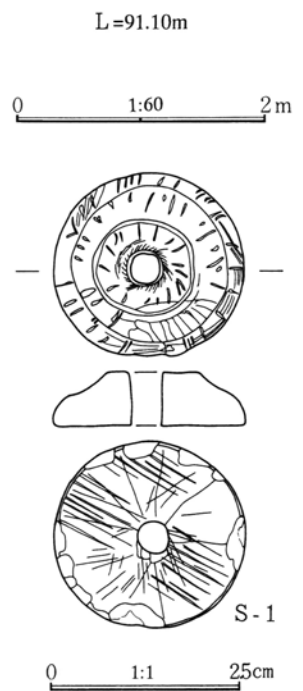


54号住居跡炉  
1. 焼土層

第150図 54号住居跡掘り方



第151図 54号住居跡出土遺物



57号住居跡

(第152・153図・写真図版18・96)

位置 BC-128

重複 28・35号住居跡と重複し、新旧関係は他の2軒より57号住居跡が古い。

形状 不明

規模 長軸5.24×短軸3.17+αm

長軸方位 N-90°-W

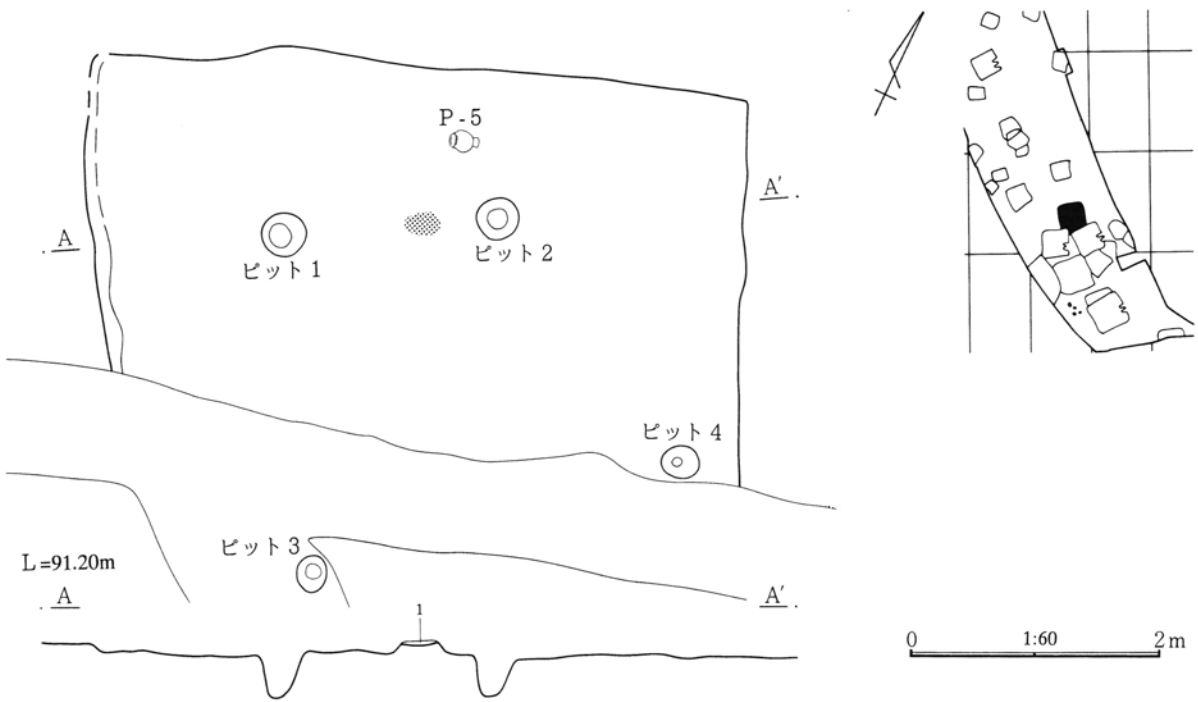
壁高 5~7cm

柱穴 ピットを4基確認した。規模は1、35×35cm、深さ35cm。2、34×34cm、深さ30cm。3、30×25cm、深さ22cm。4、30×28cm、深さ20cmを測る。

炉・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

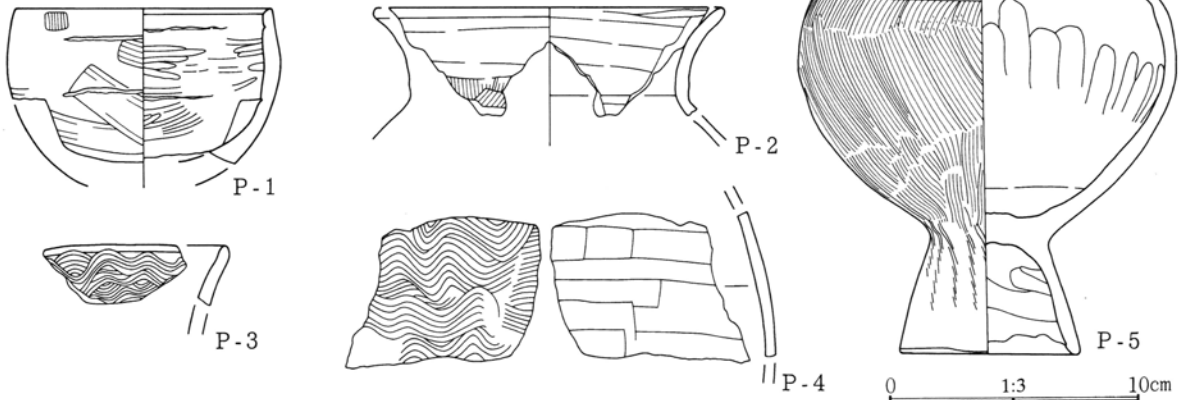
出土遺物 S字状口縁台付甕、刷毛目をもつ土師器平底甕、小型埴鉢型と櫛描文を持つ樽式土器の破片が出土している。

所見 出土遺物から、3世紀終末から4世紀前半の土器と考えられる。



第152図 57号住居跡掘り方

57号住居跡炉  
1. 焼土層



第153図 57号住居跡出土遺物

58号住居跡

(第154図・写真図版18・96)

位置 AV-100

重複 66・71号住居跡と重複し、新旧関係は66号住居跡より旧く、71号住居跡より新しい。

形状 不明

規模 長軸5.42+ $\alpha$ ×短軸4.07+ $\alpha$ m

長軸方位 N-49°-W

壁高 3~13cm

柱穴 ピットを3基確認した。規模は1、21×18cm、深さ24cm。2、20×17cm、深さ36cm。3、35×25cm、

深さ29cmを測る。

炉・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

出土遺物 S字状口縁台付甕、小型埴の甕が出土している。

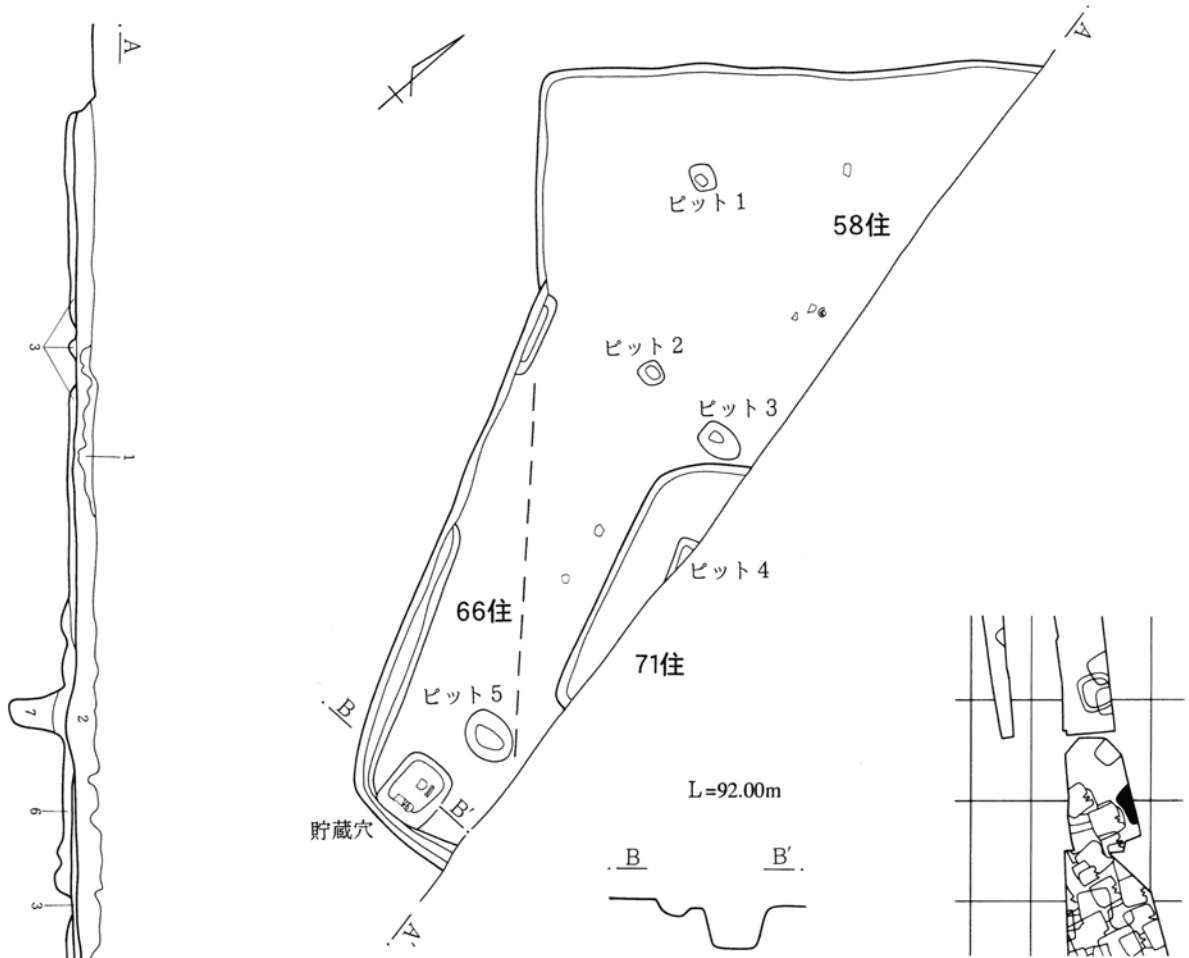
所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。

66号住居跡

(第154図・写真図版102)

位置 AV-100

重複 58・71号住居跡と重複し、新旧関係は58号住居跡より新しく、71号住居跡より古い。



58・66・71号住居跡

1. 黒褐色土 FAブロック少量含む。
2. 黒褐色土 FAに伴う軽石、C軽石含む。
3. 灰黒褐色土
4. 灰褐色土
5. 黒褐色土 地山ブロック多量含む。
6. 灰褐色土 C軽石、FA多量含む。
7. 灰褐色土 C軽石、FA含む。

0 1:60 2m

第154図 58・66・71号住居跡

形状・規模 不明

長軸方位 N-25°-W

壁高 1~11cm

周溝 部分的に確認した。規模は幅11~22cm、深さ1~2cmを測る。

柱穴 ピットを1基確認した。規模は、40×35cm、深さ17cmを測る。

貯蔵穴 南西隅に確認した。形状は長方形を呈し、規模は53×45cm、深さ32cmを測る。

出土遺物 高坏、内斜口縁坏、須恵器の破片が出土している。

所見 出土遺物から、5世紀の住居跡と考えられる。

71号住居跡

(第154図)

位置 AW-100

重複 58・66号住居跡と重複し、新旧関係は他の2軒より71号住居跡が古い。

形状・規模 不明

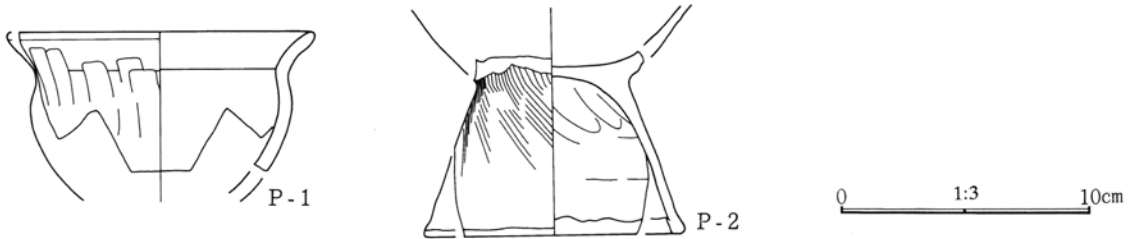
長軸方位 N-9°-W

壁高 7~8cm

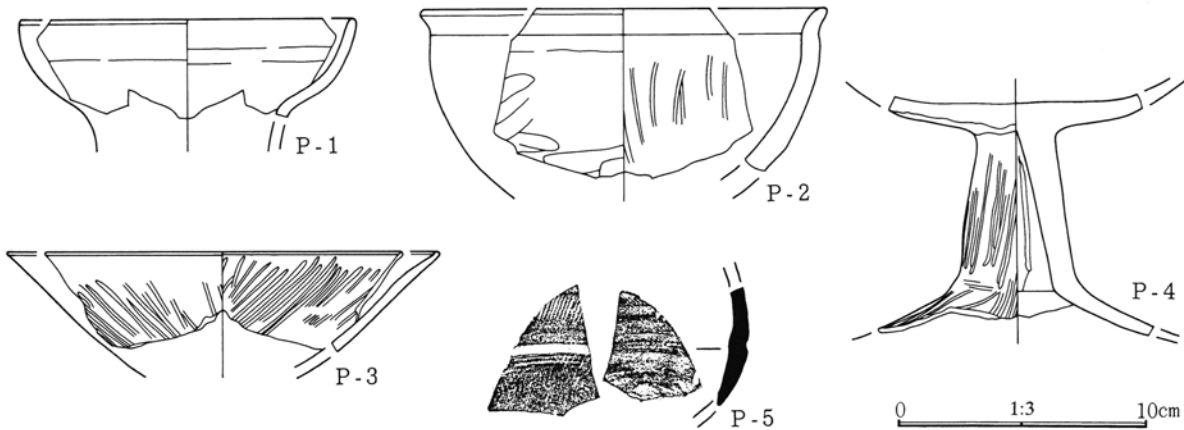
周溝・炉・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

出土遺物 出土していない。

所見 切れ合い関係から、4世紀の住居跡と考えられる。



第155図 58号住居跡出土遺物



第156図 66号住居跡出土遺物

59号住居跡

(第157・158図・写真図版18・96・97)

位置 AV-102

重複 62・64・82号住居跡と重複し、他の3軒より新しい。

形状 隅丸方形

規模 長軸4.53×短軸4.20m

長軸方位 N-19°-W

壁高 12~22cm

周溝 部分的に確認した。規模は幅16~28cm、深さ4~12cmを測る。

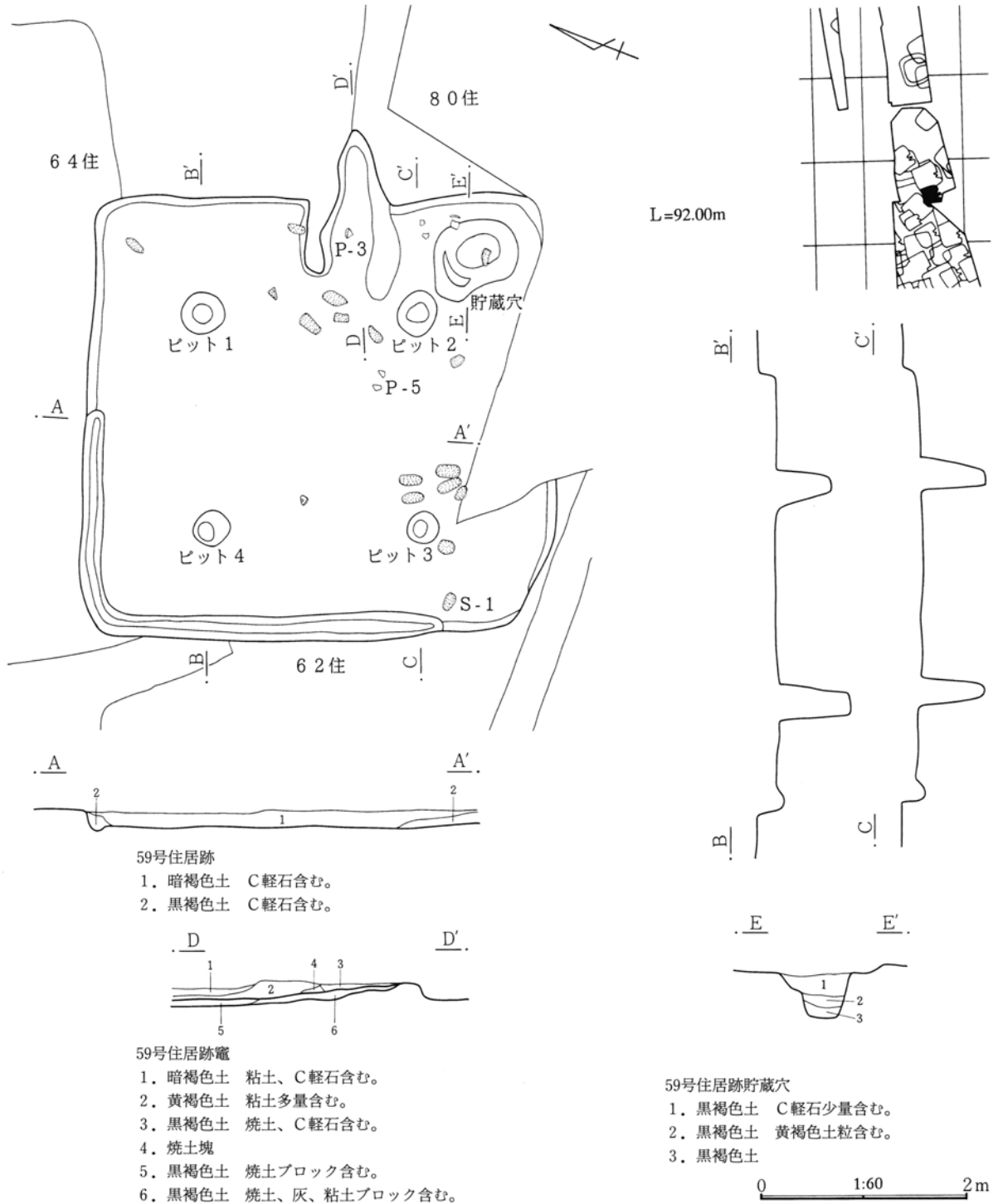
柱穴 ピットを4基確認した。規模は1、40×40cm、深さ55cm。2、45×35cm、深さ60cm。3、31×31cm、深さ63cm。4、34×32cm、深さ70cmを測る。

第5章 遺構と遺物

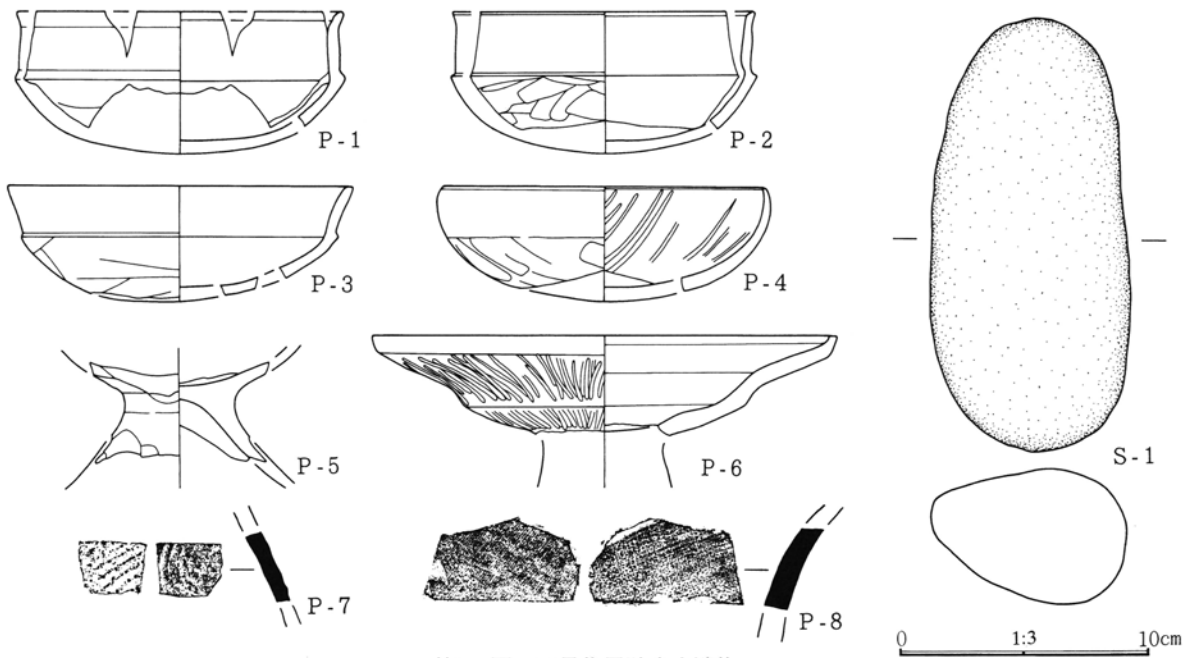
竈 東壁中央に確認した。規模は焚き口幅93cm、長さ1.53mを測る。

貯蔵穴 東南隅に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は80×67cm、深さ43cmを測る。

所見 出土遺物から、5世紀前半の住居跡と考えられる。



第157図 59号住居跡



第158図 59号住居跡出土遺物

60号住居跡

(第159・160図・写真図版18・97)

位置 AW-97

重複 単独

形状 隅丸方形

規模 長軸5.3×短軸4.85+αm

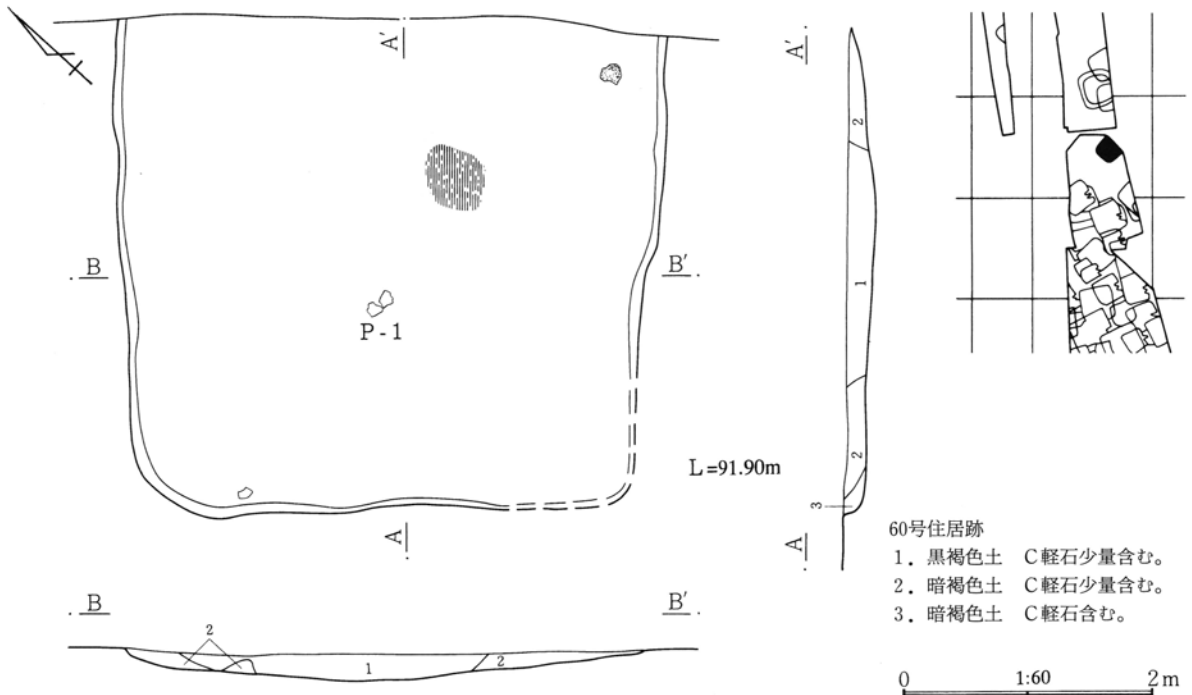
長軸方位 N-43°-W

壁高 4~13cm

周溝・炉・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

出土遺物 土師器平底甕が出土している。

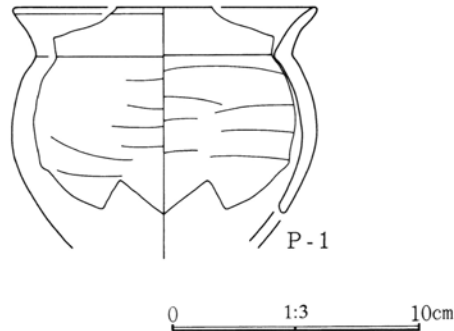
所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。



60号住居跡

- 1. 黒褐色土 C 軽石少量含む。
- 2. 暗褐色土 C 軽石少量含む。
- 3. 暗褐色土 C 軽石含む。

第159図 60号住居跡



第160図 60号住居跡出土遺物

### 61号住居跡

(第161～164図・写真図版19・97)

**位置** AT-100

**重複** 82・96号住居跡と重複し、新旧関係は他の2軒より61号住居跡が新しい。

**形状** 隅丸方形

**規模** 長軸5.53×短軸4.9+ $\alpha$ m

**長軸方位** N-36°-W

**壁高** 7～19cm

**周溝** 全周する。規模は幅12cm～24cm、深さ1～9cmを測る。

**間仕切り溝** 2条を確認した。規模は幅15～21cm、深さ5～11cmを測る。

**柱穴** ピットを3基確認した。規模は1、36×36cm、深さ51cm。2、34×31cm、深さ50cm。3、32×26cm、深さ40cmを測る。

**竈** 東壁南より確認した。規模は焚き口幅74cm、長さ116cmを測る。

**貯蔵穴** 東南隅に確認した。形状は円形を呈し、規模は81×80cm、深さ47cmを測る。

**掘り方** 床下ピットを3基確認した。規模は1、51×50cm、深さ18cm。2、27×21cm、深さ21cm。3、47×37cm、深さ10cmを測る。

**出土遺物** 内斜口縁坏、甕が出土している。

**所見** 出土遺物から、5世紀の住居跡と考えられる。

### 82号住居跡

(第162・165図・写真図版109)

**位置** AT-100

**重複** 61・64・74号住居跡と重複し、新旧関係は61・64号住居跡より旧く、74号住居跡より新しい。

**形状・規模** 不明

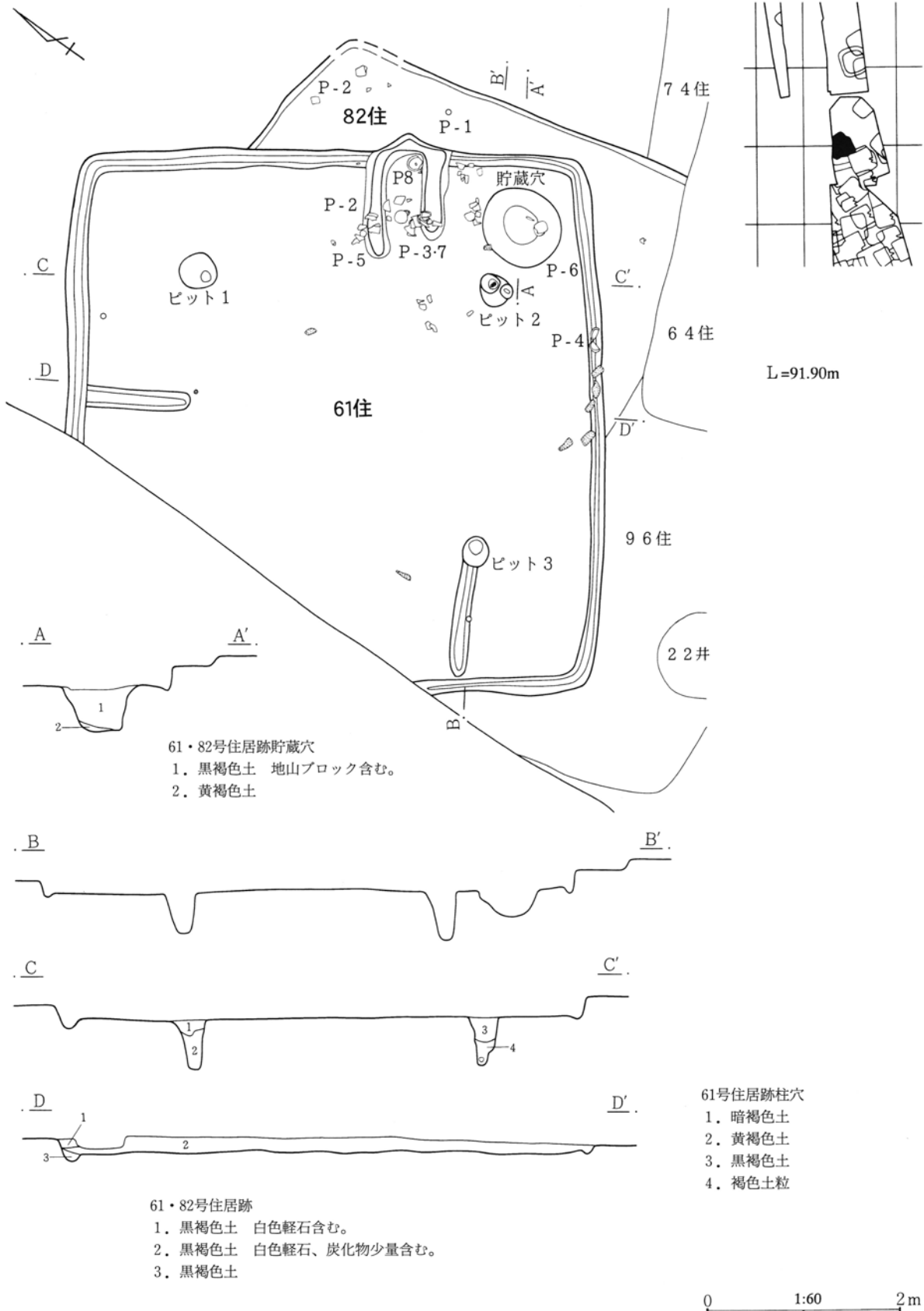
**壁高** 9～18cm

**周溝・柱穴・貯蔵穴等の諸施設**は検出されていない。

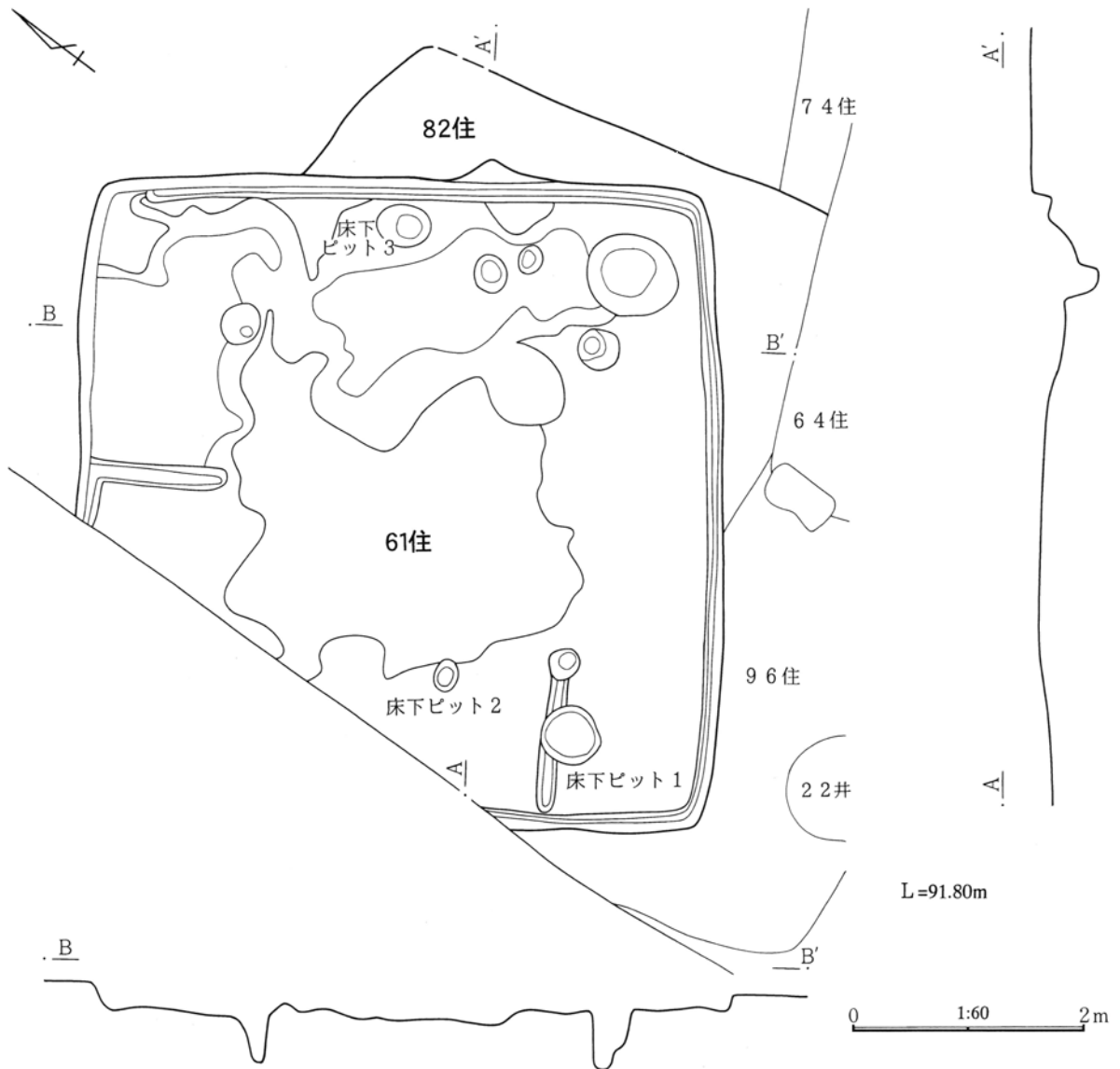
**出土遺物** 高坏が出土している。

**所見** 出土遺物から、5世紀の住居跡と考えられる。

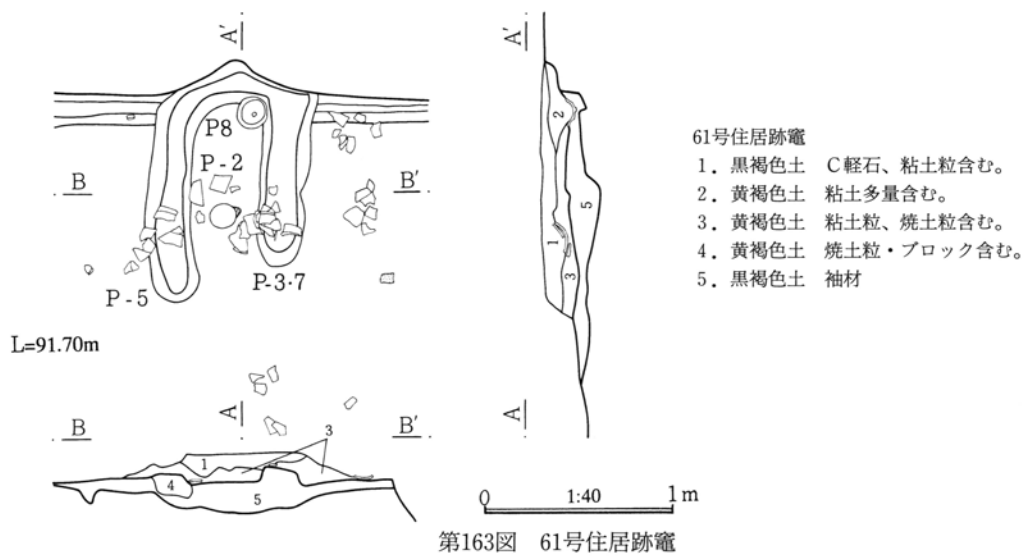




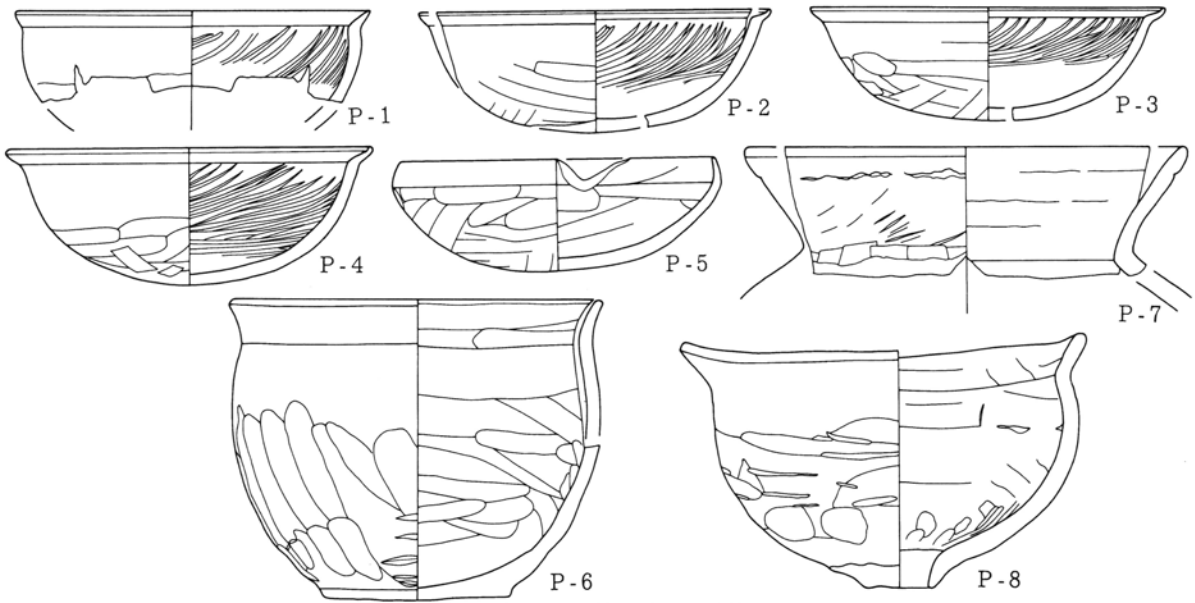
第161図 61・82号住居跡



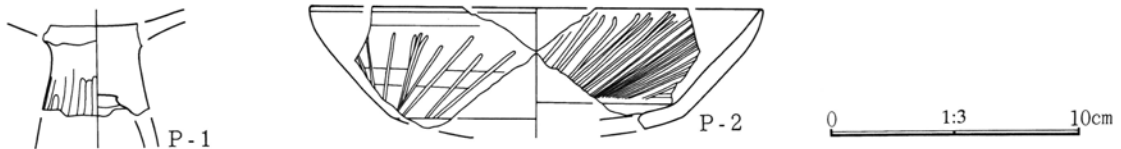
第162図 61・82号住居跡掘り方



第163図 61号住居跡竈



第164図 61号住居跡出土遺物



第165図 82号住居跡出土遺物

**62号住居跡**

(第166~168図・写真図版20・97・98)

**位置** AU-102

**重複** 59・80・104・105・112・113・118号住居跡と重複し、新旧関係は59・104・105より旧く、80・112・113・118号住居跡より新しい。

**形状** 隅丸方形

**規模** 長軸5.62×短軸5.45m

**長軸方位** N-45°-W

**壁高** 1~20cm

**周溝** 部分的に確認した。規模は幅13~26cm、深さ1~5cmを測る。

**間仕切り溝** 3条確認した。規模は10~20cm、深さ3~10cmを測る。

**柱穴** ピットを6基確認した。規模は1、30×26cm、深さ34cm。2、38×37cm、深さ12cm。3、30×30cm、深さ56cm。4、25×24cm、深さ42cm。5、21×18cm、深さ8cm。6、36×28cm、深さ22cmを測る。

**貯蔵穴** 東南隅に確認した。形状は円形を呈し、規

模は $50 + \alpha \times 45 + \alpha$ cm、深さ67cmを測る。

**出土遺物** 内斜口縁・模倣坏、須恵器破片、こも網の石が出土している。

**所見** 出土遺物から、6世紀前半の住居跡と考えられる。

**112号住居跡**

(第166図)

**位置** AU-102

**重複** 62・113・118号住居跡と重複し、新旧関係は不明。(出土遺物なし)

**柱穴** ピットを1基確認した。規模は59×50cm、深さ48cmを測る。

**113号住居跡**

(第166図)

**位置** AU-102

**重複** 62・113号住居跡と重複し、新旧関係は不明。(出土遺物なし)

第5章 遺構と遺物

柱穴 ピットを1基確認した。規模は37×33cm、深さ31cmを測る。

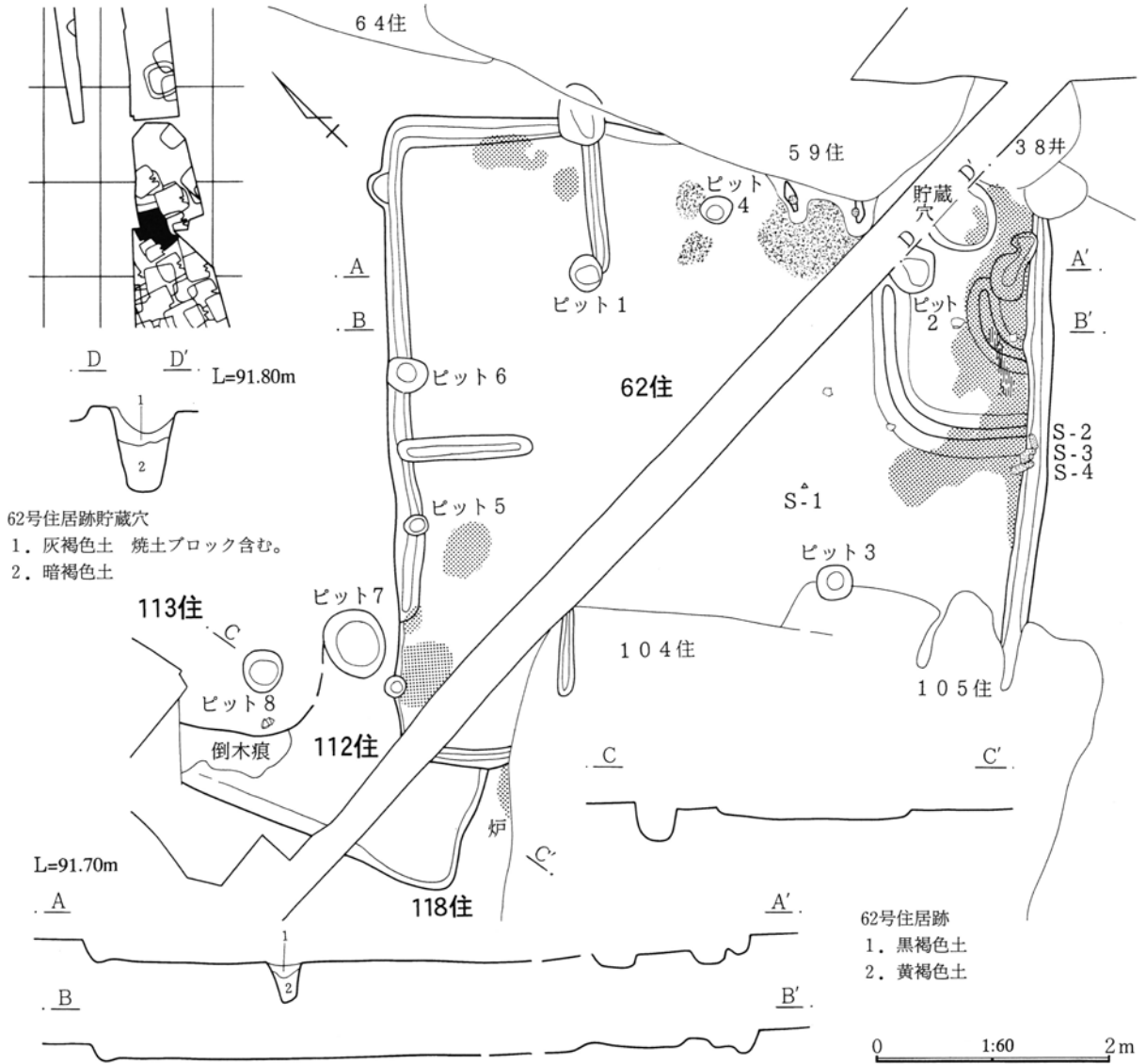
位置 AU-102

重複 62・104・112号住居跡と重複し、新旧関係は不明。(出土遺物なし)

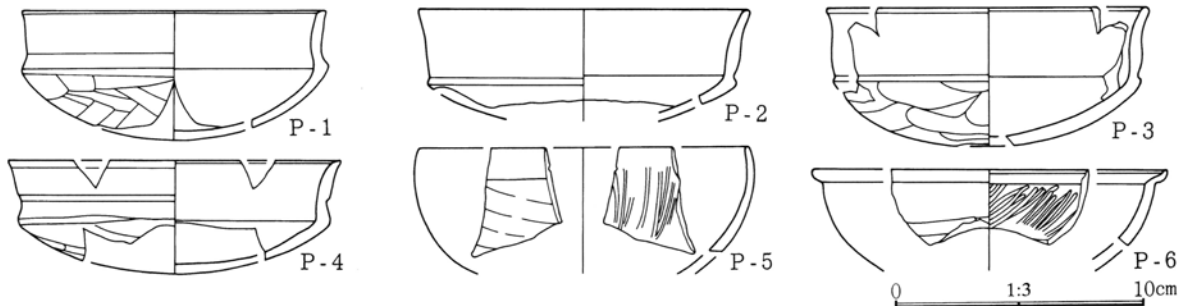
118号住居跡

柱穴・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

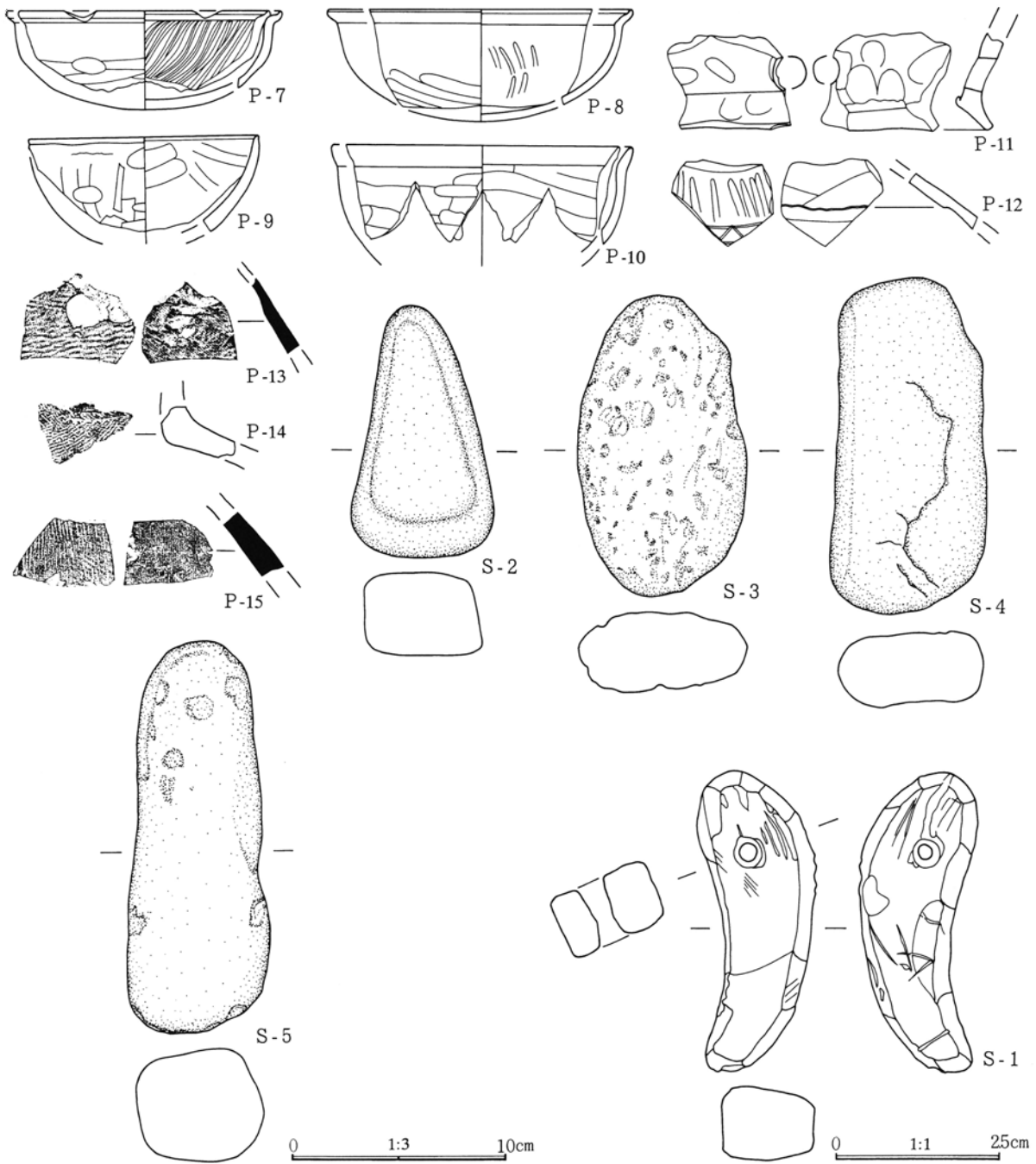
(第166図)



第166図 62・112・113・118号住居跡



第167図 62号住居跡出土遺物(1)



第168図 62号住居跡出土遺物(2)

63号住居跡

(第169・170図・写真図版20・93)

位置 AT-101

重複 64・96号住居跡と重複し、他の2軒より63号住居跡が古い。

形状・規模 不明

柱穴 ピットを2基確認した。規模は1、53×38cm、

深さ20cm。2、50×47cm、深さ20cmを測る。

周溝・炉・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

出土遺物 S字状口縁台付甕、高坏、口縁に波状文を持つ甕が出土している。

所見 出土遺物から、3世紀末～4世紀前半の住居跡と考えられる。

96号住居跡

(第169図・写真図版20)

位置 AT-100

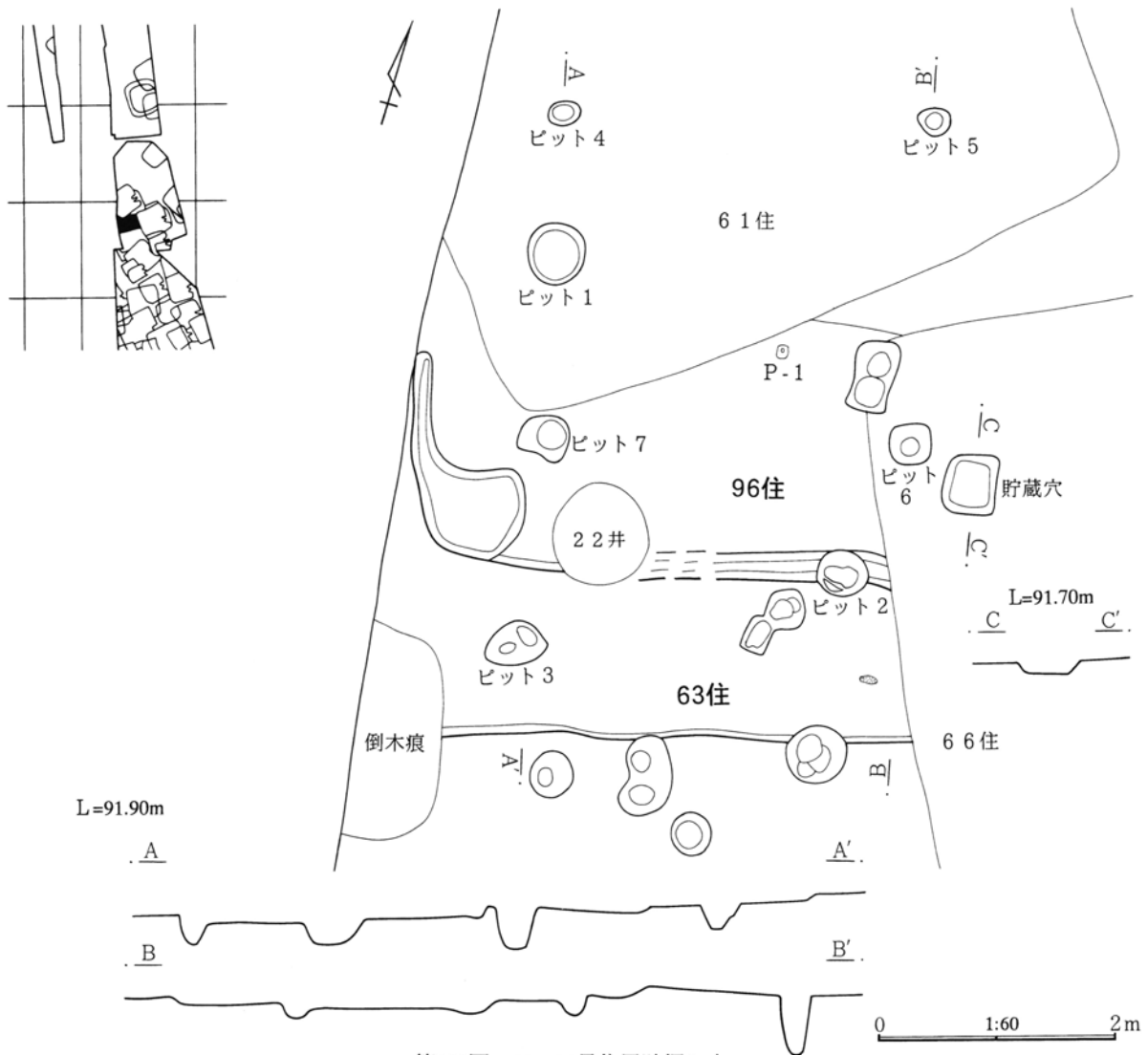
重複 61・63・64・82号住居跡と重複し、63号住居跡より新しく、他の3軒より古い。

形状・規模 不明

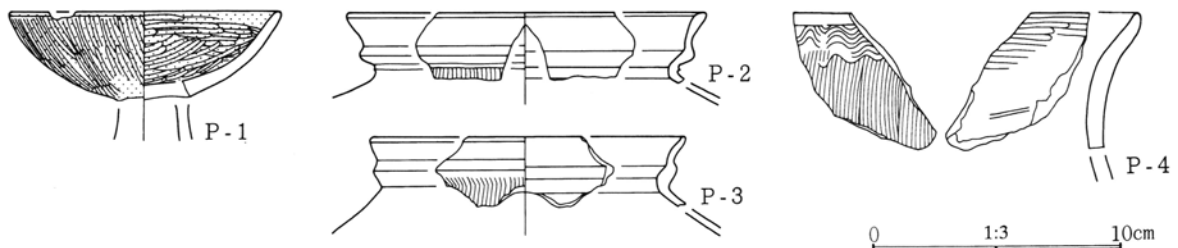
柱穴 ピットを4基確認した。規模は1、28×23cm、深さ48cm。2、36×34cm、深さ10cm。3、43×35cm、深さ35cm。4、27×21cm、深さ25cmを測る。

貯蔵穴 東南隅に確認した。形状は長方形を呈し、規模は50×44cm、深さ12cmを測る。

所見 出土遺物はなく、63号住居跡より新しい。



第169図 63・96号住居跡掘り方



第170図 63号住居跡出土遺物

64号住居跡

(第171～174図・写真図版21・98～101)

位置 AU-101

重複 59・63・73・74・82・96号住居跡と重複し、59号住居跡より旧く、他の5軒より64号住居跡が新しい。

形状 隅丸方形

規模 長軸6.03×短軸6.02m

長軸方位 N-64°-E

壁高 2～30cm

周溝 全周する。規模は幅15～25cm、深さ1～6cmを測る。

間仕切り溝 6条確認した。規模は幅8～19cm、深さ4～7cmを測る。

柱穴 ピットを6基確認した。規模は1、21×21cm、深さ35cm。2、31×27cm、深さ39cm。3、22×22cm、深さ24cm。4、21×21cm、深さ35cm。5、55×40cm、深さ26cm。6、40×40cm、深さ15cmを測る。

竈 東壁中央に確認した。規模は焚き口幅80cm、長さ95cmを測る。焚き口には両袖部と天井部に石が配されていた。

貯蔵穴 南東隅に確認した。形状は長方形を呈し、規模は73×55cm、深さ34cmを測る。

掘り方 床下ピットを20基確認した。規模は1、110×62cm、深さ15cm。2、43×39cm、深さ20cm。3、49×39cm、深さ20cm。4、49×45cm、深さ11cm。5、42×31cm、深さ15cm。6、44×42cm、深さ30cm。7、32×30cm、深さ25cm。8、18×17cm、深さ15cm。9、26×21cm、深さ6cm。10、18×14cm、深さ24cm。11、52×45cm、深さ29cm。12、27×25cm、深さ21cm。13、31×28cm、深さ23cm。14、41×25cm、深さ23cm。15、40×34cm、深さ36cm。16、35×34cm、深さ37cm。17、35×20cm、深さ28cm。18、38×25cm、深さ43cm。19、36×27cm、深さ48cm。20、36×15+ $\alpha$ cm、深さ11cmを測る。

出土遺物 内斜口縁坏、胴部に丸味を持つ甕、甗、壺、鉢、鉢状の甗、須恵器破片の他石製垂飾が出土している。

所見 出土遺物から、5世紀前半の住居跡と考えられる。

73号住居跡

(第177図・写真図版22・104)

位置 AU-100

重複 64号住居跡と重複し、新旧関係は74号住居跡が古い。

形状・規模 不明

壁高 1～10cm

周溝 一部確認した。規模は幅15～23cm、深さ5～10cmを測る。

出土遺物 S字状口縁台付甕、土師器平底甕、胴部に櫛描波状文が施される土器、破片が出土している。

所見 出土遺物から、3世紀末～4世紀前半の住居跡と考えられる。

74号住居跡

(第178図・写真図版104)

位置 AU-100

重複 64・82号住居跡と重複し、新旧関係は74号住居跡が古い。

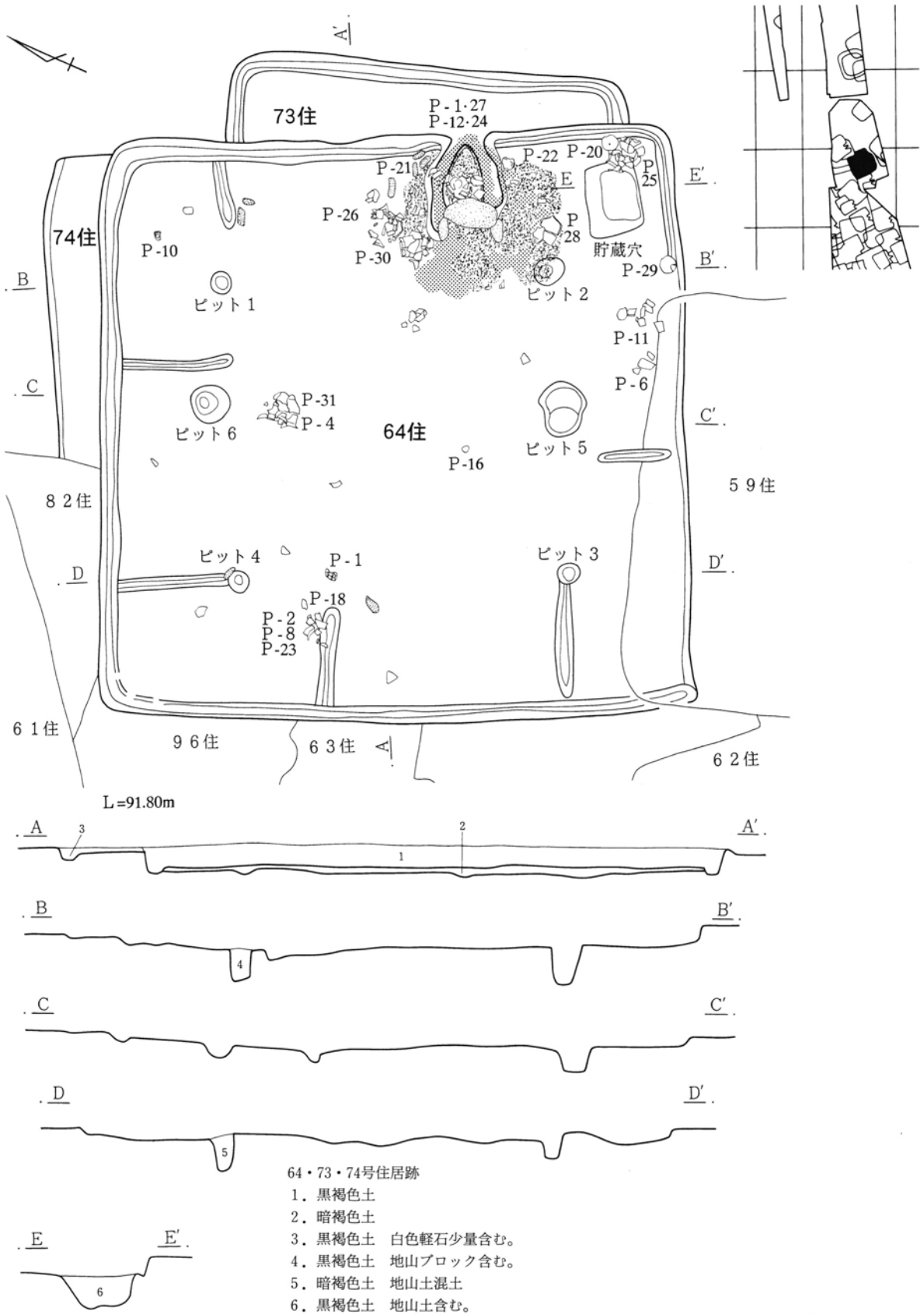
形状・規模 不明

壁高 3～5cm

周溝・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

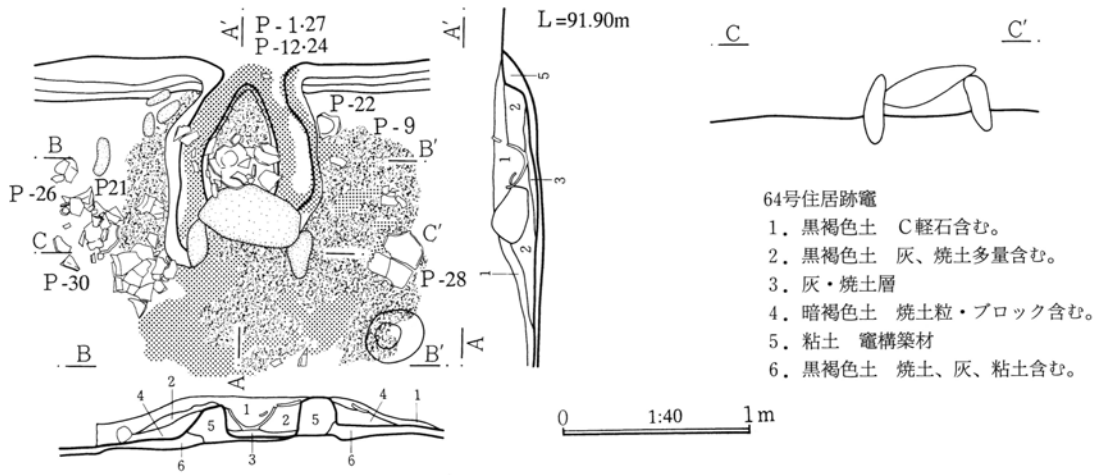
出土遺物 高坏の脚部の破片が出土している。

所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。

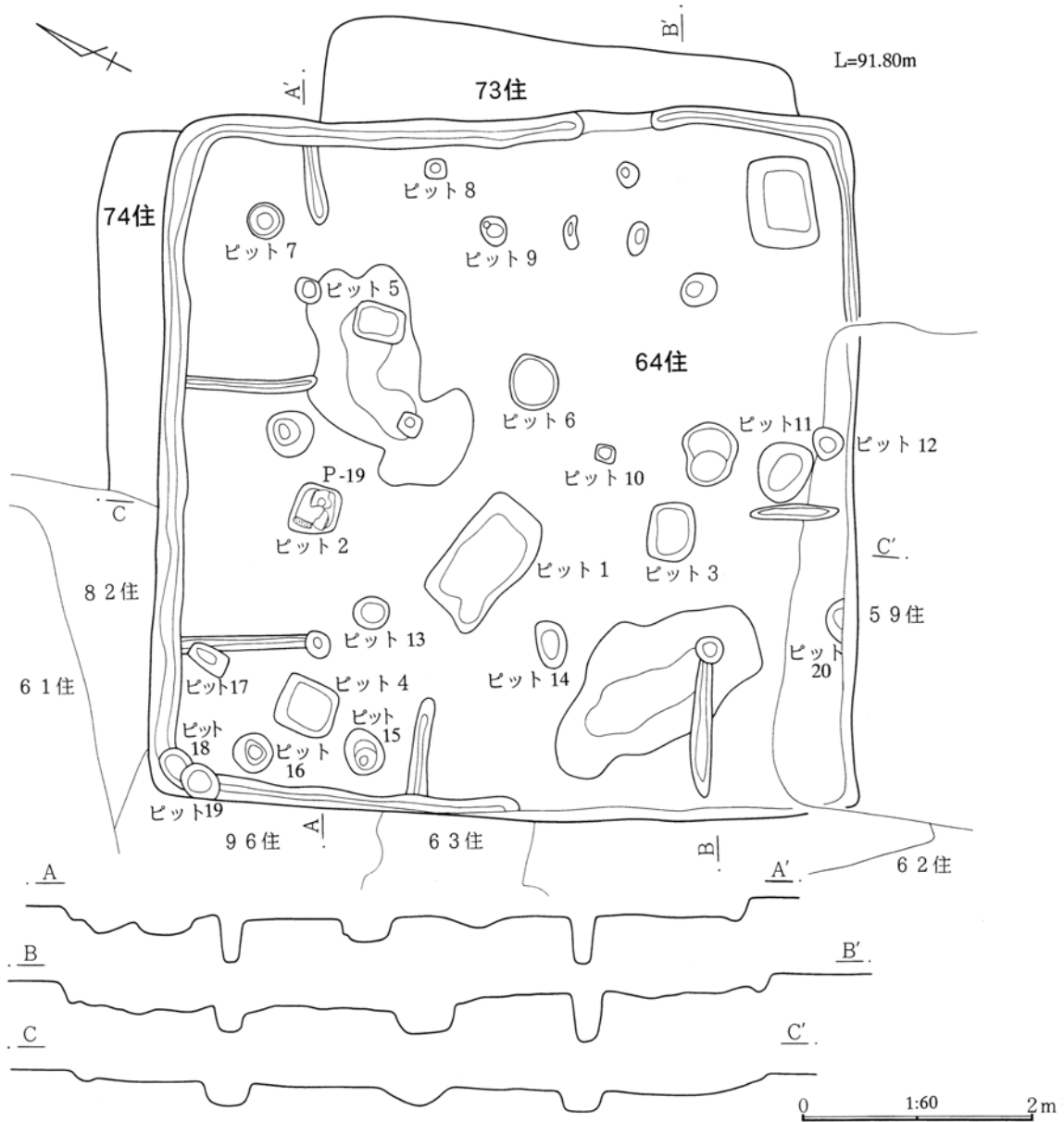


第171図 64・73・74号住居跡



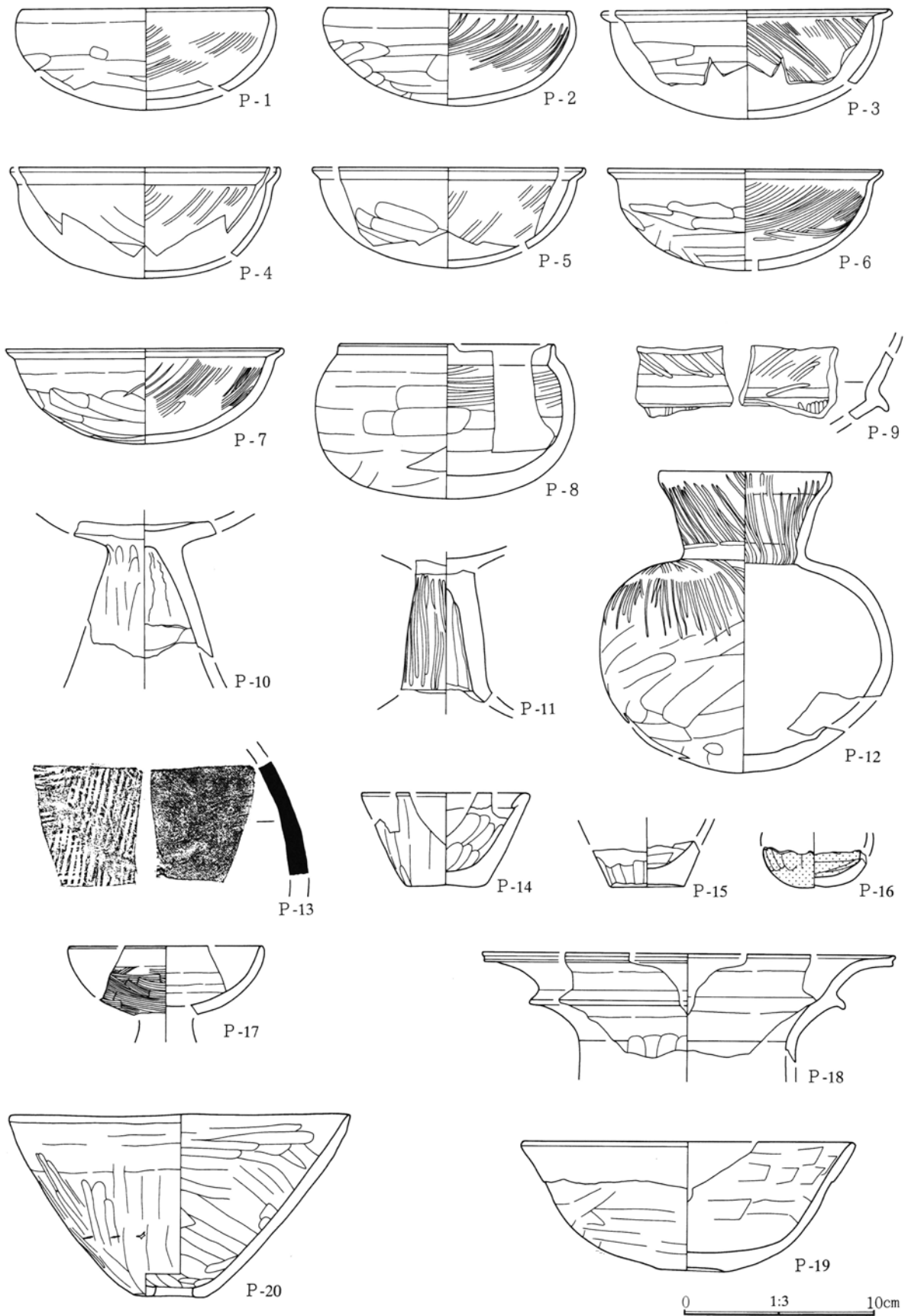


第172図 64号住居跡竈

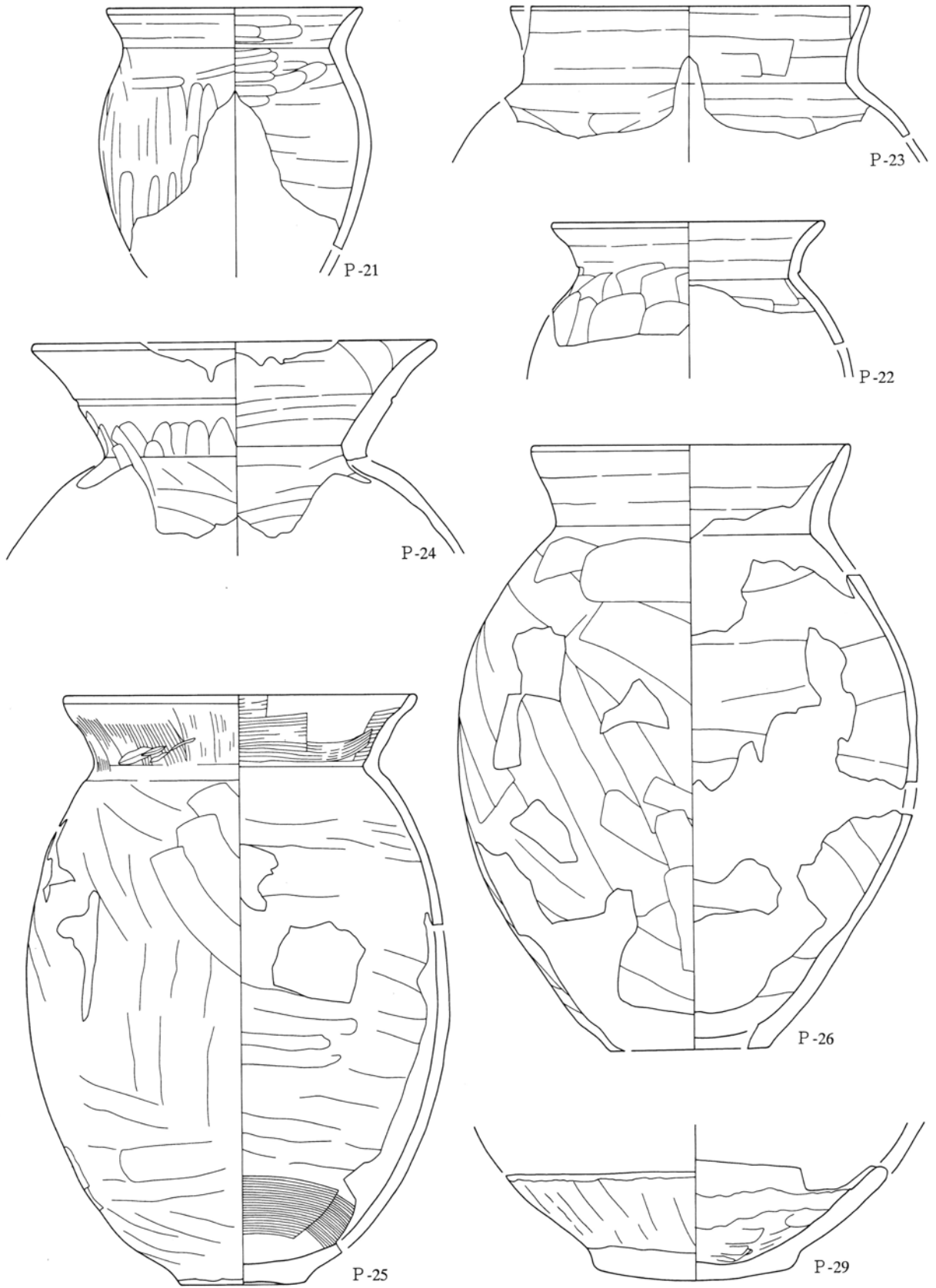


第173図 64・73・74号住居跡掘り方

第5章 遺構と遺物

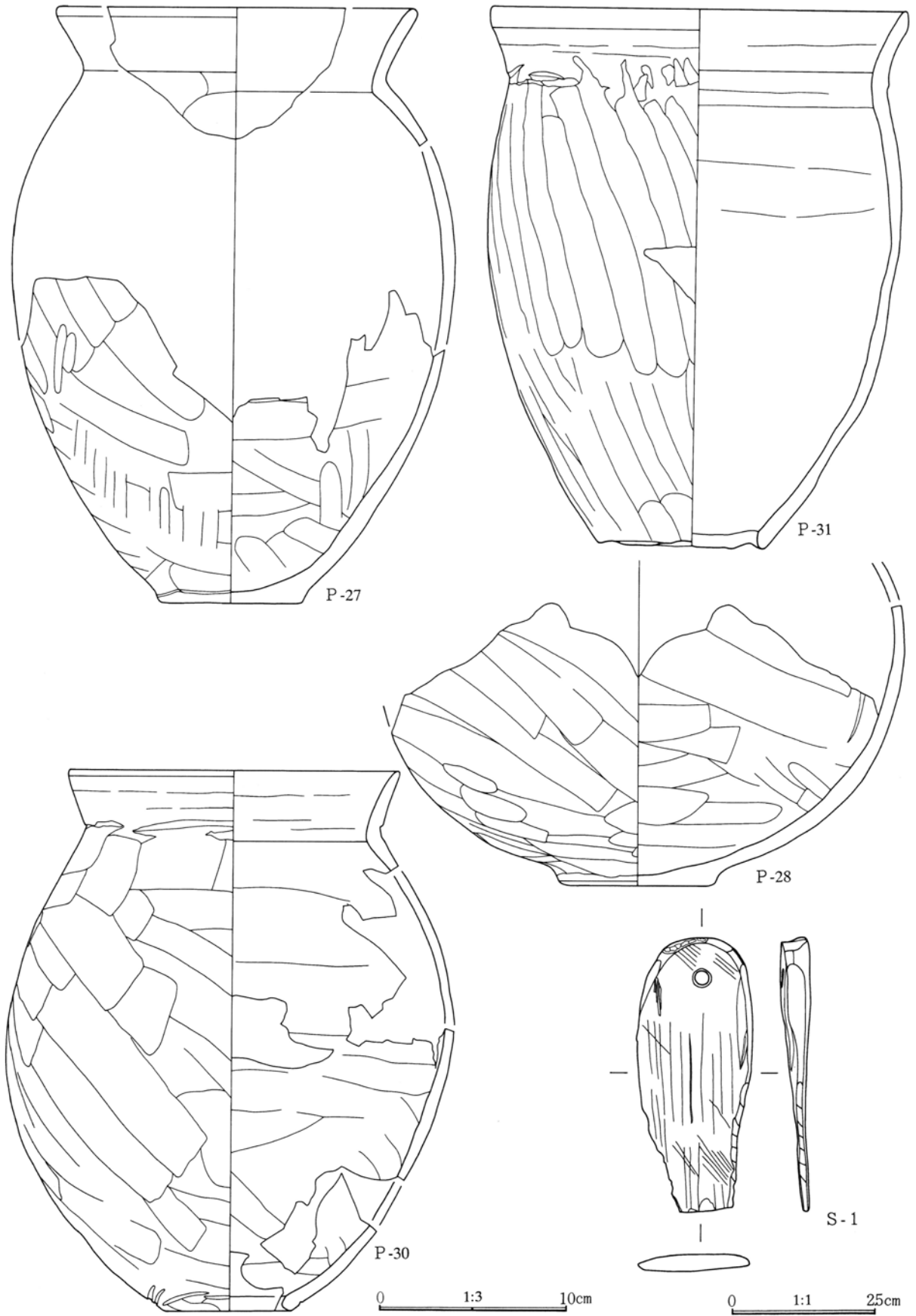


第174図 64号住居跡出土遺物(1)

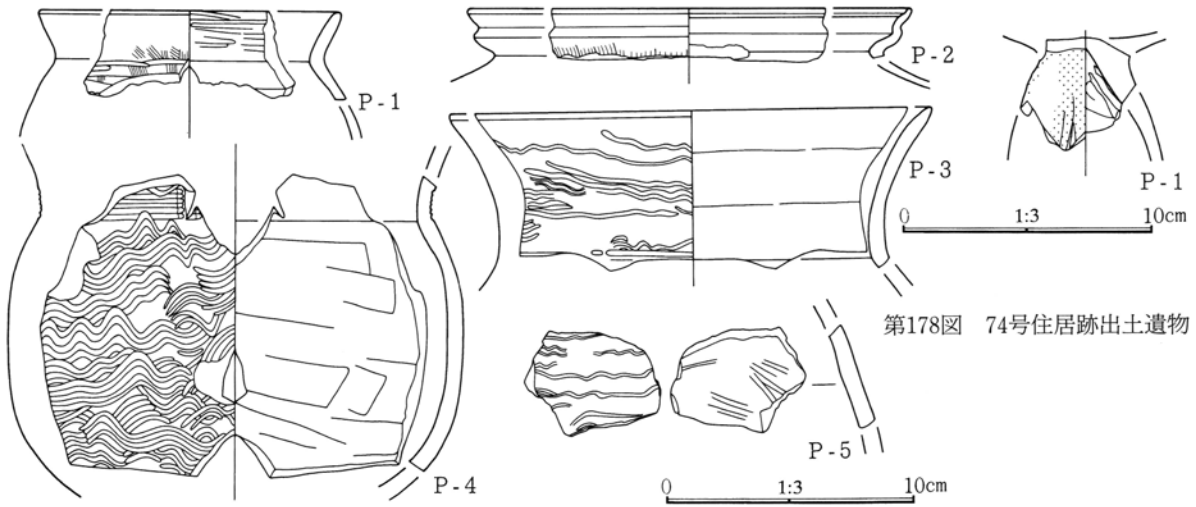


0 1:3 10cm

第175図 64号住居跡出土遺物(2)



第176図 64号住居跡出土遺物(3)



第178図 74号住居跡出土遺物

第177図 73号住居跡出土遺物

65号住居跡

(第179・180図・写真図版101)

位置 BC—132

重複 29・30・49・54号住居跡と重複し、新旧関係は 29・30号住居跡より旧く、49・54号住居跡より新しい。

形状・規模 不明

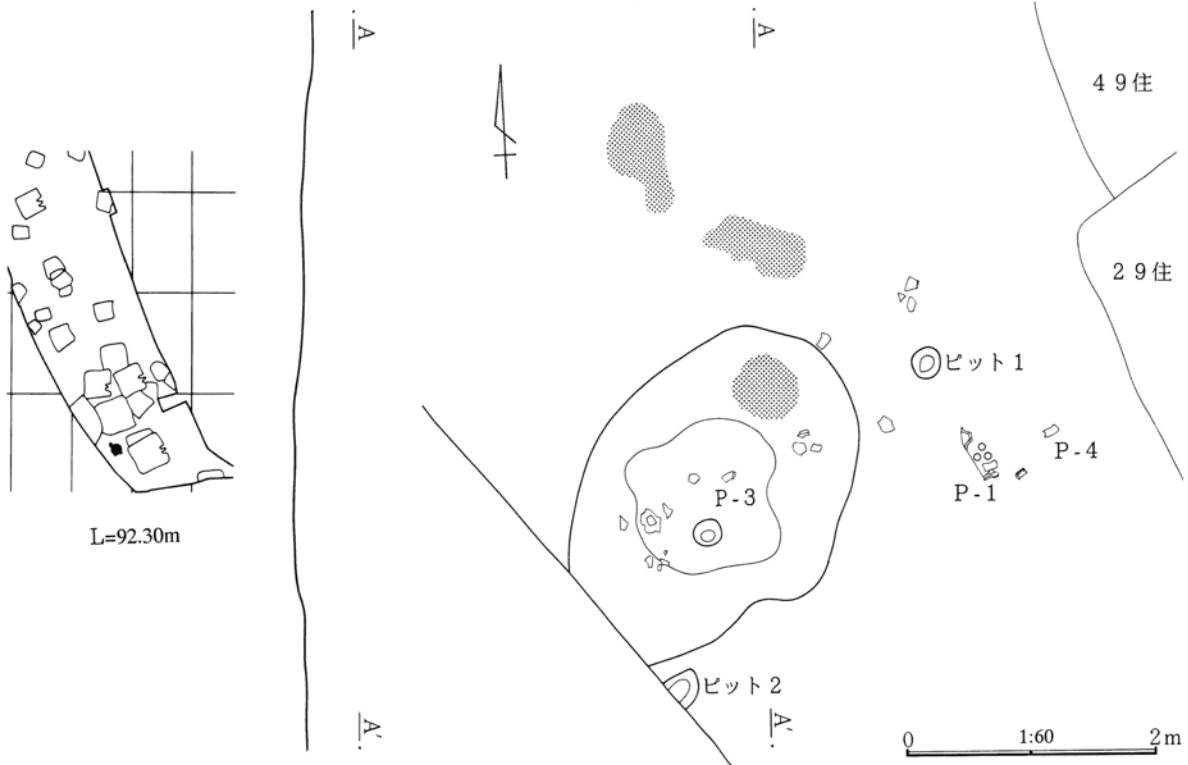
柱穴 ピットを2基確認した。規模は1、25×22cm、

深さ9cm。2、25+α×25cm、深さ11cmを測る。

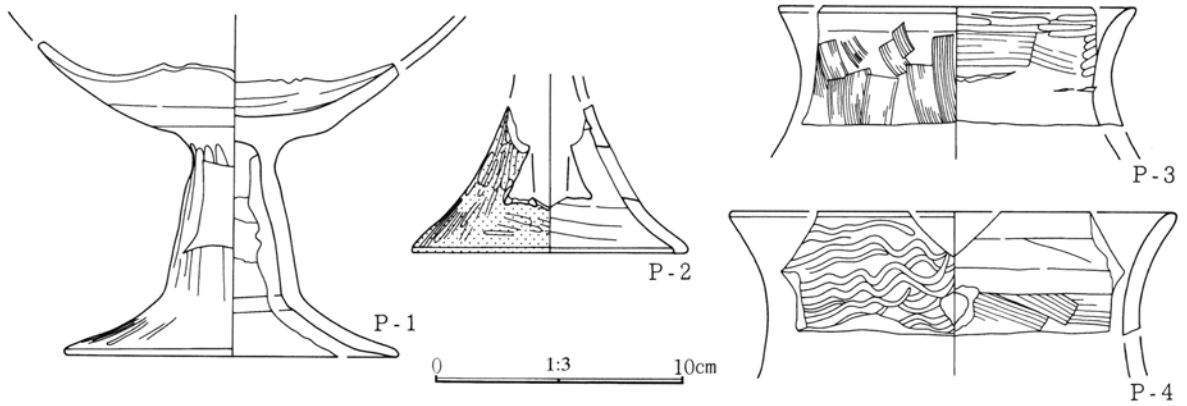
周溝・炉・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

出土遺物 エンタシス状の脚を持つ高坏、土師器平底甕、口縁部に櫛描波状文を持つ甕、3角の透かしが入る高坏等が出土している。

所見 出土遺物は3世紀末～5世紀まで混在しているが切り合い関係から、4世紀の住居跡と考えられる。



第179図 65号住居跡



第180図 65号住居跡出土遺物

68号住居跡

(第181・182図・写真図版20・102)

位置 AX-110

重複 32・89号住居跡と重複し、新旧関係はこの2軒より68号住居跡が新しい。

形状 隅丸方形

規模 長軸3.05×短軸2.53m

長軸方位 N-12°-W

壁高 9~33cm

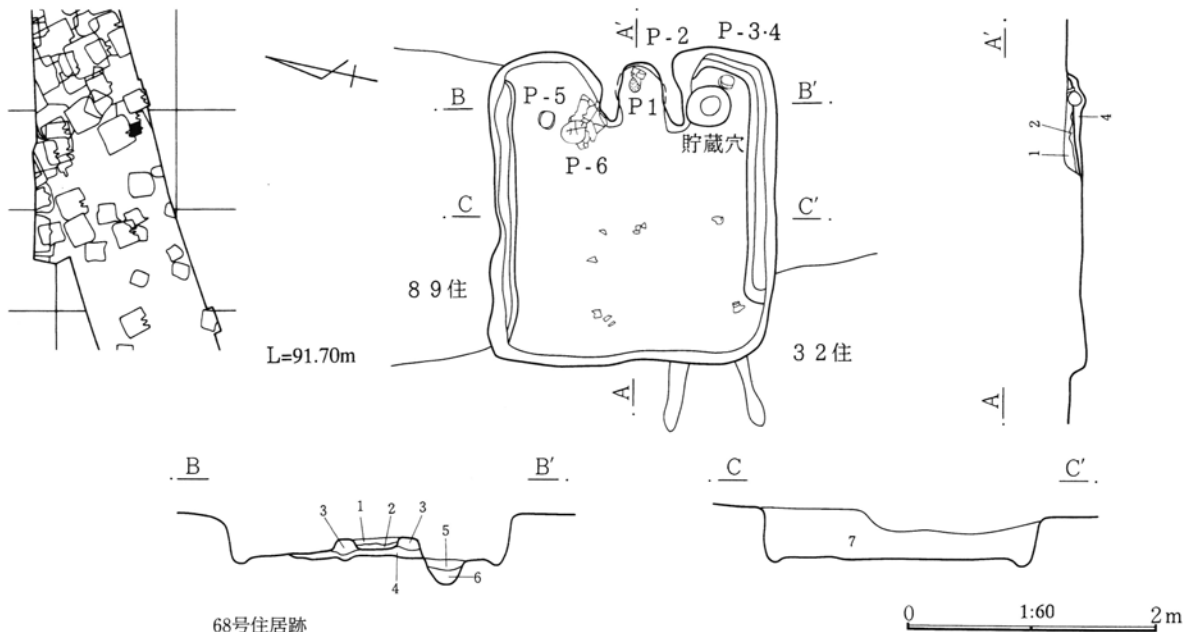
周溝 部分的に確認した。規模は幅11~23cm、深さ1~8cmを測る。

竈 東壁中央に確認した。規模は焚き口幅70cm、長さ54cmを測る。

貯蔵穴 東南隅に確認した。形状は円形を呈し、規模は33×33cm、深さ20cmを測る。

出土遺物 模倣坏、坏、甑が出土している。

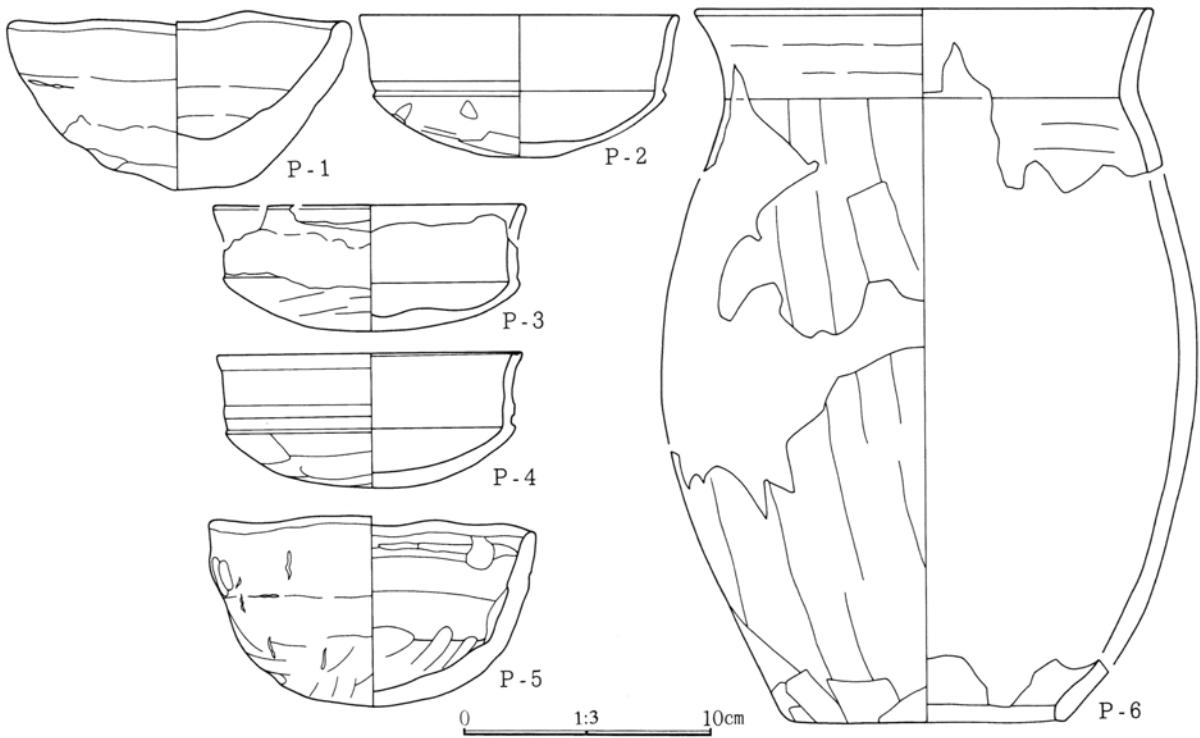
所見 出土遺物から、6世紀前半の住居跡と考えられる。



68号住居跡

1. 暗褐色土 粘土、炭化物、白色軽石少量含む。
2. 明褐色土 焼土、天井崩落土？
3. 灰褐色粘土 竈袖
4. 黒褐色土 焼土、粘土粒少量含む。
5. 黒褐色土 炭化物含む。
6. 黒褐色土
7. 暗褐色土 炭化物少量含む。

第181図 68号住居跡



第182図 68号住居跡出土遺物

69号住居跡

(第183・184図・写真図版20・102)

位置 AX-121

重複 単独

形状 長方形

規模 長軸3.3×短軸2.55m

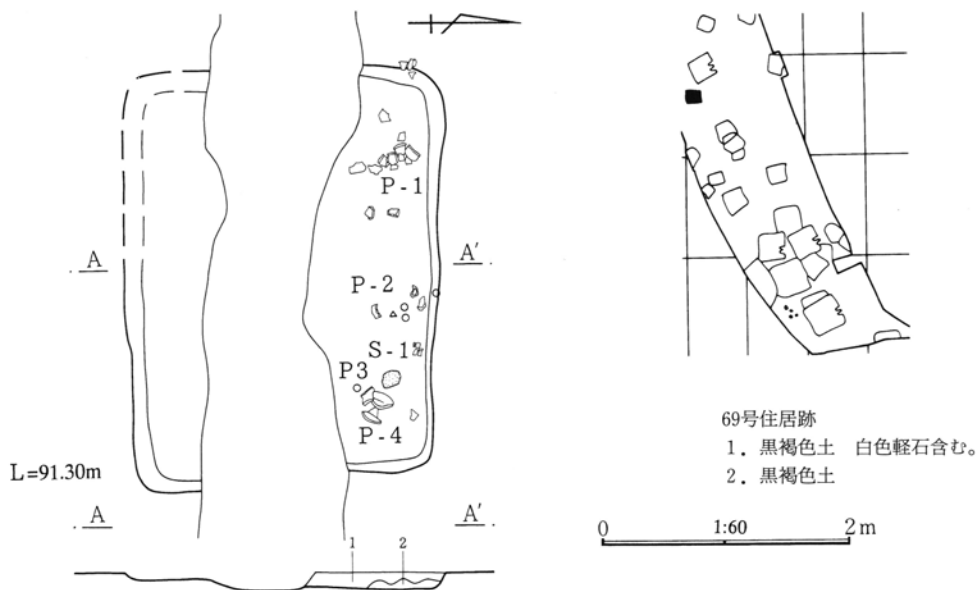
長軸方位 N-90°-E

壁高 2~28cm

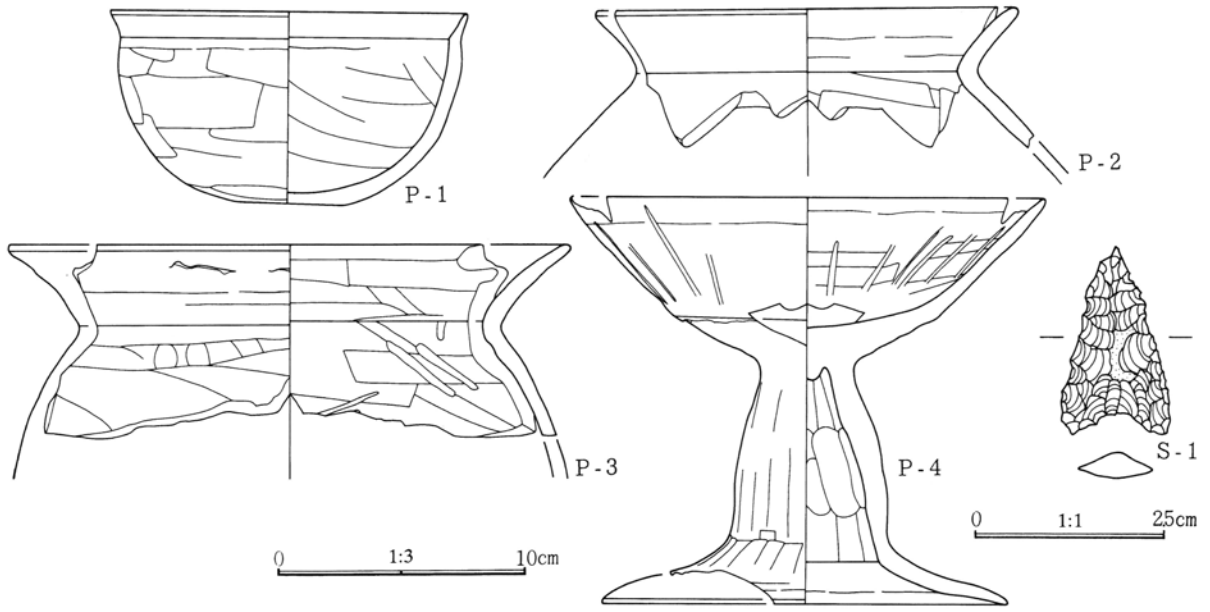
周溝・竈・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

出土遺物 内斜口縁坏、高坏、土師器平底甕の他縄文時代の石族が出土している。

所見 出土遺物から、5世紀前半の住居跡と考えられる。



第183図 69号住居跡



第184図 69号住居跡出土遺物

70号住居跡

(第185～188図・写真図版20・103)

位置 AX-100

重複 89・91号住居跡と重複し、新旧関係は他の2軒より70号住居跡が新しい。

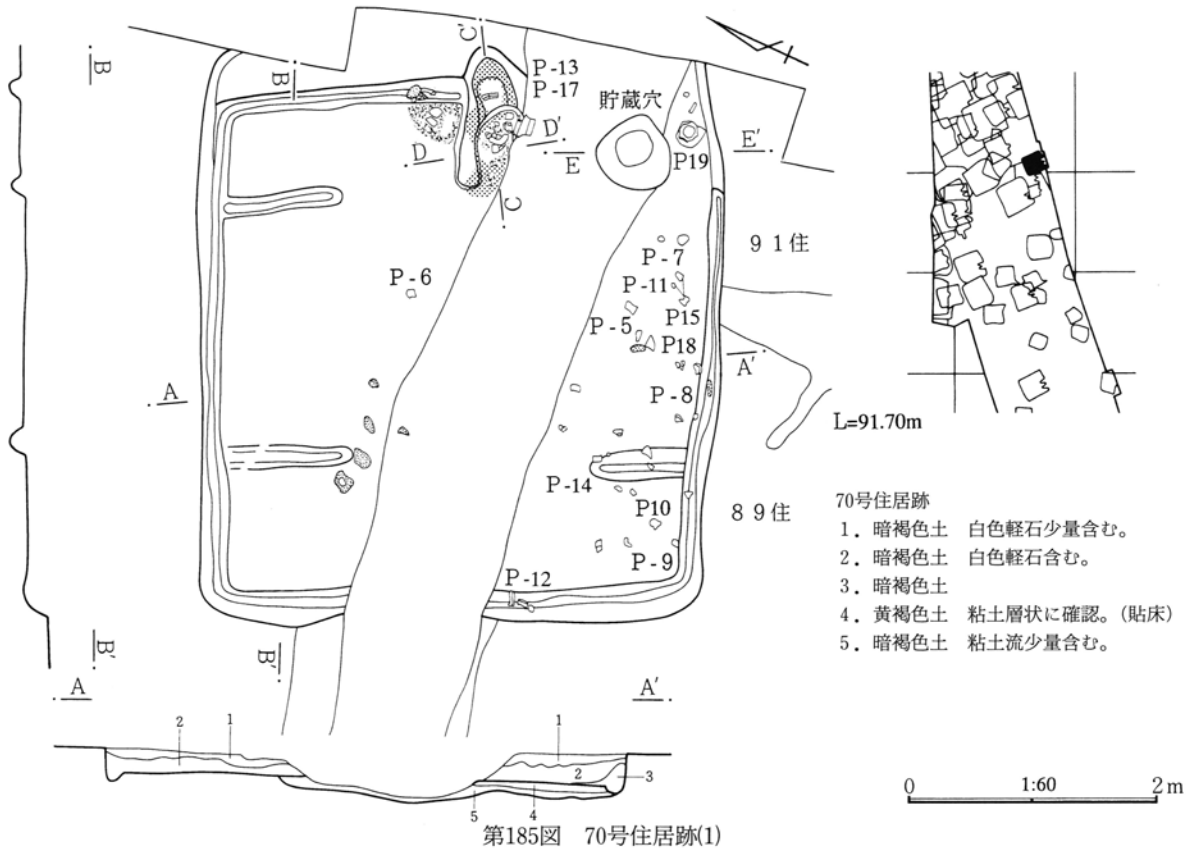
形状 隅丸方形

規模 長軸4.35×短軸4.15m

長軸方位 N-66°-E

壁高 1～35cm

周溝 部分的に確認した。規模は幅9～30cm、深さ



第185図 70号住居跡(1)



1～9cmを測る。

**間仕切り溝** 3条を確認した。規模は幅14～24cm、深さ4～10cmを測る。

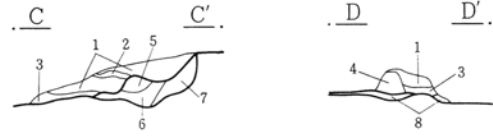
**竈** 東壁中央に確認した。規模は焚き口幅40+αcm、長さ120cmを測る。

**貯蔵穴** 南東隅に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は60×56cm、深さ36cmを測る。

**掘り方** 床下ピットを2基を確認した。規模は1、56×41cm、深さ10cm。2、31×24cm、深さ42cmを測る。

**出土遺物** 模倣坏、高坏、土師器平底甕、須恵器蓋・甕の破片（甕の破片は同一個体）の他小型埴の土製品が出土している。

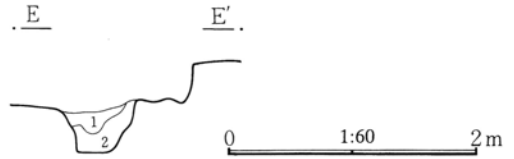
**所見** 出土遺物から、6世紀前半の住居跡と考えられる。



70号住居跡竈

1. 暗褐色土 焼土、粘土粒微量含む。
2. 赤褐色土 焼けた粘土。
3. 暗褐色土 焼土、粘土粒含む。
4. 灰褐色土 粘土主体土袖材。
5. 褐色土 粘土主体土。
6. 暗褐色土 粘土、焼土、炭化物少量含む。
7. 黒褐色土 粘土少量含む。
8. 暗褐色土 粘土微量含む。

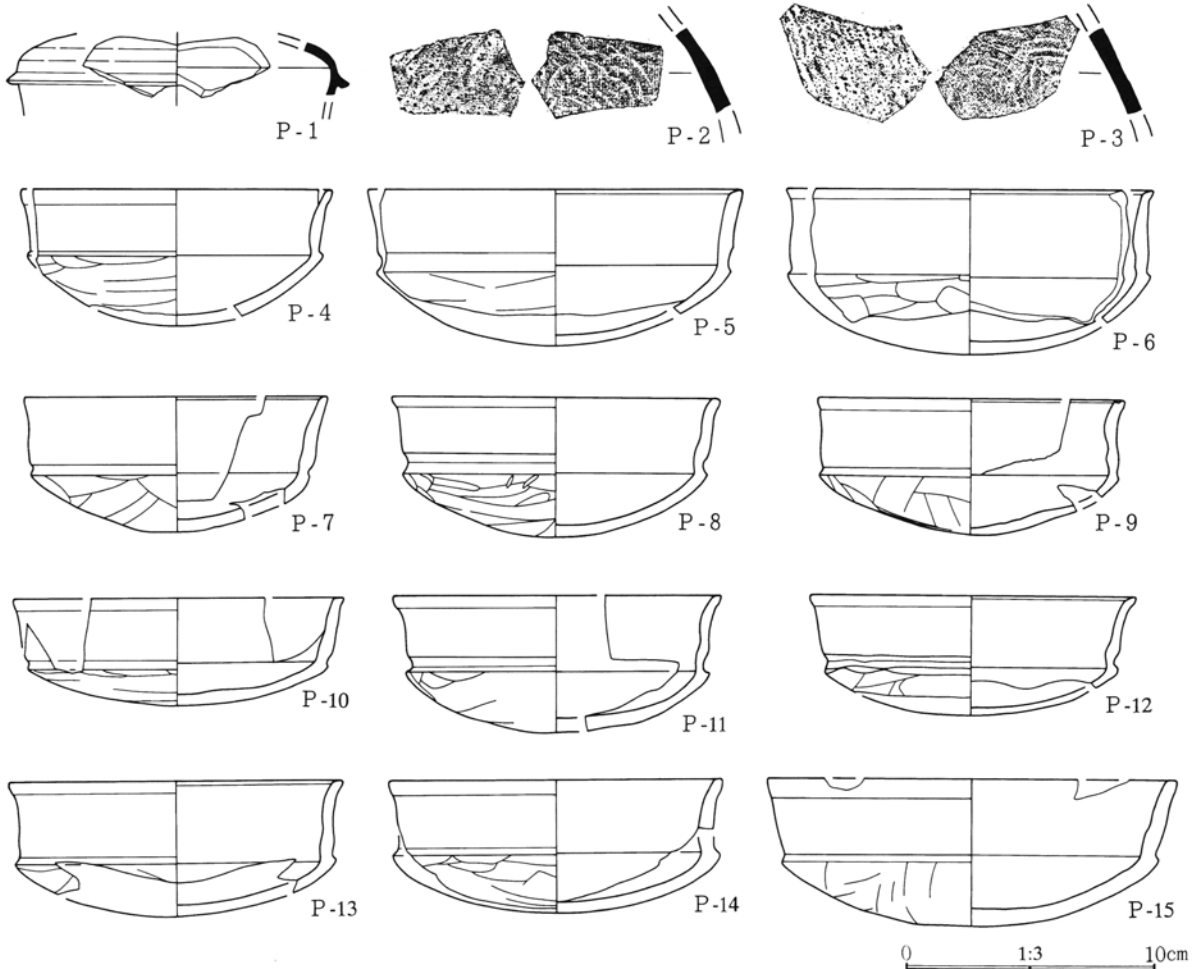
L=91.70m



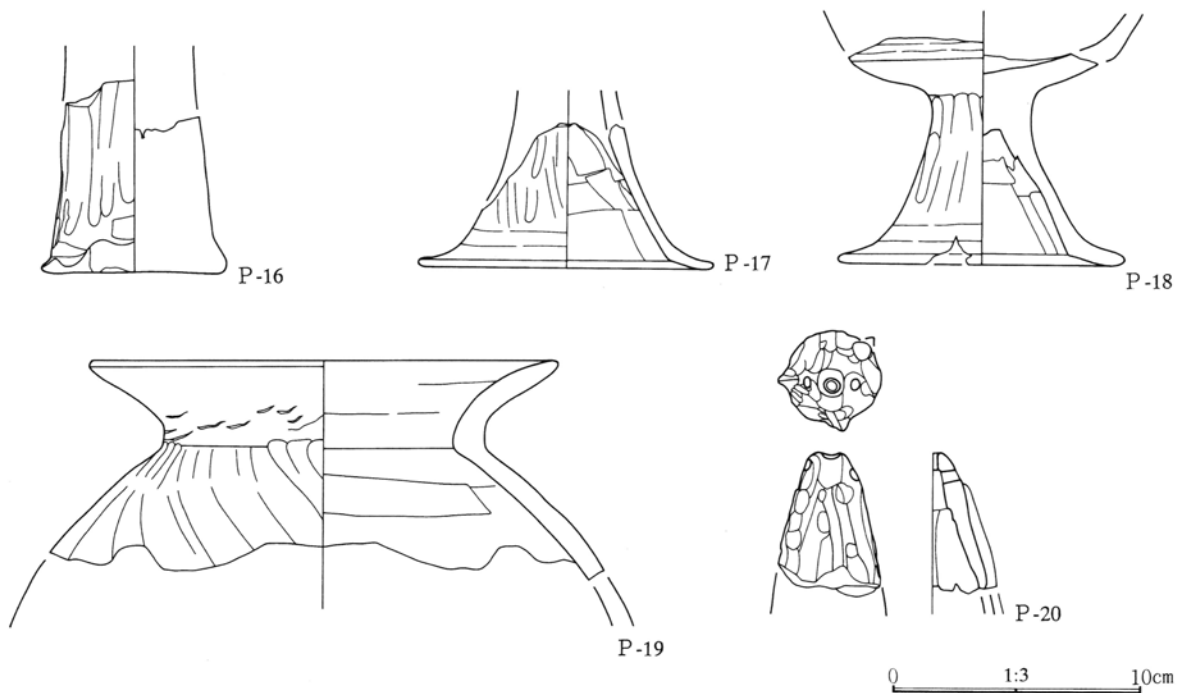
第186図 70号住居跡(2)

70号住居跡貯蔵穴

1. 暗褐色土 粘土、焼土、炭化物含む。
2. 黒褐色土 粘土、焼土少量含む。



第187図 70号住居跡出土遺物(1)



第188図 70号住居跡出土遺物(2)

**75号住居跡**

(第189～191図・写真図版22・105)

**位置** AU-112

**重複** 22・45・97号住居跡と重複し、新旧関係は22号住居跡より旧く、他の2軒の住居跡より75号住居跡が新しい。

**形状** 不明

**規模** 長軸3.1×短軸2.97m

**長軸方位** N-70°-E

**壁高** 1～33cm

**周溝** 部分的に確認した。規模は幅8～16cm、深さ1～5cmを測る。

**柱穴** ピットを1基確認した。規模は20×16cm、深さ28cmを測る。

**竈** 東壁中央に確認した。焚き口幅70cm、長さ76cm。さらに煙道を確認した。規模は幅25cm、長さ90cmを測る。

**出土遺物** 模倣坏、高坏、甕、甑が出土している。

**所見** 出土遺物から、6世紀前半の住居跡と考えられる。

**97号住居跡**

(第192図・写真図版121)

**位置** AU-112

**重複** 45・75号住居跡と重複し、新旧関係はこの2軒より古い。

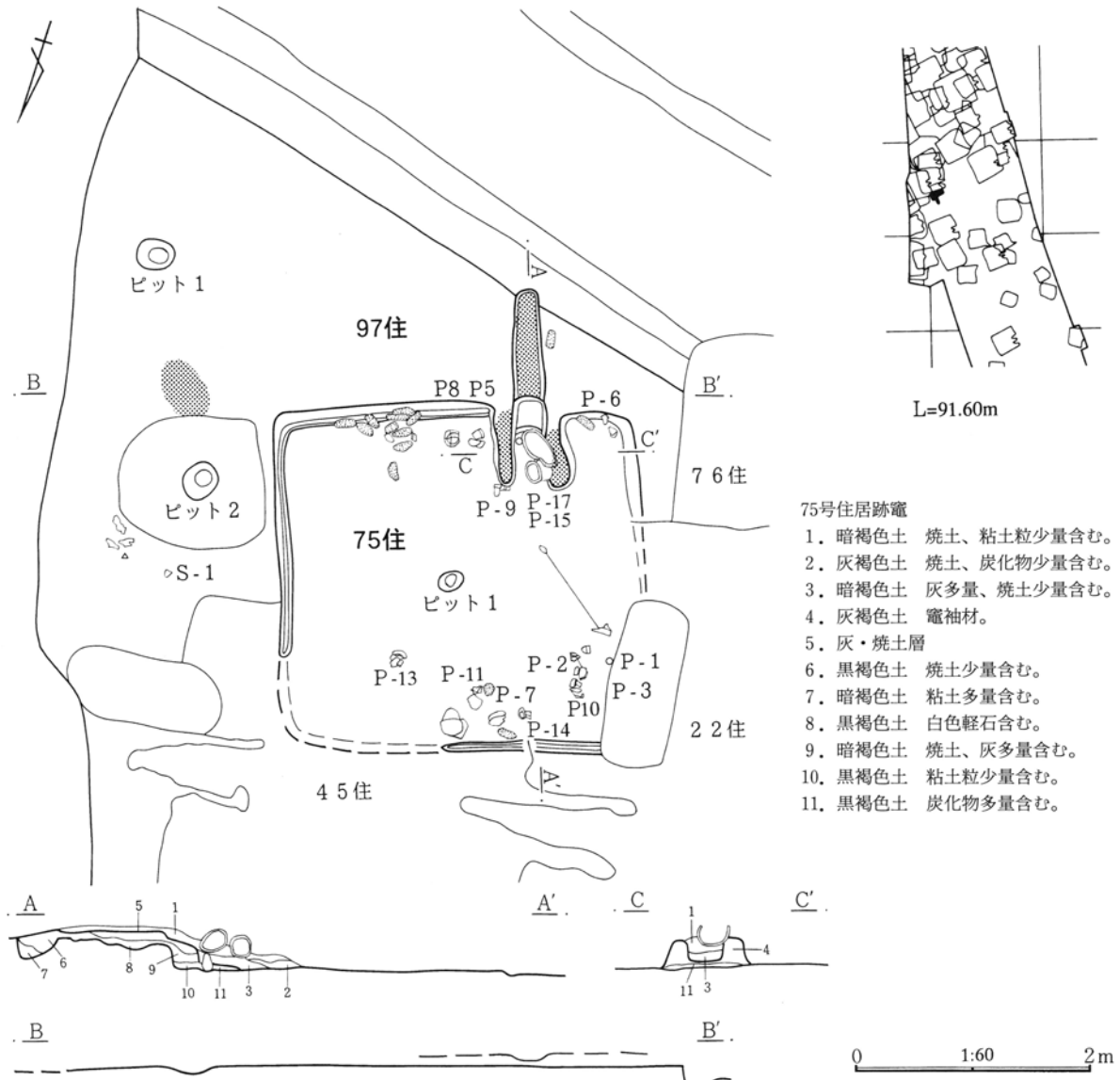
**形状・規模** 不明

**柱穴** ピットを2基確認した。規模は1、32×25cm、深さ22.5cm。2、31×27cm、深さ56cmを測る。

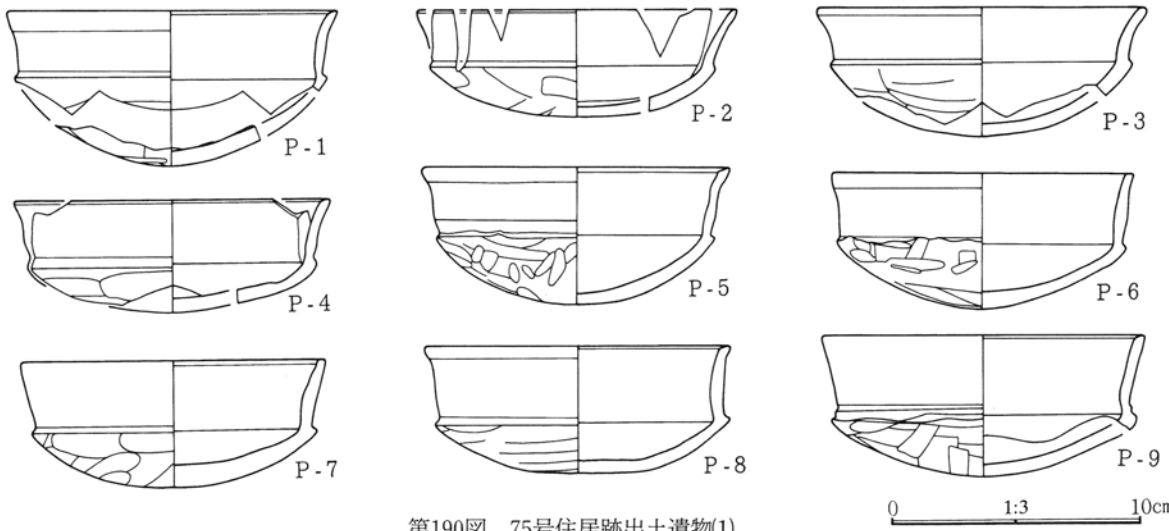
**炉** 中央東寄りに確認した。形状は楕円形を呈し、規模は55×34cm、深さ6cmを測る。

**出土遺物** 内斜口縁鉢、石製垂飾が出土している。

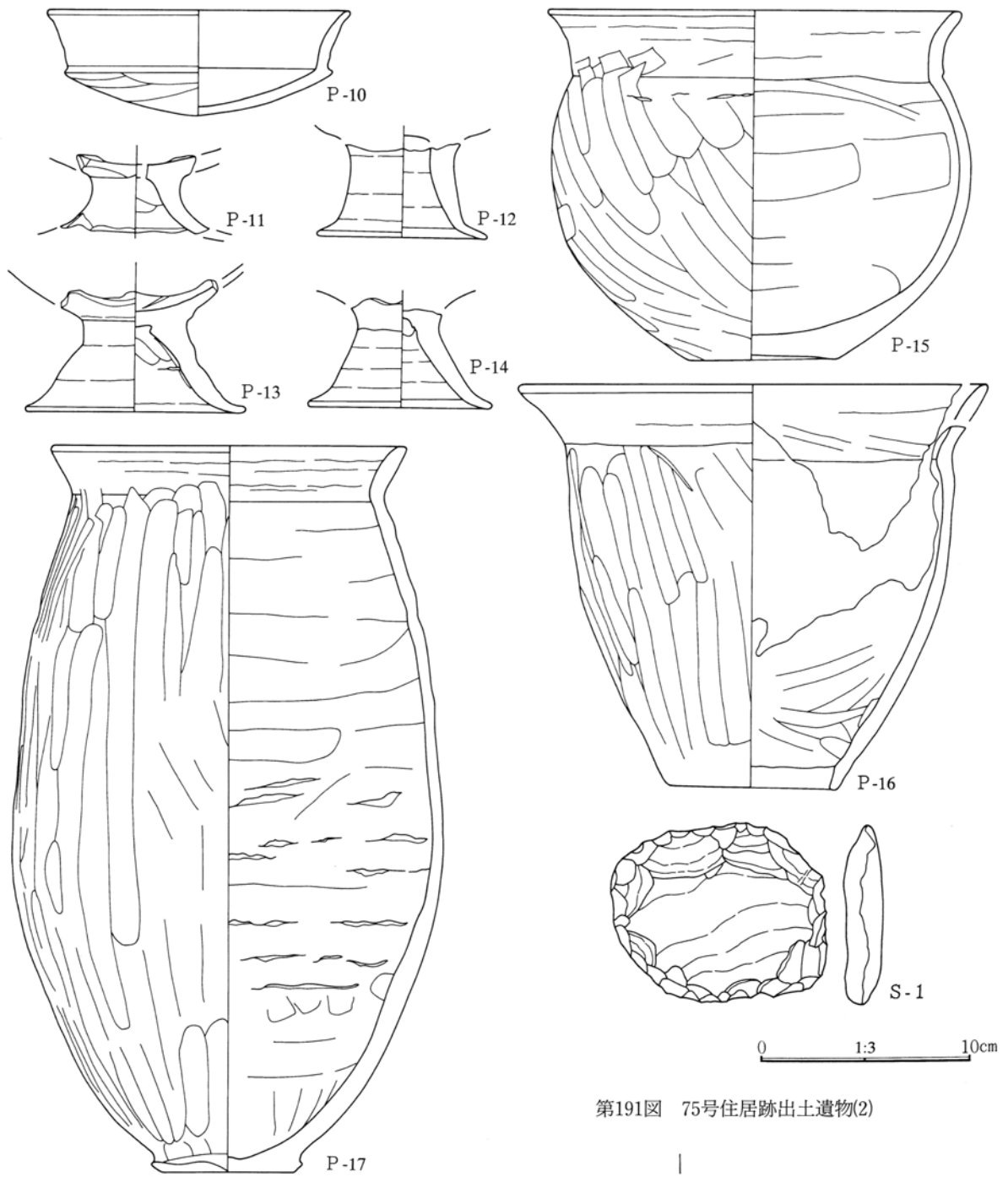
**所見** 出土遺物から、5世紀の住居跡と考えられる。



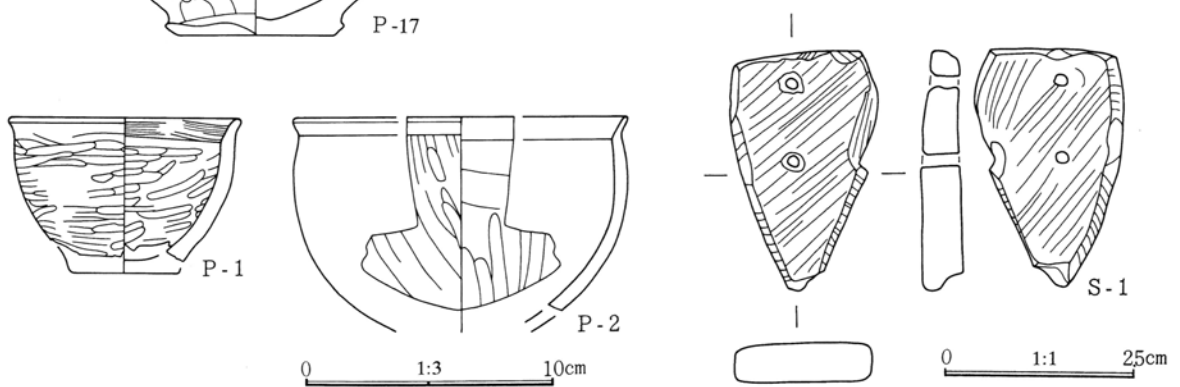
第189図 75・97号住居跡



第190図 75号住居跡出土遺物(1)



第191図 75号住居跡出土遺物(2)



第192図 97号住居跡出土遺物

76号住居跡

(第193～195図・写真図版22・105)

位置 AT-113

重複 22・92・106号住居跡と重複し、新旧関係はこの3軒より76号住居跡が古い。

規模 長軸4.55×短軸2.7+ $\alpha$ m

長軸方位 N-12°-W

壁高 11～24cm

周溝 部分的に確認した。規模は幅10～20cm、深さ3～14cmを測る。

間仕切り溝 3条確認した。規模は幅11～18cm、深さ1～8cmを測る。

柱穴 ピットを3基確認した。規模は1、18×17cm、深さ13cm。2、19×18cm、深さ14cm。3、25×23cm、深さ23cmを測る。

貯蔵穴 東南隅に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は55×46cm、深さ60cmを測る。

出土遺物 鉢形土器、高坏、甕が出土している。

所見 出土遺物から、5世紀前半の住居跡と考えられる。

92号住居跡

(第193・197図・写真図版22・119・120)

位置 AS-113

重複 22・76・106・107・108号住居跡と重複し、22・106・107号住居跡より旧く、他の2軒より新しい。

形状 不明

規模 長軸3.66+ $\alpha$ ×短軸1.66+ $\alpha$ m

長軸方位 N-23°-W

壁高 1～12cm

周溝 部分的に確認した。規模は幅6～18cm、深さ3～4cmを測る。

間仕切り溝 2条確認した。規模は幅11～21cm、深さ9～18cmを測る。

柱穴 ピットを2基確認した。規模は1、40×34cm、深さ20cm。2、17×16cm、深さ6cmを測る。

貯蔵穴 東南隅に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は92×77cm、深さ45cmを測る。

出土遺物 内斜口縁坏、鉢、甕が出土している。

所見 出土遺物から、5世紀前半の住居跡と考えられる。

106号住居跡

(第193・198図・写真図版22・123)

位置 AS-113

重複 22・76・92号住居跡と重複し、新旧関係は22号住居跡より旧く、他の2軒より106号住居跡が新しい。

形状 不明

規模 長軸1.8+ $\alpha$ ×短軸1.1+ $\alpha$ m

長軸方位 N-30°-W

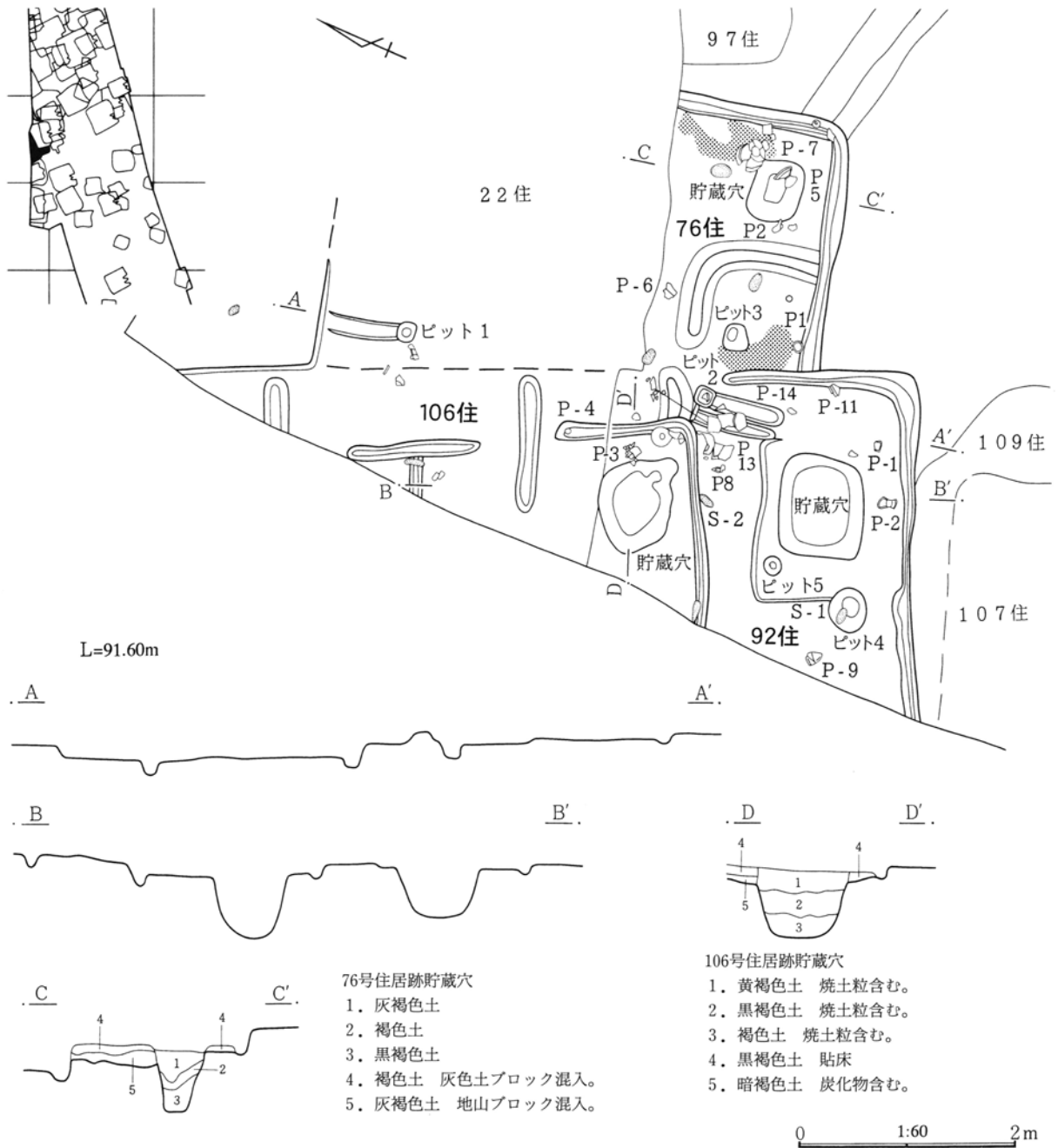
壁高 3～7cm

周溝 部分的に確認した。規模は幅7～18cm、深さ4～7cmを測る。

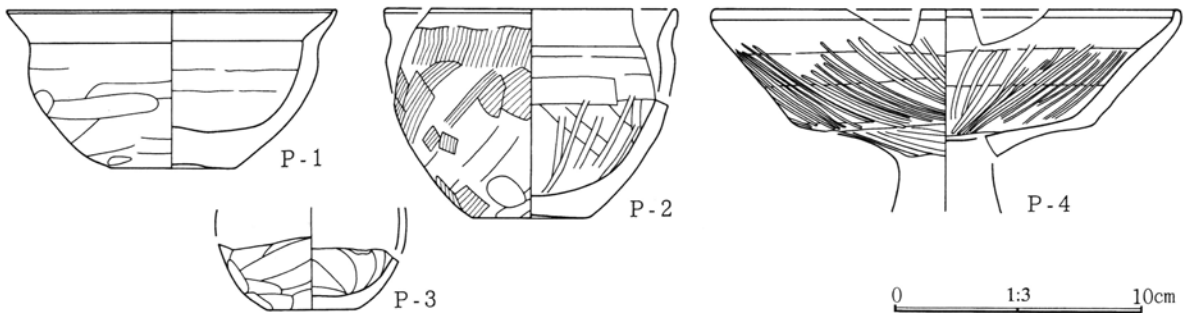
貯蔵穴 東南隅に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は84×68cm、深さ45cmを測る。

出土遺物 模倣坏、甕が出土している。

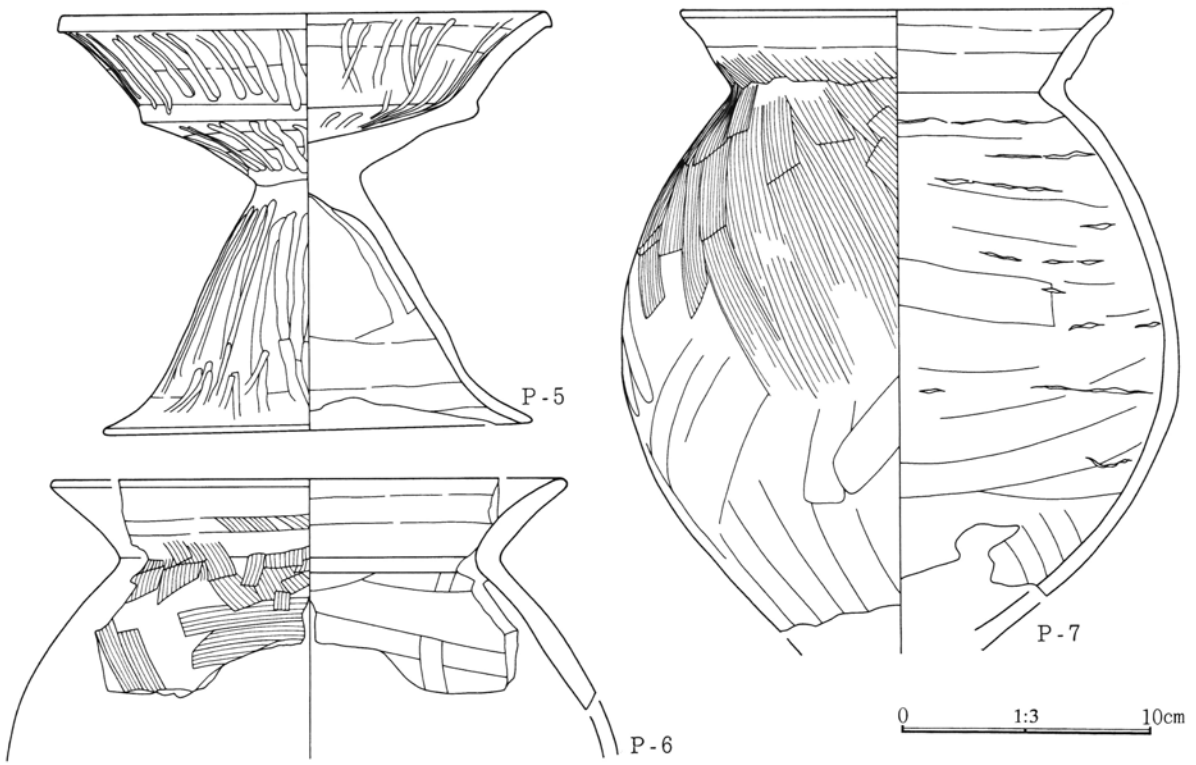
所見 出土遺物から、6世紀前半の住居跡と考えられる。



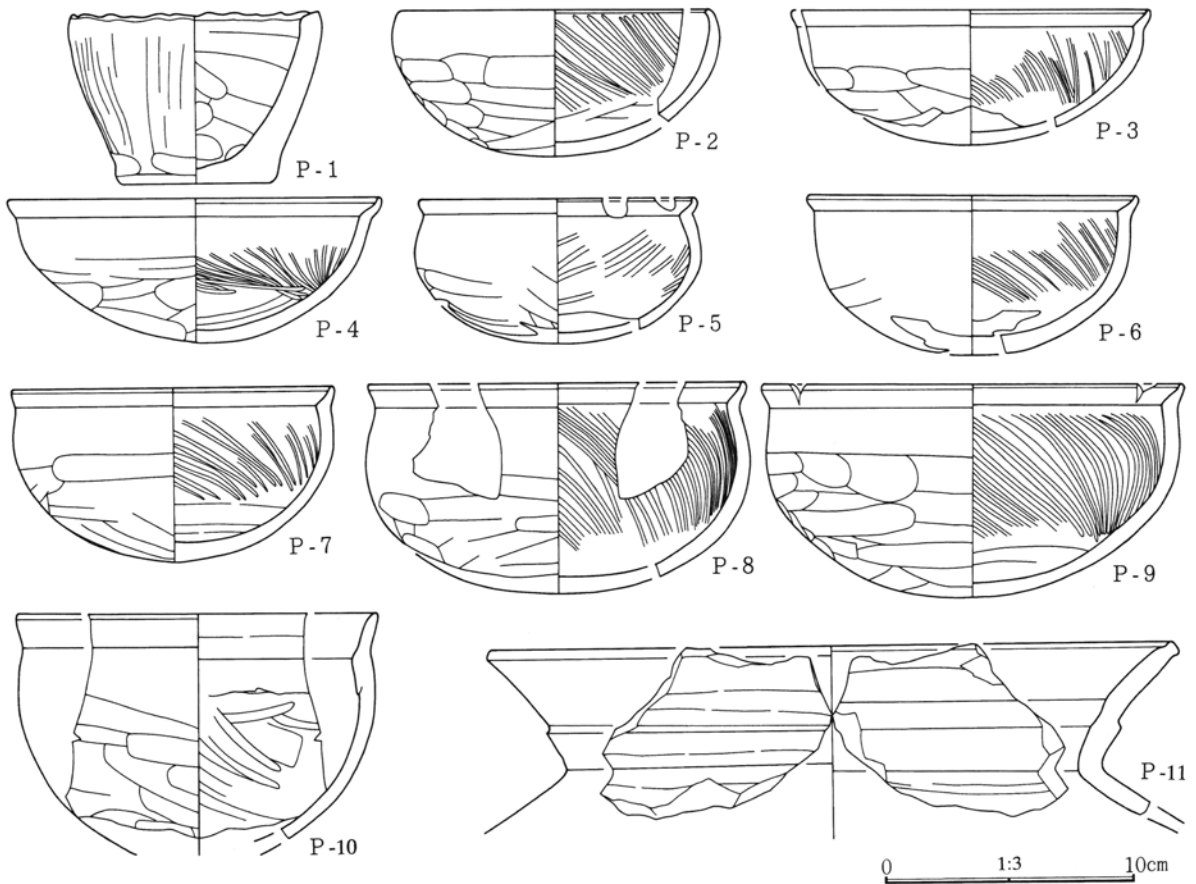
第193図 76・92・106号住居跡



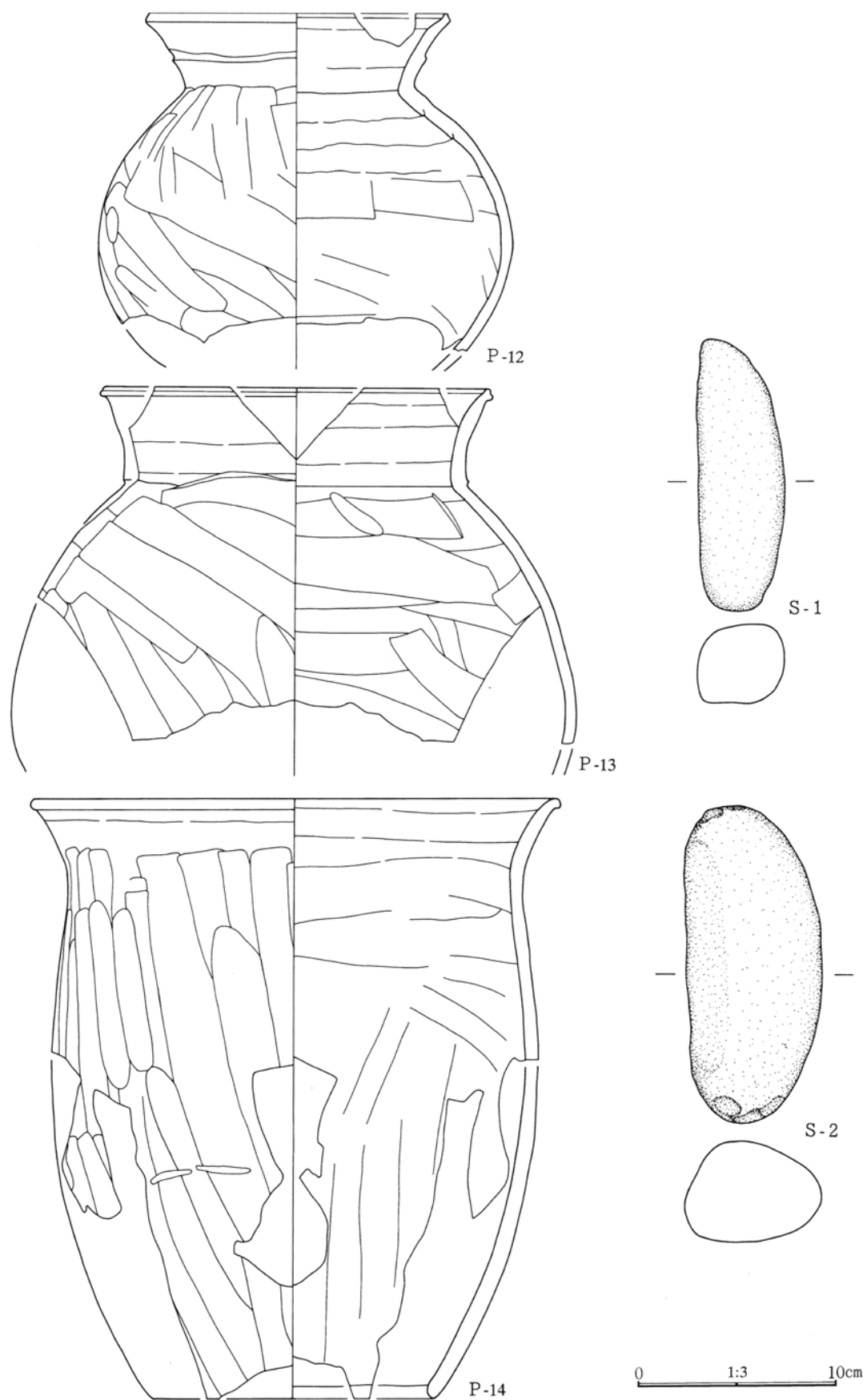
第194図 76号住居跡出土遺物(1)



第195図 76号住居跡出土遺物(2)

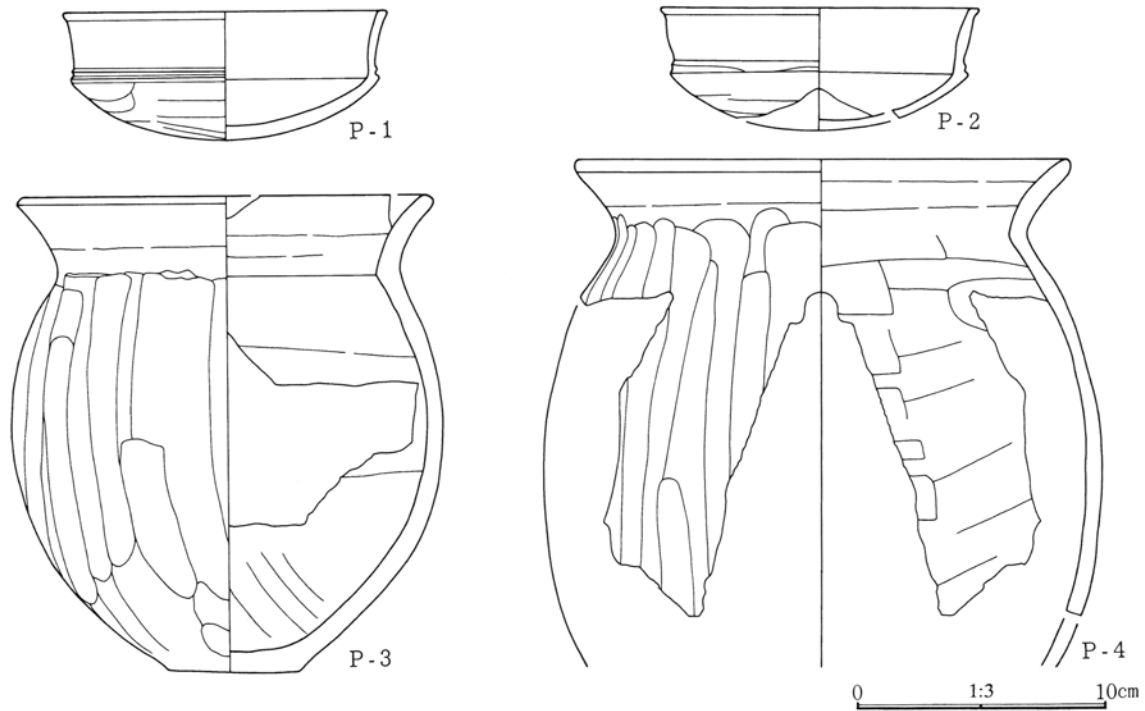


第196図 92号住居跡出土遺物(1)



第197図 92号住居跡出土遺物(2)





第198図 106号住居跡出土遺物

77・99号住居跡

17区77号住居跡

(第199～203図・写真図版23・106～108)

位置 AU-111

重複 22・45・78・99・100・101号住居跡と重複し、新旧関係は22・45号住居跡より旧く、他の4軒より77号住居跡が新しい。

形状 隅丸方形

規模 長軸4.95×短軸4.75m

長軸方位 N-29°-W

壁高 11～29cm

周溝 全周する。規模は幅12～25cm、深さ1～6cmを測る。

間仕切り溝 3条確認した。規模は幅11～13cm、深さ3～9cmを測る。

柱穴 ピットを4基確認した。規模は1、16×15cm、深さ46cm。2、13×13cm、深さ50cm。3、16×15cm、深さ30cm。4、15×14cm、深さ35cmを測る。

竈 東壁中央に確認した。規模は焚き口幅78cm、長さ91cmを測る。

貯蔵穴 東南隅に確認した。形状は楕円形を呈し、

規模は69×55cm、深さ45cmを測る。

出土遺物 須恵器坏の破片、内斜口縁坏、模倣坏、高坏、甕、甔が出土している。

所見 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。

99号住居跡

(第199・200図・写真図版121)

位置 AU-111

重複 22・45・77・78・100・101・117号住居跡と重複し、新旧関係は22・45・77号住居跡より旧く、他の4軒より99号住居跡が新しい。

形状 隅丸方形

規模 長軸4.78×短軸4.24+ $\alpha$ m

長軸方位 N-86°-E

壁高 1～16cm

周溝 全周する。規模は幅10～25cm、深さ1～5cmを測る。

間仕切り溝 3条確認した。規模は幅8～14cm、深さ1～5cmを測る。

柱穴 ピットを4基確認した。規模は5、21×20cm、

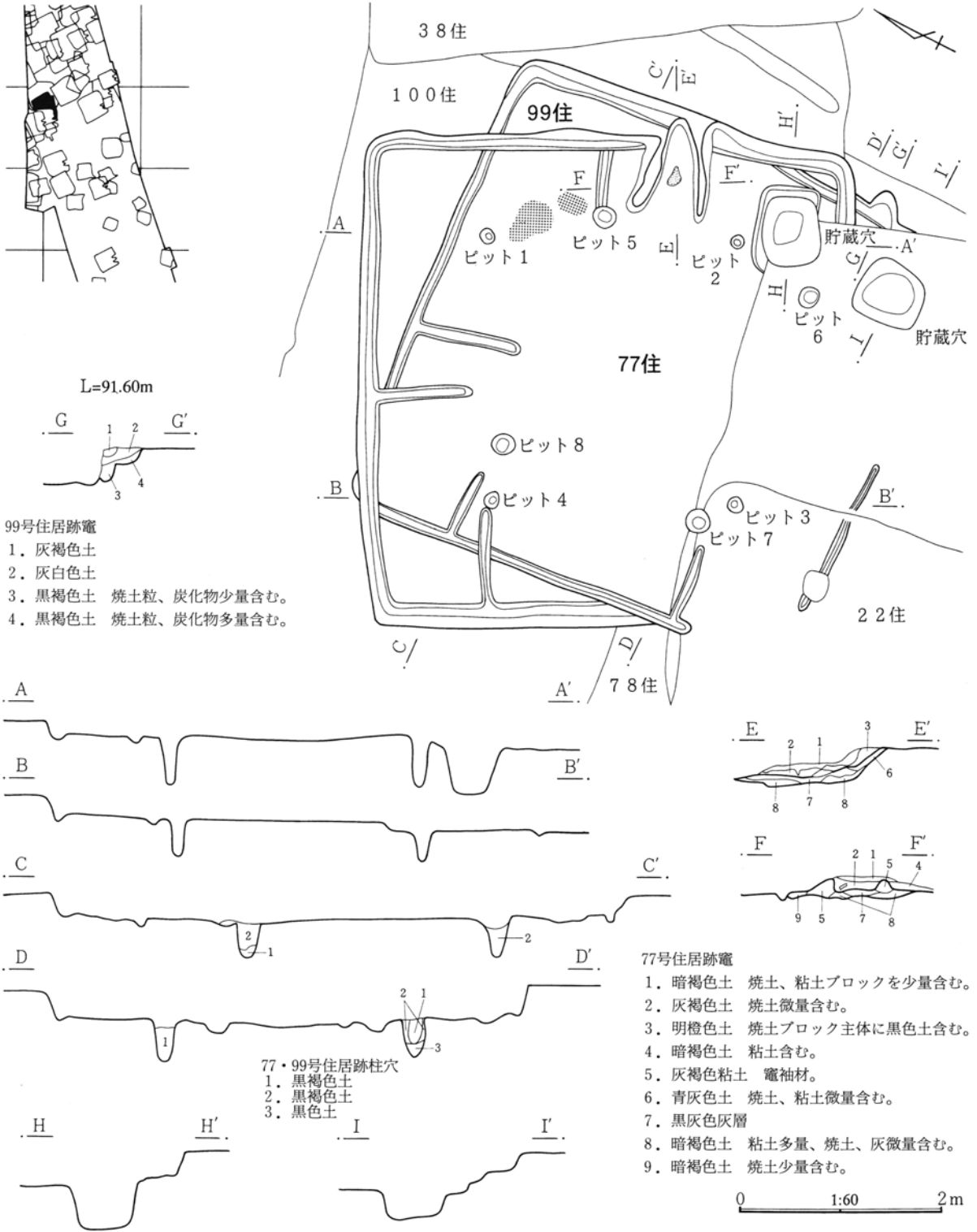
第5章 遺構と遺物

深さ38cm。6、20×17cm、深さ36cm。7、24×23cm、深さ40cm。8、23×21cm、深さ34cmを測る。

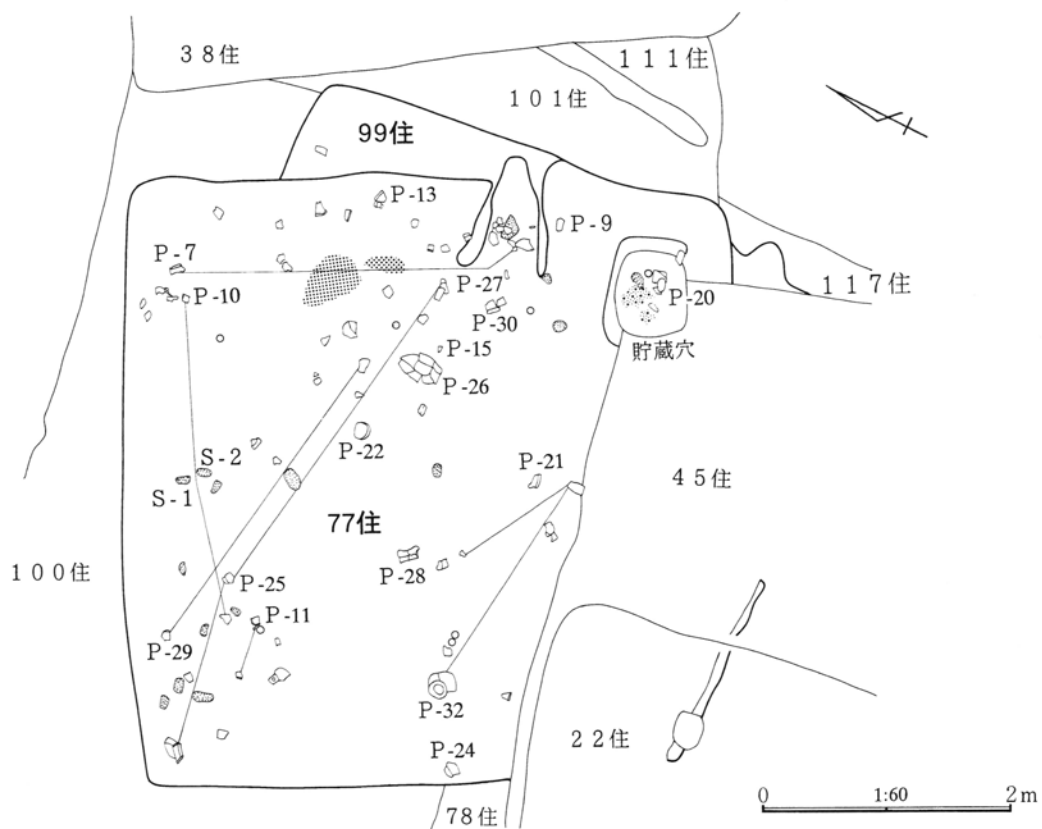
**貯蔵穴** 東南隅に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は65×60cm、深さ28cmを測る。

**出土遺物** 内斜口縁環、甕が出土した。

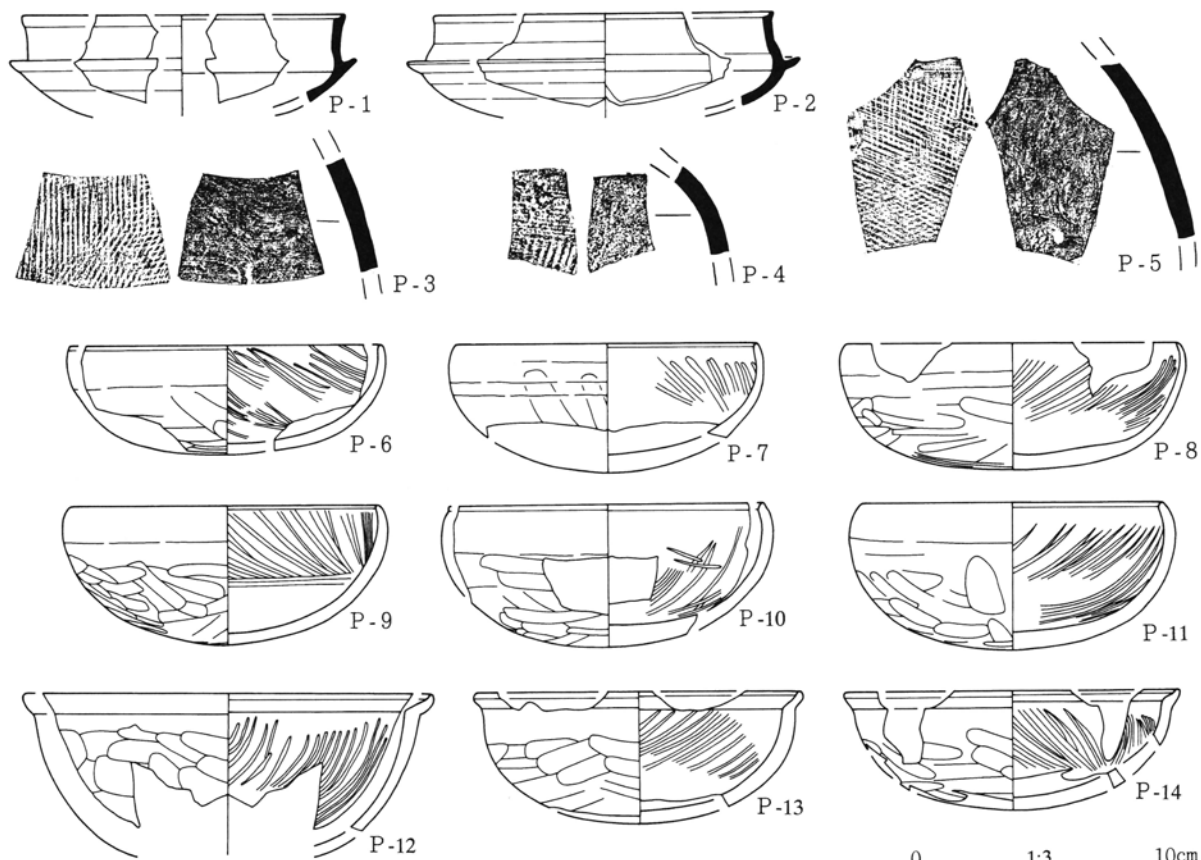
**所見** 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。



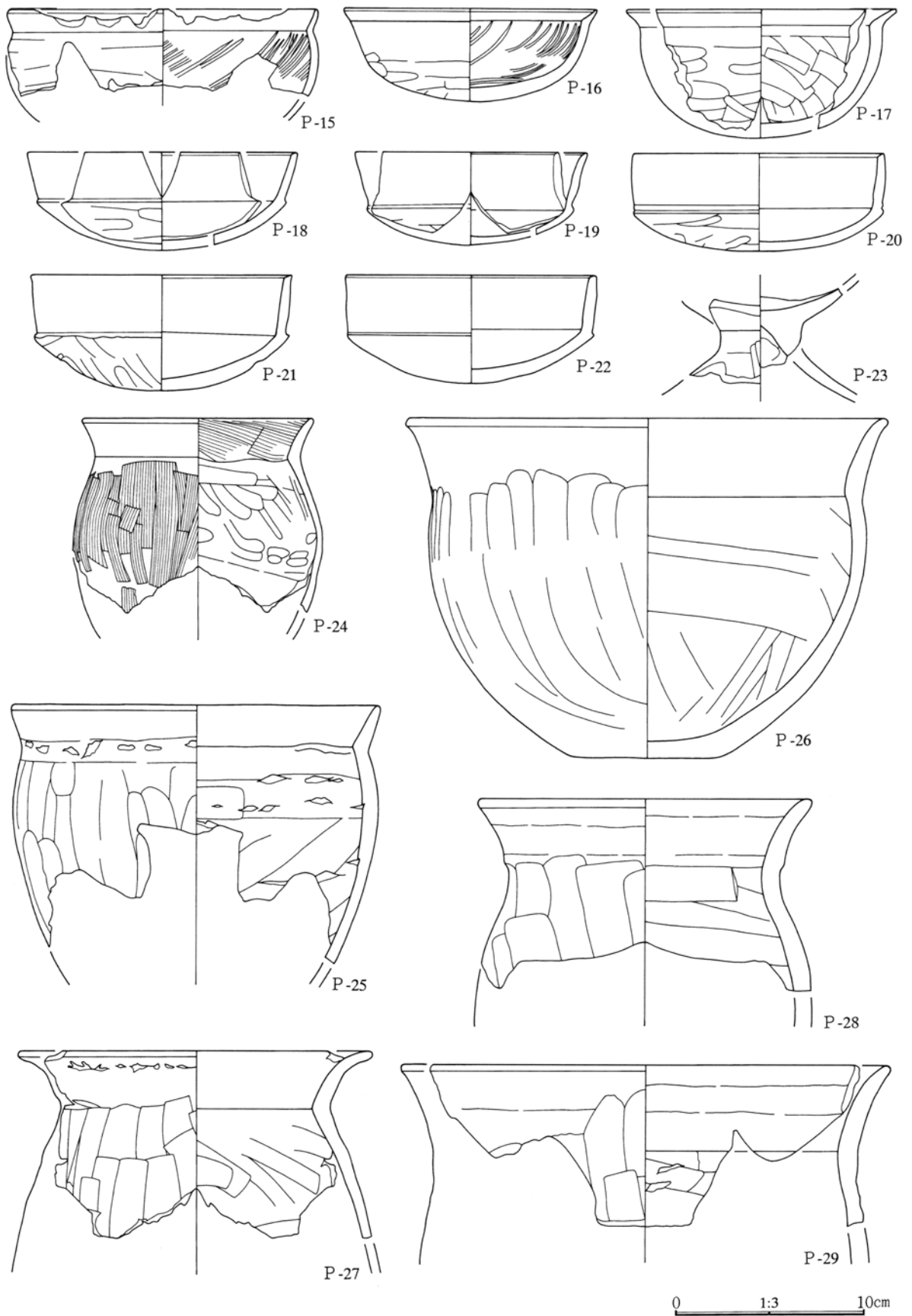
第199図 77・99号住居跡



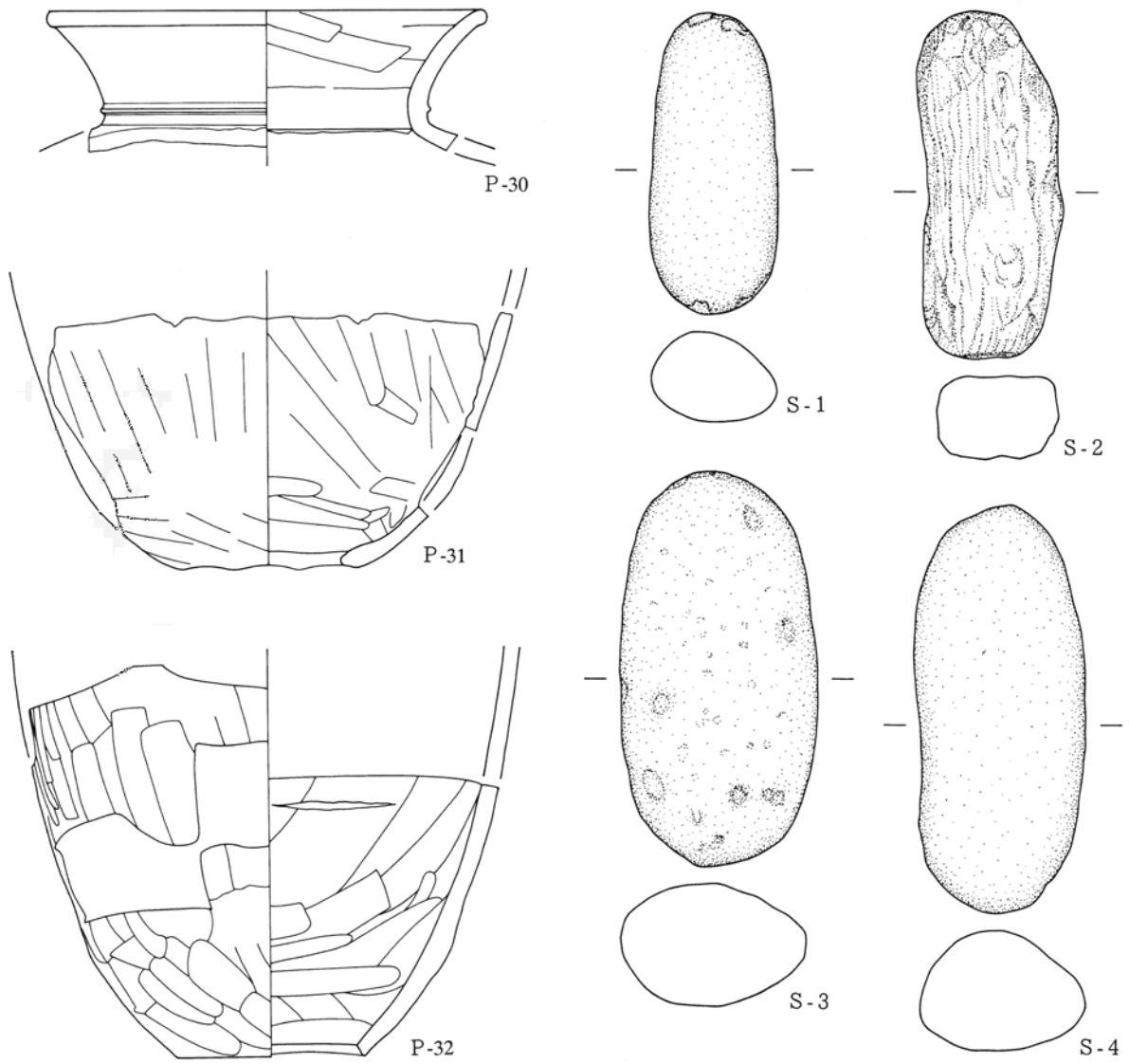
第200図 77・99号住居跡遺物散布図



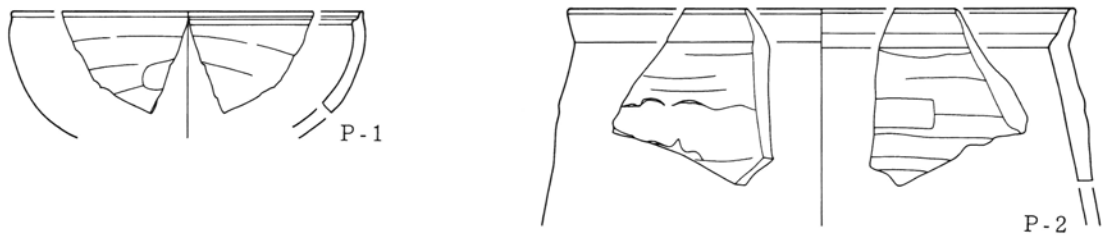
第201図 77号住居跡出土遺物(1)



第202図 77号住居跡出土遺物(2)



第203図 77号住居跡出土遺物(3)



第204図 99号住居跡出土遺物

## 第5章 遺構と遺物

### 78号住居跡

(第205・206図・写真図版23・108)

位置 AT-111

重複 22・45・77・99・100・101号住居跡と重複し、新旧関係は重複する6軒より78号住居跡が古い。

形状・規模 不明

柱穴 ピットを2基確認した。規模は1、29×27cm、深さ不明。2、40×39cm、深さ41cmを測る。

出土遺物 小型埴、高坏、S字状口縁台付甕が出土している。

所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。

### 100号住居跡

(第205図・写真図版122)

位置 AT-110

重複 38・39・77・78・99・101号住居跡と重複し、新旧関係は38・39・77号住居跡より旧く、他の3軒より100号住居跡が新しい。

形状 不明

規模 長軸6.55×短軸6.38m

長軸方位 N-1°-W

壁高 1~13cm

周溝 部分的に確認した。規模は幅8~23cm、深さ2~13cmを測る。

柱穴 ピットを6基確認した。規模は3、29×28cm、深さ不明。4、36×28cm、深さ11cm。5、33×25cm、深さ13cm。6、57×29cm、深さ11cm。7、29×28cm、深さ32cm。8、35×32cm、深さ44cmを測る。

貯蔵穴 西南隅に確認した。形状は不明、規模は45×30+αcm、深さ37cmを測る。

出土遺物 甕が出土している。

所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。

### 101号住居跡

(第205図・写真図版22)

位置 AT-110

重複 38・99・100・117号住居跡と重複し、新旧関係はこの4軒より101号住居跡が古い。

形状・規模 不明

壁高 4~5cm

周溝 部分的に確認した。規模は幅15~24cm、深さ5cmを測る。

柱穴 ピットを1基確認した。規模は9、33×30cm、深さ50cmを測る。

貯蔵穴 東壁寄りに確認した。形状は長方形を呈し、規模は51×40cm、深さ21cmを測る。

出土遺物 S字状口縁台付甕、土師器平底甕、内斜口縁坏が混じる。

所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。

### 111号住居跡

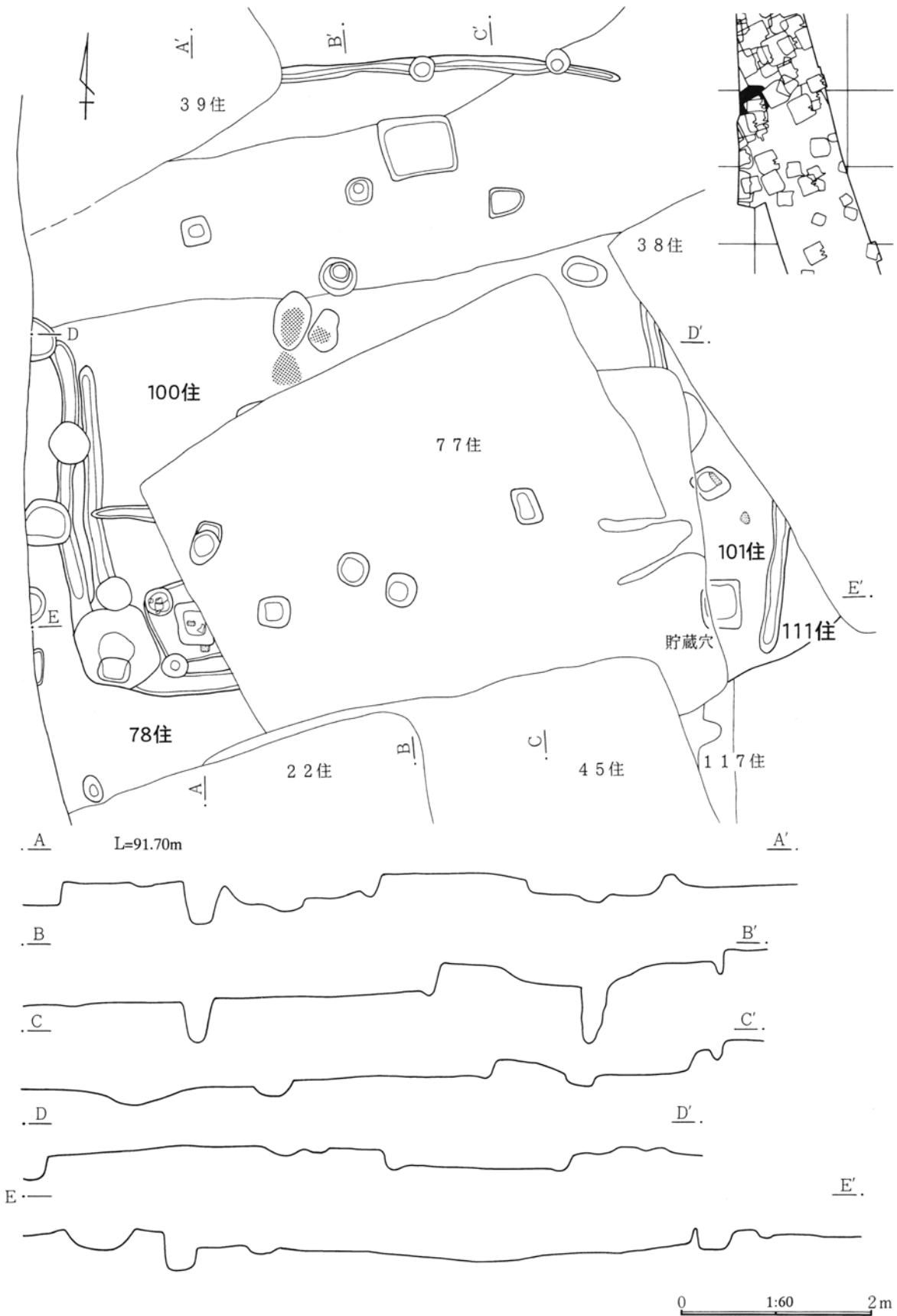
(第205図)

位置 AU-111

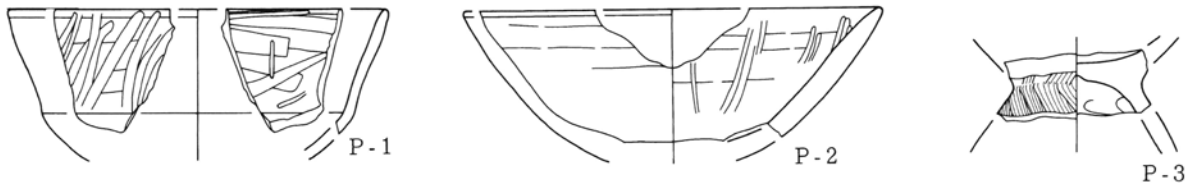
重複 38・101号住居跡と重複し、新旧関係は不明。

形状・規模 不明。77号住居跡の南東部に住居跡の一部を確認した。

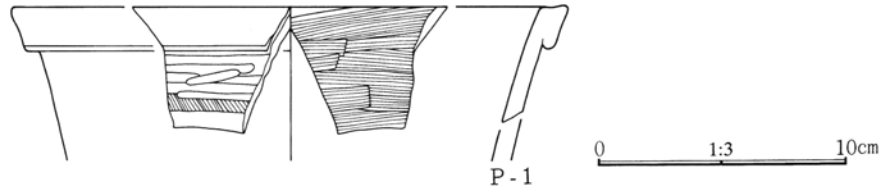
出土遺物 無し



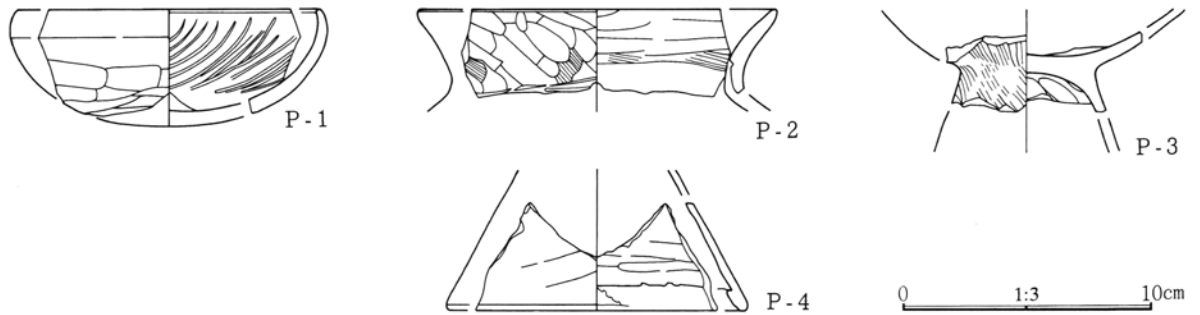
第205図 78・100・101・111号住居跡掘り方



第206図 78号住居跡出土遺物



第207図 100号住居跡出土遺物



第208図 101号住居跡出土遺物

**79号住居跡**

(第210・211図・写真図版23・108・109)

**位置** AU-114

**重複** 23号住居跡と重複し、新旧関係は79号住居跡が古い。

**形状** 隅丸方形

**規模** 長軸5.45×短軸5.4m

**長軸方位** N-65°-E

**壁高** 7~32cm

**間仕切り溝** 4条確認した。規模は幅16~27cm、深さ1~11cmを測る。

**柱穴** ピットを4基確認した。規模は1、21×19cm、深さ43cm。2、30×27cm、深さ51cm。3、34×32cm、深さ40cm。4、26×23cm、深さ40cmを測る。

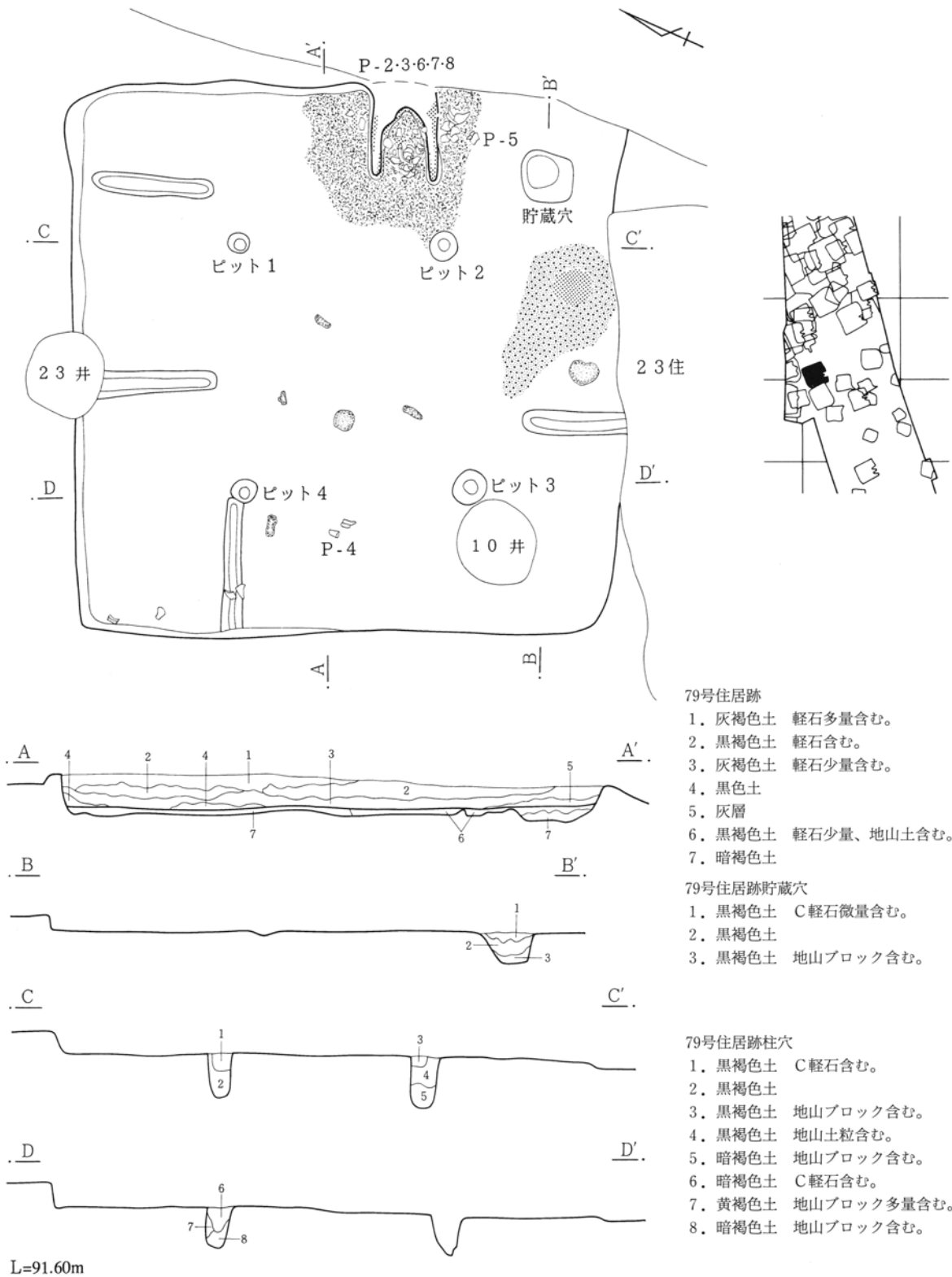
**竈** 東壁に確認した。規模は焚き口幅70cm、長さ72cmを測る。

**貯蔵穴** 東南隅に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は52×46cm、深さ30cmを測る。

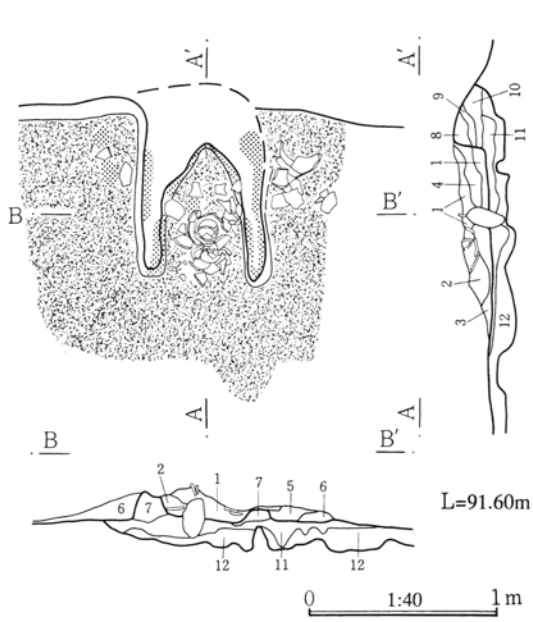
**出土遺物** 内斜口縁・模倣坏・甕が出土している。

**所見** 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。





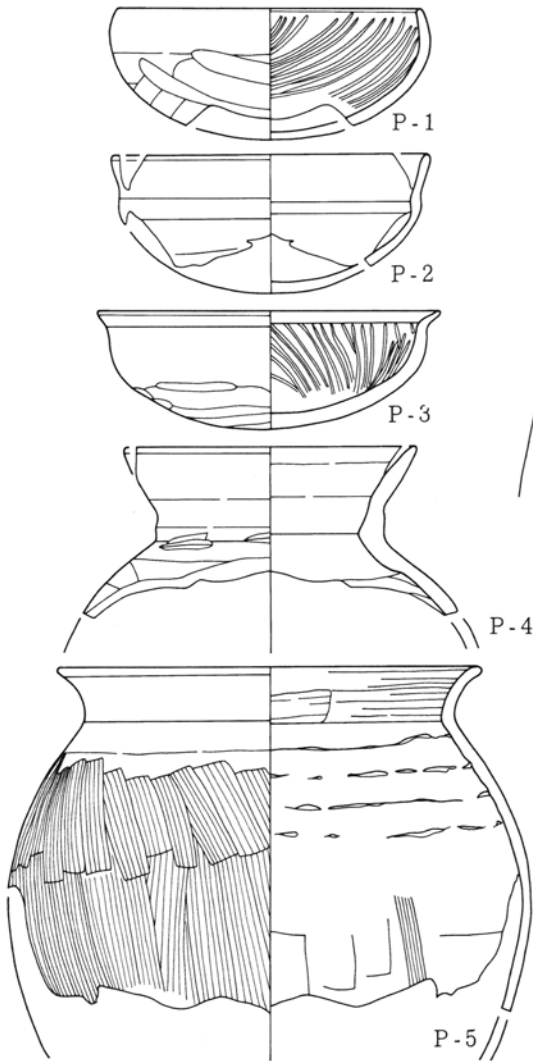
第209図 79号住居跡



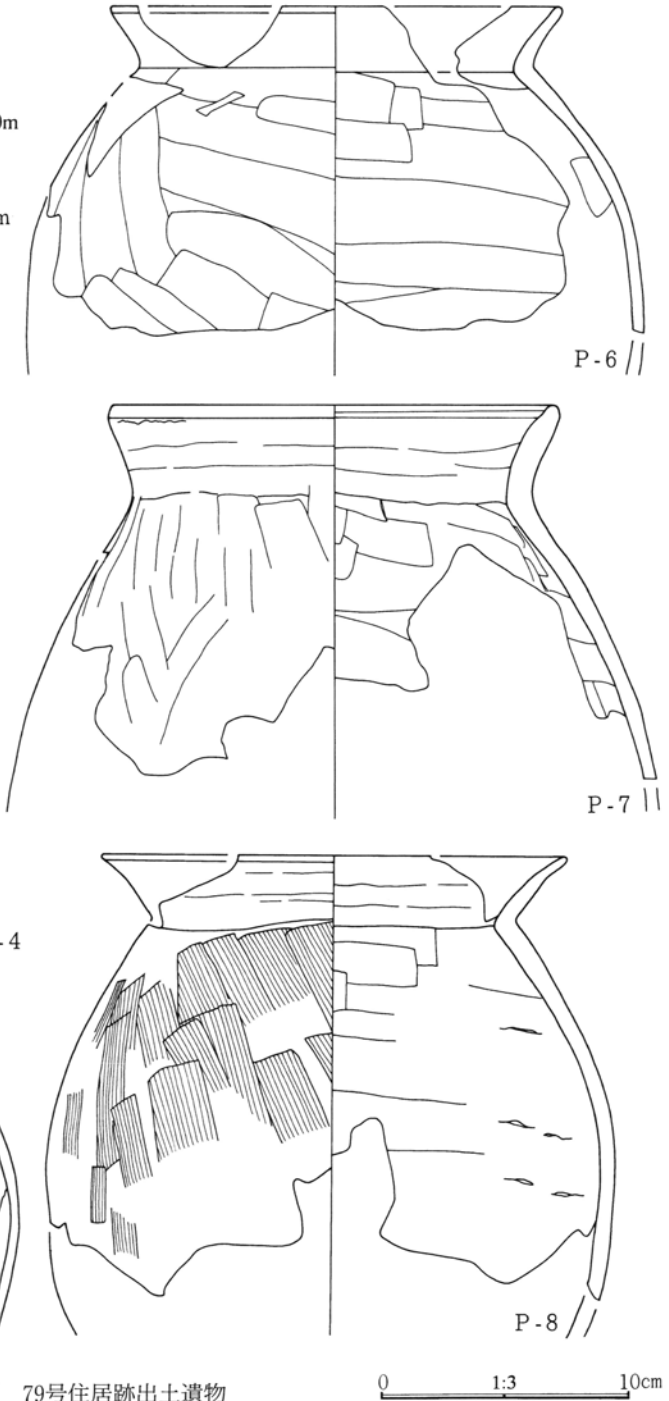
第210図 79号住居跡竈

79号住居跡竈

1. 暗褐色土 焼土微量含む。
2. 暗褐色土 粘土、焼土多量含む。
3. 褐色土 焼土、灰互層。
4. 黒色土 炭化物多量含む。
5. 暗褐色土 焼土、粘土粒多量含む。
6. 暗褐色土 焼土粒、炭化物、灰多量含む。
7. 暗褐色土 粘土、焼土ブロック多量、炭化物、灰微量含む。竈袖材。
8. 暗褐色土 焼土粒、焼土ブロック含む。
9. 明赤褐色土 焼土ブロック主体土。
10. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
11. 黒褐色土 白色軽石含む。
12. 暗褐色土 地山ブロック含む。



第211図 79号住居跡出土遺物



80号住居跡

(第213・214図・写真図版23・109)

位置 AV-102

重複 21・59・62号住居跡と重複し、新旧関係はこの3軒より80号住居跡が古い。

形状 不明

規模 長軸 $7.38 + \alpha$  × 短軸 $6.06 + \alpha$  m

長軸方位 N-15°-W

壁高 1~21cm

周溝 部分的に確認した。規模は幅7~25cm、深さ

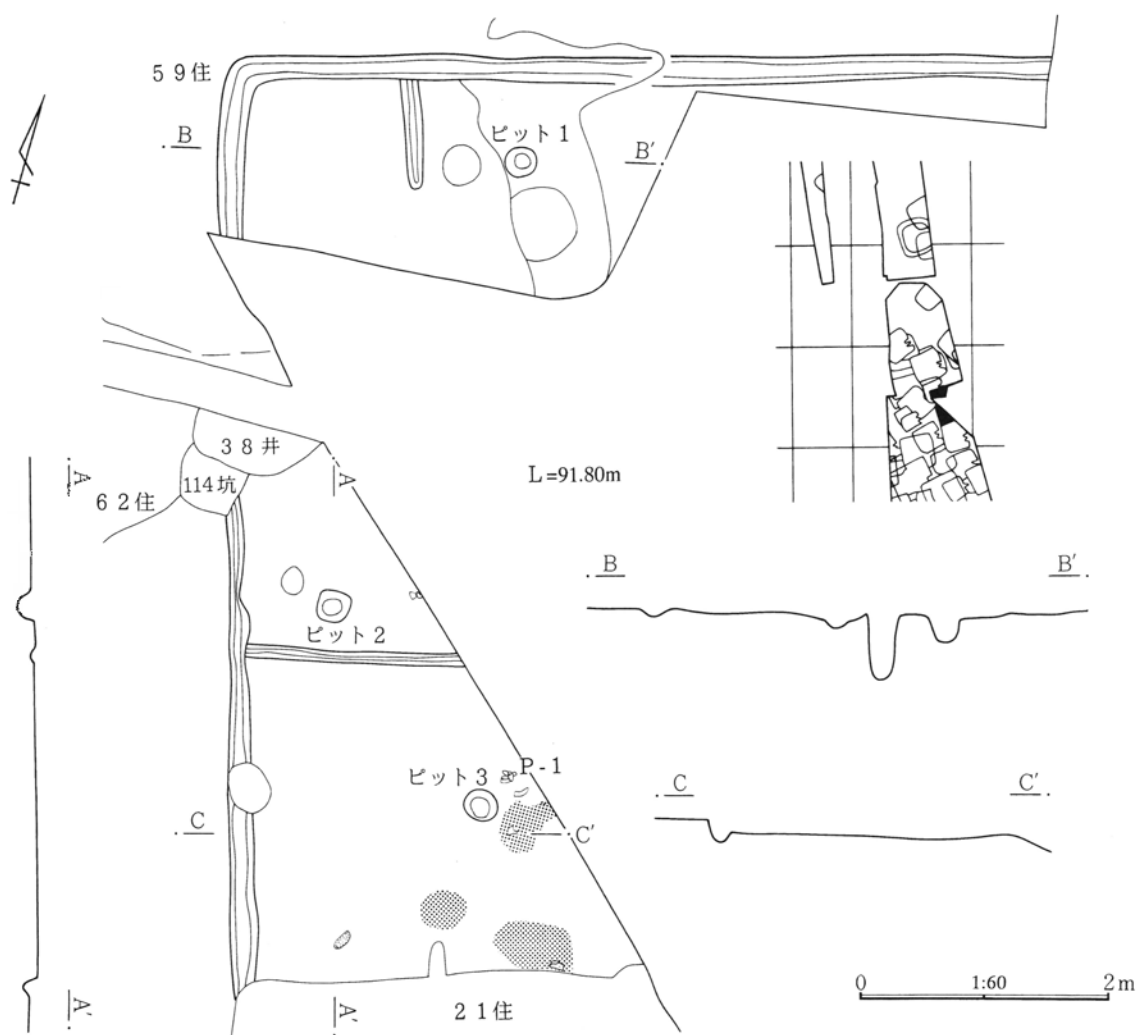
3~7cmを測る。

間仕切り溝 1条確認した。規模は幅10~12cm、深さ3~5cmを測る。

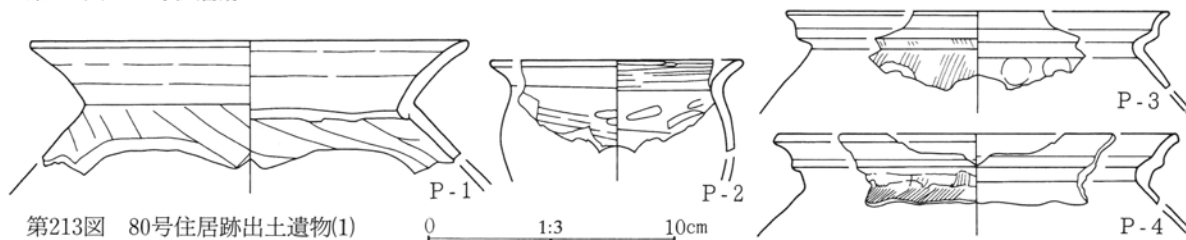
柱穴 ピットを3基確認した。規模は1、26×23cm、深さ17cm。2、26×23cm、深さ10cm。3、27×26cm、深さ49cmを測る。

出土遺物 S字状口縁台付甕、土師器平底甕、高坏が出土している。

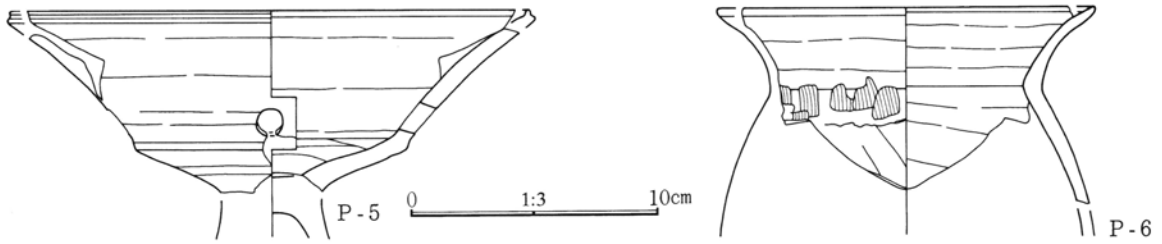
所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。



第212図 80号住居跡



第213図 80号住居跡出土遺物(1)



第214図 80号住居跡出土遺物(2)

81号住居跡

(第215・216図・写真図版24・109)

位置 AT-107

重複 6・39・44・48号住居跡と重複し、新旧関係はこの4軒より81号住居跡が古い。

形状 不明

規模 長軸 $5.4+\alpha$ ×短軸 $4.43+\alpha$ m

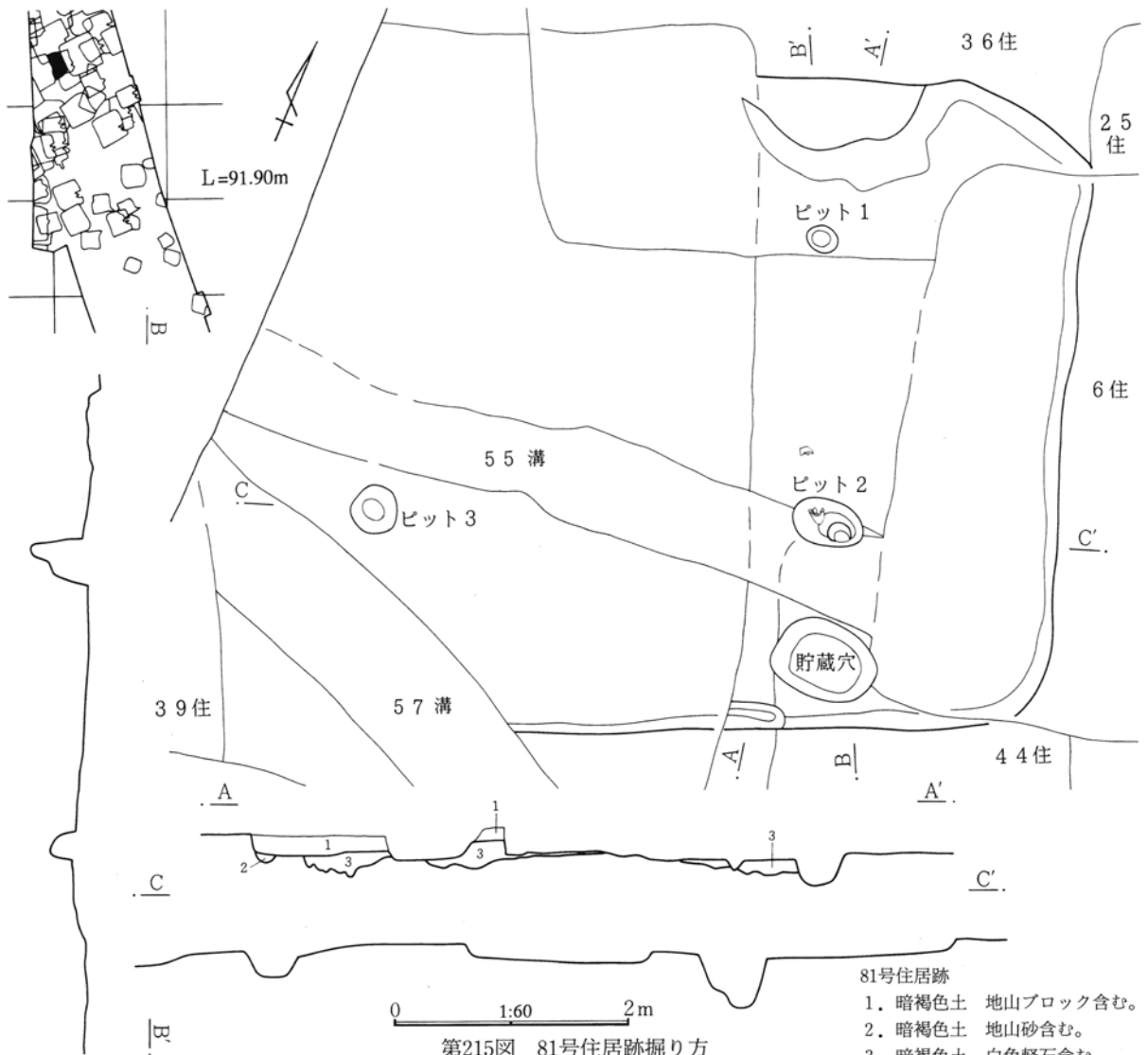
柱穴 ピットを3基確認した。規模は1、 $27\times 21$ cm、

深さ21cm。2、 $62\times 38$ cm、深さ40cm。3、 $40\times 40$ cm、深さ22cmを測る。

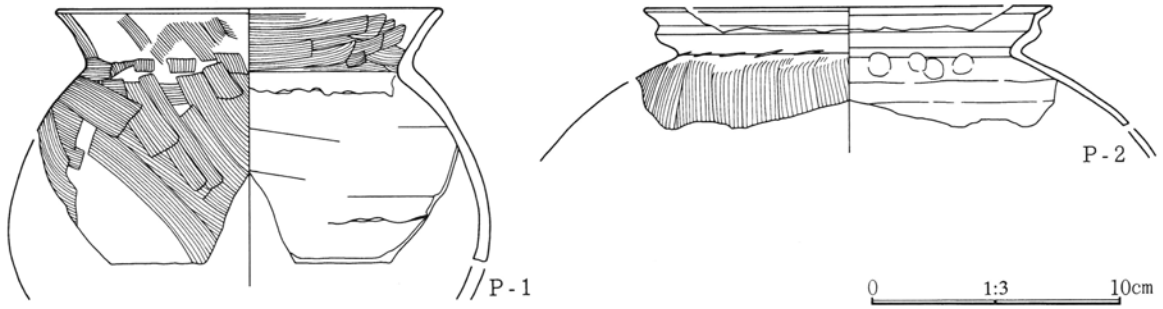
貯蔵穴 東南隅に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は $87\times 62$ cm、深さ48cmを測る。

出土遺物 S字状口縁台付甕、土師器平底甕が出土している。

所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。



第215図 81号住居跡掘り方



第216図 81号住居跡出土遺物

83号住居跡

(第217～219図・写真図版24・109・110)

位置 AX-117

重複 単独

形状 不明

規模 長軸3.17×短軸2.88m

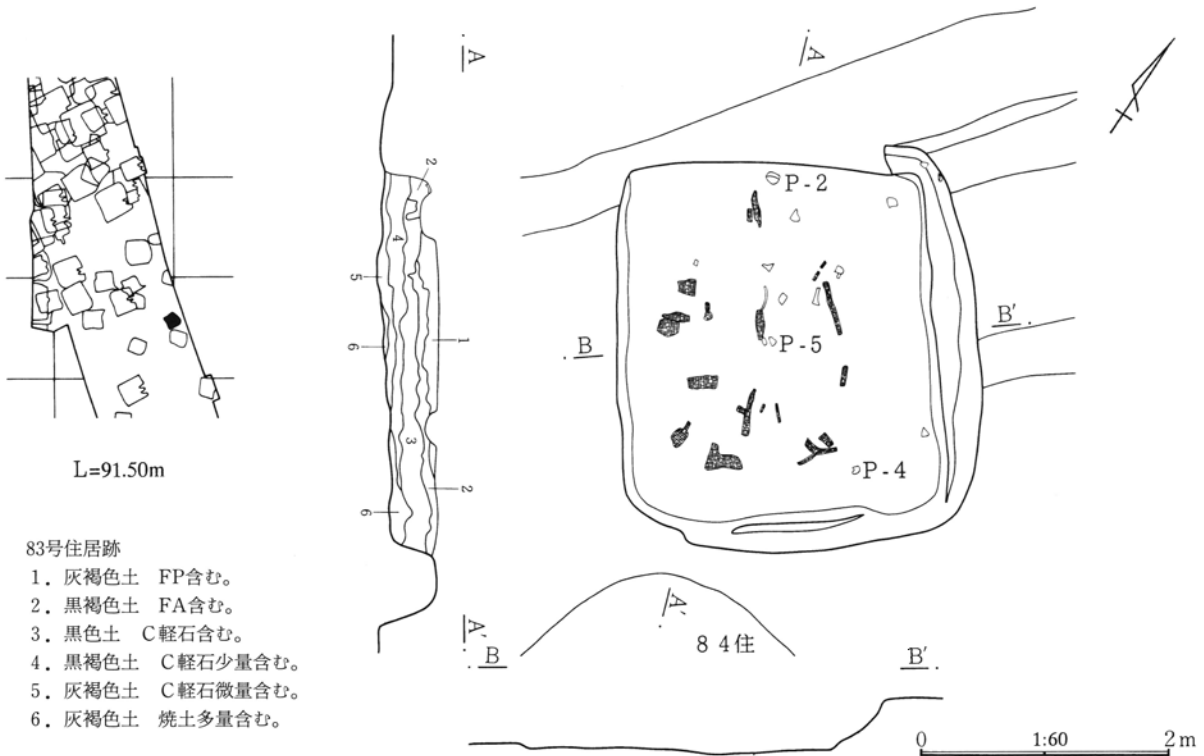
長軸方位 N-34°-W

壁高 4～40cm

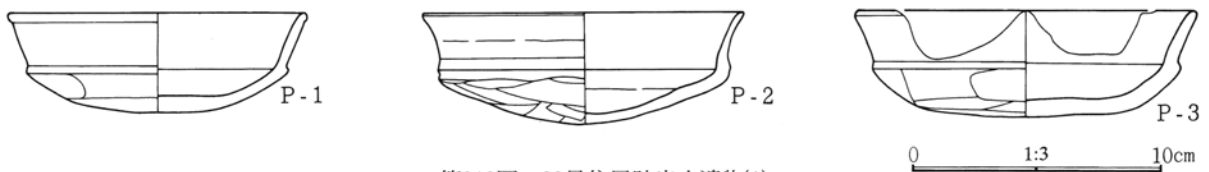
周溝・柱穴・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

出土遺物 内斜口縁坏、模倣坏、4世紀の二重口縁壺が出土している。

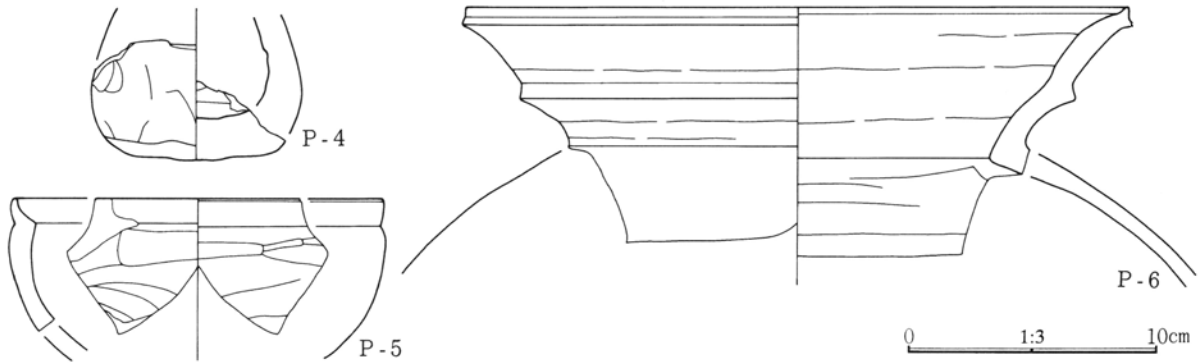
所見 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。



第217図 83号住居跡



第218図 83号住居跡出土遺物(1)



第219図 83号住居跡出土遺物(2)

84号住居跡

(第220~222図・写真図版)

位置 BA-118

重複 単独

形状 隅丸方形

規模 長軸3.8×短軸3.1m

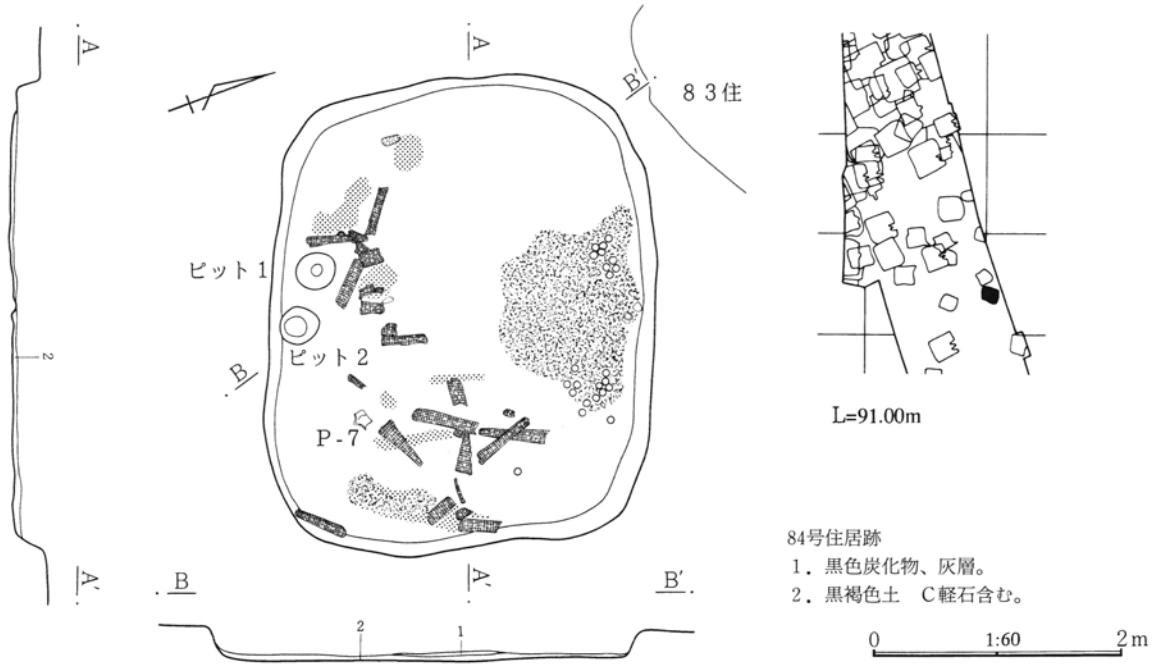
長軸方位 N-67°-W

壁高 15~25cm

柱穴 ピットを2基確認した。規模は1、34×30cm、深さ27cm。2、30×28cm、深さ14cmを測る。

出土遺物 S字状口縁台付甕、土師器平底甕、壺、二重口縁壺の他樽式土器破片が出土している。

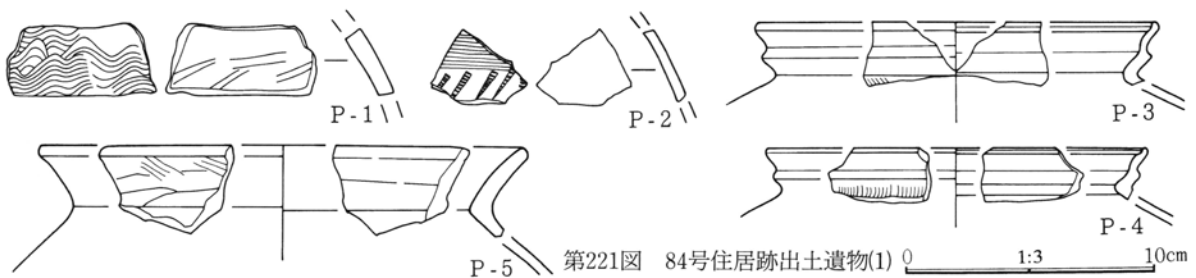
所見 出土遺物から3世紀末から4世紀前半の住居跡と考えられる。



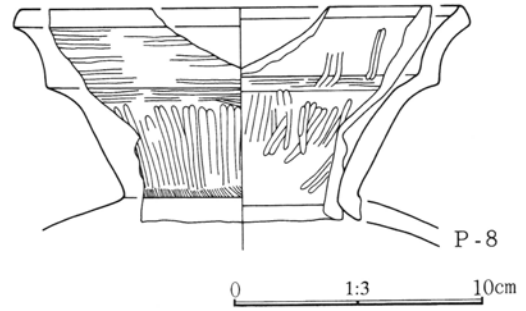
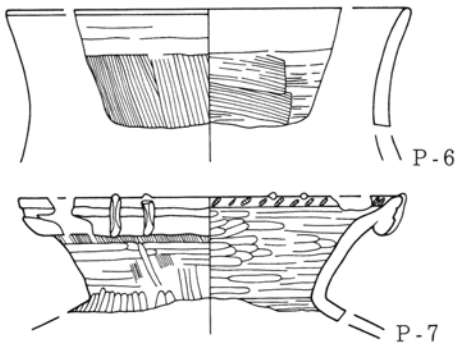
第220図 84号住居跡

84号住居跡

- 1. 黒色炭化物、灰層。
- 2. 黒褐色土 C軽石含む。



第221図 84号住居跡出土遺物(1)



第222図 84号住居跡出土遺物(2)

85号住居跡

(第223～225図・写真図版24・110)

位置 AY-113

重複 単独

形状 隅丸方形

規模 長軸5.1×短軸5m

長軸方位 N-86°-E

壁高 6～17cm

柱穴 ピットを4基確認した。規模は1、23×21cm、

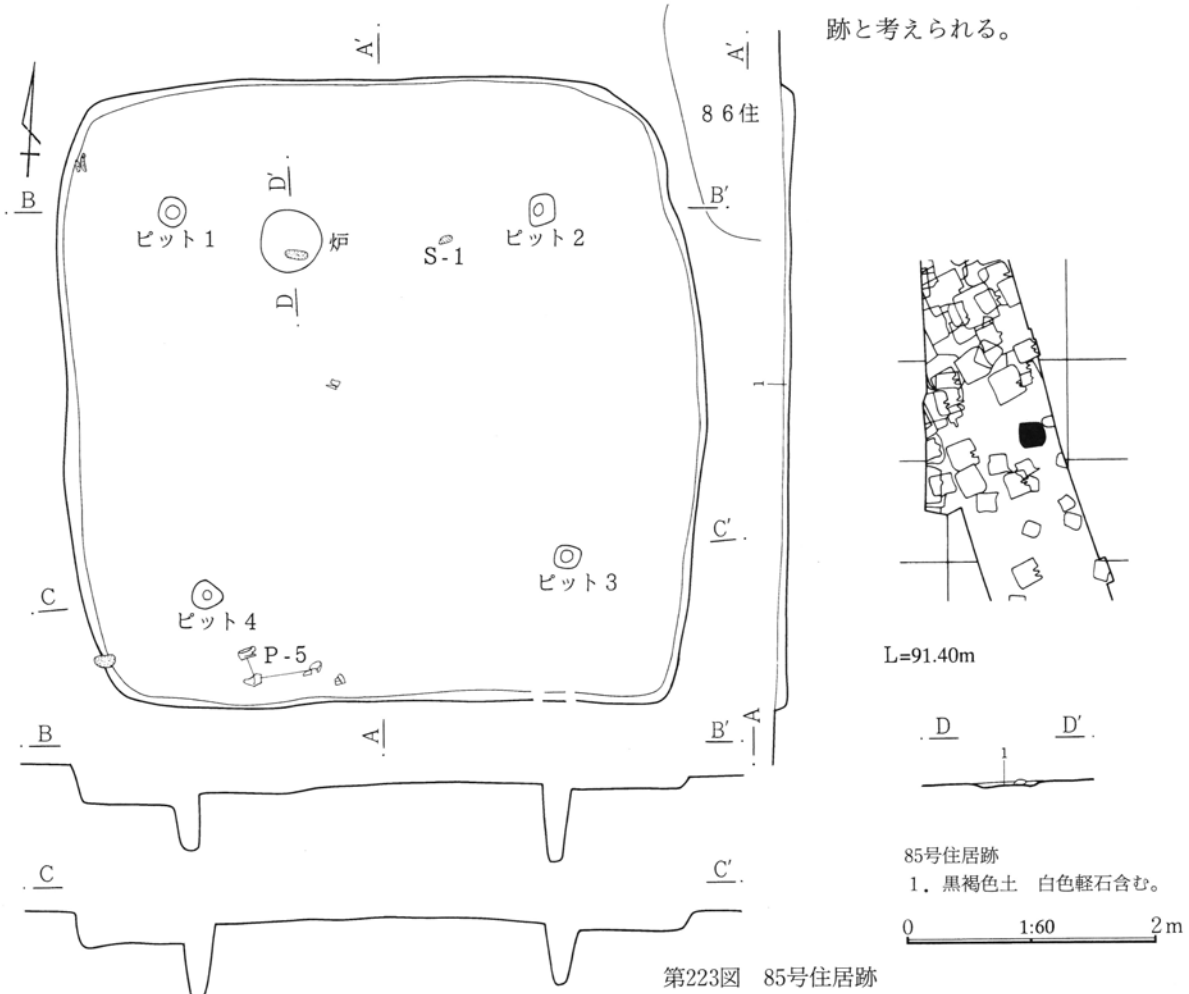
深さ45cm。2、23×21cm、60cm。3、21×17cm、深さ45cm。4、21×21cm、深さ55cmを測る。

炉 北壁寄りに確認した。形状は円形を呈し、規模は50×48cm、深さ3cmを測る。

掘り方 床下ピットを2基確認した。規模は1、32×30+αcm、深さ22cm。2、38×34cm、深さ不明。

出土遺物 S字状口縁台付甕、土師器平底甕、壺が出土している。

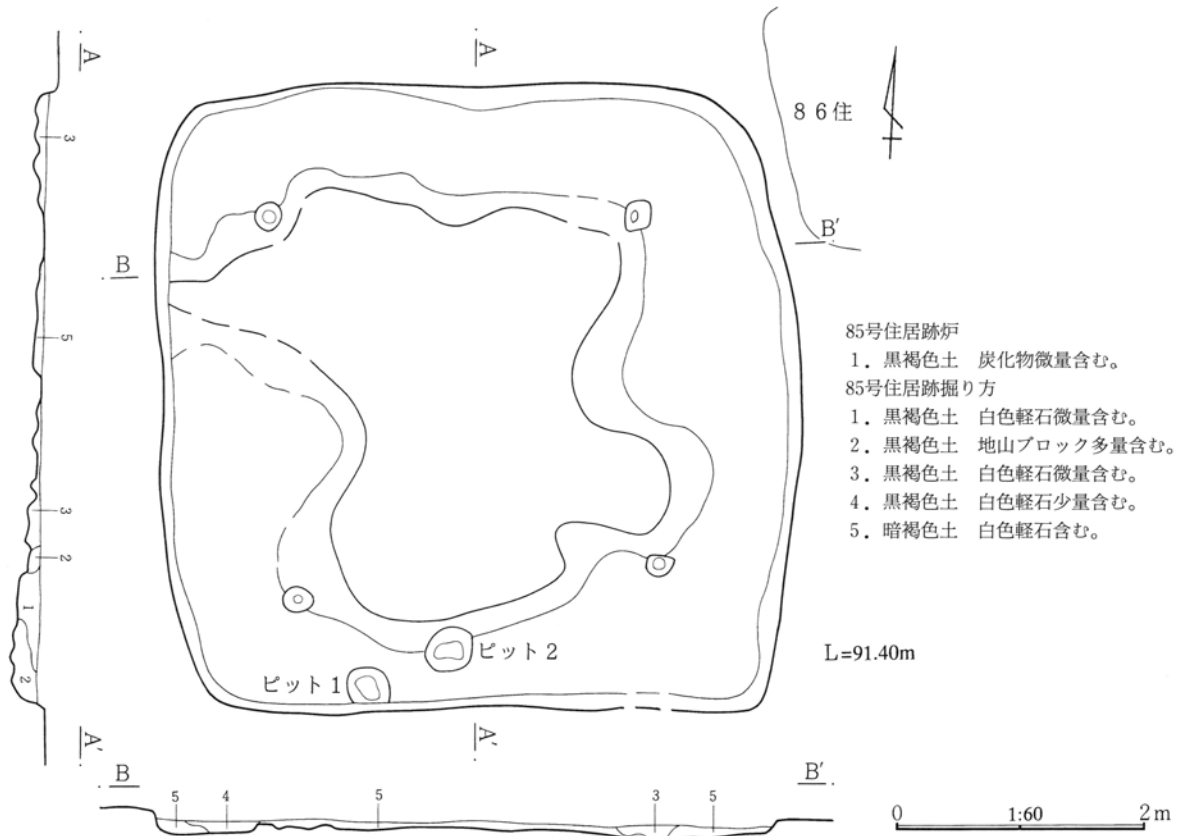
所見 出土遺物から、3世紀末～4世紀前半の住居跡と考えられる。



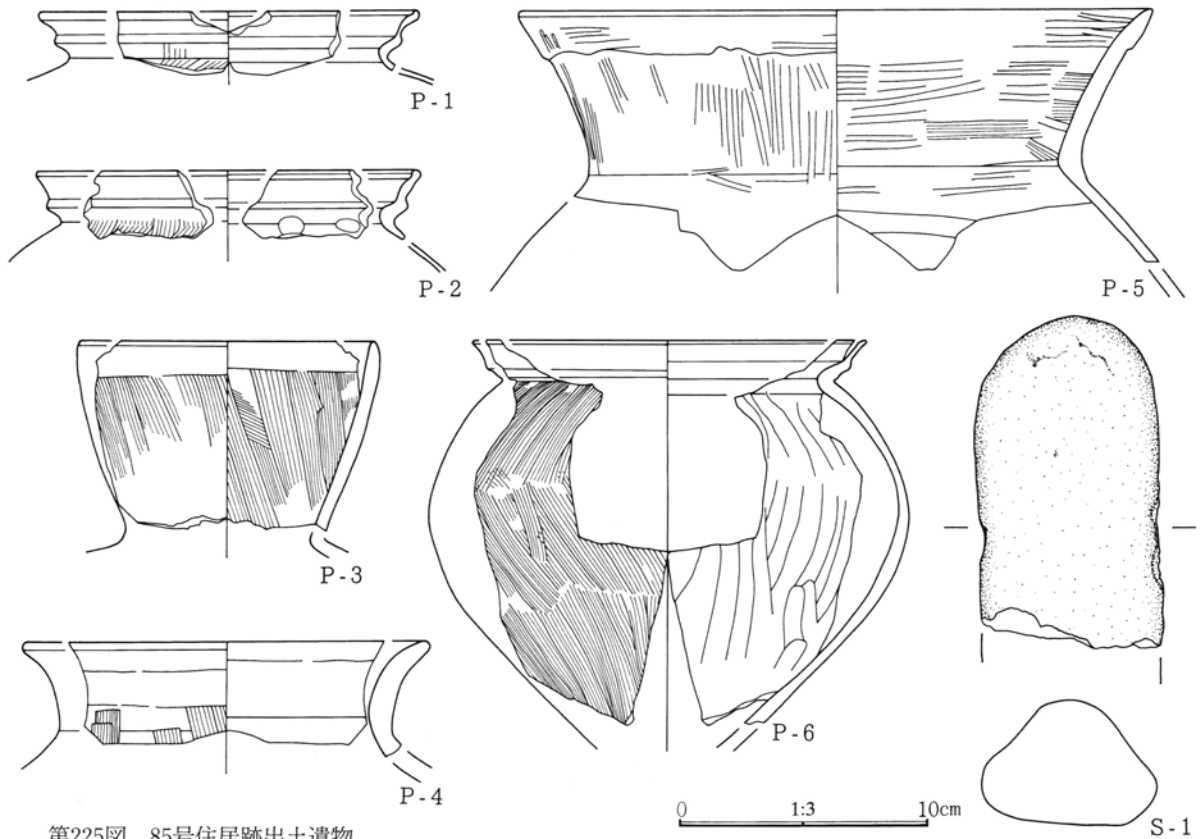
第223図 85号住居跡

85号住居跡  
1. 黒褐色土 白色軽石含む。

0 1:60 2m



第224図 85号住居跡掘り方



第225図 85号住居跡出土遺物



86号住居跡

(第226・227図・写真図版110)

位置 AZ-113

重複 単独

形状 隅丸方形

規模 長軸2.25×短軸2.15+ $\alpha$ m

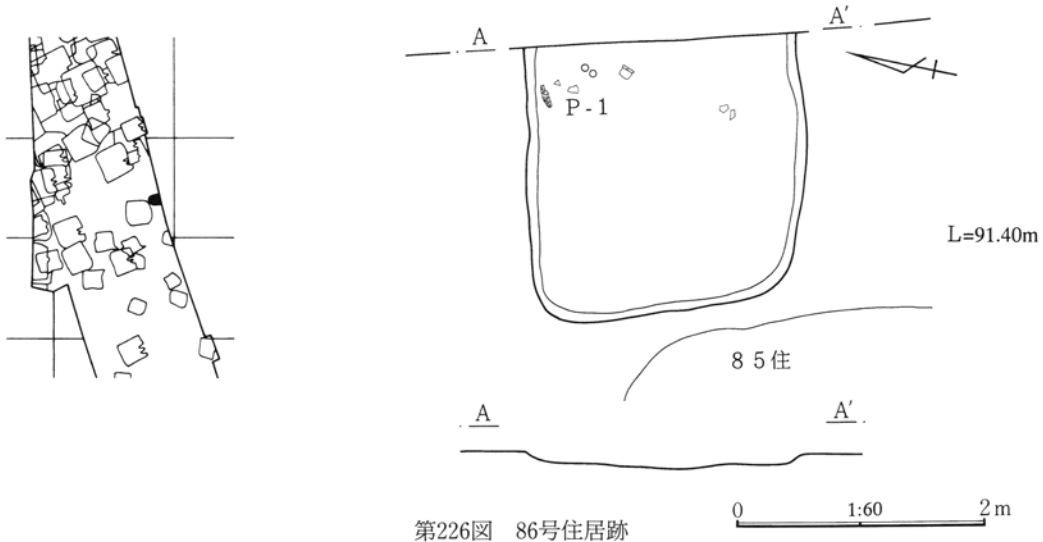
長軸方位 N-15°-W

壁高 1~8cm

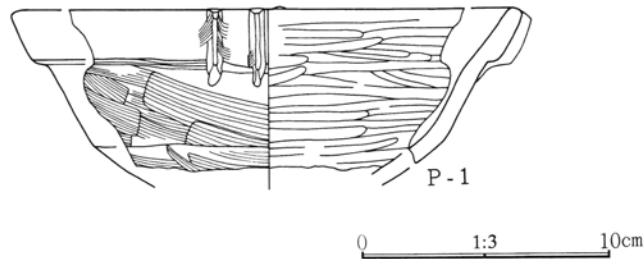
周溝・炉・柱穴等の諸施設は検出されていない。

出土遺物 壺の口縁が出土している。

所見 出土遺物から、3世紀末~4世紀前半の住居跡と考えられる。



第226図 86号住居跡



第227図 86号住居跡出土遺物

87号住居跡

(第228・229図・写真図版24・25・111)

位置 AZ-114

重複 単独

形状 不明

規模 長軸2.75×短軸1.8+ $\alpha$ m

長軸方位 N-18°-E

土坑 北西隅に土坑を確認した。形状は楕円形を呈し、規模は1.13×1.08cm、深さ39cmを測る。

掘り方 床下ピットを2基確認した。規模は1、44×41cm、深さ13cm。2、33×33cm、深さ7cmを測る。

出土遺物 S字状口縁台付甕、二重口縁壺、北陸系

土器等が出土している。

所見 出土遺物から、3世紀末~4世紀前半の住居跡と考えられる。

88号住居跡

(第230~237図・写真図版25・112~116)

位置 BB-120

重複 単独

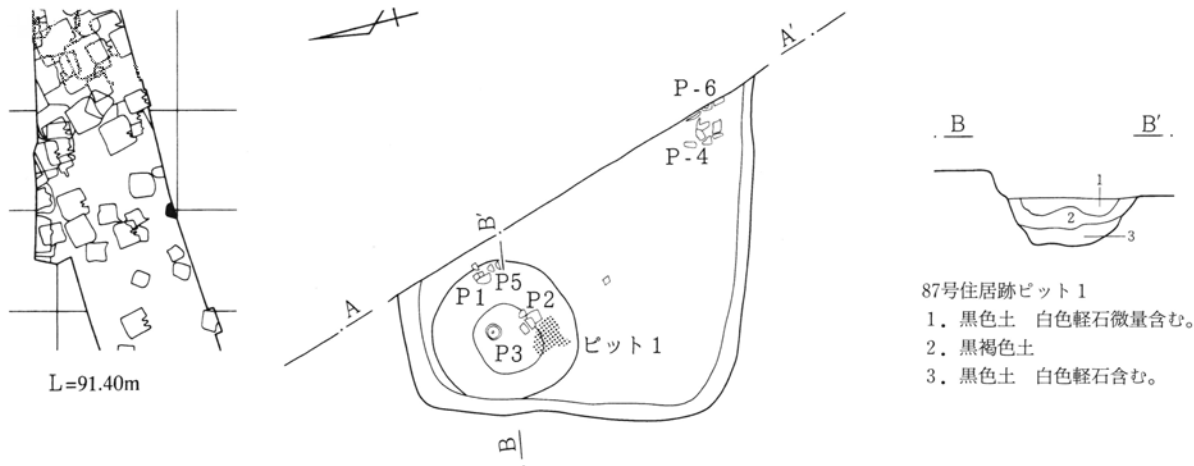
形状 隅丸方形

規模 長軸3.9×短軸3.38m

長軸方位 N-12°-E

壁高 15~22cm

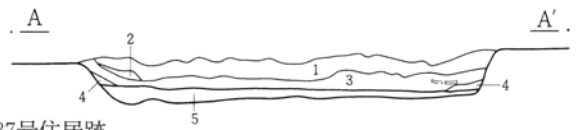
第5章 遺構と遺物



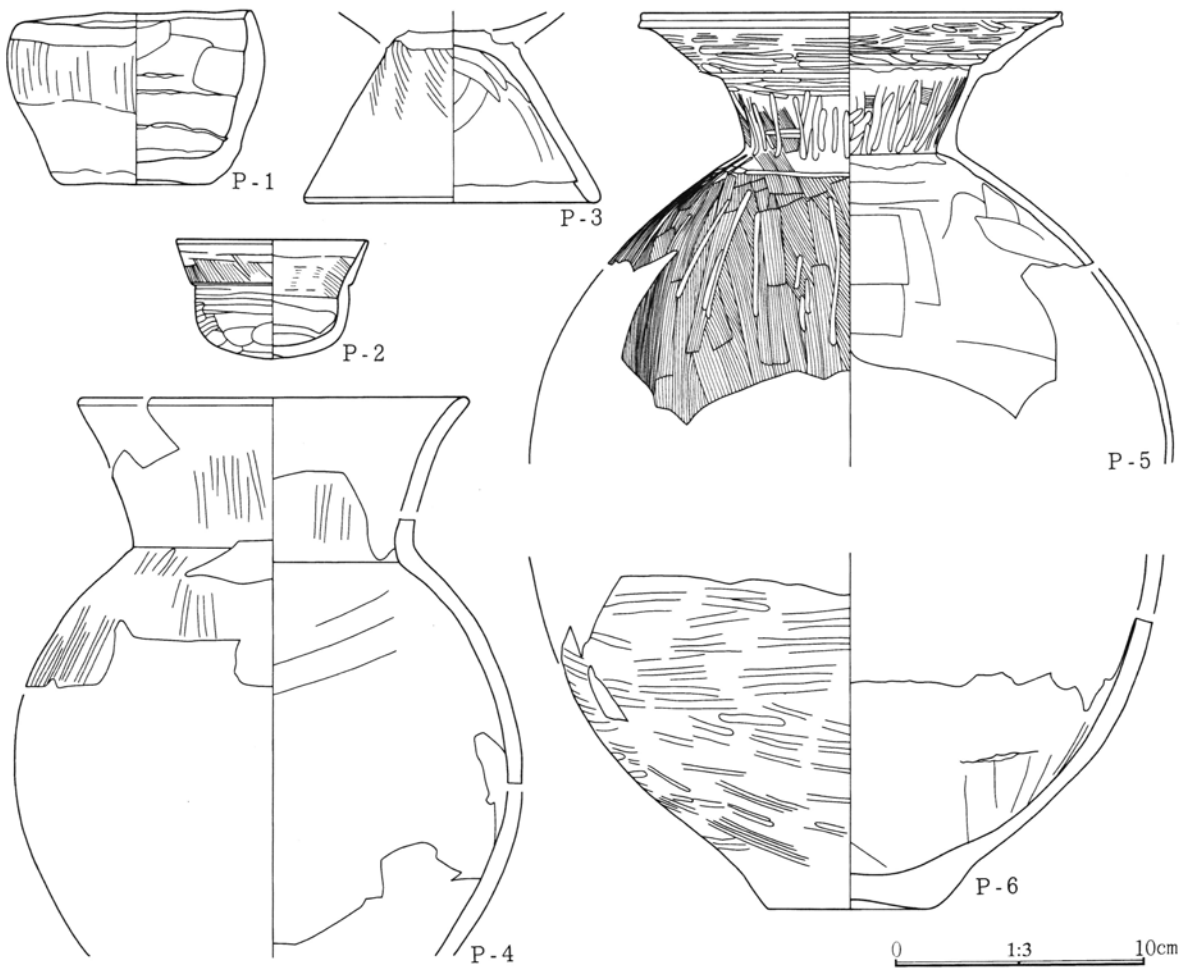
87号住居跡

1. 黒褐色土 白色軽石微量含む。
2. 黒褐色土 白色軽石少量含む。
3. 黒褐色土 白色軽石、炭化物微量含む。
4. 黒褐色土 地山含む。
5. 暗褐色土 白色軽石含む。

第228図 87号住居跡

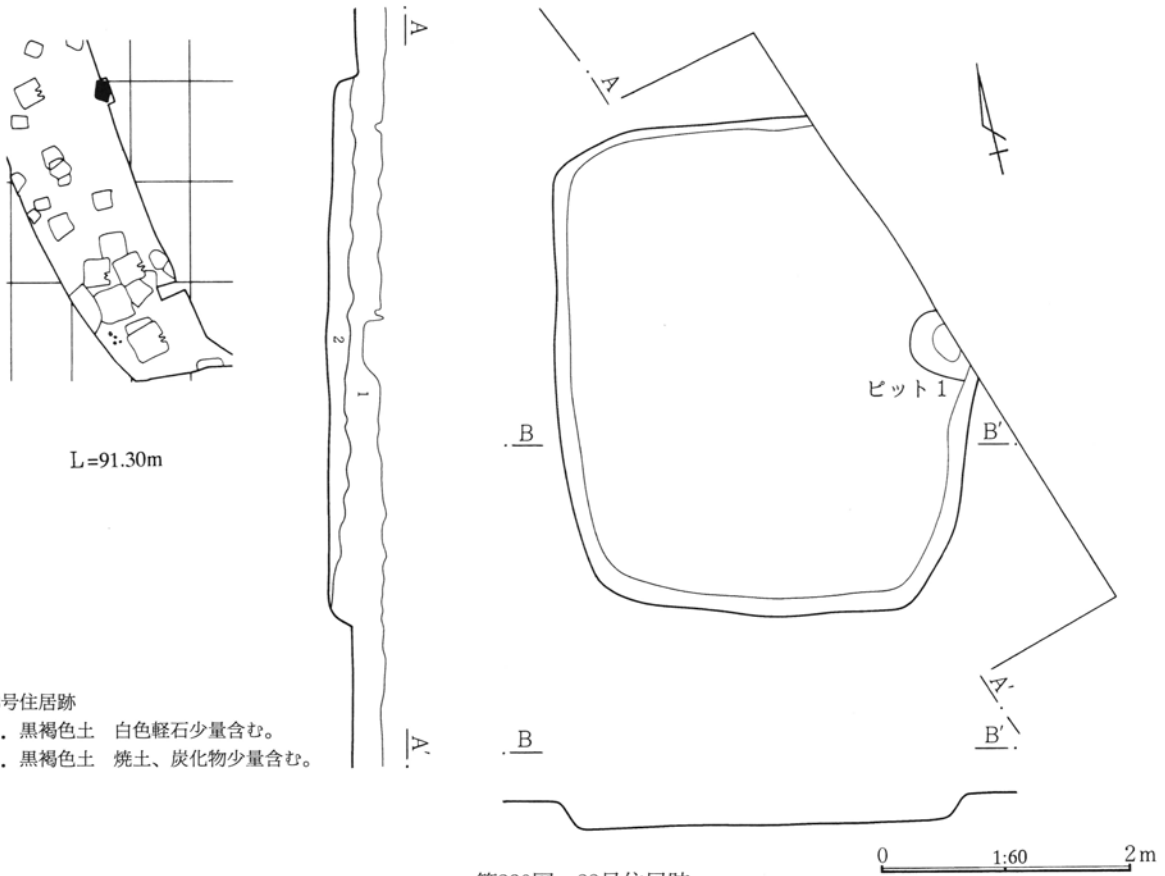


0 1:60 2m



第229図 87号住居跡出土遺物

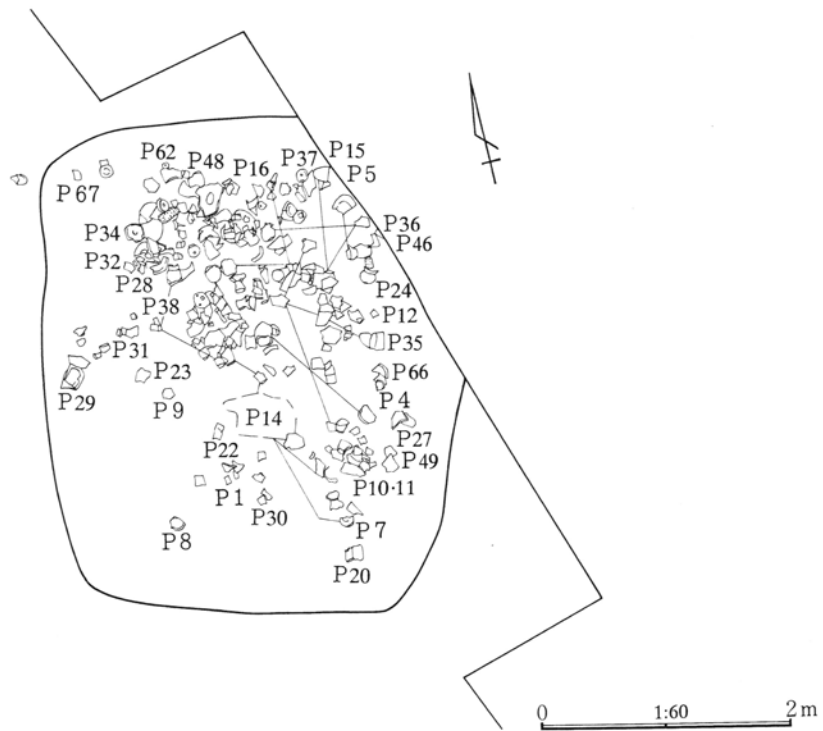
0 1:3 10cm



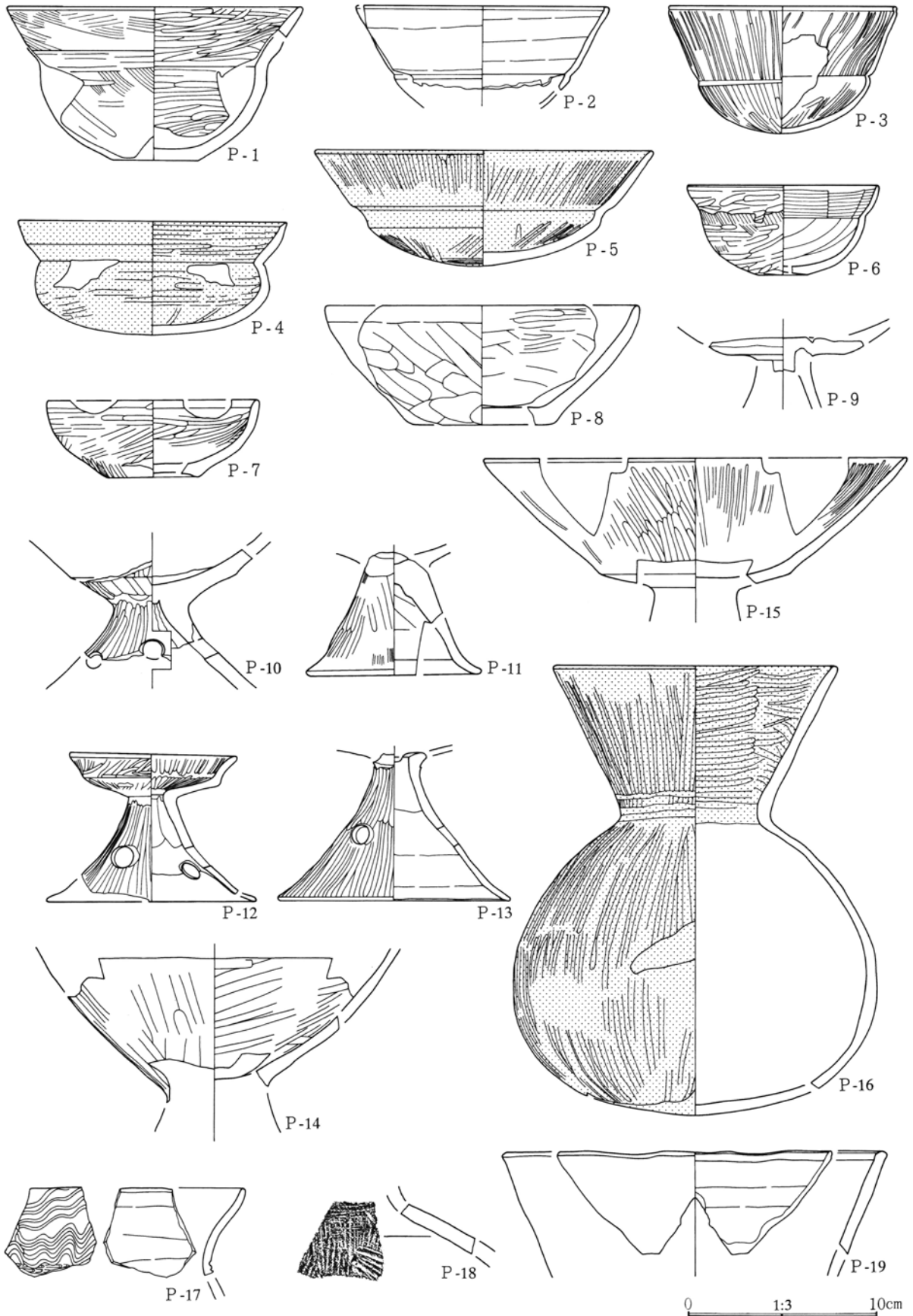
88号住居跡

- 1. 黒褐色土 白色軽石少量含む。
- 2. 黒褐色土 焼土、炭化物少量含む。

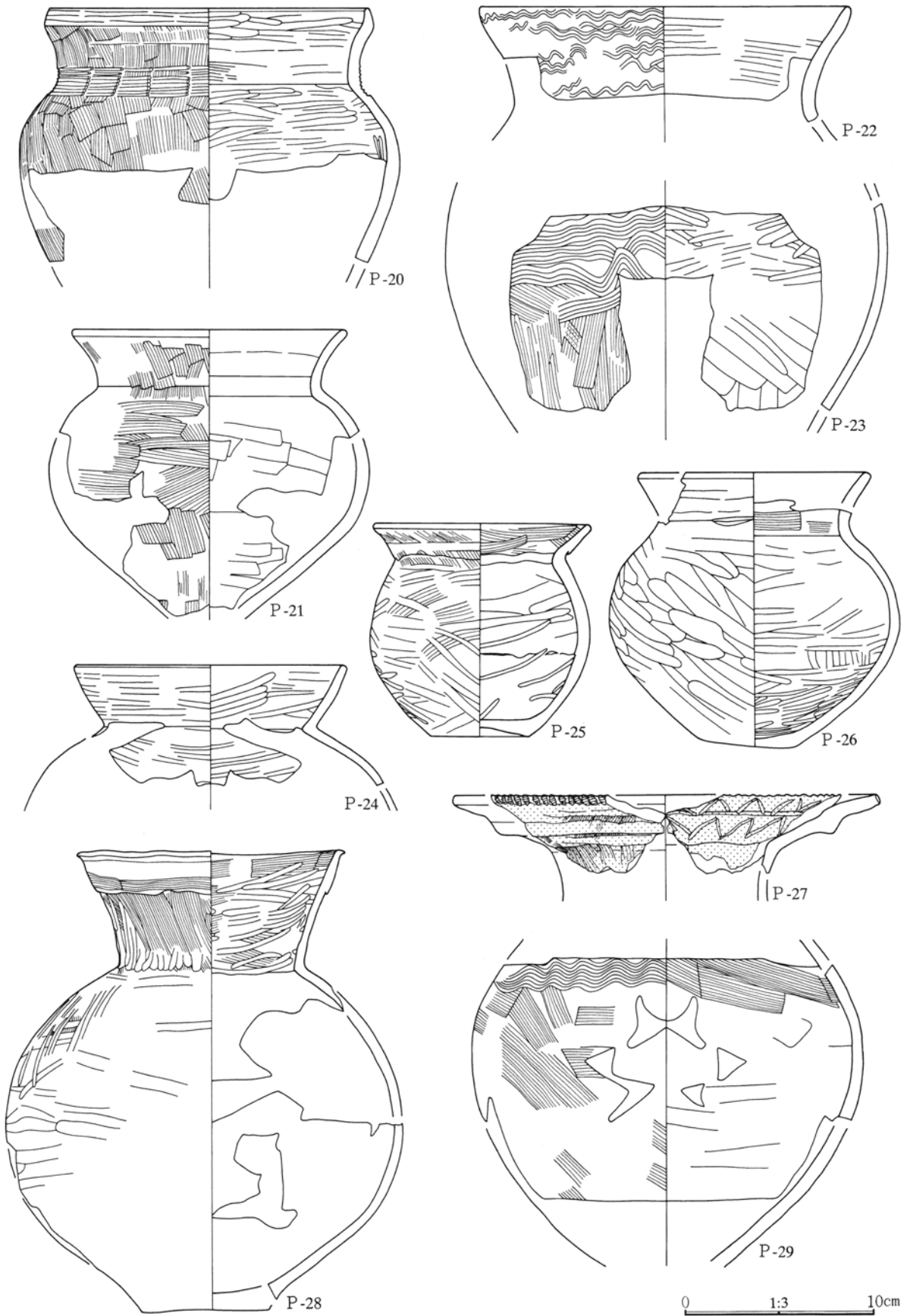
第230図 88号住居跡



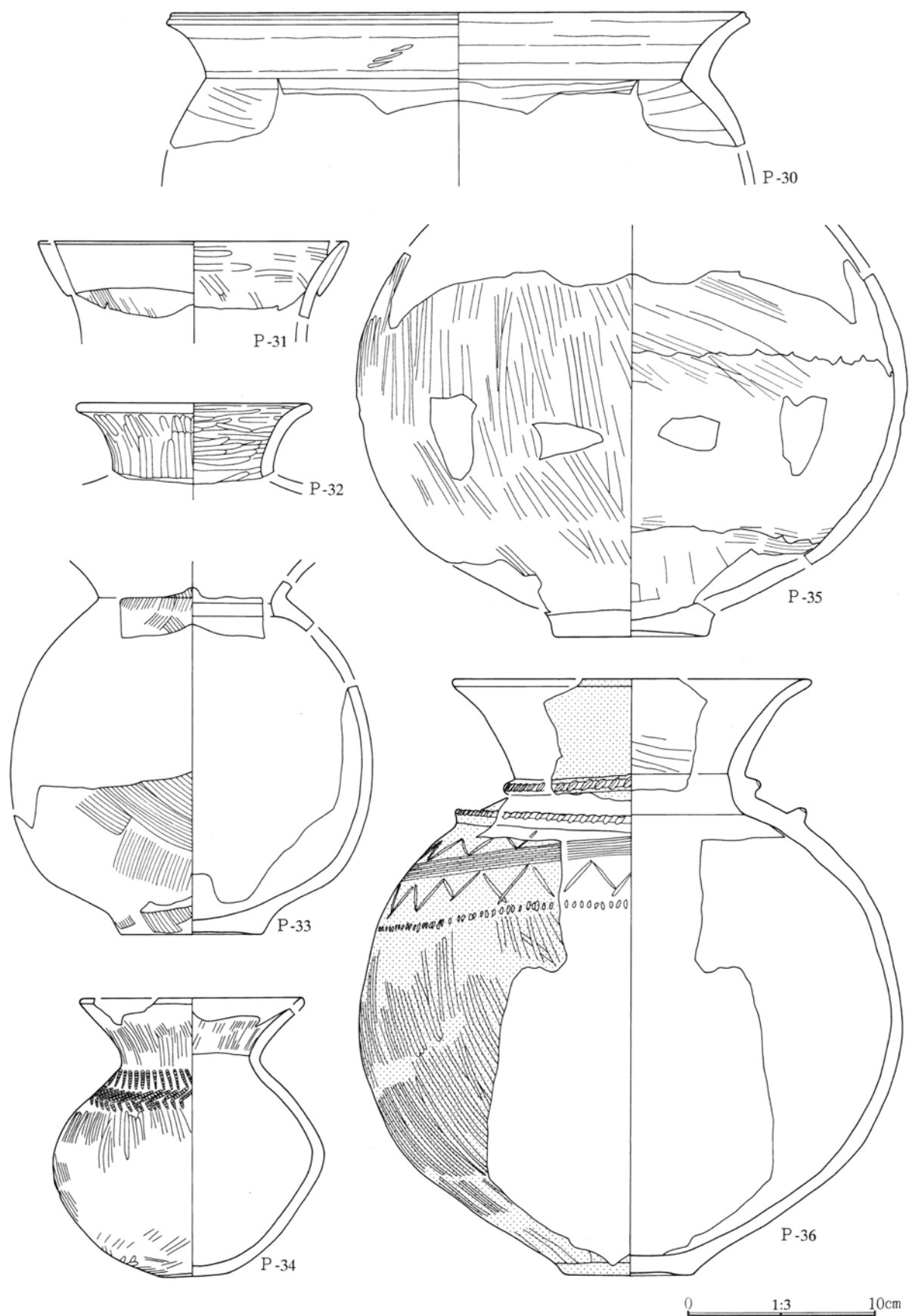
第231図 88号住居跡遺物散布図



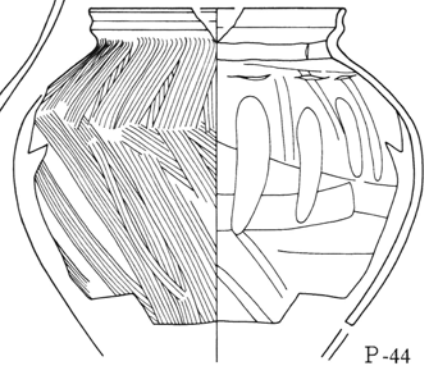
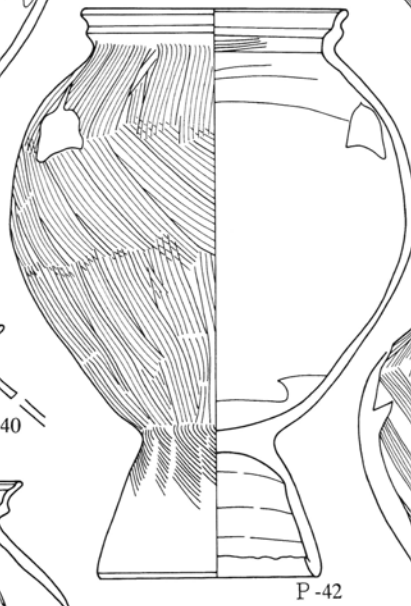
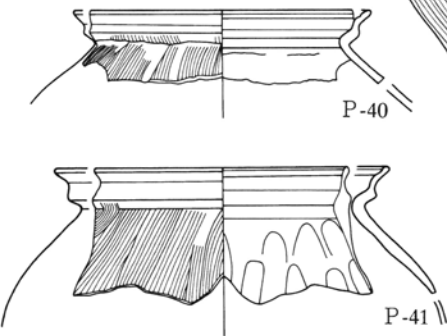
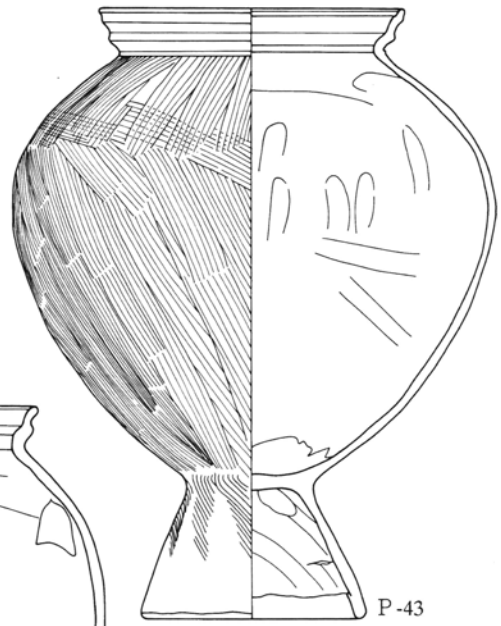
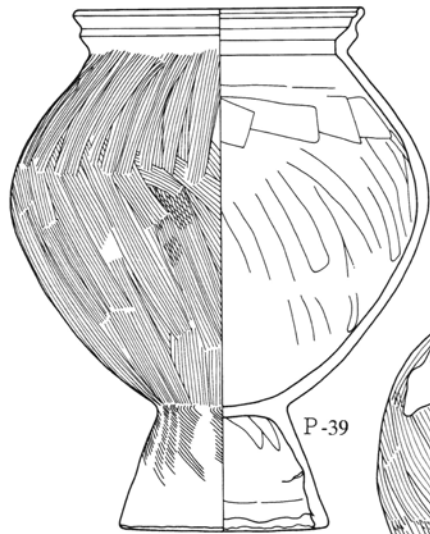
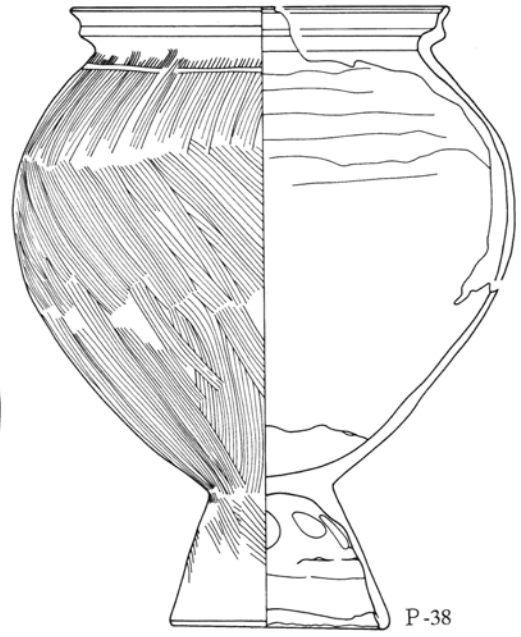
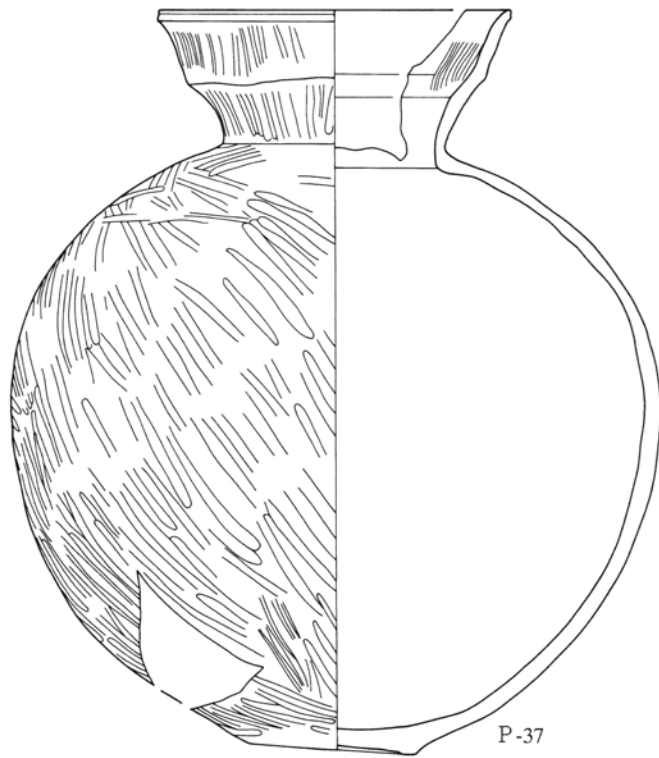
第232図 88号住居跡出土遺物(1)



第233図 88号住居跡出土遺物(2)

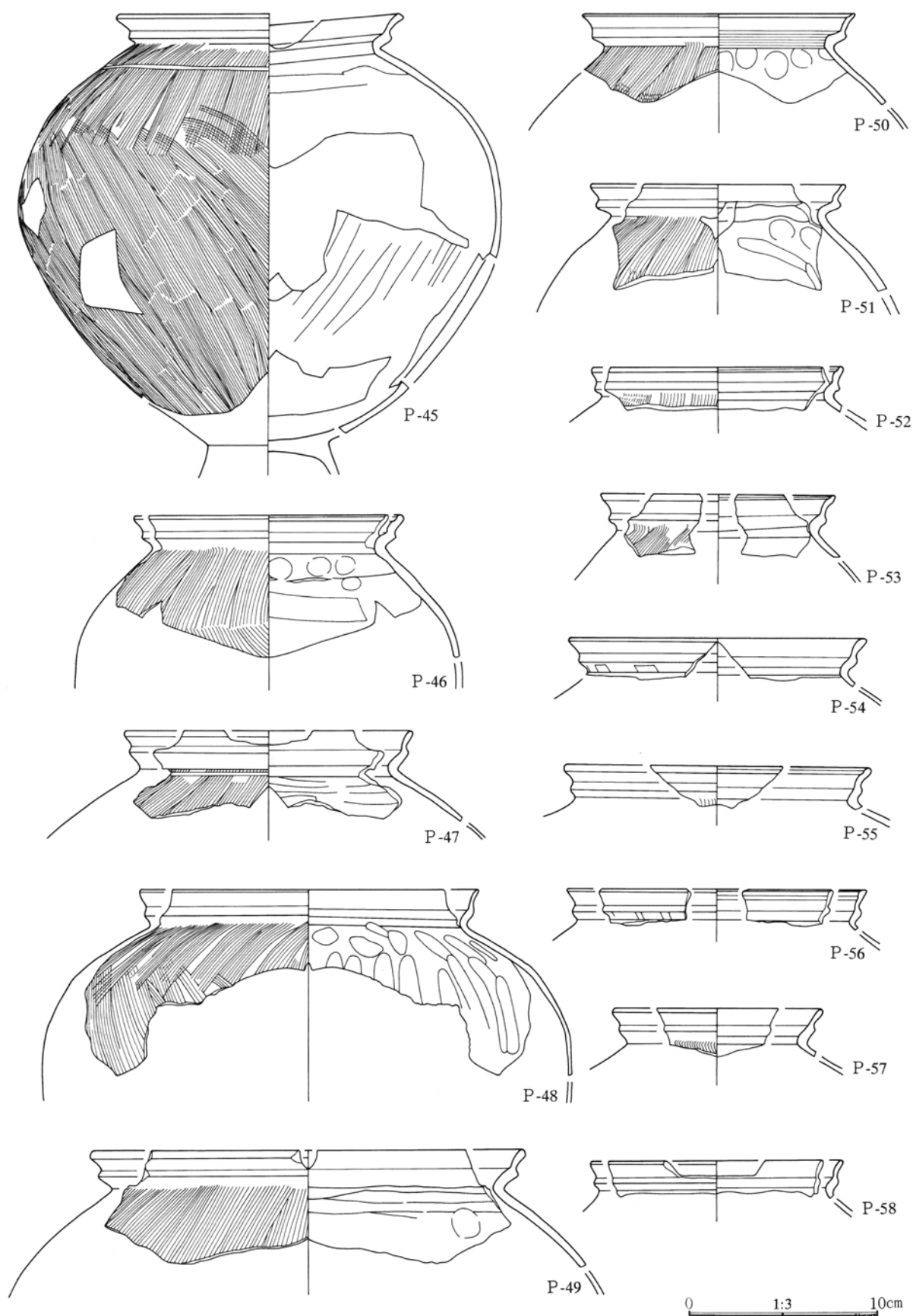


第234図 88号住居跡出土遺物(3)



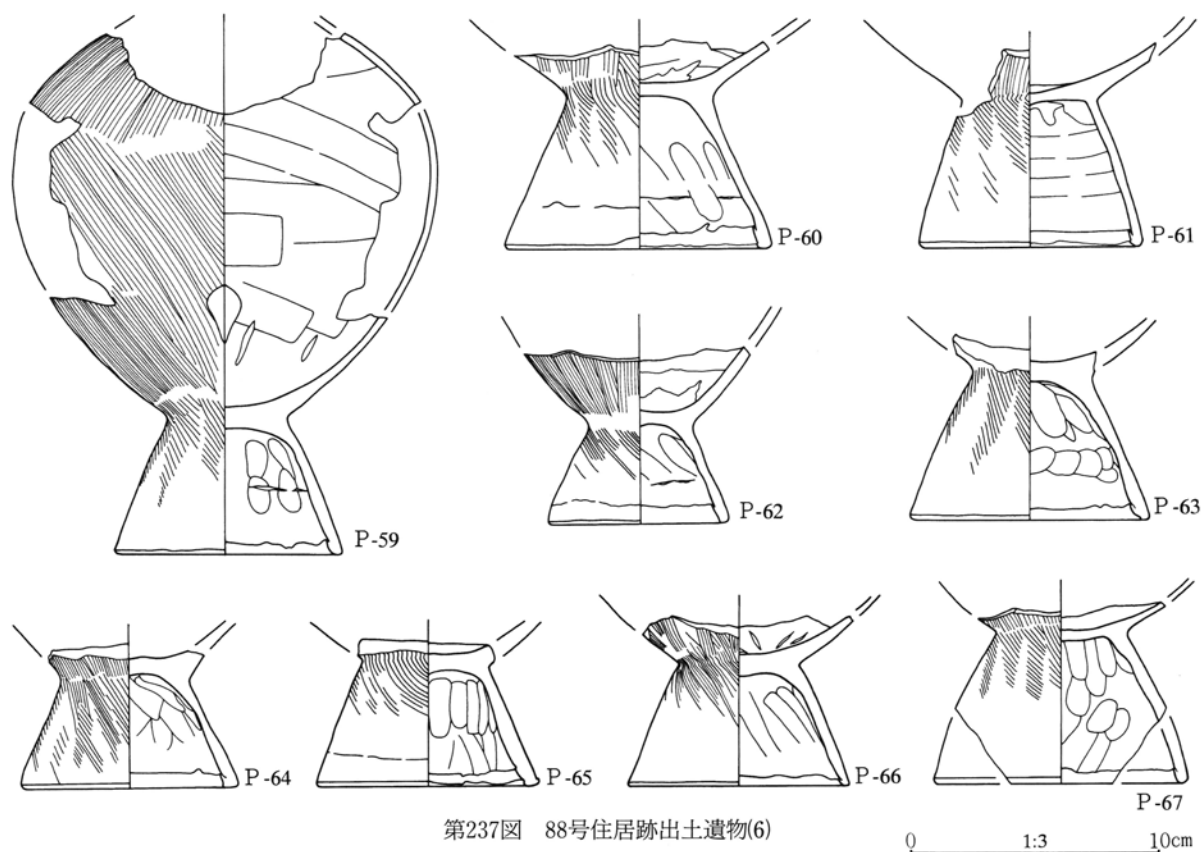
0 1:3 10cm

第235図 88号住居跡出土遺物(4)



第236図 88号住居跡出土遺物(5)





第237図 88号住居跡出土遺物(6)

**柱穴** ピットを1基確認した。規模は58×37+αcm、深さ9cmを測る。

周溝・炉・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

**出土遺物** 当住居跡からは大量の土器が出土している。総出土個体数は67個体。内訳はS字状口縁台付甕30、土師器平底甕5、樽式土器甕3、壺10、埴6の他高坏基だが出土している。壺はパレス・二重口縁壺・ひさご壺等が出土している。

**所見** 出土遺物から、4世紀前半の住居跡と考えられる。

**89号住居跡**

(第238～242図・写真図版26・116～119)

**位置** AX-110

**重複** 32・68・70・90号住居跡と重複し、新旧関係は90号住居跡より新しく、他の3軒より89号住居跡が古い。

**形状・規模** 不明

**壁高** 4～8cm

**竈** 東壁中央に確認した。規模は焼き口幅87cm、長

さ80cmを測る。

**出土遺物** 内斜口縁坏、甕、甗、壺が出土している。

**所見** 出土遺物から、5世紀後半の住居跡と考えられる。

**90号住居跡**

(第243図・写真図版26・119)

**位置** AW-110

**重複** 32・38・67・89号住居跡と重複し、新旧関係はこの4軒より90号住居跡が古い。

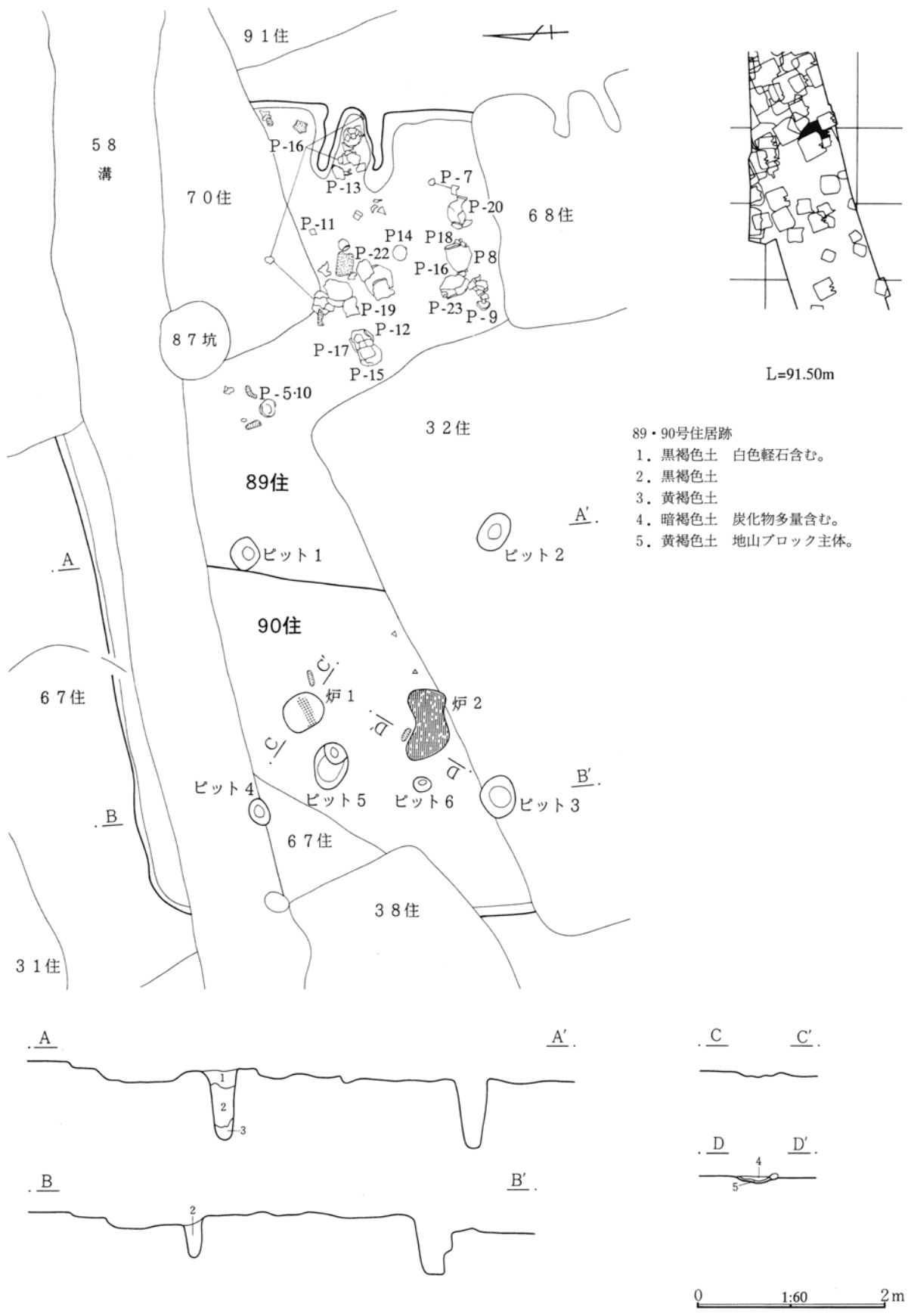
**形状・規模** 不明

**壁高** 8～10cm

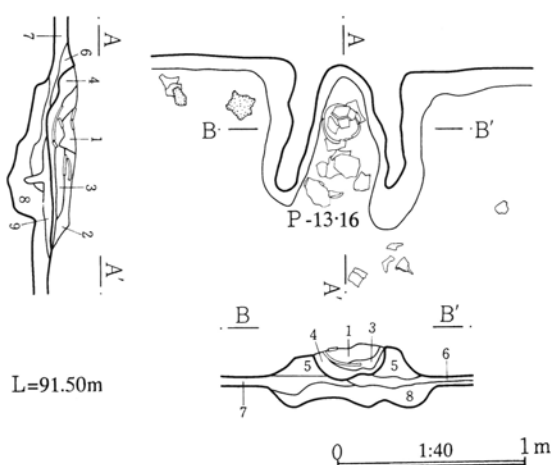
**柱穴** ピットを4基確認した。規模は1、31×29cm、深さ72cm。2、41×30cm、深さ70cm。3、44×37cm、深さ63cm。4、29×20cm、深さ43cmを測る。

**炉** ほぼ中央部に2基確認した。1、形状は楕円形を呈し、規模は44×37cm、深さ4cm。2、形状は不明、規模は76×32cm、深さ7cmを測る。

**出土遺物** S字状口縁台付甕、管玉が出土した。



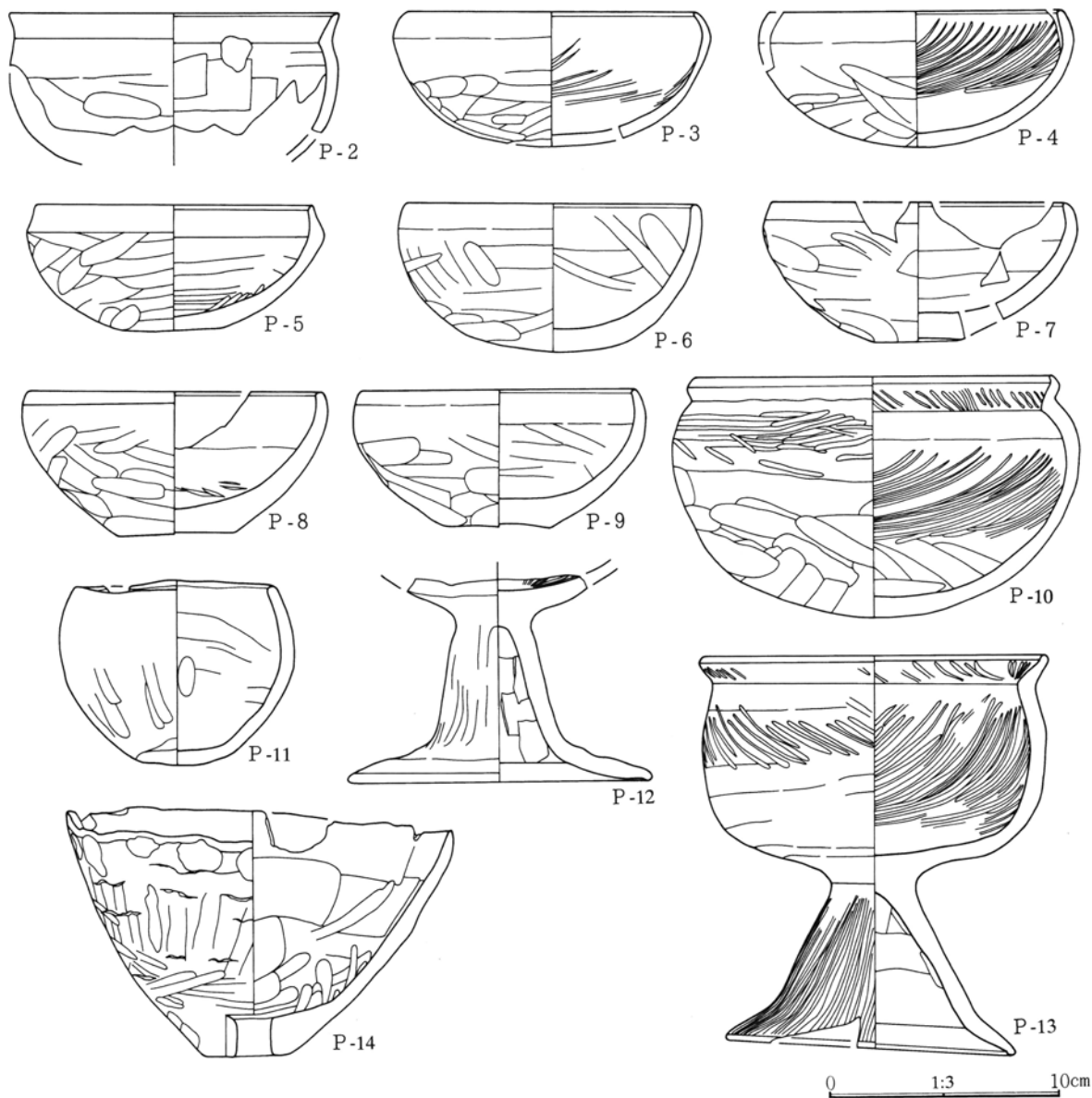
第238図 89・90号住居跡



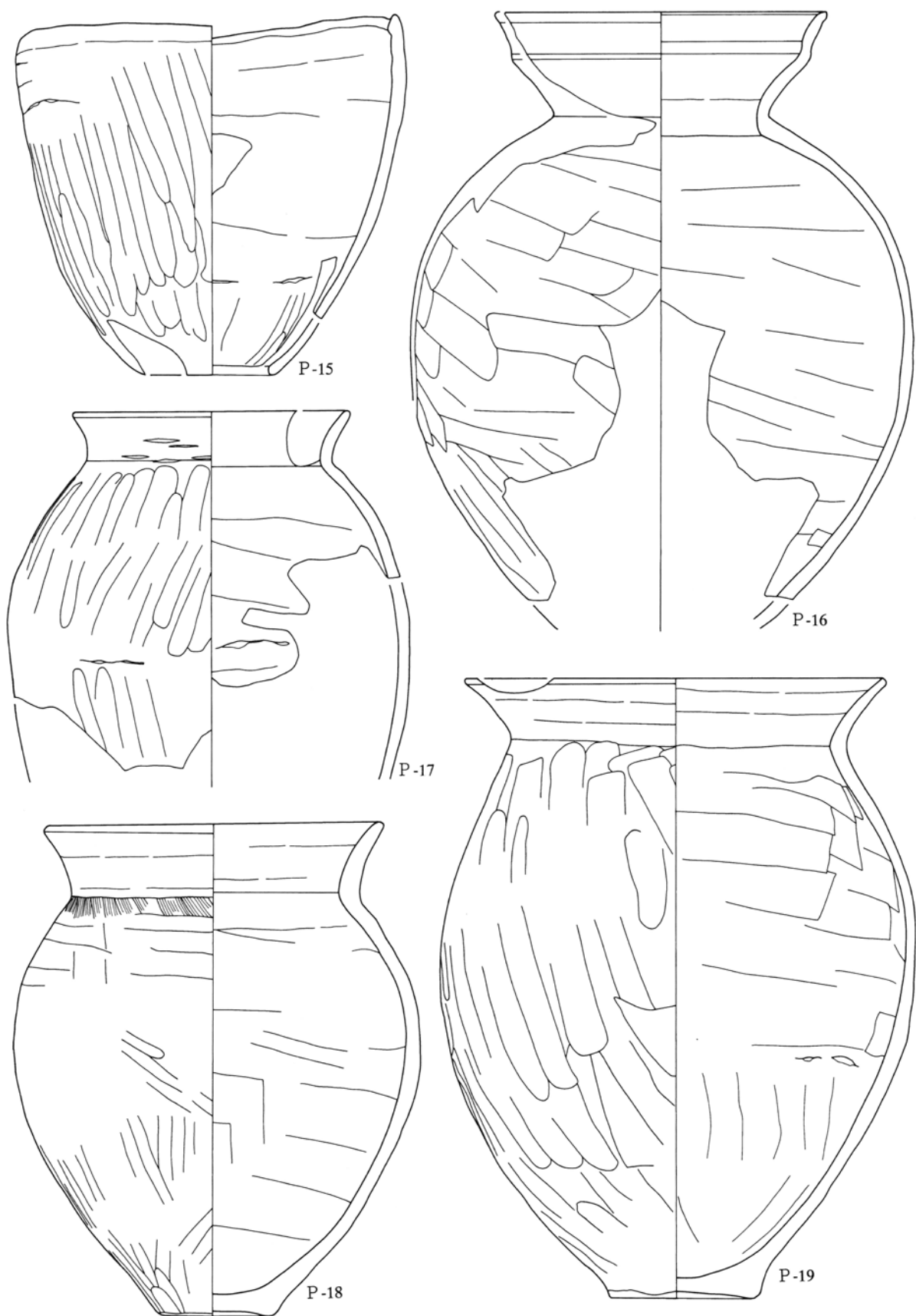
89号住居跡竈

1. 暗褐色土 焼土粒微量含む。
2. 暗褐色土 白色軽石、焼土粒含む。
3. 灰白色粘土 焼土少量含む。
4. 暗褐色土 白色軽石焼土粒微量含む。
5. 灰白色土 粘土に焼土粒少量含む。竈構築材。
6. 暗褐色土 焼土、灰多量含む。
7. 黒色土 白色軽石少量含む。
8. 暗褐色土

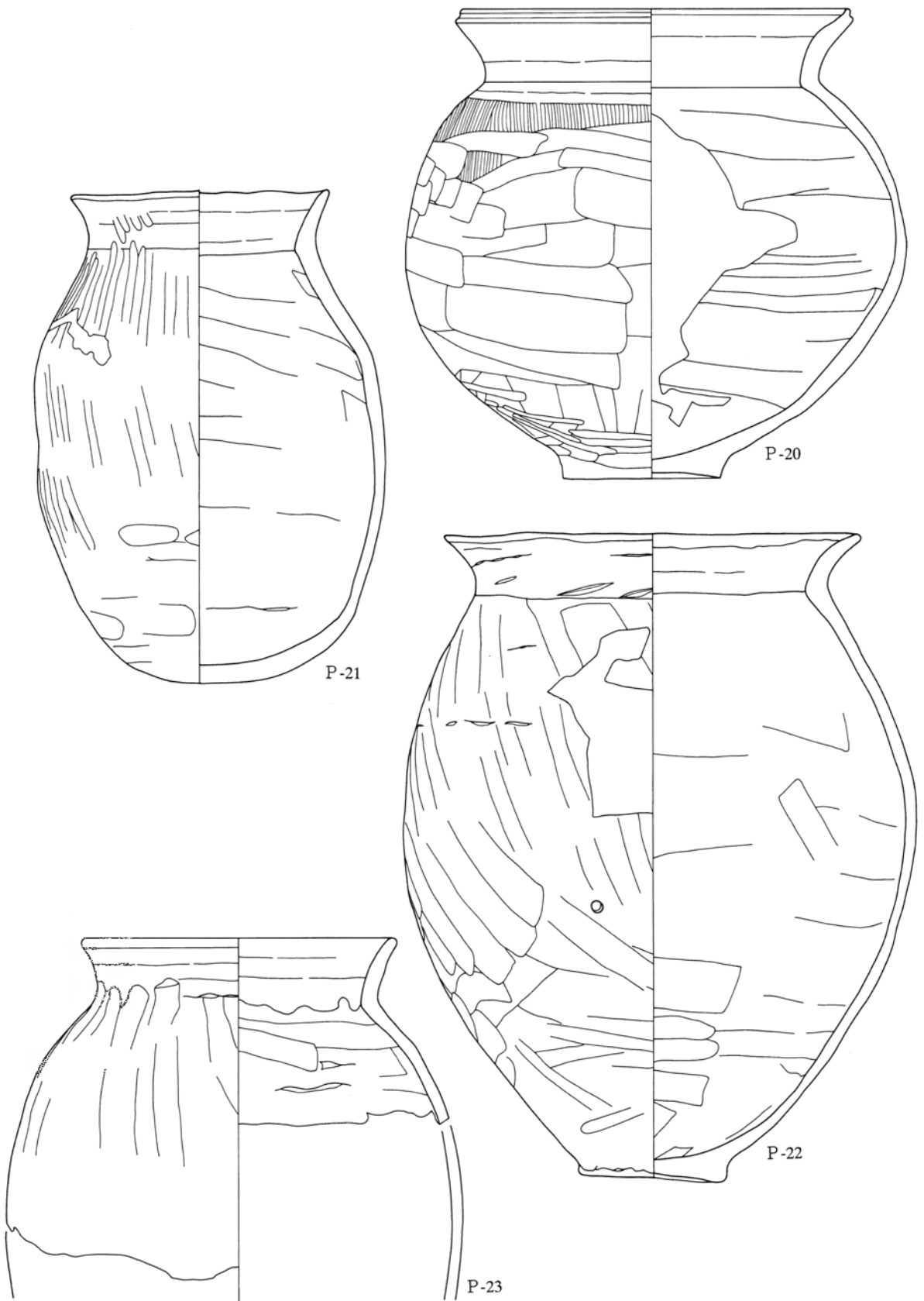
第239図 89号住居跡竈



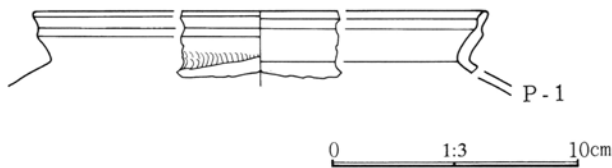
第240図 89号住居跡出土遺物(1)



第241図 89号住居跡出土遺物(2)

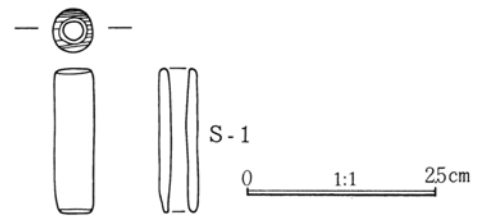


第242図 89号住居跡出土遺物(3)



第243図 90号住居跡出土遺物

所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。



が古い。

形状・規模 不明

周溝・柱穴等の諸施設は検出されていない。

出土遺物 坏が1個体出土している。

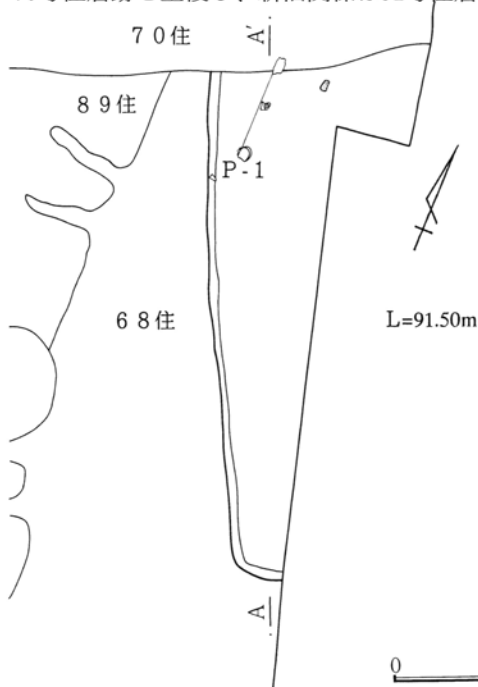
所見 時期は不明である。

91号住居跡

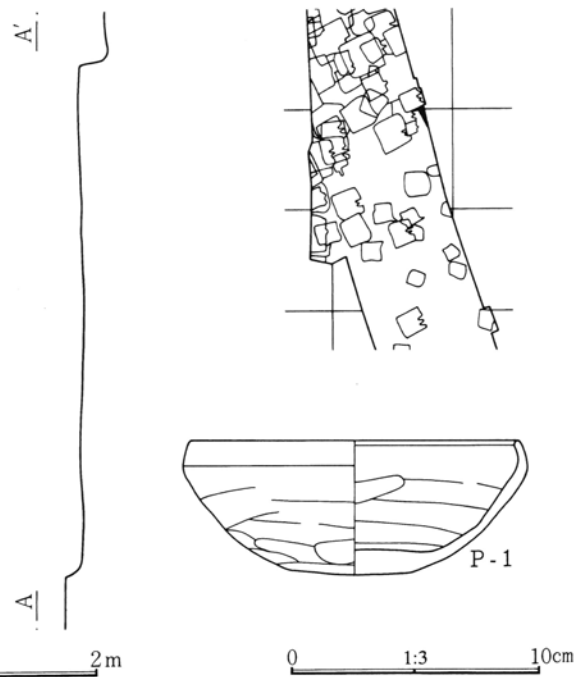
(第244・245図・写真図版119)

位置 AY-110

重複 70号住居跡と重複し、新旧関係は91号住居跡



第244図 91号住居跡



第245図 91号住居跡出土遺物

93号住居跡

(第246図)

位置 BE-128

重複 94号住居跡と重複するが、新旧関係は不明。

形状 不明

規模 長軸3.67×短軸3.2+αm

長軸方位 N-35°-W

柱穴 ピットを1基確認した。規模は1、25×23cm、深さ20cmを測る。

出土遺物 なし。

17区94号住居跡

(第246・247図・写真図版121)

位置 BE-129

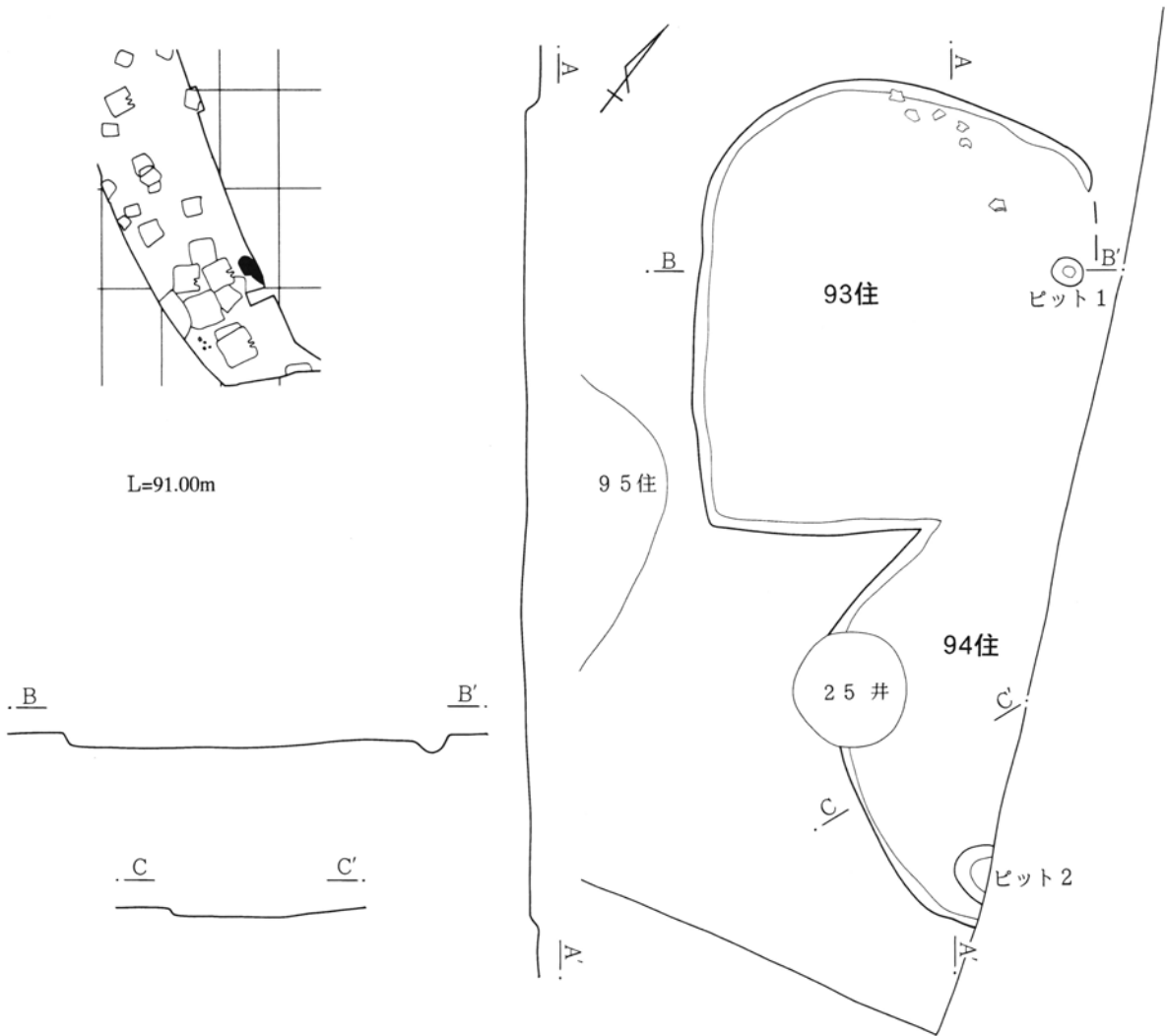
重複 93号住居跡と重複するが、新旧関係は不明。

形状・規模 不明

柱穴 ピットを1基確認した。規模は2、47×30+αcm、深さ9cmを測る。

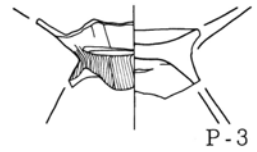
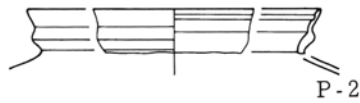
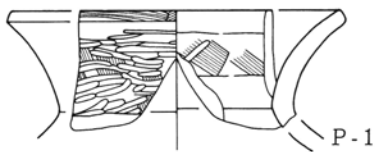
出土遺物 S字状口縁台付甕、壺が出土している。

所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。



第246図 93・94号住居跡

0 1:60 2m



第247図 94号住居跡出土遺物

0 1:3 10cm

95号住居跡

(第248図)

位置 BD-129

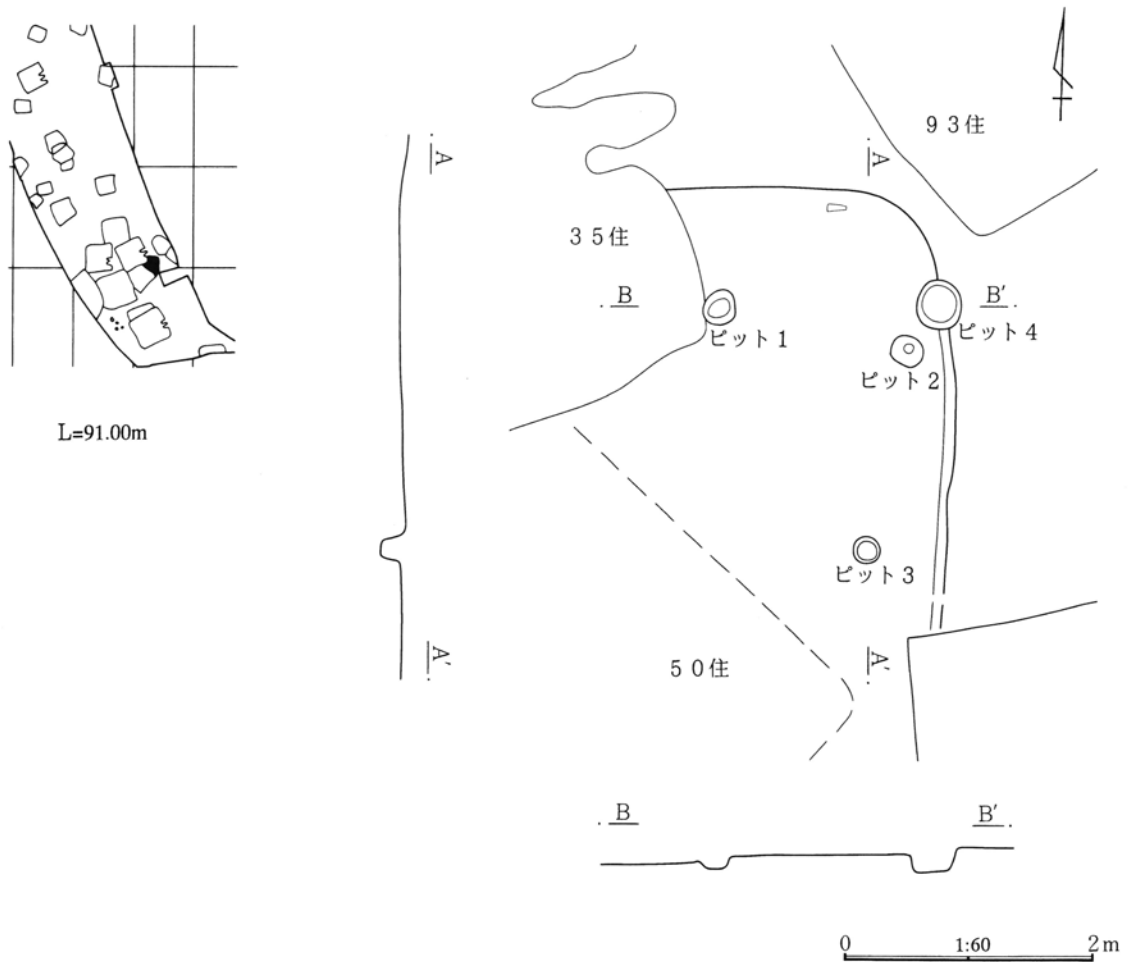
重複 35・50号住居跡と重複し、新旧関係はこの2軒より95号住居跡が古い。

形状・規模 不明

柱穴 ピットを4基確認した。規模は1、29×26cm、深さ11cm。2、25×24cm、深さ10cm。3、22×22cm、深さ17cm。4、38×36cm、深さ16cmを測る。

出土遺物 無し。

所見 時期不明。



第248図 95号住居跡

**98号住居跡**

(第249・250図・写真図版121)

**位置** AT-116

**重複** 110・115号住居跡と重複し、新旧関係はこの2軒より98号住居跡が新しい。

**形状** 隅丸方形

**規模** 長軸4.82×短軸4.02m

**長軸方位** N-75°-E

**壁高** 3～32cm

**周溝** 部分的に確認した。規模は幅15～28cm、深さ1～6cmを測る。

**柱穴** ピットを6基確認した。規模は1、27×17cm、

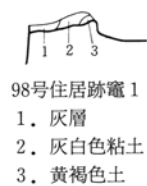
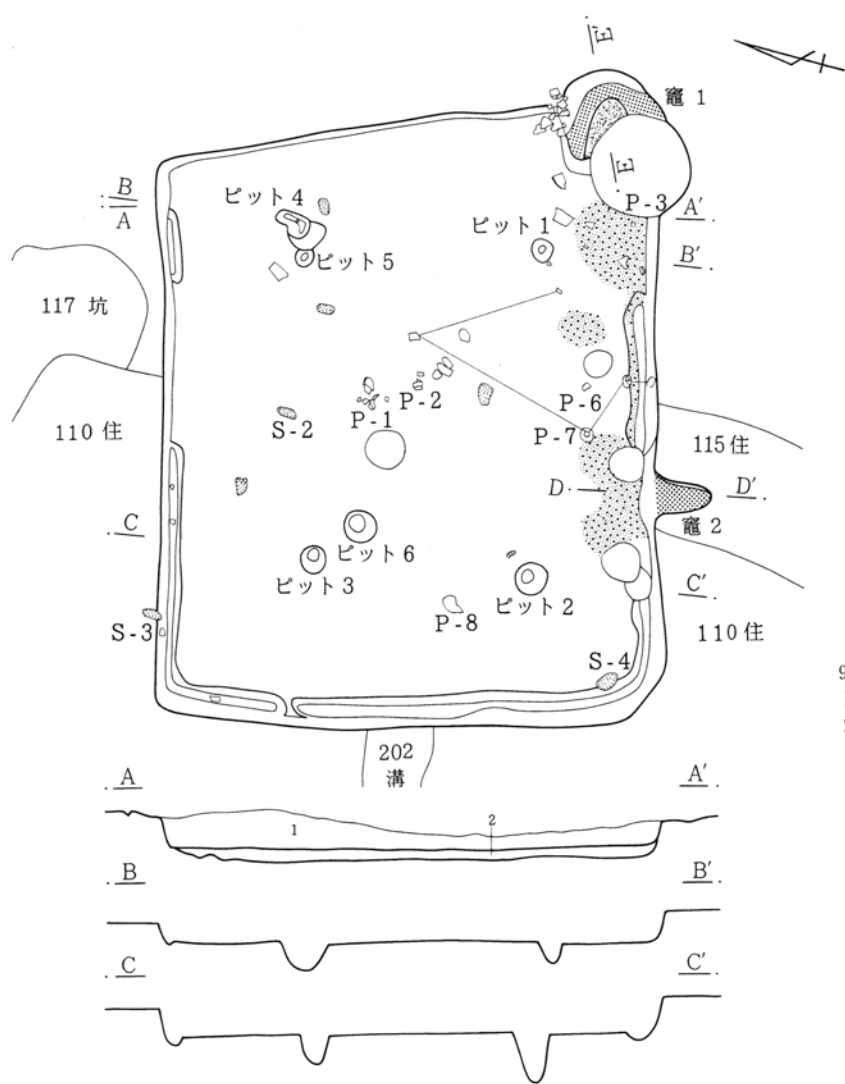
深さ21cm。2、19×18cm、深さ15cm。3、26×24cm、深さ41cm。4、22×20cm、深さ23cm。5、16×13cm、深さ8cm。6、25×24cm、深さ20cmを測る。

**竈** 南東隅・南壁の2ヶ所に確認した。規模は1、焚き口幅54cm、長さ78cm。2、焚き口幅41cm、長さ43cmを測る。

**出土遺物** 模倣坏、甕、台付き甕、壺、管玉が出土している。

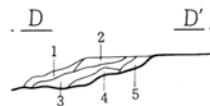
**所見** 出土遺物から、6世紀前半の住居跡と考えられる。





98号住居跡竈1  
 1. 灰層  
 2. 灰白色粘土  
 3. 黄褐色土

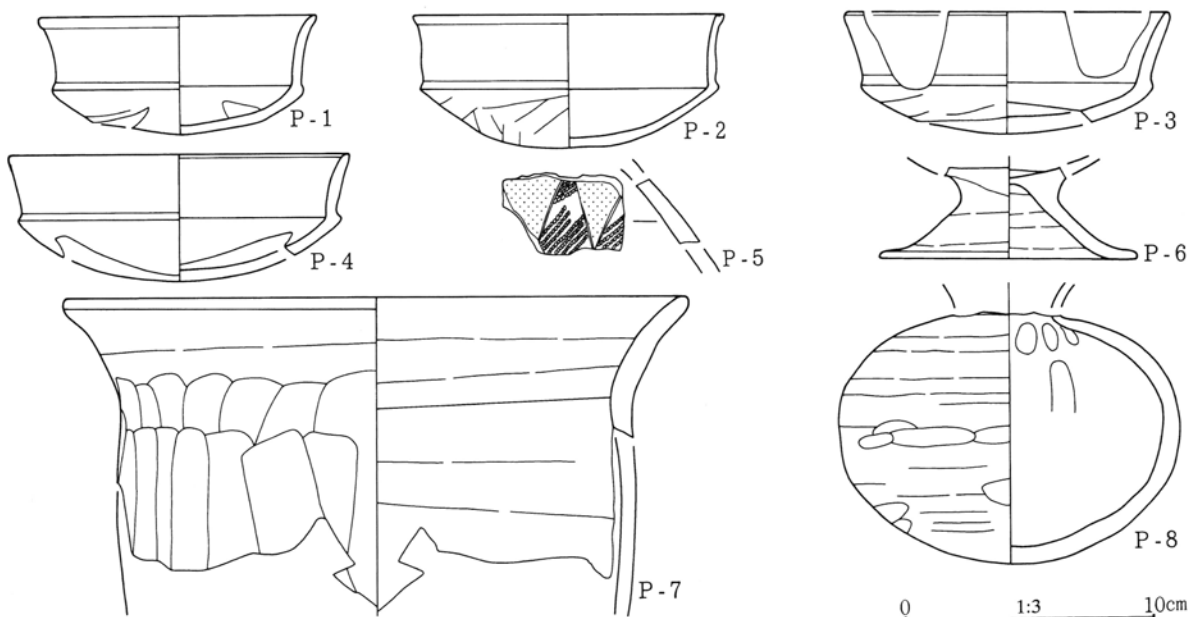
98号住居跡  
 1. 黒褐色土 C軽石、FP軽石多量含む。  
 2. 灰黒褐色土 C軽石、FP軽石含む。



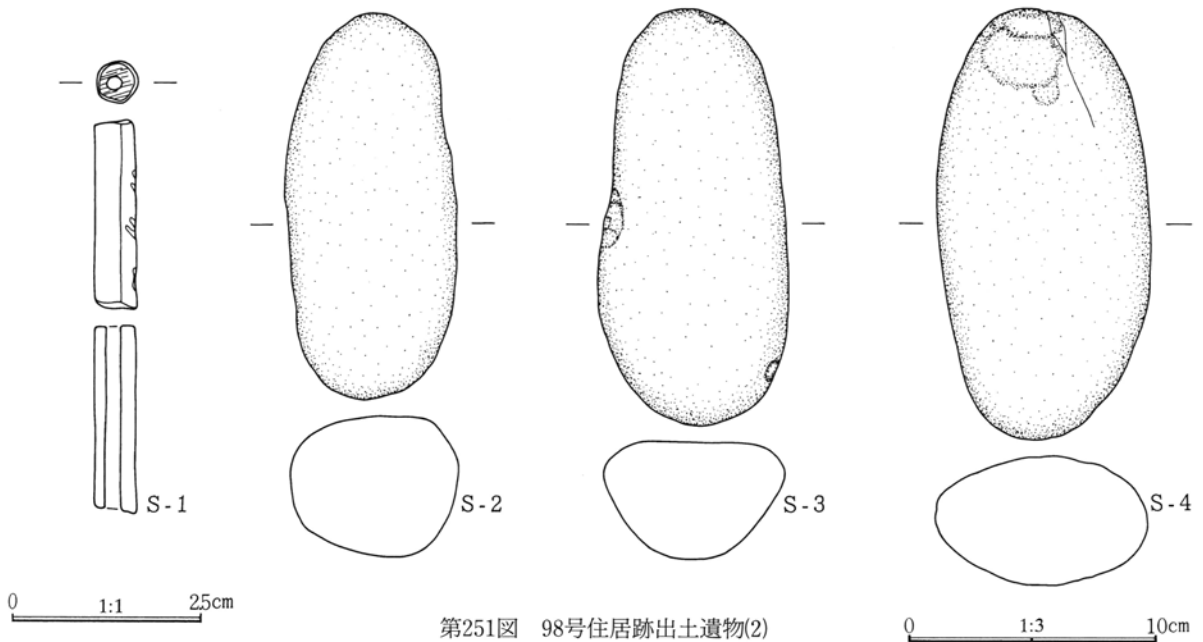
98号住居跡竈2  
 1. 暗褐色土 FA含む。  
 2. 暗褐色土 FAブロック含む。  
 3. 暗褐色土 FAブロック多量含む。  
 4. 灰、焼土混土層  
 5. 暗褐色土 焼土含む。

0 1:60 2m

第249図 98号住居跡



第250図 98号住居跡出土遺物(1)



第251図 98号住居跡出土遺物(2)

102号住居跡

(第252～254図・写真図版122)

位置 BG-135

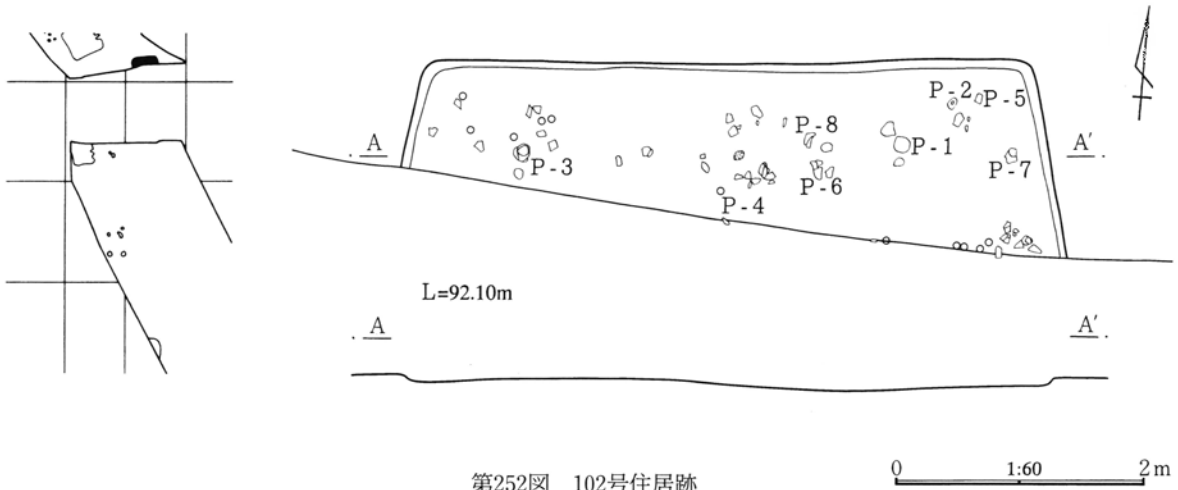
重複 単独

形状・規模 不明

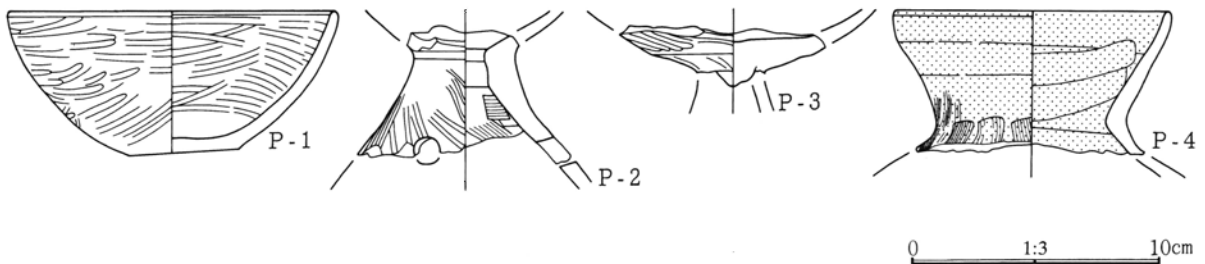
周溝・柱穴・炉等の諸施設は検出されていない。

出土遺物 鉢、高坏、S字状口縁台付甕、土師器平底甕、壺が出土している。

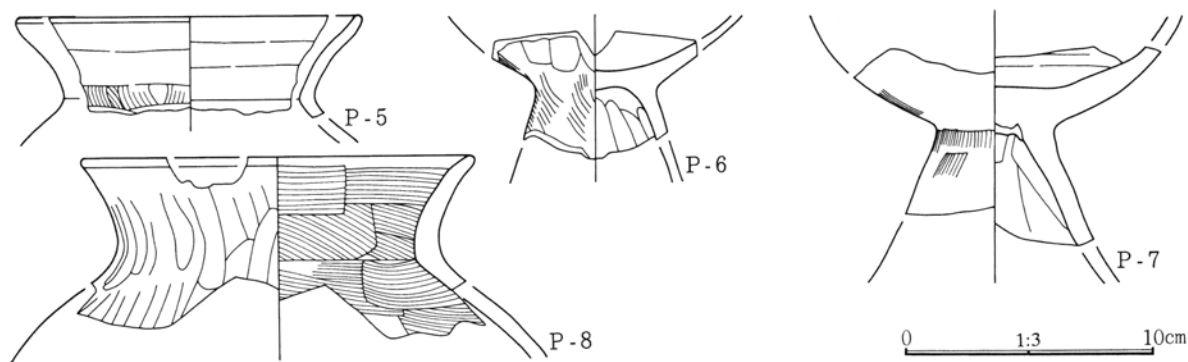
所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。



第252図 102号住居跡



第253図 102号住居跡出土遺物(1)



第254図 102号住居跡出土遺物(2)

104号住居跡

(第255・256図・写真図版26・122)

位置 AT-103

重複 62・105・112号住居跡と重複し、新旧関係はこの3軒より104号住居跡が古い。

形状 長方形

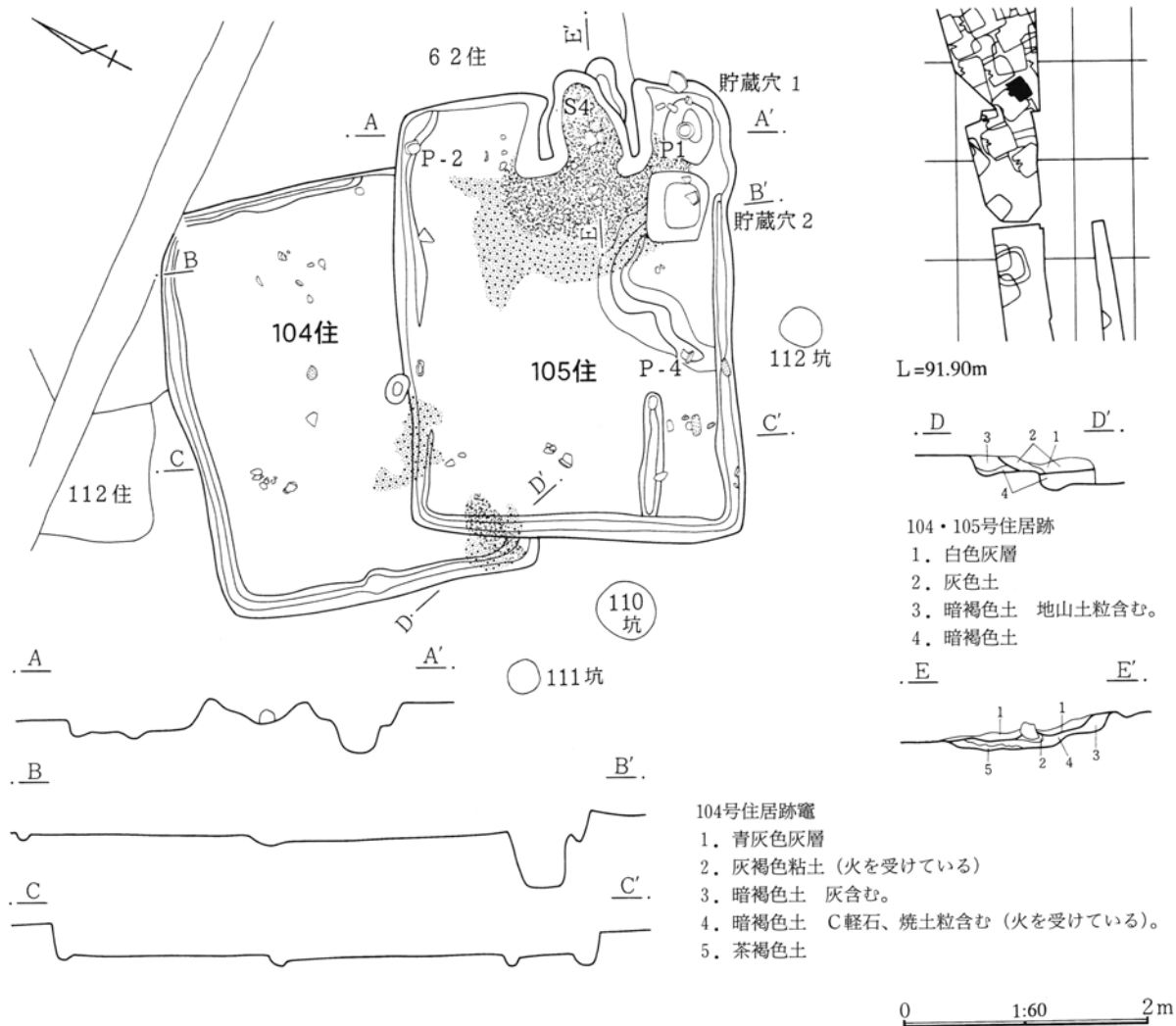
規模 長軸3.45×短軸2.65+αm

長軸方位 N-53°-E

壁高 7~19cm

周溝 部分的に確認した。規模は幅12~27cm、深さ2~13cmを測る。

竈 柱穴等の諸施設は検出されていない。



第255図 104・105住居跡

第5章 遺構と遺物

出土遺物模倣坏が出土している。

所見 出土遺物から、6世紀の住居跡と考えられる。

105号住居跡

(第257図・写真図版26・122・123)

位置 AU-103

重複 62・104号住居跡と重複し、新旧関係は62号住居跡より新しく、104号住居跡より古い。

形状 長方形

規模 長軸3.7×短軸2.78m

長軸方位 N-63°-E

壁高 7~19cm

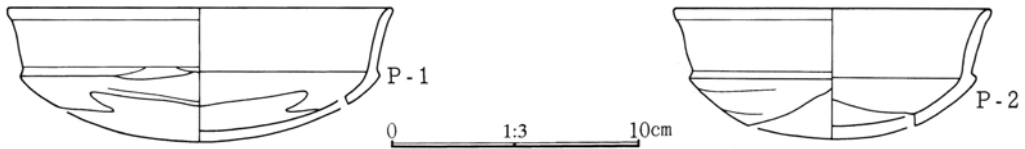
周溝 部分的に確認した。規模は幅12~27cm、深さ2~13cmを測る。

竈 東壁中央に確認した。規模は焚き口幅110cm、長さ87cmを測る。

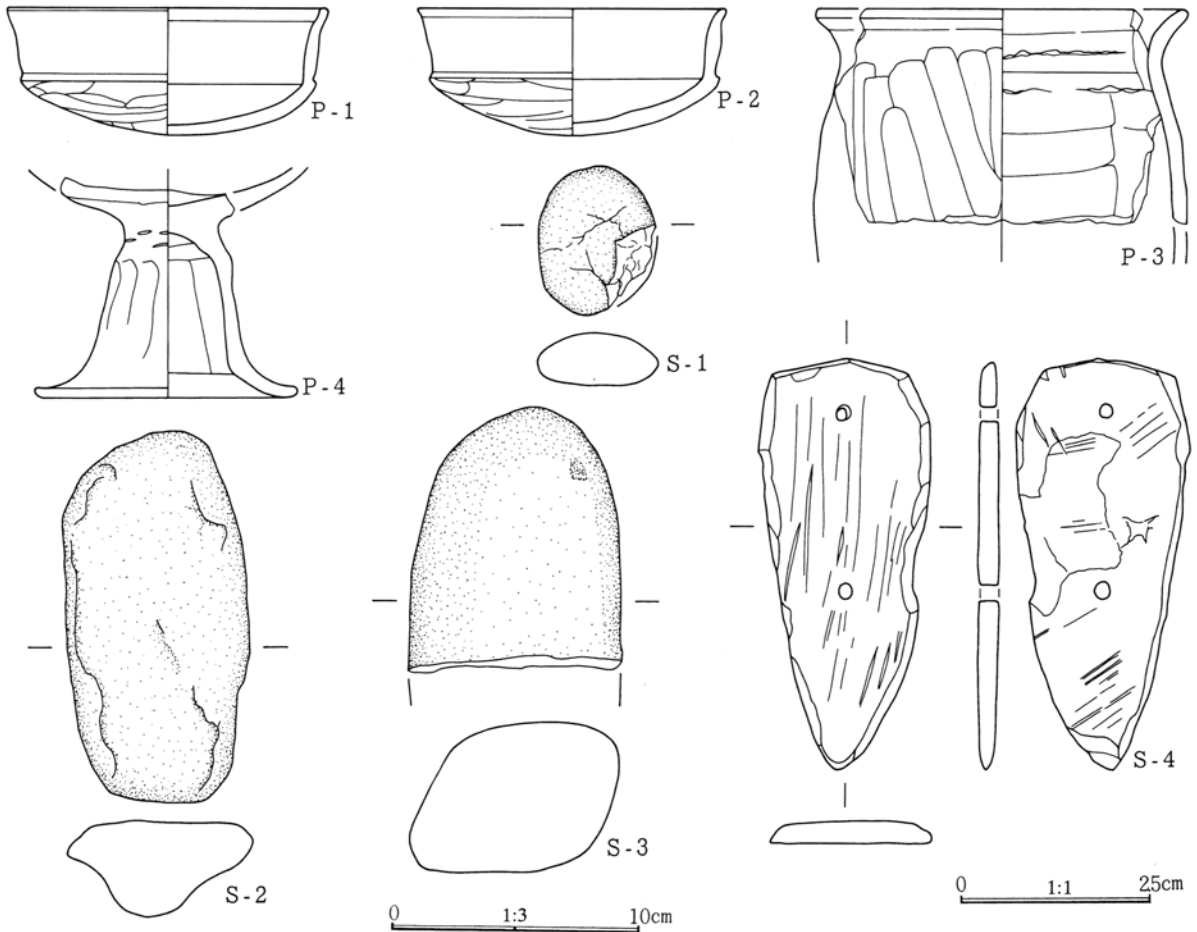
貯蔵穴 南東隅に2基確認した。形状は1、楕円形を呈し、規模は44×41cm、深さ24cm。2、形状は楕円形を呈し、規模は57×50cm、深さ45cmを測る。

出土遺物 模倣坏、高坏、甕、石製垂飾が出土している。

所見 出土遺物から、6世紀の住居跡と考えられる。



第256図 104号住居跡出土遺物



第257図 105号住居跡出土遺物

107号住居跡

(第258～260図・写真図版27・123・124)

位置 AT-114

重複 92・108号住居跡と重複し、新旧関係は92号住居跡より新しく、108号住居跡より古い。形状 不明

規模 長軸 $3.8+\alpha$ ×短軸 $3.63+\alpha$ m

長軸方位 N-19°-W

壁高 4～19cm

竈 東壁中央に確認した。規模は焚き口幅48cm、長

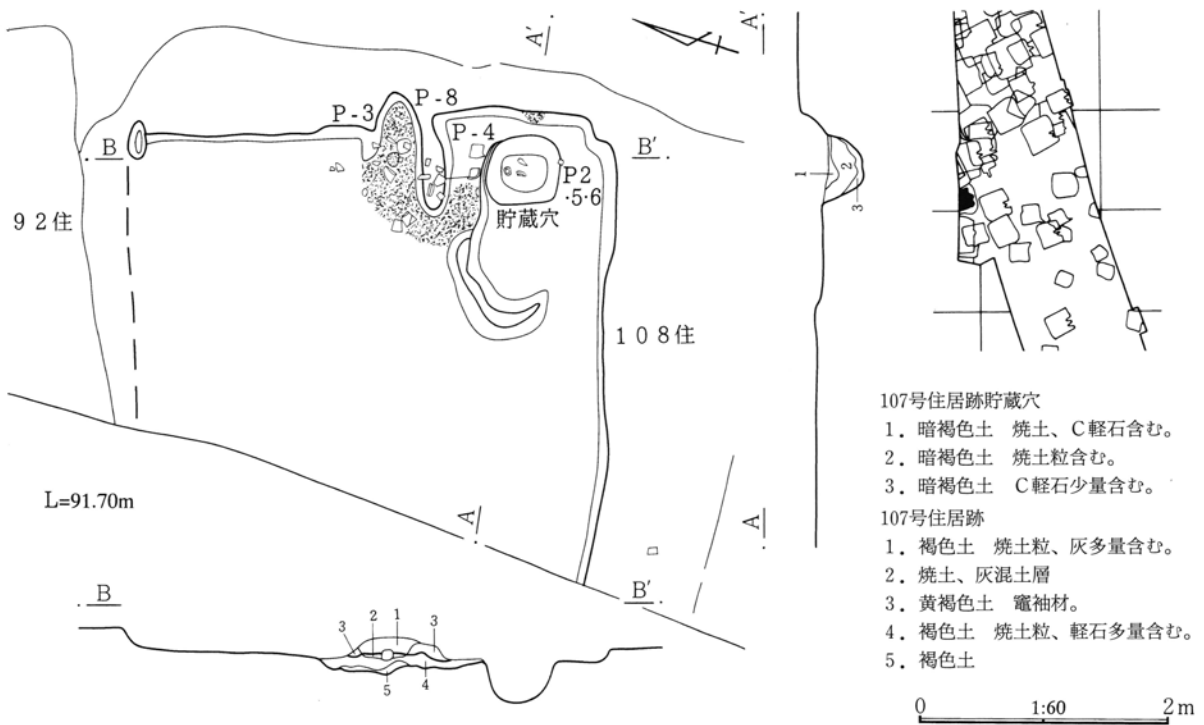
さ97cmを測る。

貯蔵穴 南東隅に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は $57\times 54$ cm、深さ32cmを測る。

掘り方 床下ピットを2基確認した。規模は1、 $30\times 25$ cm、深さ21cm。2、 $140+\alpha\times 75$ cm、深さ4cmを測る。

出土遺物 内湾杯、甕、高杯が出土している。

所見 出土遺物から、5世紀前半の住居跡と考えられる。



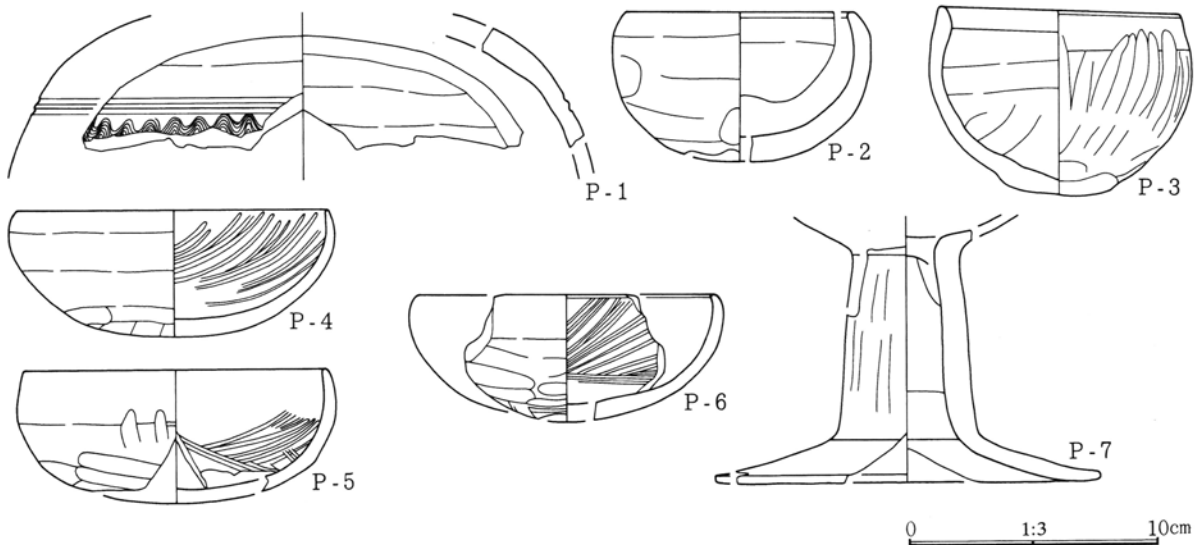
107号住居跡貯蔵穴

- 1. 暗褐色土 焼土、C軽石含む。
- 2. 暗褐色土 焼土粒含む。
- 3. 暗褐色土 C軽石少量含む。

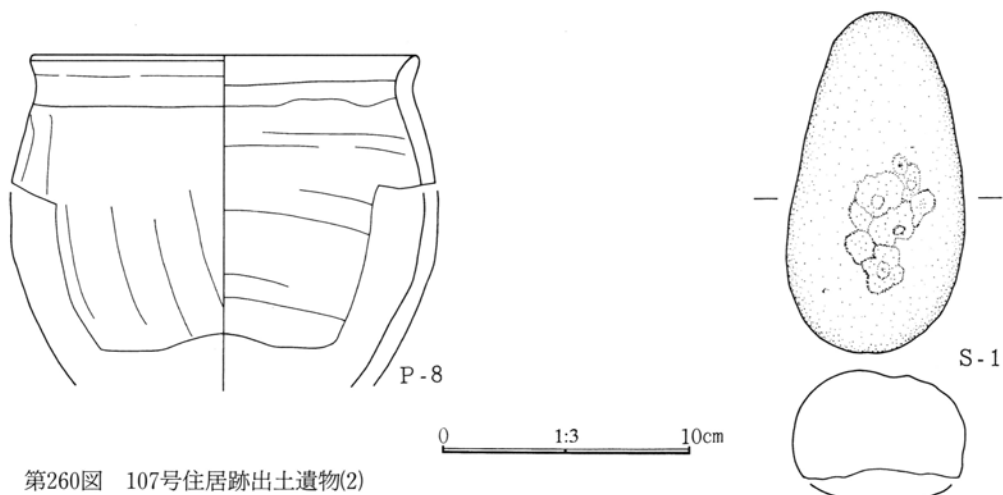
107号住居跡

- 1. 褐色土 焼土粒、灰多量含む。
- 2. 焼土、灰混土層
- 3. 黄褐色土 竈袖材。
- 4. 褐色土 焼土粒、軽石多量含む。
- 5. 褐色土

第258図 107号住居跡



第259図 107号住居跡出土遺物(1)



第260図 107号住居跡出土遺物(2)

108号住居跡

(第261～264図・写真図版124)

位置 AT-114

重複 92・107号住居跡と重複し、新旧関係はこの2軒の住居跡より108号住居跡が古い。

形状 不明

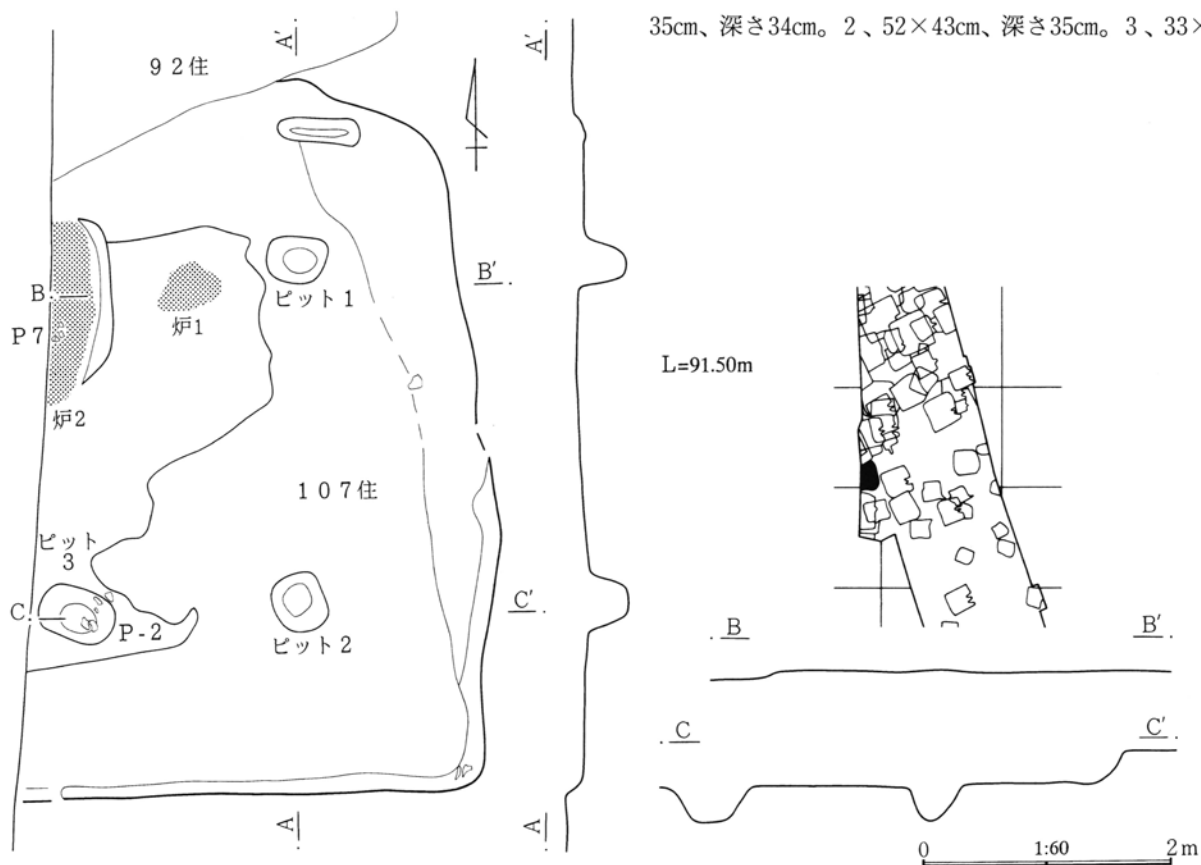
規模 長軸5.65×短軸3.52+αm

長軸方位 N-2°-W

壁高 12～16cm

柱穴 ピットを3基確認した。規模は1、48×37cm、深さ32cm。2、47×40cm、深さ33cm。3、61×42cm、深さ30cmを測る。

掘り方 床下ピットを13基確認した。規模は1、45×35cm、深さ34cm。2、52×43cm、深さ35cm。3、33×



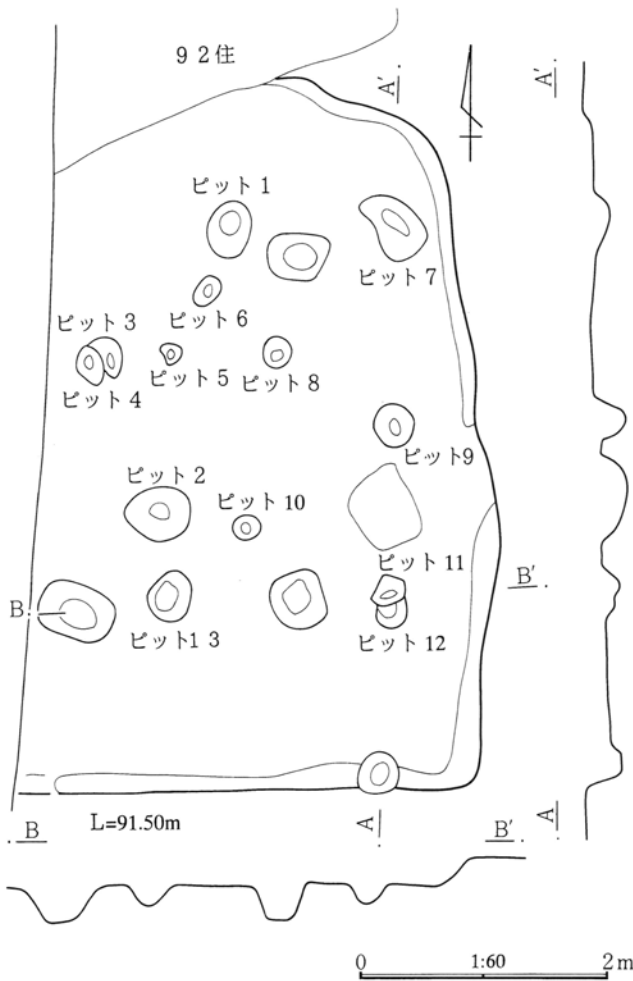
第261図 108号住居跡

22cm、深さ11cm。4、 $32 \times 16 + \alpha$ cm、深さ13cm。5、 $16 \times 15$ cm、深さ1cm。6、 $25 \times 17$ cm、深さ11cm。7、 $60 \times 37$ cm、深さ12cm。8、 $25 \times 23$ cm、深さ12cm。9、 $33 \times 31$ cm、深さ17cm。10、 $27 \times 19$ cm、深さ11cm。11、 $27 \times 23$ cm、深さ14cm。12、 $25 \times 17 + \alpha$ cm、深さ8cm。

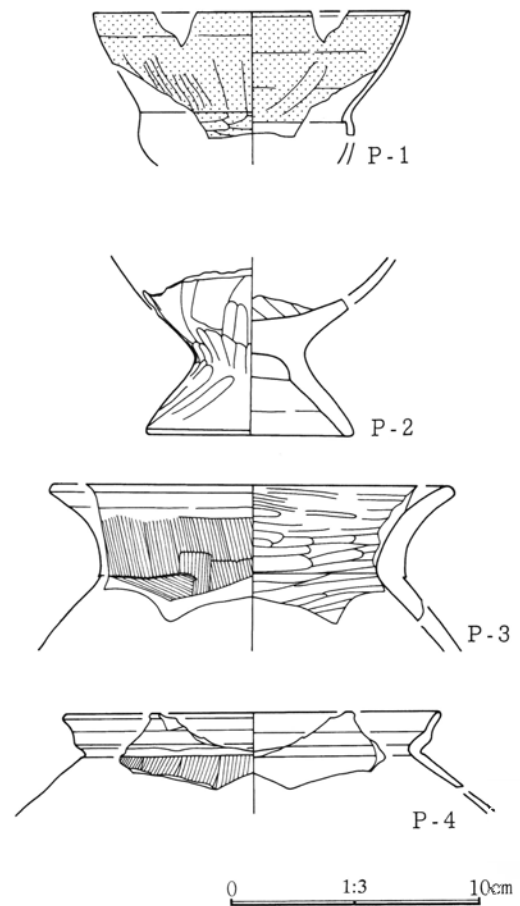
13、 $41 \times 34$ cm、深さ24cmを測る。

**出土遺物** 小型埴、単口縁台付甕、S字状口縁台付甕、土師器平底甕、壺が出土している。

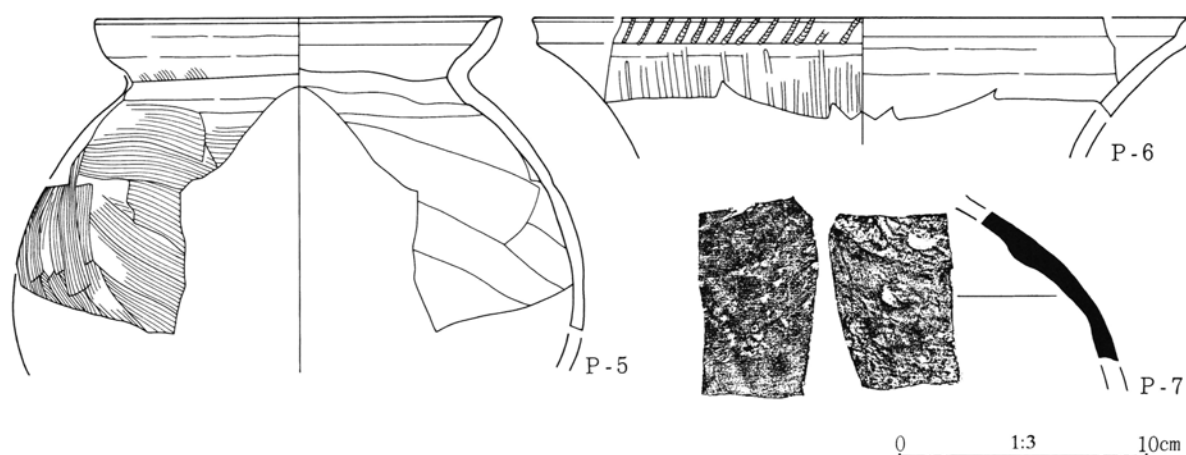
**所見** 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。



第262図 108号住居跡掘り方



第263図 108号住居跡出土遺物(1)



第264図 108号住居跡出土遺物(2)

### 110号住居跡

(第265～267図・写真図版124～126)

位置 AT-116

重複 98・115号住居跡と重複し、新旧関係は98号住居跡より旧く、115号住居跡より新しい。

形状 不明

規模 長軸7.28×短軸3.3+ $\alpha$ m

長軸方位 N-2°-E

壁高 7～25cm

柱穴 ピットを6基確認した。1、34×32cm、深さ71cm。2、43×30cm、深さ71cm。3、40×30cm、深さ54cm。4、45×36cm、深さ56cm。5、25×23cm、深さ11cm。6、70×20+ $\alpha$ cm、深さ6cmを測る。

貯蔵穴 南壁寄りに確認した。形状は長方形を呈し、規模は80×60cm、深さ50cmを測る。

掘り方 床下ピットを13基確認した。規模は1、48×34cm、深さ37cm。2、46×36cm、深さ13cm。3、24×22cm、深さ8cm。4、40×30cm、深さ23cm。5、48×30+ $\alpha$ cm、深さ15cm。6、35×19cm、深さ18cm。7、24×20cm、深さ7cm。8、55×42cm、深さ9cm。9、38×30cm、深さ12cm。10、20×17cm、深さ19cm。11、22×21cm、深さ13cm。12、44×35cm、深さ8cm。13、24×21cm、深さ15cmを測る。

出土遺物 S字状口縁台付甕、土師器平底甕、高坏、壺が出土している。

所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。

### 115号住居跡

(第265図・写真図版27・124～126)

位置 AT-116

重複 98・110・116号住居跡と重複し、新旧関係は98・110号住居跡より旧く、116号住居跡とは不明である。

形状・規模 不明

壁高 5～7cm

貯蔵穴 南東隅に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は45×38cm、深さ50cmを測る。

出土遺物 土師器平底甕が出土している。

所見 出土遺物から3世紀末～4世紀の住居跡と考えられる。

### 116号住居跡

(第265図・写真図版27)

位置 AT-116

重複 115号住居跡と重複し、新旧関係は不明。

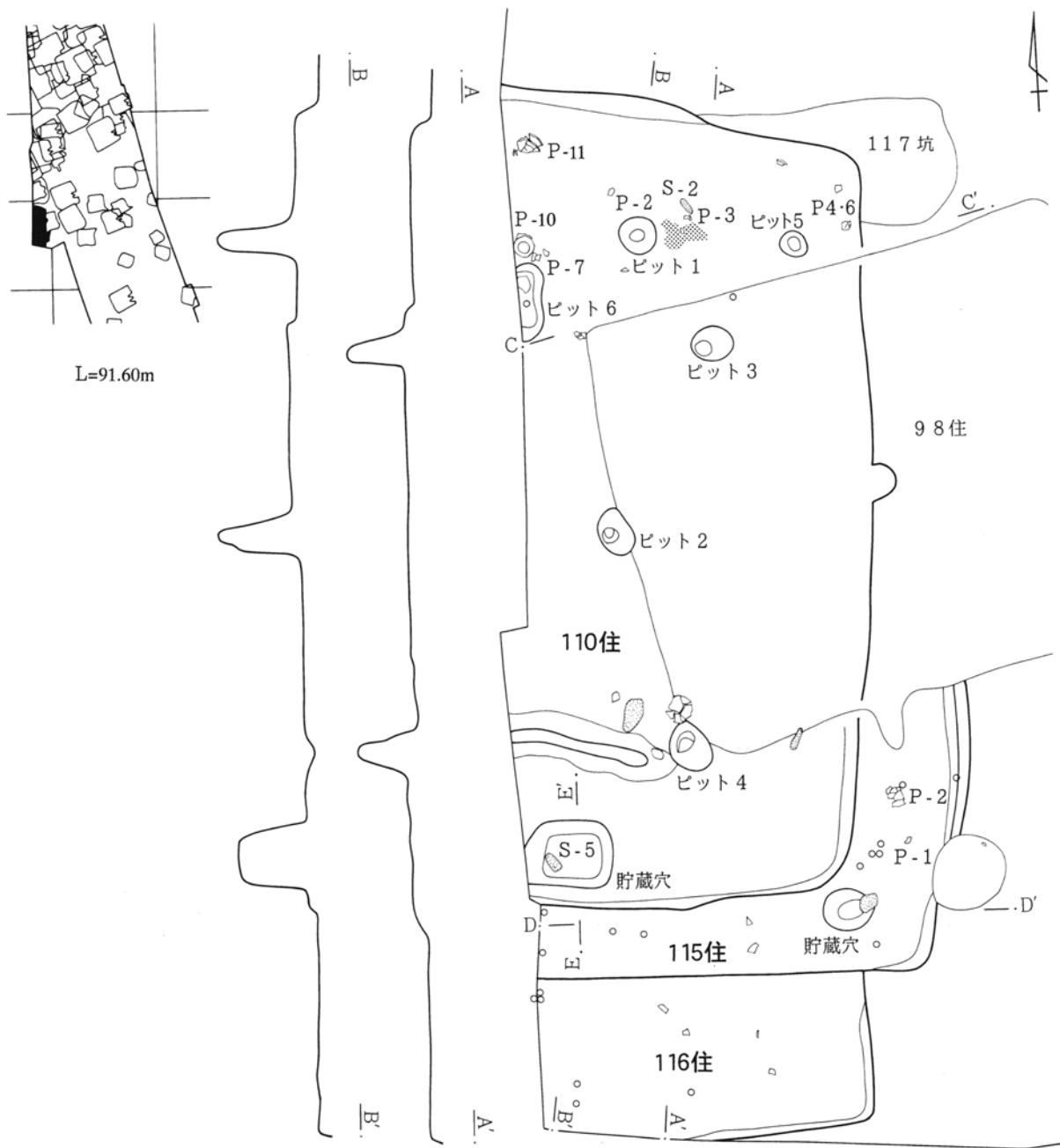
形状・規模 不明

壁高 9～16cm

周溝・炉・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。

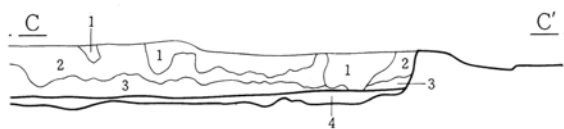
出土遺物 無し





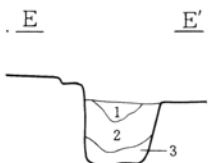
110号住居跡

1. 灰褐色土 C軽石含む。
2. 黒褐色土 C軽石多量含む。
3. 黒褐色土
4. 黒褐色土 地山土ブロック含む。



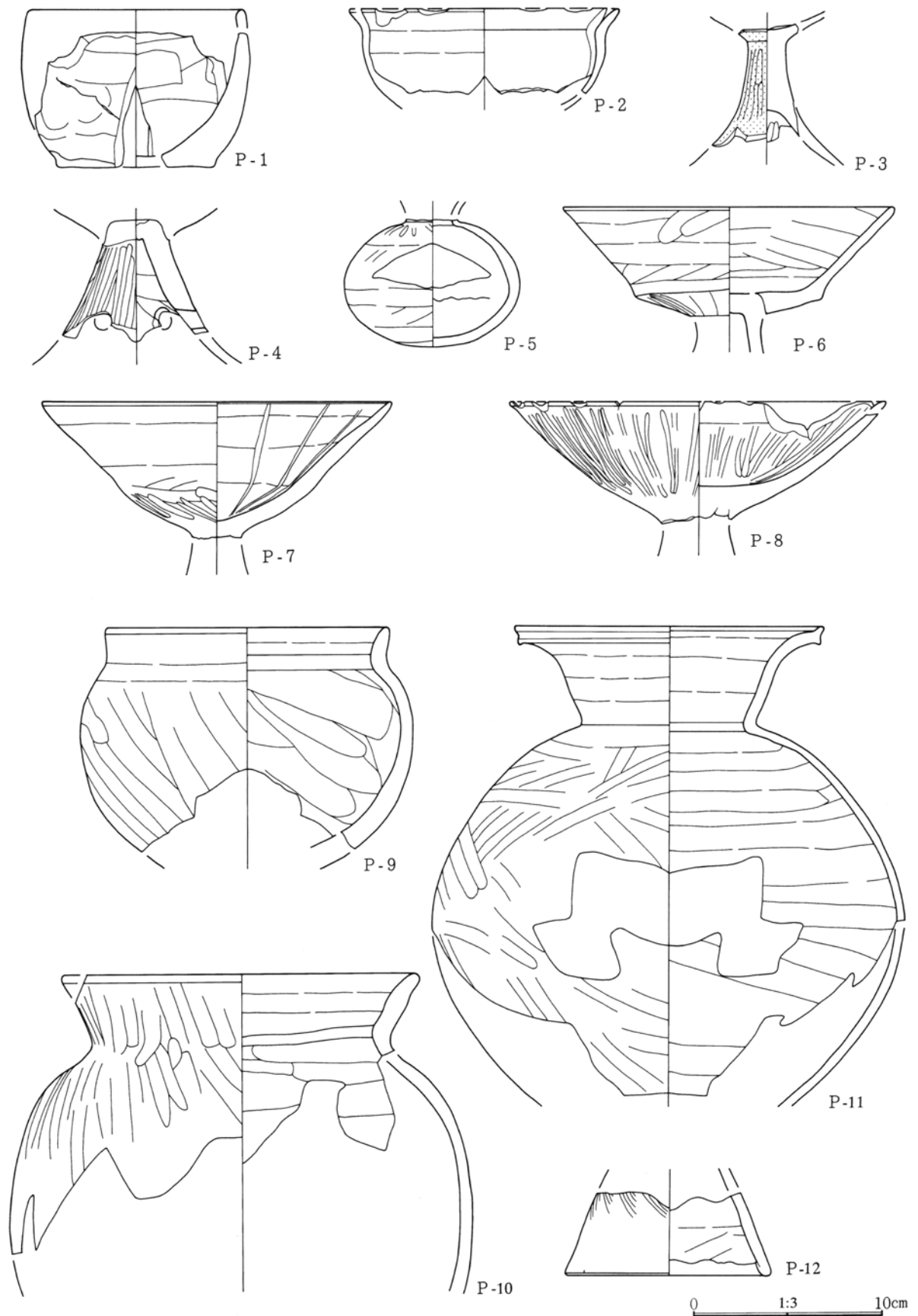
110号住居跡貯蔵穴

1. 黒色土 C軽石少量含む。
2. 黒褐色土 C軽石含む。
3. 黒褐色土

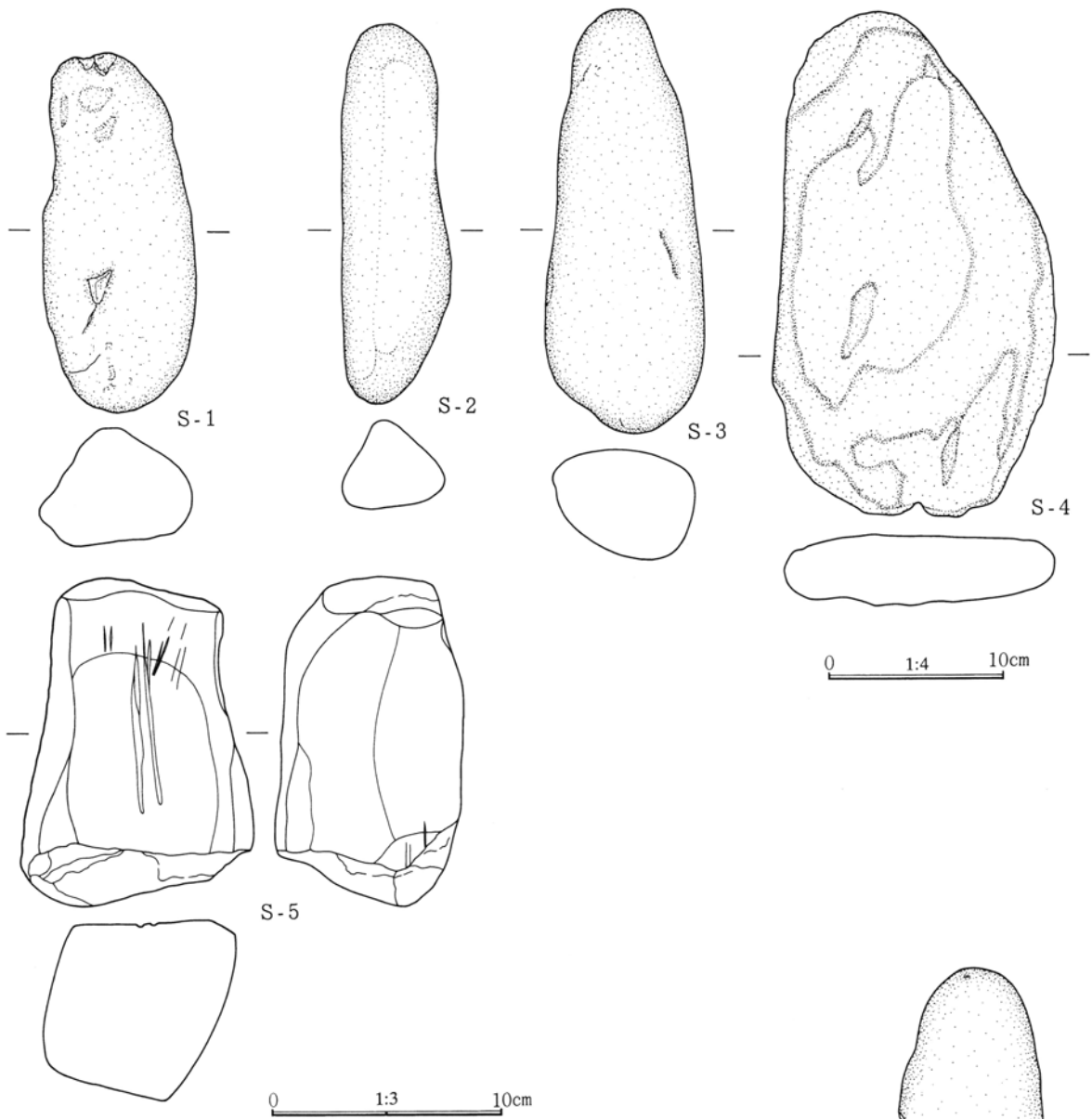


0 1:60 2m

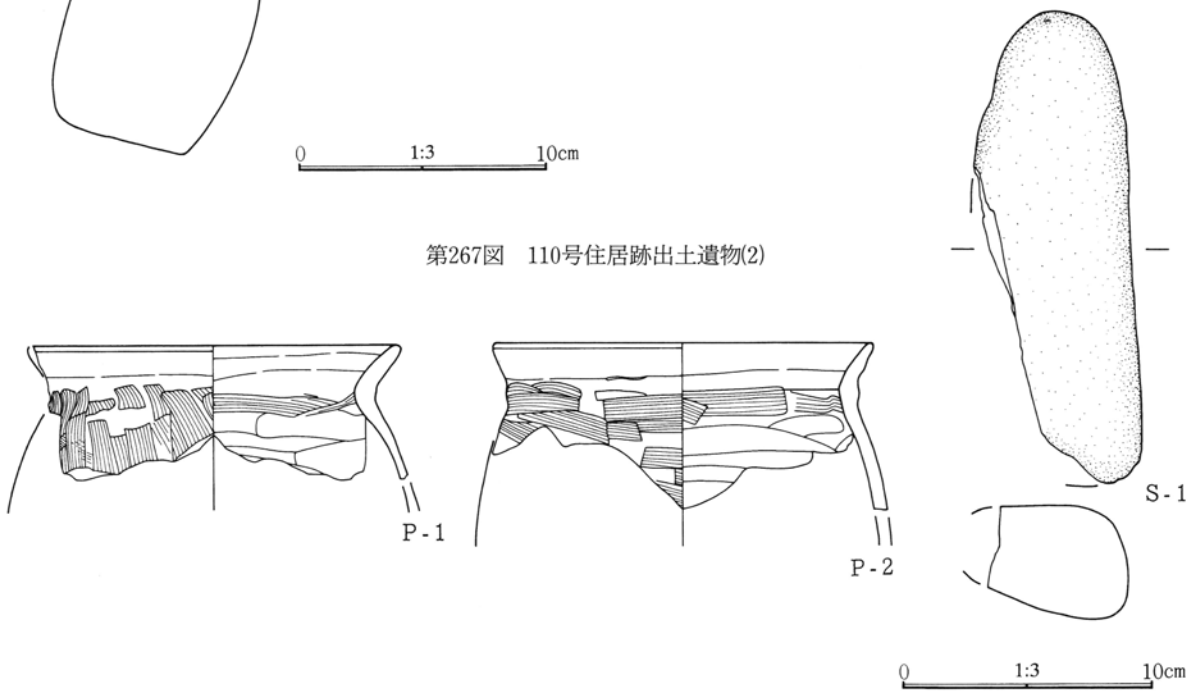
第265図 110・115・116号住居跡



第266図 110号住居跡出土遺物(1)



第267図 110号住居跡出土遺物(2)



第268図 115号住居跡出土遺物

18区1号住居跡

(第269図・写真図版28)

位置 BI-146

重複 単独

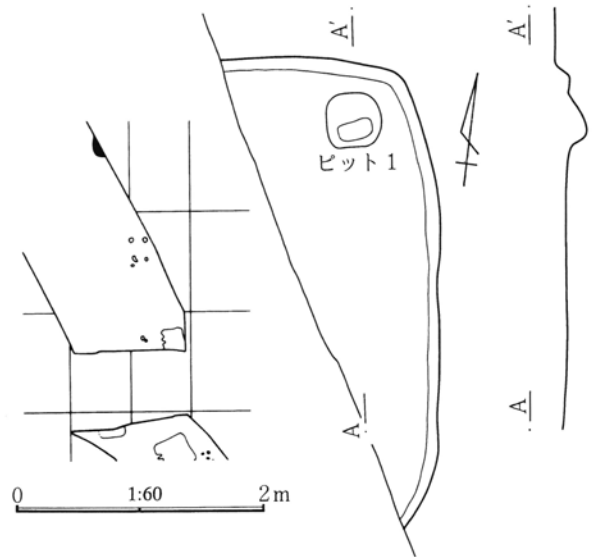
形状・規模 不明

壁高 5~11cm

柱穴 ピットを1基確認した。規模は44×43cm、深さ15cmを測る。

出土遺物 無し

L=90.80m



第269図 18区1号住居跡

18区2号住居跡

(第270・271図・写真図版28・127)

位置 BH-142

重複 単独

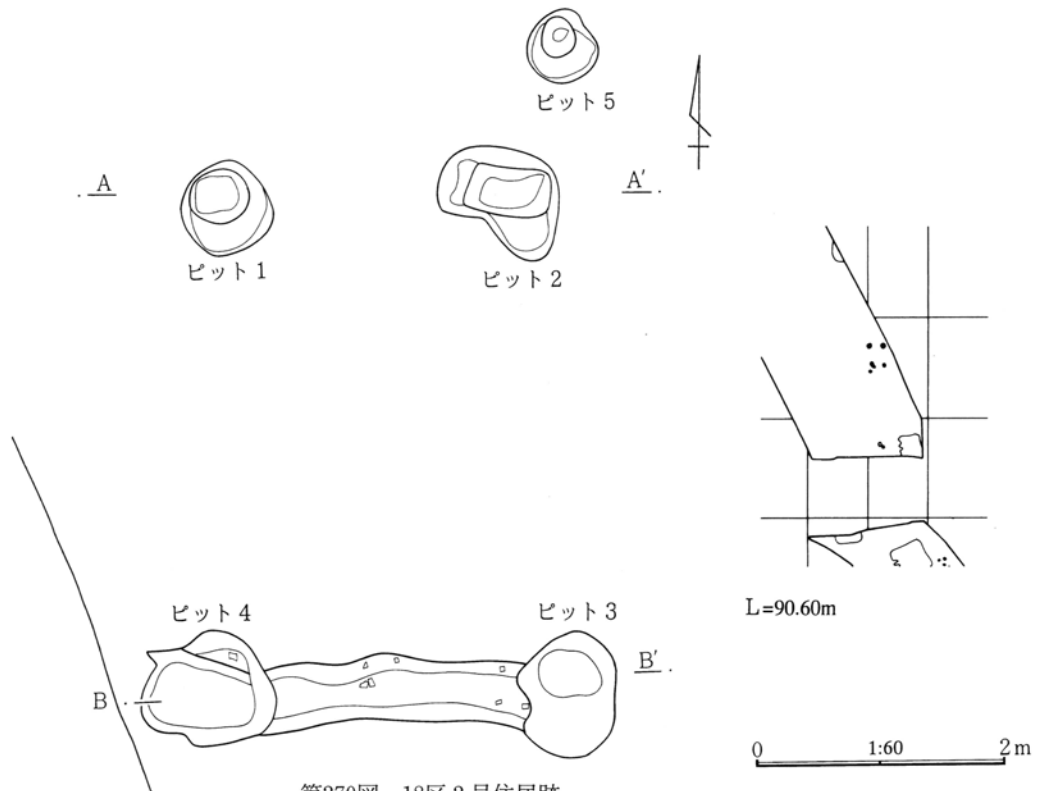
形状・規模 不明

柱穴 柱穴と確認できるピットを5基確認した。規

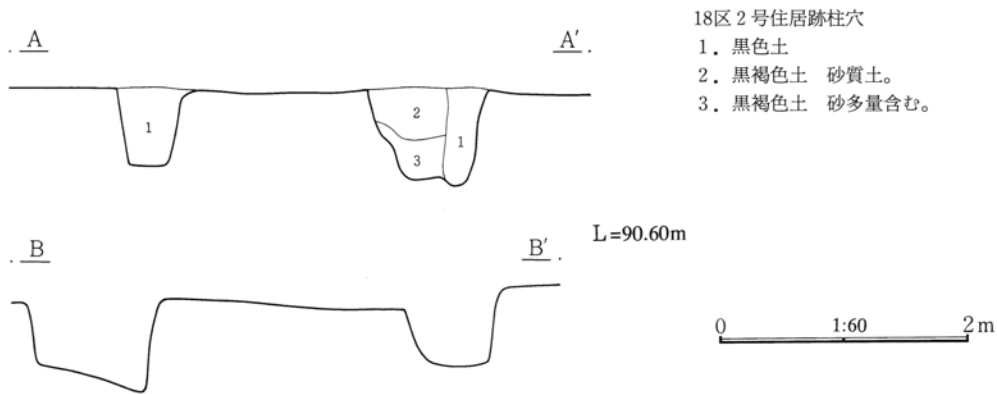
模は 1、73×72cm、深さ61cm、柱痕径25cm。2、96×85cm、深さ76cm。3、100×80cm、深さ46cm。4、107×91cm、深さ73cm。5、59×58cm、深さ70cmを測る。

出土遺物 S字状口縁台付甕、壺、高坏とともに樽式土器が出土している。

所見 3世紀末~4世紀の住居跡と考えられる。

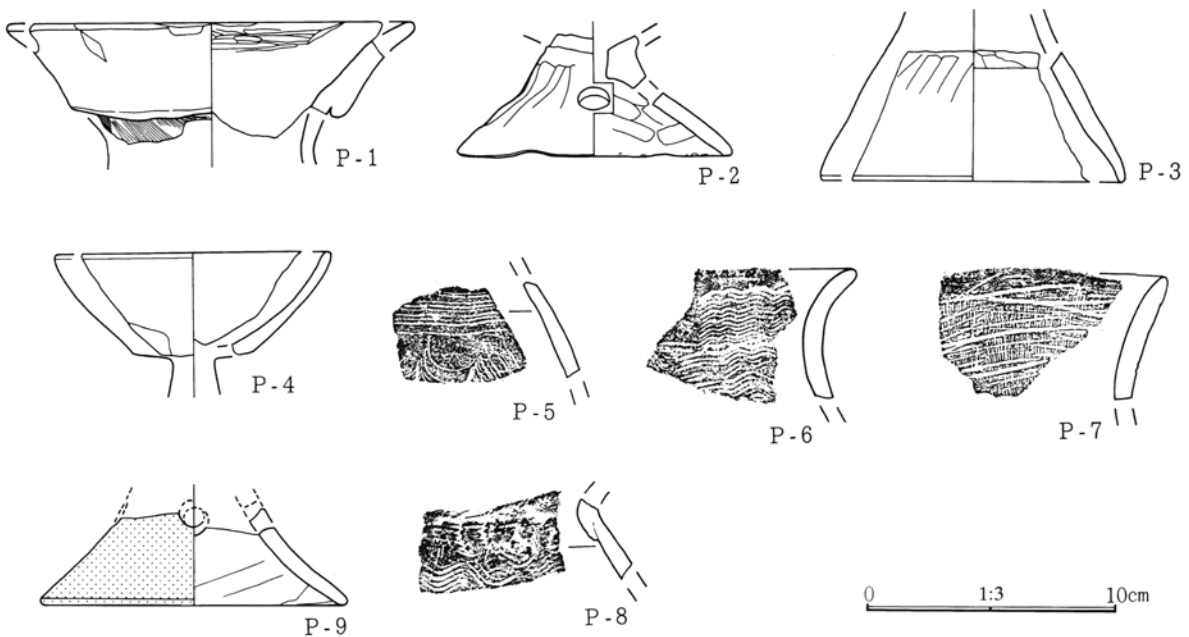


第270図 18区2号住居跡



18区2号住居跡柱穴  
 1. 黒色土  
 2. 黒褐色土 砂質土。  
 3. 黒褐色土 砂多量含む。

第271図 18区2号住居跡柱穴



第272図 18区2号住居跡出土遺物

18区4号住居跡

(第273図・274図・275図写真図版28・127・128)

位置 BF-138

重複 単独

形状 隅丸方形

規模 長軸4.4×短軸4.08+αm

長軸方位 N-83°-E

壁高 8~14cm

柱穴 ピットを4基確認した。規模は1、30×28cm、深さ38cm。2、32×32cm、深さ42cm。3、31×27cm、深さ40cm。4、35×34cm、深さ36cmを測る。

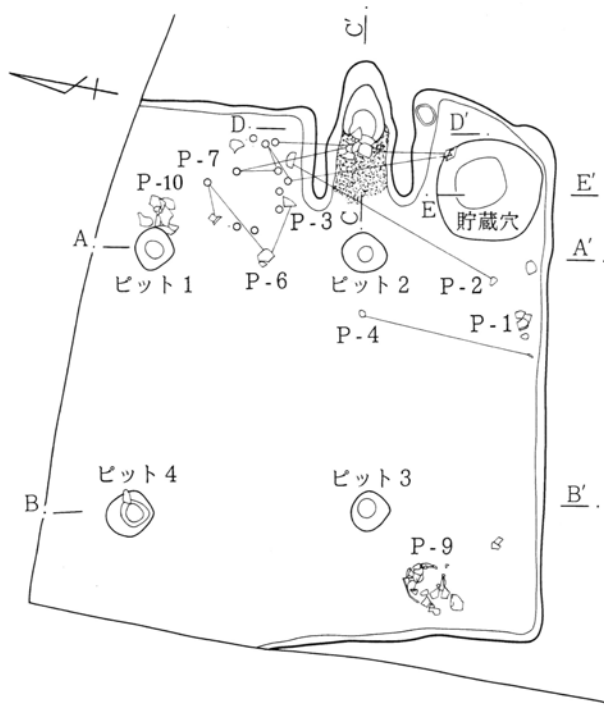
竈 東壁中央に確認した。規模は焚き口幅100cm、長

さ115cmを測る。

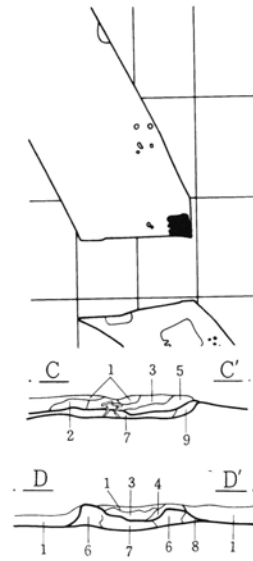
貯蔵穴 東南隅に確認した。形状は楕円形を呈し、規模は85×80cm、深さ36cmを測る。

出土遺物 内斜口縁坏、高坏、甕、壺、甑等が出土している。

所見 出土遺物から、5世紀前半の住居跡と考えられる。



L=91.00m



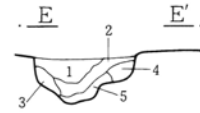
18区4号住居跡竈

1. 黒色土 灰褐色シルトブロック含む。
2. 黄褐色土 焼土ブロック含む。竈構築材崩落土。
3. 黄褐色土 粘土塊。
4. 橙色土 焼土。
5. 暗褐色土 灰、焼土ブロック含む。
6. 灰色土 粘土塊、竈構築材。
7. 暗褐色土 灰、焼土ブロック多量含む。
8. 黒褐色土 C軽石含む。
9. 暗褐色土 焼土ブロック含む。



18区4号住居跡柱穴

1. 暗褐色土
2. 暗褐色土 砂質ブロック多量含む。

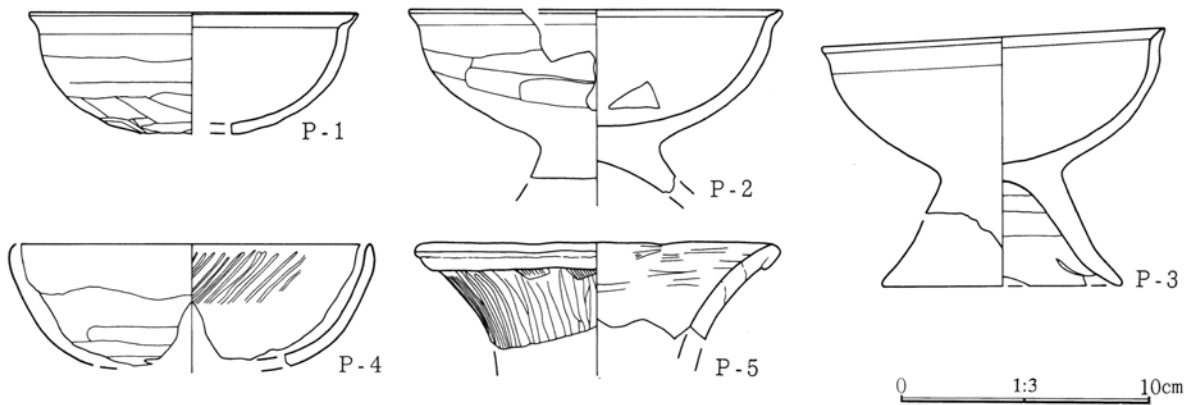


18区4号住居跡貯蔵穴

1. 黒褐色土 黒色土多量に含む。
2. 黒褐色土
3. 黒褐色土 C軽石含む。
4. 黒褐色土 C軽石少量含む。
5. 暗褐色土

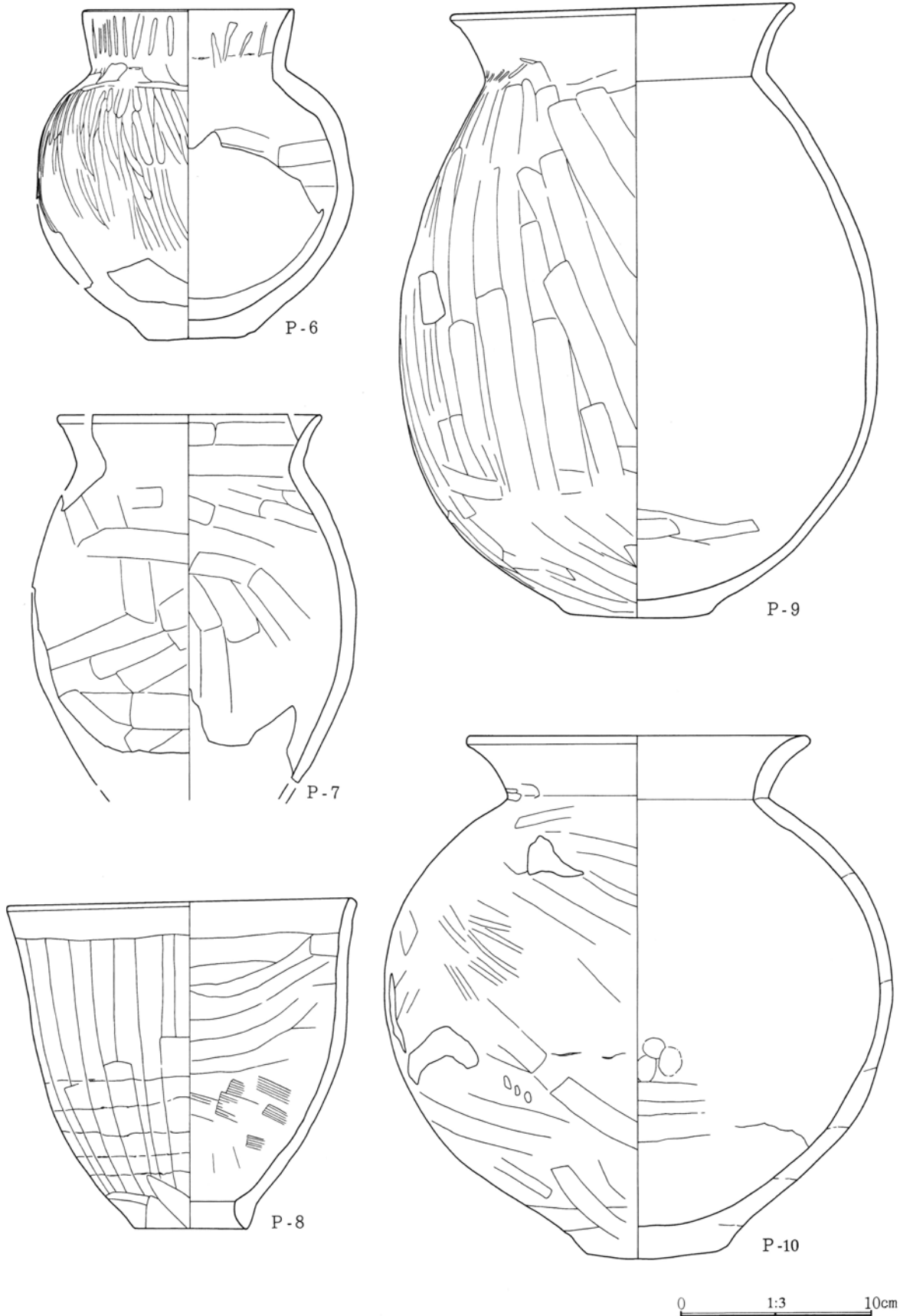
第273図 18区4号住居跡

0 1:60 2m



0 1:3 10cm

第274図 18区4号住居跡出土遺物(1)



第275図 18区4号住居跡出土遺物(2)

第5章 遺構と遺物

18区5号住居跡

(第276・277図・写真図版28・128)

位置 BH-138

重複 単独

形状・規模 不明

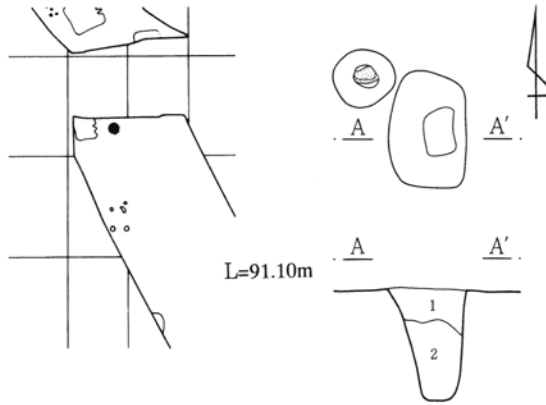
柱穴 ピットを1基確認した。規模は1、47×43cm、

深さ71cmを測る。

貯蔵穴 形状は楕円形を呈し、規模は91×61cm、深さ88cmを測る。

出土遺物 S字状口縁台付甕を出土している。

所見 出土遺物から、4世紀の住居跡と考えられる。

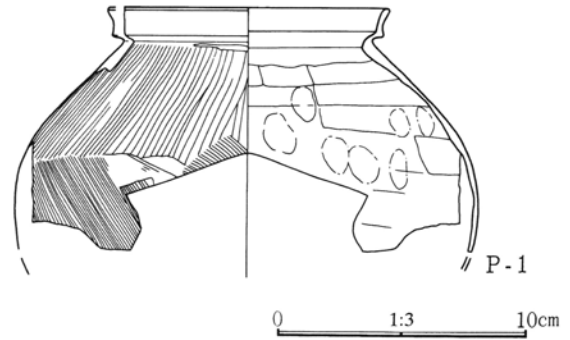


18区5号住居跡

- 1. 黒色土
- 2. 褐色土 C軽石含む。

0 1:60 2m

第277図 18区5号住居跡出土遺物



第276図 18区5号住居跡



## 第3節 掘立柱建物跡・柱列跡・柱穴

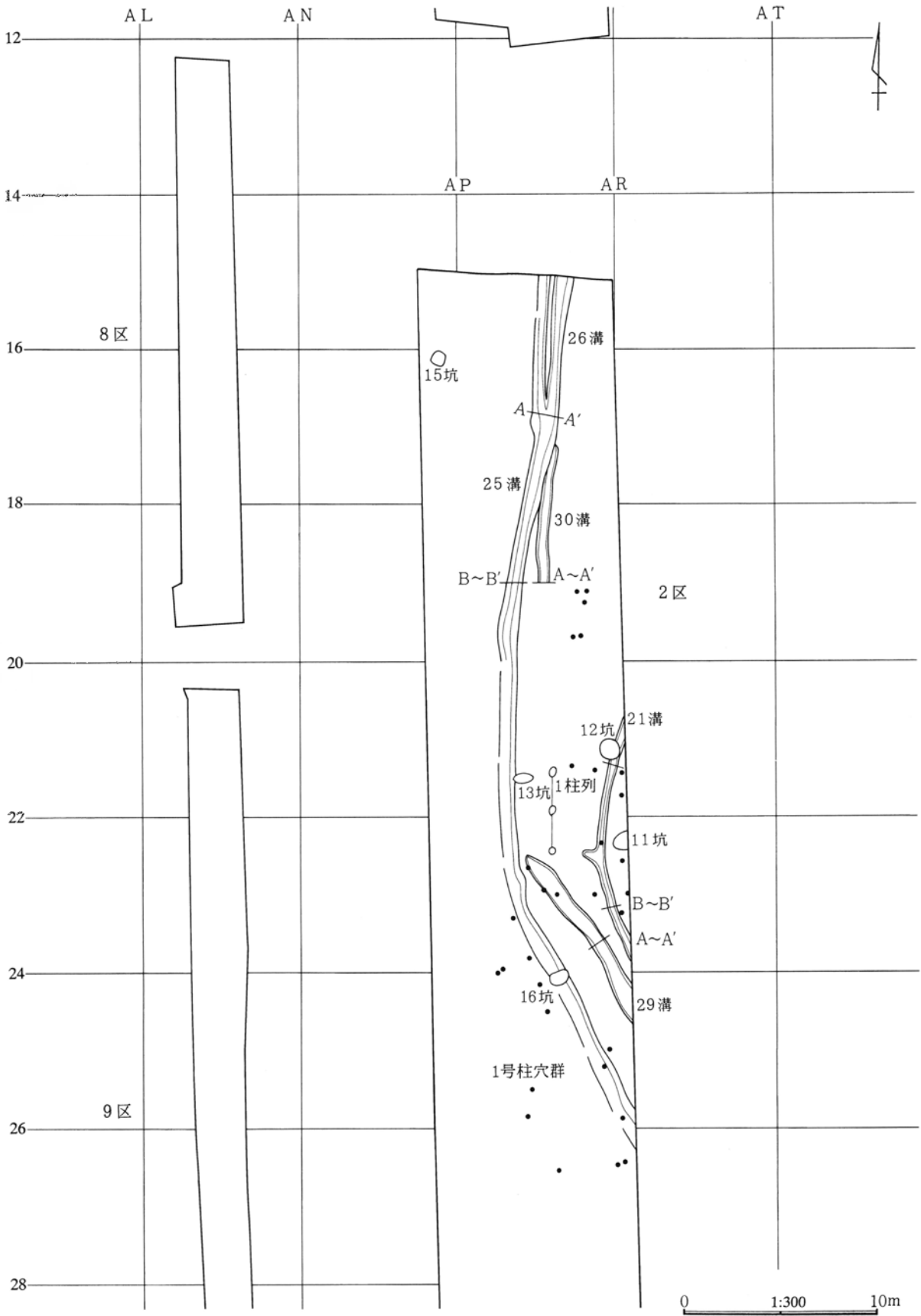
本遺跡で柱穴は289基確認されたが、構造物と明確に認識できるものは掘立柱建物跡が4棟、柱列跡が3列のみである。その他の多数の柱穴は微高地に集中するが、その配列や深さに企画性を看取することはできなかった。掘立柱建物跡、柱穴列の位置、規模、調査所見等については以下の一覧表にまとめている。一覧表及び平面図に記載された柱穴間の距離は、柱穴の芯心間で計測している。遺構の時期については出土遺物、覆土、確認面等で判断している。企画性の看取できない柱穴は、2区、16区と17区北側、17区南側の3ヶ所に集中し、大きく3つの柱穴群に分けられる。各柱穴群毎に代表的な土層断面を示す。

**掘立柱建物跡** 掘立柱建物跡は16区と18区北側で確認され、何れも「集落域」の縁辺に位置している。18区で確認された掘立柱建物跡は3棟で、「集落域」と「畠・墓域」との境に位置し全て2間×1間の構造である。16区で確認されている5号掘立柱建物跡は、3間×2間以上の掘立柱建物跡で東西に長い建物か、さらに南北に展開するのかわ不明である。柱間の長さは1.68～1.90mと厳密な企画性はない。ピット3とピット4の間は柱穴は確認できない。出土遺物は僅かであるが覆土や確認面、調査所見から古墳時代の可能性が高い。37号井戸と重複しているが新旧関係は明確ではない。18号北側で確認された掘立柱建物跡の平面形状はほぼ正方形である。18区1号掘立柱建物跡は柱間の長さが1.8mと3.5m程で企画性がある。22号、23号、24号溝と重複しており、18区1号掘立柱建物跡は各溝よりも古い。18区10号掘立柱建物跡は柱間の長さが1.56～1.74m、3.01～3.18mと厳密な企画性はない。重複している遺構もない。18区12号掘立柱建物跡は柱間の長さは1.5m、3.0m程で企画性がある。重複している遺構はない。18区の掘立柱建物跡から出土した遺物はないが、覆土、確認面、調査所見等から古墳時代前期から中期の可能性が高い。

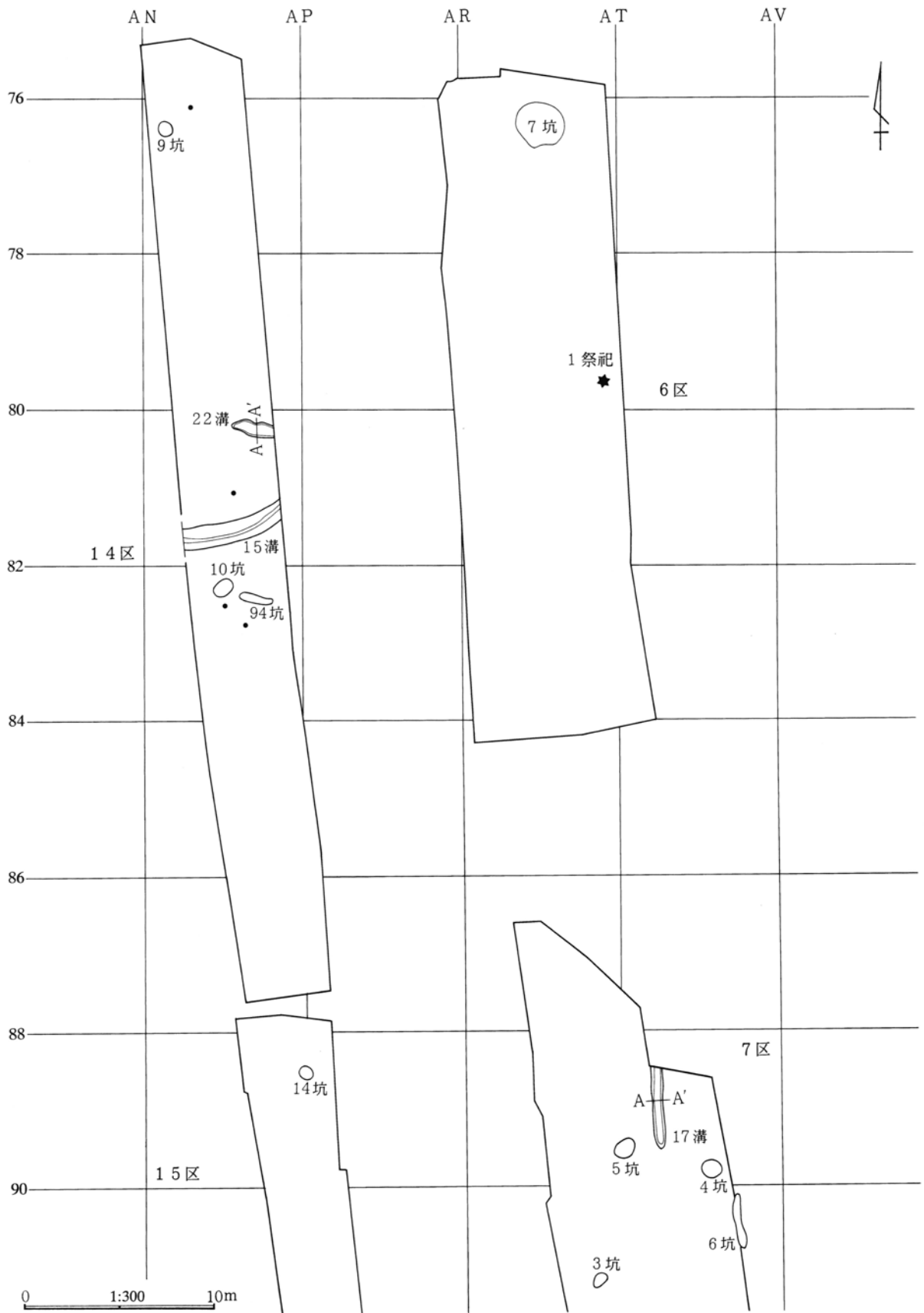
**柱列跡** 柱列跡は2区、17区中央、18区北側で確認されている。2区の柱穴列跡は微高地縁辺部に位置し、縁辺部に沿うように南北に並んでいる。17区の柱列跡も南北に並んでいる。18区の柱列跡は東西方向に並んでいる。18区の柱列跡は掘立柱建物跡が集中する地点と同じで、調査区の都合上全域を確認できなかったことから掘立柱建物跡となる可能性がある。1号柱列は4.15mの間に3つの柱穴が並ぶ。各柱穴の間隔は2.10m程でほぼ等間隔。遺物はないが、覆土、確認面、調査所見等から古墳時代前期の可能性が高い。2号柱列跡は12.66mの間に3本の柱穴が並ぶ。各柱穴の間隔は1.30m程でほぼ等間隔。遺物はないが、覆土、確認面、調査所見等から古墳時代の可能性が高い。3号柱列跡18区で確認されている。2.55mの間に2本の柱穴が並んでいる。遺物はないが、覆土、確認面、調査所見等から古墳時代前期～中期の可能性が高い。

**柱穴群** 柱穴群は大きく3つに分けられる。1号柱穴群は2区にあり、2号柱穴群は16区、17区北側、3号柱穴群は17区南側で確認されている。何れの柱穴群も微高地上に存在している。1号柱穴群の大半は黒色土の覆土でAs—Cを含むものが一部に見られる。規模は直径0.35～0.63m、深さ0.18～0.40m程のもので、平面形状は円形が多い。柱穴群内で集中している所は無い。2号柱穴群は5つの小柱穴群を含んでいる。暗褐色または黒褐色の覆土でAs—Cを含むものがある。規模は直径0.23～0.50m、深さ0.14～0.48m程のものである。一部の柱穴の土層断面には柱痕を持つものもあるが、断面形状は多様である。井戸の付近に集中する柱穴群があるが、性格は不明。3号柱穴群は5つの小柱穴群を含んでいる。暗褐色または黒褐色の覆土でHr—FP、As—Cを含むものがある。規模は直径0.15～0.50m、深さ0.58～0.60m程のものである。一部の柱穴の土層断面には柱痕を持つものがあるが、2号柱穴群と同様に断面形状は多様である。各柱穴には遺物はないが、覆土、確認面、調査所見等から古墳時代の可能性が高い。

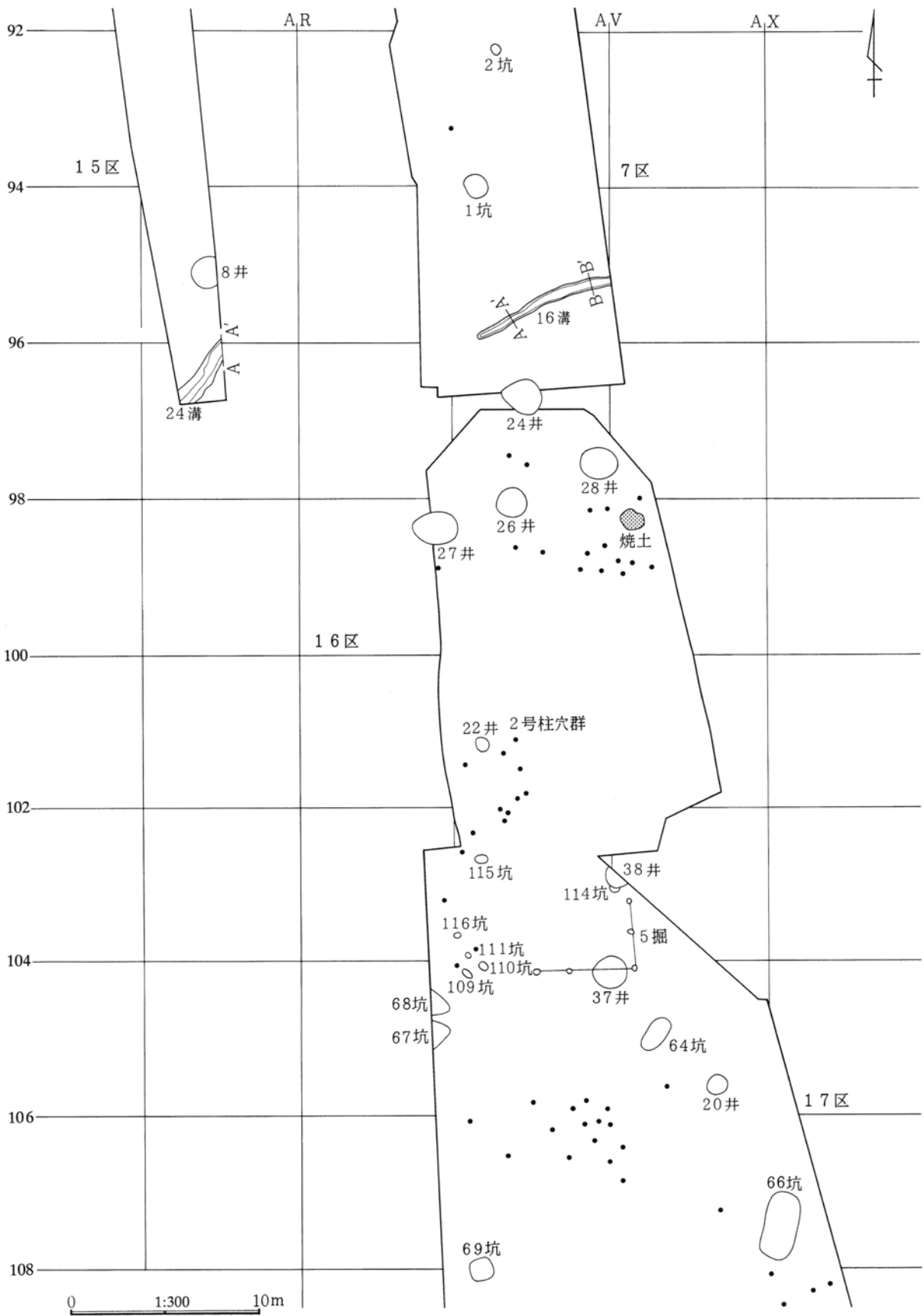




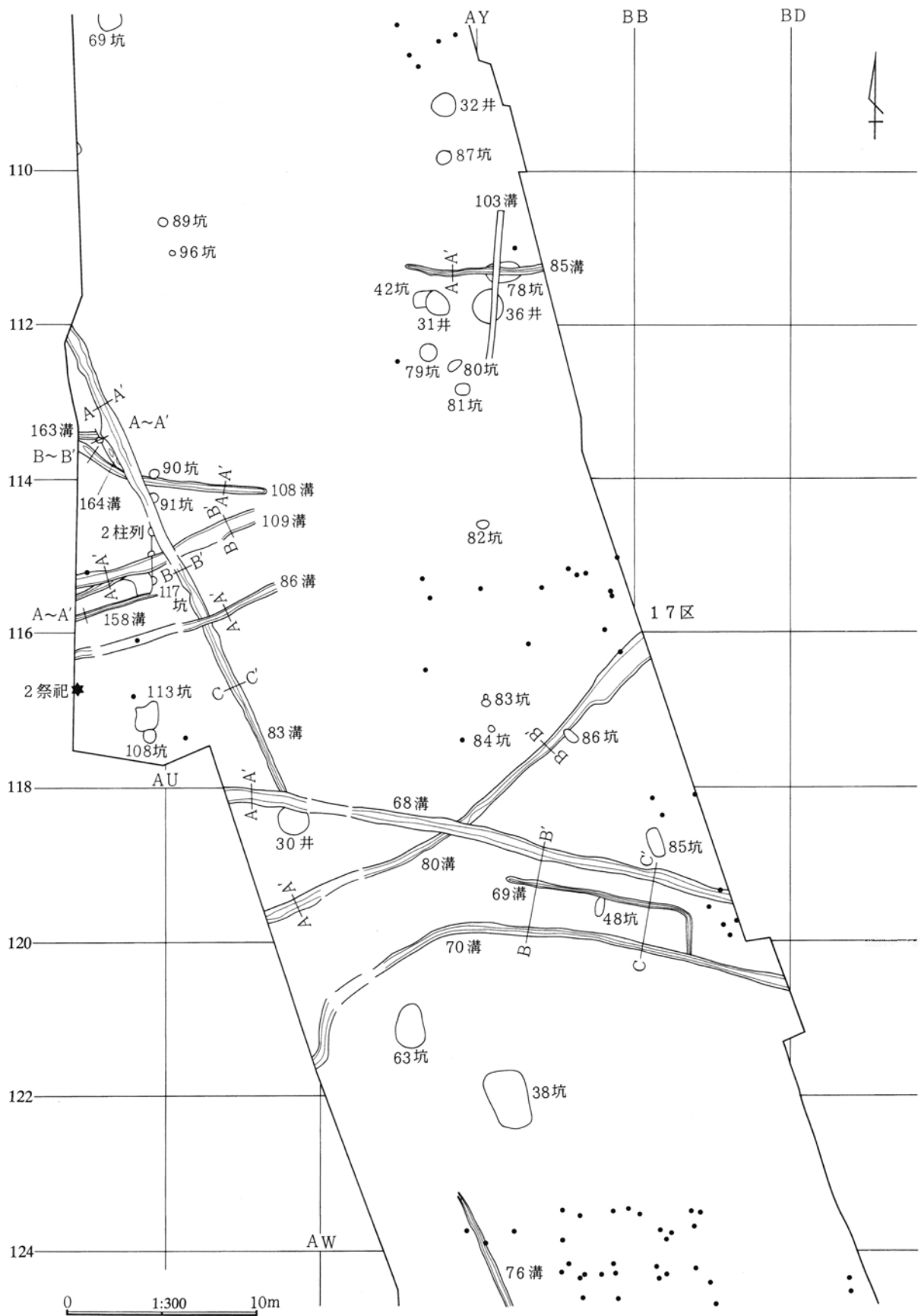
第278図 住居跡を除く遺構分布図(1)



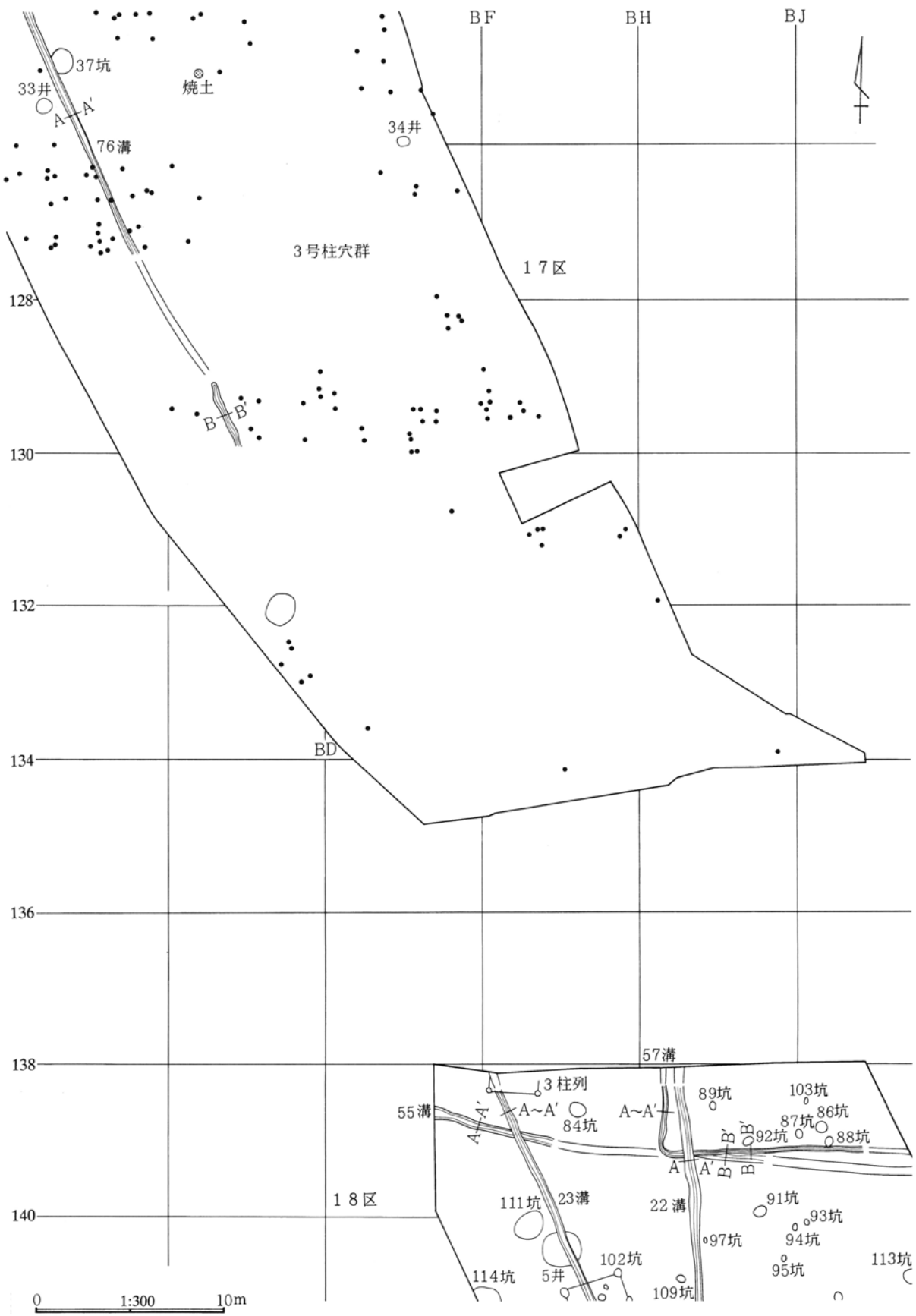
第279図 住居跡を除く遺構分布図(2)



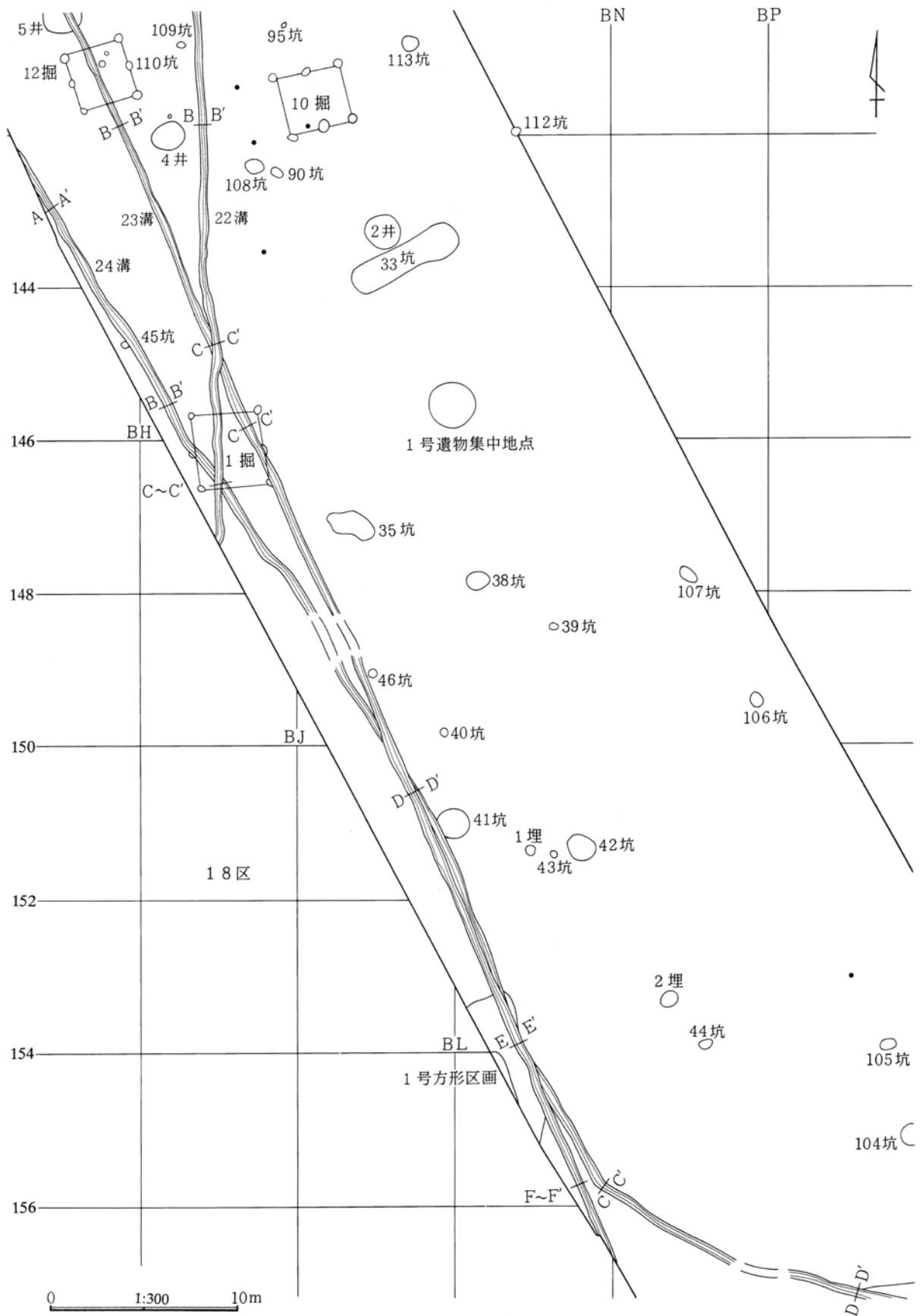
第280図 住居跡を除く遺構分布図(3)



第281図 住居跡を除く遺構分布図(4)

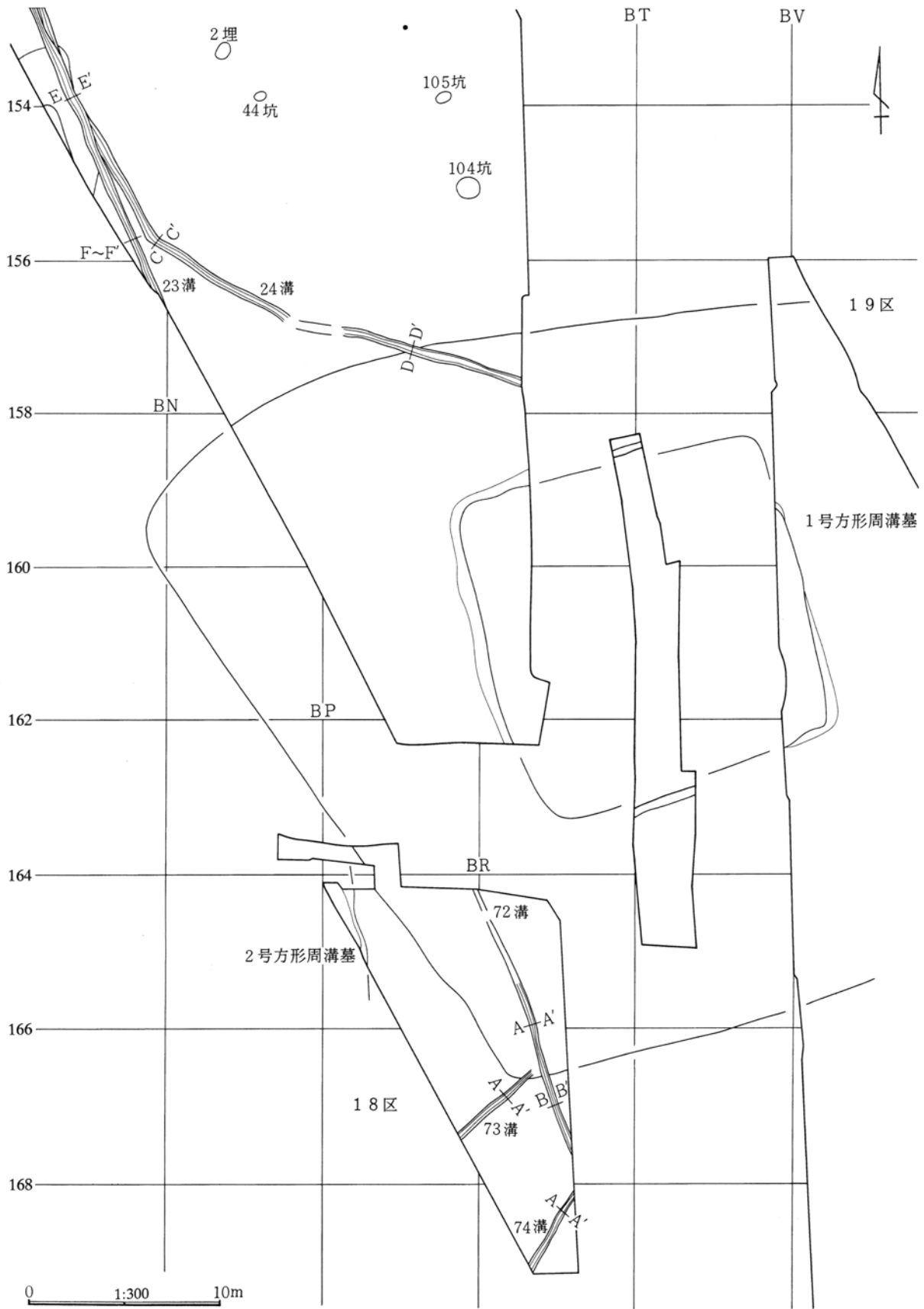


第282図 住居跡を除く遺構分布図(5)

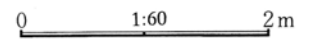
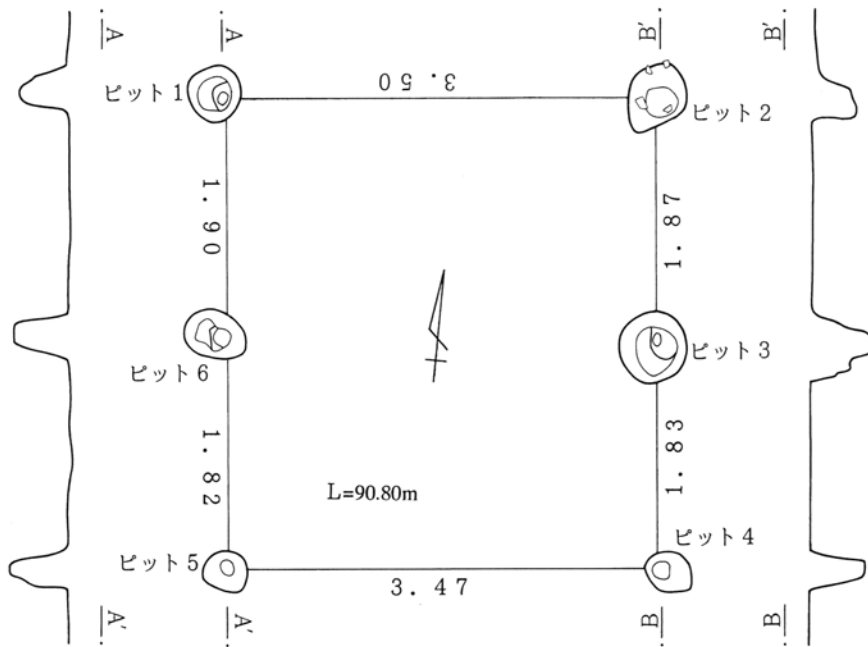
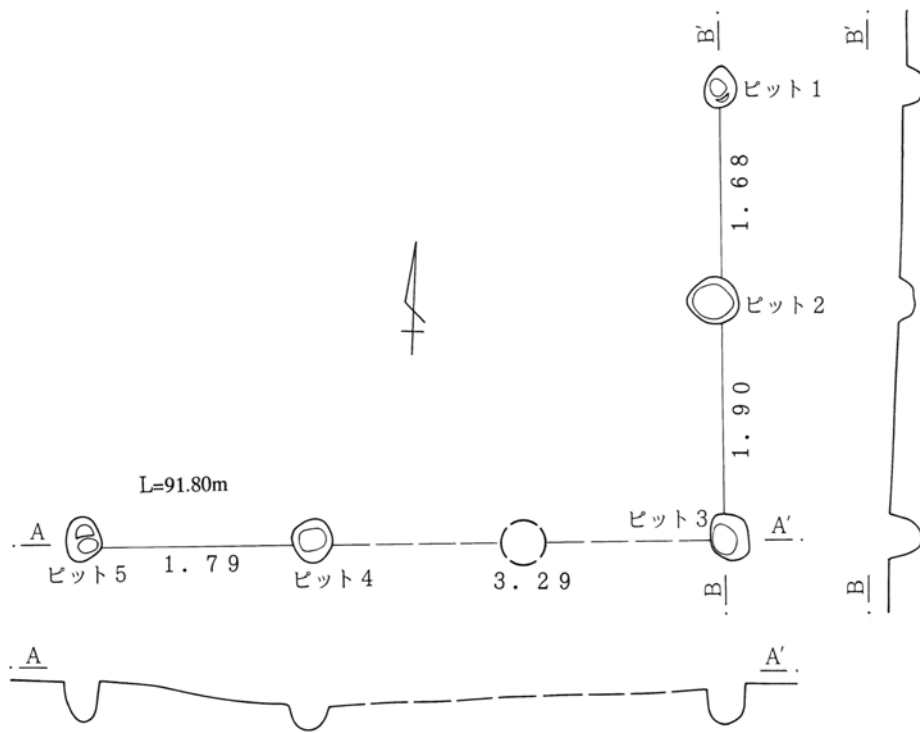


第283図 住居跡を除く遺構分布図(6)

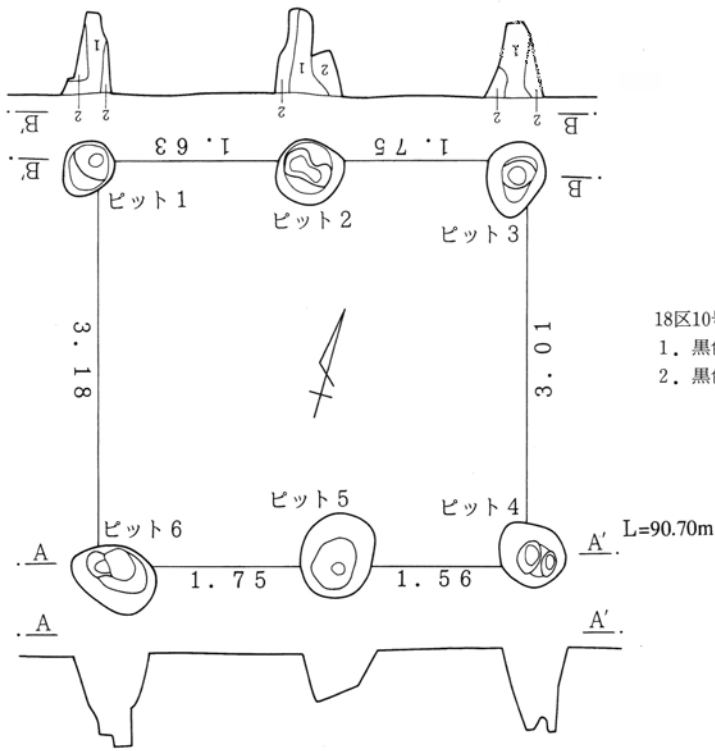




第284図 住居跡を除く遺構分布図(7)

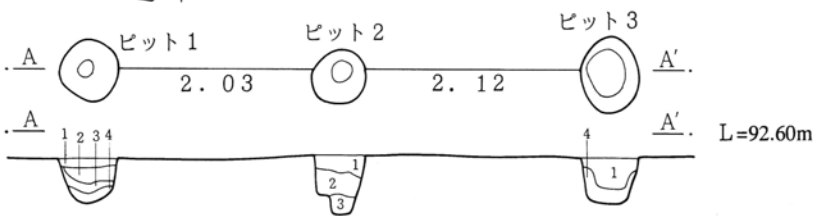
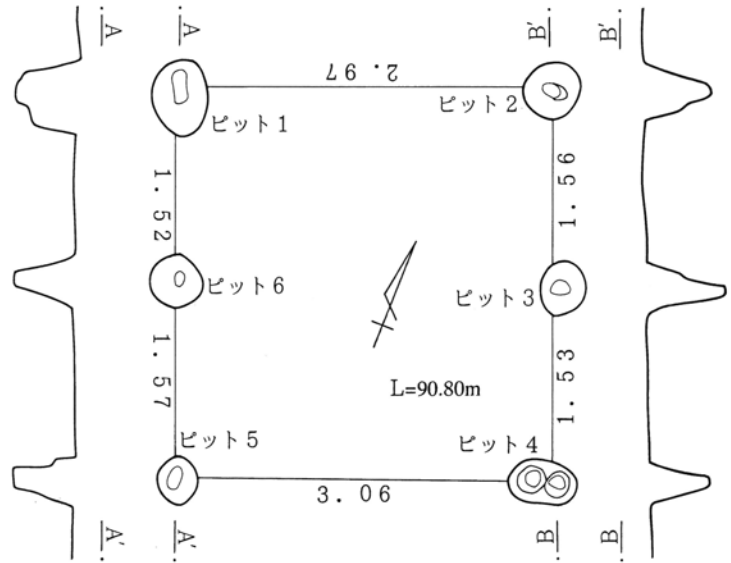


第285図 16区5号・18区1号掘立柱建物跡



18区10号掘立柱建物跡

1. 黒色粘質土 As-C混土。柱痕。
2. 黒色粘質土 地山と黒色土混土。

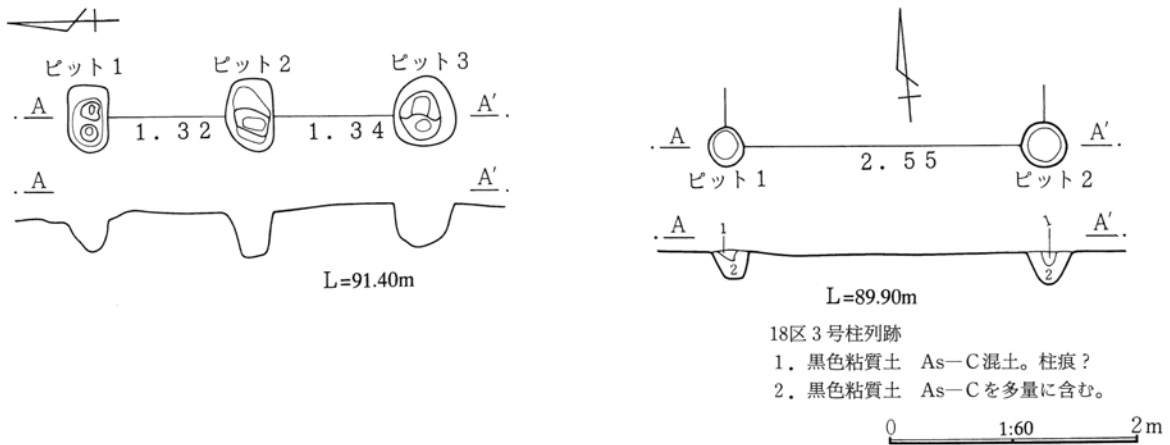


2区1号柱列跡

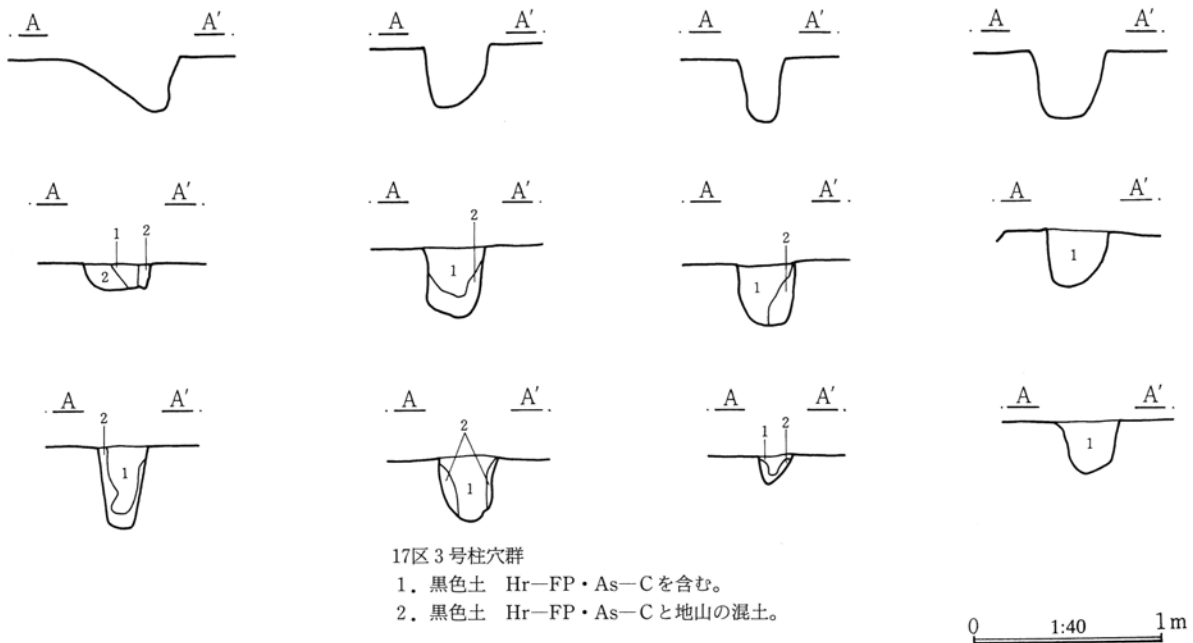
1. 黒褐色土 As-C微量含む。
2. 黄褐色土 黄色土ブロック含む。
3. 黒色土 黄色土ブロックわずかに含む。
4. 黄褐色土 黄色土ブロックと黒色土混土。

0 1:60 2m

第286図 18区10・12号掘立柱建物跡・2区1号柱列跡



第287図 17区2号・18区3号柱列跡



第288図 17区3号柱穴群

#### 第4節 井戸

本遺跡では井戸は19基確認されている。15区、16区、17区、18区の微高地で検出され、各時期の住居跡間に散在するが、16区北側、18区北側では井戸がやや集中していることが確認できる。16区北側は水田跡と居住区にあたる。井戸の規模や平面形状、調査所見等については一覧表の通りである。遺構の時期については出土遺物、覆土、確認面等で判断している。「第293図 井戸の透水層位置」は本遺跡北側

より井戸の断面図を並べ、透水層の相互関係を見るための資料として添付している。本報告書中で井戸と呼ぶ遺構は、調査時の所見を重視している。そのため土坑の中には井戸となるものがあると考え。特に5号、7号、9号、11号、37号、18区84号土坑は平面形状が円形を基調とし、深さが1m前後で出土遺物が多いこと等から井戸の可能性はある。

検出された井戸の平面形状は円形を基調としており、規模は直径2m前後が多い。断面形状については3種類に大別できる。壁面がほぼ垂直に近い円筒

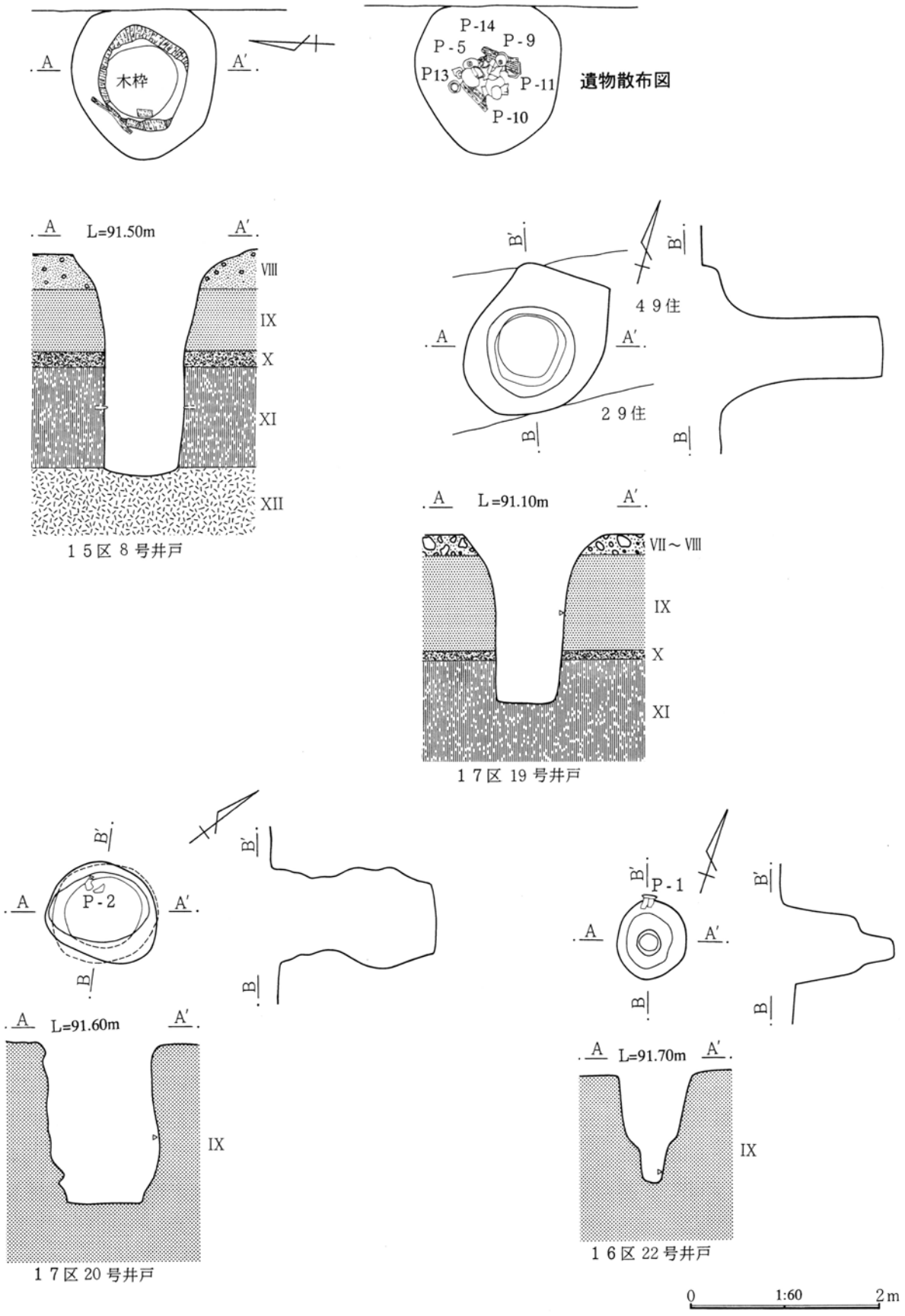
形状を呈する8、19、20、31、33、34、36、38、18区4号井戸、底部から開口部に向かって徐々に幅広となるV字形状を呈する27、30、37、18区5号井戸、断面中位に段を有する22、24、26、28、32、18区2号井戸である。8号井戸、24号井戸、18区5号井戸は遺物が多数出土しているが、日用雑器と思われる土師器が大半で完形、ほぼ完形の土器が多い。覆土はAs-Cを含む黒色土を基調とし、崩落したと思われる地山ブロックが混入している。出土遺物、覆土、確認面、調査所見等から全て古墳時代に同定され過半数が古墳時代前期に数えられる。透水層については確認できる井戸全てが総社砂層内で、標高は90,00

m前後になっている。

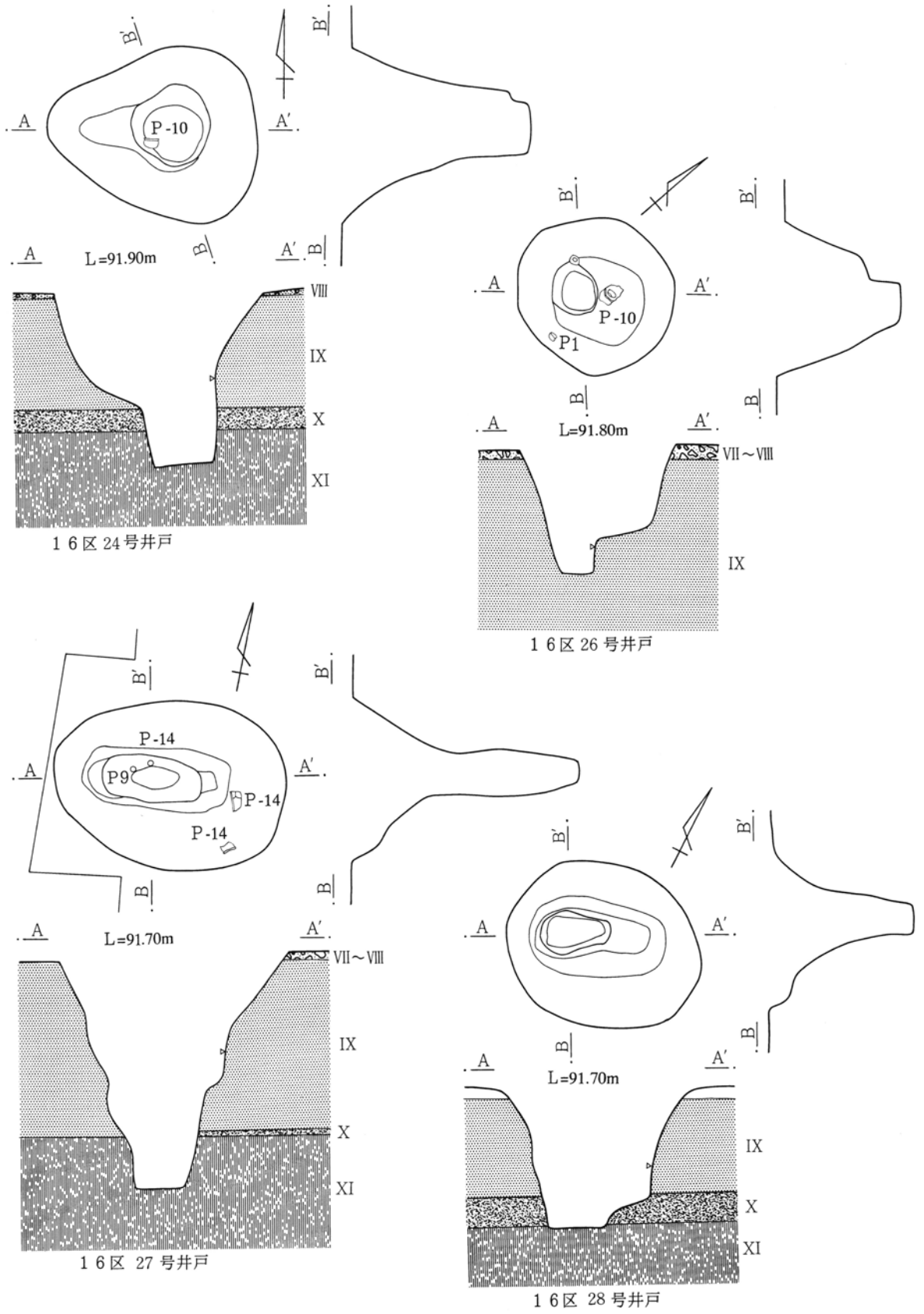
8号井戸には断面中位下半に木製品が打ち込まれている。19号井戸は、29号住居跡、49号住居跡と重複しているが新旧関係は不明。32号井戸は70号住居跡と重複しているが、32号井戸は70号住居跡よりも古い。38号井戸は59号、62号、103号住居跡と114号土坑と重複している。38号井戸は103号住居跡よりも新しく、他の遺構よりも古い。調査区の都合上、遺構の全域を確認できなかった。18区4号井戸内には炭化物が見られる。18区5号井戸には多量の遺物が出土している。

## 井戸

番号	位 置	平面形状	長×短	深m	時 期	備 考
8	15区 AP-94	円 形	1.64	2.37	古墳時代前期	井戸の断面に木製品を打ち込む。
19	17区 BC-131	円 形	1.64×1.33	1.85	古墳時代	
20	17区 AW-105	円 形	1.19	1.68	古墳時代中期	
22	16区 AT-101	円 形	0.78	1.20	古墳時代後期	
24	16区 AT-96	円 形	2.13×1.74	1.94	古墳時代前期	
26	16区 AT-97	円 形	1.65	1.30	古墳時代前～中期	
27	16区 AS-98	楕 円 形	2.37×1.75	2.40	古墳時代前期	
28	16区 AU-97	楕 円 形	2.04×1.68	1.50	古墳時代前期	
30	17区 AV-118	円 形	1.6	1.28	古墳時代前期	
31	17区 Ax-111	楕 円 形	1.43×1.09	1.36	古墳時代前期	
32	17区 AX-109	円 形	1.23	1.06	古墳時代後期	
33	17区 AY-125	円 形	0.6	1.20	古墳時代前期?	
34	17区 BD-125	円 形	0.70	0.82	古墳時代中期?	
36	17区 AX-111	円 形	1.75	1.07	古墳時代前期	
37	16区 AU-104	円 形	1.82	2.00	古墳時代前～中期	
38	16区 AU-103	円 形 ?	1.14+ $\alpha$	—	古墳時代前～中期	
2	18区 BJ-143	円 形	1.90	1.05	古墳時代前期	
4	18区 BH-141	円 形	1.60	2.05	古墳時代前期	
5	18区 BF-140	円 形	2.15	1.0	古墳時代前期	遺物多数出土

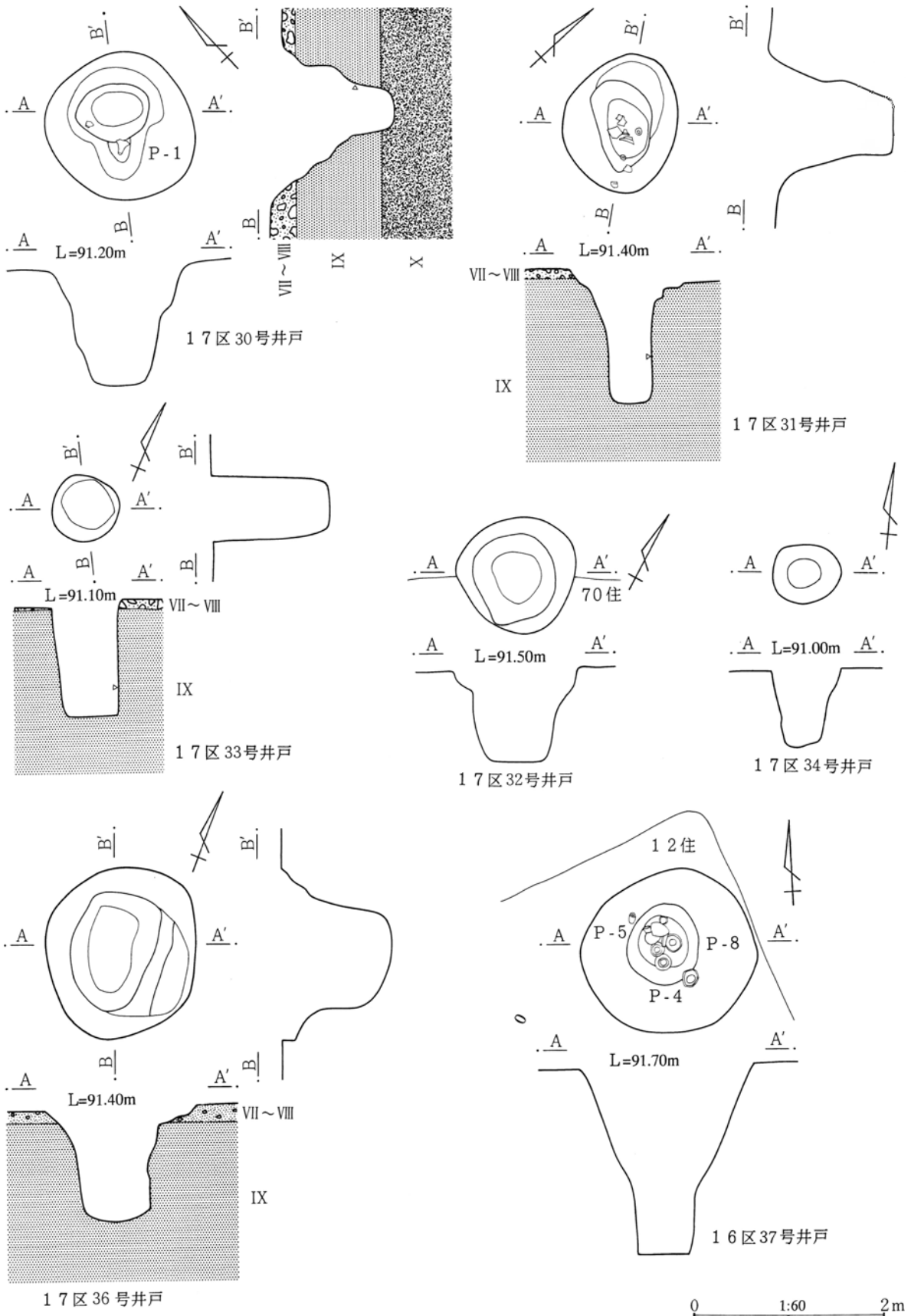


第289図 8・19・20・22号井戸



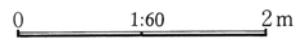
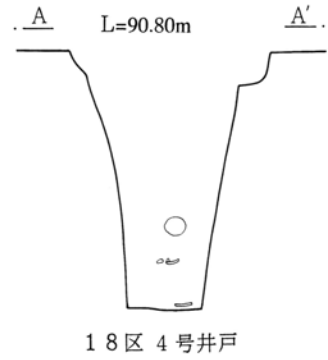
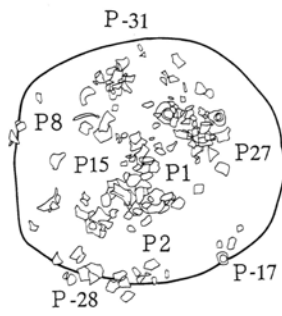
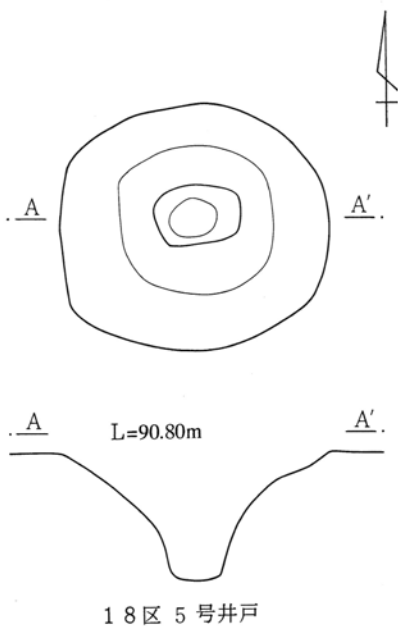
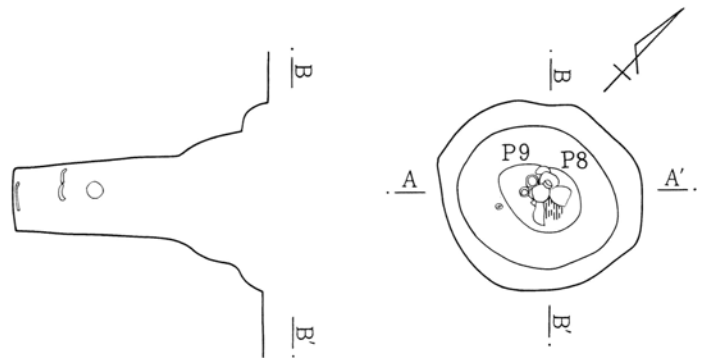
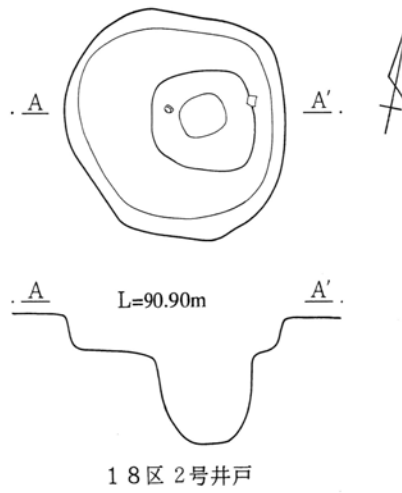
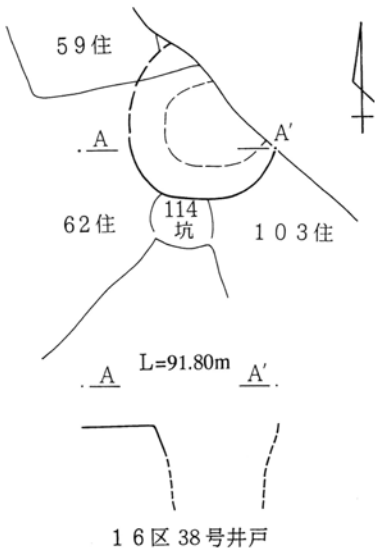
0 1:60 2m

第290図 24・26~28号井戸



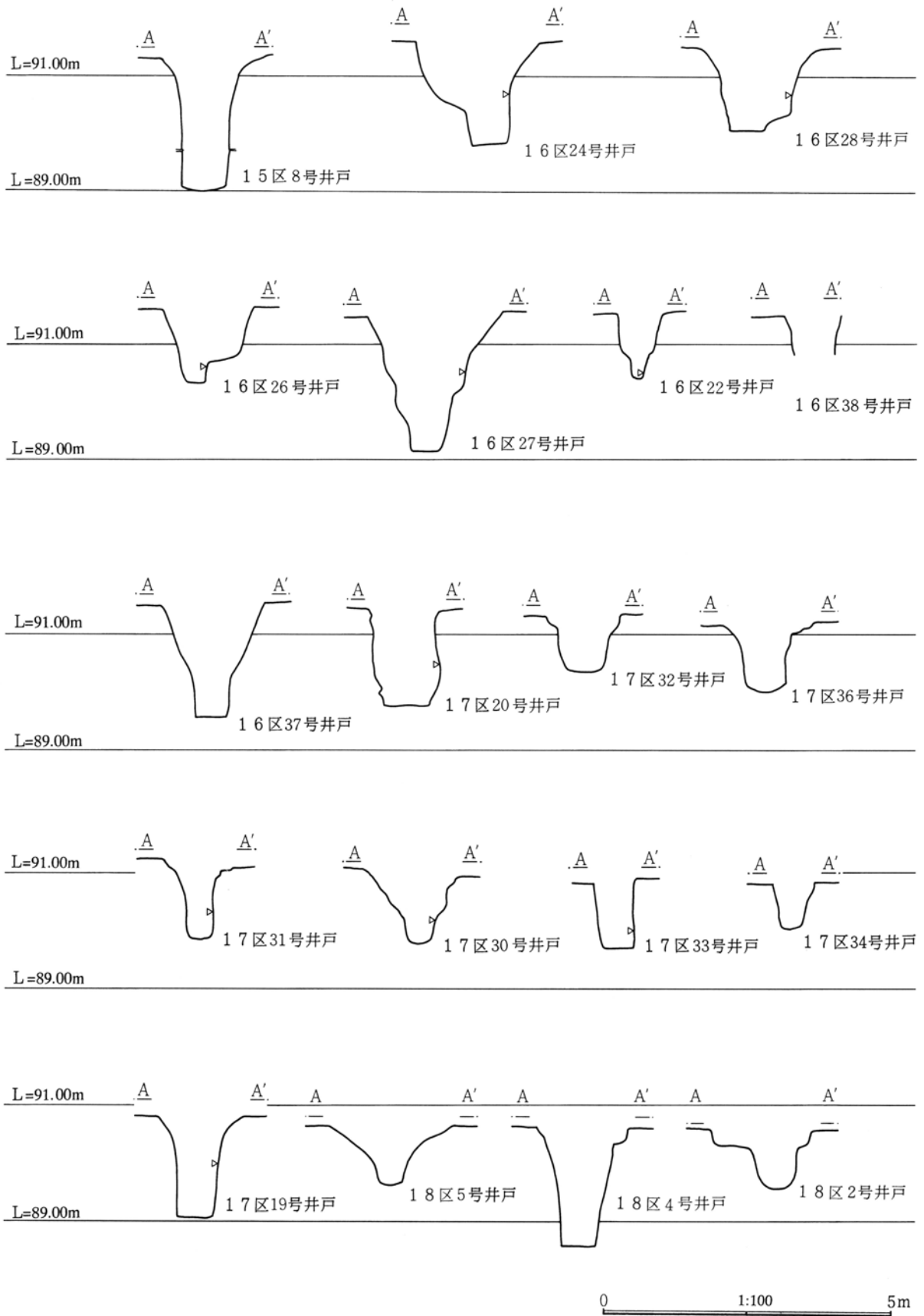
第291図 30~34・36・37号井戸



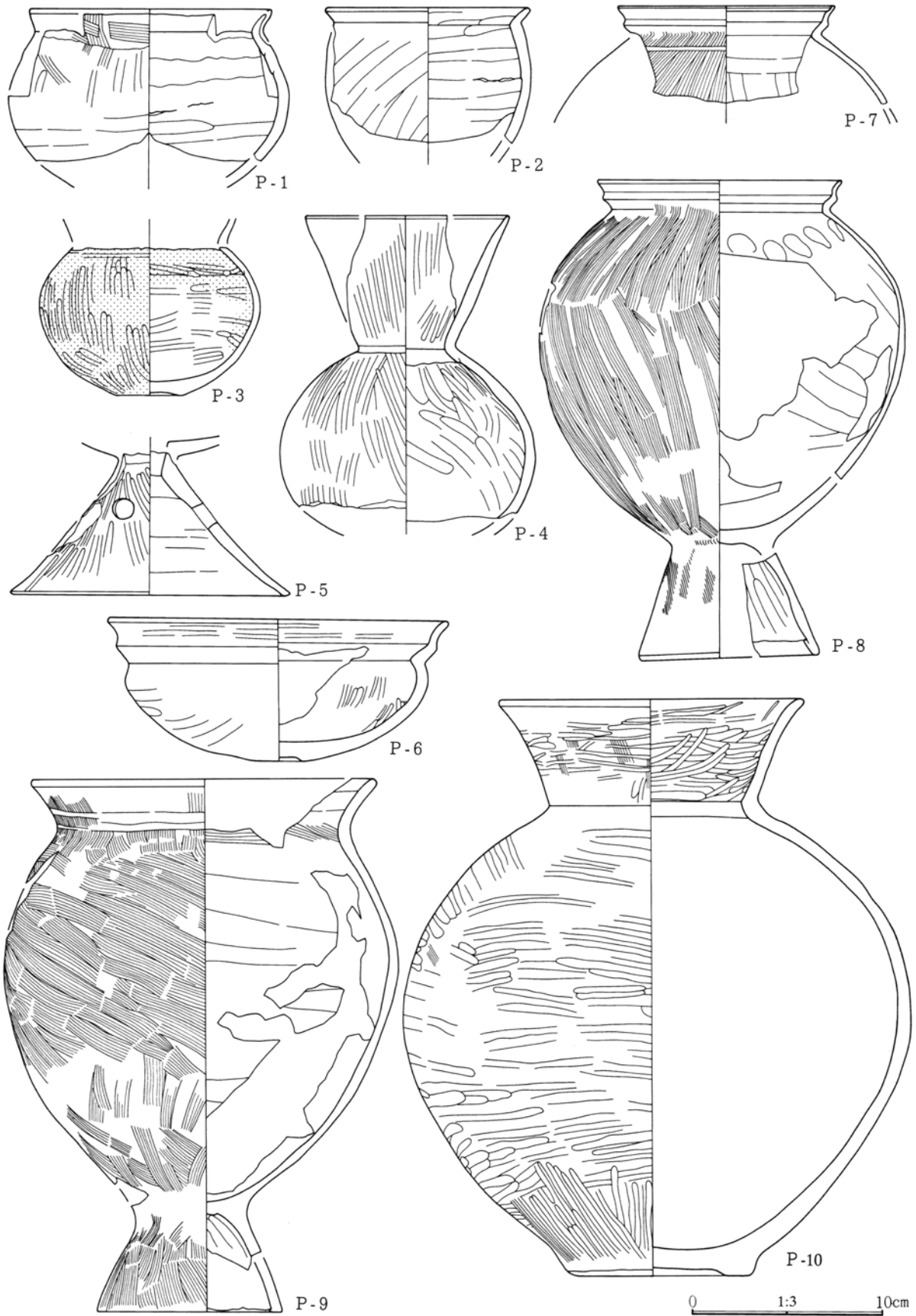


第292図 38・2・4・5号井戸

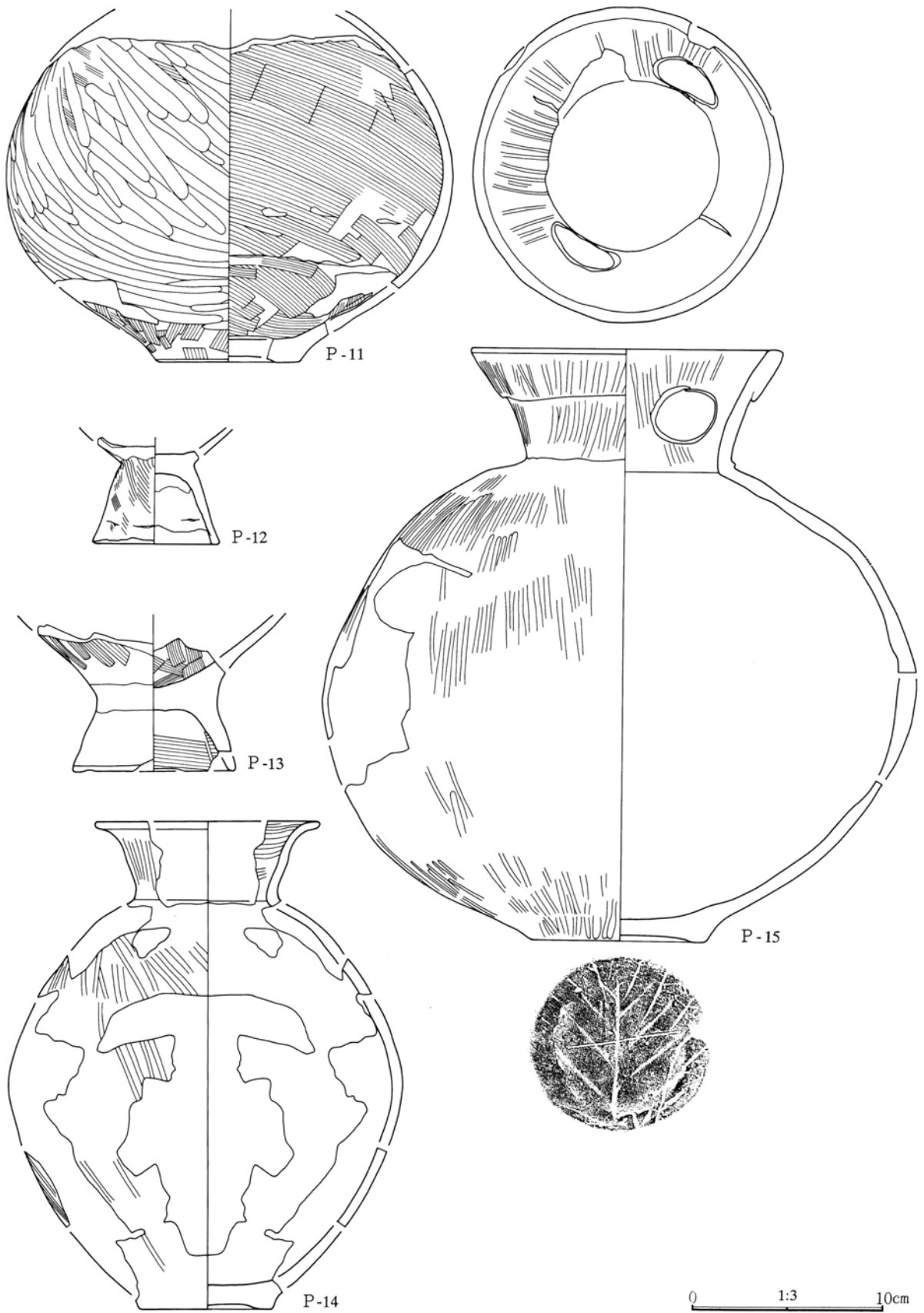
第5章 遺構と遺物



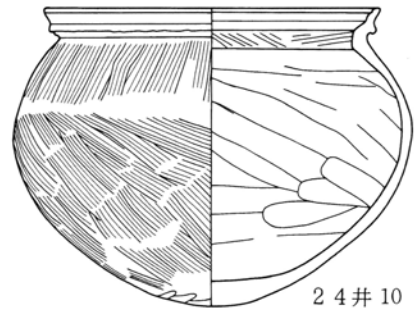
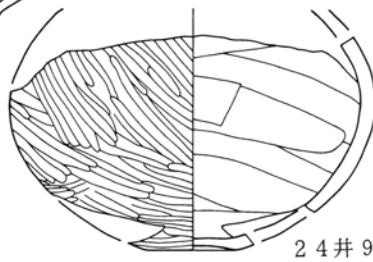
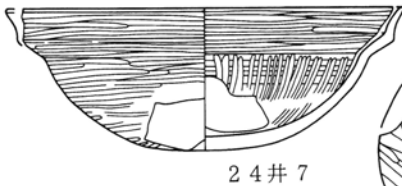
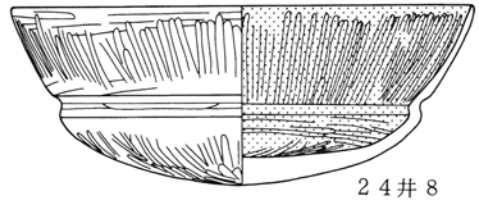
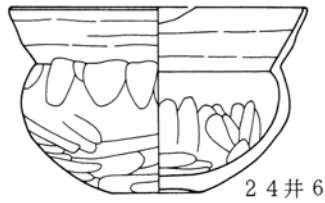
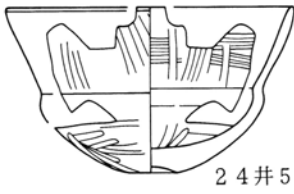
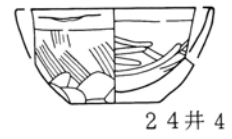
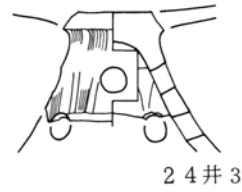
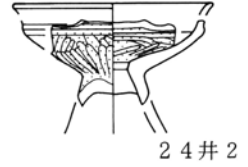
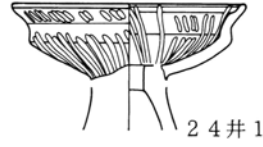
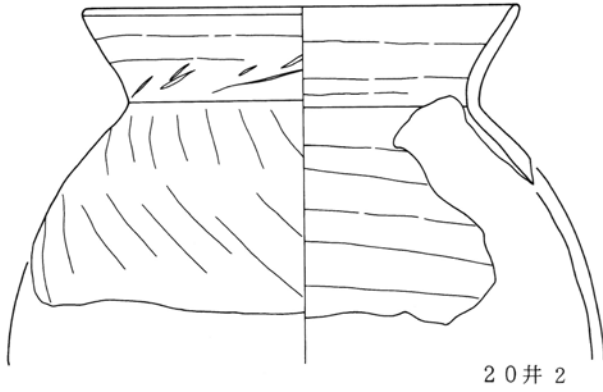
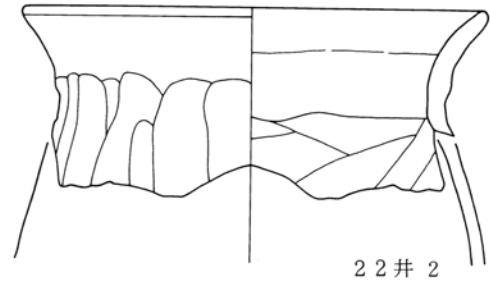
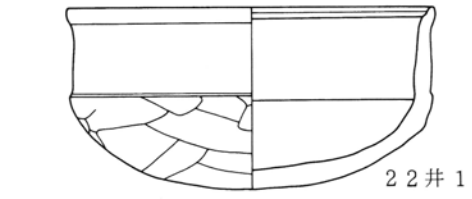
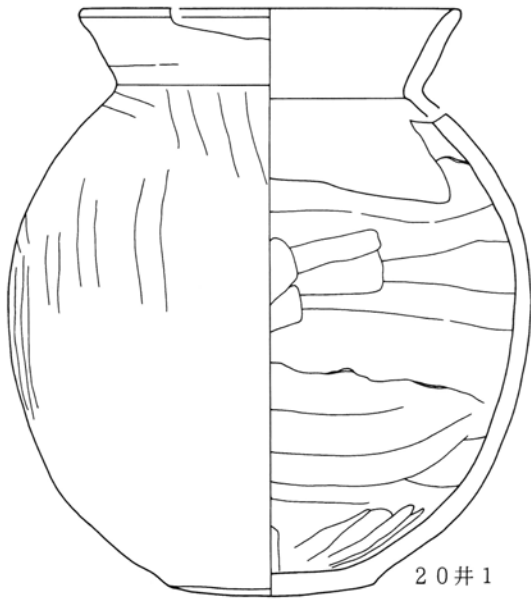
第293図 井戸の透水層位置



第294図 15区8号井戸出土遺物(1)

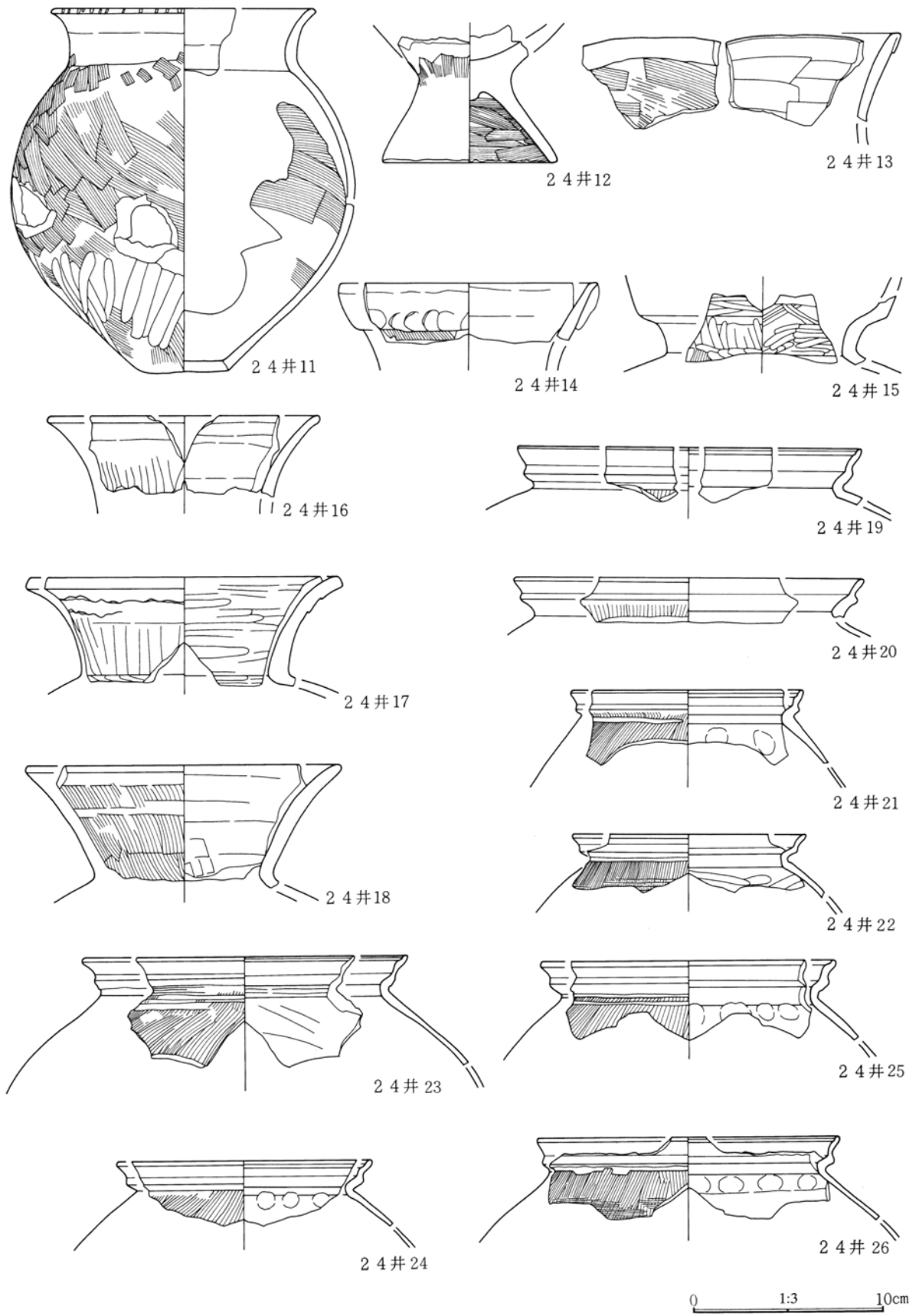


第295図 15区8号井戸出土遺物(2)

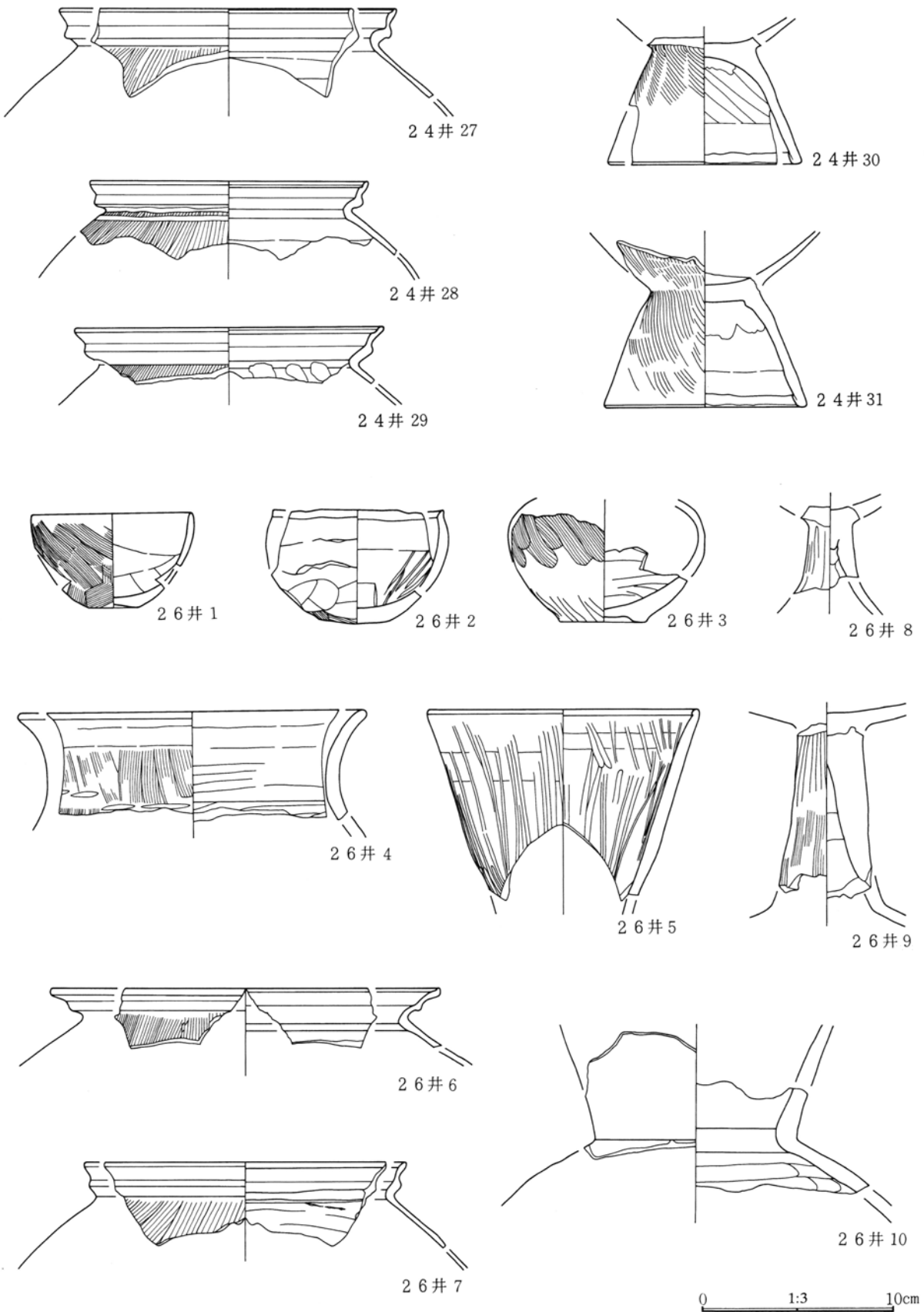


0 1:3 10cm

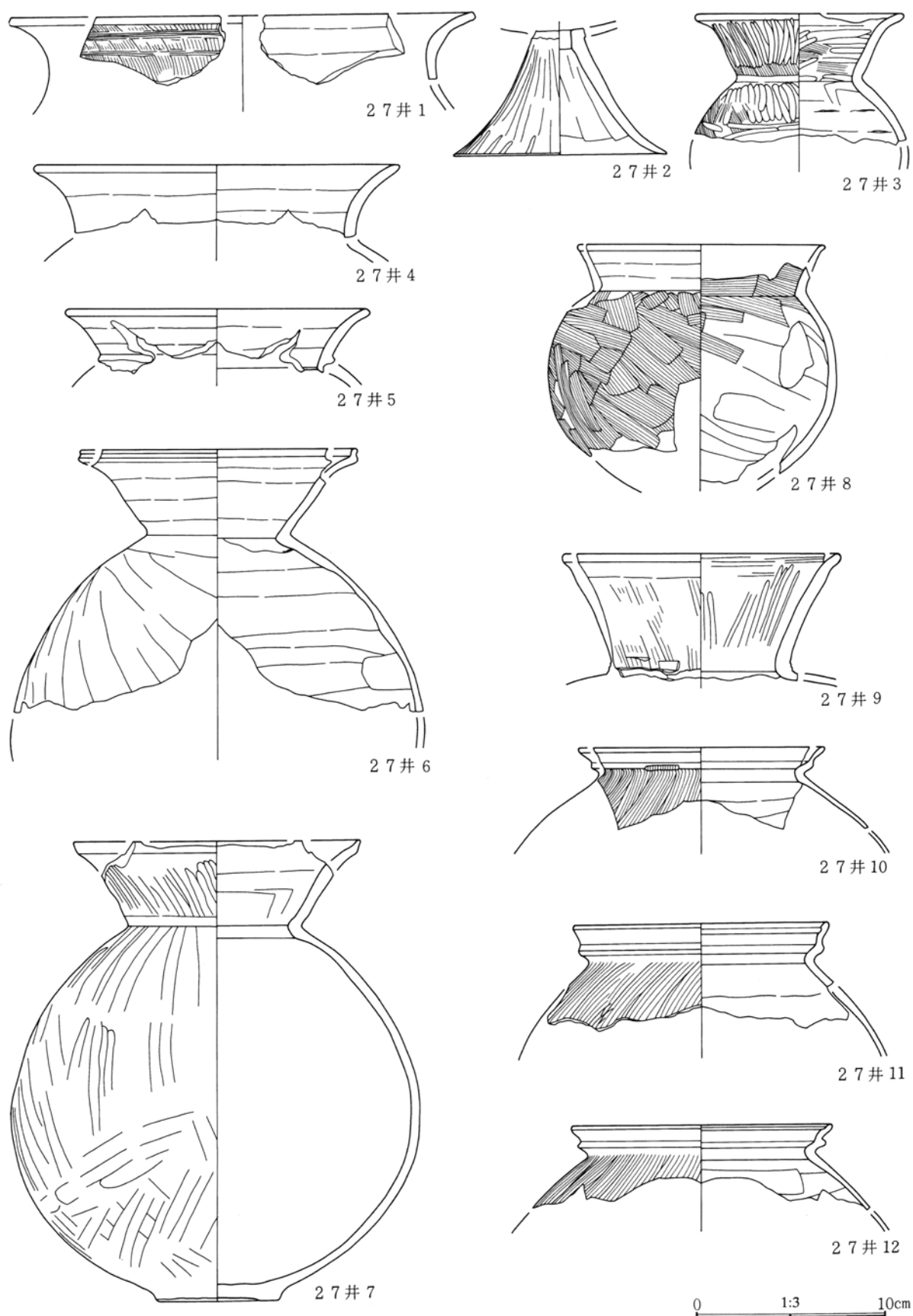
第296図 17区20号・16区22・24号(1)井戸出土遺物



第297図 16区24号井戸出土遺物(2)

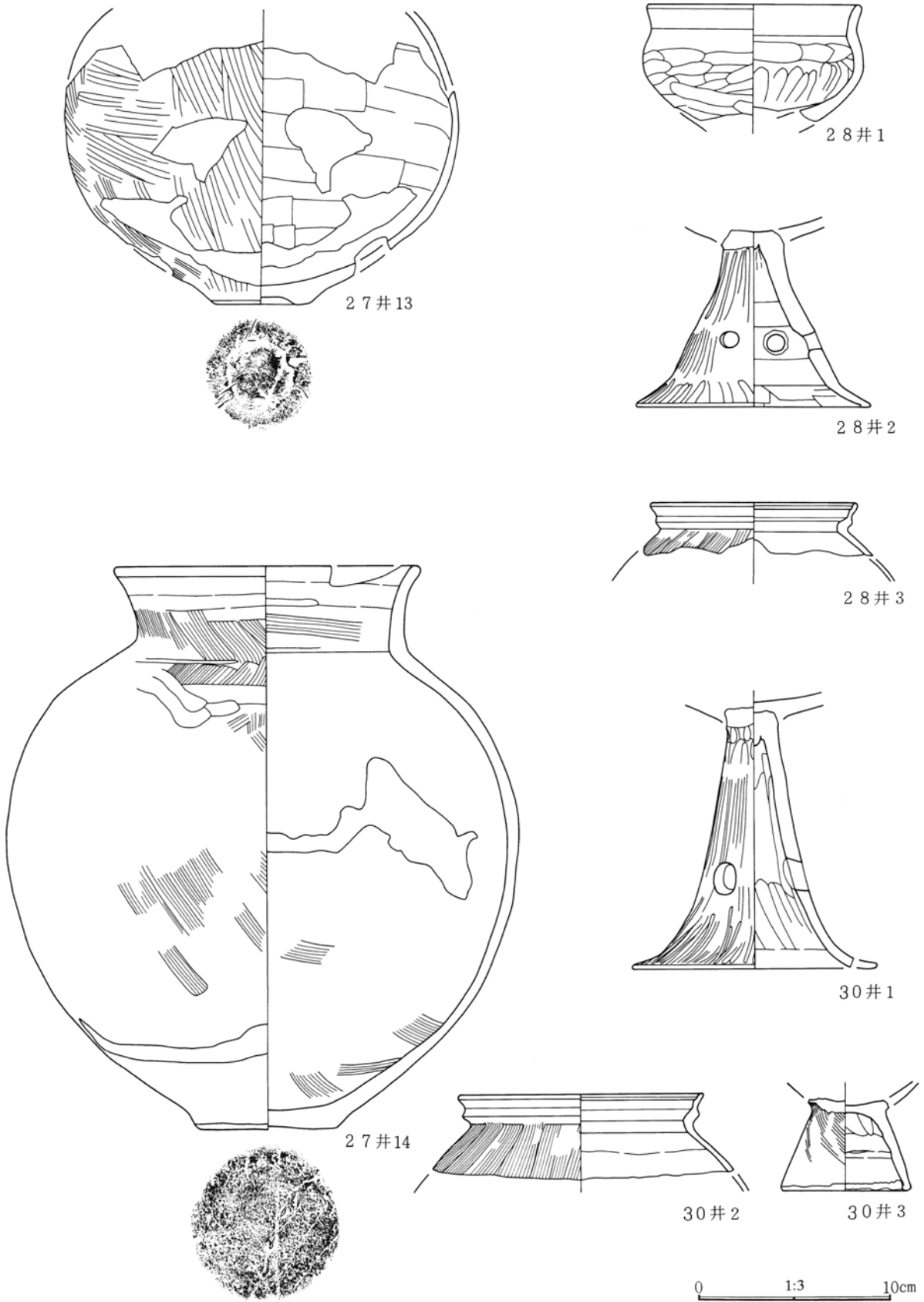


第298図 16区24(3)・26号井戸出土遺物

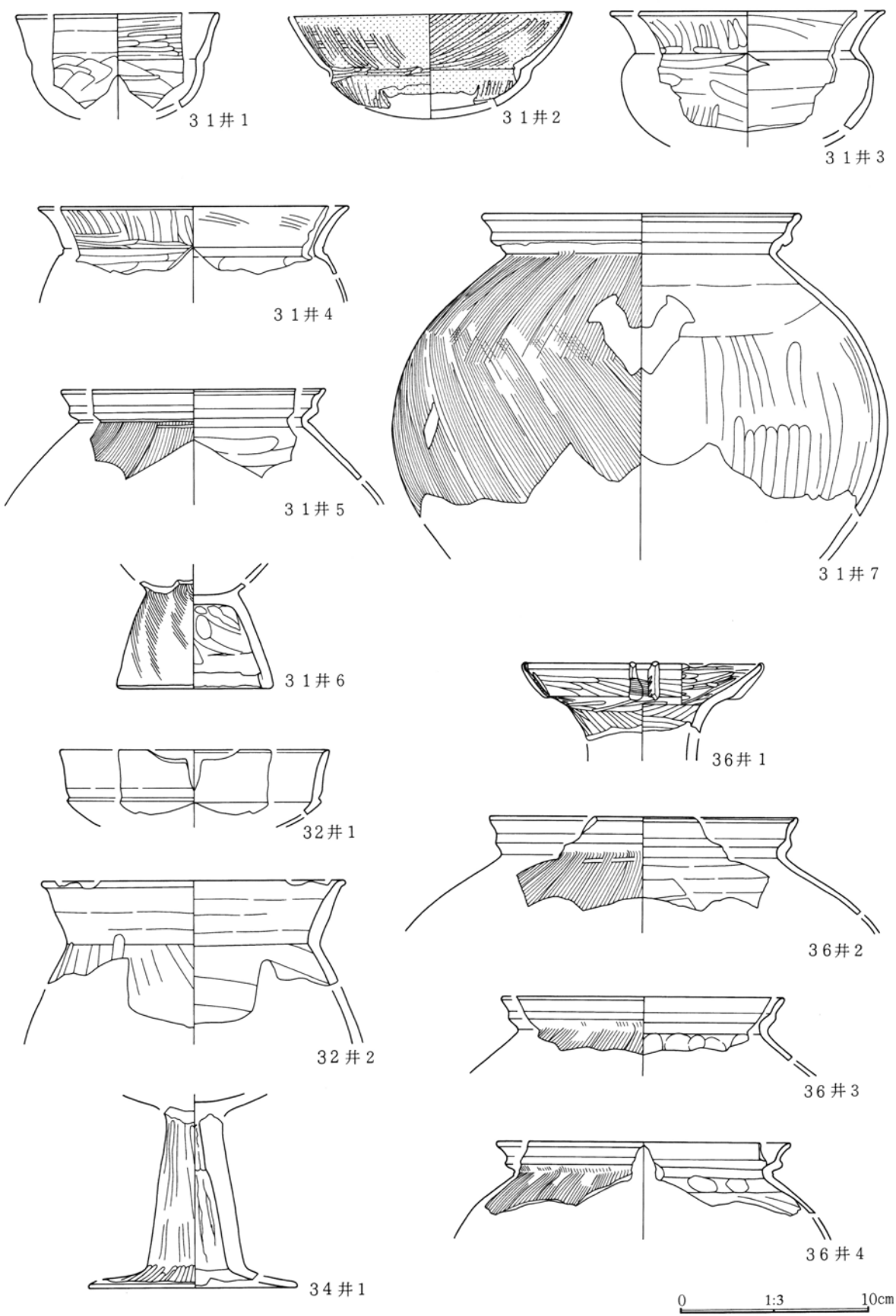


第299図 16区27号井戸出土遺物(1)

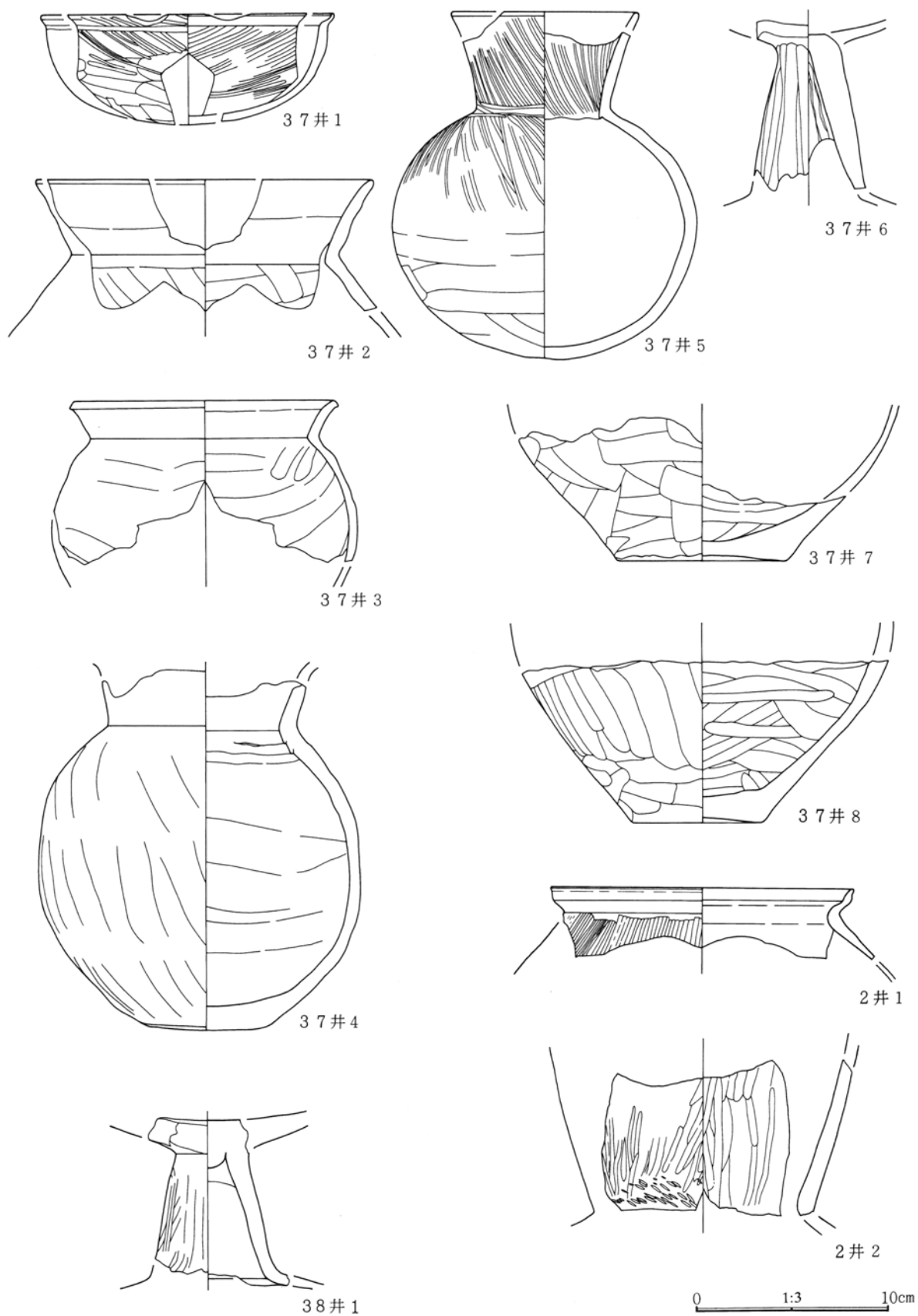




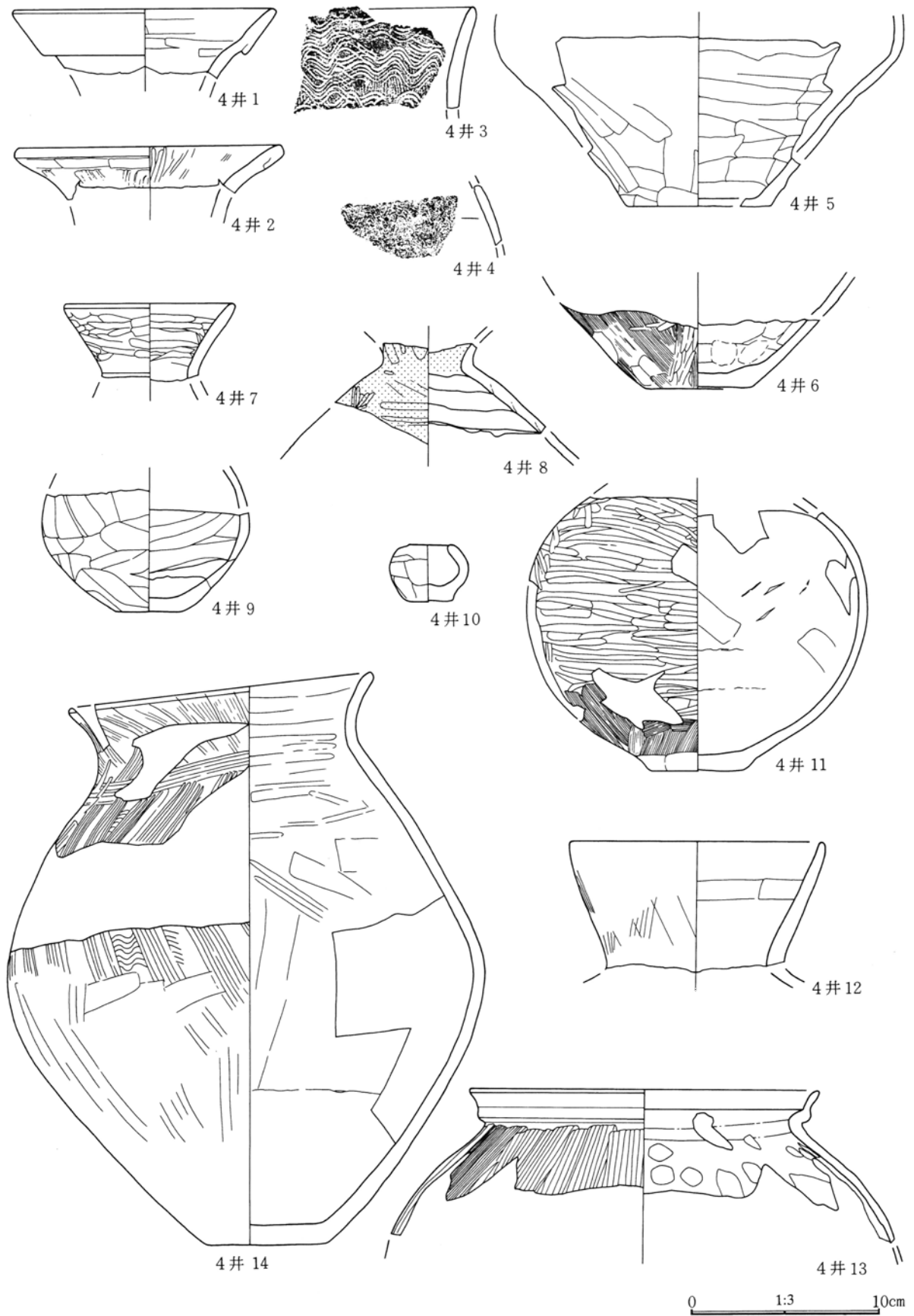
第300図 16区27(2)・28号・17区30号井戸出土遺物



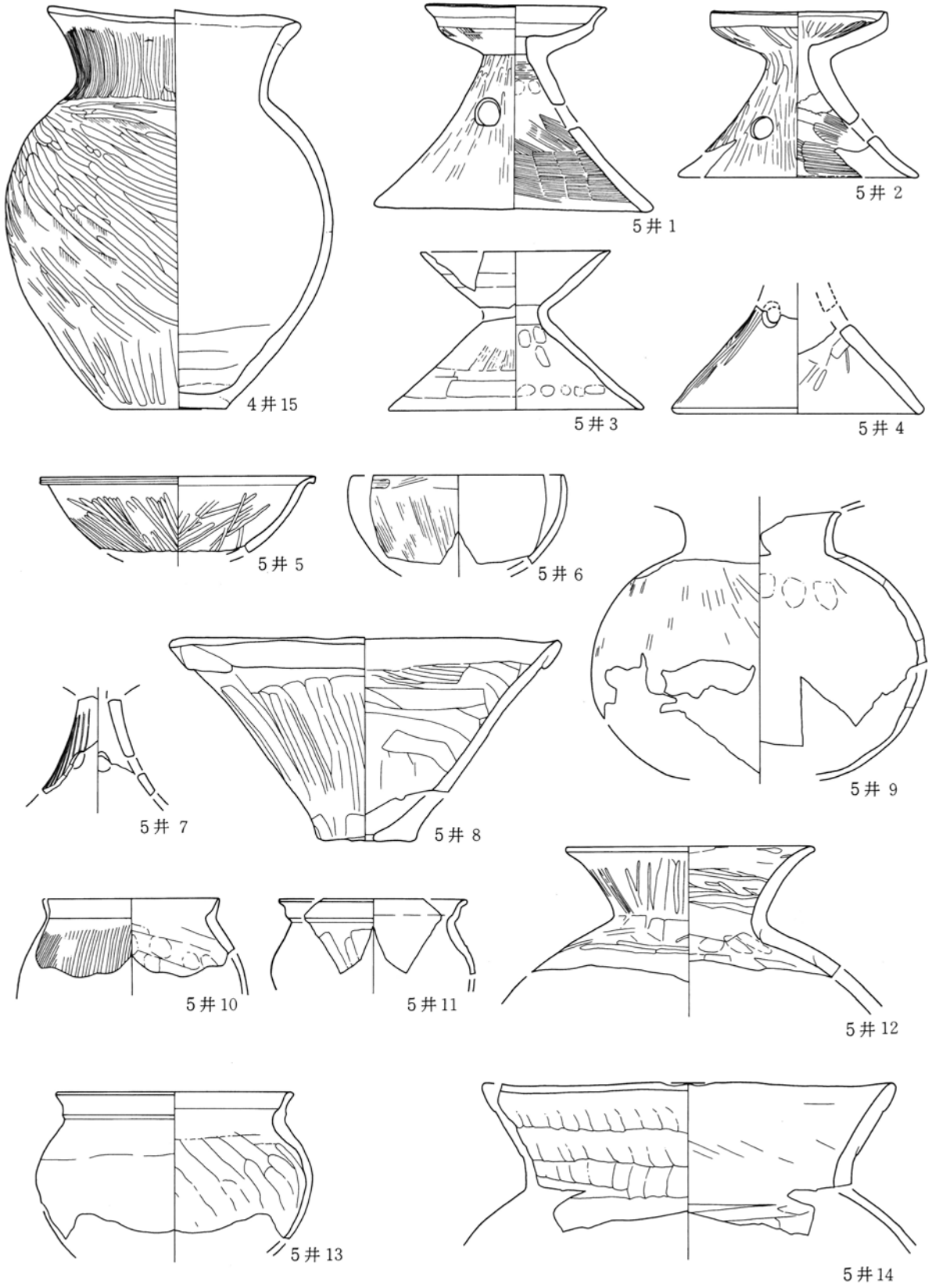
第301図 17区31・32・34・36号井戸出土遺物



第302図 16区37・38号・18区2号井戸出土遺物

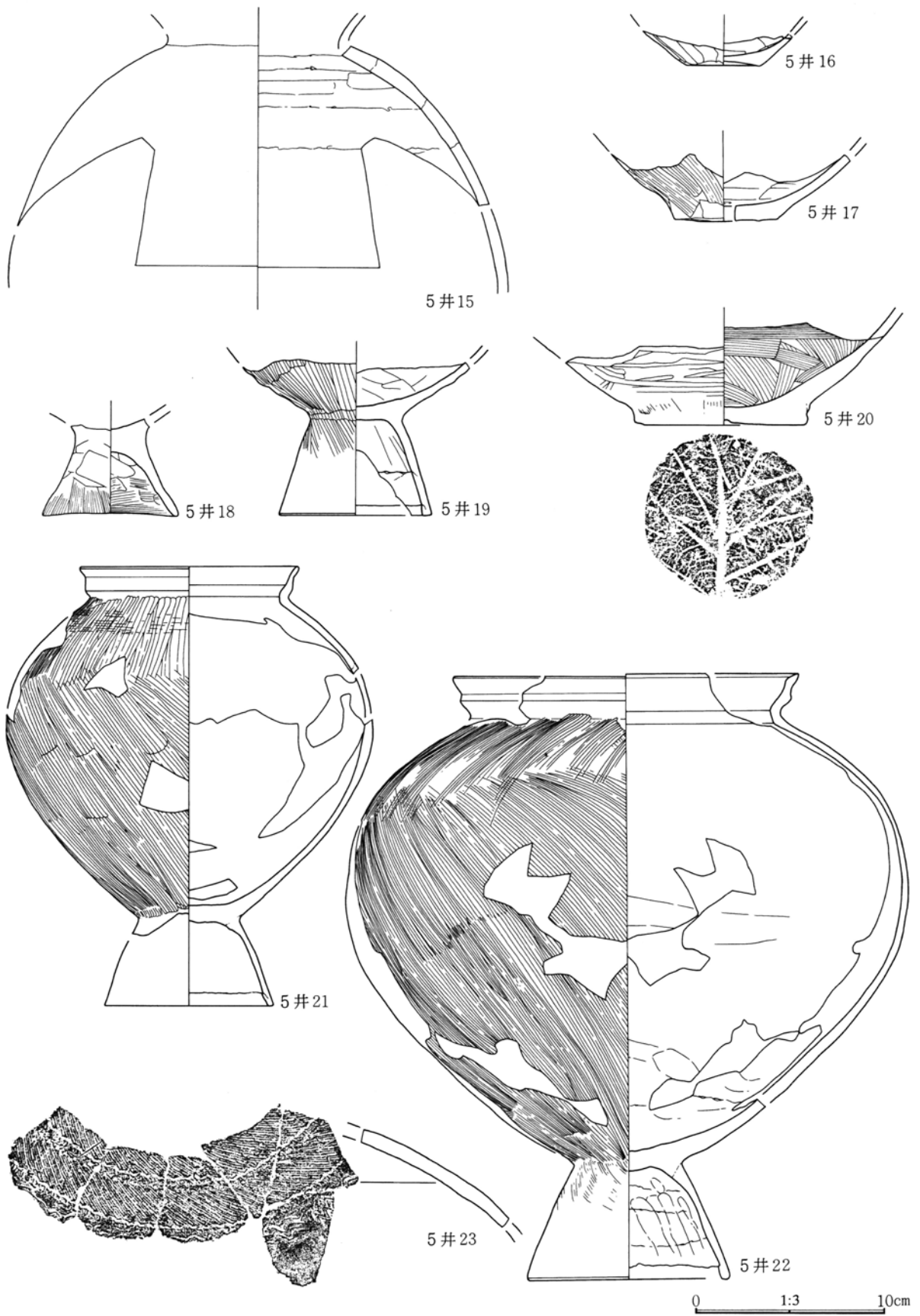


第303図 18区4号井戸出土遺物

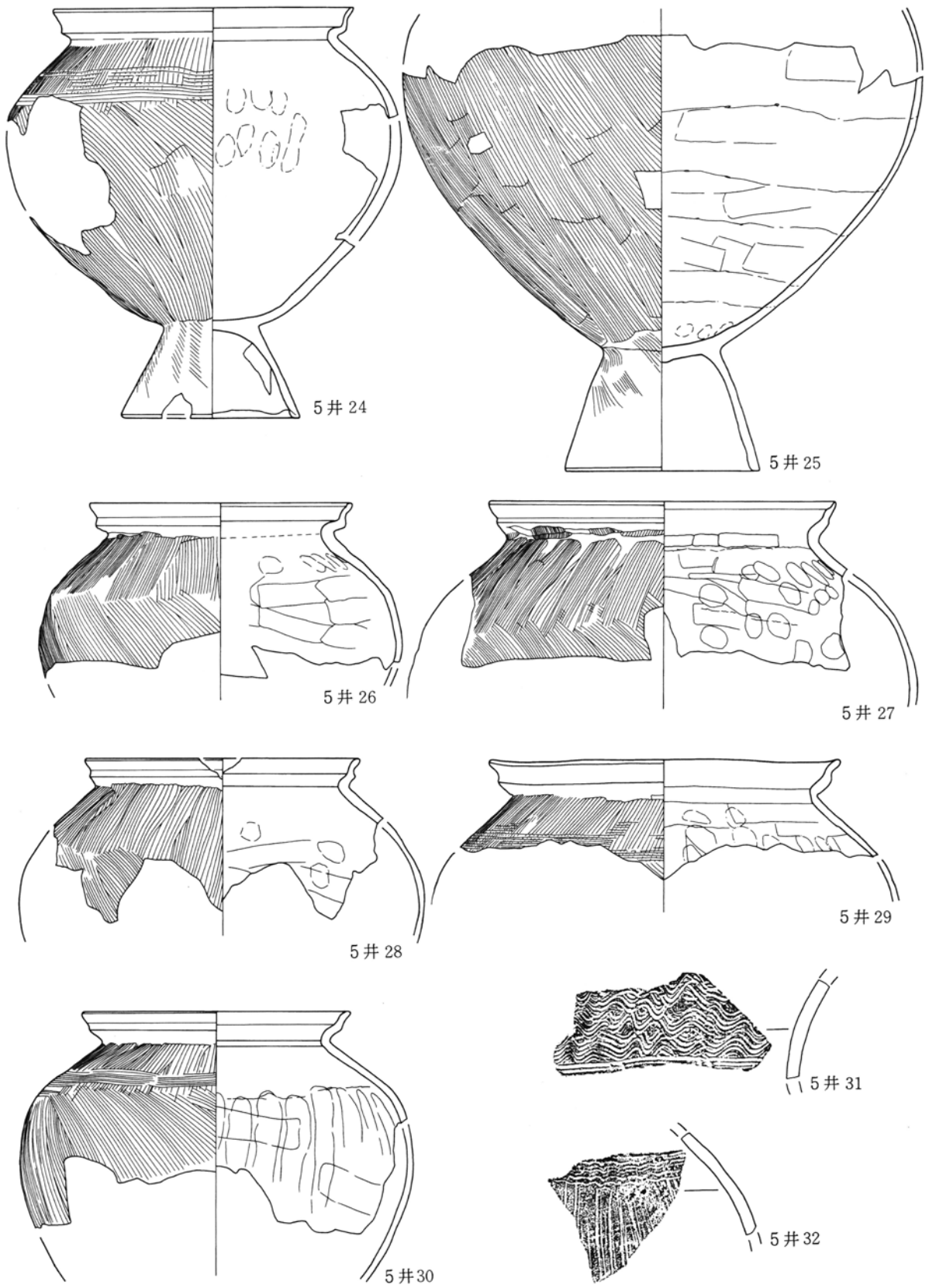


0 1:3 10cm

第304図 18区4号(2)・18区5号(1)井戸出土遺物



第305図 18区5号井戸出土遺物(2)



第306図 18区5号井戸出土遺物(3)

第5節 土 坑

本遺跡で土坑は88基確認されている。2区、6区、7区、14区、16区、17区、18区と多くが微高地で検出されている。検出された土坑は様々な形態や規模を呈しているが、用途の判明した土坑はほとんど無い。土坑の規模や平面形状、調査所見等については一覧表でまとめている。遺構の時期については、出土遺物、覆土、確認面等で判断している。本報告書の中で土坑とした遺構は調査時の所見を重視している。

本遺跡で検出された土坑の平面形状は、6種類に大別できる。円形が46基、楕円形が21基、方形が4基、長方形が7基、不定形が6基、不明が4基を数える。平面形状により時期的な差異、分布の差異は看取できない。平面形状が円形を基調として掘り込みが深く、遺物が多く検出された5号、7号、9号、11号、37号、18区84号土坑は井戸の可能性ある。2区では古墳時代前期の土坑が集中している。2区には古墳時代前期の溝も多く確認されている。6区、7区北側、14区、15区は、As-C降下以降からHr-FA降下以前に水田として開拓されたため古墳時代前期～中期の土坑のみが検出されている。16区、17区には古墳時代前期～後期までの土坑が散在してい

る。18区北側には古墳時代後期の土坑が集中し、18区中央から南側には古墳時代前期の土坑が集中している。18区南側には古墳時代前期の可能性が高い方形周溝墓と埋設土器が検出されており、18区で検出された古墳時代前期の土坑の内、墓制に関わる土坑があるのかもしれない。但し平面形状、断面形状からは共通点は看取できない。

12号土坑は21号溝と重複している。12号土坑は21号溝より古い。13号土坑は25号溝と重複している。13号土坑は25号溝より新しい。64号土坑は21号住居跡と重複する。64号土坑は21号住居跡より新しい。

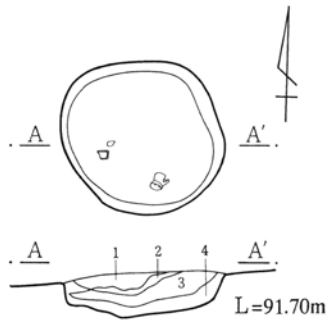
66号土坑は8号、43号、47号住居跡と重複する。66号土坑は各遺構よりも古い。平面形状から住居跡の可能性も考えられる。86号土坑は80号溝と重複する。86号土坑は80号溝より古い。107号土坑は163号、164号溝と重複する。107号土坑は各溝よりも新しい。108号土坑はHr-FA下畠と重複している。108号土坑はHr-FA下畠より古い。114号土坑は62号、103号住居跡、38号井戸と重複する。114号土坑は各遺構より新しい。117号土坑は110号住居跡と重複する。新旧関係は不明。18区41号土坑は18区24号溝と重複する。新旧関係は不明。6号、11号、67号、68号、18区114号土坑は調査区の都合上、遺構の全域を確認できなかった。

番号	位 置	平面形状	長×短	深 m	長軸方位	時 期	備 考
1	7区 AT-93	円 形	1.34	0.32		古墳時代前期?	
2	7区 AT-92	円 形	0.66	0.10		古墳時代	
3	7区 AS-91	不定形	1.00×0.50	0.20		古墳時代	
4	7区 AU-89	円形?	1.10	0.04		古墳時代前期	
5	7区 AS-89	楕円形	1.23×0.73	0.8	N-46°-E	古墳時代前期?	遺物多数出土。井戸の可能性あり。
6	7区 AU-90	不 明	3.04×0.49+α	0.28		古墳時代	
7	6区 AR-76	円 形	2.44	1.20		古墳時代中期	井戸の可能性あり。
9	14区 AN-76	円 形	0.80	0.70		古墳時代	井戸の可能性あり。
10	14区 AN-82	楕円形	1.15×0.73	0.17	N-46°-E	古墳時代	
11	2区 AQ-22	円 形	1.25×1.05+α	1.10		古墳時代中期	井戸の可能性あり。
12	2区 AQ-21	円 形	1.20	0.49		古墳時代前期	
13	2区 AP-21	楕円形?	1.27×0.39+α	0.12	N-88°-E	古墳時代前期?	
14	14区 AO-88	円 形	0.73	0.10		古墳時代中期	
15	2区 AO-16	方 形	0.70	0.50	N-17°-E	古墳時代前～中期	土坑内底面に炭化物あり。
16	2区 AQ-24	楕円形	1.08×0.77	0.48	N-64°-E	古墳時代前期	
37	17区 AY-124	円 形	1.23	1.45		古墳時代前期	遺物多数出土。井戸の可能性あり。
38	17区 AY-121	長 方 形	3.10×2.07	0.13	N-19°-W	古墳時代前～中期	
42	17区 AX-111	長 方 形	1.41+α×0.8	0.25	N-16°-W	古墳時代	
48	17区 BA-119	楕円形	1.20×0.48	0.20	N-12°-E	古墳時代中期?	
63	17区 AX-120	不定形	2.16×1.40	0.50		古墳時代中期	
64	17区 AV-104	楕円形	2.0×1.0	0.75	N-41°-E	古墳時代前～中期	
66	17区 AW-107	不定形	2.60×0.95	0.30		古墳時代中期?	住居跡の可能性あり。
67	17区 AS-104	不 明	1.0×0.49+α	0.17		古墳時代	



第5節 土 坑

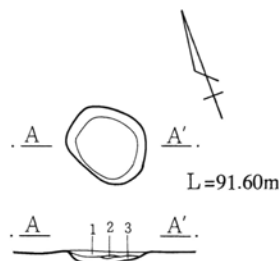
68	17区	AS-104	不明	$0.8 \times 0.43 + \alpha$	0.43		古墳時代	
69	17区	AT-107	方形	1.20	0.23	N-19°-W	古墳時代	
70	17区	AS-109	不明	$0.6 \times 0.19 + \alpha$	0.23		古墳時代	
78	17区	AY-111	長方形	1.75×1.10	0.30	N-78°-E	古墳時代後期	
79	17区	AX-112	円形	1.10	0.30		古墳時代	
80	17区	AX-112	楕円形	0.94×0.55	0.22	N-50°-E	古墳時代	
81	17区	AX-112	楕円形	0.90×0.60	0.18	N-72°-E	古墳時代	
82	17区	AY-114	楕円形	0.80×0.46	0.49	N-80°-E	古墳時代	
83	17区	AY-116	円形	0.40	0.45		古墳時代前期?	柱穴の可能性あり。
84	17区	AY-117	円形	0.30	0.45		古墳時代前期?	柱穴の可能性あり。
85	17区	BB-118	長方形	1.50×0.82	0.39	N-19°-W	古墳時代前期?	
86	17区	BA-117	長方形?	$0.86 + \alpha \times 0.5$	0.22	N-42°-W	古墳時代前期?	
87	17区	AX-109	円形	0.80	0.74		古墳時代	
89	17区	AT-110	円形	0.40	0.36		古墳時代	柱穴の可能性あり。
90	17区	AT-113	円形	0.65	0.42		古墳時代前~中期	
91	17区	AT-114	円形	0.60	0.40		古墳時代前~中期	
94	14区	AO-82	楕円形	1.82×0.45	0.53	N-80°-W	古墳時代	
96	17区	AU-111	円形	0.37	0.28		古墳時代	柱穴の可能性あり。
107	17区	AT-113	円形	0.40	0.21		古墳時代	
108	17区	AT-117	円形	0.70	0.08		古墳時代後期	
109	16区	AT-104	楕円形	0.67×0.40	0.40	N-49°-W	古墳時代前~中期	
110	16区	AT-103	円形	0.50	0.51		古墳時代	
111	16区	AT-103	円形	0.30	0.18		古墳時代	
113	17区	AT-117	不定形	1.75×1.0	0.09		古墳時代	平地式住居の可能性あり。
114	16区	AU-103	円形?	0.52	0.12		古墳時代中期	
115	16区	AT-102	円形	0.60	0.50		古墳時代中期	
116	16区	AS-103	円形	0.38	0.31		古墳時代前期	
117	17区	AT-115	長方形?	$2.22 + \alpha \times 1.2$	0.16	N-7°-W	古墳時代	
33	18区	BJ-143	不定形	6.0×1.45	0.31		古墳時代前期	
35	18区	BJ-146	不定形	2.7×1.43	0.30		古墳時代前期	
38	18区	BL-147	円形	1.20	0.05		古墳時代前期	
39	18区	BM-148	楕円形	0.58×0.38	0.35	N-75°-W	古墳時代前期	
40	18区	BK-149	円形	0.47	0.21		古墳時代前期	
41	18区	BK-150	円形	1.60	0.30		古墳時代前期	
42	18区	BM-151	楕円形	1.60×1.15	0.25	N-59°-W	古墳時代前期	
43	18区	BM-151	円形	0.42	0.15		古墳時代前期	
44	18区	BO-153	楕円形	1.18×1.10	0.42	N-69°-E	古墳時代前期	
45	18区	BG-144	円形	0.40	0.14		古墳時代	
46	18区	BJ-149	円形	1.05	0.12		古墳時代	
84	18区	BG-138	円形	0.90	0.92		古墳時代後期	井戸の可能性あり。
86	18区	BJ-138	円形	0.70	0.15		古墳時代後期	
87	18区	BI-138	円形	0.50	0.06		古墳時代後期	
88	18区	BJ-138	円形	0.40	0.04		古墳時代後期	
89	18区	BH-138	方形	0.50	0.04	N-0°	古墳時代後期	
90	18区	BI-142	楕円形	0.70×0.48	0.35	N-34°-W	古墳時代後期	
91	18区	BI-139	楕円形	0.8×0.6	0.35	N-90°	古墳時代後期	
92	18区	BI-138	楕円形	0.7×0.4	0.21	N-63°-E	古墳時代後期	
93	18区	BJ-140	円形	0.40	0.12		古墳時代後期	
94	18区	BI-140	円形	0.40	0.12		古墳時代後期	
95	18区	BI-140	円形	0.35	0.18		古墳時代後期	
97	18区	BH-140	円形	0.30	0.16		古墳時代後期	
98	18区	BH-141	円形	0.30	0.14		古墳時代後期	
102	18区	BG-140	円形	0.34	0.16		古墳時代後期	
103	18区	BJ-138	円形	0.32	0.12		古墳時代後期	
104	18区	BQ-154	円形	1.30	0.11		古墳時代前~中期	
105	18区	BQ-153	楕円形?	$0.70 \times 0.69 + \alpha$	0.19	N-11°-W	古墳時代前~中期	
106	18区	BO-149	楕円形	0.92×0.7	0.14	N-25°-W	古墳時代前~中期	
107	18区	BN-147	楕円形	1.13×0.62	0.09	N-49°-W	古墳時代前~中期	
108	18区	BI-142	円形	1.00	0.29		古墳時代前~中期	
109	18区	BI-140	方形	0.52	0.12	N-40°-E	古墳時代前~中期	
110	18区	BG-141	円形	0.50	0.09		古墳時代前~中期	
111	18区	BF-139	楕円形	1.68×1.45	0.14	N-38°-E	古墳時代前~中期	
112	18区	BL-141	円形	0.60	0.16		古墳時代前~中期	
113	18区	BK-140	円形	0.98	0.12		古墳時代前~中期	
114	18区	BE-140	長方形?	$1.06 + \alpha \times 1.15$	0.2	N-1°-W	古墳時代前~中期	



7区 1号土坑

1号土坑

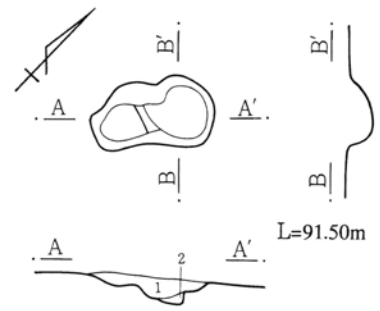
1. 黒褐色土 C軽石、炭化物、焼土少量含む。
2. 橙褐色焼土層。
3. 暗褐色粘質土 C軽石含む。炭化物多量含む。
4. 黄褐色粘質土



7区 2号土坑

2号土坑

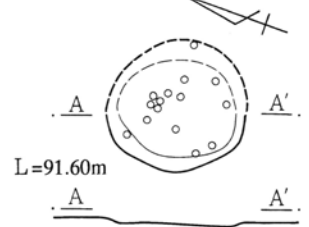
1. 黒褐色土 C軽石含む。
2. 黒色土 炭化物含む。
3. 暗褐色土



7区 3号土坑

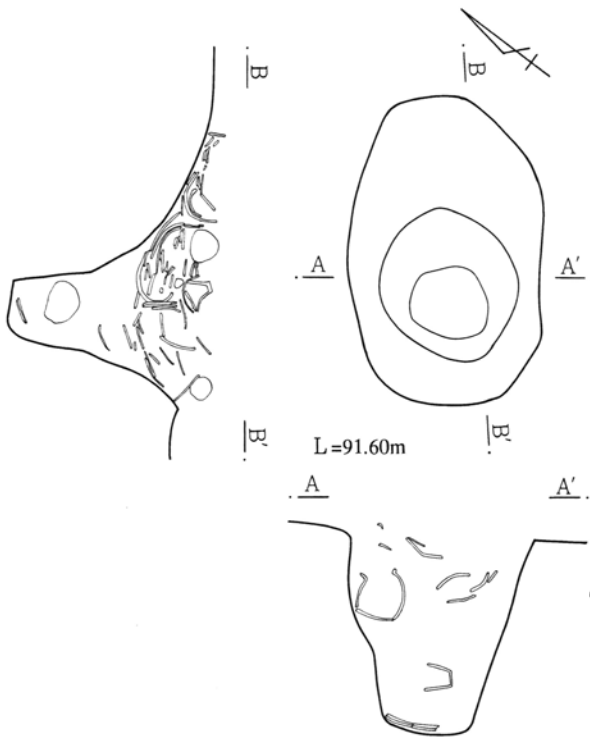
3号土坑

1. 黒褐色土 C軽石、炭化物含む。
2. 黒褐色土 C軽石少量含む。

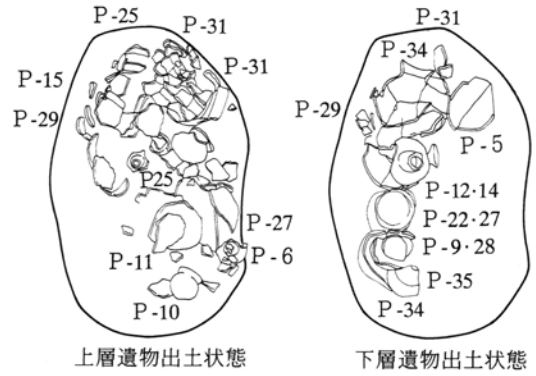


7区 4号土坑

0 1:60 2m

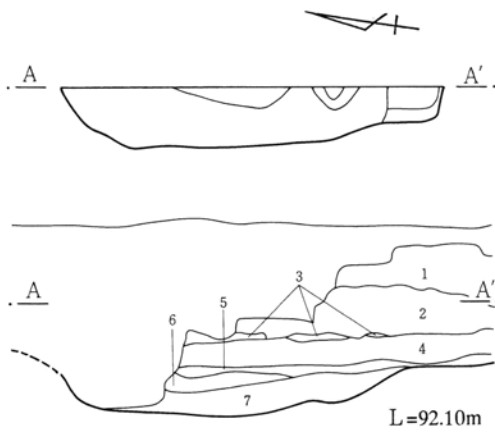


7区 5号土坑

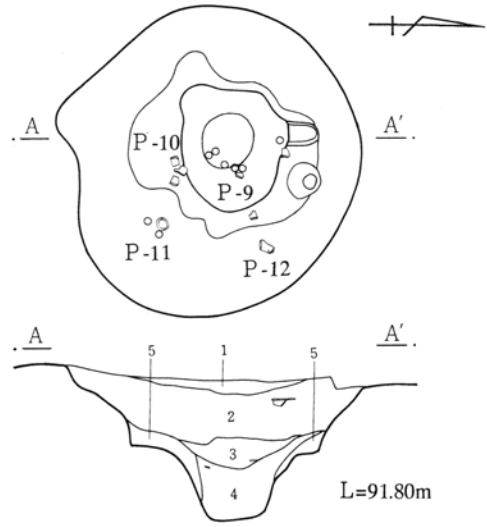


0 1:30 1m

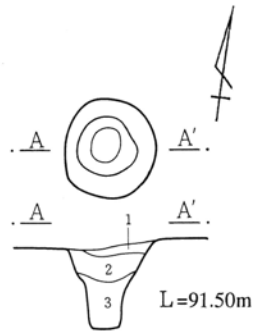
第307図 1～5号土坑



- 6号土坑
1. 灰褐色土
  2. 褐色土
  3. 暗褐色土 FA含む。
  4. 黒褐色土 C軽石含む。
  5. 褐色土
  6. 黄褐色土
  7. 黒色土 7区6号土坑

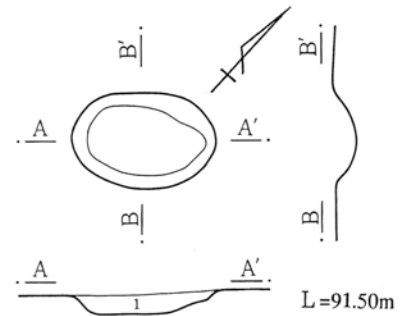


- 7号土坑
1. 暗褐色土 FA含む。
  2. 暗褐色土 C軽石、焼土含む。
  3. 黒色土 C軽石含む。
  4. 黄褐色土
  5. 灰褐色土



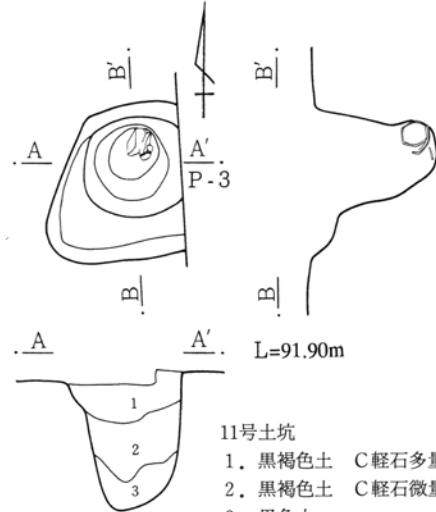
- 9号土坑
1. 黒褐色土 C軽石多量含む。
  2. 灰褐色土 C軽石、炭化物微量含む。
  3. 灰褐色土

14区9号土坑



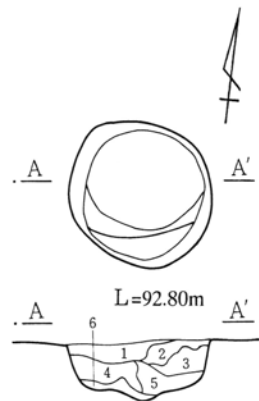
- 10号土坑
1. 暗褐色土 C軽石含む。

6区10号土坑



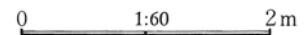
- 11号土坑
1. 黒褐色土 C軽石多量含む。
  2. 黒褐色土 C軽石微量含む。
  3. 黒色土

2区11号土坑

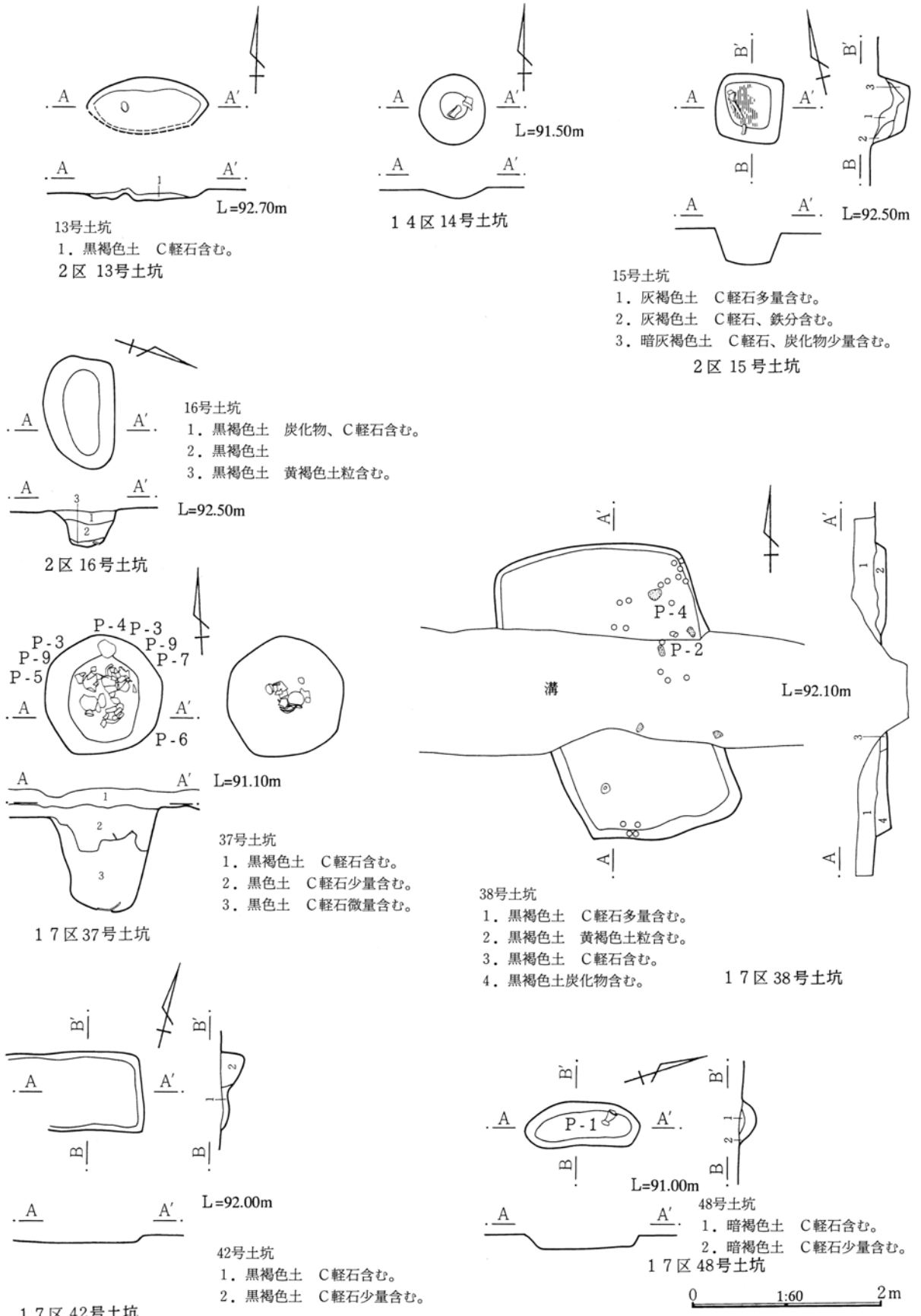


- 12号土坑
1. 黒褐色土 C軽石含む。
  2. 黒褐色土 C軽石少量含む。
  3. 黄褐色土
  4. 黒色土
  5. 黒色土 C軽石微量含む。
  6. 黒褐色土 黄褐色土粒含む。

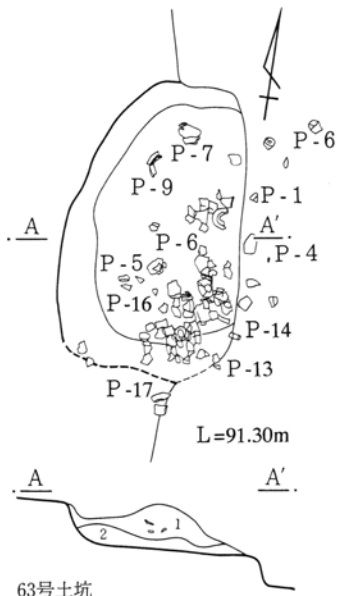
2区12号土坑



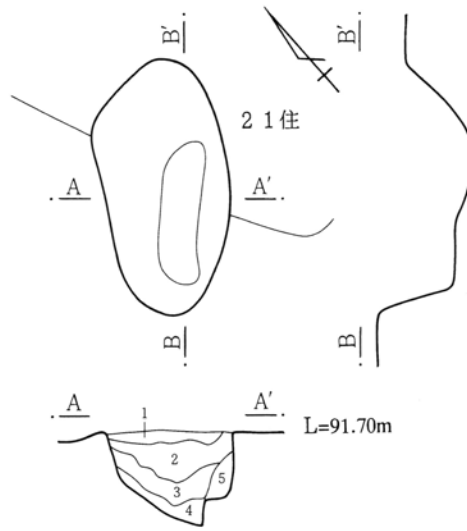
第5章 遺構と遺物



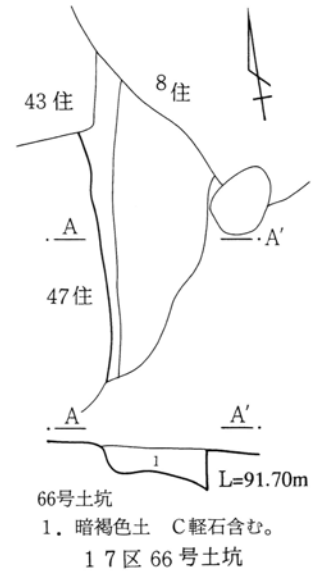
第309図 13~16・37・38・42・48号土坑



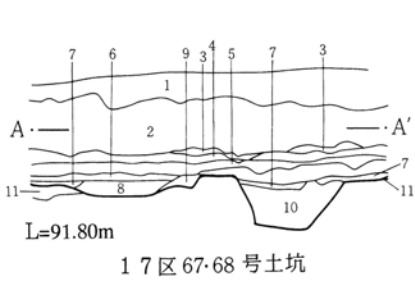
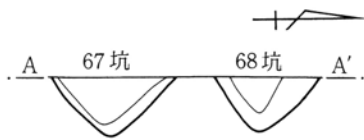
63号土坑  
1. 暗褐色土 C 軽石多量含む。  
2. 黒褐色土  
17区 63号土坑



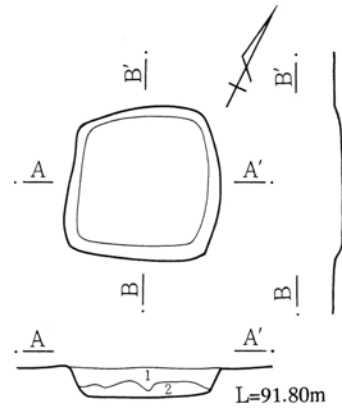
64号土坑  
1. 暗褐色土 C 軽石含む。  
2. 暗褐色土  
3. 黒褐色土  
4. 黄褐色土 黄褐色土粒含む。  
5. 暗褐色砂質土 砂を多量含む。  
17区 64号土坑



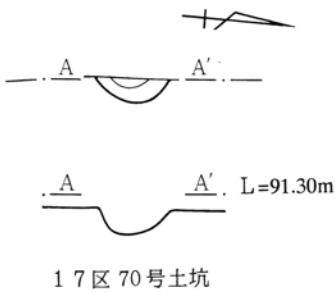
66号土坑  
1. 暗褐色土 C 軽石含む。  
17区 66号土坑



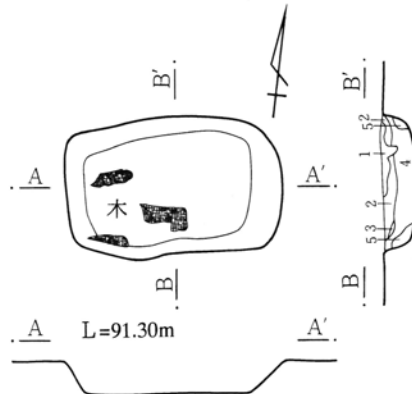
67・68号土坑  
1. 灰褐色土  
2. 暗褐色土  
3. 灰褐色土 B 軽石含む。  
4. 褐色土 B 軽石含む。  
5. 暗褐色土 B 軽石少量含む。  
6. 暗褐色土 炭化物含む。  
7. 黄褐色土  
8. 暗褐色土 焼土、灰を含む。  
9. 黒褐色土 軽石少量含む。  
10. 黒褐色土  
11. 暗褐色土 黄褐色土粒少量含む。



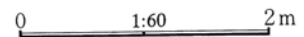
69号土坑  
1. 暗褐色土 焼土、粘土粒含む。  
2. 暗褐色土 軽石少量含む。  
17区 69号土坑



17区 70号土坑

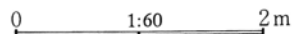
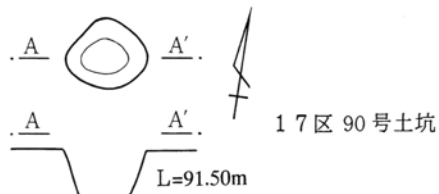
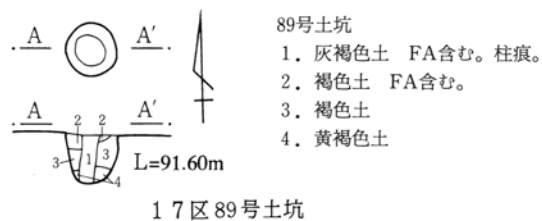
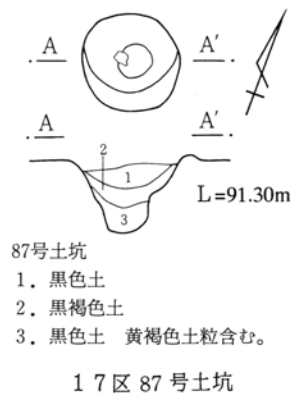
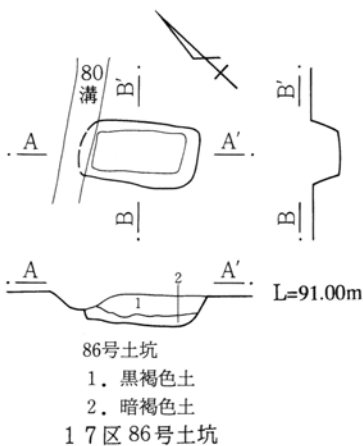
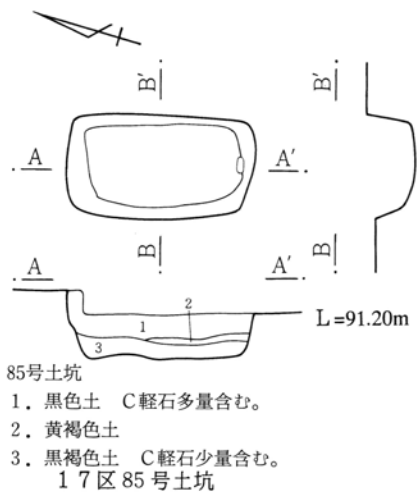
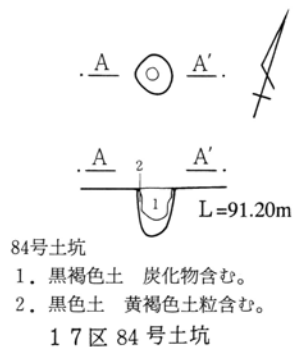
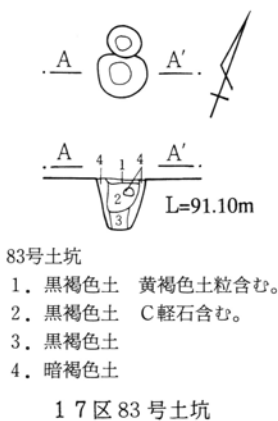
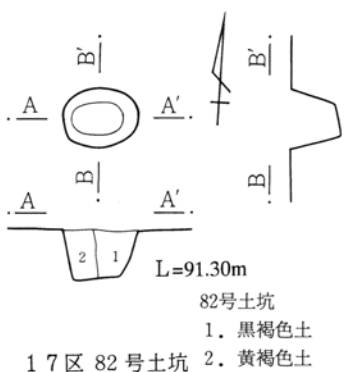
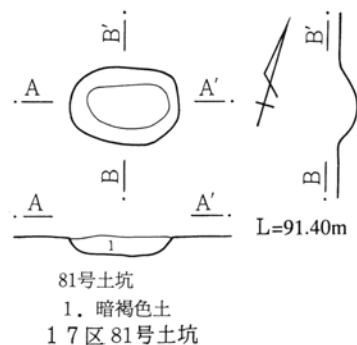
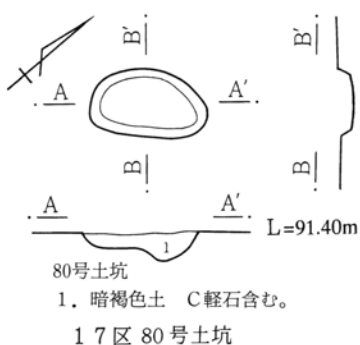
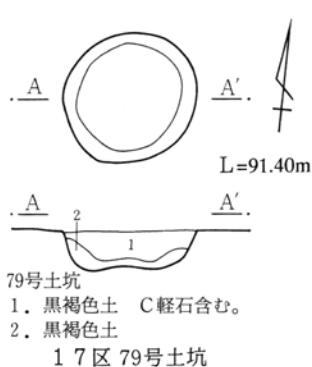


78号土坑  
1. 黒褐色土 炭化物含む。  
2. 暗褐色土 焼土、炭化物含む。  
3. 焼土・灰層  
4. 暗褐色土 黄褐色土粒含む。  
5. 暗褐色土  
17区 78号土坑

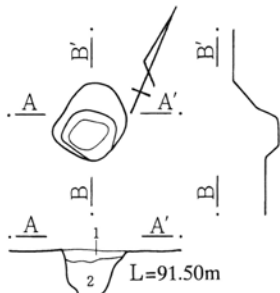


第310図 63・64・66~70・78号土坑

第5章 遺構と遺物

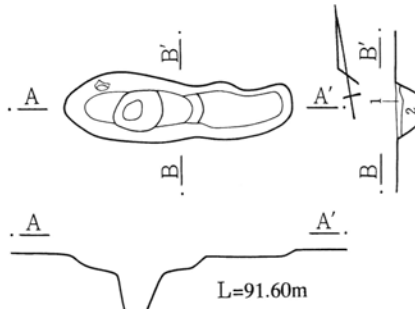


第311図 79~87・89・90号土坑



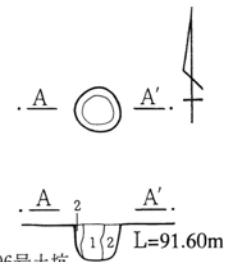
91号土坑  
1. 黒褐色土 C軽石多量含む。  
2. 黒褐色土

17区 91号土坑



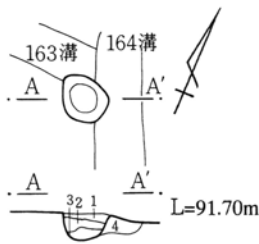
94号土坑  
1. 黒褐色土 C軽石含む。  
2. 暗褐色土

14区 94号土坑



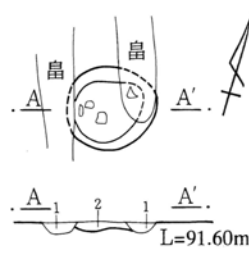
96号土坑  
1. 褐色土 FA含む。  
2. 褐色土

17区 96号土坑



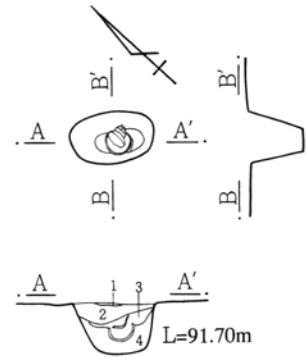
107号土坑  
1. 暗褐色土 FA含む。  
2. 黒褐色土 FA少量含む。  
3. 黒褐色土 HA含む。  
4. 暗褐色土

17区 107号土坑



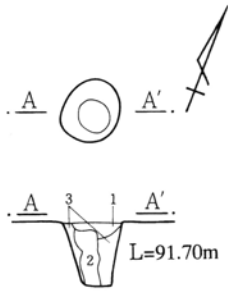
108号土坑  
1. 黒褐色土 FA含む。  
2. 黒褐色土

17区 108号土坑



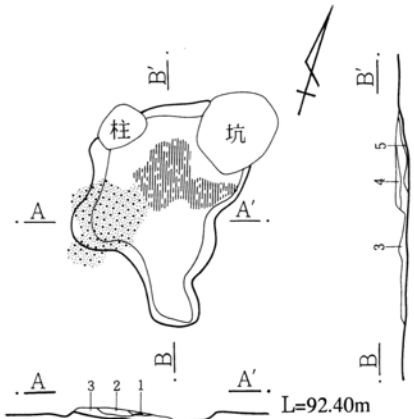
109号土坑  
1. 黒褐色土 C軽石微量含む。  
2. 黒褐色土 C軽石含む。  
3. 黒色土  
4. 黒色土 砂を含む。

16区 109号土坑



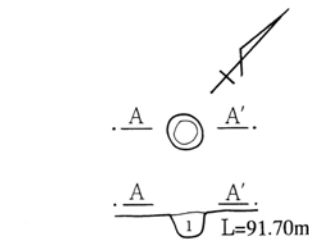
110号土坑  
1. 黒褐色土 C軽石を含む。  
2. 黒褐色土 C軽石を微量含む。  
3. 黒褐色土 焼土を含む。

16区 110号土坑



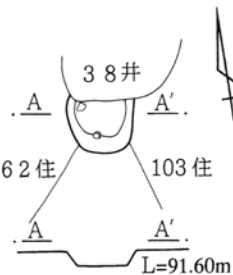
113号土坑  
1. 暗褐色土 C軽石含む。  
2. 灰褐色土 C軽石少量含む。  
3. 黒褐色土 炭化物含む。  
4. 黒褐色土 灰、炭化物含む。  
5. 黒色土 C軽石少量含む。

17区 113号土坑

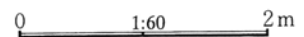


111号土坑  
1. 黒褐色土 焼土粒含む。

16区 111号土坑

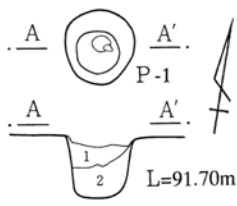


16区 114号土坑

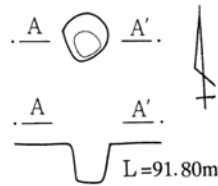


第312図 91・94・96・107～111・113・114号土坑

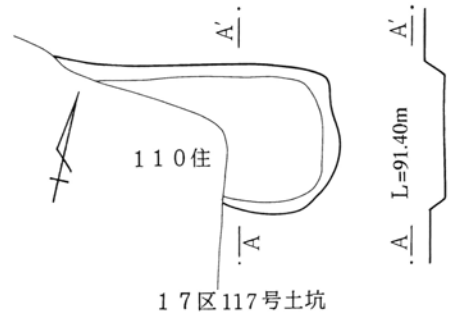
第5章 遺構と遺物



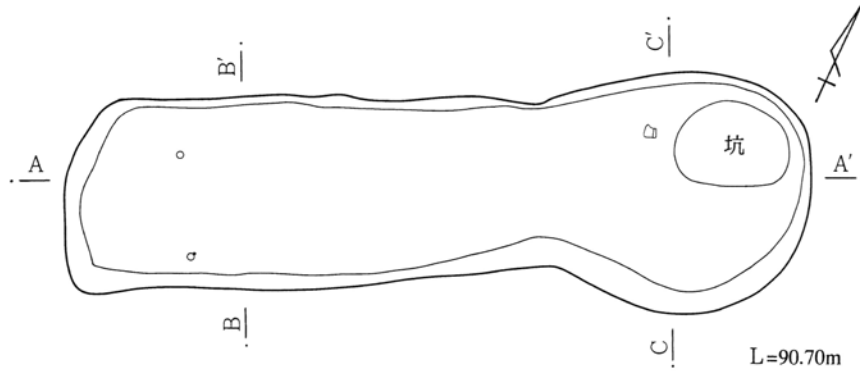
115号土坑  
1. 黑色土  
16区115号土坑 2. 黑褐色土



16区116号土坑

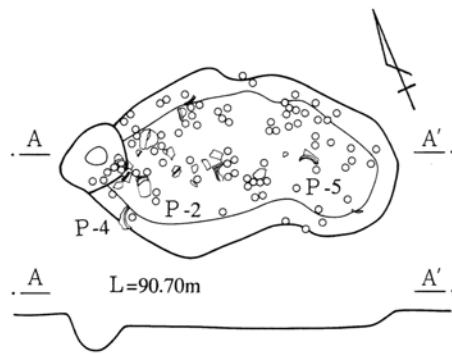


17区117号土坑

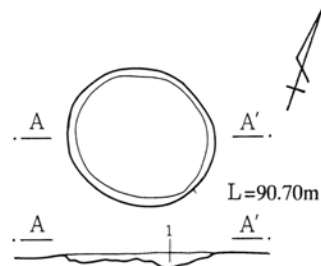


18区33号土坑

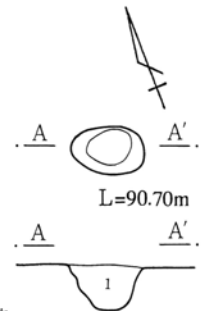
33号土坑  
1. 黑色粘質土 C 軽石混土。  
2. 黑褐色土  
3. 淡褐色粘質土



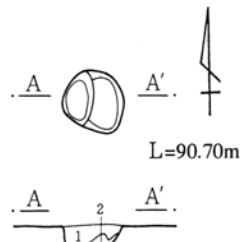
18区35号土坑



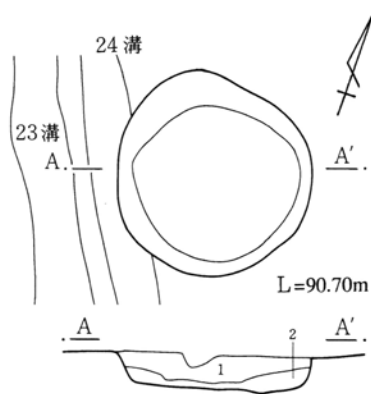
38号土坑  
1. 黑褐色粘質土 C 軽石混土。  
18区38号土坑



39号土坑  
1. 黑色粘質土 C 軽石混土。  
18区39号土坑



40号土坑  
1. 黑色粘質土 C 軽石混土。  
2. 黑褐色土  
18区40号土坑



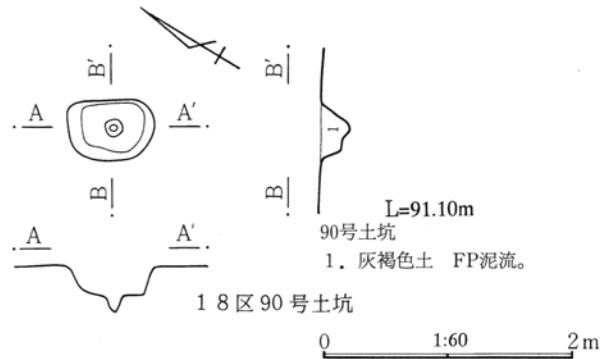
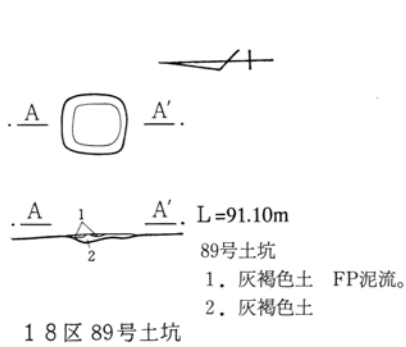
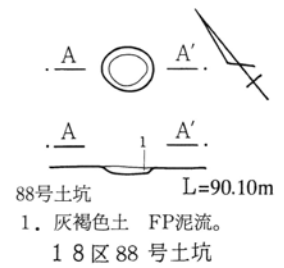
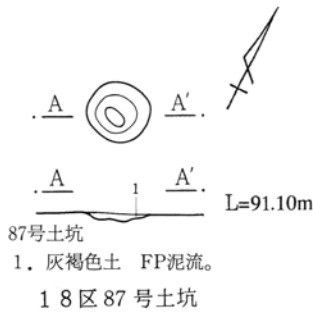
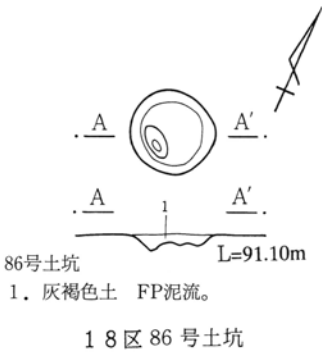
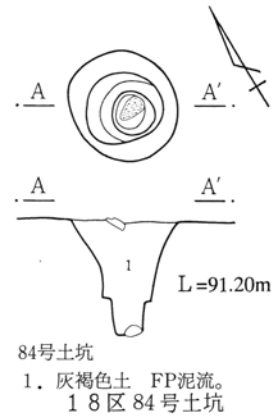
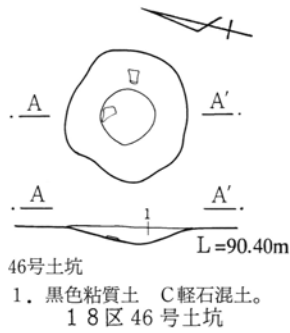
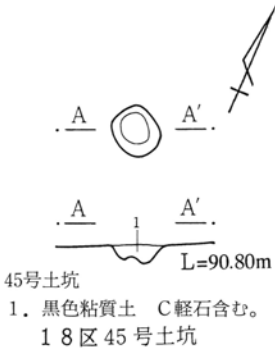
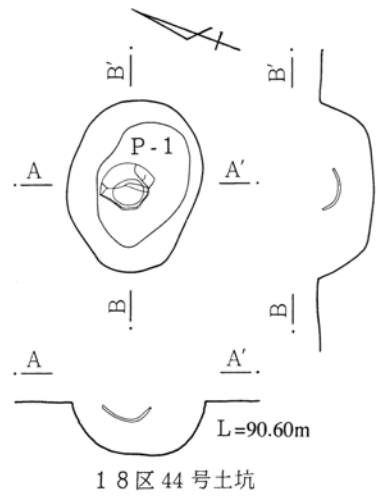
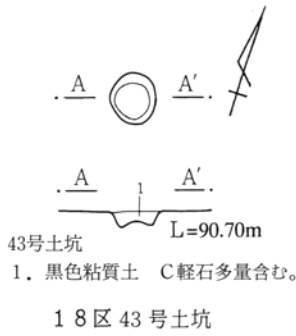
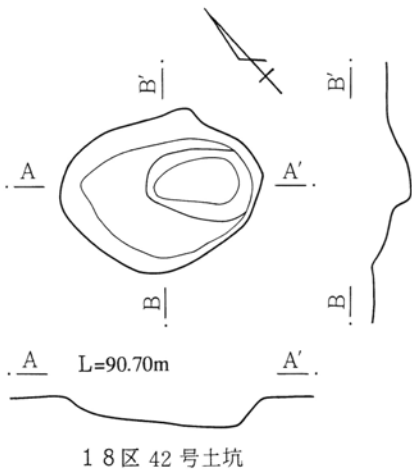
41号土坑  
1. 黑褐色土 C 軽石混土。  
2. 灰褐色粘質土

18区41号土坑

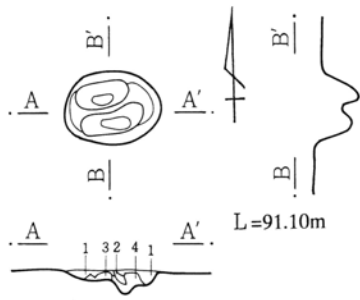
0 1:60 2m

第313図 115~117・33・35・38~41号土坑



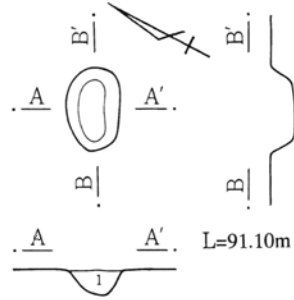


第314图 42~46・84・86~90号土坑



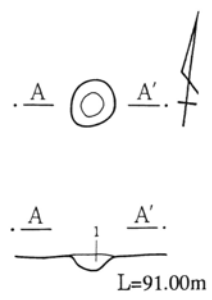
91号土坑

1. 灰褐色土 FP泥流。
  2. 灰褐色土 B軽石多量含む。
  3. 灰褐色土 C軽石含む。
  4. 灰褐色土 FP泥流。
- 18区91号土坑



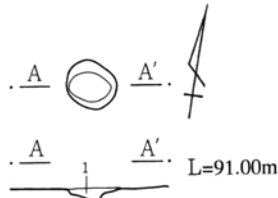
92号土坑

1. 灰褐色土 C軽石含む。
- 18区92号土坑



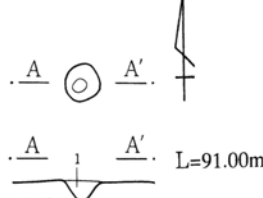
93号土坑

1. 灰褐色土 FA、C軽石含む。
- 18区93号土坑



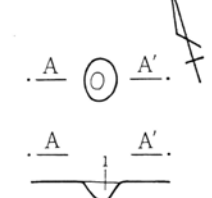
94号土坑

1. 灰褐色土 FA、C軽石含む。
- 18区94号土坑



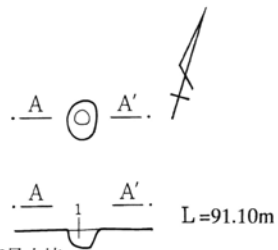
95号土坑

1. 灰褐色土 FA混土。
- 18区95号土坑



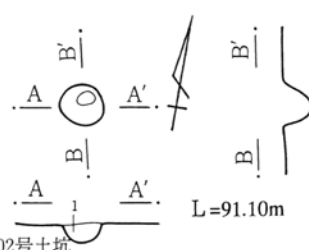
97号土坑

1. 灰褐色土 FA混土。
- 18区97号土坑



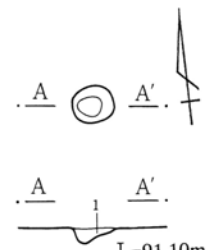
98号土坑

1. 灰褐色土 FA混土。
- 18区98号土坑



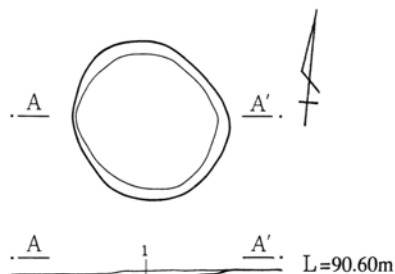
102号土坑

1. 灰褐色土 FA混土。
- 18区102号土坑



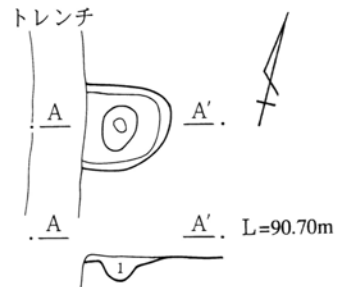
103号土坑

1. 灰褐色土 FA混土。
- 18区103号土坑



104号土坑

1. 黒色粘質土 C軽石混土。
- 18区104号土坑

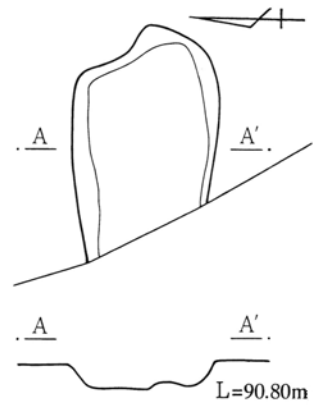
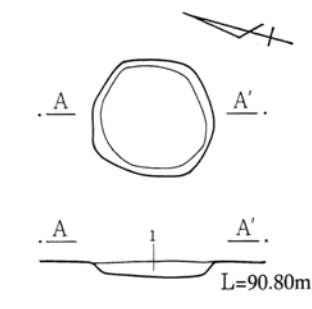
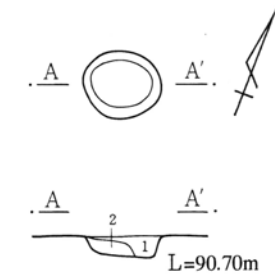
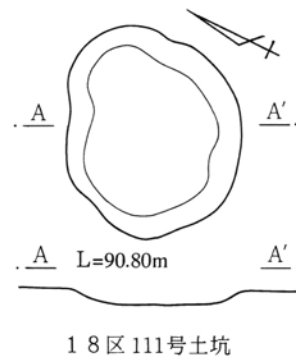
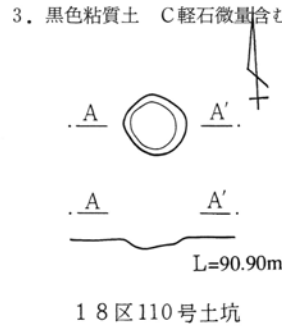
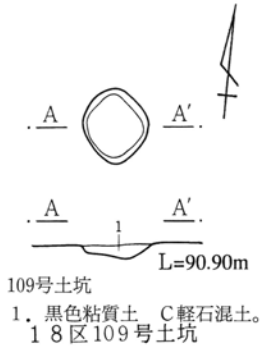
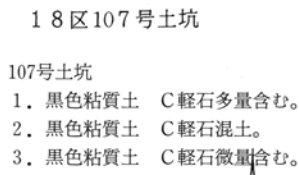
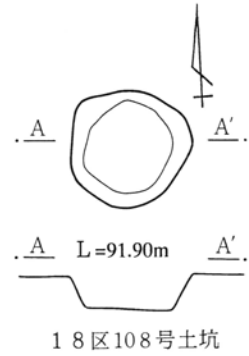
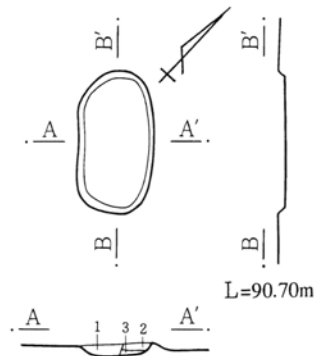
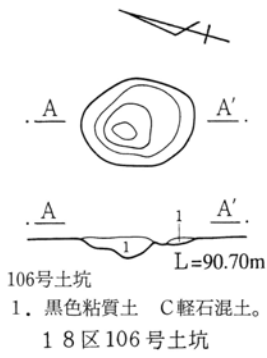


105号土坑

1. 黒色粘質土 C軽石混土。
- 18区105号土坑

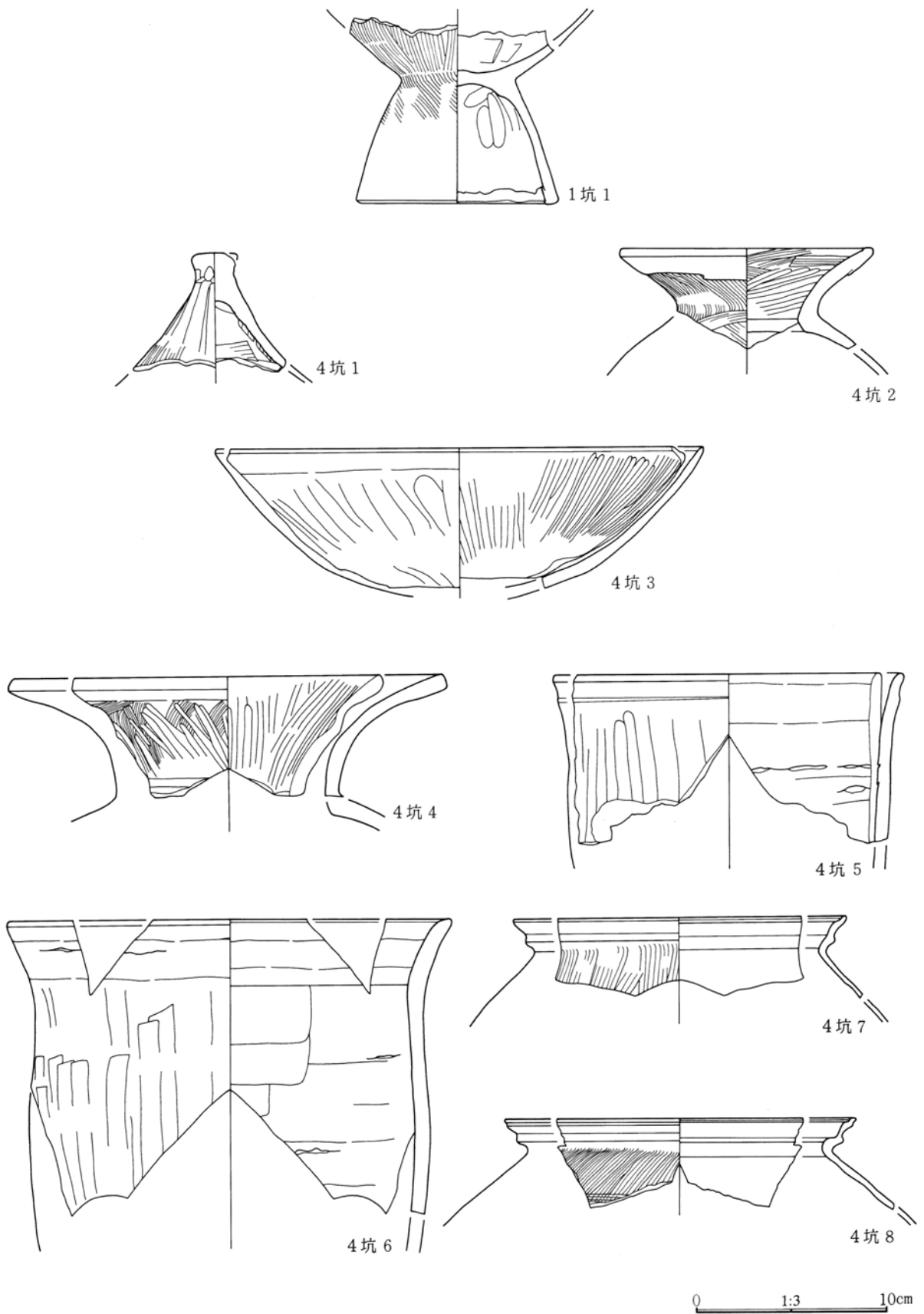
0 1:60 2m

第315図 91~95・97・98・102~105号土坑

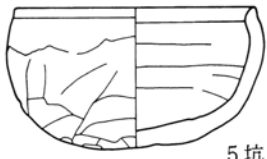


第316図 106~114号土坑

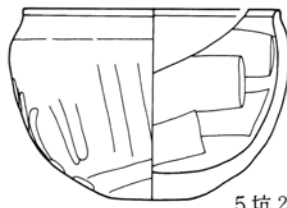
0 1:60 2m



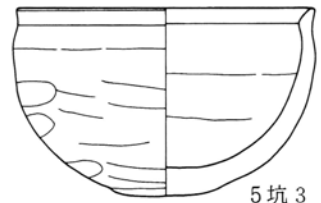
第317図 7区1・4号土坑出土遺物



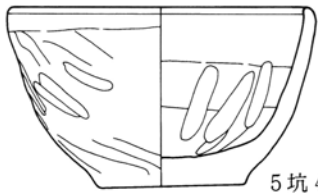
5坑1



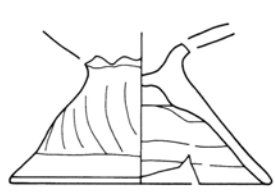
5坑2



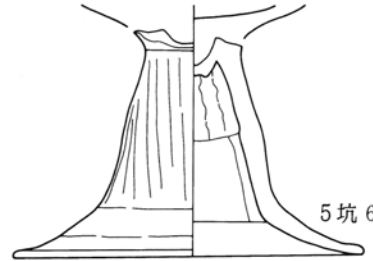
5坑3



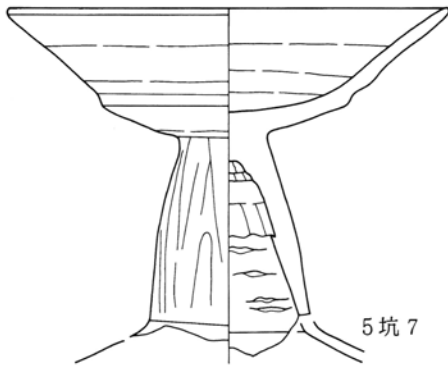
5坑4



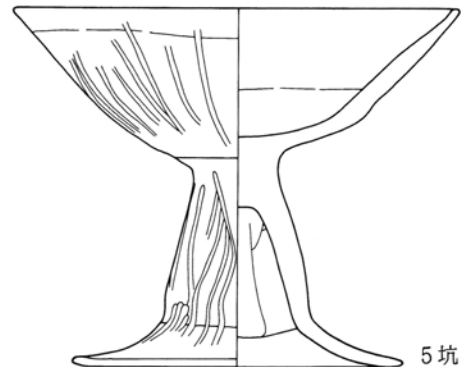
5坑5



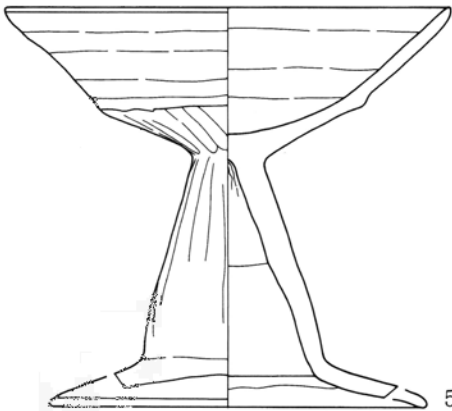
5坑6



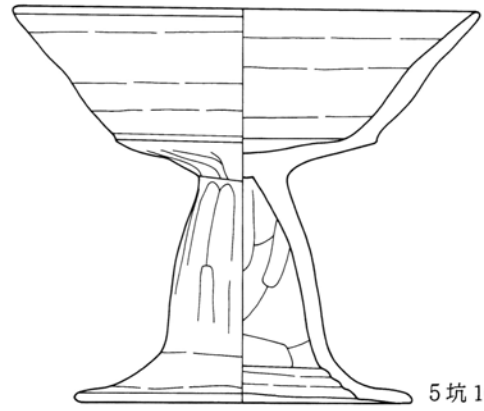
5坑7



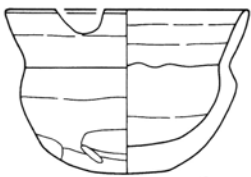
5坑8



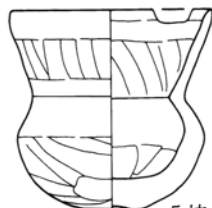
5坑9



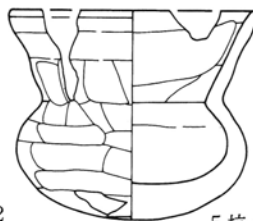
5坑10



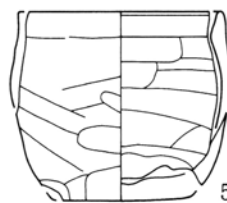
5坑11



5坑12



5坑13



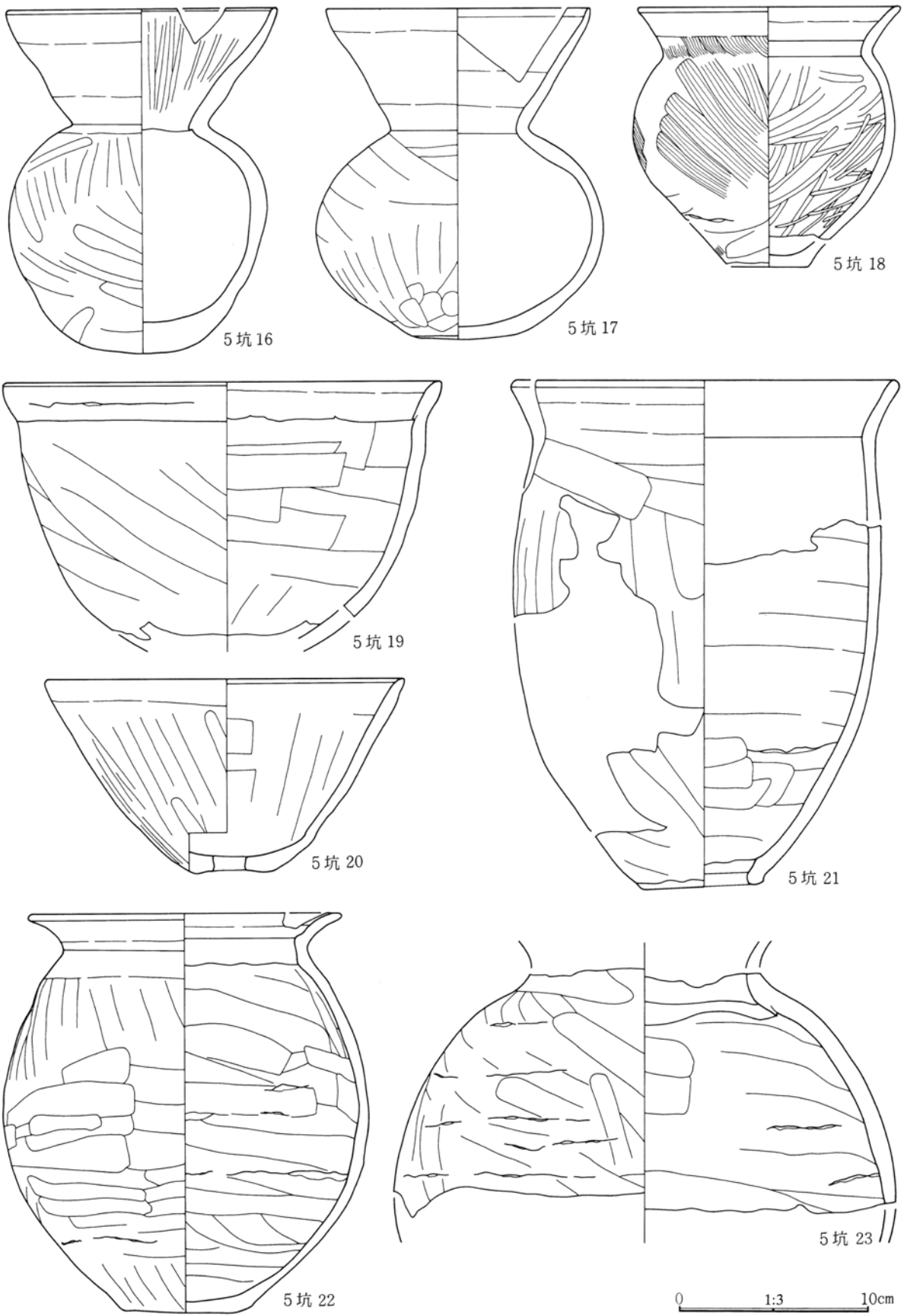
5坑14



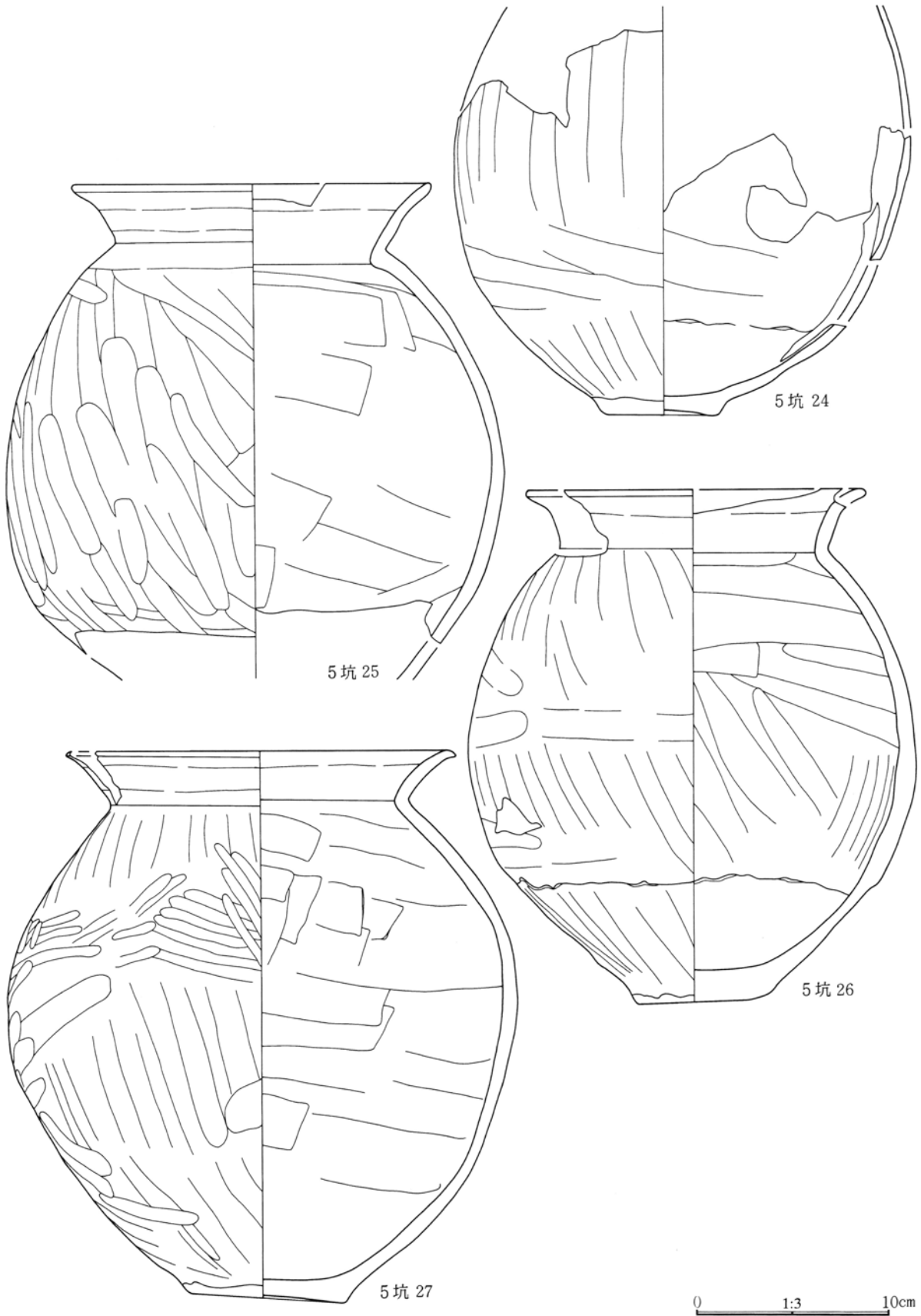
5坑15

0 1:3 10cm

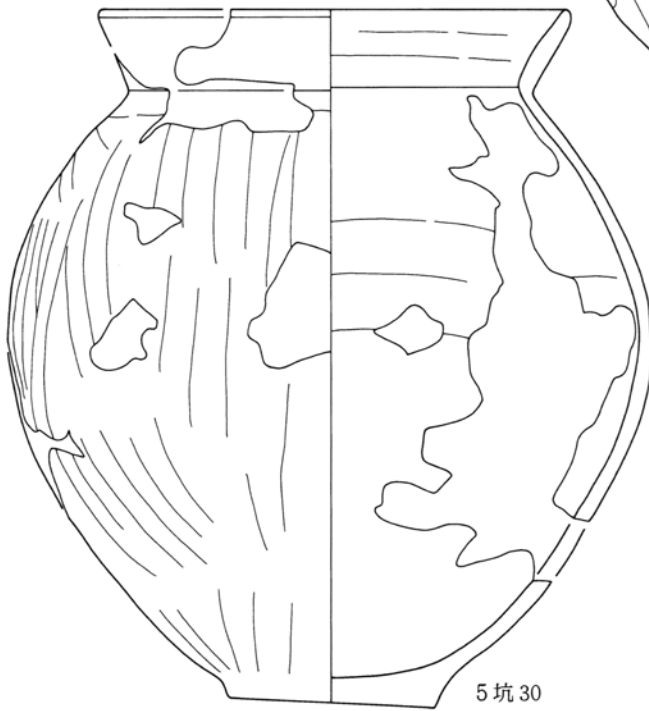
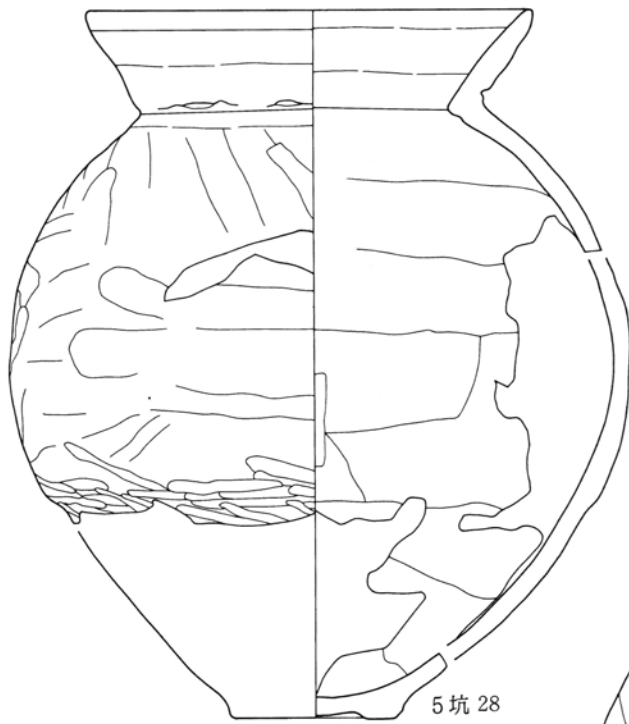
第318图 7区5号土坑出土遗物(1)



第319図 7区5号土坑出土遺物(2)



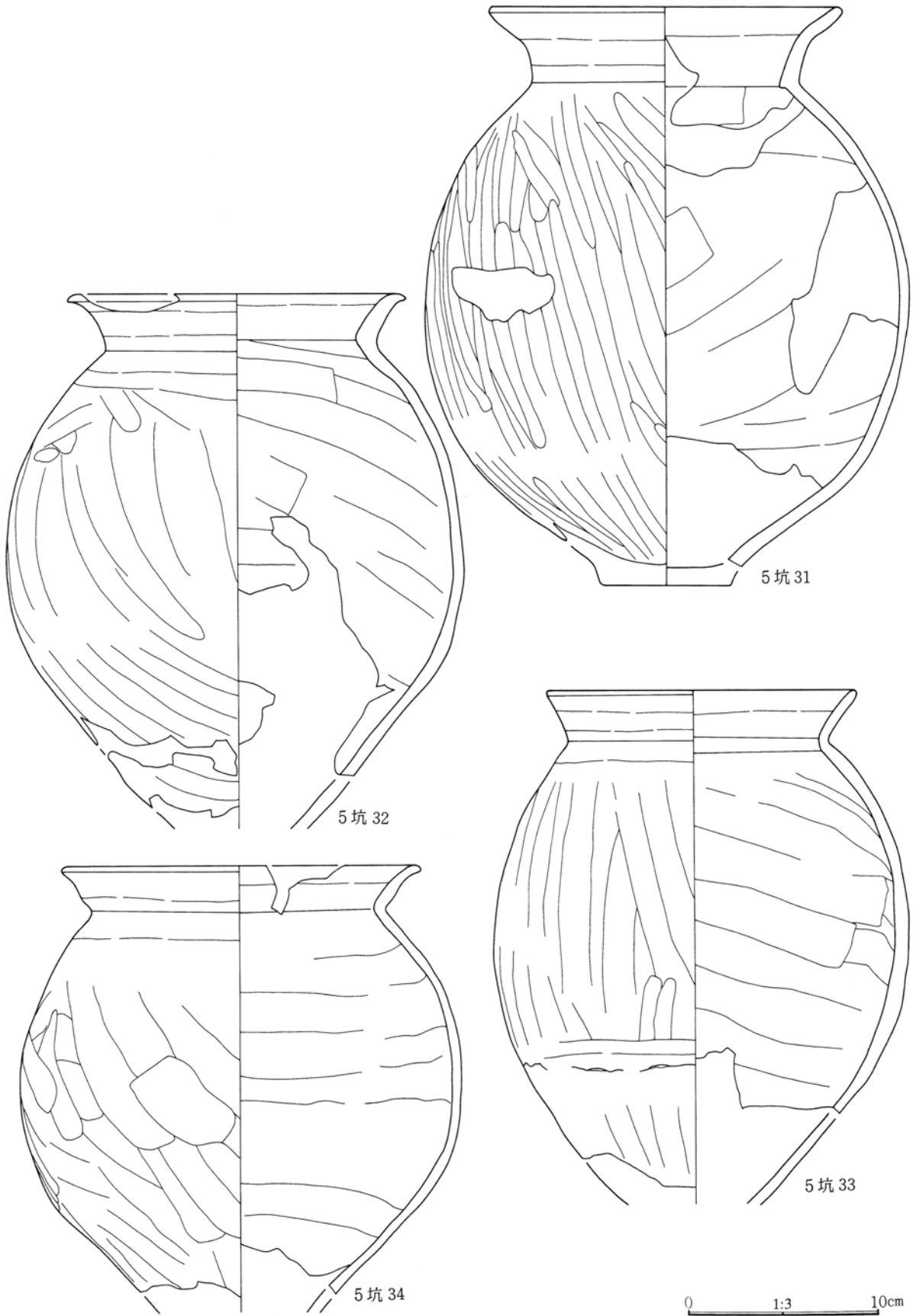
第320図 7区5号土坑出土遺物(3)



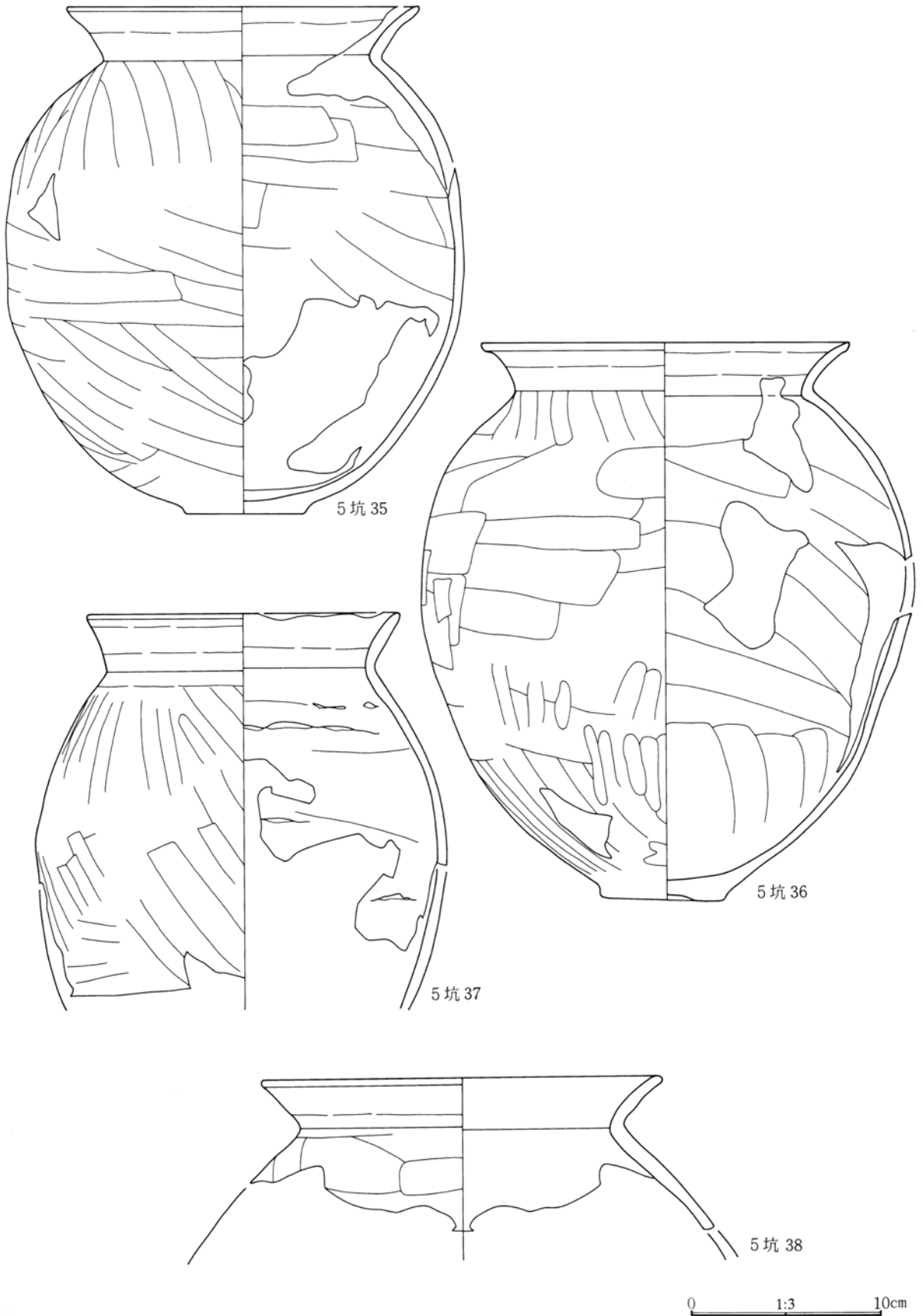
0 1:3 10cm

第321図 7区5号土坑出土遺物(4)



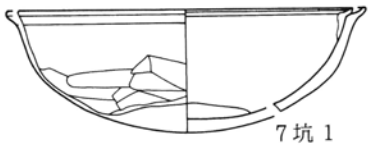


第322图 7区5号土坑出土遗物(5)

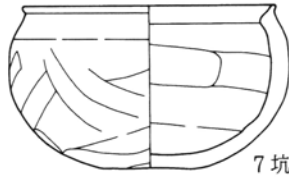


第323図 7区5号土坑出土遺物(6)

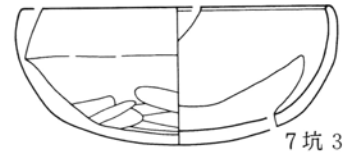
第5節 土 坑



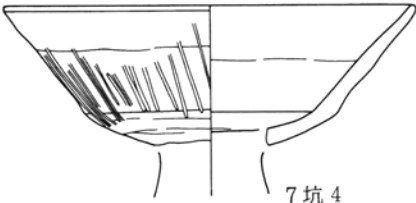
7坑1



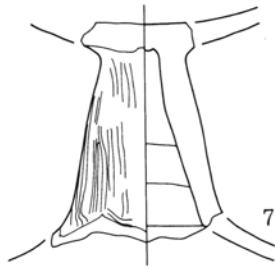
7坑2



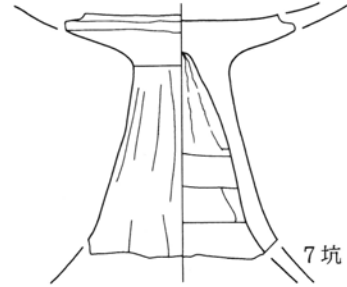
7坑3



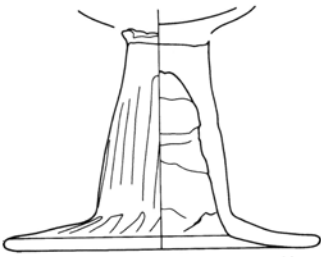
7坑4



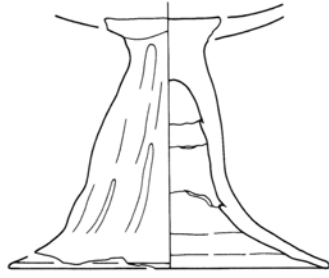
7坑5



7坑6



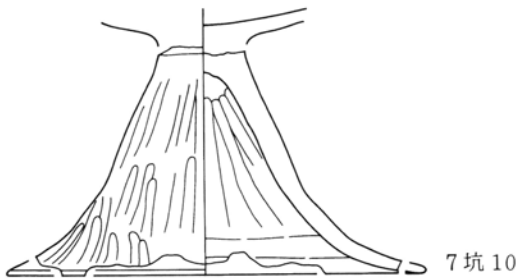
7坑7



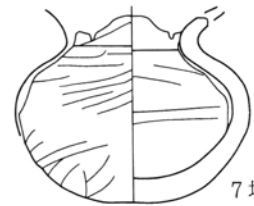
7坑8



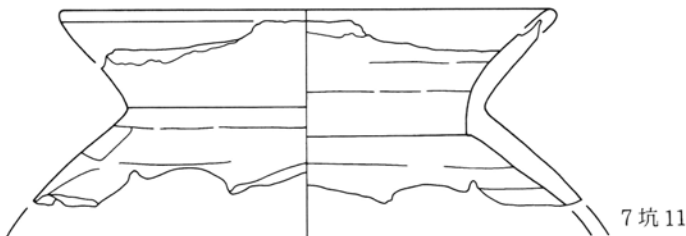
7坑9



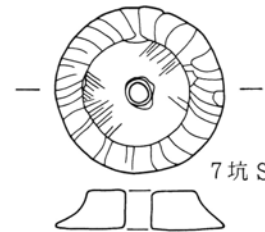
7坑10



7坑12



7坑11

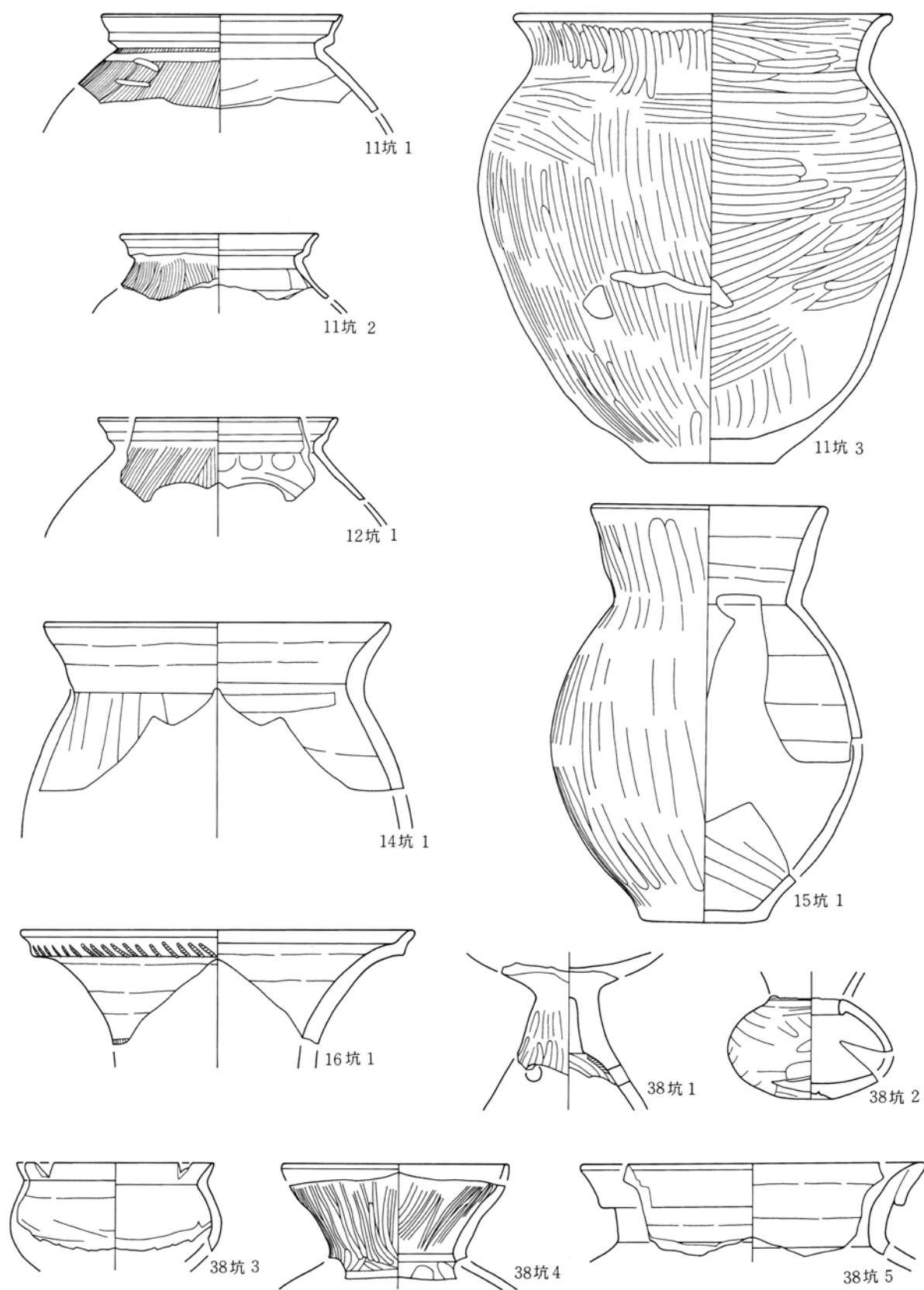


7坑S-1

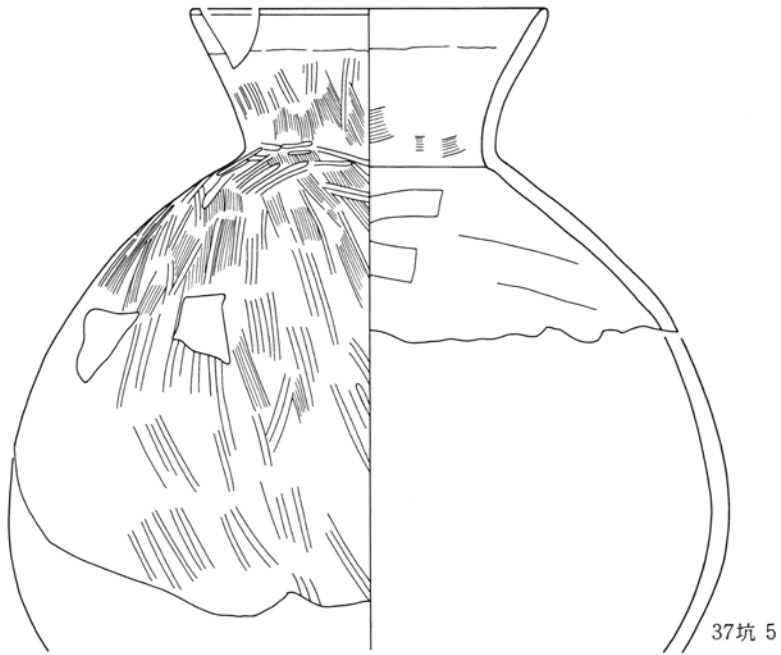
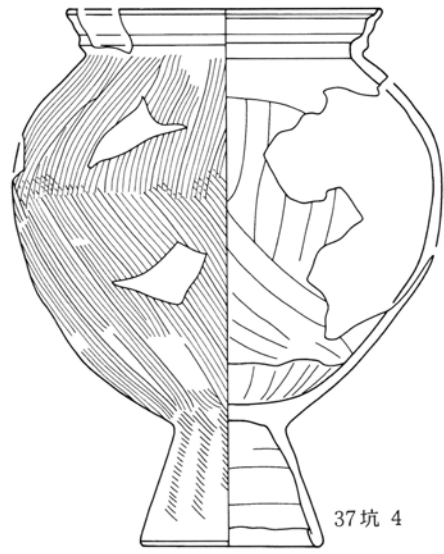
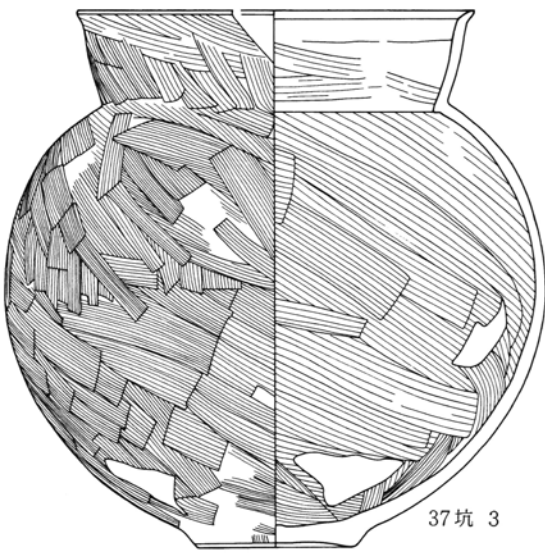
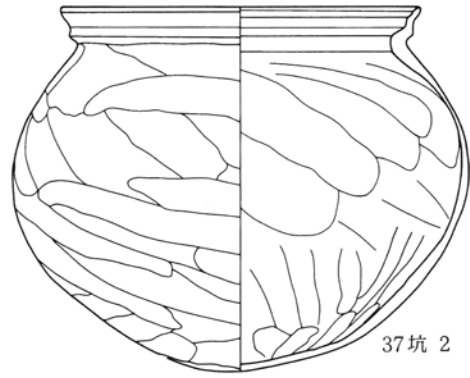
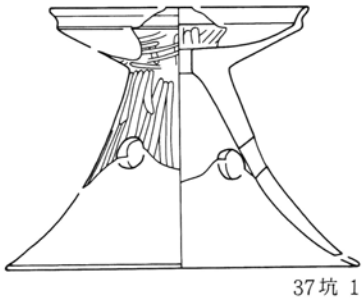
0 1:1 25cm

0 1:3 10cm

第324图 6区7号土坑出土遗物

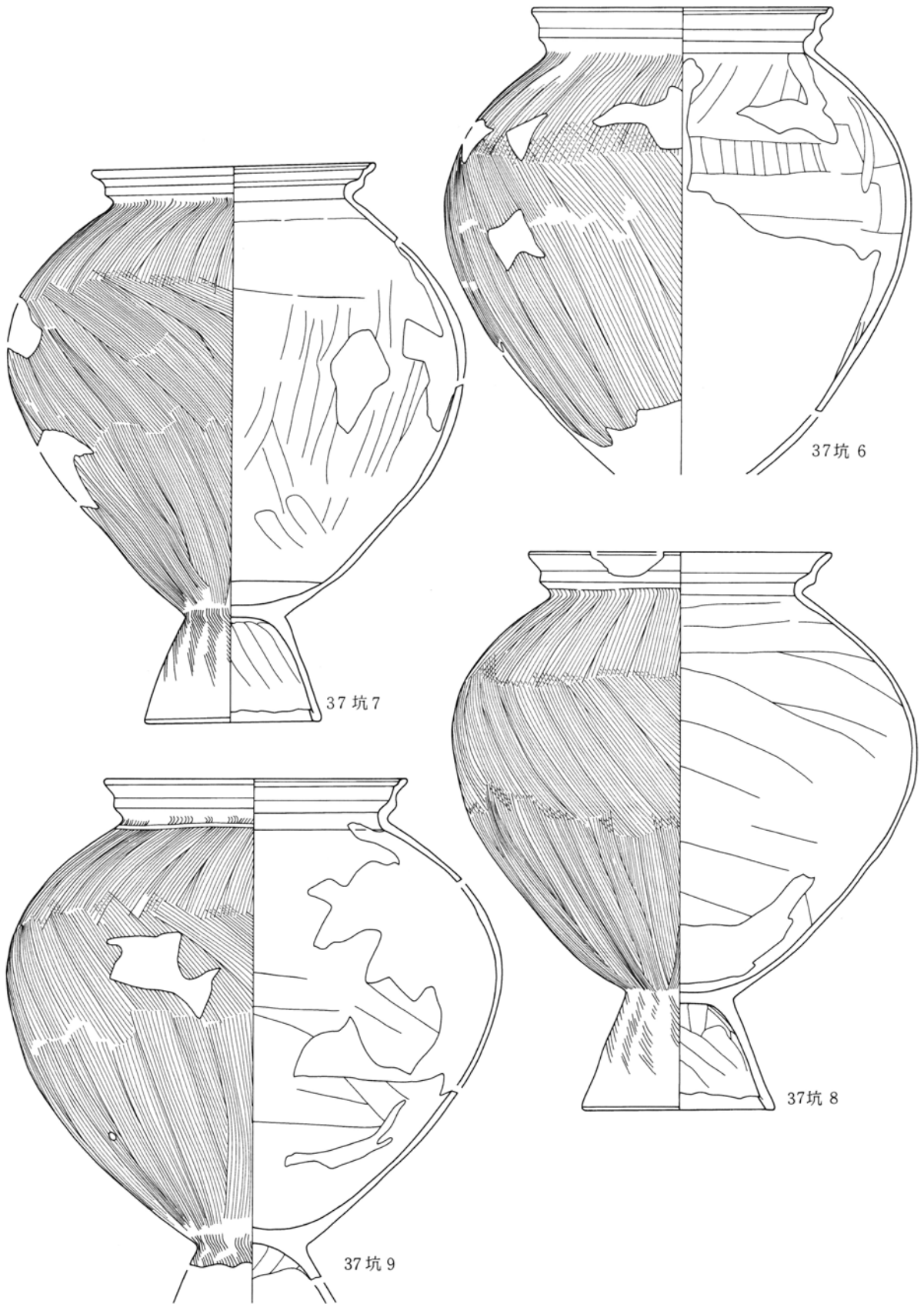


第325図 2区11・12・15・16・14区14号・17区38号土坑出土遺物



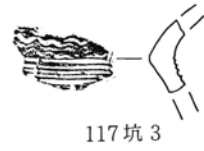
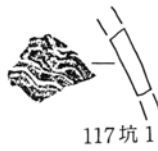
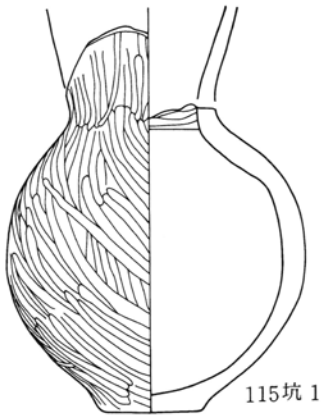
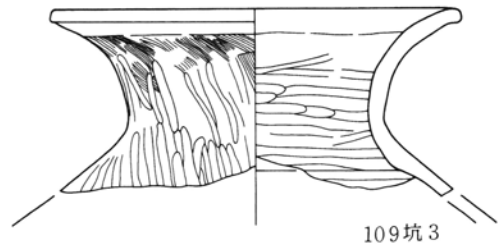
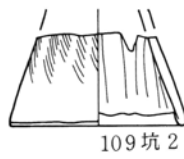
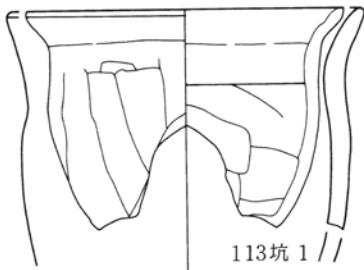
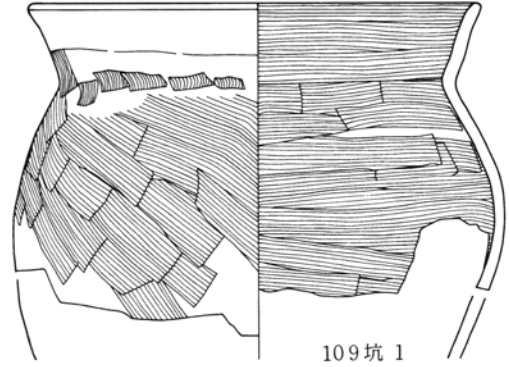
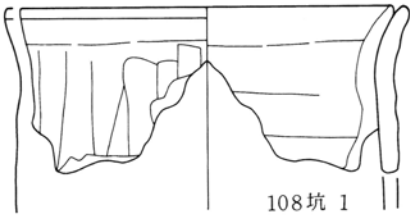
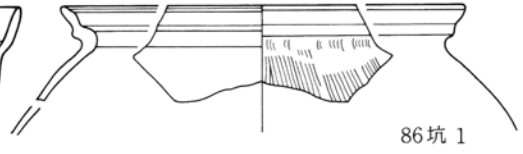
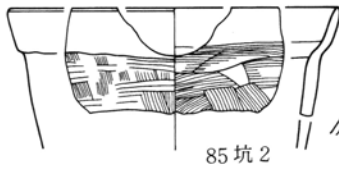
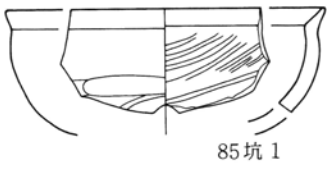
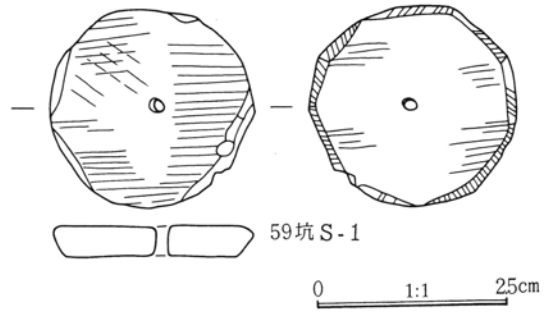
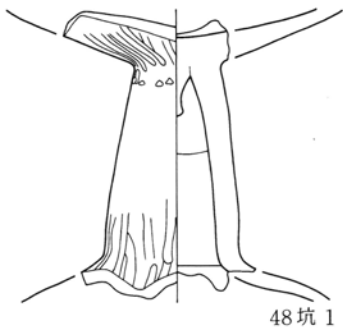
第326图 17区37号土坑出土遗物(1)

0 1:3 10cm



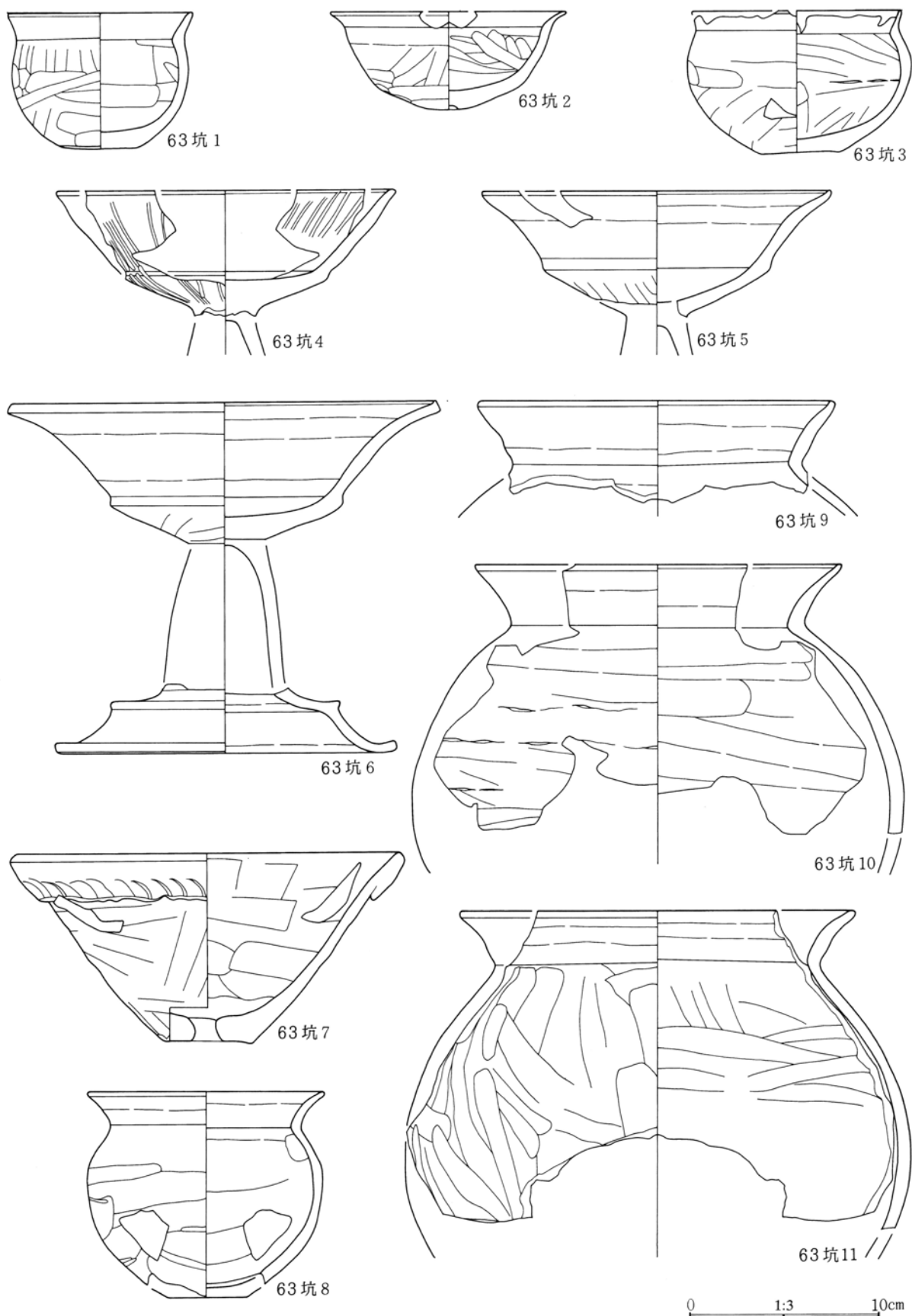
第327図 17区37号土坑出土遺物(2)

第5節 土 坑



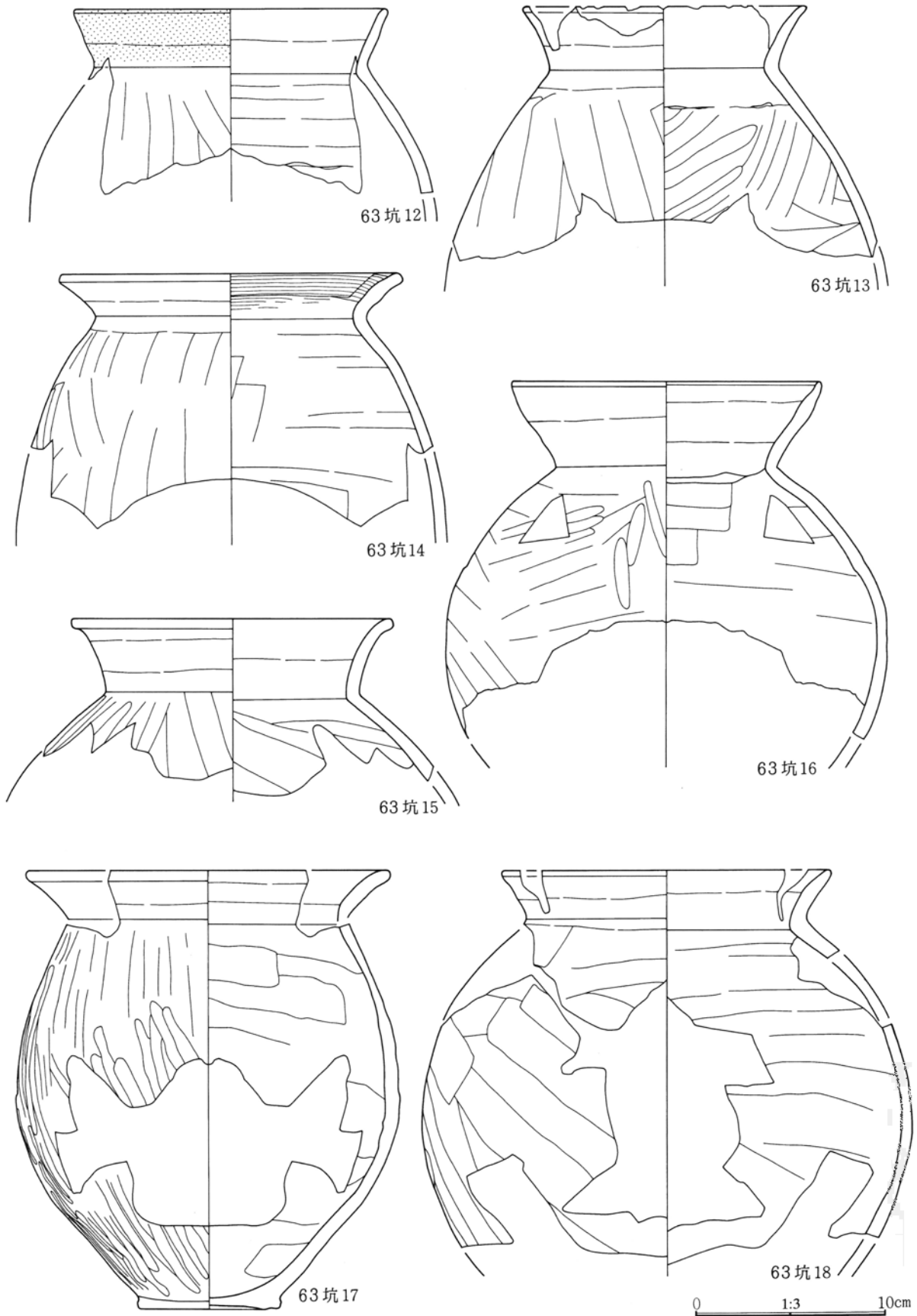
0 1:3 10cm

第328图 17区48·59·85·86·108·113·117号·16区109·115号土坑出土遗物

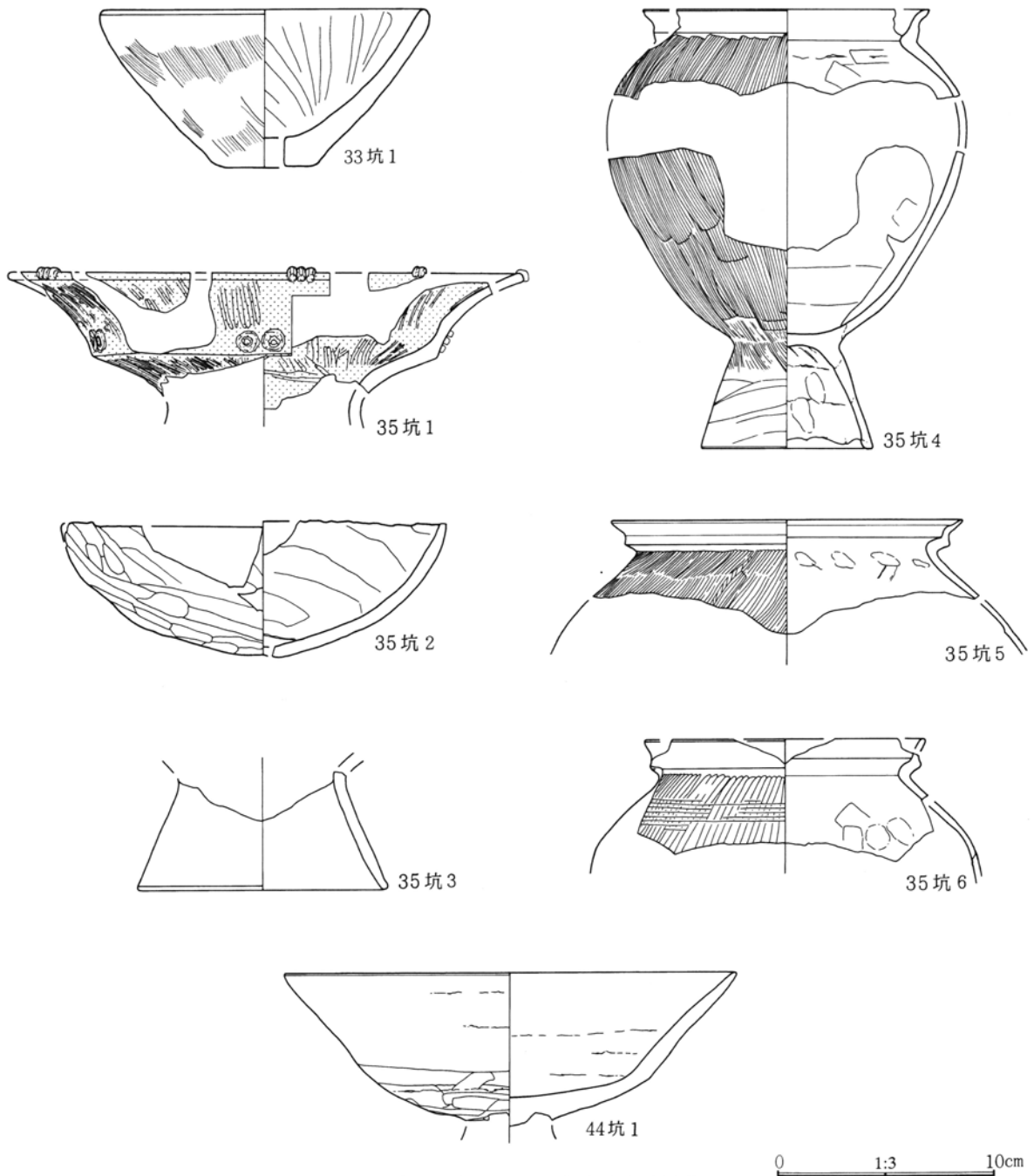


第329図 17区63号土坑出土遺物(1)





第330图 17区63号土坑出土遗物(2)



第331図 18区33・35・44号土坑出土遺物

### 第6節 溝

本遺跡で溝は33条確認されている。2区、7区南側、15区南側、17区、18区の微高地と7区北側、14区の低地で確認されている。これらの溝は規模や走向、他の遺構との関連から機能の推定できるものもある。微高地で検出された溝は、東西に走向する溝

と南北に走向する溝に大別できる。2区の南北に走向する溝は水田跡に関連し、配水をするための溝と思われるが、他の微高地で検出された溝は区画を意味するものが多いと考える。低地で確認された溝は水田跡に関連し、配水をするための溝と考える。位置、規模、走向、時期等については、一覧表でまとめている。遺構の時期については、出土遺物、覆土、